

同盟 時事月報

號一十第

行發日四十月二十

卷七第

昭和十八年

十一月事項

大東亞共同宣結

物價政策新運營方針決定

行政新機構發足

ブーゲンビール血戰

滿洲農地造成計畫・モクスワ三國會談

☆月間大觀 ☆時事月表

☆大東亞戰記 ☆時事文獻彙報

210號

蓄貯は
銃後の
彈丸!!

東京 日比谷

第一生命保險相互會社

東洋紡績株式會社

本社 大阪市北區堂島濱通り貳丁目

純強男性ホルモン
ユーステロン錠

疲勞恢復に
活力養成に

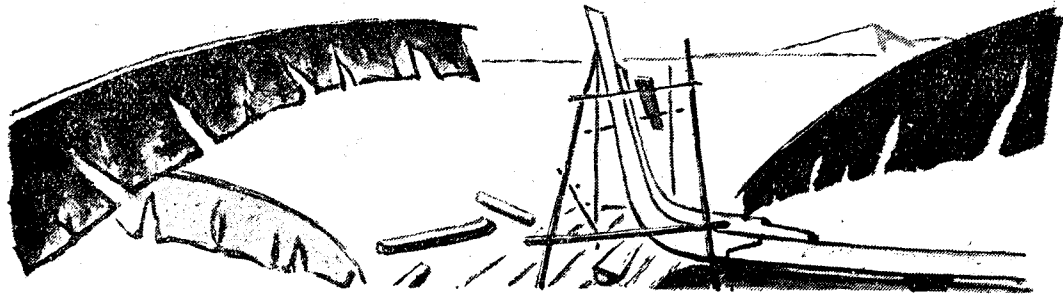


植村製藥株式會社
東京 日比谷 三丁目 六番

日本火災上海保險

戰爭(火災・損壞)保險 取扱
戰爭死亡傷害保險 取扱

東京・日本橋



大東亞民族の決意

觀大事時

十一月五、六兩日、日華泰滿比緬六ヶ國代表を一堂に集め、自由印度假政府ボース氏陪席の下に開催された大東亞會議と、その所産たる大東亞共同宣言が、たゞに東洋の歴史あつて初めてのアジア民族の結盟であるばかりでなく、歐米にも曾てその比をみざる建設會議であり、將に世界史に一時代を劃すべき重大意義を有するものであることは、決して單なる我等の自畫自讚ではない。現に、敵が繰返しつゝある空疎にして矛盾撞着に滿ちた會議、或は大西洋憲章と對比して、世界の公正なる輿論が大東亞建設の勝利を讚嘆してゐる事實によつても容易にこれを裏書きすることが出来るであらう。アジア諸民族は今、米英の搾取を斷乎排除して本來の姿に還るべき不動の決意を誓つたのだ。こゝにも戰爭そのもののみならず、政治攻勢におけるわが赫々たる勝利があるのである。

然しながら我々は、政戰何れたるとを問はずわが戰果擧る毎に、敵の憤怒はいよいよ火と燃え狂ふであらうことを忘れてはならない。敵の焦慮は日と共に募り、頽勢挽回のためには手段を選ばざるであらう危険は刻々に増大してゐるのである。勿論、現在我が方が大局的に押され氣味であることは、わが當局も率直にこれを認めてはゐるが、それは敵の恃む物量に對する彼我の相對的關係によつて變化すべきものであつて、既に戰略、戰術において、戰闘員の氣魄技術において、皇軍に追隨し得ざる敵米英の弱點とは比ぶべくもないのである。敵の犠牲を顧みぬ反攻はひたすらに量

を以て質を壓倒せんとする焦燥に出づるのである。しかも彼等が犠牲を相殺する唯一の道が、戰略的意義に目を蔽うて戰線の前進を庶幾する以外にないといふ現實は、更に彼等をして相次ぐ戰史空前の大損害をひた隠しに隠しつゝ、出撃を續行せざるを得ない窮境に追込みつゝあるのである。

かくて、以上の経緯から省察するとき、我等のこれに對して執るべき道も自ら明かとなるであらう。いひ古された言葉ではあるが、「一にも二にも戰力の増強」がこれである。今日前線に二倍の飛行機を、艦船を、彈丸を送りうるならば、敵の反攻が施すに術なきことは、果次のわが戰果によつて遺憾なく示されてゐる筈である。だが、我々敵の反攻を叩く、それだけで満足すべきであらうか。否、我々の好むと好まざるにと拘らず、敵米英の戰爭指導者は、民族抹殺戰を強要しようとしてゐるのである。進んで濠洲から、西南太平洋から、印度から敵米英の勢力を一掃し、大東亞の保衛を全うするに足る戰力を一日も早く培養しなければならぬのだ。大東亞會議に示されたアジア解放の決意を單なる決意に終らせてはならぬ所以である。

同盟時事月報(十二月十四日) 目次

大東亞民族の決意(時事大觀)……………一

同盟現地報告……………

ウルスンガイ地方を觀る……………五

マハカム上流の秘境を探る……………六

月間時事(次頁を見よ)……………一四

☆大東亞戰記……………一六

◇放送・講演・談話……………一八

後記……………一五

○時事文獻彙報……………一五

同盟時事月報 (月間時事) 目次

世界 戰 況

大東亞戰爭

【特 報】

- ▲ブーゲンビル島沖海空戦……………二四
- ▲モノ島戦果追加發表……………二四
- ▲ブーゲンビル島沖海空戦……………二五
- ▲南太平洋空戦戦果……………二五
- ▲第一次航空戦……………二六
- ▲第二次航空戦……………二六
- ▲第三次航空戦……………二七
- ▲第四次航空戦……………二七
- ▲第五次航空戦……………二七
- ▲トロキナ沖敵輸送船團猛攻……………二八
- ▲十月廿七日以來綜合戦果……………二八
- ▲發表以外の大戦果……………二九
- ▲ナポイ上陸部隊を殲滅……………二九
- ▲ギルバート諸島攻防戦……………二九
- ▲マキン、タラフ兩島に上陸……………三〇
- ▲第一次ギ島沖航空戦……………三〇
- ▲第二次、第三次ギ島沖航空……………三〇
- ▲海鷲マキン島環礁を猛攻……………三〇
- ▲第四次ギ島沖航空戦……………三〇
- 【一 般】
- ▲ニユーギニア、緬支綜合戦……………三一
- ▲果……………三一
- ▲陸鷲の戦果……………三一
- ▲敵機新竹に來襲……………三一

支那方面

- ▲支那派遣軍週間戦況……………三三
- ▲遣支軍九月中綜合戦果……………三三
- 【北 支】
- ▲國府治安軍戦果……………三四
- ▲山西省全域に剿共戦續行……………三四
- ▲華北綏靖軍四ヶ年の綜合戦……………三四
- ▲果……………三四
- 【中 支】
- ▲洞庭湖西方進攻作戦……………三五
- ▲常德城門に突入……………三五
- 【南 支】
- ▲敵機の香廣來襲企圖粉碎……………三六
- ▲廣九沿線地區肅清作戦……………三六
- ▲空 襲……………三六
- 【緬支國境】
- ▲包圍殲滅戦最高潮……………三七
- ▲東南アジア……………三七
- 【佛 印】
- ▲北部佛印に米機來襲……………三八
- 【タ イ】
- ▲來襲の敵機を撃墜破……………三八
- 【ビルマ】
- ▲印度方面……………三九
- ▲インパール等を空襲……………三九
- ▲瀛 洲……………三九
- ▲海鷲瀛洲北部を猛爆……………三九
- ▲ニユーギニア……………三九

海上戦線

- ▲ポルトモレスビー……………四〇
- ▲マダン……………四〇
- ▲ウエワク……………四〇
- ▲ブ ナ……………四〇
- ▲舊蘭領地域……………四〇
- ▲南太平洋……………四〇
- ▲六月三十日以來海軍綜合戦……………四〇
- ▲果……………四〇
- ▲エリス島……………四〇
- ▲アラフラ海方面……………四〇
- 【印度洋】

歐米戦争

- ▲獨軍公表戦況……………四一
- ▲東部戦線……………四一
- ▲赤軍の殺害三百萬……………四一
- ▲中部地區……………四一
- ▲赤軍ゴメリに突入……………四一
- ▲南部地區……………四一
- ▲獨軍ジトミール奪回……………四一
- ▲チエルニヤホフも奪回……………四一
- ▲獨軍ブルシロフを奪回……………四一
- ▲クリミヤ地區……………四一
- ▲赤軍ケルチ上陸……………四一
- ▲赤軍新地點に上陸……………四一
- ▲南部戦線……………四一
- 【イタリヤ戦線】
- ▲獨軍冬期防衛線構築……………四二
- ▲北伊地區……………四二
- ▲南伊地區……………四二
- ▲獨軍漸次撤收……………四二

國內 要 事

政 治

- ▲【地中海諸島】
- ▲獨軍レロス島占據……………四三
- ▲獨軍ニカリヤ島占領……………四三
- ▲【バルカン諸國】
- ▲ソフィアを盲爆……………四三
- ▲西部戦線……………四三
- ▲獨機英本土速爆……………四三
- ▲英機ベルリン上空襲……………四三
- ▲英機獨逸爆撃……………四三
- ▲英機獨占領地爆撃……………四三
- ▲海上戦線……………四三
- ▲地中海……………四三
- ▲オラン沖航空戦……………四三
- ▲大西洋……………四三
- ▲北方水域……………四三
- ▲大東亞會議東京に開催……………四四
- ▲大東亞共同宣言……………四四
- ▲大東亞國民結集大會……………四四
- ▲政 府……………四四
- ▲行政新機構發足……………四五
- ▲新設三省の各大臣親任式……………四五
- ▲戰時行政職權特別の改正……………四五
- ▲中央官廳の決戦機構……………四五
- ▲一般事項……………四五
- ▲藤原銀次郎氏國務大臣に親……………四五
- ▲任……………四五
- ▲高等試験停止……………四六
- ▲内閣及各省委員異動發令……………四六
- ▲主要人事……………四六
- ▲【外 交】……………四六
- ▲王克敏委員長來京……………四七
- ▲ジャワ參議院議長一行來京……………四七
- ▲聯合艦隊司令長官に勅語を……………四七
- ▲賜ふ……………四七
- ▲兵役法改正實施……………四七
- ▲感 狀……………四七
- ▲論功行賞……………四七
- ▲主要人事……………四七
- ▲貴衆兩院……………四七
- ▲貴族院……………四七
- ▲翼贊政治會……………四七
- ▲翼贊會準備……………四七
- ▲大政翼贊會……………四七
- ▲翼贊壯年團……………四七
- ▲外地・地方……………四七
- ▲地方……………四七
- ▲地方行政協議會會長會議……………四七
- ▲地方農地造成計畫援助方針……………四七
- ▲地方議會一齊に開幕……………四七
- ▲地方部長異動……………四七
- ▲市長異動……………四七
- ▲政治短信……………四七
- ▲經 濟……………四七
- ▲物價政策新運管方針決定……………四八
- ▲滿洲農地造成計畫援助方針……………四八
- ▲決定……………四八
- ▲業種別企業整備要領續々決……………四八
- ▲定……………四八
- ▲財政・金融……………四八
- ▲【金 融】……………四八
- ▲舊東京市内の各銀行で政府……………四八
- ▲支拂事務取扱……………四八
- ▲整備資金措置法の實施成績……………四八
- ▲日銀上期業績引續き上昇……………四八

工・鑛業

【機械金屬】
 輕金屬增產資材等最優先處
 設備機械動員實施要綱決定
 優秀二十炭礦を表彰
 木材硬化用壓搾機の供出促進
 【其他】
 疏安の生産確保策を答申

農 業

内地産米第二回豫想收穫高
 鮮米第二回豫想收穫高
 十八年産産麥類實收高
 柑橘園利用の甘藷増産對策
 自作農創設維持資金取扱要領

勞 務

皆勤運動の成績決定
 中等學校新規卒業者動員方針決定

配 給

織維關係配給機關の統合
 各種公價改訂

運 輸 ・ 交 通

鐵道小運送の運賃料改正
 總揚制を急速に全面化

交 易

交易業整備要綱發表
 輸出實績證明の指定機關決定

會社・團體

【會社】

西園寺公一、犬養健兩氏公判

文 化

大元帥陛下陸大、大本營陸軍部に行幸
 皇后陛下白衣勇士に菊花下賜
 總力結集の功勞者に有難き恩賞
 皇太后陛下瀨療養所に御下賜金
 各妃殿下の地方御巡視終了
 宮廷録事
 出版決戰體制を確立
 映畫誌を二種に統合

大東亞新聞大會
 大東亞新聞協議會結成
 中等教員に獎勵金
 科學動員の中核學研の新趨勢

文學・美術
 芭蕉翁二百五十年忌
 國民學校校長會議
 國民學校教育報國際の發足
 宗教
 佛敎六大學を單一化
 厚生
 海員救濟援護會役員決定
 體育
 鍊成日誌
 檢察・裁判
 教育懲罰二罪決定
 人民戰線派事件控訴第一回公判

大東亞

國民政府

汪主席勳靜
 汪行政院長歸國
 上海訪問
 ポース來華
 ポース主席中國訪問
 重慶に呼掛く
 再び重慶に呼掛く
 在華公館長會議
 【財政・經濟】
 水産増産、公路建設方針闡明
 【財政・金融】
 海關輸出税を改正
 【物 資】
 海關輸出税を改正
 【會 社】
 澳門正双臺銀貨の流通を禁止
 【華 北】
 王克敏決意表明
 政務委員會機構大改革
 稅務委員會設置
 日滿華蒙物資交流會議終了
 本年度小麥、雜穀の收買好成績

【蒙 疆】

政府行政機構改革
 明年度豫算案決定
 地下資源飛躍的に増産
 中國短信

滿 洲 國

政治
 張總理新京歸着
 王克敏氏滿洲訪問
 軍隊內務令制定
 經濟
 鑛・工業
 開 拓
 農 業

重 慶 政 權

憲政實施協進會設置
 對米英不滿
 米英は我々を蔑んでゐる
 孔祥熙不平等條約撤廢を調す
 對外關係
 遣英使節團を派遣
 米大統領の特使重慶へ

【軍 事】

米支混成飛行團を編成
 在印重慶軍は米軍指導
 陳誠雲南より退陣
 【經 濟】
 一億米弗の金塊到着説
 七年來の石炭大飢饉
 陳誠雲南より退陣

南 方 諸 國

軍政諸地域
 【マライ】

【スマトラ】

原住民に政治參與
 ジャワ
 原住民を州長官に登用
 緊急食糧増産對策決定
 【セレベス】
 【ボルネオ】
 ダイヤク族に特殊行政
 葡領チモール
 チモール島に關する流説否定
 佛 印
 佛印聯邦會議復活
 タ イ
 特別議會開會
 領土の擴張に豫算増大
 新首都候補地をベチャパンに変更
 ビン首相訪日の意志表明
 ビルマ
 政府役人、要員に強制的軍事訓練
 農業國策要綱發表
 金融國策要綱
 在緬軍の現地自活態勢完璧
 比 島
 【政治・一般】
 第一回國會開會
 警察隊四萬に増強
 カリバビ團員七十萬に激増
 ポース首班マニラ着
 【財政・經濟】
 中央銀行創設
 比島短信

自由印度假政府

國民軍國境に進駐……………一〇三
アンダマン、ニコバル諸島
を改稱……………
ポース首班昭南歸着……………

印度

【政治・軍事】

ガンヂー翁等の解放要求……………一〇四
印度も平等要求……………
ジンナー總裁に再選……………
ポース氏獨立運動の影響深
刻……………

▲食糧危機

ウエーヴェル對策無效……………一〇五

【經濟】

豪 洲

新總督にグロスター任命……………

ニュージーランド

米、西新蘭との協力を説く……………

世界情勢

歐 洲

ドイツ

【政治】
ヒトラー總統完勝を説く……………一〇七
反バルフォア宣言大會……………一〇八
ブルガリア首相總統訪問……………
軍需省の機構を強化……………

【軍事】

ベルリン爆撃による邦人の
被害……………

【經濟】
國內の食糧事情……………一〇九
イタリヤ

ム統帥祖國再建を説く……………
フアシスト黨大會宣言……………
政府初閣議……………二一〇

【法皇慶】

交戦各國に抗議……………

フランス

内閣一部改造……………二二

スイス

選挙に左翼進出……………

スペイン

比島に對する儀禮電報解決……………

ポルトガル

日葡關係は正常……………

北歐諸國

各國の船舶喪失狀況……………
【スウェーデン】
アルージェーと國交開始……………
【フィンランド】
總選挙を延期……………二二三

ソ 聯 邦

【政治・軍事】
回復地域の復興困難……………
共産黨員著増……………
人事……………

【經濟】

沿海州の漁業成績……………
バルカン諸國

【ハンガリア】

【ルーマニア】……………二二三

内閣成立……………二二三
【セルビア】
【ブルガリア】

西 亞 諸 國

【シリア】
レバノン地方獨立問題……………
【トルコ】
大統領、文明の擁護を強調……………二二五
【イラク】……………二二六
【イラン】……………
【サウジ・アラビア】……………
アフリカ

【エヂプト】
カイロで食糧會議……………
英土會談に駐土英大使も參
加……………

【北 阿】……………二二七

反樞軸聯合國……………

三國會談公報……………
カイロで三國會談……………
イタリヤ監理委員會設立……………二二八
米英加食糧會議……………
反樞軸救濟會議……………二二九

亡命政權……………

【イタリヤ】
パドリオ新内閣を組織……………
【フランス】……………

イギリス……………

【政治】
武器貸與白書發表……………
内閣改造を發表……………二三〇
モズレー遂に釋放さる……………
人事……………

【軍事】
新兵器……………

【經濟】
戰時財政情況……………二二三

米 洲……………

米墨協定……………二二三
米伯協定……………

カナダ……………

炭坑夫罷業……………

アメリカ……………

地方選挙綜合結果……………二二三
ブリツカー立候補聲明……………
比島大統領就任……………
會議……………

食糧事情大統領敎書……………
下院追加豫算に大削減……………二二四
大統領武器貸與報告……………
上院父親召集案通過……………二二六
下院増稅案可決……………

武器貸與……………
食糧貸與情況……………二二七
對外關係……………
人事……………

【軍事】
駐ソ米軍事機關設置……………二二八
バットン事件……………二二九
人事……………

新兵器……………二二九
陸軍……………
參謀總長報告……………
新編機甲師團の構成……………
東西航空隊を獨立……………二二三
陸軍の改組……………
海軍……………
太平洋艦隊の編成替へ……………
海軍建艦報告……………

艦艇續々進水……………二二三

【經濟】
政府戰費豫算を削減……………
生産……………
十月中軍需生産狀況……………
十月中飛行機生産高……………二二三
ゴム……………

船舶……………

船業……………

食糧……………

貿易……………二二四

一般……………二二五

労働……………

全罷業炭田に接收命令……………
炭坑罷業急轉解決……………
労働罷業狀況……………二二六

中南米諸國……………

中南米鋼鐵生産高……………
中南米石油生産高……………
【メキシコ】……………二二七
【キューバ】……………
【ヴェネズエラ】……………
【コロンビア】……………
對獨宣戰布告……………
【エチオピア】……………
【アラビヤ】……………
【アルゼンチン】……………
軍部と外相絶對支持……………
【ウルグワイ】……………
【チリ】……………



同盟現地報告

拓け行くボルネオの心臓部

ウルスンガイ地方を視る

南ボルネオ全人口三百萬のうち七十萬を抱

擁し、面積内地の四國に匹敵するウルスン
ガイ地方こそボルネオの穀倉地帯であり、
また戦力増強に無くてはならぬ鐵、マンガ
ン、石油、ダイヤモンド等貴重な地下資源
を無限に包蔵する寶庫でもある。この寶庫

はいま逞ましき邦人建設戦士の手によつて
着々開發されてをり、一方軍政の滲透につ
れて原住民の協力ぶりはいよいよ濃化して
ゐる。記者は最近このウルスンガイ地方を
視察する機會を得、ボルネオ心臓部の脈々

たる鼓動を實感することが出来た。
(バンも、エルマシンにて同盟特派員)

進む軍政の滲透

軍政施行以來着々整備されつつあつた現地
機構もいまは全く確立し、各地の主要都市に
はそれぞれ分遣監理官が配置され熱心に活動
してゐる。しかも人数は極めて少數ながら卒
先垂範する邦人官吏の熱と氣魄はますます原

つた。

日本のトアンブサルはとて親切だ、わ
れわれインドネシヤと同じやうに働き同じ
ものを食べ、同じ處に寝て何時でもよく聞
いてくれる。
とはインドネシヤ人の偽はらぬ告白だ。治
安の維持も頗る良好で犯罪件数はオランダ時
代に比べ著しく減少した。

どんな奥地に入つても身に危険を感ず
ることとは絶對にない。このほど内地より更に
第一線に挺身する多數の要員が到着したが、
これらの要員が各所に配置された曉には軍政
の滲透は一段と促進され、明朗ボルネオの設
建はますます進捗するものと大いに期待され
てゐる。

皇民化教育の徹底

軍政の滲透とともに皇民化教育もこれに併
行して徹底し公學校(内地の國民學校)増設
の要望に應へて部落、部落に續々と各公學校

住民の信頼を深め、その指
導下に軍政は日一日と進ん
でゐる。管下の郡長、副郡
長、村長に軍政施策を傳達
し更に山地を傳ひ、ブラウ
を操つて原住民の心に觸れ
て歩くのも日本人官吏なれ
ばこそでオランダ統治時代
には決してみられなかつた
ことである。従つて軍政の
滲透もそれだけ早く、原住
民同士のいざこざも少くな
つた。

純眞な學童が親兄弟に與へる影響も見逃せ
ない。邦人の姿をみれば必ず立止つて敬禮す
るのも微笑ましい。最初は女も男を眞似て舉
手の禮を行つてゐたが、最近では漸次この風習
を改め女は女らしく鄭重に頭を下げるやうにな
つた。これはそれだけ彼らが敬禮の意義を
知り、尊敬信頼の念を増したものととして喜ぶ
べき現象である。従つて車を驅つて行く記者
も敬禮への應答に忙しい。

建設地帯の朝

高さ十數メートルの鐵塔に朝風を受けて騒
へる日の丸の大國旗、その下に邦人職員はじ
め多くの原住民勞務者が整然と並んでゐる。
朝禮が始まつたのだ。戲かな口調で一同が唱
和する誓ひの言葉「命令に従ひ仕事を勵み
天皇陛下に忠義を盡します」莊嚴なひととき
である。服装はまちまちだが、その精神は完
全に一つだ。烈々の意氣は全身に湧れ出てゐ
る。此處〇〇の建設地帯ではかうして規律正
しく毎日の作業が開始されるのである。

苦闘して綴る建設戦史

交通不便な奥地に入つて何の娛樂設備もな
く建設の進むのを唯一の楽しみにしてゐると
いふ青年指導者にその苦心談を聞いてみる。
△
最初この附近一帯は一望の密林地帯で来る
には來たがきて何處から手をつけてよいか
見當がつかないほどでした。しかし勝ち抜
くためには、あくまでやらなければならな
い。精神一到何事か成らざらんの意氣込み
で、それから慰安も娛樂もないところで
働いてきました。
そして當時の密林地帯は既に立派な建設地
帯となり機械の齒車も快調に響くやうにな
りました。この事務所もつい最近出來たば
かりです。
勞務員宿舎も出來たがわれわれ邦人職員
の家はまだ完成してゐない。いまでも娛樂設
備らしいものは何ひとつそれらしいものは
ありませんがわれわれの楽しみは建設の進
捗だけで結構です。密林を切り拓いてから
はマラリヤ患者もぐつと少くなり衛生狀況
も一人一人がよく注意してゐるので頗る良
好、お醫者さんがあくびをしてゐる仕末で
すよ。原住民の働き振りが先程の朝禮の態
度そのまま口喧しくいふ必要はなく興へ
られた仕事はテキパキと處理してゆきます
時には新しく來た原住民が不平をもちます
ことがありますが、さういふ時には我々は
諄々と戦争の意義を説き今米英と戦つてゐ
るのは日本のためでなく全アジアのためお
前達のためだと説き聞かせると「トナン
よく判りました。われわれ原住民もアジア

人です。アジャ人のアジャがなくてどうして生きてゆけませう、どうか私を叱らないで下さい。オランダ人はさういふことは何一つ教へてくれませんでした。唯搾り取るだけでした、日本の兵隊さんの良きもはじめて判りました」と遂には感泣するものもあるほどです。此處の建設地帯で働く原住民は皆かういふ心構へで自分も敵と戦つてゐる意氣込みでやつてゐます。原住民は話せばよく判る可愛い民族ですよ。

語り終つた若き建設戰士の頬は思ひなしか紅潮してゐた。

稔り豊かな農業地

ウルスンガイの中心地方は米の一大集散地であり收穫期に入つた今日この頃藤製の背負籠に穀をはちきれるほど詰めて市場に運ぶ原住民の列はまことに壯觀である。

今年は例年に比べて稔りも豊かで米の供出率も好成績、市場も活況を呈してゐる。またパンバトンには農業指導者養成の目的で農事訓練所が設けられ各分隊から三、四名づつ選ばれて入所、邦人指導員の熱心な指導のもとに農業技術の修得に勵んでゐる。現在入所生は約五十人、期間は三ヶ月の短時日ながら、稲の成育原理から野菜の收穫方法、堆肥の製造など一通りの農業技術を覚え、九月末の晴れの第一期修了生として歸郷したが、今後は郷土農民の若き指導者として食糧増産に挺身する、殊に堆肥の製造は原住民の初めて識る技術で、同所の〇〇指導

員がこの地方一帯に生ひ繁つてゐる畑のギヤング、アララン草が窒素加里など多量の肥料を含んでゐるのに着目し試験的に作つたところ、優秀な堆肥が出来上つたので早速これの利用を教へたところ、彼らも日本の農業に大いに啓蒙されたといふ。この畑のギヤングを退治し肥料に更生させる一石二鳥の技術の修得こそ彼ら訓練生にとつては最もよき郷土へのみやげであらう。

南ボルネオ奥地探險記

マハカム上流の秘境を探る

パリツクパンにて
上村海軍報道班員

南方圏のほぼ中央にとつかりとその巨體を浮かすボルネオ島は舊蘭領印度の中でニューギニアに次で最も開發の遅れてゐた島である。それだけにこの眠れる寶庫ボルネオの開發は大東亞戰遂に邁進するわが國にとつてあらゆる困難を克服してまなさればならぬ大仕事であるのだ。裁定後一年有半いまや南ボルネオは復舊の段階を過ぎて新たな建設に逞しい巨歩を踏み出し、和蘭の永い欺瞞の彌縫策を象徴するかのやうに圖上に散在する白地圖地帯に向つてどしどし探査隊が繰り出され、未踏の奥地原住民にまで皇軍の恩威を知らしめるとともに各種重要資源の調査を行ふなど眠れる寶庫ボ

ルネオの眞姿は漸く大東亞の脚光を浴びて再登場しようとしてゐる。記者はその探査隊の一つ、一行十二名からなるマハカム河奥地探査隊に参加し、去る五月十一日パリツクパンを出發、ボルネオ三大河の一たるマハカム河上流スンガイルワヤ、グヌンペラおよびバトブチ三地區の秘境を二千餘キロに亘り、或はダイヤ族の操るプラウに揺られ、或は山蛭に惱されつつ蒼鬱たる原始林を踏破し、宣撫に調査に八十餘日を費し、去る〇月〇日無事パリツクパンに歸還した。

平和境ボルネオ

記者が先づ報告したいことはボルネオ奥地は豫想外の平和境であるといふことである。遠く北ボルネオとの國境カブアス山脈にその源を發し、濁流滔々として南部ボルネオの原始林地帯を南東に八百餘キロ、マカツサル海峽を黃濁に染める大マハカムの河口サマリンダを機動艇で出發した當時記者が多少とも期待したことは、大ザヤングル地帯に猛獸の咆哮を聞き、暮舎には終夜猛獸除けの篝火をたき、首狩種族といはれるダイヤ族の夜を徹する無氣味な踊りの太鼓と鐘の音に幾夜かの夢を破られ、或は熱病、風土病、更に山蛭、蚊、蛇等々所謂ザヤングル地帯探險につきものの月並みの想像をしてゐたのであるが、この期待は見事に裏切られ、この報告記の冒頭に南ボルネオ奥地は平和境なりと書かねばならぬ始末である。われわれが今回歩いた地域は凡てダイヤ地帯で、皇軍未踏の地であつたが、彼等の皇軍に對する協力振りは大したもので、昨年皇軍の殘敵掃蕩の折道案内をし、自らも腰の番刀で和蘭兵を切つたといふスンボアン村の酋長の息子二人などは、たまたま風の便りに皇軍再び來ると聞き、はるばるわれわれの行動區域に訪れて來て、進んで道案内を願ひ出るなど彼等の心からの歡迎には我々の方が面喰ふほどで、首狩種族のダイヤ族など全く昔の夢物語りに過ぎない。

野豚と鹿と多種多様な鳥と野猿と數頭の鱉以外猛獸の咆哮はおろか、一回も猛獸らしきものにすらお目にかゝれなかつたことを思ふと成程南部ボルネオの猛獸としては、野牛以外何等見るべきものが擧げられてゐないことが肯ける。また有名な錦蛇にも百歩歩く裡に死ぬと言ふ猛毒の百歩蛇にも遂に出遭はず、奥地の實相は寧ろ彼等の棲息すら疑ひたくなくらくの平和境である。氣候も我々が行動を起した五月は未だ雨季で大分雨に惱まされたが六月からは乾季になり、夜は内地の初夏よりも涼しく、山に入れば入るほど蚊がをらず、ダイヤが作る假小屋で蚊帳も用ひず海軍毛布にくるまつて赤道眞下のボルネオの山中から暑い内地の七月を思つたものである。

探査隊の行動

―基地ダマイまで―

われわれの今次探險は三つの行動に分れる。即ち、その第一次行動はバンゼルマシンの州の州境に近い全くの白地圖地帯として取殘されたマハカム河の支流バオ河の最上流地區

たるスガイルワヤ方面の探検である。

五月十二日早朝、食料と宣撫用の鹽、コーヒ、煙草、衣類など腹一杯につめこんだ探検船は朝靄を突いてサマリンドを出發、マハカム通航を開始した。石炭の街ロアタールに次いで青く塗られた洋館建の王宮にボルネオ第一の格式を誇る土侯の城下街テングロンを左舷に過すと、愈々當分文化とお別れである。

兩岸に點在するインドネシヤの家は、家といふよりは人間の巢といった感じのものが多し。いづれも二米くらゐ床を高くし、屋根と廻りをニツパ椰子で葺いた極くお粗末なもので、家の前には四尺四方くらゐな屋根つきの便所を設けた浮棧橋がある。この棧橋は彼等の支關でもあり、プラウで物を賣りに来る商人から物を買つたり、或はバナナなどを商人に賣つたりする場所でもあり、さらに炊事も洗濯もマンデーまで一切この棧橋ですませられるといふ便利な場所なのである。河ととも生れる彼等の生活を想ふと「スガイル(河)はボルネオの母なり」との言葉がびつたりあてはまる。

河口から三百餘キロ、バオ河との分岐點モアラバオから本流と別れてバオ河を一路遡航一晝夜半に亘る航海ののち、二日目の十三日夜九時我々の第一豫定基地タマに到着、ここでわれわれは機艇を捨てる。

バンゼルマン州と境を接するバリツクバパン州西部クタイ分縣の最奥地ダマイ郡の郡役所の所在地ではあるが、二十數戸の家が河岸に立並んだ淋しい村である。

軍艦旗未踏の地へ

一切の準備を終へた探査隊は十六日早朝、五人乃至六人漕ぎの大プラウ六隻に二名づつ分乗し、軍艦旗を懸す隊長の乗るプラウを先頭に荷物を乗せた二人乃至三人漕ぎの小プラウ八隻とともに、愈々目指すスガイルワヤに向つて基地ダマイを出發した。われわれ一行のプラウがダイヤ部落に近づくと、必ず村長が鶏卵、米、椰子の實を持つて出迎へてをり、そのたびに隊長から鹽だのコーヒだの煙草などの品々が渡される。日本人にはじめて接する彼等ではあるが、理窟ぬきに日本を尊敬する。

十六日はマンタールのダイヤ部落に、十七日はバオ河筋最後のダイヤ村ベシにそれぞれ一泊し、爾後は全く人家とてない無人の密林地帯を縫つて上流へ上流へと、百米行つては倒木を切り開き、二百米進んでは急流に飛び込んでプラウを押し上げるなど難航を続け、夜は密林の中で丸太と樹皮と椰子の葉の假小屋に野營を重ね、目指すスガイルワヤの河口に到達し最後の基地を設営したのは、ダマイを進發してから九日目の廿四日の夕刻であつた。

スガイルワヤ地區は一九二八年、和蘭人技師一名が地勢調査のため一度入つただけで、その技師もスガイルワヤには僅か一日入つて直に引返してしまつたといはれ、地圖を擴けても山の標高も名前もなく、河は點線となつて全くの白地圖地帯だ。

バオ河とルワヤ河との分岐點でプラウを捨

て、基地を設営した一行は直ちに翌日から三班に分れてルワヤ河を中心に附近一帯の調査に取掛つた。○技師に同行した記者はスガイルワヤの水源を求めてダイヤ族十名に食料と寢具を負せて進發した。ルワヤの流れは一變して清流と變り、河床一面に石英の砂礫が乳白色の滑らかな肌を光らしてゐる。道とて勿論ないからわれわれは腰まで水に浸して川沿ひに水源へ上つて行く、溪流は瀨となつて粘板岩の岩床を奔流し、或は瀨となつてわれわれの行手を阻む。一枚岩の瀨をよち、或は倒木を乗り越え、かくて一週間にわたるルワヤ地區の調査を終へた一行は、廿九日ルワヤの基地を後に一路バオ河を下つて卅一日、十六日ぶりに基地ダマイに歸つて來たのである。

第二次行動に移る

第一次行動を終へ、英氣を養つた探査隊は第二次行動に移るべく、六月四日ダマイ下流二十キロバオ河の支流ラワ河との分岐點ムアララワに基地を移し、サマリンドを出發以來二十五日目にあたる六月五日、第二次目標地であるラワ河最上流地點グヌベラを目指し、八隻のプラウを任立てて前進を開始した。このラワ河筋の街道も一九四〇年B.P.M.の和蘭人技師四名が地質調査に一度通つたのと、二十數年前三人の日本人がバンゼルマン方面からラワ河に下つたといふ全く傳説的な話がつてゐるだけで、軍艦旗を懸して一行十二名の日本人が、この街道を踏査するなどボルネオの歴史はじまつて以來の出來事である。

ダイヤ族中に見る日本品

探査隊一行の最終基地ランタンパスでは川幅二間ほどに狭まり清らかな小川になつてゐる。ラワ河沿ひに集國家屋が六棟、椰子の並木と並んで建られてゐる。三百五十人ほどのダイヤ族が住ぶ部落だ。雨季がふり返したやうに連日のスコールの中を一行は數班に分れて、グヌベラを中心に附近一帯を一週間に亘り調査を續けた。グヌベラを中心とする州境附近の山は標高三、四百米で、原始林地

帯ではあるがスガイルワヤ地區と異り何んといつても部落が近い。彼等が二年おきに原始林を焼き拂つては新らしく作つてゆくラダン(鼠)が到るところに展げ、ボルネオの山では珍らしいくらゐに展望がある。然し川歩きで腰まで濡れた足に血を求めぬ蛙が容赦なく入り込んで来ることは變りない。かくて、グマンベラ(銀の山)の實體をつかんで再びダイヤ街道巡禮の旅を続け、十八日ぶりに基地ムララワに歸つて来た。

このダイヤ街道十八日間の踏破行は終始一貫ダイヤ部落にダイヤ族とともに暮らしただけにダイヤ族の生活の實相に觸れ一行は得難い體驗を得たのであるが、ダイヤ族が好んで身につける首飾りや腕環、或は布などは殆んどが日本品であつたり、デロンブチイ村の酋長が祖父の代から傳つてゐるといふ秘藏の大花瓶は、焼は不明ながら鎧兜の戦國武士の繪模様の奥地にまで華僑の手で運ばれて来る日本品の透透ぶりに一驚するとともに、これらの日本品を通じて無言の裡に日本への憧れと關心の種子を播いてゐたことを想ふと深い感慨に打たれる。

第三次行動に移る

—基地ロニイラムまで—

第一次、第二次行動を終へた探査隊は、サマリンドア出發以來四十四日目の朝ムアラワの基地を出發、いよいよ最終目的地たるマハカム河上流四百六十餘キロ、ロニイラム北部バトブチ地帯踏査のスタートを切つた。一ヶ月半餘をともに暮らしたバオ河に別れ、モアラ

バオからマハカム本流を遡航する。河口から四百キロ、サマリンドラに先づ中間基地を置く。平坦な南ボルネオも漸くこの附近から高原地帯に入る、爽涼たる微風は高原を渡り、朝夕は初秋を思はせて、防暑服では手足が冷たい。一ヶ月半の山歩き、川歩きの疲れが出たのであらうか、隊員の殆んど全部が交互に高熱に呻吟し、用意したキニーネも忽ちにしてなくなり、其補給をサマリンドアから受けるまで此お話し向きの保養地に建つ敵産コンクリート建の建物で休養する。

バトブチ踏破記

探査隊が第三次行動の基地として選んだロニイラムはサマリンドア上流四百六十キロ、赤道が恰度このロニイラムの街を走つてゐる。亭々たる椰子並木を挟んで三十餘の商店が軒を並べ、マハカム河最上流地域地上マハカム分縣の分縣監理官事務所と、ロニイラム郡役所の所在地で、本流筋最後の街でもある。このロニイラム附近から上流地帯一帯にかけて住むダイヤ族はバハオ族といはれ、色が白く、體格も良く、上流地帯の急流に育つだけに河筋隨一のプラウ乗りである。ロニイラム附近でも河幅は二百米以上もあるが、乾季のこととてここから上流への汽艇での遡航は危険である。ネシヤの水先案内を乗せバトブチ探査の別れ道、スガイバリの河口のダイヤ部落ルタンまで六十キロ餘を強行突破し、このルタンで汽艇を捨て、ここを第二基地としてサマリンドア出發以來五十八日目の朝プラウ八隻に分乗、一路バトブチへの

道スガイバリ遡航をはじめた。われわれが目指すバトブチ(白い石)は標高千三十米の山で、サラワク國境附近以外高山の渺い南ボルネオでは千米以上は珍しい。このバトブチへの道は、本流からスガイバリの約二十キロ遡つたところにマタリバのダイヤ部落があるだけで、バリ河の上流はラワ河同様全く無人境である。遡航を續けた一行は四日目の夕刻、いよいよこれ以上プラウでの遡航は不可能といふ地點に到達した。一行はここに前進基地を作り二日間の休養をとつた。いよいよ七月十五日早朝基地を出發徒歩進撃を開始した一行は、人跡未踏の密林地帯にもぐりこむ。ボルネオの山歩きの特徴は何んと言つても展望のないことであらう。視界は果しなく續く樹海に阻れ、尾根傳ひに歩いてても小山を征服しても内地で考へるやうな展望は一向にない。地圖もなく磁石も持たぬダイヤ族は一體何を目標に、何を目當に歩くのであらうか。われわれには地圖もあり、磁石もあるのだが、バトブチ目指して現在歩いてゐるわれわれを案内してゐるのはバトブチに一度も行つたことのないダイヤ族である。これは最後まで不思議なことの一つであつた。

岡を越え、谷を渡つて相變らず山蛭に見舞れながら前進を續け、三日目の午後一行はダイヤ族が上から下してくれる數十尺の藤蔓を次から次に傳りながら、文字通り胸突八丁の急坂に差ししかつた。この崖を漸く越えて少し下ると澤に出た。清流は岩に碎け、登山に疲れたわれわれの汗まみれの體にこよなき爽快感を與へてくれる。ふと下流を見ると、百米ぐらゐで足下の清流は忽然として没し去り、海でも見えるやうに視界は果しなく青く廣つてゐる。一行は疲れも忘れ歡聲を擧げてさぶさぶ清流を下つて行く。見よ。脚下は百米餘の大絶壁となつて切り落ち、清流は瀑布となつて落下し、白玉となつて遠く樹海の下に飛散してゐる。足下から吹き上る冷氣に思はず足を踏みしめる。何といふ壯觀さであらうか、落陽に照り映える大樹海のうねりは青く、或は濃緑に、或は薄紫に一望千里、波のゆるやかに打ち寄せるが如く廣漠として續き、その果てるどころボンチャナク、サラワク國境附近の山々であらう峨々たる山嶺を一握りの白雲の彼方にのぞかしてゐる。われわれは知らぬ間にバトブチを極めたのだ。われわれが登つた胸突八丁こそ、四方を百數十米の絶壁に圍れるバトブチの唯一の登攀路北側の壁であつたのだ。われわれはこの雄大な光景を前にいつまでも立ちつくした。一行はこの清流の畔に基地を設け、三日間に亘つて附近を調査したが、三つの峰を持つバトブチの東南西の三方は、百數十米の閃緑岩の大斷層によつて圍れ、この斷層面が到るところ白く微のやうに風化し、そのバトブチ(白い石)の由来をなしてゐることが解つた。サマリンドア出發以來六十八日目、探査隊は一切の行動豫定を終り、バトブチに別れを惜みつつ一路歸途につき、八十一日振りにボルネオ奥地開扉の一翼の榮を擔つてサマリンドアに歸還したのであつた。

月間大事

昭和十八年

十一月

自一日
至三十一日

—— 同盟電による内外記録 ——

月間大事表
時局要況
世界情勢
大東亞
國際重要
大事

☆

同盟電調查部編

月間大觀

國內

大東亞十億の總力を結集すべき大東亞會議は、全世界注視の中に五日東京に於て華々しく開催された。東亞を永遠に隸屬化せんとする敵米英の野望は完全に粉碎されて、ここに開戦僅か二ヶ年にして早くも大東亞各國の相互團結協力體制を議する空前の歴史的大會議が開かれるに至つた事は、さなきだに打ちつづく敗戦に喘ぐ米英に對し、更に新たなる一大政治攻勢を加へる事となつたのである。

會議に集まるものは滿、華、泰緬、比の五獨立國代表の外に、特に陪席として自由印度假政府主席チャンドラ・ボース氏を加へ、我國よりは東條首相帝國を代表して出席した。

會議は二日間に亘つて續けられ満場一致、正に世界史を劃すべき大東亞宣言を採擇して幕を閉じた。ここに道義に基く萬邦共榮の大東亞建設は、堅固たる現實となつて確立し、共存共榮、獨立親和、文化昂揚、經濟繁榮、世界進運實

獻の五大原則は大東亞永遠の將來に向つて不滅の光を放つこととなつた。

わが皇室に於かせられては、會議に先立ち四日、御期待、御激勵の御思召を以て、これ等獨立國代表を宮中に召させられ、謁見、御陪食を仰付けられ、更に會議終了の六日には新宿御苑に各代表並に會議出席の要人等を召させられ御慰勞を賜へつた。

空前の盛儀たる大東亞會議は、かくて翌七日には日比谷原頭に迎へられて、翼賛會、翼政會、東京都三者主催の一大盛典大東亞結集國民大會となつた。東條首相以下各國代表次々に立つて烈々火を吐く大獅子吼を試み、必勝不動の信念の下に、その總力を凝集して飽くまでも大東亞戰爭を完遂すべき決議を可決、更に善謀勇戰の皇軍に對する感謝決議をも可決した。一方、行政運營の決戦化を旨指す軍需、農商、運輸通信の三省創設及び中央各省の機構簡素化は前月來着々と準備を進められて來たが、いよいよ一日を期して豫定通り遂行されることとなつた。會つて云ふべくして行はれなかつた過去の經緯を一蹴して、戦局の苛烈化は、かくもあざやかに且つ容易にすべ

ての切替へを斷行せしめた。それだけに今後に於ける期待も亦大きいと云ふべきであつて、官も民も共に熱鐵の一九となつて戦力増強に邁進しなければならぬ。國政運營の全般に對する首相の指示權の強化、地方協議會の機能強化についても同時に夫々改正を見たが、十七日に至つては更に藤原銀次郎氏の國務大臣就任、鈴木貞一、鮎川義介、五島慶太の三氏の内閣顧問就任となつて、ここに内閣機構の確立強化は一應完了した。藤原新無任所相は人も知る産業界の大立物で、會つて商相の椅子も占め、且つ東條内閣に於ても常に側面的援助を惜まず、その入閣が當然視されてゐるが、軍需生産、特に航空戦力の飛躍的増産を目指して氏の手腕が期待される所大きい。かくて十九日の閣議に於ては輕金屬の飛躍的増産を期する優先的處理が決定、なほ物價統制の圓滑を期するため物價政策を内閣に統一することが同時に閣議決定された。

豫算運營の重點主義については戰爭の切迫と共に特にその重要性が認められてゐるが、政府は廿六日の閣議に於て、昭和十九年度豫算上の重要政策の先書決定に關する件を正式決定、科學技術研究の

振興に關する件等十件を、優先的に豫算化するべき新規重要政策として決定した。

大東亞

戰況 敵米英が呼號する對日總反攻は先づ西南太平洋方面において本格化してきたやうだ。十月末

わがブイン前面モノ島に進出した敵は十一月二日いよいよブーゲンビル島西岸トロキナ岬及びハモン地區に兵を進め餘勢を驅つて一気にラバウルを衝かんずの態勢を示した。レンネル島沖海戦以來九ヶ月姿をひそめてゐた戰艦、空母を動員して決戦を挑んで来た敵の自信は察するに難くない。恐らく、相次ぐわが轉進作戦と、近くは數百機の大編隊によるわが基地強襲に日本施すべき術なしとみたのであらうが、結果は大本營發表の如く敵は慘澹たる敗戦を喫することとなつた。而もこの敗戦を極力隠蔽しつつ太平洋大反攻の前觸ものしく火蓋を切つた中部太平洋ギルバート諸島攻撃もわが痛撃に空前の損害を招いてゐる。敵は敗戦を糊塗するためなほ反攻の手を緩めないであらうが、戦史空前の損害が敵の作戦に重大齟齬を來したことは疑問の餘地があるまい。恐らくビルマ反攻作戦も敵として

再検討せざるを得ないところであらう。従つて敵にとつて印緬方面は目下航空ゲリラ戦が唯一の手となつてゐる譯だ。

支那大陸戦線に於ては前月來の晋冀方面の討伐戦に加へて二日洞庭湖西方重慶第六戦區に對する進攻作戦が開始され、大本營は十九日その戦果について發表した。重慶軍の一大打撃である。南支の廣九鐵道沿線の肅清戦も順調に續行されてゐる。

大陸 五、六兩日東京に開られた大東亞會議には大陸からも汪中華民國政府主席、張滿洲國國務總理が出席して親しく日本及び南方諸國代表と相會しいよいよ大東亞建設のため東亞諸民族が固く結集しゆく決意を披瀝した。會議終了後自由インド假政府首班チャンドラ・ボース氏は國府の招待により南京、上海を訪問したが、大東亞會議と云ひ、ボース首班の中國訪問といひ、これ迄米英の隸屬下に相互に相親和するを許されなかつた大東亞各國が今や米英打倒の爲め相携へて進む態勢をいよいよ強固にしつつある姿は寔に歴史的の大事業といふべきである。あだかも十一月十二日は國父孫文の第七十八回生誕紀念日であるが、當日國父遺志實現報告祭が南京中山

陵靈前に執行された。日華同盟條約成立し、また大東亞各國の結集成れる今日「國府在天の靈よ昭覽あれ、大東亞主義はまさに實現の緒につけり」と報告する汪主席以下の感激はいかばかりであつたらう。

華北では斯る新情勢に照應して華北の決戦政治體制を強化すべく機構の一大改革と主要人事の刷新とを斷行した。これにより王克敏委員長の領導力一段と強化せられ、制度も簡素化された。又新總務廳長官王蔭泰氏が事實上副委員長格として王委員長とのコンビでゆく事となつたのは期待される。

月末南京では谷大使就任初の在華公館長會議が開かれ、同盟條約締結後の新事態に應ずる體制の確立が議せられた。

滿洲國の生産力増強策は強力に推進せられてゐる。滿洲國皇帝陛下には張國務總理、武部長官を御召のうへ増産にいそしむ農民のうへに深き帝慮を垂れさせられ、又鐵アルミニウム増産並に農地造成計畫につき言上を御聽取あらせられ、滿洲國官民齊しく感激、愈々増産に挺身してゐる。

重慶は對して皇軍不斷の壓迫に窮狀いよいよつると共に盛に米英に支援を嘆願してゐる。頼むべき援助も得られず、果ては米英頼むべからずとの論さへ公然唱へられてゐる状態である。

南方 大東亞戰爭二周年を迎へんとする時大東亞諸國の建設の進捗と共に昨今土地問題、金融問題等經濟の自主獨立と原住民の福祉の根本たるべき基本施策に勢力が傾注されるに至り大東亞十億の逞しき息吹きはいよいよ明瞭に觀取することができる。

泰鹽國以來未曾有の豫算を審議せんとする特別議會が去る一日より開催せられた。歳出總額は實に三億四千萬バーツを算し、その大部分は國防費、領土擴張に伴ふ新規經費、生擴費の増大に割賦せられ、就中國防費の充實は專任國防相の任命、陸海空警察の一元化等の措置と共に泰國の本格的決戦態度を示す。ビョン首相の訪日意志表明は日泰兩國の一層の協力に寄與するは疑ひない。

ジャワ、マライ、北ボルネオ等 軍政地域原住民の政治參與に續き今度スマトラ及海軍軍政地域においても政治參與措置が採られ、またジャワ原住民二名が州長官に登用され、従來野蠻人として顧みられなかつた南ボルネオ百萬のダイヤ族に特殊行政を施行して保護を加へんとする等茲に皇國の恩威は

軍政地域全般に洩く光被することになつた。一方ジャワの經濟建設は進捗し、南方各地相互間の物資交流の好調と共に金融界も漸く活況を呈するに至つた。

ビルマでは過日發表せられた基本國策要綱に基く部門別施策は今般農業國策交通灌溉、金融國策の諸要綱として國民の前に提示された。就中ビルマ人の大部を占める農民の速かに解決を要すべき土地問題、協同組合の再建或ひは灌溉施設の擴充に力點がおかれてゐることは問題の困難性よりみてその熱意が多とすべく、これが成否は農民の福祉、農業生産力の發展に資するは言ふまでもなく、獨立の眞面目を發揮する機會でもある。

フィリピン 第一回通常國會劈頭大統領は大東亞宣言に示された五大原則に沿うて國民の向ふべき道を闡明し、また經濟自主性確保の努力を要望、次いで財政、金融の健全と強力を期する中央銀行設立法案、通貨法案が上提せられた。

自由インド 假政府の成功的な發足の反面、インドの食糧飢饉はその地域を廣め、深度を高めつつあり、政府の之が對策も何等奏効せず、イギリスのインド支配の覆滅こそその唯一の解決策たるを思はしめる。

歐 米

夏季攻勢 から冬季攻勢へ、ソ聯の對獨

反政は執拗且つ連續的だ。東部戦線の西方移行につれ、獨ソの死闘はいよいよ苛烈を極めてゐるが、獨軍は失地回復を焦る赤軍の猛攻を阻み大體守勢を保持して米英の南歐反攻と西歐第二戦線氣構へに萬全の布陣を築きつゝある。

しかし東部戦線はドイツにとつて依然として第一戦線である。東部戦線こそ、ドイツの運命を決する歐洲の決戦場だと視てゐるのである。故にドイツも守勢に終始するものではない。赤軍のドニエプル彎曲部進撃が停頓し、或はキエフ前面のジトミール、コロステンの要衝が再び獨軍の手に歸したるは、ドイツの對ソ防禦戰略の弾力性を物語るものだ。

とはいへ、寸時も中断することなく折からの泥濘を物ともせぬ赤軍の反攻力は、ソ聯の底力はドイツの尻に戒心するところであらう。ソ聯はゴメリを回復とは言へ未だウクライナ全土の奪回に成功し得ず、クリボイログの鐵山並にニコボリのマンガン鑛山はドイツの保持するところ、獨軍はクリミア半島を猶も死守し、キエフ再奪

回の意氣に燃えてをり、来るべき多の大決戦の熾烈さを豫感せしめるものがある。

他方南伊戦線に於ては、獨軍と米英聯合軍はボルツノ、サンダロの兩河に於て久しく對峙し、ローマへの道はなほ遠い。英第八軍は十一月廿九日以來、米第五軍は十二月一日を期して攻撃を再開したが、獨軍は隨所に敵の挑戦を痛撃してをり、英軍の進撃は遅々。

しかしバルカン作戦の切迫と共に、その前提として米英は是が非でもローマに進軍して南伊全土を制壓し度いところであらう。冬の赤軍反攻に呼應して、米英が對獨爆撃の強化と共に、南歐から對獨挾撃戰法に出るは必然。ドイツは敵のバルカン挾撃作戦に備へてエーゲ海の諸島を逸早く占領してバルカン必勝不敗の態勢を確立した。

樞軸

ドイツを中核とする歐洲樞軸陣營にとつて、十一月は多難な月であつた。

モスクワ會談並に引續き行はれた米英土會談の結果俄然強化された米英の政治的謀略工作に始まり大規模且つ暴虐を極めたベルリン恐怖爆撃に終つたこの一月は、一見、米英得意の舞臺の如く、樞軸側の無策を想はせるようであるが注意深く一月の動きを眺めるなら

ば、隱忍自重沈黙の裡に来るべき反攻準備に慎重を期しつゝあるドイツの姿が見られる。そしてその歴然たる證據は、去る二十二日、二十三日のベルリン大爆撃に際して、米英側の豫期に反して土氣の強さと沈着振りとなつて表はれた

本月初に行なはれた歐洲樞軸陣營強化努力を概観すると、八日、ナチス黨躍起二十周年記念日に當り、ヒットラー總統はボルシエゾイズムを撃攘し得るものはドイツのみと強調、對ソ完戦の決意を表明したが、更に十三日、軍需省の機構を全面的に改革、一段と軍需生産の擴大に備へた。

一方、外交方面に於ても着々防衛態勢を整へ、米英の政治謀略に備へたが、トルコ紙は六日、米英のトルコ參戰説を反駁、ハンガリア首相も十二日反樞軸の神經戰に對する祖國防衛の決意を表明、またブルガリア首相も五日ヒットラー總統を訪問重要協議を行つてゐる。更にまた在リスボン佛公使館は廿四日、米英側の流布するベタソ辭職説を正式に否定するなど樞軸陣營結束強化の實績は着々擧がつてゐる。

また、新生イタリア政府の祖國再建運動も進歩を見せ、廿四日初閣議を開催するに至つた。

ベルリン爆撃に際して、獨軍當局並にゲツベルスの聲明した「斷乎報復」の決意は樞軸陣營をして奮然振起せしめるに役立つであらう。

反樞軸

米、英を主體とする反樞軸陣營にはイタリアバドリオ政權擁立を機として俄然戰局の前途に對する樂觀氣分が横溢した。次いで行はれた三國外相會談はさらにこの傾向を強めたか

の様である。然し一歩退いて考へると、米、英聯合軍の一時的興奮は、實質的には無價値なバドリオ政權の實體に關する疑惑と失望に變つてゐる。一方鳴物入りの三國外相會談の結果をみると、米、英兩國は辛うじてソ聯を自己の安全保障體制に引き入れることには成功したが、懸案のポーランド問題バルカン問題については三國間に何等具體的意見の一致をみなかつたことが明らかとなる。

現に、會議開催地からして米、英はソ聯側の要求に應ぜざるを得なかつたし、ソ聯待望の『第二戦線』問題では徹頭徹尾ソ聯に押へられた貌である。英外相イーデンがモスクワからの歸途カイロにおいてトルコ外相メメネンジョグルと會談、ハルムこれに参加した模様だが、結局トルコの中立政策が

百八十度の轉換を近い將來に行ふとは考へられない。將に『會議は閉つた』が足が地について居ないことは餘りにも明瞭である。

米、英兩國内における戰爭目的の混迷は、餘りにも歴然と以上の諸情勢を反映したものと解される米國民の間に流布されつゝある戰爭短期終結説などもその著しい一例であらう。また最近英國からドイツに歸來した抑留者の談話に徴しても、長期戰の齎らす物質的窮乏、社會施設の貧困が英國國民に與へつゝある影響は甚大の様様である。

本月廿二日から廿四日にかけて英空軍の行つたベルリン大空襲はドイツ民心の混亂を意圖したものであらうが、ベルリン市民の平靜さは逆に米、英國國民の抱く焦躁感を深めたものの様である。

時あたかも米・英・支三國首腦會談の報を聞く。軍事攻勢に豫期以上の成功をおさめ得ぬ聯合國陣營の『會議開催の癖』がまたぞろ頭をもたげた感が深い。米、英政府が國民に對して、再び長期戰の心構へを強要するには、これをおいて他に手の打ち様はない様である。

時事月表

(昭和十八年十一月)

國內

- 一 戰時行政職權特例改正、地方行政協議會の機能強化等勅令案公布、即日實施 △新設三省、各省新機構實施 △兵役法一部改正公布、即日施行
- 二 社會功勞者、孝子、節婦等表彰、百七十五氏に恩賞
- 三 各省委員發表 △出版事業整備要綱決定 △麥の新作付に助成金交付及び増産激勵班の派遣決定
- 四 大東亞會議開く
- 五 大東亞共同宣言
- 六 大東亞結集國民大會開催
- 七 大東亞結集國民大會開催
- 八 交易業整備要綱發表さる
- 九 皇太后陛下、癩治療事業に御下賜金の御沙汰あらせらる △損保十四社の合同認可
- 二 本年度麥實收高千八百五十三萬石、農商省發表
- 二 華北政務委員會委員長王克敏氏來朝
- 三 ジャワ中央參議院議長スカルノ氏來朝 △帝都疎開計畫決定

大東亞 (大東亞戰爭戰局を含む)

- 一 ブーゲンビル島沖海戦 戦果、巡洋艦以下五十八隻以上を撃沈 △泰國議會開會 △ビルマ農業國策要綱發表 △比島、十一月十九日を「農業記念日」に設定 △比島物價問題調査委員會結成
- 二 敵ブーゲンビル島に上陸、トロキナ岬附近に於て激戦展開 △敵機二百數十機ヲバウルに來襲、中二百一機ヲ撃墜 △中支方面陸軍部隊洞庭湖西方第六戰區の重慶軍に對し進攻作戰を開始 △國府、イタリヤ、ドイツ、自由インド假政府承認
- 三 在佛印日本文化會館開館
- 四 ビルマ交通灌漑要綱發表
- 五 第一次ブーゲンビル島沖航空戦 戦果、敵空母二隻、巡洋艦四隻を轟撃沈、我方未歸還三機 △海軍航空部隊ラバウル來襲の敵八十四機を撃墜
- 六 ニューギニア島方面陸軍航空部隊活躍、六、七日兩日マザブ、アラワサの敵飛行場を攻撃、敵六十八機を撃墜破、大本營發表
- 七 第二次ブーゲンビル島沖航空戦 戦果、敵戰艦四隻以下艦船十三隻を撃沈、十一隻を撃破、飛行機十五機を撃墜、我方損害二十機 △スマタラ原住民の政治參與發表
- 八 南方第一兵團長富永信政中將前線に於て戰病死
- 九 華北政務委員會機構改變、總務、內務、財務各廳設置 △ジャワ原住民を州長官に登用
- 二 第三次ブーゲンビル島沖航空戦 戦果、航空母艦等九隻を撃沈破、我方損害三十機 △海軍部隊ラバウル來襲の敵七十一機を撃墜 △南支軍廣九鐵道沿線に肅清作戰を開始
- 三 第四次ブーゲンビル島沖航空戦 戦果、敵巡洋艦三隻を撃沈、戰艦、空母各一隻を大破、我方損害二機

世界

- 一 米英ソ共同公報、三國會談に關するコンミニクエ發表 △赤軍クリミア半島東端ケルチに上陸
- 二 米地方選舉共和黨大勝 △土、大國民議會開會 △反バルフォア宣言大會、ベルリンで開會
- 三 アラブ聯盟豫備會談終了 △米炭坑爭議解決 組合側政府提立の賃金率受諾
- 四 亞、パ通商協定成立 △獨軍ケルチ市を奪還 △獨軍南伊戰線、イセルニヤ、ヴェナフロ兩市を撤收と獨公表
- 五 獨、勃首腦會議 △英土、カイロに於て會談
- 六 アルバニア内閣成立 △セルビア内閣改造 △獨軍キエフ撤收と獨公表
- 七 米、伯協定調印 △カイロ會談公報發表 △ヒ總統ナチス黨蹶起二十周年に方り演説
- 八 佛解放委員會委員長アンリ・ジロ辭任と傳へらる
- 九 レバノン新憲法を採擇 △赤軍クリミア半島に大攻勢開始と傳へらる
- 二 佛解放委員會レバノン地方に戒嚴令布告
- 二 英内閣を改造、復興省を新設 △獨軍ドデカネーゼ群島レロス島に上陸
- 三 英海軍々令部長にジョン・トヴィー大將就任 △獨軍アドリア海のルソ、チエルク、カークの三島占領と獨發表 △赤軍ジトミールに突入、市街戰展開

二四 第二次交換船帝亞丸橫濱入港 △アンリー駐日佛大使死去

二五 帝都教育疑獄事件發表

二六 官吏減員、内務省内地方官廳及作業廳の官吏減員三萬二千二十名

二七 藤原銀次郎氏國務大臣に親任 △内閣顧問に鈴木貞一、鮎川義介、五島慶太三氏發令 △大東亞新聞大會開會 △鹽澤幸一海軍大將逝去

二八 大東亞戰爭海軍死者論功行賞發表 △徳田秋聲氏逝去

二九 大東亞新聞協議會發足 △物價行政の運営統轄、閣議決定 △輕金屬の飛躍的増産對策成る

三〇 産業設備營團總裁に廣瀬久忠氏就任

三一 支那事變、大東亞戰爭陸軍死者論功行賞發表

三二 日滿食糧自給態勢の確立へ、滿洲國緊急農地造成計畫に全面的協力閣議決定 △第二回内地産米豫想收穫高六千二百五十五萬石と發表

三三 中等學校新規卒業生の動員配置方針決る

三四

三五 科學研究の緊急整備方策要綱公布

三六

三七

三八 設備機械動員實施要綱發表

三九 大元帥陛下陸軍大學大本營陸軍部に行幸

二四 印度及びニューギニア方面に於ける陸軍航空部隊の戰果大本營發表 △印度方面九、十一日兩日敵三十三機擊破炎上、ニューギニア方面六日以降九日までに敵百七十九機以上擊墜

二五 泰國防相にピナット中將任命 △蓬新總督にグロスター公任命

二六 ビルマ、醫師並に技師に軍務徵用令公布實施

二七 第五次ブリーゲンビル島沖航空戰一戰果、敵空母三隻、巡洋艦等四隻を撃沈、我方未歸還五機 △海軍航空部隊トロキナ沖に於て敵輸送船團を強襲、艦船五隻を撃沈破、我方損害十機 △サイゴンと比島 香港間和文電報開始

二八 北支軍、山東省清河軍區共產軍肅清作戰を開始 △任國府主席ボリス印度假政府主席南京で演説、中印提携を強調 △泰、自由インド假政府承認

二九 陸軍部陸軍第六戰區進攻戰々果、大本營發表 △本月十七日迄に敵遺棄死體五千六百七十八、俘虜一千九百五十二、我方戰死二百十一

三〇 泰國第七回海軍記念日舉行

三一 敵マキン、タラワ兩島に上陸 △ビルマ第一回國民記念日舉行

三二 第一次ギルバート諸島沖航空戰一戰果、敵空母四、戰艦一など計七隻を轟撃沈、飛行機三十六機を撃墜、我方損害十五機 △ギルバート諸島で敵八十九機を撃墜と同方面地上部隊十九日以來の戰果大本營より發表

三五 トーマス・キンケード中將、西南太平洋反樞軸海軍司令官に任命さる

三六 我潜水艦敵空母を襲撃、マキン島西方海面に於て大破せしむ △第一回比島國會開會 △比島中央銀行創設發表 △敵機二十機臺灣新竹に來襲、海軍航空部隊その三機を撃墜

三七 第二次ギルバート諸島沖航空戰一戰果、敵空母二を轟撃沈 △自由インド假政府アンダマン、ニコバル諸島を改稱する旨發表

三八 第三次ギルバート諸島沖航空戰一戰果、敵空母、巡洋艦等五隻を撃沈破、我方未歸還五機 △病院船ぶえのすあいにれす敵機マキン島の敵船團を強襲、巡洋艦等三隻を轟撃沈

三九 第四次ギルバート諸島沖航空戰一戰果、敵空母以下四隻を撃沈破、我方未歸還六機 △在支帝國公使館會議、南京帝國大使館に開催

四〇 比島英雄記念日舉行

二四 フアシスト黨新綱領發表 △反樞軸空軍勃都ソフイヤ市を初空襲

二五 ボ・バ大統領會談開かる △エジプト政府大西洋憲章參加を聲明 △獨軍ジトミール撤退と獨公表

二六 英・ダフ・クーパーを佛傀儡政權に對する代表に任命を傳へらる △獨軍レロス島完全占領

二七 墨勞働者對米供給協定成立

二八 ヴエネズエラ内閣成立 △獨軍エーゲ海の三島を占領、ニカリア、バトモス、リブリスのバドリオ軍降伏

二九 マウントバツテン司令官に正式就任 △獨軍ゴメル地區撤收と報せらる △獨軍ジトミール奪回

三〇 スウェーデン對英強硬抗議 △モズレー釋放さる

三一 英機ベルグサモス島の英軍降伏、無差別大盲爆

三二 レバノン獨立聲明、クーリス大統領復職

三五 ソ聯外務人民次長にアリエフ任命 △獨軍、ブルンロフ、ケエルニヤホフ奪回、東部戰線で反撃猛進

三六 赤軍ゴメリ地區で新政勢、コロステン地區獨軍大反撃

三七 米支那移民法案議會通過 △西・英貿易協定成立 △コロシア對獨宣戰布告 △獨軍ゴメリ撤收を公表

三八 スクエーデン、アルジエと國交開始 △西南太平洋軍司令官に中將トマス・ジョー・キンケード着任

三九 獨軍コロステンを奪回 △獨軍、ククタ島北方サントリン島占領

四〇 イタリア諮問委員會開く △土重慶駐劄大使にワカイ氏任命

四一 樞反軸救濟復興會議終了

戦より次の上陸作戦に移る準備期間の飛行場は遂に使用不能の大損害を蒙つた、第一線飛行基地が使用出来な

ではわが方また自爆未帰還十五機の貴い犠牲を出したがその損害は敵に比較すると洵に微々たるものである

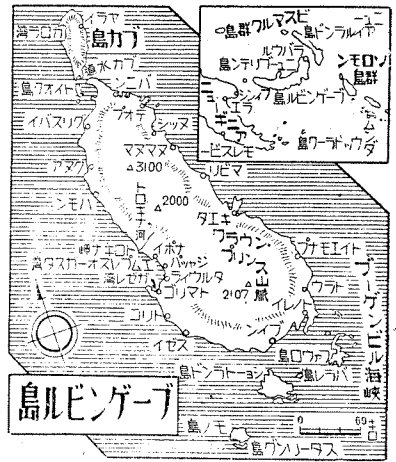
Table with columns for date, location, aircraft count, and results. Includes entries for October 28th and 29th, mentioning locations like Puka Island and aircraft counts like 130 and 135.

【四】計 二、一〇七 一八五 撃率一割強 撃率約一割七分 地上砲火で遊撃 【リスボン四日發】メルボルン來電

第一次航空戰

敵空母二、巡四轟撃沈

大本營發表(十一月六日十一時) 帝國海軍航空部隊は、十一月五日夕刻、ブーゲンビル島南方海面におい



て只今の虚判明せる
 戦果左の如し
 △撃沈 戦艦三隻、
 巡洋艦二隻（轟沈）
 巡洋艦三隻、輸送船
 四隻△撃破戦艦一隻
 △撃沈△大破△大破
 巡洋艦三隻以上△大破
 巡洋艦（若くは大型
 驅逐艦三隻以上△大
 破）大型輸送船一隻
 （炎上大破）△撃破
 十二機以上△我方の
 損害 自爆未歸還合
 計十五機

一次發表に見る如き輝やかしき戦果
 を収めたが、引續き海鷲はその猛攻
 の手を緩めず果敢な雷撃を續行した
 敵艦船は或は大破傾斜し、或は火焰
 を吐きつつわが必殺の雷撃を逃れん
 と海上をノタ打ち廻つて懸命に逃避
 を企てたがわが海鷲は飽くまでこれ
 を急追し、これに最後の攻撃を浴び
 せた、而も指揮官納富大尉の壯烈な
 敵艦突入に續いて別の指揮官中隊長
 三機も率先陣頭になつて敵艦隊に突
 進し燦として輝く偉勳を樹て南溟の
 空に散華した

敵機搭乗員も千名突破
 【十日】 わが海鷲並に海上部隊はブ
 ーゲンビル島西方海域における海戦
 第一次ブーゲンビル島沖空戦戦第二
 次ブーゲンビル島沖空戦と次々に
 驚嘆すべき大戦果を収め僅か十四日
 の短期間に敵艦船轟撃沈廿三隻、撃
 破廿二乃至廿三隻と云ふ勝利の記録
 を打ち樹てた、今この轟撃沈艦船を
 基礎に敵乗員の喪失数を推察すると
 左の如き甚大な数を算する

即ち轟沈したものでは大型航空母艦
 の乗員は約二千人、大型巡洋艦は八
 百人、巡洋艦は一隻平均三百五十人
 と見て四隻で千四百人、大型驅逐艦
 は二百五十人と見て二隻で五百人
 大型輸送船（八千トソ以上）一隻八
 百人と見て三隻二千四百人となり合
 計約七千九百人が一瞬にして海底に吞
 まれたこととなる、次に撃沈したも
 のでは戦艦一隻千六百人と見て四隻
 六千四百人、中型航空母艦二千人、
 大型巡洋艦一隻八百人と見て四隻三
 千二百人、巡洋艦三百五十人、巡洋
 艦若くは大型驅逐艦一隻三百人と見
 て三隻九百人、驅逐艦一隻二百人と
 見て四隻八百人、輸送船（五千トソ
 級）一隻五百人と見て四隻二千人、
 小型輸送船（三千トソ級）三百人と
 見て三隻九百五十人となる、うち半数は附
 近僚艦艇に救助されたとしても敵兵
 員死数は約七千九百七十五人となり
 轟撃沈艦船搭乗員中敵死總数は一
 萬五千七十五名に達する
 而もこの数は最小基準数をもつて計
 算したものであり、實際の敵兵員の
 喪失は右の数を遙かに突破するもの
 と見られる、その上敵機撃破数は四
 百四機以上となつて居り、その搭乗
 員は少くも千名を突破することは確
 實であり、敵兵員の損耗は豫想以上
 に甚大なるものがある

分、果敢な我が魚雷攻撃は展開され
 た、日没後三十分、海面一帯は漸く
 薄闇に包まれ、絶好の攻撃時刻であ
 った、先づ必殺の罫魂こめて、敵大
 型航空母艦イランド型めがけて魚
 雷を放つ、見事命中、一大爆發が起
 り、僅か二分で海底に轟沈し去つた
 續いて新型の中型航空母艦一隻もわ
 が雷撃を受けて大火災を起し、やが
 てこれも沈没、更にこれに随伴せる
 直衛大型巡洋艦二隻、巡洋艦（若し
 くは大型驅逐艦）二隻も相次いで撃
 沈し、ここに敵機動部隊十一隻のウ
 チ半数以上の六隻は南海の藻屑とな
 したのである、我が方未歸還三機
 の尊い犠牲ではあつたが、十八機の
 必殺攻撃により敵機動部隊の中核を
 一瞬に粉碎したこの偉業散華の海鷲
 もまた莞爾たるものがあるらう

（註）本航空戦を第二次ブーゲン
 ビル島沖空戦と呼稱す
 大本營發表（十一月十日十五時）
 第二次ブーゲンビル島沖空戦の戦
 果に左記を追加す
 △撃沈 戦艦一隻（既報撃破戦艦一
 隻（炎上大破）とありしもの）△撃破
 大型巡洋艦三隻（大破）巡洋艦（若
 くは大型驅逐艦）一隻△撃破三機△
 我方の損害 自爆、未歸還五機を加
 ふ

三指揮官歸す【十日】九日十日の發
 表を綜合すれば、第二次ブーゲンビ
 ル島沖空戦の綜合戦果は、撃沈戦
 艦四隻、巡洋艦二隻、驅逐艦三隻、
 輸送船四隻、巡洋艦二隻、驅逐艦二
 隻となつた、更に撃破敵艦は三
 機を加へて十五機と擴大されたが、
 この反面わが方も更に五機の尊い犠
 牲を出して自爆未歸還機は合計二十
 機になつたのである、わが海鷲は八
 日トロキナ岬附近よりブーゲンビ
 ル島南方海域に於いて有力な敵輸送船
 團並に護衛艦隊を捕捉し數回に亘り
 體當りの強襲攻撃を加へて九日の第
 二

次ブーゲンビル島沖空戦
 敵機搭乗員も千名突破
 【十日】 わが海鷲並に海上部隊はブ
 ーゲンビル島西方海域における海戦
 第一次ブーゲンビル島沖空戦戦第二
 次ブーゲンビル島沖空戦と次々に
 驚嘆すべき大戦果を収め僅か十四日
 の短期間に敵艦船轟撃沈廿三隻、撃
 破廿二乃至廿三隻と云ふ勝利の記録
 を打ち樹てた、今この轟撃沈艦船を
 基礎に敵乗員の喪失数を推察すると
 左の如き甚大な数を算する

即ち轟沈したものでは大型航空母艦
 の乗員は約二千人、大型巡洋艦は八
 百人、巡洋艦は一隻平均三百五十人
 と見て四隻で千四百人、大型驅逐艦
 は二百五十人と見て二隻で五百人
 大型輸送船（八千トソ以上）一隻八
 百人と見て三隻二千四百人となり合
 計約七千九百人が一瞬にして海底に吞
 まれたこととなる、次に撃沈したも
 のでは戦艦一隻千六百人と見て四隻
 六千四百人、中型航空母艦二千人、
 大型巡洋艦一隻八百人と見て四隻三
 千二百人、巡洋艦三百五十人、巡洋
 艦若くは大型驅逐艦一隻三百人と見
 て三隻九百人、驅逐艦一隻二百人と
 見て四隻八百人、輸送船（五千トソ
 級）一隻五百人と見て四隻二千人、
 小型輸送船（三千トソ級）三百人と
 見て三隻九百五十人となる、うち半数は附
 近僚艦艇に救助されたとしても敵兵
 員死数は約七千九百七十五人となり
 轟撃沈艦船搭乗員中敵死總数は一
 萬五千七十五名に達する
 而もこの数は最小基準数をもつて計
 算したものであり、實際の敵兵員の
 喪失は右の数を遙かに突破するもの
 と見られる、その上敵機撃破数は四
 百四機以上となつて居り、その搭乗
 員は少くも千名を突破することは確
 實であり、敵兵員の損耗は豫想以上
 に甚大なるものがある

第二次航空戦
 大本營發表（十一月九日十六時）
 帝國海軍航空部隊は十一月八日朝以
 來ブーゲンビル島南方海面に於て敵
 輸送船團並に護衛艦隊を猛攻中にし

（註）本航空戦を第三次ブーゲン
 ビル島沖空戦と呼稱す
 大本營發表（十一月十三日十六時）
 帝國海軍航空部隊は十一日晝夜
 間、敵の悪天候を冒しブーゲンビ
 ル島南方海面に於て敵機動部隊を捕捉
 攻撃し、左の戦果を得たり
 △撃沈 巡洋艦（若くは大型驅逐艦）
 一隻（轟沈）△撃破 戦艦一隻（中
 破）大型航空母艦二隻（小破）大型
 巡洋艦一隻（大破炎上）巡洋艦（若
 くは大型驅逐艦）三隻（大破炎上）驅
 逐艦一隻（大破炎上）△撃破二機△
 我方の損害 自爆、未歸還合計三十
 機

第三次航空戦
 一ラバウル來襲機七一撃墜
 大本營發表（十一月十三日十六時）
 帝國海軍航空部隊は十一日晝夜
 間、敵の悪天候を冒しブーゲンビ
 ル島南方海面に於て敵機動部隊を捕捉
 攻撃し、左の戦果を得たり
 △撃沈 巡洋艦（若くは大型驅逐艦）
 一隻（轟沈）△撃破 戦艦一隻（中
 破）大型航空母艦二隻（小破）大型
 巡洋艦一隻（大破炎上）巡洋艦（若
 くは大型驅逐艦）三隻（大破炎上）驅
 逐艦一隻（大破炎上）△撃破二機△
 我方の損害 自爆、未歸還合計三十
 機

り、本會戦に於て我方損害、驅逐艦
 一隻沈没、巡洋艦一隻小破、未歸還
 十機なり
 戰團經過【十三日】十一日晝モノ島
 西方海面において航行中の敵空母群
 戰艦群を發見、この報告に接したわ
 が海鷲群は、折柄の悪天候を衝き勇
 躍出動、一気に敵機動部隊上空に殺
 到し白晝堂々壯烈な攻撃を展開した
 氣負ひ立つた我が海鷲は正午頃小瘡
 にも挑戦し來つた敵機群の遡撃を排
 除し、敵艦隊の熾烈な砲火中に敢然
 とびこんで瞬時にして敵巡洋艦一隻
 を轟沈、更に大型航空母艦二隻に爆
 弾數發を命中せしめてこれを小破し
 巡洋艦又は大型驅逐艦三隻を大破炎
 上せしめたほか敵戰艦二機を撃破
 した、次いで同日夜わが海鷲は再び
 モノ島西方海面の敵艦隊を攻撃し、
 戰艦一隻を中破、大型巡洋艦、驅逐
 艦各一隻を大破炎上せしめたのであ
 った、この二回の攻撃とも天候若し
 く不良ではげしきスコールも戰場一
 帯を蔽ひ、攻撃は非常な困難を伴つ
 た、敵はわが強烈な攻撃を受けるや
 二回とも逸早く濃厚なスコール中に
 遁入し去つたので、第一次第二次ブ
 ーゲンビル島沖空戦に比し、その
 戦果は比較的尠なかつたのである、
 而してこの日の戦間わが方も未歸
 還十機の尊い犠牲を出したのである
 十一日午前、敵航空機群は海上部隊
 の反攻を有利に展開せしめむるため
 戰爆連合二百機の大編隊をもつてニ
 ューブリテン島ラバウルに來襲した
 同島所在のわが海鷲並に海上部隊は
 萬全の遡撃態勢を整へてゐたことと
 て直ちにこれと交戦、空海緊密な協
 力作戦によりその約三分の一の七十
 一機を叩き落したのであつた、しか

しながらこの戦開でわが方未歸還機十機及び驅逐艦一隻沈没、巡洋艦一隻小破の貴い犠牲を出した

二十九日以来ラバウル來襲 敵機三百九十一撃墜

【十三日】敵は今次のブーゲンビル島上陸作戦に併行して、わが前線基地に對する徹底的爆撃戦法を著しく強化してゐるが、その都度わが海軍海上部隊、地上部隊の邀撃を受け、甚大な打撃を蒙つてゐる、特にニュージーランド島ラバウルに對しては廿九日以後百機乃至二百數十機の大編隊をもつて攻撃を反覆十一月二日の如きは來襲機二百數十機中その九割の二百一機を撃墜され潰滅的損害を受けたのであるが、その後も依然攻撃を斷念せず、執拗な來襲を續けてゐることは、敵の攻勢企圖の強靱性を物語るのである、二十九日以来敵機のラバウル來襲状況左の如し

日	來襲機數	撃墜數
十月二十九日	九〇	一九
十一月二日	二百數十	二〇一
五日	一四八	八四
七日	約八〇	一六
十一日	二〇〇	七一
計	七百數十	三九一

右に見る如くわが空陸海各部隊は二十九日以来、來襲機數七百數十機中その半分以上の三百九十一機を撃墜した譯だが、航空戦の損害は度外視しても、敵はラバウル地區にて貴重なる搭乗員を數千名以上喪失したことになる

大本營發表(十一月十四日十五時) 帝國海軍航空部隊は十一月十三日未明、ブーゲンビル島南方海面に於て敵機動部隊を捕捉攻撃し、左の戦果を得たり

△撃沈 大型巡洋艦一隻(轟沈) 巡洋艦一隻(轟沈) 驅逐艦一隻△擊破 戰艦一隻(大破) 中型航空母艦二隻(大破) 我方の損害 未歸還二機

(註) 本航空戦を、第四次ブーゲンビル島沖空戦と呼稱す

戰團經過【十四日】十三日未明戰艦、巡洋艦、驅逐艦を配する極めて有力なる敵艦艇が輸送船團を間接に護衛しつつブーゲンビル島の西方海域を北上中であつた、この有力な敵艦隊を發見した我が海軍部隊は午前三時頃雷撃機隊を以つて折からの曉闇を衝いて出撃、壯烈な必殺戦法を以て敵艦艇群を目がけて殺到敵艦艇から射出す熾烈なる對空砲火を排除しながら敢然必殺の魚雷を浴せかけ大型巡洋艦一隻及び巡洋艦一隻を轟沈、驅逐艦一隻を撃沈する戦果を擧げ、更に息づく間もなく周章狼狽して遁走を企てる残存の敵艦艇を追撃、戰艦一隻を大破せしめるとも速力鈍り避退しつゝあつた中型航空母艦一隻を大破せしめたこの敵空母は後甲板から黒煙を蒙々と吐いてゐることを認められたので撃沈の確認出来るなかつたが沈没したものも推定されてゐる、しかしわが海軍もこの戦團において尊い未歸還二機の犠牲を出した

第四次航空戦

戰艦一、空母一を大破

大巡、巡、驅各一を撃沈

第五次航空戦

空母三、巡艦等四轟撃沈

大本營發表(十一月十七日十六時三十分)

帝國海軍航空部隊は、十一月十七日未明ブーゲンビル島南方海面に於て、敵機動部隊を捕捉攻撃し、左の戦果を得たり

△轟沈 大型航空母艦一隻△擊沈 中型航空母艦二隻、巡洋艦三隻、大型軍艦(艦種未詳)一隻△我方の損害未歸還五機

(註) 本航空戦を第五次ブーゲンビル島沖空戦と呼稱す

戰團經過【十七日】十七日未明わが海軍は航空母艦三隻を基幹とし、これに巡洋艦其他を配する有力な敵大部隊がブーゲンビル島ムツツビ岬西方數十里を航行中なるを發見、此飛行に接するや待期中の我が攻撃機隊は打撃し獲物に欣喜雀躍、必殺の魚雷を抱いて敵艦群に殺到した、かく我海軍は海も空も曉闇に包まれてゐるなかに體當りの肉薄雷撃を敢行或は的確無比の爆撃を加へたまち大型空母一隻の轟沈をはじめ中型空母二隻、巡洋艦三隻、大型軍艦(艦種未詳)一隻撃沈の赫赫たる戦果を収めたのであつた、特に航空母艦三隻中その全部を海底の藻屑と化せしめたことは昨年十月の南太平洋海戦における敵空母四隻撃沈に次ぐ、記録である今次の航空戦においてわが方は未歸還五機の尊い犠牲を出した

トロキナ沖敵輸送船 團猛攻

輸送船三、驅逐艦一撃沈破

大本營發表(十一月十八日十五時三十分) 帝國海軍航空部隊は十一月十七日早朝トロキナ沖海面に於て上空哨戒中の敵機約三十機の抵抗を排除しつつ敵輸送船團を強襲し歸途約百機の敵機と交戦せり、本戦團に於て

政略に引ずられた米軍の反攻

【十八日】ブーゲンビル島沖の連戦決戦は彼我必死の攻防裡に、既に三週間に亘り闘はれつゝあり、皇軍があげたる驚天動地の大戦果は敵が太平洋方面に結集した海上勢力の大半を南海に屠り、敵米國にとつてはまさに致命的な大敗戦である、一戦ごと世界に多大の衝動を與へつゝあると共に各方面には俄然米國は何が故にかかる執拗且つ一見無暴とも思はれる程の大攻勢をとるに至つたかといふ議論が盛んとなりつつある、數次に亘る敵大艦隊のブーゲンビル島沖出撃は言ふまでもなく、先にブル島立自滅より救ふと共にブーゲンビル島を制壓することによつて、更にラバウルの皇軍基地攻撃の舉に出でジャワ、ボルネオ、延いては比島等對する戰略的觸手を伸ばし、かく對する進歩して、彼らが言ふ所謂「日本を妨害して、彼らが言ふ所謂「日本を妨害して、彼らが言ふ所謂「日本を妨害して、彼らが言ふ所謂」の思ふ壺に嵌つたとは考へられなかつたので、米國としては、他の多くの讓歩の代償として、太平洋戦線重視の姿態を示す必要を感じた、従つて三國會議の中途より、重慶代表の引込みを策動して、四國共同宣言に蔣介石の名を連ねるなどの空疎な手

長官連中の獨斷を以てしては、決してよくなし得るところではない、これは必ずワシントンの米政府最高首腦部の一致した政略兩略的決意によつて指令され、實行されたものと見べきである、然らば米獨擲暴舉は、何か故にかける乾坤一擲の暴舉を敢てせざるを得なかつたかを靜觀するに、そこには本年初頭、皇軍

がとり來つた戦線整備作戦に基く轉進現象を以て、「日本軍令や抵抗力弱る」と烏滸がましくも誤認して心驕つた結果だといふことも、確かにあつたには相違ない、然し更によく事情を検討すればそこには米國が今日置かれつつある國際的位置から来る必然性が看取されるのである、即ちその一は、着々と前進する大東亞の建設工作から来る敵の脅威であつてビルマ、フィリピン、印度獨立運動の目醒ましき進展、更に大東亞諸國の大團結體制の迅速且つ鞏固なる確立は、米國にとつては、武裝以上の大脅威となつて來たので、米國としては、是非ともこの際、かかる體制の確立を妨止すべく必死の反撃を決意したものである

段を弄したが、これ悉く米代表ハルの策謀に由るものである、モスクワにおいて右の如き外交攻勢を展開する一方、南太平洋において相當の犠牲を拂つても、一應の大攻勢をとることにより、重慶、濠洲、ニュージランド等の沿太平洋反極軸諸國の太平洋作戦第一主義要求に迎合して自己の對英ノ地位優越を確信すると共に、米國內部にも無視すべからざる勢力を占めてゐる太平洋第一主義者を満足せしめて、来るべき大統領選挙に備へんとするの深き謀略を秘めたものであつたと見られる

【十八日】 十月廿七日敵米軍がモノ島上陸以來十一月十八日までブーゲンビル島方面における海航空戦の大本營發表並に本社南方第一線基地來電による綜合戦果左の如し
一、敵に與へたる損害
△轟沈 大型航空母艦二隻、大型巡洋艦二隻、巡洋艦五隻、巡洋艦若くは大型驅逐艦一隻、大型驅逐艦二隻、大型輸送船三隻、計十五隻
△擊沈 戰艦四隻、中型航空母艦三隻、大型軍艦(艦種不詳)一隻、大型巡洋艦四隻、巡洋艦四隻、巡洋艦若くは大型驅逐艦三隻、驅逐艦六隻、輸送船六隻、中小型輸送船四隻、計卅五隻
(註、轟撃沈合計五十隻)

この他上陸用舟艇四十隻以上擊沈
△擊破 戰艦二隻、大型航空母艦二隻、中型航空母艦一隻、大型巡洋艦十乃至十一隻、巡洋艦一隻、巡洋艦若くは大型驅逐艦八隻、驅逐艦四隻、大型輸送船三隻、中型輸送船一隻、小型輸送船二隻、計卅四隻乃至卅五隻

【十九日】 ブーゲンビル島方面において帝國海軍が組織的に打ちたてた勝利の報に全國民の士氣は彌が上にも昂揚されつつあり、敵米軍が十月廿七日モノ島に上陸して以來僅か二十三日の間に、大本營發表の海空戦だけでもモノ島附近海面における海空戦(十月廿七日早朝)①モノ島東方海面及びブーゲンビル島西方海面における海空戦(十月卅一日夜より十一月二日朝まで)②ブーゲンビル島沖海空戦(十一月一日夜)③第一次ブーゲンビル島沖航空戦(十一月五日夕)④第二次ブーゲンビル島沖航空戦(十一月八日朝)⑤第三次ブーゲンビル島沖航空戦(十一月十一日晝及び夜)⑥第四次ブーゲンビル島沖航空戦(十一月十三日未明)⑦第五次ブーゲンビル島沖航空戦(十一月十七日未明)⑧ブーゲンビル島沖における海空戦(十一月十七日早朝)と九回連續、而も終始わが方の一方的大勝利に終つてをり、しかも九次に亘る海空戦のうち海鷲のみによつて敢行されたもの丈でも八回あり、うち航空戦の呼稱を得たもの五回に達してゐる事實を思ふとき、我々は近現代における航空戦の占める地位の

大きさを痛切に感ずる、なほ五日夕の第一次ブーゲンビル島沖航空戦以降十七日未明の第五次航空戦に至ると、戦艦四隻を擊沈二隻を擊破し、航空戦のみの綜合戦果を艦種別に見ると、戦艦四隻を擊沈二隻を擊破し、三隻を擊破、航空母艦五隻を擊破し、九隻を擊破、巡洋艦七隻を擊破、巡洋艦若くは大型驅逐艦三隻を擊破、七隻を擊破、驅逐艦四隻を擊破、一隻を擊破、輸送船四隻を擊破、一隻を擊破計五十一隻を擊破と云ふ驚異の數に達し、平均一航空戦に十隻を擊破したことになる、轟撃沈破別綜合戦果左の如し
敵に與へたる損害
△轟沈 大型航空母艦二隻、大型巡洋艦一隻、巡洋艦三隻、巡洋艦若くは大型驅逐艦一隻、計七隻
△擊沈 戰艦四隻、中型航空母艦三隻、大型巡洋艦二隻、巡洋艦三隻、巡洋艦若くは大型驅逐艦七隻、輸送船四隻、計廿三隻
△擊破 戰艦二隻、大型航空母艦二隻、中型航空母艦一隻、大型巡洋艦七隻、巡洋艦若くは大型驅逐艦七隻、驅逐艦一隻、大型輸送船一隻、計廿一隻
△轟撃沈破合計五十一隻
△擊破 十八機
二、我方の損害 △自爆未歸還六十機

發表以外の大戦果

自十月廿七日至十一月末日
【三十日】 十一月十七日未明ブーゲンビル島南方海面において我が海軍航空部隊の擧げた赫々たる戦果は十七日午後四時卅分大本營から發表されたが、去る十月廿七日の敵一部兵のモノ島上陸以來ソロモンを繞る彼の死闘はかつてなき槍絶さをもつて空に海に陸に一大消耗戦を展開した、ブーゲンビル島周邊及びラバウル方面における廿七日以降十一月末日までの本社第一線基地電報による戦況を示すと左の如くである(大本營發表を除く)
△十月廿七日夕 我が海鷲はベララベラ島敵飛行場を爆撃、滑走路その他飛行場施設を爆撃、一ヶ所炎上せしむ、我方被害なし
△十月廿七日夕 我が海鷲はニューイヂョリア島島ノダの敵飛行場を爆撃、軍事施設を爆撃、一ヶ所炎上せしむ、我方被害なし
△廿八日午前 敵戦連合七十八機がブーゲンビル島南方のバラレ島に來襲し我が海軍守備隊は地上砲火でその廿七機を擊破
△廿九日午前 ラバウル方面の我が陣地にロッキードP38戦闘機、コンソリデーテッドB24重爆等九十機をもつて攻撃を加へて來たが我が海軍戦闘機隊は直ちにこれを邀撃し彼我入り亂れての壯烈な空戦を展開してP38十七機、B24二機を擊破、P24四機を擊破した、この戦場で我が方未歸還四機、損害七機
△卅日朝 敵戦連合百四十五機の大編隊がブーゲンビル島所在の我が守備部隊は猛烈な對空十字砲火を浴せて敵爆撃機三機を擊破した、我が方地上施設に輕微な損害を受けたのみ
△十一月一日午前 敵は戦連合延百三十機の大編隊をもつて前後二回にわたリブーゲンビル島北端に隣接するブカ島の我が陣地に來襲、同島所在の我が守備部隊は直ちにこれを邀撃し對空砲火を浴せてその十七機を擊破した、我方地上施設に若干の損害があつた
△二日朝 我が海鷲はニューイヂョリア島島ノダの敵飛行場を攻撃、二ヶ所を爆撃、一ヶ所より火災を生ぜしむ、我が方全機無事歸還
△四日午前 敵戦連合延百五十八機が三回に亘リブーゲンビル島ブイラ島に來襲、我が地上部隊はその十五機を擊破
△五日朝 又もや二回に亘リグラマソンF6F、ポードP38戦闘機、コンソリデーテッドB24爆撃機等戦連合延百四十八機の大編隊をもつて同島に來襲した、わが海軍戦闘機隊は直ちに舞ひ上つて敵機群中に突入り、壯絶、極りなき大空中戦を展開、現在までに判明せる戦果だけでも敵機五十一機を擊破したが、其後空戦、艦艇及び陸海軍地上部隊の對空砲火により更に三十三機を擊破した、従つて撃破總數は八十四機に達し、來襲機數の二分の一以上を空海陸三位一體の邀撃戦により叩き落した譯である、我方未歸還機四機
△五日 我が海鷲はベララベラ島ビロアを爆撃、二ヶ所爆撃、一ヶ所大火災、我方損害なし
△同日夜 我が海鷲はニューイヂョリア島島ノダ方面の敵陣地を爆撃

【二十日】 十一月十七日未明ブーゲンビル島沖航空戦以降十七日未明の第五次航空戦に至ると、戦艦四隻を擊沈二隻を擊破し、航空戦のみの綜合戦果を艦種別に見ると、戦艦四隻を擊沈二隻を擊破し、三隻を擊破、航空母艦五隻を擊破し、九隻を擊破、巡洋艦七隻を擊破、巡洋艦若くは大型驅逐艦三隻を擊破、七隻を擊破、驅逐艦四隻を擊破、一隻を擊破、輸送船四隻を擊破、一隻を擊破計五十一隻を擊破と云ふ驚異の數に達し、平均一航空戦に十隻を擊破したことになる、轟撃沈破別綜合戦果左の如し
敵に與へたる損害
△轟沈 大型航空母艦二隻、大型巡洋艦一隻、巡洋艦三隻、巡洋艦若くは大型驅逐艦一隻、計七隻
△擊沈 戰艦四隻、中型航空母艦三隻、大型巡洋艦二隻、巡洋艦三隻、巡洋艦若くは大型驅逐艦七隻、輸送船四隻、計廿三隻
△擊破 戰艦二隻、大型航空母艦二隻、中型航空母艦一隻、大型巡洋艦七隻、巡洋艦若くは大型驅逐艦七隻、驅逐艦一隻、大型輸送船一隻、計廿一隻
△轟撃沈破合計五十一隻
△擊破 十八機
二、我方の損害 △自爆未歸還六十機

【リスボン廿日發】 マルボルン來電
西南太平洋反極軸軍司令部は日本航空部隊が十九日戦連合でブーゲンビル島トロキナ岬の米軍陣地を爆撃し損害及び死傷を出した旨廿日發表した

ブ島米軍陣地を爆撃

【リスボン廿日發】 マルボルン來電
西南太平洋反極軸軍司令部は日本航空部隊が十九日戦連合でブーゲンビル島トロキナ岬の米軍陣地を爆撃し損害及び死傷を出した旨廿日發表した

△五日夜 我が海鷲はブーゲンビ
 △六日朝 敵戦艦九十七機がブー
 △七日午前 敵戦艦約八十機がラ
 △八日 敵戦艦延四十機がブーゲ
 △九日午前 敵中機約六十機がブ
 △十日夜 我が海鷲はブーゲンビ
 △十一日深夜 我が海鷲はブーゲ
 △十二日深夜 我が海鷲はブーゲ
 △十三日未明 我が海鷲はブーゲ

△十四日夜間 敵中機十数機ラバ
 △十五日夜 我が海鷲はブーゲン
 △十六日未明 我が海鷲はブーゲ
 △十七日 早朝我が海鷲はブーゲ
 △十八日未明 敵B24数機バリ島に
 △十九日 敵中機約六十機がブ
 △二十日黎明 トロキナ河口にある
 △廿一日晝間 ブーゲンビル島ブイ
 △廿二日未明 敵戦艦連合七十機が来襲、同
 △廿三日朝 帝國海軍航空部隊は数

炎上せしめた
 △同日夜 わが海鷲はモノ鳥敵陸上
 △廿四日未明 海軍航空部隊は引續
 △同日朝 ノースアメリカンB25爆
 △同日夜 我が海鷲はブーゲンビ
 △同日朝 ノースアメリカンB25爆
 △同日夜 我が海鷲はブーゲンビ

【南太平洋】〇基地十二月一日發
 去る十一月二十九日午前三時頃約二
 個中隊よりなる敵部隊は陸上用舟艇
 をもつてトロキナ東方約十五キロナ
 ボイ西方二キロの地點に上陸を企て
 わがトロキナ地區部隊の背後を衝か
 るとしたので、かねてこのことある
 を豫期してゐたわが陸の精銳は寡兵
 にも拘らず敵の上陸部隊に對し善謀
 勇戦、遂に同日午後三時頃これを海
 岸線に追つめ狼狽する敵を鐵袖一觸
 殲滅せしめるの偉功をたて凱歌をあ
 げた

一機を撃墜した
 △同十一月十五日 同諸島にコンソ
 リデーデッドB24九機來襲、わが方
 地上砲火でその一機を撃墜し他に甚
 大な損害を與へて撃退した
 △以上の來襲敵機数を合計すると約
 三百機弱になりうち廿四機を撃墜し
 た譯だが、右のほかギルバート諸島
 西方のナウル島に對しては二十日
 ボイにもコンソリデーデッドB2
 十大型哨戒爆撃飛行艇一機が來襲し
 たが、わが方空戦でこれを撃墜、更
 に十月十五日朝には同島附近海上で
 わが海鷲は敵PB2Y一機と遭遇空
 戦のちこれを撃墜した

ギルバート諸島に來襲

マキン、タラワ兩島に上陸

大本營發表(十一月二十二日十六時
 三十分)航空母艦並に戦艦を含む敵
 の有力なる部隊は、十九日朝來艦載
 機及艦砲を以てマキン島及タラワ島
 を反覆砲撃し、其の一部兵力は二
 マキン島及び嘗つての濠洲委任統治
 領たるナウル島に對し、コンソリデ
 ーテッドB24爆撃機、グラマン戦闘
 機等戦艦連合延二百数十機が來襲し
 たがわが海鷲並に地上砲火はこれを
 撃退その二十二機を撃墜した
 △同十月十四日、マキン島に對しコ
 ソリデーデッドB24六機が來襲、
 わが方地上砲火でこれを撃退した
 △同十月廿日 同諸島方面にコンソ
 リデーデッドB24が六機來襲したが
 わが守備隊はこれを撃退した
 △同十一月十四日 同諸島に二回
 亘つてコンソリデーデッドB24延十
 七機が來襲、わが方地上砲火でその

第一次ギルバート航空戦
 空母一、驅逐艦一、空母三、
 戦艦一等大破撃艦百二十五機
 大本營發表(十一月廿三日十五時)
 ギルバート諸島方面今尙激戦中にして
 特にタラワ島に於ては、上陸點附
 近を中心とし激闘行はれつつあり、
 十九日以降海軍航空部隊並に地上部
 隊に依り得たる戦果左の如し
 △海軍航空部隊に依るもの
 △撃墜 中型航空母艦一隻(轟沈)
 △撃破 大型航空母艦二隻(大破内
 一隻は沈没の算大なり) 中型航空母
 艦一隻(大破、沈没の算大なり) 戦
 艦(若くは巡洋艦)一隻(大破炎上)
 輸送船一隻(大破炎上)
 △撃墜三十六機(内不確實三機)
 △地上部隊に依るもの
 撃墜八十九機(内不確實二十二機)
 我方の損害
 △自爆未歸還合計十五機
 宮前、秋山兩大尉體當り【二十三日】

敵機來襲日誌

【廿二日】ギルバート諸島占領以後
 極まる抵抗に遭遇激戦繼續中である

わが海軍並に地上部隊が十九日以来、敵中型航空母艦一隻、驅逐艦一隻を轟沈、大型航空母艦二隻、中型航空母艦一隻を大破、戦艦若くは巡洋艦一隻、輸送船一隻を夫々大破炎上せしめ、敵機百二十五機を撃墜、又しも驚異の大戦果を収めたことを明らかにした、而も大破せしめた大型航空母艦二隻のうち一隻と中型航空母艦一隻は撃沈の算極めて大であり、來襲空母の三隻は悉く居り去つたが、戦艦はなほ繼續中なることを思ふと實際の戦果は發表の数字を確實に突破してゐることは論をまたない、斯かる大戦果のかげには指揮官宮前大尉、同秋山大尉の壯絶極まりない體當りをはじめ自爆未歸還十五機の貴い犠牲のあることを忘れてはならぬ、即ち十九日早朝同諸島海域に嚴重な監視網を張りめぐらしてゐたわが海軍哨戒機隊は空母、戦艦各數隻よりなる大輸送船團を發見、この報に接するや折柄の悪天候を物ともせずわが海軍は勇躍出動、以來連日に亘り敵艦隊に對し猛烈果敢な攻撃を反復強行し、この間敵機三十六機を撃墜したほか前述の大戦果を挙げ、一方タラワ、マキンの地上部隊は敵艦隊の艦砲射撃、敵機の熾烈な爆撃、敵上陸部隊の執拗な攻撃に對し憤絶な邀撃戦を展開し對空砲火のみによつて敵機八十九機を撃墜したほか敵上陸部隊に甚大な損害を與へてゐるのである。

米上陸軍を發表 【ブエノスアイレス廿二日】眞珠灣來電によればニミッツ司令官は廿二日次の通り發表したといはれる。

ガダルカナル島その他ソロモン水域において戦つた第二海兵隊が陸軍歩兵第廿七師團とともにギルバート諸島に上陸した。

上陸作戦敵側指揮官 【ブエノスアイレス廿二日發】眞珠灣來電に米國太平洋艦隊司令官はギルバート上陸作戦における各擔當指揮官の氏名を次の通り發表した。

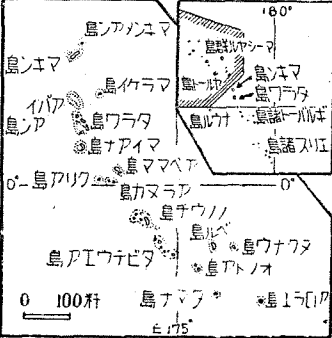
△中部太平洋作戦司令官
海軍中將 レイモンド・A・スプ
ルアンズ

△水陸兩用軍司令官
海軍少將 リチモンド・K・ターナー

△タラワ島上陸部隊
第二海兵隊師團長少將 ジュリアン・スミス

△マキン島上陸部隊
少將 ホランド・スミス

【ブエノスアイレス廿二日發】ニユール・タイムズ紙バールハーブ特電によればギルバート諸島のマキン、タラワ兩島に對する米國軍の上陸作戦に参加してゐる陸上基地飛行機は中部太平洋航空部隊司令官フ



ウアが指揮してゐるといはれる。

【ブエノスアイレス廿五日發】眞珠灣來電に米國太平洋艦隊司令官は、大佐ガバナー・コンロイが去る廿日ギルバート上陸作戦指揮中戦死した旨廿五日發表した。

第二次、第三次ギ島沖航空戦

敵空母四隻轟撃沈、一隻大破、巡艦三隻撃沈破

大本營發表(十一月二十九日十五時)

ギルバート諸島方面の後の戦況左の如し

一、帝國潜水艦は二十五日未明マキン島西方海面に於て敵航空母艦一隻を攻撃し之を大破(沈没概ね確實)せしめたり

二、帝國海軍航空部隊は二十六日夕刻ギルバート諸島西方海面に於て敵機動部隊を攻撃し航空母艦二隻を撃沈(内一隻轟沈)せり

三、帝國海軍航空部隊は廿七日夕刻ギルバート諸島西方海面に於て更に來襲し來れる敵機動部隊を攻撃し左の戦果を得たり

△撃沈 航空母艦二隻(内大型航空母艦一隻轟沈) 巡洋艦二隻

△撃破 巡洋艦(若くは戦艦)一隻(大破炎上)

我方の損害未歸還五機なり

(註)本航空戦を第三次ギルバート諸島沖航空戦と呼稱す

四、タラワ島及マキン島の戦況に就ては同島守備部隊との連絡絶え、状況詳かならざるもタラワ島に於ては

尙敵艦續行中のもの如く海軍航空部隊は同島敵陣地を連續爆撃中なり(附記)既報二十三日のギルバート諸島西方海面に於ける航空戦を第一次ギルバート諸島沖航空戦と呼稱す

【二十九日】ソロモン方面作戦の有利な展開を企圖し、同時にギルバート諸島よりマニヤル、カロンを経て日本本土を襲はんとする不逞極まる野望の下に、米太平洋艦隊司令官ニミッツが編成し得る最強最大の艦隊を擁してハワイ方面よりギルバート諸島南方に姿を現はし、たのは十九日であつた、その後より彼岸不遜にも米海軍長官フツタのニミッツ等は中部太平洋方面より大々的對日新反攻を呼號したのであつたが、わが海軍は十九日以降二十日までに敵中型空母及驅逐艦各一隻轟沈はじめ大型空母二隻、中型空母一隻、戦艦若くは巡洋艦一隻、輸送船一隻大破といふ赫々たる大戦果をもつて酬いたことは既に大本營より發表されたところである、斯かる痛烈な打撃にも拘らず敵の反攻は益々熾烈化し、大艦隊を續々繰り出し、タラワ島、マキン島上陸部隊の援護と増援補給を繼續してゐた、わが海軍に對しては又とない絶好の機会が到來した、血の出る様な刻苦鏖鏖が到來した、このために續けられたものである、斯くて發表の如く第二次第三次ギルバート諸島沖航空戦が展開されたのであるが、これに先立ち、廿五日未明、ギルバート諸島方面海域に敵機動部隊を求めて行動中のわが潜水艦は、タラワ、マキン島西方海面に敵航空母艦を捕捉し沈着蒙蔽稱されることになつた、我が方は第三次航空戦において未歸還一機第三次

に放つた、瞬時にして數本の魚雷は見事敵空母の艦腹に喰ひこみ大爆発を起した、既にわが潜水艦は海底深く退退したとて、連續的爆撃と撃沈音とを聞いたのみで、確認こそ出来なかつたが、沈没の公算極めて大であつた、大本營は慎重を期して大破と發表したがその後わが海軍はその附近海面でゴム製救命ボートその他空母のものらしき浮流物を數多く目撃してをり、沈没は確實と見られてゐる、次いで二十六日薄暮、わが海軍航空部隊は敵空母をタラワ、マキン西方海面に捕捉し、壯烈な攻撃を反復、その一隻を轟沈、他の一隻は猛火に包まれないながら一分後には艦尾から沈みはじめ、やがてこれも浪間に吞まれて去つた、この海戦が第二次ギルバート諸島沖航空戦であるが、翌二十七日にもわが海軍はタラワ、マキン西方海面に再び敵空母集團を發見、薄暮を衝いてこれに殺到し、熾烈な敵の對空砲火を巧みにわが必殺の魚雷を受くるや敵大型空母一隻は眞二つに折れてまたたく間てタラワ島、マキン島上陸部隊の援に姿を没し、次いで他の空母一隻も全艦猛火に包まれながら沈みさつた、更に巡洋艦二隻もわが雷撃により相次いで撃沈し、巡洋艦若くは戦艦一隻は大破炎上、炎々たる火焔は海闊の海面に赤々と照映え、憤絶な光景を呈した、この海戦が第三次ギルバート諸島沖航空戦と呼稱された、なほこれにより廿二日發表のギルバート諸島西方海面における航空戦は第一次ギルバート諸島沖航空戦と呼稱されることになつた、我が方は第三次航空戦において未歸還一機第三次

海鷲マキン島環礁を 猛攻

大巡二撃沈破、輸送船一撃破

大本營發表(十一月廿日十五時三十分)帝國海軍航空部隊は十一月廿八日夕刻マキン島環礁内に在泊中の敵輸送船團を攻撃し左の戦果を得たり
△撃沈大型巡洋艦一隻(轟沈) △撃破大型巡洋艦一隻(大破炎上) 輸送船一隻(大破炎上) △我方損害なし

戦史空前の一大犠牲

【ブエノスアイレス二十八日發】

タラワ島に對する上陸作戦に際して米軍は甚大な打撃を受け第二海兵師團長スミスの如きも比類を見ない激戦と稱してゐるが、米人特派員の前線報道によればタラワ島に達するまでの礁湖には至る所水雷が敷設され、且つ鐵條網が縦横無盡に張り廻され、海邊には機關銃が据ゑつけられてゐて海兵隊が渡渉して海邊に近付くと共に一齊に掃射を浴せた、米國艦隊は沖合から「史上空前の艦砲射撃」を集中したが、日本軍は特火點に立籠つて機關銃迫撃砲小銃を浴せ礁湖を渡渉して漸く上陸した米軍はここで又甚大な損害を受けた、米國紙並に各通信社の代表として今回の上陸作戦に参加したリチャードジョンストンは二十七日次の通り報道してゐる

「米軍がタラワ島に上陸出来たのは全く奇蹟に近い、海兵師團全體を通じての米軍の損害についてはまだ正確な數字は判らないが、今回の戦況が米軍の戦史上空前の流血の慘事であり、死傷者の數が極端に高いこと

は參謀連の齊しく認める所だ、師團報道部長トーマス・コレイも「米軍が上陸作戦に成功したのは海兵隊の大多數が決死の覚悟だつたからだ」と述べてゐる、米軍は戦死すること

が分りきつてゐたにも拘らず進軍し残りの部隊は戦友の屍を越えて前進したから上陸作戦に成功出来た譯だ日本軍の機關銃座は海邊に立並んで堅固な城郭を形造つてをり更に背後にもつと大きな砲が据ゑられてゐる海邊から數フイット離れた水中には鐵條網が張られてゐる、現に米軍の上陸した地點でも海岸には海兵隊の死骸が横はつてゐるので海邊を通ることさへなかなか困難だ、日本軍の砲で上陸用舟艇が吹飛ばされると共に海兵隊は淺瀬を渡つて海岸に突撃することが出来た日本軍機關銃の掃射を浴び鐵條網の上を轉げながら進撃しなければならぬ、鐵條網の一區切り間に海兵隊の死體十一がぶら下つてゐるのを自分が見撃した、曾つて見ざる激戦【ブエノスアイレス二十八日發】米軍第二海兵師團長

少將ジュリアン・スミスは今回の世界大戰開始以來太平洋方面の密林戦には全部參戰してゐるといわれるが前線からの報道によれば同人は「米國の日本軍の抗戦が日々に猛烈な點で從來類例がない位だ、米軍が海兵隊の死骸を乗越えて僅かに橋頭堡を確保したが、この戦ひは嘗つてみられなかつた血腥い死闘であつた」と述べたと傳へられる

心臓を奪ふ皇軍の攻闘【ブエノスアイレス廿八日發】ギルバート諸島における日本軍守備隊の勇戦敢闘振りけ全く鬼神の業に等しく、大統領

の御曹子ジェームズ・ルーゾヴェルト中佐は命からがらマキン島の前線からパールハーバーに歸還したが廿七日記者團に對し次の通り語つたと傳へられる

「日本軍の滲透作戦に對抗する爲に夜間何でも良いから動くものを狙撃する他はない」

又ガダルカナル島の戦闘に参加したエヴァン・カールソン中佐もタラワ島における日本軍の敢闘振りを傳へ廿七日次の通り言明したと言はれる「ガダルカナル島の戦闘は自分が嘗て見たこともない位の激戦であつたが、しかしタラワ島の上陸作戦に較べると全然問題にならない、日本軍陸戦隊は日本軍の中でも非常な精鋭で、長さ二哩半、一番廣い所で幅八百里のタラワ島に據つて猛烈な抗戦を繼續してゐる米軍海兵隊は當初タラワ環礁の主要な島の北側に上陸したが、日本軍は全く恐るべき勢で抗戦し撤収する様子など絶対に示さな

い」

最も困難な戦闘【ブエノスアイレス廿八日發】パールハーバー來電「米國太平洋艦隊司令長官ニミッツはギルバート諸島方面の前線を視察して廿日パールハーバーに歸還したが、ギルバート方面に於ける米國軍の苦戦を認め、ギルバート諸島で非常に組織化された日本軍の攻撃に遭遇した、就中タラワ島に對する攻撃は太平洋戦域で米國軍が今までに経験した最も困難な戦闘である」而してニミッツの前線視察に於て中部太平洋艦隊司令部司令官中將リチャードソン、太平洋艦隊司令官中將ニユートン、中部太平洋海軍航空司令部司令官少將フーヴア等も參加した

戰術的過失【ブエノスアイレス三十日發】三十日眞珠灣來電に依ればギルバート諸島作戦米水陸兩用部隊司令官少將スミスは前線司令部に於ける記者團との會見に於いてタラワ島に於ける日本軍の勇戦を重ねて認め同島作戦に於いて米軍は過失を犯した旨次の如く言明したと傳へられる「タラワ島作戦において米軍は過失を犯した一半の責任は此の戦術上の過失が負ふべきものである、上陸以前決死的精神がなかつたならば上陸は不可能であつたであらう、日本軍は過去十五ヶ月間にタラワ島を要塞化しこれに精強部隊を配してゐた、米海兵隊は日本軍の機關銃座破壊のために友軍の屍を乗り越えて前進せねばならなかつた」

第四次ギ島沖航空戦

空母二、軍艦一撃沈、大巡一を大破

大本營發表(十二月一日十五時)帝國海軍航空部隊は、十一月二十九日薄暮、ギルバート諸島東方海面に於て、敵機動部隊を攻撃し、左の戦果を得たり
△撃沈 航空母艦二隻(内一隻轟沈)
△撃破 大型巡洋艦一隻(大破炎上)
△我方の損害 未歸還六機
(註)本航空戦を第四次ギルバート諸島沖航空戦と呼稱す

戰闘經過【十二月一日】帝國海軍航空部隊は廿九日薄暮、敵機動部隊がギルバート諸島東方海面に現れるのを飛電に接し勇躍出動敵上空に殺到し

た、又しても我が海鷲の薄暮肉薄攻撃に敵機動部隊は早くも狼狽、眞白な急弧を描いて避退行動を開始した敵艦載戦闘機もわが攻撃を阻止せんと小竈にも挑戦して來たが、わが海鷲は敵機の抵抗を排しつゝ、空母へ、巡洋艦へ、獲物を狙つた大鷲の如く颯々和大氣を截つて襲ひかゝり、命中音、裂音、火柱、幕閉に包まれた海洋は一瞬にして修羅場と化し、赤い火線を曳いて敵の對空砲火がわが攻撃機を縫ひ圍む、必殺の魚雷を喰つて敵空母一隻が一瞬にして海底に吞まれたと見るや、他の空母一隻も大火焰に包まれ乍らやがて艦尾より沈みはじめ、これも海面から姿を沒した、艦種未詳一隻も沈み去り、大型巡洋艦一隻は蒙々たる火焰に包まれながら洋上をみにくくノタ打ち廻る、かくてわが海鷲は極めて短時間の薄暮攻撃に於て敵艦四隻を撃破するの大戦果を収め、航空戦史に輝く一頁を加へたのであつたが此の薄暮攻撃において我方も六機の貴い未歸還機を出したことは洵に哀悼にたへない

ギルバート海域の綜合戦果
【十二月一日】ギルバート諸島方面に於て去月十九日以降第四次ギルバート諸島沖航空戦に至るまでの間に帝國海軍航空部隊並に潜水艦の収めた綜合戦果左の如し(地上部隊による對空戦果を含む)

一、敵に與へた損害 △轟沈(六隻) 航空母艦四隻、巡洋艦一隻、驅逐艦一隻 △撃沈(六隻) 航空母艦三隻、巡洋艦二隻、艦種未詳一隻 △撃破(十隻) 航空母艦四隻、戰艦(若くは巡洋艦)一隻、巡洋艦(若くは戰艦)一隻

△我方の損害 未歸還六機

△我方の損害 未歸還六機

艦一隻、大型巡洋艦(大破炎上)二隻、輸送船二隻、空母二百二十五機(内不確實二十五機)
二、我方の損害 自爆未歸還二十七機
執拗な敵の空母中心作戦
【十二月一日】十九日早朝ニミッツの敵空母集團がギルバート諸島海域に現はれてから僅か十一日、この短期間にわが海軍は敵空母十一隻を轟撃沈破し、他の十一隻の艦船を損失せしめたる、洵に超人の攻撃と云ふべきであらう、特に注目すべきは撃沈破總數二十二隻中、空母の占める割合はその半數の五割となつてゐる點であり、一連の海空戦において斯かる高率の空母損失は如何なる戦史にもその例を見ないところである、右數字によつても明らかなる如く、敵中心のギルバート諸島反攻は空母集團の作戦であり、再建空母を中心とする再反攻といふところに極めて重大な意義を認めねばならない、而も昨年八月以降同年末に亘りソロモン海域に戦けた屢次の海戦において、敵は空母中心主義を採用したのであつたが、當時は空母と艦隊との平行の協同作戦で、今次の空母中心作戦とは著し趣を異にする、次いで年初以來六月三十日のレンドバ島上陸、十月二十七日のモノ島上陸等では敵は基地航空隊中心主義をとつて來たが、モノ島上陸を轉機に空母作戦を基地航空隊作戦に併用せしめるに至つた、併しながら今次のギルバート諸島方面新反攻作戦においては、敵は尙大規模な空母集團を擁して來た、わが制空權下にある海域に

一般

ニユーギニア 緬支綜合戦果 大本營發表(十一月二日 十五時三十分)

きに敵がフィンシハーヘン附近に上陸するや、わが陸軍部隊はこれを邀へて猛撃の火蓋を切り、爾後彼我兩軍互に兵力を増強し、戦況は日一日と激化したが、殊に十月十七日杉野挺身中隊が海上機動によつてフィンシハーヘン北方のソング河南岸に突入して、敵陣に楔を打ち込んで以來、肉弾相撃つ死闘が展開されるに至つた、わが軍は敵の制空權下極度の補給難を克服し、頑敵を壓倒し所期の目的を達成したもので次期作戦の準備に移つたもので十月十六日以降二十九日迄に敵遺棄死體二千六百四十八、火砲六門、銃器六百五十挺各種彈藥十四萬發を鹵獲するとともに彈藥糧秣集積場數ヶ所、火砲十門を爆破する輝く戦果を収めた、又フィンシハーヘンの戦鬪に呼應しマダン南方地區に進出した敵に對しては依然猛攻を續け、わが軍はジャングル地帯を縱横し進行し神出鬼沒敵の後方を攪亂し敵陣を極度に動搖せしめてゐる、九月下旬以來マダン附近の戦鬪で敵に與へた損害は一千名以上に達してゐる、九月上旬わが軍はサラモア、ラエ附近より轉進して以來現在までにニユーギニア島において敵に與へた戦果の總計は實に一萬數千名に上つてゐる、西南太平洋方面の敵はなほ後方に有力な機動兵力を有してゐる模様で、敵の新たな企圖に對しては充分戒心の要がある、又ビルマ戦局をめぐる緬支國境雲南方面においてもわが作戦は十月上旬開始以來極めて順調に進捗し、該方面のわが精銳部隊は鎧袖一觸破竹の勢を以て敵重慶軍を攻めまくつ、怒江以西においてその退路を遮断して敵を隨所に捕捉、撃滅し、次期作戦

めたことは眞に無謀と云ふべきだが反面敵反攻意圖の嘗つてなき旺盛さを知り得ると同時に、航空兵力が近代戦において如何に重要な地位を占めてゐるかを如何に物語るものであつて、わが海軍はすでに十九日以降一日一隻の割合で敵空母を撃沈破してゐるが、この輝かしい勝利の記録をもつてしても我々は敵空母陣に潰滅的打撃を與へたとの判断を輕々しく下すを許さないう、敵が空母の建艦に全力を傾注してゐる現状よりしても、或は現に制式空母及び補助空母を併せて數十隻を超越する空母を保有してゐることよりしても、敵の戦闘餘力はなほ十分に存するものと考へねばならず、而も敵の熾烈強靱な戦意を想ふとき我々には些かの樂觀をも許されない、なほ十一月五日の第一次ブーゲンビル島航空隊以降敵空母陣に與へたわが戦果の詳細の如し

を準備中であるが、十月上旬以降、同廿七日迄の間にすでにわが軍は遺棄死體千二十、俘虜百十の赫々たる戦果を挙げ、敵を同じて顔色なからしめてゐる、最近の同盟電の傳へるところによれば今次のわが電撃作戦によつて怒江西岸の渡河點は盡くわが軍に制壓され重慶軍は目下高黎貢山系中に袋の鼠となつてゐるが、重慶軍事代辦者曾慶極は廿九日の記者團會見において重慶軍はやがて補給困難に陥り、怒江西岸から全面的に撤退を撤儀なくされようと呼くも重慶軍の撤退を言明し、敵の早撃せるビルマ反攻はわが方の機先を制する雲南進撃作戦に早くも重大なる危機に直面し、抗戦重慶陣營の脆弱面を露呈するに至つてゐる

陸軍の戦果

大本營發表(十一月十四日十四時三十分)

△空母撃沈破戦果
一、ブーゲンビル島方面
十一月五日 撃沈二隻
十一月十一日 撃破二隻
十一月十三日 撃破一隻
十一月十七日 撃沈三隻
計 撃沈五隻、撃破三隻
二、ギルバート諸島方面
十一月自十九日至廿一日
撃沈一隻、撃破三隻
十一月廿五日 撃破一隻
十一月廿六日 撃沈二隻
十一月廿七日 撃沈二隻
十一月廿九日 撃沈二隻
計 撃沈七隻、撃破四隻
二、合計
撃沈十二隻、撃破七隻

△マダン南方地區の我部隊は、逐次増強中の敵に對し果敢なる攻撃を續行中にして、九月下旬以降現在迄に敵に與へたる損害一千名を下らず
二、緬支國境方面の作戦は順調に進捗し、該方面の我部隊は、怒江以西の重慶軍の退路を完全に遮断し、敵を隨所に捕捉撃滅すると共に次期作戦を準備中にして、十月上旬以降同二十七日迄に収めた主要なる戦果次の如し
△遺棄死體一、〇二〇〇俘虜一一〇
△鹵獲彈藥約一三〇、〇〇〇發
△戰鬪經過【二日】ニユーギニア島のフィンシハーヘン附近のわが軍は九月二十二日敵の上陸以來、一ヶ月餘に亘り優勢なる米濠軍に對し、痛烈な果敢なる攻撃を反覆し、敵を徹底的に蹂躪し去つたので愈々態勢を整へ敵を隨所に捕捉、撃滅し、次期作戦

△陸軍の戦果
一、ブーゲンビル島方面
十一月五日 撃沈二隻
十一月十一日 撃破二隻
十一月十三日 撃破一隻
十一月十七日 撃沈三隻
計 撃沈五隻、撃破三隻
二、ギルバート諸島方面
十一月自十九日至廿一日
撃沈一隻、撃破三隻
十一月廿五日 撃破一隻
十一月廿六日 撃沈二隻
十一月廿七日 撃沈二隻
十一月廿九日 撃沈二隻
計 撃沈七隻、撃破四隻
二、合計
撃沈十二隻、撃破七隻

△陸軍の戦果
一、ブーゲンビル島方面
十一月五日 撃沈二隻
十一月十一日 撃破二隻
十一月十三日 撃破一隻
十一月十七日 撃沈三隻
計 撃沈五隻、撃破三隻
二、ギルバート諸島方面
十一月自十九日至廿一日
撃沈一隻、撃破三隻
十一月廿五日 撃破一隻
十一月廿六日 撃沈二隻
十一月廿七日 撃沈二隻
十一月廿九日 撃沈二隻
計 撃沈七隻、撃破四隻
二、合計
撃沈十二隻、撃破七隻

去る六日より九日に至る四日間にラマダン上空においてP40六機と交戦
ム河、マールカム河に沿つて敵飛行場一機を撃墜、撃破炎上各一機、わが
群上空に殺到、マザブ、テンビ等敵方損害自爆一機
航空基地に對して猛撃を加へること六回、その間地上部隊と密接に協力
して、撃破炎上七十九機以上の戦果を挙げ、緬甸方面においても同
九日より十一日に至る間、印緬國境中部地域の敵飛行場群インパール、
パレル、シルチア等を襲つて撃破炎上卅三機以上といふ雨季明け後初の
戦果を挙げた、これら兩方面における戦闘においては拂はれたわが撃墜機
性は、ニューギニア方面において未歸還十五機、印緬國境方面において
は全く損害なく敵をわが雄翼下に惜伏せしめてある、而してニューギニ
ア方面における六次に亘るわが航空戦闘および地上戦闘の詳報は次の如
くである

一、ニューギニア方面
△第一次攻撃 六日六時四十五分、戦爆連合の編隊をもつて、マザブ飛行場を奇襲、挑戦し來つたP40二機を撃墜、銃爆撃により地上撃破五十九機以上、わが方損害なし
△第二次攻撃 同日十二時五十分、戦闘機群をもつて、マザブ飛行場を攻撃、敵機と遭遇せず、同じくマザブ飛行場を攻撃敵機を認めず
△第三次攻撃 七日六時十分、戦爆連合をもつてマザブ飛行場を攻撃、約三十機の敵戦闘機と交戦、その十六機(内不確實四機)を撃墜、地上撃破約六十機、わが方損害未歸還七機
△第四次攻撃 七日十時五十五分、マザブ飛行場を攻撃、その一部はテンビ飛行場に對地攻撃を加へ、歸途

雨季明けとともにこの方面における敵空軍の來襲は日を追つて積極化され而も敵は最近國境方面の前線基地を整備し、これに各種機を繰込みつてあつた際であり、今次雨季明け後初の戦果は意義大なるものと期待されるべきものであるが、飽くまでも執拗なる敵の挑戦は各戦線において連二無二推し進められつつあり、戦局の推移は一刻もゆるがせに出来ぬ状態にある

米海軍の損害

【アノスアイレス二十八日發】自軍の損害を「小出し發表」するのは米軍當局の常套政策だが、ワシントン來電に依れば米國海軍省は二十日開戦以來の米海軍の死傷者總計は三萬一千六百六十二名であるとの通り發表、例によつて米海軍兵員損害の一小部分だけを認めた

△開戦以來の米海軍(海軍、海兵隊沿岸警備隊)の損害
①戦死一二、八一〇名
②負傷五、六二一〇名
③行方不明八、九四三〇名
その他四、二八八〇名
合計三一、六六二

敵海軍司令官着任

【リスボン二十七日發】メルボルン來電「西南太平洋反極軸軍司令官部は中將アーサー・カーベントンの後任として中將トーマス・シー・キングが二十六日西南太平洋反極軸海軍司令官に着任した旨二十七日發表した

敵機新竹に來襲

【廿六日】高雄警備府發表(昭和十八年十一月廿六日十六時卅分)
十一月廿五日午後敵機約二〇機臺灣新竹に來襲せるも帝國海軍航空部隊は之を逸撃し其の三機(内不確實二機)を撃墜せり、我方の損害は輕微なり

支那方面

支那派遣軍週間戰況

【南京五日發】(十一月五日發表)山西省太岳軍區の剿共作戰は敵を隨所に壓迫掃蕩し戦果を擴大してゐるまた他の有力なる部隊は山西省西北部に蟠居する賀龍麾下の第百廿師を殲滅すべく九月廿六日より行動を開始したが、既に赤色の牙城興縣周邊を別決すべく、既に黄河流域に進出、重要渡河點を確保し、更に反轉して山岳地帯に進攻中で、山西省全域に亘る剿共作戰は最高潮に達してゐる我が航空部隊は二日建甌(福建省)玉山(江西省)麗水の各飛行場を急襲し滑走路を爆砕した、また三日香港、廣東に戦爆連合の大編隊をもつて來襲した支米空軍を珠江上空で捕捉し、P40二機に有効撃を與へこれを撃退した、最近重慶はビルマ反攻を呼號し各所に遊撃戰を企圖してゐるやうであるが、全支に亘る派遣軍の積極活潑なる肅清討伐は常に敵の機先を制し、その計畫を挫折せしめてゐる

【南京五日發】(十一月十二日發表)わが中支軍は去る二日以來洞庭湖西方一帯に進攻作戰を展開し隨所に敵を撃滅し戦果を擴大中である、即ち航空部隊の緊密なる協力のもとに二日行動を開始したわが地上部隊は、堅陣と持んで反攻せんとする敵第九十四、暫編第六、第百五十、第百六十一、敵百十二の各師を撃滅、敗走する敵を急追して早くも七日までに敵の重要據點たる猛溪寺、柳林寺、南縣、安鄉、麻河口、大堰壩、茶元寺、西齊、煖水街、扁山河、開口、梅溪寺等を占領、目下敗走する敵を追つてその最大據點たる津市、邊縣、河口、新安に迫つてゐる

本作戦開始以來の我が熾烈なる攻撃は、量的に支那に於ける日本軍を過少評價してゐた重慶にとり一大痛棒となり、重慶軍は今や周章狼狽して重慶周邊の防禦に狂奔してゐる、一方わが陸軍航空部隊は地上部隊と密接な協力の下に十日戦爆の大編隊を以て敵前線航空基地たる老河口、長陽を奇襲し、滑走路、油倉庫等を始め軍事施設を爆砕、敵の舉動企圖を紛砕して多大の戦果を収めた

【南京十九日發】(十一月十九日發表)さきに洞庭湖西方地區の第一線陣地を撃破したわが中支軍は航空部隊の緊密なる連携のもとに連日の悪天候を克服し多大の戦果を収めつつ破竹の進軍を續行中である、即ち敗走する玉甲本麾下の二萬一千を巴山山中に捕捉したわが部隊はこれを包圍攻撃して二十日子長坪を初め敵の各要衝を占領、また王文斌麾下の第七十三軍を急追せる他の有力部隊は十四日早くも新安、石門等の敵重要據點を占領し十五日には澧水の渡河點三江口を扼し陸路一體の協力により敵を包圍殲滅しつつある、更に十一日宜都を占領したわが精銳部隊は引續き漢洋河沿岸の敵各據點を矢繼早に攻略し戦果擴大中である、廣東香

港地區においては去る十一月以來本
作戦に呼應して行動を起した南支軍
各部隊は所在の敵を掃蕩剔抉し、赫
々たる戦果を収めて十四日原態勢に
復歸した、此の外河北省中部地區に
復して共産軍剿滅作戦進行中の方が
北支軍は去る八日敵八路軍國民部隊
の本據を奇襲し、同政治主任王蓮芳
以下幹部若干名をはじめ多数の捕虜
及び兵器を鹵獲するなど多大の戦果
を収めてゐる、また敵空軍の出撃は
最近稍々活潑化しつつあるもその都
度わが邀撃にあつて撃墜破せられ、
シエンノートが豪語する米蔣混成空
軍の弱體ぶりを如實に示してゐる

遣支軍九月中綜合戦果

【南京廿六日發】十一月廿六日發表
洞庭湖西方に作戦中の方が軍はその
後怒濤の進出を續行し、津市、濃縣
等の敵要衝を陥して濃水ラインを突
破、早くも十八日敵第七十四軍の本
據慈利、並に臨澧を占領、所在の敵
を撃破しつつ、廿一日桃源を攻陥し
引續き隨所に敵を包圍殲滅中である
また他の有力部隊は突如常德東方龍
陽に急襲攻撃を敢行、廿日夕刻これ
を完全に占領し、目下潰走する敵を
捕捉攻撃中である、この他常德周邊
の陣地取手中、徳山市等の矢繼
ぎ早の占領は桃源龍陽の占領と相俟
つて、今や常德包圍の態勢を完了し
その陥落は時間の問題となつてゐる
が、これが重慶に與へる影響は物心
両面に亘り實に多大なものがある、
この他わが軍は航空部隊並に國府軍
の緊密なる協同の下に去る十八日以
來大陸各地に剿共戦を展開し、多大
の戦果を収めてゐる、即ち北支にお
いては魯北蕭清作戦を開始し目下舊
黄河並に小清河下流に蟠居する清河
軍區共産軍を徹底覆滅中である、南

支那における廣九線西方の剿共戦は十

支における廣九線西方の剿共戦は十
九日はやくも敵の本據大嶺を占領引
續き戦果擴大中である、なほ航空部
隊は地上作戦に協力するほか、小嶺
にも出撃を企圖して奮動する米蔣混
成空軍を撃滅すべく廿一日戦爆連合
を以て恩施を奇襲八樹を撃墜せるを
始めとして廿二日には常德の危急を
救済せんと挑む敵二萬を寧郷(長沙
西方五キロ)に捕捉爆撃し續いて二
十、二十四日の兩日に亘り常德並に
その周邊を急襲するなど赫々たる戦
果をあげた

北 國府治安軍戦果

【北京一日發】治安軍では
一日討伐隊の戦果を左の如
く發表した
△治安軍發表(十一月一日午後六時
卅分)
一、治安軍討伐隊は九月六日即墨縣
三都河附近において敵五千餘と遭
遇これを攻撃し俘虜廿一、遺棄屍三
五〇、重機一、小銃九三その他多数
の戦果を収めた

山西省全域に剿共戦續行

【北支前線にて三日發】全華北中共
黨軍の完全剿滅を期して展開された
今次華北秋季作戦の有力なる一環と
して、現地軍部隊は去る十月二日以
來赤色太岳軍區に鐵錐を加へつつあ
り、また他の有力なる諸部隊は山西
省西北部の所謂中共晋西北軍區に蟠
居する賀龍麾下の第二十師を掃滅
すべく去る九月廿六日行動を開始し
連枝山脈の天險に壯烈なる肅清戦を
實施中で、山西省の南北に亘るわが
雄犬なる剿共作戦は愈々最高潮に達
してゐるが、現地軍では右につき二
日次の如く公表した

華北綏靖軍四ヶ年の綜合戦果

【北京十九日發】華北綏靖軍は建军
以來四ヶ年、皇軍精銳の強力なる一翼
として自主積極的な作戦構想の下に
華北建設上最大の癒たる蔣共兩軍の
徹底的剿滅に挺身し來つたが治安總
署督辦杜錫鈞氏の華北綏靖軍總司令
兼任を機に十九日午後三時、民國廿
九年の建军頭初から本年十月下旬ま
での左の如き赫々たる綜合戦果を發
表した(括弧内は國府參戰以來十月
末までの綜合戦果)
一、華北綏靖軍十九日午後三時發表
△交戰回數一、三一四(四五六)△
敵屍並に捕虜二、二二二(八四九)
△鹵獲品野砲二、迫擊砲二九(五)
砲彈三〇三(三二二)重機八五(二
七)同彈四、〇三三(一二七)小銃
五、四五四(三二二)同彈九三、
四五〇(一九九)三九九)拳銃一、五
四五(九七六)同彈三、一〇七(二五
六)洋砲七三一(二四五)爆彈三一

洞庭湖西方進攻作戦

敵遺棄死體五千六百
大本營發表(一月十九日十六時)
十一月二日開始せられたる洞庭湖西
方の重慶軍第六戰區に對する進攻作
戦は其の後、順調に進捗中にして、
十一月十七日迄に判明せる主要なる
戦果次の如し
一、敵に與へたる損害 △遺棄死體
五、六七八△俘虜一、九五二△鹵獲
火砲二二門△同銃器一、〇三三挺
二、我が方の損害 戦死二二一名
三、蔣軍四ヶ軍團を粉砕(洞庭湖方面の敵
十九日發)去る二日洞庭湖方面の敵
第六戰區に怒濤の如く進撃した中支
軍精銳は、雄渾なる中央突破作戦を
決行し、作戦開始以來二旬を出ずし
て敵が最精銳を誇る第六十六、第七

中 粵漢線方面の蠢敵

【漢口十五日發】中支軍今
次作戦の進展に伴ひ粵漢線方面の敵
はわが虚に乗せんと蠢動を開始した
が、その都度わが警備軍のため大打
撃を受けてゐる、即ち十二日蒲圻方
面の方が部隊は同地東方十キロ南山
附近に潜入の敵を奇襲これを潰亂せ
しめ、遺棄死體十五、俘虜二十二、
小銃百一の戦果を挙げた、また十三
日午後八時敵第九戰區別働隊約百五
十が通山北方の和平軍を攻撃し來つ
たが、交戦一時間の後敵は死體十五
を遺棄して潰走した、更に十四日五
時半頃楓樹灣方面に出動中の方が部
隊は敵第三百三十三師の三百九十八團
特務連長以下廿二名を殲殺し、輕機
三、小銃一七、その他彈藥多数を鹵
獲した

支 粵漢線方面の蠢敵

【漢口十五日發】中支軍今
次作戦の進展に伴ひ粵漢線方面の敵
はわが虚に乗せんと蠢動を開始した
が、その都度わが警備軍のため大打
撃を受けてゐる、即ち十二日蒲圻方
面の方が部隊は同地東方十キロ南山
附近に潜入の敵を奇襲これを潰亂せ
しめ、遺棄死體十五、俘虜二十二、
小銃百一の戦果を挙げた、また十三
日午後八時敵第九戰區別働隊約百五
十が通山北方の和平軍を攻撃し來つ
たが、交戦一時間の後敵は死體十五
を遺棄して潰走した、更に十四日五
時半頃楓樹灣方面に出動中の方が部
隊は敵第三百三十三師の三百九十八團
特務連長以下廿二名を殲殺し、輕機
三、小銃一七、その他彈藥多数を鹵
獲した

支 粵漢線方面の蠢敵

【漢口十五日發】中支軍今
次作戦の進展に伴ひ粵漢線方面の敵
はわが虚に乗せんと蠢動を開始した
が、その都度わが警備軍のため大打
撃を受けてゐる、即ち十二日蒲圻方
面の方が部隊は同地東方十キロ南山
附近に潜入の敵を奇襲これを潰亂せ
しめ、遺棄死體十五、俘虜二十二、
小銃百一の戦果を挙げた、また十三
日午後八時敵第九戰區別働隊約百五
十が通山北方の和平軍を攻撃し來つ
たが、交戦一時間の後敵は死體十五
を遺棄して潰走した、更に十四日五
時半頃楓樹灣方面に出動中の方が部
隊は敵第三百三十三師の三百九十八團
特務連長以下廿二名を殲殺し、輕機
三、小銃一七、その他彈藥多数を鹵
獲した

支 粵漢線方面の蠢敵

【漢口十五日發】中支軍今
次作戦の進展に伴ひ粵漢線方面の敵
はわが虚に乗せんと蠢動を開始した
が、その都度わが警備軍のため大打
撃を受けてゐる、即ち十二日蒲圻方
面の方が部隊は同地東方十キロ南山
附近に潜入の敵を奇襲これを潰亂せ
しめ、遺棄死體十五、俘虜二十二、
小銃百一の戦果を挙げた、また十三
日午後八時敵第九戰區別働隊約百五
十が通山北方の和平軍を攻撃し來つ
たが、交戦一時間の後敵は死體十五
を遺棄して潰走した、更に十四日五
時半頃楓樹灣方面に出動中の方が部
隊は敵第三百三十三師の三百九十八團
特務連長以下廿二名を殲殺し、輕機
三、小銃一七、その他彈藥多数を鹵
獲した

支 粵漢線方面の蠢敵

【漢口十五日發】中支軍今
次作戦の進展に伴ひ粵漢線方面の敵
はわが虚に乗せんと蠢動を開始した
が、その都度わが警備軍のため大打
撃を受けてゐる、即ち十二日蒲圻方
面の方が部隊は同地東方十キロ南山
附近に潜入の敵を奇襲これを潰亂せ
しめ、遺棄死體十五、俘虜二十二、
小銃百一の戦果を挙げた、また十三
日午後八時敵第九戰區別働隊約百五
十が通山北方の和平軍を攻撃し來つ
たが、交戦一時間の後敵は死體十五
を遺棄して潰走した、更に十四日五
時半頃楓樹灣方面に出動中の方が部
隊は敵第三百三十三師の三百九十八團
特務連長以下廿二名を殲殺し、輕機
三、小銃一七、その他彈藥多数を鹵
獲した

支 粵漢線方面の蠢敵

【漢口十五日發】中支軍今
次作戦の進展に伴ひ粵漢線方面の敵
はわが虚に乗せんと蠢動を開始した
が、その都度わが警備軍のため大打
撃を受けてゐる、即ち十二日蒲圻方
面の方が部隊は同地東方十キロ南山
附近に潜入の敵を奇襲これを潰亂せ
しめ、遺棄死體十五、俘虜二十二、
小銃百一の戦果を挙げた、また十三
日午後八時敵第九戰區別働隊約百五
十が通山北方の和平軍を攻撃し來つ
たが、交戦一時間の後敵は死體十五
を遺棄して潰走した、更に十四日五
時半頃楓樹灣方面に出動中の方が部
隊は敵第三百三十三師の三百九十八團
特務連長以下廿二名を殲殺し、輕機
三、小銃一七、その他彈藥多数を鹵
獲した

十三、第七十九、第四十四軍計四ヶ軍團九ヶ師八萬五千を完膚なきまで撃碎蹂躪し、西は楚西山地より南は澧水河畔に至る東西三百キロ、南北百五十キロに及ぶ廣大なる地域を確保するとともに、敵が蔣介石ラインと自負する安卿、津市、澧縣、石門の各要衝を奪取、大本營發表にみるが如き戦果をあげ、更に〇〇目指し猛進撃を續行中である、今次洞庭湖方面進撃作戦の特徴としては、ピルマ方面反樞軸軍の對日總反攻に便乗せんとする重慶の不逞なる野心を未然に制壓、徹底的に重慶軍の戦力を撃碎した點にある、かくて湖江盆地の要衝を掌握したわが軍はここにおいて進撃態勢全く成り絶對不敗の布陣のもと今後の豫想されるに至つた

米空軍、重慶軍を盲爆

【中支前線〇〇基地十五日發】連日戰機連合もつて江南戦線に來襲、その都度正確なるわが地上砲火によつて撃退されてゐる在支米空軍は或は二千五百乃至三千メートルの高度から盲滅法に爆彈を落して徒らに農家を破壊し、或は戦火から避難しようとしてゐる住民を皇軍と誤認してこれに機銃を浴せるなど各所において暴虐ぶりを遺憾なく發揮してゐるが、〇〇の戦場においては皮肉にもごく近距離にあつた重慶軍を皇軍と誤認して盲爆を加へ、重慶軍兵士と

桃源、限市龍陽奪取

【中支前線〇〇廿三日發】我が精銳防衛たる沅江ラインの要衝桃源に突入した、既設陣地によつて頑強に抵抗する敵は我が急進撃に狼狽して西方に敗走、これに對し廿一日早朝來猛爆を加へ、〇〇部隊また猛進中北岸の要衝限市中を攻略した、又北方から一氣に南下中の〇〇部隊は連日の激闘にも屈せず數線を亘る陣地で頑強に抵抗する河洲の敵を猛攻目下逐次戦果擴大中で河洲の陥落も目睫に迫つた、一方洞庭湖南岸〇〇方面から進撃中の覆面〇〇部隊は第七十三軍、第四十四軍殲滅中の諸部隊に呼應して第九戰區第九十九軍の第百

七里橋に突入

【中支前線廿六日發】常德攻略戦に呼應し七里橋(常德東方二キロ)に據つた頑強なる敵に對して我が精銳は猛攻を加へ、廿六日午前五時廿分北方より進出した〇〇部隊は遂に城壁に突入した、さらに〇〇部隊は正門城外のトーチカ群を一つ一つ銃眼射撃によつて風潰しに攻撃を加へ城内突入の各挺身部隊は敵を各所に

敵機岳州に來襲

【中支〇〇前線十三日發】十二日午後四時頃在支米空軍B25六機、P40四機よりなる戰機連合の敵機隊は岳州に來襲したが、わが地上部隊は敢然とこれに應戦、瞬く間にB25二機を撃墜他を遁走せしめた、わが方の損害は殆どなかつた

常德、桃源で激戦

【リスボン廿三日發】重慶來電重慶軍事委員會は廿三日の戦況公報で湖南省北部常德附近の戦場に關し次の通り發表した
常德攻防戦は同市北方、東方の外廓で續けられ、手榴彈、銃剣を使用し苦烈なる白兵戦が繰り返されてゐる常德南方で沅江を渡河した日本軍は徳山を経て常德東南方の要衝漢壽縣に到達し同地の重慶軍と激戦中である、日本軍の他の一隊は限市を攻略した後廿一日朝以來桃源に對し猛進撃を開始したが、その後の戦況は不明である

常徳城内に突入

【南京廿日發】支那派遣軍報道部發表(十一月三十日十二時)
一、洞庭湖西方における重慶軍第六戰區に對する作戦は開始以來二週間にして中央突破約十萬の戦力を徹底的に破潰せり
二、我が軍は敵の最重要據點として約一個師の固守する常德に對し十一月二十六日以來攻撃中にして城門、城壁は奪取せるも城内においては今は殘敵掃蕩中なり
三、陸軍航空部隊は終始地上部隊に緊密に協力し多大の戦果を收めつつあり

戰闘經過

【中支前線〇〇三十日發】廿六日未明わが總攻撃開始以來、敵に續々兵力を増強し山砲、機關砲、重機を配して頑強に抵抗、更に一部は城外に出撃して支那部落に放火しわが後續部隊の進出を妨害してゐるが、わが軍は廿六日未明早くも東門並に北門を確保し爾來逐次戦果を擴大し、廿八日朝には西門を奪取し東、西、北の三門悉く手中に收め完全占領を目指して猛進撃を續行中である、廿八日正午までに判明した戦況次の如し

支南

【香港四日發】在支米空軍は三日午後三時及び四時頃の二回亘り夫々戰機連合二十機をもつて廣東及び香港に來襲を企圖したがわが航空部隊は廣東、香港間の虎門附近上空及び廣東西方珠江河畔上空で捕捉攻撃し甚大な打撃を與へて北方及び西方に潰走せしめた、右に關し香

敵機の香廣來襲企圖粉碎

一齊猛撃の掩護下一部突入部隊に呼應して後續部隊は夜襲を繰返し、敵の手榴彈、銃火器の猛射をかい潜り城壁下に殺到、更に廿八日八時卅分挺身隊の地雷による果敢な城壁爆破と共に突撃路を擴大し、潮の如くを展開、戦果擴大中
西門附近廿七日夜來我が有力〇〇部隊は猛烈果敢なる夜襲戦を續行して西門城外並にその南側附近にある各種工場を次々に奪取したが、この一帯に密集するベトン式近代トーチカに據る頑敵を肉弾に次ぐ肉弾を以て撃破、廿八日七時廿分西門に殺到これを占領、城内へと雪崩込んだ
陥落迫る【リスボン三十日發】重慶來電によれば重慶軍事委員會も遂に常德の最後が來たことを認めざるを得ず、三十日附の戦況公報で次の通り發表した
常德攻防戦は遂に最終段階に入つた日本軍は二十九日拂曉より空軍、砲兵隊の協力の下に總攻撃を開始し十六時には北門及び市街戦が演ぜられ、二十九日夜から三十日午前にかけて凄絶な戦闘が繼續されてゐる、重慶軍の損害は甚大に上つてゐる

支南

【中支前線廿六日發】常德攻略戦に呼應し七里橋(常德東方二キロ)に據つた頑強なる敵に對して我が精銳は猛攻を加へ、廿六日午前五時廿分北方より進出した〇〇部隊は遂に城壁に突入した、さらに〇〇部隊は正門城外のトーチカ群を一つ一つ銃眼射撃によつて風潰しに攻撃を加へ城内突入の各挺身部隊は敵を各所に

敵機岳州に來襲

【中支〇〇前線十三日發】十二日午後四時頃在支米空軍B25六機、P40四機よりなる戰機連合の敵機隊は岳州に來襲したが、わが地上部隊は敢然とこれに應戦、瞬く間にB25二機を撃墜他を遁走せしめた、わが方の損害は殆どなかつた

桃源、限市龍陽奪取

【中支前線〇〇廿三日發】我が精銳防衛たる沅江ラインの要衝桃源に突入した、既設陣地によつて頑強に抵抗する敵は我が急進撃に狼狽して西方に敗走、これに對し廿一日早朝來猛爆を加へ、〇〇部隊また猛進中北岸の要衝限市中を攻略した、又北方から一氣に南下中の〇〇部隊は連日の激闘にも屈せず數線を亘る陣地で頑強に抵抗する河洲の敵を猛攻目下逐次戦果擴大中で河洲の陥落も目睫に迫つた、一方洞庭湖南岸〇〇方面から進撃中の覆面〇〇部隊は第七十三軍、第四十四軍殲滅中の諸部隊に呼應して第九戰區第九十九軍の第百

港占領地總督部では左の談話を發表した

△香港占領地總督部談(十一月四日)
△香港占領地總督部談(十一月四日)
昨三日十五時過ぎ十六時過ぎの二回
に亘り在支米空軍は夫々戰機連合二
十數機を以て廣東及び香港の空襲を
企圖し、大撃來襲せるもわが方はこ
れを廣東香港開港門附近上空及び廣
東西北珠江河畔上空に捕捉猛襲して
大打撃を與へ北方及び西方に潰亂遁
走せしめその企圖を撃挫せり

敵機汕頭に来襲

【汕頭十七日發】 十六日十五時頃在
支米空軍ノースアメリカンB25二機
が汕頭に来襲、市内外數ヶ所を盲爆
無辜の市民多數を殺傷したが、わが
熾烈なる對空砲火によりいち早く西
方に遁走した、わが方施設及び邦人
に被害はなかつた

海南島來襲敵重機一機撃墜

【海口廿四日發】 十九日朝敵B25二
機が海南島に來襲、わが海軍戰機機
隊はこれと交戦、一機を撃墜、他の
一機を撃退した

廣九沿線地區肅清作戰

【廣東十三日發】 廣東香港地區間に
突如行動を開始したわが作戰部隊の
作戰に關し、南支軍では十三日左の
如く發表した

廣九線北段東側掃蕩完了

【南支〇〇前線十六日發】 廣九鐵路
東側地區に潰走せる敵敗殘部隊を急
追して東江以南銅湖以西地區に包圍
陣を形成した南支軍〇〇部隊の精銳
漸次戰果を擴大し、十四日夕刻には
廣九線北段の沿線ならびにその東側
地區掃蕩を完了、次期作戰の準備を
なしつつあるが、この間に於ける戰
果のうち十三日までに分明せるもの
は輕機二、小銃一五〇その他で更に
増大の見込みである

支那各地空襲

支那派遣我陸軍航空部隊、北中支に
地上部隊と協力して敵が據點を連爆
し、或は米空軍前進基地を急襲して
敵出撃の企圖を封殺して居るが十一
月中に於ける戰果左の如し
△建甌(米空軍基地) 二日(飛行場
施設爆撃)
△老河口(宜昌北方一七〇キロ) 十
日(飛行場施設、油倉庫爆破)
△長陽(宜昌西南二四キロ) 十日(軍
事施設爆撃、敵兵銃爆撃)
△磨石(長陽縣東方二〇キロ) 七日
(軍事施設、敵兵爆撃)
△恩施(米支聯合空軍基地) 廿一日
(飛行場爆撃、敵八機撃墜)
△飛利南方廿一日(第五一、五八兩
師爆撃)
△率鎮、羊角溝(山東省) 廿一日(敵
部隊、敵舟艇群爆撃)
△寧鄉(長沙西方五〇キロ) 廿二日
(二萬の敵大隊痛撃)
△平江、長沙湘潭 廿三日(第九戰
區要衝連爆)

△香港十七日發】 在支米空軍は十六
日午後戰機連合十數機の編隊を以て
小嶺にも香港上空に來襲、裏香港の
山頂にある我が陸軍病院目をかけて暴
虐にも投擲、その一發は同病院の正
門近くに、他の數發は病舎周邊に落
下炸裂したが我方の機宜の處置によ
り入院患者その他に被害はなく、病

發展を招來せんとするにあり

南支軍報道部長談【廣東十三日發】
廣東香港間の新作戰の意義並に目的
に關し本日左の如き南支軍報道部長
談が發表された

南支軍發表

南支軍は首港總督部
と緊密なる協力の下廣九鐵道沿線地
區に蟠居せる重慶軍及び共産匪に對
して、一昨十一月未明行動を開始し既
に香港防衛隊との連携を確保し、區
内の徹底的肅清作戰を實施中なり、
今次作戰の目的は廣九鐵道沿線治安
攪亂の禍根を艾除し、わが治安圈を
擴大し、以て大東亞共榮圈建設の一
環として香港並に南支方面の飛躍的

廣九線北段東側掃蕩完了

【南支〇〇前線十六日發】 廣九鐵路
東側地區に潰走せる敵敗殘部隊を急
追して東江以南銅湖以西地區に包圍
陣を形成した南支軍〇〇部隊の精銳
漸次戰果を擴大し、十四日夕刻には
廣九線北段の沿線ならびにその東側
地區掃蕩を完了、次期作戰の準備を
なしつつあるが、この間に於ける戰
果のうち十三日までに分明せるもの
は輕機二、小銃一五〇その他で更に
増大の見込みである

寶安縣中心に別抉戰開始

【南支〇〇前線十八日發】 肅清作戰
の第二段階として同鐵路と珠江とに
挟まれた地區に蠢動する共産軍に對
する別抉戰が十六日以來展開さ
れつつある寶安縣を中心とする兩地
區は中國でも共産土匪發祥の地とし
て有名であり、現在でも共産模範團
と稱する組織をもち、團長王作堯の
もとに第一、第二、第三營並に女子
除奸團、小鬼隊等の組織をもち活動
を續けてゐる、現在彼等の巢窟たる
溫塘、蓮華山一帶は既に我が精銳の
包圍鐵環下にあり

蓮花山、金桔嶺を奪取

【南支〇〇前
線廿日發】 十八日未明折から吹き荒
さぶ烈風を衝いて東莞南方約廿キロ
大嶺を中心とする山岳地帯に共産軍
擊滅の進撃を開始した我が精銳部隊

發展を招來せんとするにあり

南支軍報道部長談【廣東十三日發】
廣東香港間の新作戰の意義並に目的
に關し本日左の如き南支軍報道部長
談が發表された

南支軍發表

南支軍は首港總督部
と緊密なる協力の下廣九鐵道沿線地
區に蟠居せる重慶軍及び共産匪に對
して、一昨十一月未明行動を開始し既
に香港防衛隊との連携を確保し、區
内の徹底的肅清作戰を實施中なり、
今次作戰の目的は廣九鐵道沿線治安
攪亂の禍根を艾除し、わが治安圈を
擴大し、以て大東亞共榮圈建設の一
環として香港並に南支方面の飛躍的

廣九線北段東側掃蕩完了

【南支〇〇前線十六日發】 廣九鐵路
東側地區に潰走せる敵敗殘部隊を急
追して東江以南銅湖以西地區に包圍
陣を形成した南支軍〇〇部隊の精銳
漸次戰果を擴大し、十四日夕刻には
廣九線北段の沿線ならびにその東側
地區掃蕩を完了、次期作戰の準備を
なしつつあるが、この間に於ける戰
果のうち十三日までに分明せるもの
は輕機二、小銃一五〇その他で更に
増大の見込みである

寶安縣中心に別抉戰開始

【南支〇〇前線十八日發】 肅清作戰
の第二段階として同鐵路と珠江とに
挟まれた地區に蠢動する共産軍に對
する別抉戰が十六日以來展開さ
れつつある寶安縣を中心とする兩地
區は中國でも共産土匪發祥の地とし
て有名であり、現在でも共産模範團
と稱する組織をもち、團長王作堯の
もとに第一、第二、第三營並に女子
除奸團、小鬼隊等の組織をもち活動
を續けてゐる、現在彼等の巢窟たる
溫塘、蓮華山一帶は既に我が精銳の
包圍鐵環下にあり

蓮花山、金桔嶺を奪取

【南支〇〇前
線廿日發】 十八日未明折から吹き荒
さぶ烈風を衝いて東莞南方約廿キロ
大嶺を中心とする山岳地帯に共産軍
擊滅の進撃を開始した我が精銳部隊

發展を招來せんとするにあり
南支軍報道部長談【廣東十三日發】
廣東香港間の新作戰の意義並に目的
に關し本日左の如き南支軍報道部長
談が發表された

南支軍發表

南支軍は首港總督部
と緊密なる協力の下廣九鐵道沿線地
區に蟠居せる重慶軍及び共産匪に對
して、一昨十一月未明行動を開始し既
に香港防衛隊との連携を確保し、區
内の徹底的肅清作戰を實施中なり、
今次作戰の目的は廣九鐵道沿線治安
攪亂の禍根を艾除し、わが治安圈を
擴大し、以て大東亞共榮圈建設の一
環として香港並に南支方面の飛躍的

廣九線北段東側掃蕩完了

【南支〇〇前線十六日發】 廣九鐵路
東側地區に潰走せる敵敗殘部隊を急
追して東江以南銅湖以西地區に包圍
陣を形成した南支軍〇〇部隊の精銳
漸次戰果を擴大し、十四日夕刻には
廣九線北段の沿線ならびにその東側
地區掃蕩を完了、次期作戰の準備を
なしつつあるが、この間に於ける戰
果のうち十三日までに分明せるもの
は輕機二、小銃一五〇その他で更に
増大の見込みである

寶安縣中心に別抉戰開始

【南支〇〇前線十八日發】 肅清作戰
の第二段階として同鐵路と珠江とに
挟まれた地區に蠢動する共産軍に對
する別抉戰が十六日以來展開さ
れつつある寶安縣を中心とする兩地
區は中國でも共産土匪發祥の地とし
て有名であり、現在でも共産模範團
と稱する組織をもち、團長王作堯の
もとに第一、第二、第三營並に女子
除奸團、小鬼隊等の組織をもち活動
を續けてゐる、現在彼等の巢窟たる
溫塘、蓮華山一帶は既に我が精銳の
包圍鐵環下にあり

蓮花山、金桔嶺を奪取

【南支〇〇前
線廿日發】 十八日未明折から吹き荒
さぶ烈風を衝いて東莞南方約廿キロ
大嶺を中心とする山岳地帯に共産軍
擊滅の進撃を開始した我が精銳部隊

發展を招來せんとするにあり
南支軍報道部長談【廣東十三日發】
廣東香港間の新作戰の意義並に目的
に關し本日左の如き南支軍報道部長
談が發表された

△常德 廿四日、廿五日(朝、夕) 龍陵東南方の平憂街から行動を開始し十六日にはその東方怒江岸の打黒渡を占領した

△京山(湖北省) 廿四日(敵軍及軍事施設爆撃)

包圍殲滅戦最高潮

【雲南前線にて一日發】我が精銳部隊は高黎貢山系の各要域を悉く占領敵の怒江方面への進走を阻止すると共に西は龍川江の支流明光河の線を扼し強靱なる包圍鐵環を形成しつつ逃げまどふ敵を捕捉して縦横無盡の殲滅戦を展開中である、敵は我が果敢なる猛襲によつてすでに支離滅裂となり、三十六師百八團の如きは潰滅せるもの如く宋團長以下重要幹部の大部分は戦死潰走する敵は兵器を捨てて便衣となつて山中を彷徨し、又食糧缺乏のため餓死者續出の状況で敵側に興へた損害は甚大なるものがある、我が包圍網内の地形は梨花山、江東山等海拔二千米以上の峻々たる峻峰が險路を競ひ、しかも天然の大密林地帯であるため、索敵行動は極めて困難にして將兵の勞苦は想像に餘りがあるが、我が軍が二十五日までにおさめた戦果は次の如くである

△遺棄死體九五六(我方にて收容せるもののみ) △俘虜七二〇鹵獲品 迫撃砲三、重機一六、小銃一四二 擲弾筒九、其他各種彈藥、兵器、被服多数

打黒渡を占領

【リスボン十八日發】重慶來電重慶軍事委員會は十八日次の通り發表した

雲南省西部怒江西岸地域の日本軍は

東南アジア

佛 北部佛印に米機來襲

【ハノイ十三日發】在支米空軍は十二日二十時十分より北部佛印に來襲、ハノイ、ハイフオン地区に侵入したが、わが完璧の燈管により、何らの攻撃も行ひ得ず遁走した

【ハノイ十五日發】

在支米空軍は十五日晝P40型戦闘機六機を以て北部佛印に侵入、午後零時三十分より約一時間に亘り海防市郊外を銃撃したが、わが方損害皆無であつた

【ハノイ十六日發】

十六日十六時三十分頃在支米空軍P40型戦闘機六機が北部佛印に侵入、エンバイ附近を機銃掃射したが、わが地上部隊の猛射を浴び倉皇として遁走した、わが方被害なし

【ハノイ十七日發】

在支米空軍は十六日二十時半から一時間半に亘り又も戦闘機數機をもつて北部佛印に侵入、ハノイ地区に來襲したが日佛印一體の完璧なる防衛陣により目的を果さず遁走した

タ イ 敵機ケンタン地方に來襲

【バンコック十九日發】タ イ國軍最高司令部は十八日午後コン

ミニケをもつてケンタン地方に來襲した敵機を地上砲火によつて撃退せる旨左の如く發表した

十一月十七日十四時四十分頃ケンタン郊外に八機よりなる敵機の來襲を見たが、地上砲火を以てこれを撃退せり、損害輕微

北部タイ來襲の敵機を撃退

【バンコック廿四日發】タイ國防軍最高司令部は廿三日午後一時公報をもつて去る廿日午後敵機編隊が北部タイに來襲、タイ國地上部隊は熾烈なる對空砲火をもつてこれを撃退したが、市民に若干死傷者を出したのが、損害は輕微であつた旨發表した

マルビ 來襲の敵機を撃退

【ビルマ前線〇〇基地十六日發】ビルマ方面陸軍航空部隊は十四日午後〇〇方面に來襲せる敵機編隊を邀撃し、わが果敢なる近接戦にたまりかね算を亂して敗走する敵機を急追、〇〇及び〇〇上空においてこれを捕捉、必中彈を浴せてコンソリデーテッドB24五機を地上火器により撃墜した

【ラングーン廿五日發】

わが陸軍戰鬥機二機は廿三日正午チッタゴン上空に進入、敵戦闘機ホーカー・ハリケーン及びP36、計約十機と遭遇、これを攻撃ホーカー・ハリケーン一機、P36二機計三機を撃墜した、我が方何らの損害なく、全機無事低々凱歌を奏して基地に歸還した

【ラングーン二十六日發】

二十五日午前十一時五十八分敵P51十機がラングーン附近に來襲、わが陸軍戰鬥機はこれを邀撃し三機(内一機烈な空中戦を演じその二機(内一機不確實)を撃墜、他を遁走せしめた、

【リスボン三日發】

反樞軸陣營は所謂東南アジア軍を以てする東亞反攻作戰を頻りに呼號してゐるが、今回印度軍に新にオーヒンレック麾下の東部軍管區を設置、司令に中將アムトン・メインを任命したと傳へられる

印度方面

印度東部軍管區を設置

【リスボン三日發】反樞軸陣營は所謂東南アジア軍を以てする東亞反攻作戰を頻りに呼號してゐるが、今回印度軍に新にオーヒンレック麾下の東部軍管區を設置、司令に中將アムトン・メインを任命したと傳へられる

印緬國境軍司令官任命

【イスタンブール四日發】ニューデリー來電英印軍當局は三日印緬國境軍司令官にエイ・メイソン・ジョー・メイソン將を任命した、メイソンは日本軍の少ルマ擬定作戰の際撃破され、負傷し

續いて同日午後一時から二時三十分までの間にP40、ノースアメリカンB25、及びB24計二十機がラングーン附近に來襲、わが方はこれに對し空地より攻撃を加へ主として空中戦によりP40三機(内不確實一機)を撃墜、わが方に損傷はなかつた、また同日午後三時四十八分から三時五十五分までの間に敵は戰機連合(ノースアメリカン)十三機を以てミンガライン飛行場に來襲、わが空地攻撃によつて三機を損傷撃退した、わが方の損害は頗る輕微であつた、更に廿六日早朝、ピツカリス、ウエリントン十機がラングーン附近に來襲、わが軍は空地攻撃によつてその一機を撃墜、一機に損傷を與へてこれを撃退した、わが方殆んど損害はなかつた

てインドに後退し、現在まで英印軍第五師團長の地位に在った

英米空軍連絡將校

【リスボン廿五日發】 ニューデリー來電 在印英空軍司令部は今同飛行中隊長ウオレランを在支米第十四航空部隊との連絡將校に任命した

インパール等を奇襲

【ビルマ〇〇基地にて十一日發】 わが陸軍航空部隊の精銳は九日突如航空撃滅戦の空蓋を切った、即ち九日勇躍基地を出發した戦爆連合の大編隊は堂々敵撃滅の鷲翼を張り一氣に敵英空軍ゲリラ戦の中央根據地たるインパール飛行場を奇襲、同飛行場に待機中のハリケーン戦闘機廿數機並に彈藥庫燃料庫格納庫等を完全にその火網に捕捉して爆碎した、また他の大編隊はバレル飛行場を急襲地上にあつた廿數機のハリケーン戦闘機はじめ飛行場軍事施設に必殺の巨彈を浴びせ徹底的にこれを粉砕した、更にまた他の一隊はフオート・ホワイト・テーム(インパール南方百八十キロ)附近の敵第一線後方陣地を攻撃、周章する敵陣に超低空をもつて猛烈な銃砲撃を加へて大混亂に陥らしめ全機悠々歸還した

敵側發表【リスボン十日發】 ニューデリー來電 印度軍當局は日本軍爆撃機が九日インド東部國境附近の英空軍基地を爆撃し損害及び死傷を出した旨十日發表した

シルチアを強襲

【ビルマ〇〇基地十四日發】 十一日ビルマ方面航空部隊は大舉して東部インド・アッサム州シルチア飛行場

を攻撃、在地敵機三十三機以上を撃破炎上せしめ更に燃料集積所三個所を炎上せしめ全機無事歸還した

ベンゴール東部を爆撃

【リスボン二十九日發】 ニューデリー來電によれば、日本航空部隊は二十八日朝ベンゴール州東部の反樞軸軍陣地を爆撃したといはれる

濠洲方面

反樞軸軍右翼と改稱

【アエノスアイレス二日發】 メルボルン來電 西南太平洋反樞軸軍司令部は、爾今マツカサリ並にヘルゼー司令部を反樞軸軍右翼司令部と改稱することに決定した旨一日言明した

海峽濠洲北部を猛爆

【南西太平洋方面〇〇基地十五日發】 帝國海軍航空部隊は十一月十二日未明長驅して北濠ポート・ダーヴィン方面の敵基地を強襲、敵戦闘機の抵抗を排除しつつ猛爆撃を敢行、左の戦果を挙げた

ポート・ダーヴィンでは市外軍事施設を大破壊炎上せしめ、ブロッグスタックでは飛行場附近の軍事施設を爆破、連続大爆撃を認めた、ステートンでは同様に飛行場附近の軍事施設を爆破、一ヶ所より大火災を生ぜしめ、パラジェでは飛行場に全弾を命中せしめ二ヶ所に火災が起るのを認めた、この爆撃で我が方全機無事歸還した

敵側發表【リスボン十四日發】 西南太平洋反樞軸軍司令部は日本航空部隊がポート・ダーヴィンを爆撃損害を蒙つた旨十四日發表した

濠洲の出鱈目發表

【リスボン廿二日發】 反樞軸陣營は自國軍の損害については全く出鱈目な發表をして國民を欺瞞してゐるが濠洲政府もその例に洩れず十月十一日のA.P電報によれば濠洲政府は同日開戦以來八月廿一日までにおける濠洲軍の死傷者數を次の如く發表したといはれる

△死傷者總數六萬一千五百六十四名
内譯
戰 死(戰病死を含む) 一萬三千九百八名
戰 傷 一萬四千七百二名
俘 虜 二萬八百二十三名
行方不明 一萬二千三百三十一名

ニューギニア

英軍視察團員死亡

【リスボン廿日發】 シドニー來電 英國軍事使節團の中佐C.B.フエレイは西南太平洋戰線視察の途次ニューギニア地方で「飛行事故」により死亡した

マザブ、マラワサて六

十八機撃墜破

大本營發表(十一月八日十五時三十分) ニューギニア島方面の我陸軍航空部隊は十一月六、七の兩日マザブマラワサ等の飛行場を攻撃し、敵機

約五十機を爆碎又は炎上せしむると共に空中戦に依り一八機(内不確實二機)を撃墜せり、我方の損害、自爆及未歸還七機なり

附近の我部隊は、十月三十日以降十一月三日迄に、數次に亘る敵の出撃を撃碎し、之に四百名以上の損害を與へたり

戰鬪經過【八日】我が陸軍航空部隊は戦爆連合の編隊をもつて六日六時過ぎマカム河上流のジャングル地帯に急造された敵第一線基地マザブ(ラエ西北方三十三軒)及びマラワサ(マザブ西北方八十軒)の兩飛行場急襲に成功、之に巨彈を浴せ、地上に在つた中、小型約四十機以上を火網を以つて完全に捕捉、數ヶ所より炎上せしめ、別に對地攻撃により大型十八機を撃碎内二機を炎上せしめ、同時に舞ひ上つた敵戦闘機群と空中戦を交へ、P40二機を叩き落し我が方全機歸還した、翌七日、我が戦爆連合編隊は再びマザブ及び他の一飛行場を奇襲攻撃し、地上にあつた中、小型十八機を爆撃、六乃至九ヶ所より炎上せしめ、その歸途追撃し來れる敵戦闘機二十數機と交戦、我が戦闘機は敵機六機(内不確實二機)を撃墜、爆撃機亦大いに奮戦して敵機十機を撃墜せるの戦果を挙げた

敵連撃機隊を潰滅せしめた、然しこの空中戦において我が方も自爆、未歸還七機の尊い犠牲を出した、八日の大本營發表は六、七兩日における在地敵機の爆碎乃至炎上約五十機と發表したが、これは極く内輪に見積られたもので、實際敵に與へた損害は更に甚大な見込みである、またフインシハーヘン地區の我が地上部隊

は敵米濠軍に甚大なる損害を與へた後、態勢を整へ次期攻撃を準備中であるが、敵は我が企圖を威力偵察すべく屢々出撃を試み、我が部隊は其の都度これに大損害を與へて撃退し七月三十日以降十一月三日迄の戦果は敵の死傷四百名以上上つてゐる



イフシンハー地区

敵水雷艇二隻を撃破

【南方〇〇基地十六日發】 八日夜わが舟艇隊はニューギニア島フインシハーヘン北方海上において敵水雷艇二隻と遭遇交戦、一隻を撃破炎上、一隻に命中彈を與へて撃退した、わが方損害なし

我航空部隊連續爆撃

【アエノスアイレス十六日發】 メルボルン來電 西南太平洋反樞軸軍司令部

司令部は十六日の戦況公報で日本航空部隊が十五日白晝フィンシハーヘンの港灣地区に爆撃を加へた旨發表した

【フエノスアイレス十九日發】メル

ボルン來電 西南太平洋反樞軸軍司令部は日本航空部隊がフィンシハーヘンの反樞軸軍陣地を攻撃した旨十九日發表した

【南太平洋〇〇基地二十一日發】

メル ニューギニア島のわが陸軍航空部隊は敵の機先を制して二十日午前三時三十分敵のテンビ飛行場を夜間攻撃し三箇所を炎上せしめた、また他の一隊は同三時十分フィンシハーヘン附近を夜間攻撃し敵陣に大損害を與へた

【南太平洋〇〇基地廿四日發】

廿二日朝我が陸軍航空部隊は戦爆連合をもつてニューギニア島フィンシハーヘン北方ソング河口の敵陣地に爆撃、敵に大損害を與へたが、敵はわが航空部隊の先制的攻撃によつて一機も邀撃し來るものなく、我が方は全機悠々歸還した

【南太平洋〇〇基地二十四日發】

メル ニューギニア島方面のわが陸軍航空部隊は二十三日早朝戦爆連合の編隊をもつて敵開闢機十數機の挑戦を排してフィンシハーヘン附近の敵陣地に殺到、空中戦においてP40五機を撃墜するとともにフィンシハーヘン西方の敵陣地帯を火網をもつて捕捉大損害を與へ、一箇所を炎上せしめた、わが方自爆一機を出した

【南太平洋〇〇基地二十六日發】

メル 十四日午後三時わが陸軍航空部隊は戦爆連合の編隊を以てニューギニア島フィンシハーヘン附近の敵重砲及び歩兵陣地を攻撃、火網を以てこれ

を捕捉し甚大な損害を與へた、またその歸途、海上において敵B25三機と交戦その一機を撃墜した、わが方は何らの損害なく全機無事歸還した

【フエノスアイレス廿八日發】メル
ボルン來電 西南太平洋反樞軸軍司令部は日本航空部隊がニューギニア島のフィンシハーヘン附近に在る米軍陣地を爆撃、損害及び死傷を生じた旨廿八日發表した

【南方〇〇基地十六日發】
メル ニューギニア島方面の我陸軍航空部隊は十五日早朝戦爆連合をもつてマラワサ飛行場(ラエ西北方百二十キロ)を攻撃、地上にあつた大型機四機を炎上、三機を大破せしめるとともに空中戦によつてP40十四機(内不確実八機)B24一機(不確実)を撃墜、更にその歸途マダン上空において敵戦闘機十五、六機と交戦、P40一機を撃墜した、わが方は自爆未歸還七機の尊い犠牲を出した

【南太平洋〇〇基地十八日發】
メル ニューギニア方面のわが陸軍航空部隊は十五日午前八時戦爆連合の編隊を以てマラワサの敵飛行場を攻撃し敵戦闘機四、五十機と交戦し、次の戦果を収めた

△撃墜十八機△地上にて炎上四機△撃破三機△合計二十五機△わが方損害、自爆未歸還七機

【南太平洋〇〇基地廿四日發】
廿二日朝我が陸軍航空部隊は戦爆連合をもつてニューギニア島フィンシハーヘン北方ソング河口の敵陣地に爆撃、敵に大損害を與へたが、敵はわが航空部隊の先制的攻撃によつて一機も邀撃し來るものなく、我が方は全機悠々歸還した

を爆撃した旨十九日發表した

【フエノスアイレス十七日發】

メル 翼司令部は、日本航空部隊がニューギニアのラム河峡谷地帯の反樞軸軍飛行場を爆撃した旨十七日發表した

【フエノスアイレス十三日發】

メル ボルン來電 西南太平洋反樞軸軍司令部は日本航空部隊がニューギニアのラエおよびラム河峡谷地帯の反樞軸軍陣地を爆撃した旨九日發表した

【南太平洋〇〇基地廿四日發】

廿七日發 メル ニューギニア島マダン附近に對する敵機の來襲は依然執拗を極め同地区における航空決戦は愈々熾烈化してゐるが、去る十三日午前八時頃マダン附近にB24、B25爆撃機、戦闘機等の合計二百二十機を以て大舉來襲したが、我が軍はこれを邀撃しB25十五機、B24五機合計廿機を撃墜した、越えて十五日午前十時頃同地区に又もB24、P38合計五十三機來襲したが我が方はこの内B24四機を撃墜した

【南太平洋〇〇基地廿四日發】

廿二日朝敵のP38、P43、B25、計三十二機がニューギニア島ハンサ(マダンとウエワクの間)附近のわが陣地に來襲わが方はこれに撃墜した、わが方の損害頗る輕微である

【南太平洋〇〇基地廿四日發】

廿二日發 帝國海軍航空部隊は十月廿八日夜より廿九日未明にかけニューギニア島ブナ、オロ灣方面の敵地上軍施設等を攻撃熾烈な敵の對空砲火を冒して巨弾の雨を降らせてこれを爆碎、オロ灣方面においてこれの一ヶ所を炎上せしめた

【南太平洋〇〇基地十九日發】
メル ニューギニア島のわが基地に對する敵機の攻撃は依然として執拗を極めてゐるが、去る十六日朝我が陸軍の戦闘機隊はウエワク附近に於て來襲せる敵機を邀撃しP38卅機と熾烈な空中戦を演じ、忽ちにその六機を撃墜して敵を遁走せしめ凱歌を擧げた、我が方は自爆未歸還計三機の尊い犠牲を出した

【南太平洋〇〇基地廿日發】

廿七日發 メル 九時廿七分B25五十機、戦闘機五十機合計百機がウエワクに來襲せるもわが地上兵器によりB25十二機を撃墜、わが地上の損害輕微であつた

【南太平洋〇〇基地廿日發】

廿八日朝P17(ウエワク)、マダンの中間にB24廿五機P38數機が來襲したが、わが地上兵器の猛射によりB42四機を撃墜され他は侵入し得ずして遁走した、わが方損害なし、また廿八日朝B24四十機、戦闘機三十機計七十機がウエワクに來襲せるもわが地上兵器によりB24二機に火焔を吐かしてこれを撃退した、わが方地上の損害輕微

【南太平洋〇〇基地廿日發】

廿七日發 メル 九時廿七分B25五十機、戦闘機五十機合計百機がウエワクに來襲せるもわが地上兵器によりB25十二機を撃墜、わが地上の損害輕微であつた

【南太平洋〇〇基地廿日發】

廿八日朝P17(ウエワク)、マダンの中間にB24廿五機P38數機が來襲したが、わが地上兵器の猛射によりB42四機を撃墜され他は侵入し得ずして遁走した、わが方損害なし、また廿八日朝B24四十機、戦闘機三十機計七十機がウエワクに來襲せるもわが地上兵器によりB24二機に火焔を吐かしてこれを撃退した、わが方地上の損害輕微

【南太平洋〇〇基地廿日發】

廿七日發 帝國海軍航空部隊は十月廿八日夜より廿九日未明にかけニューギニア島ブナ、オロ灣方面の敵地上軍施設等を攻撃熾烈な敵の對空砲火を冒して巨弾の雨を降らせてこれを爆碎、オロ灣方面においてこれの一ヶ所を炎上せしめた

【南太平洋〇〇基地十六日發】
帝國海軍航空部隊は十五日未明にニューギニア島北岸ブナの敵飛行場を襲し熾烈な敵の照射砲撃を冒して飛行場及び附近軍施設を爆撃全彈を命中せしめて全機無事歸還した

【南太平洋〇〇基地十六日發】

メル ニューギニア島横斷電話線を敷設

【リスボン十三日發】

メル ボルン來電 西南太平洋反樞軸軍司令部は十三日次の通り言明した

【南太平洋〇〇基地廿日發】

廿七日發 メル 九時廿七分B25五十機、戦闘機五十機合計百機がウエワクに來襲せるもわが地上兵器によりB25十二機を撃墜、わが地上の損害輕微であつた

【南太平洋〇〇基地廿日發】

廿八日朝P17(ウエワク)、マダンの中間にB24廿五機P38數機が來襲したが、わが地上兵器の猛射によりB42四機を撃墜され他は侵入し得ずして遁走した、わが方損害なし、また廿八日朝B24四十機、戦闘機三十機計七十機がウエワクに來襲せるもわが地上兵器によりB24二機に火焔を吐かしてこれを撃退した、わが方地上の損害輕微

【南太平洋〇〇基地廿日發】

廿七日發 帝國海軍航空部隊は十月廿八日夜より廿九日未明にかけニューギニア島ブナ、オロ灣方面の敵地上軍施設等を攻撃熾烈な敵の對空砲火を冒して巨弾の雨を降らせてこれを爆碎、オロ灣方面においてこれの一ヶ所を炎上せしめた

【南太平洋〇〇基地十六日發】
メル 十四日午後三時わが陸軍航空部隊は戦爆連合の編隊を以てニューギニア島フィンシハーヘン附近の敵重砲及び歩兵陣地を攻撃、火網を以てこれ

【南太平洋〇〇基地十六日發】

メル 翼司令部は、日本航空部隊がニューギニアのラム河峡谷地帯の反樞軸軍飛行場を爆撃した旨十七日發表した

【南太平洋〇〇基地十六日發】

メル ボルン來電 西南太平洋反樞軸軍司令部は日本航空部隊がニューギニア島のフィンシハーヘン附近に在る米軍陣地を爆撃、損害及び死傷を生じた旨廿八日發表した

【南太平洋〇〇基地十六日發】

メル 九時廿七分B25五十機、戦闘機五十機合計百機がウエワクに來襲せるもわが地上兵器によりB25十二機を撃墜、わが地上の損害輕微であつた

【南太平洋〇〇基地十六日發】

メル 十四日午後三時わが陸軍航空部隊は戦爆連合の編隊を以てニューギニア島フィンシハーヘン附近の敵重砲及び歩兵陣地を攻撃、火網を以てこれ

【南太平洋〇〇基地十六日發】

メル 翼司令部は、日本航空部隊がニューギニアのラム河峡谷地帯の反樞軸軍飛行場を爆撃した旨十七日發表した

海上戦線

南太平洋

西南太平洋反樞軸海軍司令 更迭

一ビスレモ・トーポ

濠洲軍通信兵七百名は現在ポート・モレスビーからニューギニア北岸に通ずる電話線を敷設してゐる、この電話線は反樞軸がポート・モレスビーから北岸に進出する際に取つた経路に沿つて敷設されてをり完成の曉は電話三本と電信二本の同時通信が可能となる

マノクワリて三機

【南太平洋〇〇基地廿四日發】廿一日晝間西部ニューギニア、マノクワリに敵B24七機が來襲、何方面のわが守備隊並びに海軍航空隊はこれを爆撃、その一機を撃墜、二機を大破、他を撃退した

蘭領地

【南太平洋〇〇基地廿四日發】廿一日晝間西部ニューギニア、マノクワリに敵B24七機が來襲、何方面のわが守備隊並びに海軍航空隊はこれを爆撃、その一機を撃墜、二機を大破、他を撃退した

ブナ、オロ灣の敵施設爆碎

【南太平洋〇〇基地廿四日發】廿二日發 帝國海軍航空部隊は十月廿八日夜より廿九日未明にかけニューギニア島ブナ、オロ灣方面の敵地上軍施設等を攻撃熾烈な敵の對空砲火を冒して巨弾の雨を降らせてこれを爆碎、オロ灣方面においてこれの一ヶ所を炎上せしめた

【リスボン廿四日發】メルボルン來電... 西南太平洋反艦軸軍司令部は米國海軍アラカ作戦區司令官中將トーマス・C・キンケードが西南太平洋反艦軸海軍司令官に任命された旨二十四日發表した、但し一九四二年九月十一日以來西南太平洋反艦軸海軍司令の地位にあつた中將アーサー・S・カーペンターの轉出先は未だ發表されない

六月三十日以來海軍綜合戰果

【五日】六月三十日敵がレンドベ島上陸作戦を開始して以來五日の大本營發表を含むわが海軍航空部隊及び艦艇による敵艦艇船隻沈没の綜合戰果左の如し(本社調査)

- △擊沈 巡洋艦二十四隻、驅逐艦十九隻、輸送船六十七隻、潜水艦二十二隻、その他艦艇百十三隻以上
△擊破(炎上及魚雷命中を含む) 巡洋艦十二隻、驅逐艦十七隻、輸送船四十六隻、舟艇十六隻以上、その他舟艇多數
△至近彈 驅逐艦一隻、輸送船一隻、舟艇一隻
△銃擊 舟艇十隻

ソロモン、ニューギニアの敵陣地連爆

【南太平洋方面〇〇基地發】わが海軍航空部隊は五日、六日兩の日に亘りソロモン群島およびニューギニア島の敵陣地を急襲してこれに甚大な損害を與へた、即ち十一月五日夜わが海軍はソロモン群島ムンダ地方の敵陣地を急襲してその軍事施設を爆破するとともにベララベラ島ビロア附近の敵地上陣地を襲ひ二ヶ所

敵大型爆撃艇一機を屠る

【南太平洋〇〇基地十七日發】わが海軍は十五日朝ナウル島附近海面で敵コンソリデーテッドPBY大型長距離哨戒爆撃艇一機と遭遇これを撃墜した、わが軍被害なし

スリエ ナヌメア島飛行場爆破

【南太平洋〇〇基地十三日發】帝國海軍航空部隊は十一日夜エリス諸島のナヌメア島を襲撃し、敵の熾烈な防空砲火を冒して果敢な爆撃を敢行し、飛行場に全弾を命中せしめ、一箇所大爆発、二箇所大火災四箇所炎上の戦果を収めて全機無事歸還した

【アエノスアイレス十三日發】ワシントン來電 米國海軍省は日本軍航空部隊が十一日夜南太平洋エリス島ナヌメアの反艦軸軍基地を爆撃、兵員並に施設に損害を與へた旨十三日發表した

日本軍フナフチ島爆撃

【アエノスアイレス十三日發】ワシントン來電 米國海軍省は日本軍航空部隊が十一日夜エリス諸島中のフナフチ島を爆撃、若干の損害を蒙つたと十三日發表した

【南太平洋〇〇基地十五日發】帝國

海軍航空部隊は十三日夜エリス諸島を襲撃し敵飛行場並びに附近軍事施設に巨額の雨を降らせその一ヶ所を爆発、四ヶ所を炎上せしめ、地上にあつた大型飛行機三機以上を撃破した、爆撃は數次にわたつて誘爆を起し火柱を中天高く吹上げて凄絶な光景を呈した、わが方全機無事歸還

面方海ラフアラ

ボマラ、トランガン島 來襲敵三機以上撃墜破 【南太平洋方面〇〇基地四日發】共榮國諸島に對する敵の蠢動は引續き活潑化してゐるが、夕刻より深更にかけて二回亘つてコンソリデーテッドB24爆撃機延四機がセルベス島ボニ灣沿岸のボマラ方面に來襲、我が海軍戦闘機隊は直ちにこれを邀撃し空戦の後撃破撃退した、次いで二日朝にはアラフラ海アル諸島東方のトランガン島方面にプリストル・ボーファイター双發戰鬥機、ノースアメリカンB25等十一機が來襲したが、我が海軍戦闘機隊の痛烈な攻撃をうけ、ボーファイター一機以上撃墜、他の二機は撃破され黒煙をはき遁走した

サムラキ上空で敵一機を撃破

【南太平洋〇〇基地十六日發】十三日晝我が海軍はタニンバル諸島サムラキ附近海上で敵ロッキード一機と遭遇交戦しこれを撃破遁走せしめ、我が方被害なし

敵哨戒艇二機を撃退

【南太平洋〇〇基地十六日發】十三日夜敵カタリナPBY大型哨戒

飛行艇二機がセラム島アラに來襲したが、我が地上部隊はこれと交戦撃退した、我が方被害なし

マイコール來襲の敵三機を撃墜

【南太平洋〇〇基地廿四日發】去る廿一日朝來アル諸島マイコールに四回にわたつて戦爆延卅一機來襲、わが地上部隊並に海軍戦闘機隊はこれと交戦、その三機を撃墜した、わ

米國商船の喪失を發表

【アエノスアイレス十二日發】ワシントン來電 米國海軍省は米國中型商船が九月下旬インド洋水域において日本潜水艦の雷撃を受けて撃沈された旨十一日發表した

歐米戦争

獨軍公表戰況

【ベルリン發】總統大本營發表 一、ドニエプル下流の南部

ではドイツ軍陣地内に突入し來つた赤軍快速部隊との間に激戦展開中である、ドイツ軍機動部隊は赤軍の側面に對し大膽な突入を試み、敵に大損害を與へた、ドニエプル彎曲部の戰闘ではドイツ軍の反撃は順調に進捗中である、ドニエブルペトログスク西南方面にクレメンチウグ東南方面における強力な赤軍の攻撃はドイツ軍防禦砲火の前に崩壊した、中部地區では戰闘は、これまで戰闘の中心點をなしてゐた諸地點における赤軍の局地的攻撃に局限された、これら敵の攻撃は凡て撃退され一部はドイツ軍の反撃に依つて撃退された

イルメン湖から、レニングラード西方に至る戰線からは偵察部隊並に突撃隊の活動が獨、ソ双方で活潑化してゐる旨報せられてゐる十月中に、東部戰線において赤軍は戦車二千七百九十五臺、飛行機千四百四十二臺を喪失した

一、イタリヤ南部ではドイツ軍はヴォルツルノ河の兩側でドイツ軍陣地を突破せんとした強力な反艦軸軍の攻撃を撃退した、ドイツ軍は目下、イタリヤ西海岸からマテッセ山嶽地帯の西北地區及中間の山嶽陣地を占據してゐる、ヴォルツルノ地區の敵は急遽、西方へ移動するドイツ軍に追尾して來た

一、卅一日晝間西歐占領地域、又同夜ドイツ軍西部の各地に對し夫々英空軍は小規模な空襲を行つた、これらの空襲に際しドイツ空軍は敵機四臺を撃墜した、更にドイツ空軍は卅一日再びロンドンの諸目標物に攻撃を加へた

二

【ベルリン二日發】 總統大
本營發表

△東部戰線

一、ドイツ軍はクリヴォイ
・ロク北方の反撃作戦で大成功を収
める一方、クリミアに上陸しようと
する赤軍の企圖を阻止した

一、赤軍は一日ケルチ半島の兩側面
に上陸を企圖したが、ドイツ軍は一
地點において赤軍を捕捉して狭隘な
地域に壓迫した、他の上陸地點に於
てはドイツ軍は赤軍部隊に大損害を
與へて撃退若しくは上陸後殲滅した

一、ドニエプル下流南部のノガイ草
原においてはドイツ軍はドニエプル
河に向つて進撃中の赤軍機械化部隊
と戦闘を續行中である、ドイツ軍の
側面を迂回し、ドイツ軍を孤立せし
めようとする赤軍の企圖は失敗に歸
し赤軍は更に同地域の南部および北
部においてドイツ軍陣地に猛攻撃
を加へて来たが失敗した

一、ドニエプル彎曲部では赤軍がド
ニエプロベトロフスク西南方でドイ
ツ軍陣地に猛攻撃を加へて来たが撃
退された、ドイツ軍は同方面の一
點において來襲し来た赤軍戦車廿八
臺を擱座せしめた

一、クリヴォイ・ロク北方地區にお
けるドイツ軍の反撃作戦は既に大成
功を収め、ドイツ軍は赤軍の最先鋒
部隊を包圍殲滅した、同地區のドイ
ツ軍は十月廿八日以降の戦闘で赤軍
將兵五千を捕虜にし、戦車三百五十
八臺、砲三百七十八門、トラツク五
百臺以上を擱獲乃至撃破し、ドイツ
軍は更に赤軍部隊の包圍殲滅戦で赤
軍に多大の死傷を生ぜしめた

一、赤軍は更にキエフ東南ドニエ
ル彎曲部の地區で猛攻撃を加へ來つ
たが失敗した

一、他の戦線では局地的戦闘が展開
されたに過ぎない、ドイツ軍はゴメ
キ西南地區およびヴエリキエ・ルー
キ西南地區で反撃によつて赤軍の突
出陣地を閉鎖乃至掃蕩した

一、ドイツ軍はクリリチエク西方で
赤軍陣地を攻撃し、赤軍の猛烈な抵
抗を排して陣地を改善した

一、西部戦區の反樞軸軍は一日大兵
力をもつて徐々に進出した、他方カ
ンパツソノ西方地區では英軍がド
イツ軍陣地に來襲したが失敗した、
失敗した、他の戦區では小規模な戦
闘が行はれたのみ

一、ドイツ空軍爆撃機隊は一日夕刻
英本土南部を空襲、數ヶ都市の港湾
施設に攻撃を加へた

一、クリミア半島入口、ヘルソン東
方およびドニエプル彎曲部では獨軍
は有力な赤軍歩兵戦車部隊と激戦を
續行し、大損害を與へ、赤軍の攻勢を
撃退して、數個所に形成された凹み
を回復した、更に獨軍の反撃は赤軍
の執拗な抵抗を排して成功を収め、
赤軍戦車多數を撃破、赤軍敗殘小部
隊を掃蕩した

三

【ベルリン發】 總統大本營
發表

△東部戰線

一、クリミア半島ケルチ南方に
おける赤軍橋頭堡は赤軍の頑強な抵
抗にも拘らず、更に壓縮せしめられ
た

一、クリミア半島入口、ヘルソン東
方およびドニエプル彎曲部では獨軍
は有力な赤軍歩兵戦車部隊と激戦を
續行し、大損害を與へ、赤軍の攻勢を
撃退して、數個所に形成された凹み
を回復した、更に獨軍の反撃は赤軍
の執拗な抵抗を排して成功を収め、
赤軍戦車多數を撃破、赤軍敗殘小部
隊を掃蕩した

一、ドイツ空軍爆撃機隊は一日夕刻
英本土南部を空襲、數ヶ都市の港湾
施設に攻撃を加へた

一、ドイツ空軍爆撃機隊は一日夕刻
英本土南部を空襲、數ヶ都市の港湾
施設に攻撃を加へた

一、ドイツ空軍爆撃機隊は一日夕刻
英本土南部を空襲、數ヶ都市の港湾
施設に攻撃を加へた

一、ドイツ空軍爆撃機隊は一日夕刻
英本土南部を空襲、數ヶ都市の港湾
施設に攻撃を加へた

一、ドイツ空軍爆撃機隊は一日夕刻
英本土南部を空襲、數ヶ都市の港湾
施設に攻撃を加へた

一、ドイツ空軍爆撃機隊は一日夕刻
英本土南部を空襲、數ヶ都市の港湾
施設に攻撃を加へた

一、ドイツ空軍爆撃機隊は一日夕刻
英本土南部を空襲、數ヶ都市の港湾
施設に攻撃を加へた

一、ドイツ空軍爆撃機隊は一日夕刻
英本土南部を空襲、數ヶ都市の港湾
施設に攻撃を加へた

一、ドイツ空軍爆撃機隊は一日夕刻
英本土南部を空襲、數ヶ都市の港湾
施設に攻撃を加へた

四

【ベルリン發】 總統大本營
發表

△東部戰線

一、クリミア半島ではドイ
ツ軍はケルチ南方の赤軍上陸據點を
更に壓縮し同時にケルチ北方で新た

一、クリミア半島ではドイ
ツ軍はケルチ南方の赤軍上陸據點を
更に壓縮し同時にケルチ北方で新た

一、クリミア半島ではドイ
ツ軍はケルチ南方の赤軍上陸據點を
更に壓縮し同時にケルチ北方で新た

一、クリミア半島ではドイ
ツ軍はケルチ南方の赤軍上陸據點を
更に壓縮し同時にケルチ北方で新た

一、クリミア半島ではドイ
ツ軍はケルチ南方の赤軍上陸據點を
更に壓縮し同時にケルチ北方で新た

一、クリミア半島ではドイ
ツ軍はケルチ南方の赤軍上陸據點を
更に壓縮し同時にケルチ北方で新た

一、クリミア半島ではドイ
ツ軍はケルチ南方の赤軍上陸據點を
更に壓縮し同時にケルチ北方で新た

一、クリミア半島ではドイ
ツ軍はケルチ南方の赤軍上陸據點を
更に壓縮し同時にケルチ北方で新た

一、クリミア半島ではドイ
ツ軍はケルチ南方の赤軍上陸據點を
更に壓縮し同時にケルチ北方で新た

一、クリミア半島ではドイ
ツ軍はケルチ南方の赤軍上陸據點を
更に壓縮し同時にケルチ北方で新た

一、クリミア半島ではドイ
ツ軍はケルチ南方の赤軍上陸據點を
更に壓縮し同時にケルチ北方で新た

五

【ベルリン發】 總統大本營
發表

△東部戰線

一、ケルチの兩側に設定さ
れた赤軍の橋頭堡に對する
戦闘は依然繼續されて居る、ドイツ
海軍部隊は敵の砲艇三隻、上陸用舟
艇二隻を夫々撃沈他數隻に損傷を
與へた、五日赤軍はクリミア半島の
北側に對して攻撃に出たが戦車多數
を撃破されて目的を達しなかつた、
同方面の戦闘でルーミアニア軍戦車隊
は勇敢に反撃に出で俾功を擧げた

一、反樞軸軍は三日晝間ウィルヘル
ムスハーフェンその他のドイツ西部
地區に來襲、更に同夜ドイツ西部の
諸都市を爆撃した、右爆撃のため主
としてドニツセルドルフで死傷及び
損害を生じた、更にケルチの大伽藍
はまたも大損害を蒙つた、現在迄に
判明した處ではドイツ軍防空隊は右
空襲及び西歐洲占領地區上空で反樞
軸空軍三十三機を撃墜した

一、ドイツ空軍は三日夜英本土東南
部に在るイプスウィチの市街及び港
灣に猛撃を加へ火災を生ぜしめ全機
無事歸還した

一、ドイツ海軍の沿岸偵察艇その他
の艦艇が和蘭のイゼールムイデン沖及
びフランスのル・アーブル北方水域
で英海軍水雷艇四隻を撃沈、更に驅
逐艇四隻を大破した

一、ドイツ海軍の沿岸偵察艇その他
の艦艇が和蘭のイゼールムイデン沖及
びフランスのル・アーブル北方水域
で英海軍水雷艇四隻を撃沈、更に驅
逐艇四隻を大破した

一、ドイツ海軍の沿岸偵察艇その他
の艦艇が和蘭のイゼールムイデン沖及
びフランスのル・アーブル北方水域
で英海軍水雷艇四隻を撃沈、更に驅
逐艇四隻を大破した

一、ドイツ海軍の沿岸偵察艇その他
の艦艇が和蘭のイゼールムイデン沖及
びフランスのル・アーブル北方水域
で英海軍水雷艇四隻を撃沈、更に驅
逐艇四隻を大破した

一、ドイツ海軍の沿岸偵察艇その他
の艦艇が和蘭のイゼールムイデン沖及
びフランスのル・アーブル北方水域
で英海軍水雷艇四隻を撃沈、更に驅
逐艇四隻を大破した

一、ドイツ海軍の沿岸偵察艇その他
の艦艇が和蘭のイゼールムイデン沖及
びフランスのル・アーブル北方水域
で英海軍水雷艇四隻を撃沈、更に驅
逐艇四隻を大破した

一、ドイツ海軍の沿岸偵察艇その他
の艦艇が和蘭のイゼールムイデン沖及
びフランスのル・アーブル北方水域
で英海軍水雷艇四隻を撃沈、更に驅
逐艇四隻を大破した

一、ドイツ海軍の沿岸偵察艇その他
の艦艇が和蘭のイゼールムイデン沖及
びフランスのル・アーブル北方水域
で英海軍水雷艇四隻を撃沈、更に驅
逐艇四隻を大破した

イツ軍のため一掃されたドニエプル湾曲部のドニエプロベトロフスク南方並に西南方における敵の突破企圖は失敗に歸しドイツ軍は反撃に出でドイツ軍陣地内に突入した敵部隊を撃退した、同方面の一地區だけでは攻撃して来た敵戦車四十臺のうち廿三臺は撃破された、キエフ並にキエフ北方で敵は戦車隊の掩護の下に攻撃に出て目下激戦展開中である

一、北氷洋においてソ聯空軍はドイツ護送船團を攻撃せんとしたがドイツ空軍の反撃に遭ひ十六臺を撃破された

一、イタリヤ南部の戦線ではヴォルツノ河の両側で攻勢に出た反樞軸軍を遑へドイツ軍は熾烈な戦闘を行った、東部地區では敵は効果なく攻撃を繰り返へし大損害を蒙つたイストニア南方では目下激戦が展開され同方面で過去数日來敵は戦車廿臺以上を撃破された、又ドイツ沿岸防備隊はイストニア並にベスカラ地域に上陸せんとした敵部隊を阻止したこの戦闘で敵の快速艇一隻は撃沈された

一、四日夜英空軍はオランダ沿岸地區並に西部ドイツに對し小規模な空襲を行つたが、うち九臺は撃墜された、更にドイツ空軍も四日夜ロンドン市を空襲した

一、ドイツ領西部の數ヶ地點に反樞軸空軍の擾亂攻撃が行はれた、ドイツ軍は來襲機の内六機を撃墜した

日 八

【ベルリン發】 總統大本營 一、十一月七日ベロコフ海峡で強力な部隊を以て展開された赤軍の攻勢は僅かに局地的成功をおさめたに過ぎない、同方面の戦闘でブランデンブルグ工兵第七十一大隊並に第九高射砲師團は偉功を樹てた、ドニエプル戦線では七日ドイツ軍の攻撃が數ヶ所で成功した以外戦線は平靜であつた、ニコポリ南方でドイツ軍は引續き攻勢を繼續捕虜、器材多數を得た

一、有力なドイツの空軍編隊は友軍の地上作戦に效果的協力を與へ、且つソ聯機九十三機を撃墜した

一、イタリヤ南部の戦線ではヴォルツノ河の両側で攻勢に出た反樞軸軍を遑へドイツ軍は熾烈な戦闘を行った、東部地區では敵は効果なく攻撃を繰り返へし大損害を蒙つたイストニア南方では目下激戦が展開され同方面で過去数日來敵は戦車廿臺以上を撃破された、又ドイツ沿岸防備隊はイストニア並にベスカラ地域に上陸せんとした敵部隊を阻止したこの戦闘で敵の快速艇一隻は撃沈された

一、イタリヤ南部の戦線ではヴォルツノ河の両側で攻勢に出た反樞軸軍を遑へドイツ軍は熾烈な戦闘を行った、東部地區では敵は効果なく攻撃を繰り返へし大損害を蒙つたイストニア南方では目下激戦が展開され同方面で過去数日來敵は戦車廿臺以上を撃破された、又ドイツ沿岸防備隊はイストニア並にベスカラ地域に上陸せんとした敵部隊を阻止したこの戦闘で敵の快速艇一隻は撃沈された

一、イタリヤ南部の戦線ではヴォルツノ河の両側で攻勢に出た反樞軸軍を遑へドイツ軍は熾烈な戦闘を行った、東部地區では敵は効果なく攻撃を繰り返へし大損害を蒙つたイストニア南方では目下激戦が展開され同方面で過去数日來敵は戦車廿臺以上を撃破された、又ドイツ沿岸防備隊はイストニア並にベスカラ地域に上陸せんとした敵部隊を阻止したこの戦闘で敵の快速艇一隻は撃沈された

一、イタリヤ南部の戦線ではヴォルツノ河の両側で攻勢に出た反樞軸軍を遑へドイツ軍は熾烈な戦闘を行った、東部地區では敵は効果なく攻撃を繰り返へし大損害を蒙つたイストニア南方では目下激戦が展開され同方面で過去数日來敵は戦車廿臺以上を撃破された、又ドイツ沿岸防備隊はイストニア並にベスカラ地域に上陸せんとした敵部隊を阻止したこの戦闘で敵の快速艇一隻は撃沈された

一、イタリヤ南部の戦線ではヴォルツノ河の両側で攻勢に出た反樞軸軍を遑へドイツ軍は熾烈な戦闘を行った、東部地區では敵は効果なく攻撃を繰り返へし大損害を蒙つたイストニア南方では目下激戦が展開され同方面で過去数日來敵は戦車廿臺以上を撃破された、又ドイツ沿岸防備隊はイストニア並にベスカラ地域に上陸せんとした敵部隊を阻止したこの戦闘で敵の快速艇一隻は撃沈された

一、イタリヤ南部の戦線ではヴォルツノ河の両側で攻勢に出た反樞軸軍を遑へドイツ軍は熾烈な戦闘を行った、東部地區では敵は効果なく攻撃を繰り返へし大損害を蒙つたイストニア南方では目下激戦が展開され同方面で過去数日來敵は戦車廿臺以上を撃破された、又ドイツ沿岸防備隊はイストニア並にベスカラ地域に上陸せんとした敵部隊を阻止したこの戦闘で敵の快速艇一隻は撃沈された

一、イタリヤ南部の戦線ではヴォルツノ河の両側で攻勢に出た反樞軸軍を遑へドイツ軍は熾烈な戦闘を行った、東部地區では敵は効果なく攻撃を繰り返へし大損害を蒙つたイストニア南方では目下激戦が展開され同方面で過去数日來敵は戦車廿臺以上を撃破された、又ドイツ沿岸防備隊はイストニア並にベスカラ地域に上陸せんとした敵部隊を阻止したこの戦闘で敵の快速艇一隻は撃沈された

一、イタリヤ南部の戦線ではヴォルツノ河の両側で攻勢に出た反樞軸軍を遑へドイツ軍は熾烈な戦闘を行った、東部地區では敵は効果なく攻撃を繰り返へし大損害を蒙つたイストニア南方では目下激戦が展開され同方面で過去数日來敵は戦車廿臺以上を撃破された、又ドイツ沿岸防備隊はイストニア並にベスカラ地域に上陸せんとした敵部隊を阻止したこの戦闘で敵の快速艇一隻は撃沈された

一、イタリヤ南部の戦線ではヴォルツノ河の両側で攻勢に出た反樞軸軍を遑へドイツ軍は熾烈な戦闘を行った、東部地區では敵は効果なく攻撃を繰り返へし大損害を蒙つたイストニア南方では目下激戦が展開され同方面で過去数日來敵は戦車廿臺以上を撃破された、又ドイツ沿岸防備隊はイストニア並にベスカラ地域に上陸せんとした敵部隊を阻止したこの戦闘で敵の快速艇一隻は撃沈された

一、イタリヤ南部の戦線ではヴォルツノ河の両側で攻勢に出た反樞軸軍を遑へドイツ軍は熾烈な戦闘を行った、東部地區では敵は効果なく攻撃を繰り返へし大損害を蒙つたイストニア南方では目下激戦が展開され同方面で過去数日來敵は戦車廿臺以上を撃破された、又ドイツ沿岸防備隊はイストニア並にベスカラ地域に上陸せんとした敵部隊を阻止したこの戦闘で敵の快速艇一隻は撃沈された

日 六

【ベルリン發】 總統大本營 一、クリミアではケルチの兩側並にベロコフ海峡に

一、クリミアではケルチの兩側並にベロコフ海峡に

一、クリミアではケルチの兩側並にベロコフ海峡に

一、クリミアではケルチの兩側並にベロコフ海峡に

日 七

【ベルリン發】 總統大本營 一、クリミア半島では赤軍

一、クリミア半島では赤軍

一、クリミア半島では赤軍

日 六

【ベルリン發】 總統大本營 一、クリミアではケルチの兩側並にベロコフ海峡に

一、クリミアではケルチの兩側並にベロコフ海峡に

一、クリミアではケルチの兩側並にベロコフ海峡に

一、クリミアではケルチの兩側並にベロコフ海峡に

一、クリミアではケルチの兩側並にベロコフ海峡に

ルツルノ西北方のドイツ軍陣地に對し集中兵力を以て執拗に攻勢を繼續特にヴェナフロでは激戦が交へられたが、米英軍は同戰團で大損害を蒙つた、更にドイツ空軍快速爆撃機隊は敵軍陣地に對し效果的低空攻撃を加へた

一、十一月七日晝間、敵空軍は占領地區の東部並にドイツ西部に來襲、一ヶ所では相當の損害を生じた、更に敵空軍は同夜も空襲を行つたが效果は殆んどなく之らの作戦で敵機五臺は撃墜された、ドイツ空軍も七日夜ロンドン市街に對し大型爆弾を投下した

九 【ベルリン發】 總統大本營發表

一、ケルチ南方で赤軍は又も上陸を企圖したが撃退された、ドイツ海軍哨戒艇隊はケルチ海峡で、再び敵快速砲艦二隻、快速艇一隻を夫々撃沈、砲艦一隻に損傷を與へた、クリミヤの北部入口でドイツ軍は増大する敵の壓迫に對し、八日も亦抵抗を續け、戦果をあげたドニエプル戰線ドニエプロベトロフスク西南方におけるドイツ軍の攻撃作戦は成功を収めた、ドイツ軍は僅かの損害を以て敵に對し兵員、器材の両面で大損害を與へた、キエフ地區の戰闘は特に市の南部並に西部でその熾烈さを増した、敵は數ヶ所でドイツ軍の斷乎たる抵抗にも拘らず、徐々に地域獲得に成功したが、その他の地區ではドイツ軍の反撃により優勢な敵から數地區を奪還するに至つた、スモレンスク西北方で敵は攻撃を再開したが僅かに敷地點でドイツ軍陣地間に突入した以外撤退され、敵のうち込んだ楔も直ちに除

去されたネヴエリ地區でドイツ軍は南方から反撃に出て、頑強な抵抗を排し強力な數陣地から敵を驅逐した、ネヴエリ市の西方並に西北方の敵は新銳部隊の掩護の下に攻勢に出たがドイツ軍は激戦を交へた末、敵に甚大な損害を與へ、或は阻止或は撃退した

一、ドイツ軍第九十三對戰車部隊先遣隊は過去數週間、南部戰線で敵戦車百五十三臺を撃破、二十四臺を擱挫せしめた、かくして同部隊は敵の突破企圖破潰に大きな役割を果たした、又クラスマン大佐の指揮する海軍部隊はケルチ海峡における敵の上陸作戦に對する戰闘で砲艦三隻、快速水雷艇二隻、上陸用舟艇五隻、曳船一隻を夫々撃沈、砲艦、快速水雷艇夫々一隻に損傷を與へた

日

一、南部イタリヤ戰線で八日、敵は新銳部隊を以てドイツ軍陣地の突破を企圖、特にヴォルツノ西方並に西北方では終日に亘り激戦が展開された、敵は兵員に大損害を蒙つて撃退され、敵の局部的突破はドイツ軍の追撃により縮少乃至除去された

一、敵空軍は西部ドイツに對し少數の編隊を以て空襲を企圖輕微の損害を生じた、ドイツ空軍も八日夜ロンドン地區の工業施設を再爆撃した

一、ケルチ南方で赤軍は又も上陸を企圖したが撃退された、ドイツ海軍哨戒艇隊はケルチ海峡で、再び敵快速砲艦二隻、快速艇一隻を夫々撃沈、砲艦一隻に損傷を與へた、クリミヤの北部入口でドイツ軍は増大する敵の壓迫に對し、八日も亦抵抗を續け、戦果をあげたドニエプル戰線ドニエプロベトロフスク西南方におけるドイツ軍の攻撃作戦は成功を収めた、ドイツ軍は僅かの損害を以て敵に對し兵員、器材の両面で大損害を與へた、キエフ地區の戰闘は特に市の南部並に西部でその熾烈さを増した、敵は數ヶ所でドイツ軍の斷乎たる抵抗にも拘らず、徐々に地域獲得に成功したが、その他の地區ではドイツ軍の反撃により優勢な敵から數地區を奪還するに至つた、スモレンスク西北方で敵は攻撃を再開したが僅かに敷地點でドイツ軍陣地間に突入した以外撤退され、敵のうち込んだ楔も直ちに除

日

一、ケルチ南方で赤軍は又も上陸を企圖したが撃退された、ドイツ海軍哨戒艇隊はケルチ海峡で、再び敵快速砲艦二隻、快速艇一隻を夫々撃沈、砲艦一隻に損傷を與へた、クリミヤの北部入口でドイツ軍は増大する敵の壓迫に對し、八日も亦抵抗を續け、戦果をあげたドニエプル戰線ドニエプロベトロフスク西南方におけるドイツ軍の攻撃作戦は成功を収めた、ドイツ軍は僅かの損害を以て敵に對し兵員、器材の両面で大損害を與へた、キエフ地區の戰闘は特に市の南部並に西部でその熾烈さを増した、敵は數ヶ所でドイツ軍の斷乎たる抵抗にも拘らず、徐々に地域獲得に成功したが、その他の地區ではドイツ軍の反撃により優勢な敵から數地區を奪還するに至つた、スモレンスク西北方で敵は攻撃を再開したが僅かに敷地點でドイツ軍陣地間に突入した以外撤退され、敵のうち込んだ楔も直ちに除

リウオイログ、北方の獨軍陣地に攻撃を加へた、一方赤軍舟艇八隻はドニエプル河口に突入せんと企圖したが、獨軍哨戒艇隊はそれの内六隻を撃沈、二隻を拿捕した

一、キエフ地區においては赤軍有力部隊を以て廣汎な戰線に亘つて攻撃を續行、悪天にも拘らず激戦が不斷に展開されてゐる、キエフ西方及び西北方に於て獨軍は數的に優勢な赤軍の攻撃を撃退しつつ新陣地に撤出した同市西南に於ては獨軍は赤軍陣地に反撃を加へ熾烈な戰車戦を展開した後赤軍戰車四十五臺を撃破、失地の若干を奪回した

日

一、スモレンスク西北方に於ても赤軍は攻撃を繼續した、若干地區に於ては局部的に獨軍陣地に突入した赤軍となほ戰闘が繼續されてゐるがその他の地區では赤軍を盡く撃退した

一、ネヴエリ南方に於て九日も激戦が展開、赤軍は一度は獨軍陣地若干の占領に成功したが獨軍は反撃を加へて赤軍を攻撃原地點に撃退した

一、ヴォルツノ河西方の防禦戦は依然熾烈に繼續されてゐる、有力な反復軸軍は獨軍據陣地特にミナグノ及びヴェネラの獨軍陣地に對し再三攻撃を企圖したが獨軍防禦砲火はその企圖を挫折せしめた

日

一、有力なる獨爆撃機隊は九日夜敵補給基地ナポリを爆撃、同港に碇泊中の船舶及び港湾施設に直撃弾を浴びせた

一、赤軍は更にベレコフ近傍地區におよびクリグロイ、ロク地區で數回に亘つてドイツ軍陣地に來襲したが大規模な戰闘は行はれなかつた

一、キエフ地區では赤軍は遙かに優勢な兵力をもつて攻撃を續行した、キエフ市西方ではドイツ軍は更に進出し來つた赤軍部隊と激戦を展開した、キエフ市西南方では赤軍がドイツ軍陣地に來襲したが、大損害を出して失敗し、逆にドイツ軍が反撃に轉じ赤軍の抵抗を排して失地を奪回した

日

一、チェルニゴフ西北地區では赤軍が機械化數ヶ師團と有力な砲兵部隊をもつて狹隘な地區でドイツ軍陣地に集中攻撃を加へドイツ軍陣地を突破しようとしたので夜間を衝いて激戦が展開された、同地區のドイツ軍一ヶ軍團は赤軍戰車百八十六臺を撃破した、またドイツ軍陣地に來襲した赤軍騎兵部隊は殲滅された

一、スモレンスク西北方では十日赤軍が新銳兵力をもつて來襲、目下激戦續行中である

一、ネヴエリ地區では赤軍が突出部の先端にあるドイツ軍砲兵陣地を攻撃したが失敗したネヴエリ市南方ではドイツ軍が一進一退の激戦の後反撃に轉じて成功を収めた

日

一、キエフ南方ではドイツ軍は敷地域を奪還した、チェルニゴフ西北方における敵の攻撃は前日の大損害のため衰へを見た、十一日ドイツ軍一部隊は同方面で敵戰車五十七臺を撃破乃至擱挫せしめた、スモレンスク西北方に於て敵はドイツ軍の反撃に遭つて撃退され、ネヴエリ地區でも敵は十一日突破口の擴大を企圖特にネヴエリ市の南方並に北方で猛攻に

軍に占領された二つの山岳陣地を奪回した

一、ドイツ軍は地中海および西部占領地區上空で十日反復軸空軍十五機を撃墜、また大西洋上で英軍大型飛行艇一機を撃墜した

日

一、ドイツ海軍沿岸偵察艇隊は十日朝英軍快速艇一隻を撃沈した

一、クリミヤ戰線では赤軍は強力な部隊を以てケルチ東北方の橋頭堡を擴大せんと努めたがドイツ軍並にルーマニア軍はこれを遊撃、戰線を平靜ならしめた、ドイツ海軍艦隊はケルチ南方の橋頭堡を強化せんとする敵の企圖を阻止、同時に砲艦一隻を撃沈したベレコフ東北方グニエルモールレ海を渡つた赤軍先遣隊は近接戦の末殲滅されたニコポリ東方でドニエブルを渡河せんとした赤軍はドイツ軍のため撃破されたドニエブル彎曲部内における敵の局部的攻撃も撃退された、キエフ地區では赤軍の突破地域内部で依然戰闘は些かも衰へることなく繼續され、キエフ西方では有力な赤軍部隊は攻撃に出たが、ドイツ軍のため撃破され甚大な損害を蒙つた、更にキエフ南方ではドイツ軍は敷地域を奪還した、チェルニゴフ西北方における敵の攻撃は前日の大損害のため衰へを見た、十一日ドイツ軍一部隊は同方面で敵戰車五十七臺を撃破乃至擱挫せしめた、スモレンスク西北方に於て敵はドイツ軍の反撃に遭つて撃退され、ネヴエリ地區でも敵は十一日突破口の擴大を企圖特にネヴエリ市の南方並に北方で猛攻に

出たがドイツ軍の好防に阻まれ、ネ
ヴエリ北方で敵戦車四十臺を撃破し
た、うち三十五臺はドイツ歩兵一
ヶ師團によつて撃破されたものであ
る、過去二日間ドイツ軍は東部戦線
の各地で敵戦車四十一臺を撃破
飛行機九十六臺を撃墜した
一、イタリア南部戦線ではヴォルツ
ルノ西方で過去数日米軍は高地に
設定されたドイツ軍陣地に對し攻撃
を行つたが、甚大な犠牲を拂つたの
みで戦果をあげることは出来なかつ
た、ミニャーノ南方でドイツ軍は大
膽な反撃に出で高地並に一地區を奪
還した

一、反樞軸空軍は十一日晝間、西歐
占領地區數ヶ所に來襲、ムンスタ
市に爆弾を投下した、更に夜間にも
英空軍がドイツ西部並に北部に來襲
したが、これらの空襲に際しドイツ
軍は敵機合計十九臺を撃墜した

日三十

發表

一、クリミヤ戦線ケルチ東
をうけて攻勢に出たが、ドイツ軍の
ため撃退され、ペレコプ地峽でド
イツ軍陣地を攻撃中の敵二ヶ大隊並
にペレコプ市西方水域に集結中の
敵陸上用艇群はドイツ軍砲兵隊の
ため四散せしめられた、ドイツ輕艦
隊も亦二十日ケルチ南方の橋頭堡に
援軍並に物資を送らんとする敵を阻
止、燃料、武器を満載した敵車輜四
臺を撃破した、更にドイツ沿岸砲兵
隊はタマン半島のソ聯港灣施設船舶
に砲撃を加へ、軍需倉庫數棟に命中
一、ドニエプル戦線特にクリヴォル

朝、ドイツ海軍並に空軍との協力の
下に上陸、目下英軍並にパドリオ軍
との間に戦闘繼續中である
一、ドイツ軍長距離偵察隊の報告
によればオラン沖における敵護送船
團に對する攻撃において更に敵貨物
船十一隻に爆弾並に魚雷を命中せし
め、かくて敵輸送船廿三隻合計約十
五萬噸を撃沈破した、しかも損傷を
うけた敵船舶は航行不能の状態にあ
る

日四十

發表

一、中部戦線ではチエルニコフ西北
方でも赤軍は空軍の掩護をうけた強力
な戦團部隊をもつて反覆攻撃に出で
ゴメリ北方スモレンスク西方の兩
地區でも赤軍はドイツ軍陣地に攻撃
を加へた、然しながらこれら凡ての
突破作戦は激戦の末悉く阻止され、
敵は甚大な損害を蒙つた、十一日、
十二日の公報で敵戦車多數破壊の偉
功を發表されたドイツ軍部隊は更に
五十五臺の敵戦車を破壊したネヴェ
リ地區的赤軍は十二日突破地域の狭
大を企圖したが失敗し、視界の狭い
地域に突入した敵の先遣隊はドイツ
軍の反撃に遭つて撃退された

一、クリミヤ半島では赤軍
がケルチ東北方の橋頭堡からドイツ
軍陣地に對し數回に亘つて攻撃を加
へたが失敗した、赤軍は更にペレコ
プ地峽においてもドイツ軍陣地に
來襲したが失敗した
一、ドニエプル戦線では赤軍がヘル
ソノ南方及びケルチ東北方の西方
でドイツ軍陣地に來襲したが撃退さ
れた、チエルカツシイの兩側面では
ドイツ軍は反撃に轉じて赤軍の形成
した局地的突出部を壓縮した
一、クリミヤ西方地區では激烈な肉薄
戦が續行中である、キエフ西南方地
區のドイツ軍はジトミールに向つて
進撃する赤軍部隊の側面を衝き甚大
な損害を與へた、ジトミール市内及
び同市北方では激戦展開中である
一、赤軍はゴメリ西南方及びスモレ
ンスク西方でドイツ軍陣地を突破
しようとして新たに強力な攻撃を加
へて來たが、ドイツ軍は夜に入つて
も激戦を續け赤軍の進出を驅逐乃至
阻止した、またゴメリ北方ではドニ
エプル戦線に轉じて一時ドイツ軍陣
地に突入した赤軍部隊を原陣地まで

驅逐した
一、ネヴエリ地區では活潑な戦闘が
展開されたが、その他の戦線では小
規模な戦闘が展開されたのみ
一、一九四二年八月以來東部戦線に
活躍中のゼットラー大尉麾下の第六
百六十七速射砲部隊はスモレンスク
西方地區で一千臺の戦車を撃破した
一、イタリア南部戦線
一、カツシノに至る山道の兩側面
で激戦續行中である、ヴェナフロ南方
では反樞軸軍は一高地を占領したが
後刻ドイツ軍はこれを奪回した
一、ヴェナフロ西方で米軍がドイツ
軍陣地に猛攻撃を加へたが失敗した
一、バルカン方面
一、バルカン西北地區のドイツ軍は
フューメ東方で數週間に亘つて共
匪軍を攻撃これを包圍殲滅した、右
作戦でドイツ軍は共匪三千六百名以
上を斃し、四千五百名を捕虜にし、
砲四十五門、機關銃及び擲彈筒五百
二十二挺、小銃四千六百五十五挺、
兵站品貯藏庫三十を鹵獲した
一、空中戦その他
一、有力なる米空軍重爆撃機隊がド
イツ領西北部を攻撃しようとしたが
ドイツ軍戦闘機隊の邀撃を受け失敗
した、米軍の盲爆によつて若干の地
なほ續行中である
一、ドイツ軍はチエルカツシイの兩
側面でも赤軍はドニエプル河渡河に成功した
一、キエフ、ジトミールの兩地區で
はドイツ軍は村落若干を奪回し、赤
軍の一部隊を四散せしめた
一、ジトミール市内で戦闘中であつ
たドイツ部隊は同市の西方および西
北方の陣地まで後退した
一、ゴメリ西南地區では赤軍の過去
數日來の戦闘で大損害を生じてゐる

日五十

發表

【ベルリン發】 總統大本營
一、クリミヤ半島では赤軍
がケルチ東北方でドイツ軍陣地を反
覆攻撃を加へて來たが、激戦の後撃
退された、ペレコプ東方ではタビ
サ大尉麾下のルーマニヤ歩兵第三十
八聯隊の一部隊が赤軍擲彈兵一ヶ中
隊を殲滅した
一、ドニエプル下流地區ではドイツ
軍山岳部隊がヘルソンの橋頭堡から
赤軍陣地に奇襲を加へ、赤軍の反撃
を驅逐して、捕虜を得、兵器を鹵獲
した

一、ドニエプル大彎曲部内では赤軍
が有力な戦車歩兵部隊をもつて新攻
撃を開始し、ドニエプロベトロフス
ク西南方およびクリヴォイ・ログ東
北方でドイツ軍陣地を突破しよう
としたが、ドイツ軍は激戦の後赤軍
に極めて甚大な損害を與へて撃退し
た、クリヴォイ・ログ市北方では赤
軍が優勢な兵力をもつてドイツ軍陣
地内に突出部を形成したが、ドイツ
軍の反撃によつて右突出部の擴大を
阻止した、右戦團でドイツ軍は赤軍
戦車百二十臺を撃破したが、戦團は
なほ續行中である
一、ドイツ軍はチエルカツシイの兩
側面でも赤軍はドニエプル河渡河に成功した
一、キエフ、ジトミールの兩地區で
はドイツ軍は村落若干を奪回し、赤
軍の一部隊を四散せしめた
一、ジトミール市内で戦闘中であつ
たドイツ部隊は同市の西方および西
北方の陣地まで後退した
一、ゴメリ西南地區では赤軍の過去
數日來の戦闘で大損害を生じてゐる

が遂にドイツ軍陣地線を突破するに成功した、赤軍騎兵および戦車部隊はレチツツア市に奇襲攻めしようとしたがドイツ軍は右部隊を殲滅した、ゴメリの両側面では赤軍がドイツ軍陣地に對し多數の攻撃を加へて来たが阻止された

一、スモレンスク西方では赤軍が多數の狙撃兵師團および有力な戦車部隊をもつて攻撃を再開、數回に亘つてドイツ軍陣地に來襲したが、激戦の後撃退された、ドイツ軍は赤軍の形成した局地的突出部隊を閉鎖し、赤軍戦車五十六臺を撃破した

一、スモレンスク西方では戦闘は若干弱化した

一、ネヴエリ地區では赤軍の局地的攻撃が行はれた

一、ドイツ空軍に屬する第十二および第十七高射砲師團はソーシヌ河口地區およびドニエプル彎曲部内の戦闘において特に顯著な戦果を収めた

一、イタリヤ南部戦線

△バルカン西北部

一、ドイツ軍は海軍部隊と協力して匪賊に占領されてゐたフヌーメ灣のチェルソ、ルツシノ兩島に上陸、匪賊の抵抗を破り、多數の捕虜を得且つ大量の兵器を鹵獲した、またドイツ輕艦隊は匪賊が逃走のため利用しようとした若干の船舶を拿捕した

△空中戦その他

一、ドイツ空軍は地中海東部水域上空で反樞軸空軍五機を撃墜した

一、ドイツ艦隊はエーゲ海で反樞軸潜水艦一隻を撃沈、捕虜を得た

日六十

【ベルリン發】 總統大本營發表

一、ドニエプル大彎曲部のドニエプロベトロフスク西南部各地のドイツ軍飛行場に対する空襲で米空軍は爆撃機十六臺を喪失又十五日夜ドイツ西部に反樞軸空軍が來襲、小數の爆弾を投下、更に西歐占領地區上空で反樞軸空軍機六臺が撃墜された、同夜強力なドイツ空軍の編隊はブリマヌ港を強襲戦果をあげた

レロス島では依然戦闘繼續中でドイツ海岸沿岸防備隊はエーゲ海で再び潜水艦一隻を撃沈した、ギリシヤ南部各地のドイツ軍飛行場に対する空襲で米空軍は爆撃機十六臺を喪失又十五日夜ドイツ西部に反樞軸空軍が來襲、小數の爆弾を投下、更に西歐占領地區上空で反樞軸空軍機六臺が撃墜された、同夜強力なドイツ空軍の編隊はブリマヌ港を強襲戦果をあげた

日七十

【ベルリン發】 總統大本營發表

△東部戦線

一、獨軍はケルチ西北方における赤軍突出部隊に反撃を加へてこれを掃蕩した、赤軍は獨軍新陣地に對し攻撃を加へ来たが獨軍はこれを再び撃退した

一、サポロージェ附近において獨軍はドニエプル河の一島嶼から赤軍を驅逐、多數の捕虜と夥しい軍需品を鹵獲した

一、ドニエプロベトロフスク西南とクリヴオイログ北方において赤軍は攻撃を再開、局地的突出部を結成したが、獨軍は赤軍の攻勢を撃退赤軍戦車七十五臺、砲十二門を破壊乃至鹵獲すると共に右突出部を閉塞した

一、ジトミールにおける獨軍の反撃奏效し獨軍は頑強なる抵抗を排除し、數箇所から赤軍を驅逐した

一、コロステン地區においては目下激戦展開中

一、赤軍はゴメリ兩側の獨軍陣地突破目指して猛攻撃を繰返し目下激戦が展開されてゐる、その他の赤軍の攻撃は全部獨軍により撃退された

一、スモレンスク西方に大防禦戰が展開されて第三日赤軍は何等の成功をも収めなかつた、赤軍は優勢な兵力を以て獨軍陣地を攻撃したが獨軍は甚大なる損害を與へてこれを撃退した、僅かに一部の赤軍部隊が獨軍の陣地の突破に成功したが獨軍はこれに對しても直ちに反撃を加へて撃退した

一、スモレンスク西北及びネヴエリ地區においては赤軍は依然獨軍に重壓を加へてゐる

△イタリヤ戦線

一、南部イタリヤ戦線においては東部戰區における印度軍の局地的攻撃を除き全戦線平穩であつた

△その他

一、エーゲ海上空において反樞軸空軍は十六日九機を喪失した

一、米爆撃機編隊は十六日ノルウェー領を攻撃一般住民の間に多數の死傷者を出した、右攻撃並にフランスに對する空襲において獨防空部隊は敵機十三機を撃墜したがその中には四發爆撃機數機が含まれてゐる

一、英空軍は十六日夜西部ドイツにゲリラ空襲を行ひ爆弾若干を投下した

日八十

【ベルリン發】 總統大本營發表

△東部戦線

一、ドニエプル大彎曲部内では赤軍が十七日も引續きドニエプロベトロフスク西南方及びクリヴオイログ北方でドイツ軍陣地に來襲したがドイツ軍は激戦の後赤軍に甚大な損害を與へて驅逐し、ドイツ軍機械化擲弾兵だけでも赤軍戦車五十八臺を撃破した

一、チェルカツシイ西北方では活潑な局地的戦闘が展開された

一、キエフ數機のジトミール地區ではドイツ軍は赤軍の頑強な攻撃を撃退した後、北方に向つて進出、重要地域を奪回した、コロステンではドイツ軍は優勢な赤軍と激戦を續行し居る

一、ゴメリ地區では赤軍が戦車部隊の掩護下にドイツ軍陣地に來襲したのが撃退され、赤軍が一時同市西南方で形成した局地的突出部も閉鎖された、赤軍は更に同地方でも攻撃を再開したが失敗した

一、スモレンスク西方では激戦が少しも弱まることなく續行された、赤軍は集結した大兵力を以て終日ドイツ軍陣地に攻撃を加へたが、ドイツ軍は激烈な近接戦の後、赤軍を撃退した、右戦闘で赤軍は戦車九十四臺を喪失した

一、ヴィテプスク東方地區で赤軍が數回に亘つてドイツ軍陣地に來襲したが失敗した、ネヴエリ西南方では激戦が續行中、若干の赤軍部隊は突出部から南方及び東南方に向つて進出しようとしてゐる

一、ドイツ軍の第十高射砲師團はキエフ、ジトミール兩地區で地上作戦に参加し、顯著な戦果を収めた

△イタリヤ南部が戦線

一、イタリヤ南部戦線ではドイツ軍も反樞軸軍も砲兵部隊及び偵察部隊を活動せしめたのみ

△空中戦その他

一、反樞軸空軍が十七日夜ドイツ西部及び北部の各地に攻撃を加へたが輕少の損害を生じたのみ、ドイツ軍は十七日西部占領地區及び地中海上空で並つて重爆撃機からなる反樞軸空軍十六機を撃墜、更に大西洋上で大型飛行艇一隻を撃墜した

一、十七日夜の特別公表の如くミユ

ラー中将麾下のドイツ陸軍及び空軍部隊は四日間に亘つて數次的に優勢な反樞軸軍と一進一退の激戦を交へた後十六日英海軍基地レロス島を占據した、上陸作戦開始に先立ち、ドイツ海軍及び空軍部隊に大損害を與へ上陸作戦の準備を行つた、次いでドイツ軍は沿岸砲臺の猛砲撃を冒して上陸を敢行、ドイツ空軍は反樞軸軍に決定的大打撃を與へた、英軍司令チルネイ麾下の英軍將校二百名、兵三千名はマスチャルバ提督麾下のバドリオ派軍隊將校三百五十名、兵五千名と共にドイツ軍は大型高射砲十六門、二糧口徑高射砲廿門、其他の砲百二十門、高射機關銃八十挺を鹵獲した、またドイツ海軍及び空軍は驅逐艦及び護送用艦船九隻、偵察艇二隻、潜水艦二隻、砲艦一隻、商船四隻、合計約一萬二千噸と小型補給船數隻を撃沈し、巡洋艦一隻、驅逐艦一隻、護送用艦船二隻を大破した

日九

一、ドニエプル大彎曲部の赤軍は降りつづく雨のため十八日は小規模な攻撃を行つたに過ぎず、ドイツ軍はこれら赤軍の攻撃を撃退した、チェルカウスイドニエプルを渡河し、攻撃に出でんとした赤軍の企圖も失敗した、キエフ地区の赤軍はドイツ軍の反撃を阻止せんとして、熾烈な攻勢に出たが目的を達しなかつた、ドイツ軍は敵の頑強な抵抗を排して占領地域を擴大、更に敵の頑強に守備する多數の村落を奪還した

一、コロステン地区では些かも熾烈さを減ずることなく激戦が続けられレチツア地区でも亦熾烈な戦闘が行

はれてゐる、同方面における赤軍の攻勢はドイツ軍の猛烈な反撃にとつて代られたスモレンスク西方でもドイツ軍は十八日優勢な赤軍の突破企圖を悉く撃退敵の兵員戦車に大損害を與へた、ネヴエリ西南方で赤軍の先遣隊數ヶ部隊は前進を企圖したが激戦の後潰走した

日十

一、敵空軍は十八日ノルウェーを襲い、更に同夜ベルリンを含むドイツ北部並に西部にも來襲したこの結果マンハイムでは大損害を蒙り、市民にも少數の死傷者を出した、現在までに判明したところによれば來襲機のうち四十六臺は撃墜された、之に對しドイツ空軍重爆撃隊も十八日夜ロンドンに空襲した

一、ゴメリの兩側に於て十九日激戦が展開されたが此の激戦は同市西南

に於てはなほ續行されてゐる、同市東北に於ける多數の空軍の援助を受けた赤軍の獨陣地突破企圖は獨軍に依り撃退された

日十一

一、東地中海に於て獨空軍は敵の海軍部隊を攻撃巡洋艦一隻、驅逐艦一隻に直撃弾を與へて損傷せしめた

一、反樞軸空軍は十九日白晝ドイツ西部國境へまた夜間には西ドイツ内に侵入し來た損害を受けたが獨軍はその内七機を撃墜、大西洋上でも二機を撃墜した

一、赤軍は廿日有力な空軍に掩護された多數の戦車歩兵部隊をもつてニコポリ、ドニエプロベトロフスク南方及びクリゾイ・ロク北方に在るドイツ軍橋頭堡に對して攻撃を開始したが、ドイツ軍は頑強な防禦戦及び強力な反撃によつて赤軍の突破企圖を凡て阻止し、赤軍戦車二百四十七臺を撃破した、この内百七臺はドレイツ軍一團圍の戦闘地區に於て撃破したものである

一、キエフ西方のドイツ軍の反撃は赤軍の頑強な抵抗にも拘はらず更に進捗してゐる

一、サンゴロ河方面のドイツ軍保安部隊は遙かに優勢な兵力を以て反復攻撃を加へて來た反樞軸軍に大損害を與へて後サンゴロ河の後方に撃退

一、キエフ西方戦線の赤軍は反撃するドイツ軍に對し最も頑強な抵抗を行つた、ドイツ軍は敵の防禦網を突破、その二ヶ聯隊を一掃した、ゴメリ西南方では壓倒的兵力による赤軍の重壓の前にドイツ軍は數地區で後方の陣地に撤退した、ゴメリ北方のドイツ軍は反復攻撃に出る赤軍を邀撃の成果をおさめた、ヌクリーチエフへ、激戦を交へた末、完全な防禦戦の成果をおさめた、ヌクリーチエフ南方地区でもドイツ軍陣地内に突入して來た赤軍との間に目下激戦展開中である、スモレンスク西方戦線ではハインリッヒ大將並にフェルカース歩兵大將麾下のドイツ軍各部隊が過去七日間に亘る自動車公路上の戦闘で偉功を樹て、赤軍歩兵三十四ヶ師團並に戦車六ヶ旅團は夫々無益な攻撃に出た結果、兵員、器材の兩

日十二

一、東部戦線

一、ケルチ東北方で赤軍が再び橋頭堡を擴大しようとしたが、ドイツ軍は白兵戦で赤軍戦車十八臺を撃破、赤軍の攻撃を撃退してドイツ空軍及び砲兵部隊は反復攻撃によした

日三

一、ケルチ東北方における赤軍の反復攻撃は失敗した

一、ケルチ東北方における赤軍の反復攻撃は失敗した

日廿

一、ケルチ東北方で赤軍が再び橋頭堡を擴大しようとしたが、ドイツ軍は白兵戦で赤軍戦車十八臺を撃破、赤軍の攻撃を撃退してドイツ空軍及び砲兵部隊は反復攻撃によした

一、ケルチ東北方で赤軍が再び橋頭堡を擴大しようとしたが、ドイツ軍は白兵戦で赤軍戦車十八臺を撃破、赤軍の攻撃を撃退してドイツ空軍及び砲兵部隊は反復攻撃によした

面に互り極めて甚大な損害を蒙つた
グイテブスク東方並にネヴェリの嶺
狀地帯における赤軍はドイツ軍のた
め撃退された

一、南部イタリアでは反樞軸軍は強
力な部隊を以てサングロ河北方のド
イツ軍前進陣地の最左翼に對して攻
撃に出たが、敵の熾烈な攻撃は撃退
され、一ヶ所における敵の突出部は
除去された、一方樞軸軍の海軍基地
であるレロス島の無條件降伏の後今
ヤサモス島の守備隊も降伏するに至
りドイツ軍は同島に上陸した、英軍
並にパドリオ軍から成る同島守備隊
員の一部は過去数日間に一中立國に
逃亡した、指揮官に見棄てられた約
六千の守備隊員は目下ドイツ軍によ
つて武装を解除されつつある

一、英空軍爆撃機は二十二日夜ベ
ルリンに對し熾烈な恐怖攻撃を加へ
た、多数の高性能爆弾が投下された
ため數地帯に破壊を生じ、多数のか
げがへのない藝術の殿堂も破壊され
又市民にも死傷者を生じた、更に敵
空軍の他の編隊はラインランドの一
地點を攻撃した、この日は特に防禦
に困難な狀勢下にあつたがドイツ軍
は現在までに判明したところでも敵
爆撃機二十九臺を撃墜した

【ベルリン發】 總統大本營
發表
一、ドイツ軍はドニエプル
大彎曲部のニコポリ橋頭堡及びチエ
ルカフスイにおいて有力な赤軍の攻
撃を激戦の後撃退した、一方クレメ
ンチウグ地帯に於ては獨軍は反撃を
加へ赤軍突出部を閉塞したが同地區
において目下激戦が續行されてゐ
る、チエルカフスイ西南の後方地帯

においてドイツ軍は赤軍要塞地數
個を撃破した
一、キエフ西方の戰場において赤軍
はドイツ軍の狭撃作戦に依り包圍さ
れた、同地區においてドイツ軍機甲
一個師團は二十三日赤軍戦車三十臺
砲六門、各種機關銃四門を破壊した
一、ドイツ軍はゴメリ北方地區にお
ける赤軍の攻撃を撃退したゴメリ西
方の赤軍突出部地區に於ける激戦は
二十三日も繼續されドイツ軍は赤軍
の進撃に對し頑強に抵抗した

一、南部イタリア戦線では二十三日
局地的衝突が行はれた
一、西部地區においては米第五軍は
ヴェナフロ西方の獨山岳陣地を攻撃
し來つたが獨軍はこれを撃退した
一、東部戰區においては獨軍前哨陣
地の一部は數的に極めて優勢な英軍
の攻撃を受け獨軍は數時間に亘る激
戦を展開、敵に甚大なる損害を與へ
た後これら前哨陣地から後方に撤收
した

△その他
一、ドイツ首都は廿三日夜有力な英
軍爆撃機隊の攻撃を受け市内各所は
火事の爲に新たに重大な損害を受け
住宅地區の外に幾多の公共建物、教
會堂、厚生施設、美術建築物等が破
壞された、ドイツ軍戰團機隊並に高
射砲隊は困難な防備狀況にも拘らず
内十九機を撃墜した

【ベルリン發】 總統大本營
發表
一、赤軍は廿四日數回に亘
つてヘルソン橋頭堡に攻撃
を加へたが失敗した、赤軍は更にニ
コポリ橋頭堡及びドニエプル大彎曲

退され、赤軍の形成した若干の突出
部は閉鎖された
一、クレメンチウグ南方で赤軍が有
力な戦車歩兵部隊を以てドイツ軍陣
地に突入するに成功したが、ドイツ
軍は直ちに反撃赤軍部隊を殲滅し多
數の砲及び戦車を撃破した
一、キエフ西方地區ではドイツ軍は
困難な地形にも拘はらず赤軍の連續
的反撃を驅逐しつつ徐々に進出した
廿四日の公表した有力な赤軍部隊は
包圍され、同方面のドイツ軍は過
去四日間の戦闘で赤軍戦車百九十九
臺、各種火砲五百五十四門、機關銃
及び擲彈筒三百挺、自動車百六十六
臺を撃破乃至鹵獲且つ多数の赤軍將
兵を捕虜にした

一、ゴメリ地區ではドイツ軍は同市
西方及び北方でドイツ軍陣地に突入
した赤軍部隊と激戦を續けた、赤軍
の包圍作戦企圖はドイツ軍の反撃に
より失敗し赤軍先鋒部隊は撃破乃至
驅逐された
一、ネヴェリ西方ではドイツ軍は
赤軍の猛反撃を驅逐した後更に進出
した、右戦闘でドイツ軍は赤軍戦車
十七臺を撃破した
△空中戦
一、有力なドイツ空軍爆撃機隊が廿
四日夜マルタ島のフ・ヴァレツタ港
及びコルシカ島のバスタア港を空襲
船舶及び建築物に爆撃を加へた
一、數機からなる反樞軸空軍がドイ
ツ領北部に攪亂攻撃を加へた
一、反樞軸空軍はフランス南部の數
地點を爆撃するため市民が甚大な損
害を蒙つた

【ベルリン發】 總統大本營
發表
一、ニコポリ橋頭堡並にド
ニエプル大彎曲部における
赤軍の攻撃は黄昏の後まで激戦が續
けられた末撃退された、クレメンチ
ウグ西南方の赤軍突破地點では依然
熾烈な戦闘が行はれてゐる、廿五日
同方面で赤軍は戦車百十二臺を喪失
した、又右戦闘でクンチメル中尉は
敵戦車廿一臺を撃破しかつて同中尉
の所屬する重戦車聯隊は過去四ヶ月
の戦闘で戦車六百五十四臺並に砲六
百十門を破壊するに至つた、チエル
カフスイ、キエフ西方並にコロステ
ンの各戦線ではドイツ軍は赤軍の攻
撃を悉く撃退、更に反撃に出で敵の
數部隊を殲滅した、右作戦によりド
ニエプル右岸の一橋頭堡は除去され
ドイツ軍は捕虜數百名を得た
一、ゴメリ地區ではドニエプルとブ
リビヤーチ兩河中間地域で激戦が繼
續され、長期に亘り、第一線となつ
てゐたゴメリ市からドイツ軍は軍事
市西北方の突出部を擴大しようとし
る赤軍の企圖は激戦の後撃破され、
ドイツ軍陣地内に突入した赤軍はド
イツ軍の反撃に依て殲滅された、更
にネヴェリ西方でドイツ軍擲彈兵
隊は反撃に出で再び赤軍を驅逐した
が右戦闘にはドイツ空軍急降下爆撃
機隊も參加した、極北戦線でドイツ
空軍戰團機隊並に高射砲隊は一航空
基地に對する敵空軍の攻撃を撃退、
來襲機六十五臺のうち、三十二臺を
撃破した

一、南部イタリア戦線では二十五日
も重要な戦闘は見られなかつた、二
十五日夜英空軍は爆撃機の編隊をも

つてフランクフルト・アン・マイン
並にオツフエンバツハに恐怖空襲を
加へ又ライン、マイン地區の數ヶ所
にも爆弾を投下した、右空襲及び西
歐占領地域で現在までに反樞軸空軍
二十五臺が撃墜されたことが判明し
た、これに對しドイツ空軍も二十五
日夜ロンドン並にドーヴァーに空襲を
加へた

【ベルリン發】 總統大本營
發表
一、ニコポリ橋頭堡並にド
ニエプル大彎曲部において有力な戦
車隊の支援を受けた赤軍部隊は新攻
撃を開始し來つたが獨軍は熾烈なる
反撃を加へこれを撃退すると共に赤
軍が局地的に結成した突出部を閉塞
した、獨軍は此の戦闘において赤軍
戦車百五十臺を破壊した、チエルカ
フスイ地區においては、激戦が續繼
續されてゐる

一、獨軍はキエフ西方及びコロステ
ン地區において數回に亘つて獨軍陣
地を攻撃し來つたが獨軍は激戦の後
これを撃退した
一、ゴメリ西方及びクリチエフ西南
において獨軍は目下赤軍前進部隊と

【ベルリン發】 總統大本營
發表
一、ニコポリ橋頭堡並にド
ニエプル大彎曲部において有力な戦
車隊の支援を受けた赤軍部隊は新攻
撃を開始し來つたが獨軍は熾烈なる
反撃を加へこれを撃退すると共に赤
軍が局地的に結成した突出部を閉塞
した、獨軍は此の戦闘において赤軍
戦車百五十臺を破壊した、チエルカ
フスイ地區においては、激戦が續繼
續されてゐる

【ベルリン發】 總統大本營
發表
一、ニコポリ橋頭堡並にド
ニエプル大彎曲部において有力な戦
車隊の支援を受けた赤軍部隊は新攻
撃を開始し來つたが獨軍は熾烈なる
反撃を加へこれを撃退すると共に赤
軍が局地的に結成した突出部を閉塞
した、獨軍は此の戦闘において赤軍
戦車百五十臺を破壊した、チエルカ
フスイ地區においては、激戦が續繼
續されてゐる

【ベルリン發】 總統大本營
發表
一、ニコポリ橋頭堡並にド
ニエプル大彎曲部において有力な戦
車隊の支援を受けた赤軍部隊は新攻
撃を開始し來つたが獨軍は熾烈なる
反撃を加へこれを撃退すると共に赤
軍が局地的に結成した突出部を閉塞
した、獨軍は此の戦闘において赤軍
戦車百五十臺を破壊した、チエルカ
フスイ地區においては、激戦が續繼
續されてゐる

【ベルリン發】 總統大本營
發表
一、ニコポリ橋頭堡並にド
ニエプル大彎曲部において有力な戦
車隊の支援を受けた赤軍部隊は新攻
撃を開始し來つたが獨軍は熾烈なる
反撃を加へこれを撃退すると共に赤
軍が局地的に結成した突出部を閉塞
した、獨軍は此の戦闘において赤軍
戦車百五十臺を破壊した、チエルカ
フスイ地區においては、激戦が續繼
續されてゐる

【ベルリン發】 總統大本營
發表
一、ニコポリ橋頭堡並にド
ニエプル大彎曲部において有力な戦
車隊の支援を受けた赤軍部隊は新攻
撃を開始し來つたが獨軍は熾烈なる
反撃を加へこれを撃退すると共に赤
軍が局地的に結成した突出部を閉塞
した、獨軍は此の戦闘において赤軍
戦車百五十臺を破壊した、チエルカ
フスイ地區においては、激戦が續繼
續されてゐる

【ベルリン發】 總統大本營
發表
一、ニコポリ橋頭堡並にド
ニエプル大彎曲部において有力な戦
車隊の支援を受けた赤軍部隊は新攻
撃を開始し來つたが獨軍は熾烈なる
反撃を加へこれを撃退すると共に赤
軍が局地的に結成した突出部を閉塞
した、獨軍は此の戦闘において赤軍
戦車百五十臺を破壊した、チエルカ
フスイ地區においては、激戦が續繼
續されてゐる

【ベルリン發】 總統大本營
發表
一、ニコポリ橋頭堡並にド
ニエプル大彎曲部において有力な戦
車隊の支援を受けた赤軍部隊は新攻
撃を開始し來つたが獨軍は熾烈なる
反撃を加へこれを撃退すると共に赤
軍が局地的に結成した突出部を閉塞
した、獨軍は此の戦闘において赤軍
戦車百五十臺を破壊した、チエルカ
フスイ地區においては、激戦が續繼
續されてゐる

大南洋諸島の全貌

人類學者として著名な著者
が、廣汎な太平洋諸島の政
治經濟文化軍事上の諸問
題と、廿餘年間の現地調査
によつて総合的に論究した
權威書
A5判七〇〇頁
の完譯
實價七・七五

【ベルリン發】 總統大本營
發表
一、ニコポリ橋頭堡並にド
ニエプル大彎曲部において有力な戦
車隊の支援を受けた赤軍部隊は新攻
撃を開始し來つたが獨軍は熾烈なる
反撃を加へこれを撃退すると共に赤
軍が局地的に結成した突出部を閉塞
した、獨軍は此の戦闘において赤軍
戦車百五十臺を破壊した、チエルカ
フスイ地區においては、激戦が續繼
續されてゐる

激戦を展開してゐる。一、ネヴェリ南方及び西北方において獨軍は赤軍陣地を攻撃して局地的成功を収めた

△空中戦

一、廿六日米爆撃機隊は白晝獨領に侵入し來りブレメンに威嚇爆撃を加へた、病院並に文化記念物等數箇所が破壊された、獨戰機隊その他防空部隊は現在までに四十一機を撃墜した一方西歐占領地上空に於ても米爆撃機、戰闘機合せて十三機を撃墜した

一、英空軍爆撃機隊は廿六日夜獨領に侵入、威嚇攻撃を加へた、數箇編隊はスツトガルトを空襲、他の編隊はベルリン上空に飛來、各地區に爆弾を投下、損害を蒙つた、ドイツ夜間戰闘機及び高射砲隊は英爆撃機三十九機を撃墜した

一、斯くて過去二十四時間中に反獨軸空軍は獨領及び西歐占領地上空に於て九十三機を喪失したわけである

一、ドイツ空軍は廿六日夜ロンドン地區に爆弾を投下した

一、ドイツ雷撃機隊は廿六日午後アムジエリ海岸沖合において軍隊輸送船より成る大護送船團を攻撃、顯著なる成果を収めた、驅逐艦二隻、輸送船三隻(三八、〇〇噸)を撃沈、驅逐艦二隻、大型輸送船一隻、護衛艦一隻に重大損傷を與へた

一、廿六日夜獨空軍は敵補給基地ナポリを猛爆した

【ベルリン發】、總統大本營發表

△東部戰線

一、ベレコフ東南方でドイツ軍は一時赤軍に占領されてゐた

一、高地を奪回、同高地に對する赤軍の多數の反撃を驅逐した

一、ドイツ空軍はベレコフ東南及びケルチ東南で赤軍陣地及び反撃する赤軍部隊に對し大編隊を以て攻撃を加へ大損害を與へた

一、ニコポリ橋頭堡及びドニエブル大彎曲部内ではドイツ軍は廿七日も激烈な防禦戦を續け數地點に於てドイツ軍陣地を突破した赤軍部隊を驅逐乃至遮斷した

一、クレメンチナ南方及びチエルカツシではドイツ軍はドイツ軍陣地を突破した赤軍部隊と激戦續行中である

一、キエフ西方地區でも激戦が展開された、赤軍の數回に亘る攻撃は失敗に歸し、ドイツ軍は泥濘路を衝いて赤軍の頑強な抵抗を排し進出に成功した

一、コロステン地區ではドイツ軍の攻撃作戦は成功裡に終了した、同地區のドイツ軍は過去數日間の戰闘で有力赤軍部隊を包圍殲滅した、一時コロステン市の東南部に突入した赤軍部隊は頑強な抵抗にも拘らずドイツ軍に掃蕩された、右戰闘でドイツ軍は赤軍に甚大な死傷を與へ砲五十九門及び多數の歩兵用兵器を鹵獲更に多數の赤軍將兵を捕虜にした

一、ゴメリ地區では戰闘は弱化したドイツ軍は數地點において赤軍の攻撃を阻止、更に反撃によつて赤軍部隊を原陣地まで驅逐した

一、ネヴェリ西南方でドイツ軍に赤軍の反撃を排し若干の住民地區を奪回した

△イタリヤ南部戰線

一、東部戰區の反獨軸軍は廿七日一ケ大隊の兵力を以て戰車の掩護下に

ドイツ軍陣地に反復攻撃を加へた、戰闘は目下續行中である

一、他の戰區では兩軍が活潑な砲撃戦を交へたのみ

一、ドイツ軍は廿六、七の兩日間に地中海上空で反獨軸空軍十二機を撃墜した

【ベルリン發】、總統大本營發表

一、ニコポリ橋頭堡に大ニエブル彎曲部で、赤軍は強力な部隊を以て引續き攻撃に成功したのみで右突破口ドイツ軍のため閉塞され、右戰闘でドイツ軍は赤軍戦車百七臺を撃破した、又戰闘は特にクレメンチナ南方の赤軍突破地域において、激烈を極め、ドイツ軍は歩兵數ヶ師から成る赤軍の攻撃を撃退、更に數ヶ所で反撃に轉じた、チエルカツシ、キエフ、コロステンの各地區からも激戦が報ぜられ、キエフ西方におけるドイツ軍の攻勢は順調に進捗した

一、一方、二十七、二十八の兩日東部戰線でソ聯機七十二臺は撃墜されドイツ軍は六臺を喪失した

一、ゴメリ戰區では全域に亘り、再び激戦が起り、同方面における泥濘と赤軍の強靱は、頑強な抵抗を續け兩三日に亘り反撃に出るドイツ軍に對し非常な努力を要求してゐる

一、ニコポリ橋頭堡並に大ニエブル彎曲部で、赤軍は強力な部隊を以て引續き攻撃に成功したのみで右突破口ドイツ軍のため閉塞され、右戰闘でドイツ軍は赤軍戦車百七臺を撃破した、又戰闘は特にクレメンチナ南方の赤軍突破地域において、激烈を極め、ドイツ軍は歩兵數ヶ師から成る赤軍の攻撃を撃退、更に數ヶ所で反撃に轉じた、チエルカツシ、キエフ、コロステンの各地區からも激戦が報ぜられ、キエフ西方におけるドイツ軍の攻勢は順調に進捗した

一、一方、二十七、二十八の兩日東部戰線でソ聯機七十二臺は撃墜されドイツ軍は六臺を喪失した

一、ゴメリ戰區では全域に亘り、再び激戦が起り、同方面における泥濘と赤軍の強靱は、頑強な抵抗を續け兩三日に亘り反撃に出るドイツ軍に對し非常な努力を要求してゐる

一、ニコポリ橋頭堡並に大ニエブル彎曲部で、赤軍は強力な部隊を以て引續き攻撃に成功したのみで右突破口ドイツ軍のため閉塞され、右戰闘でドイツ軍は赤軍戦車百七臺を撃破した、又戰闘は特にクレメンチナ南方の赤軍突破地域において、激烈を極め、ドイツ軍は歩兵數ヶ師から成る赤軍の攻撃を撃退、更に數ヶ所で反撃に轉じた、チエルカツシ、キエフ、コロステンの各地區からも激戦が報ぜられ、キエフ西方におけるドイツ軍の攻勢は順調に進捗した

一、一方、二十七、二十八の兩日東部戰線でソ聯機七十二臺は撃墜されドイツ軍は六臺を喪失した

一、ゴメリ戰區では全域に亘り、再び激戦が起り、同方面における泥濘と赤軍の強靱は、頑強な抵抗を續け兩三日に亘り反撃に出るドイツ軍に對し非常な努力を要求してゐる

一、ニコポリ橋頭堡並に大ニエブル彎曲部で、赤軍は強力な部隊を以て引續き攻撃に成功したのみで右突破口ドイツ軍のため閉塞され、右戰闘でドイツ軍は赤軍戦車百七臺を撃破した、又戰闘は特にクレメンチナ南方の赤軍突破地域において、激烈を極め、ドイツ軍は歩兵數ヶ師から成る赤軍の攻撃を撃退、更に數ヶ所で反撃に轉じた、チエルカツシ、キエフ、コロステンの各地區からも激戦が報ぜられ、キエフ西方におけるドイツ軍の攻勢は順調に進捗した

一、一方、二十七、二十八の兩日東部戰線でソ聯機七十二臺は撃墜されドイツ軍は六臺を喪失した

一、ゴメリ戰區では全域に亘り、再び激戦が起り、同方面における泥濘と赤軍の強靱は、頑強な抵抗を續け兩三日に亘り反撃に出るドイツ軍に對し非常な努力を要求してゐる

一、ニコポリ橋頭堡並に大ニエブル彎曲部で、赤軍は強力な部隊を以て引續き攻撃に成功したのみで右突破口ドイツ軍のため閉塞され、右戰闘でドイツ軍は赤軍戦車百七臺を撃破した、又戰闘は特にクレメンチナ南方の赤軍突破地域において、激烈を極め、ドイツ軍は歩兵數ヶ師から成る赤軍の攻撃を撃退、更に數ヶ所で反撃に轉じた、チエルカツシ、キエフ、コロステンの各地區からも激戦が報ぜられ、キエフ西方におけるドイツ軍の攻勢は順調に進捗した

あるドイツ軍陣地に對し目下強力な部隊を以て攻撃を加へつつあり、前日ドイツ軍陣地内に突入した英軍部隊はドイツ軍の反撃に遭つて撃退され甚大な損害を蒙つた

一、反獨軸空軍は二十八日夜、西部ドイツに來襲、之れに對しドイツ空軍も同夜英本土東南部を攻撃した

【ベルリン發】、總統大本營發表

一、ベレコフ地峽のドイツ軍陣地に對する赤軍の攻撃は依然成功せず、ニコポリ橋頭堡並にドニエブル彎曲部における赤軍の攻勢活動は全般的に前日より弱まつた、クリヴォイ・ログ東北並に北方及びクレメンチナ南方の突破地點で赤軍の大規模な攻勢に出た、ドイツ軍は反撃に出て戦果をおさめ、砲廿門を撃破乃至鹵獲した、キエフ西方におけるドイツ軍の攻勢作戦も更に局地的成功を収めた、キエフ並にジトミル地區における攻勢並に防禦戦においてホート大將麾下のドイツ國防戦並に親衛隊は機動戦法を以て將に突破作戦に出でようとする赤軍を攻撃、東方へ退却した

一、同方面において赤軍は十一月九日から廿八日に至る間に戦死三萬以上、捕虜四千八百を出て戦車六百三臺、砲千五百門、野砲二百七十四門、機銃千四百二挺、對戦車銃五百五十四門を喪失した

一、ゴメリ戰區では激戦が續けられ、ニコポリ西方並に西南方でドイツ軍は強力な赤軍の進出を阻止、又ゴメリ西方では赤軍の多數の攻撃は撃退され敵は甚大な損害を蒙つたネヴェリ

一、十一月二十六日アルジェリ海岸沖におけるドイツ空軍雷撃機隊の敵護送船團攻撃に關する最終の報告によれば、四番目の大型船舶一隻も撃沈された、かくて右作戦において敵は輸送船四隻合計五萬噸を喪失したことになる

一、二十九日米空軍は密雲を利し、ブレメンに來襲、建築物、市民に損傷を與へた、來襲機の新大型四發機を含む敵三十三機は空中戦並に高射砲によつて撃墜された、更に敵は西歐占領地區で六機を喪失、大西洋上で大型飛行艇一機も撃墜された

一、二十八日夜獨空軍は續いてドイツ西部を盲爆した

一、大西洋、地中海、黒海の各水域に作戦中のドイツ潜水艦隊は、敵船舶八隻、合計三萬六千噸、驅逐艦二隻、フリゲート艦一隻、潜水艦一隻を夫々撃沈、更に輕巡洋艦一隻に魚雷を命中せしめた、同時にドイツ潜水艦は船團を護衛中の敵機五機をも撃墜した

【ベルリン五日發】、ドイツ軍當局は

一、十一月二十六日アルジェリ海岸沖におけるドイツ空軍雷撃機隊の敵護送船團攻撃に關する最終の報告によれば、四番目の大型船舶一隻も撃沈された、かくて右作戦において敵は輸送船四隻合計五萬噸を喪失したことになる

一、二十九日米空軍は密雲を利し、ブレメンに來襲、建築物、市民に損傷を與へた、來襲機の新大型四發機を含む敵三十三機は空中戦並に高射砲によつて撃墜された、更に敵は西歐占領地區で六機を喪失、大西洋上で大型飛行艇一機も撃墜された

一、二十八日夜獨空軍は續いてドイツ西部を盲爆した

一、十一月二十六日アルジェリ海岸沖におけるドイツ空軍雷撃機隊の敵護送船團攻撃に關する最終の報告によれば、四番目の大型船舶一隻も撃沈された、かくて右作戦において敵は輸送船四隻合計五萬噸を喪失したことになる

一、二十九日米空軍は密雲を利し、ブレメンに來襲、建築物、市民に損傷を與へた、來襲機の新大型四發機を含む敵三十三機は空中戦並に高射砲によつて撃墜された、更に敵は西歐占領地區で六機を喪失、大西洋上で大型飛行艇一機も撃墜された

一、二十八日夜獨空軍は續いてドイツ西部を盲爆した

一、大西洋、地中海、黒海の各水域に作戦中のドイツ潜水艦隊は、敵船舶八隻、合計三萬六千噸、驅逐艦二隻、フリゲート艦一隻、潜水艦一隻を夫々撃沈、更に輕巡洋艦一隻に魚雷を命中せしめた、同時にドイツ潜水艦は船團を護衛中の敵機五機をも撃墜した

【ベルリン五日發】、ドイツ軍當局は

一、十一月二十六日アルジェリ海岸沖におけるドイツ空軍雷撃機隊の敵護送船團攻撃に關する最終の報告によれば、四番目の大型船舶一隻も撃沈された、かくて右作戦において敵は輸送船四隻合計五萬噸を喪失したことになる

一、二十九日米空軍は密雲を利し、ブレメンに來襲、建築物、市民に損傷を與へた、來襲機の新大型四發機を含む敵三十三機は空中戦並に高射砲によつて撃墜された、更に敵は西歐占領地區で六機を喪失、大西洋上で大型飛行艇一機も撃墜された

一、二十八日夜獨空軍は續いてドイツ西部を盲爆した

一、大西洋、地中海、黒海の各水域に作戦中のドイツ潜水艦隊は、敵船舶八隻、合計三萬六千噸、驅逐艦二隻、フリゲート艦一隻、潜水艦一隻を夫々撃沈、更に輕巡洋艦一隻に魚雷を命中せしめた、同時にドイツ潜水艦は船團を護衛中の敵機五機をも撃墜した

【ベルリン五日發】、ドイツ軍當局は

一、十一月二十六日アルジェリ海岸沖におけるドイツ空軍雷撃機隊の敵護送船團攻撃に關する最終の報告によれば、四番目の大型船舶一隻も撃沈された、かくて右作戦において敵は輸送船四隻合計五萬噸を喪失したことになる

一、二十九日米空軍は密雲を利し、ブレメンに來襲、建築物、市民に損傷を與へた、來襲機の新大型四發機を含む敵三十三機は空中戦並に高射砲によつて撃墜された、更に敵は西歐占領地區で六機を喪失、大西洋上で大型飛行艇一機も撃墜された

一、二十八日夜獨空軍は續いてドイツ西部を盲爆した

一、大西洋、地中海、黒海の各水域に作戦中のドイツ潜水艦隊は、敵船舶八隻、合計三萬六千噸、驅逐艦二隻、フリゲート艦一隻、潜水艦一隻を夫々撃沈、更に輕巡洋艦一隻に魚雷を命中せしめた、同時にドイツ潜水艦は船團を護衛中の敵機五機をも撃墜した

東部戦線

赤軍の損害三百萬

【ベルリン五日發】ドイツ軍當局は五日、去る七月五日攻勢開始以來の赤軍の損害を次の通り言明した

七月五日以來赤軍が蒙つた死傷は既に四週間に前二百五十萬以上を達し、うち百萬は戦死である、而もそれ以後引續き激戦が行はれ、赤軍の損害が累増してゐるので敵の人的損害は約三百萬に達するものと見られる、以上のうち百三十萬は戦死若しくは致命的損害を受けたもので百三十萬は捕虜である、敵の損害が甚大であつたのは南部地區並にドニエプル中流で、南部地區だけで四十萬の損害を出してゐる、又デスナ並にツィシ兩河流域の戦闘でも大損傷を蒙り敵は廿萬の將兵を喪つてゐる、更にモレンスク西方でも敵は三十四萬の犠牲を出し、又戦車その他の損害も甚大である

ウクライナ戦最高潮

【ストックホルム九日發】キエフ戦線の赤軍は過去三日間來キエフ市周

邊で引續き軍の攻勢を繼續中で、同戦線のドイツ軍は相當苦戦してゐる模様だ、特に中部ウクライナに布陣するドイツ軍に對し赤軍の重壓が非常に加重されて來たといはれ、目下キエフ西南方をキエフ、グイニエア道路に沿つて進撃中の赤軍はルイバルコス中将麾下の戦車部隊である

獨軍猛攻撃を續行

【ストックホルム廿八日發】前線報道に依れば東部戦線は今や全く本格的な冬季戦の段階に入り、既に中北部戦線では降雪と降雨のため作戦が甚しく阻害され、凍傷患者が續出してゐるといはれるが、三重要戦区たるドニエプル大彎曲部、キエフ西方及びゴメリ西方では戦闘は少しも弱まらなかつたといはれる、戦局は愈々苛烈化してゐる、前線報道を綜合すれば各主要戦線の戦況次の通り

【ベルリン五日發】ドイツ軍當局は五日、去る七月五日攻勢開始以來の赤軍の損害を次の通り言明した

七月五日以來赤軍が蒙つた死傷は既に四週間に前二百五十萬以上を達し、うち百萬は戦死である、而もそれ以後引續き激戦が行はれ、赤軍の損害が累増してゐるので敵の人的損害は約三百萬に達するものと見られる、以上のうち百三十萬は戦死若しくは致命的損害を受けたもので百三十萬は捕虜である、敵の損害が甚大であつたのは南部地區並にドニエプル中流で、南部地區だけで四十萬の損害を出してゐる、又デスナ並にツィシ兩河流域の戦闘でも大損傷を蒙り敵は廿萬の將兵を喪つてゐる、更にモレンスク西方でも敵は三十四萬の犠牲を出し、又戦車その他の損害も甚大である

獨軍ゴメリ撤收

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤收した」旨發表した

赤軍獨軍陣地線を突破

【ベルリン四日發】ドイツ軍當局筋は四日夜東部戦線の赤軍がヴェリキエ・ルーキ西南方でドイツ軍陣地を突破した旨言明した

キエフ戦線重大化

【ストックホルム十三日發】キエフ西方戦線の戦局は兵力の著るしい差のため刻々重大化してゐる模様で、十三日のベルリン情報もキエフ西方八十哩のジトミール目指して進撃中

獨軍キエフ撤退

【ベルリン六日發】獨軍當局は獨軍が一切の軍事施設を破壊した後豫定の計畫に基づきキエフ市から撤収した旨言明した

中部地區にて新攻勢

【ベルリン三日發】獨軍前線報道によれば暫く鳴りを鎮めて陣地強化に努めた赤軍がヴェリキエ地區の赤軍は二日折柄の濃霧を利して突如攻撃を開始し、間髪を入れず激撃する獨軍との間に激戦を展開中といはれる

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

【ストックホルム十一日發】前線報道によれば赤軍は十日チエルニゴフ西北方から突如大規模な新攻勢を開始し、僅か十哩の狹隘な地區に歩兵十二ヶ師團、戦車二隊團及び有力な騎兵部隊と空軍を動員して一舉にゴメリ、チエルニゴフ兩市中間のドイツ軍陣地線を突破しようとしたので、稀に見る激烈な大機甲戦が展開されたが、ドイツ軍の巧みな防禦戦術により赤軍は何等特記すべき戦果は収めなかつた模様で、ドイツ軍前線報道によればドイツ軍は右戦闘で赤軍狙撃兵數ヶ師と騎兵部隊の大半を殲滅し、赤軍戦車二百十七臺を撃破したといはれる

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

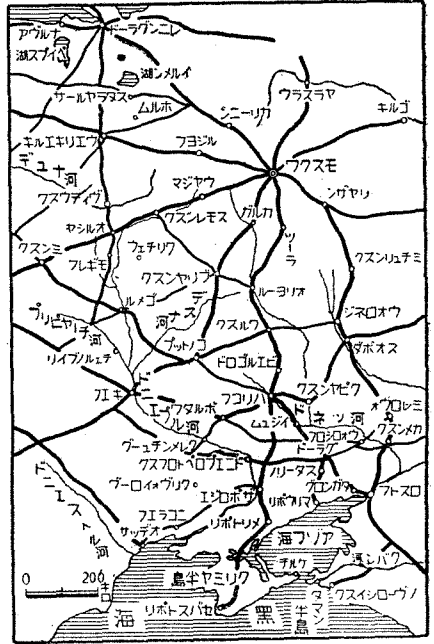
獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

獨軍ゴメリ撤収

【ベルリン廿六日發】總統大本營は廿六日「ドイツ軍がゴメリ市を撤収した」旨發表した

の優勢なヴァトゥーチン軍に對しドイツ軍が激戦を交へてゐる事實を認め、同方面における赤軍の最大の狙ひはジトミール奪取にあり、キエフ攻略後一路西進中のヴァトゥーチン軍主力は十一日コザツク騎兵隊、戦車隊を先鋒としてラドミシユル、コロステイシエフ方面からジトミール西北部郊外に到達、劣勢な兵力をもつて敢然反撃するドイツ軍との間に凄絶な死闘を展開中といはれドイツ軍は赤軍の南方から他の部隊をもつて牽制攻撃を行ひ、局地的には相當の戦果をおさめた模様だが、未だ大勢を覆へずには至つてゐない、ジトミールはレングラード、ナデツサを縦に結ぶ幹線鐵道の要衝である同地の歸趨は今後の戦局に少からぬ影響を齎らすのではないかと見る向きが多い、一方コロステンを目指してキエフから西北進中の赤軍並にジトミール南方のベルデチエフに向つて西南進中のヴァトゥーチン軍隊の進撃速度は遅々たるものであり、主力ほどには進出に成功してをらず、またキエフ南方のフラスク地区では過去二十四時間來ドイツ軍は猛反撃に出で、ドニエプル彎曲部に對する赤軍の包圍企圖を未だに粉砕しつつあると傳へられる、更に赤軍はチェルニゴフ西方、プリピヤチ河とドニエプル河北との中間地域でも攻勢を展開、ゴメリのドイツ軍に後退を強ひんとしてをり、またスモレンスク西北方デシドフ地区でも十二日來ヴァイテプスクに向つて新攻勢を開始するに至つたといはれ、キエフ以北の戦線は冬の來るとともに愈々複雑化しつつある



獨軍ジトミール奪回

赤軍更に後退

【ベルリン十九日發】ドイツ軍當局は十九日夜次の通り言明した
東部戦線南部地区のドイツ軍は十九日ジトミールを奪回、各種武器特に戦車多數を鹵獲したほか夥しい捕虜を得た

赤軍撤退發表【モスクワ十九日發】ソ聯情報局は十九日の公報を以て赤軍がキエフ西方のジトミールを撤收した旨發表した

赤軍戦車三百五十臺撃破【ベルリン十九日發】ドイツ軍當局は十九日次の通り言明した
ジトミール方面におけるドイツ軍は過去九日間に至る反撃戦で赤軍戦車三百二十臺、砲四百五十門、各種歩兵用武器千以上を撃破、ドイツ軍掃蕩部隊は赤軍將兵の屍體一萬以上を埋葬した、更に現在までに判明したところでは同方面における赤軍の捕虜は二千五百名以上に達してゐる

赤軍陣地を突破

【ベルリン廿八日發】ドイツ軍當局の言明に依れば赤軍はクレメンチユグ南方及びチエルカツシイ地区でドイツ軍陣地を突破したといはれる
キエフ西方地区の赤軍損害甚大
【ベルリン三十日發】獨軍當局は三十日次の通り發表した
十一月九日から同二十八日までの間にキエフ、ジトミール間の戦間に於て赤軍は捕虜四千八百、死者二萬を出し、戦車六百三臺砲千五百門以上迫撃砲二十五門、機關銃千四百十二挺、對戦車銃五百五十四挺を喪失した

ノガイ草原南部で激戦

【ストツクホルム二日發】クリミア半島のドイツ軍の運命を賭けたドニエプル下流の戦間に一日に至り遂にノガイ草原南部地帯に移つた様子で目下メリトポリ南方の阿克モフカ、ベレロップ、ヘルソン、カホフカを結ぶ矩形の中で、めまぐるしい機動戦が展開されてゐると傳へられる、ドモスクワ來電によれば既にゲニチエスカに於てメリトポリ、クリミヤ鐵道を遮断した赤軍は更にベレロップ、北方に地區頭堡【ベルリン四日發】ドイツ軍當局は四日次の通り言明した

赤軍ケルチ上陸
【ベルリン二日發】獨軍當局は二日次の通り言明した
赤軍は、二日、強力な空軍の協力の下にケルチ海峡を横断、クリミヤの末端ケルチ半島の南北に上陸した、ドイツ軍は直ちに反撃に出で上陸部隊の大半を殲滅、更に残存部隊を狭隘な地區に壓迫中である

赤軍の北上陸企圖を粉砕
【ベルリン九日發】獨軍當局は九日

ザクに入り亂れて機動戦を演じてゐるが、ベルリン情報によれば現在までのところ未だ同方面のドイツ軍主要陣地は微動だにしてゐないといはれる、一方ドニエプル彎曲部のドイツ軍は益々その反撃力を強化してをり、今後同方面のドイツ軍陣地が著るしく、改善され、赤軍のクリヴォイ・ログ攻勢が完全に失敗すればノガイ草原地帯の赤軍は遂に北方から側面を衝かれる形となる譯で茲數日の戦闘の推移は注目値する

【ベルリン九日發】獨軍當局は九日

【ベルリン九日發】獨軍當局は九日

【ベルリン九日發】獨軍當局は九日

【ベルリン九日發】獨軍當局は九日

【ベルリン九日發】獨軍當局は九日

次の通り言明した
クリミヤ半島の獨立部隊は十一月八日ケルチ南方において赤軍の新上陸企圖を撃破した、一方ペレコープ及びその東方隣接地帯においては赤軍の重壓が増大してゐるが、獨軍はこれと激戦を交へ陣地の死守に成功してゐる

赤軍新地點に上陸

【ベルリン十日】 ドイツ軍當局筋の言明によれば赤軍はクリミヤ半島の新地點に上陸したといはれる

クリミヤ半島で新攻勢

【ベルリン十日】 ドイツ軍當局筋の言明によれば赤軍は十日ケルチ近傍およびペレコープ地帯で新攻勢を開始したがドイツ軍は直ちに反撃、赤軍の形成した小突出部を閉鎖したといはれる
【チモシエンコ將軍上陸軍】 【ベルリン十五日發】 ドイツ軍當局は十五日ケルチ半島の赤軍を指揮してゐるのはチモシエンコ將軍である旨言明した

赤軍又も新地點に上陸

【ベルリン廿二日發】 ドイツ軍當局筋の言明に依れば赤軍はクリミヤ半島のケルチ南方の新地點に上陸したといはれる

クリミヤでも激戦

【ベルリン二十九日發】 DNB通信記者エルンスト・フォン・ハンメル大佐は二十九日東部戦線クリミヤ地域の戦況を次の通り報じてゐる
クリミヤの北部ペレコープ地区では赤軍は二十八日豫期された如く大規模な攻撃を開始した、赤軍は長時間に亘る準備砲撃の後戦車空軍の援護下に歩兵數千師をもつて攻勢に出た

が、ドイツ軍砲兵隊の有效的砲撃に隊を浴びドイツ軍防衛線に到達する前に撃破された、同日午後同地区における赤軍の他の攻撃も同様に失敗した、然し二十日夜赤軍砲兵隊は再び猛砲撃を開始して居り、ドイツ軍司令部ではペレコープ戦線でも赤軍が引續き強襲を行ふものと見てゐる

南部戦線

イタリヤ戦線

獨軍冬期防衛線構築

【リスボン十日發】 十日のAP電報はイタリヤ戦線の獨軍が冬期新防衛線を構築した旨次の通り報じてゐる
獨軍司令部はイタリヤ人労働者を使用して現在の反樞軸軍陣地直前に新冬期線を建設した、獨軍はこの新線に反樞軸軍の北進を阻止するために最大努力を拂つて増強部隊を送つてゐる、この新防衛線はイタリヤの岬々たる山岳を利用したもので、これら山岳の中には高さ約七千呎に達するものもある、獨軍は冬期中この線を死守する決意をなしてをり、大増強部隊も到着したといはれる

米軍イタリヤ戦線での損害

【アエノスアイレス十一日發】 ワシントン來電 米陸軍長官スチュムソンは十一日の記者会見で次の通り發表した
米第三軍がサレルノ灣に上陸以來現在に至るまでの米軍のイタリヤ戦線における損害は次の通りである、戦

死一、二九五名、負傷四、七六四名
行方不明二、四九七名、合計八、五五六名、この間の英軍の損害は米軍よりも若干多かつたが正確な數字は未詳である

北伊地帯

イストリア半島の掃蕩工作

【ベルリン八日發】 ドイツ軍數次に亘る掃蕩工作にも拘はらずイストリア半島東部山岳地帯に又しても匪賊蠢動の兆が現はれたので數日前ドイツ軍は再び行動を開始したがドイツ軍當局筋の言明によれば八日迄に判明した戦果は次の通り
△遺棄屍體一、一〇〇以上 △捕虜四三〇〇以上 (イタリヤ叛軍を含む)
△鹵獲品 輕機二六〇挺、裝甲車五輛、裝甲偵察車七輛、貨車自動車多數、軍馬數百頭

リミニを盲爆

【ベルリン三十日發】 ローマ來電によれば反十軸空軍は二十六、七兩日に互リアドリヤ海沿岸のリミニを爆撃海岸沿ひの別荘住宅區域に損害を與へたが同時に多數の寺院を破壊し老人婦女子等の非戦闘員に死傷者を出した

南伊地帯

イタリヤ南部の戦況

【ベルリン一日發】 ドイツ軍當局筋はイタリヤ南部戦線の戦況につき一日次の通り言明した
イタリヤ南部戦線では廿一日戦局の重點はヴォルチヌルノ地区に置かれ英軍及び米軍は同日正午同河兩岸に在るドイツ軍陣地線を突破しやうとして猛攻撃を加へて來たがドイツ軍

に阻止された、しかし同方面のドイツ軍は西北方の高地に在る陣地まで後退中といはれる、これに對し反樞軸軍はヴォルチヌルノ河上流東岸では進出を續けてゐるが同河西岸では徐々にドイツ軍を追尾したるに過ぎない、一日正午現在までの情報ではイタリヤ東部戦線では何等特記すべき變化はなかつた模様だ

獨軍漸次撤收

【ベルリン一日發】 ドイツ軍當局は一日イタリヤ南部のドイツ軍がイセルニア東方十一哩のフロゾローネを撤退した旨、言明した
【ベルリン四日發】 ドイツ軍當局筋はイタリヤ南部戦線のドイツ軍がイセルニヤ、ヴェナフロの兩市を撤收した旨四日言明した
【ベルリン七日發】 ドイツ軍當局筋は六日イタリヤ南部戦線アベニン山系地域のドイツ軍がフォルリ、カロヴィヨ、アノネの各市から撤收した旨言明した

獨軍ヴェナフロ地区で猛反撃

【リスボン十日發】 アルジェー來電によれば北伊反樞軸軍司令部は十日の戦況公報においてイタリヤ戦線の獨軍がヴェナフコ地区において九日九回に亘つて米軍陣地を攻撃した旨發表したといはれる
【ローマ進撃を企圖】 【リスボン九日發】 前線報道に依れ

ばイタリヤ南部戦線東部地區の英第八軍は廿九日突如新攻勢を開始し、有力部隊を以てサンダグロ河地區のドイツ軍陣地線を突破、ローマに向つて北上する態勢を示すに至り、目下サンダグロ河西北方の丘陵地帯で一進一退の激戦を續行中、ドイツ軍前線報道も戦局を樂觀を許さない状況にある旨報じてゐる、アルジェー來電によれば英第八軍司令モンテゴメリは攻勢開始に先立ち麾下全軍に布告を發し「英第八軍がローマに至る途上のドイツ軍に決定的打撃を加へる時が來た、必ずやドイツ軍をローマ北方に驅逐しなければならぬ」と述べ、今次攻勢が極めて大規模な新の前線報道によるとサンダグロ河の橋頭堡から西北方のドイツ軍山岳陣地を攻撃中の英第八軍は火焰放射器を使用するドイツ軍部隊の連續的猛反撃により非常な困難に直面してゐるが、英第八軍の一部はサンダグロ南方一哩のアルキに新橋頭堡を設立、同地から北方のランチャノに向つて進撃を企圖してゐるといはれる、またドイツ側報道によれば英國驅逐艦隊は二十五、六日の兩夜アドリア海岸のチヴィタノヴァ港に砲撃を加へ更に巡洋艦及び驅逐艦からなる他の英國艦隊は二十七日ガエタ灣のミントルノ近傍に砲撃を加へたとはいはれるが、ドイツ軍報道によつて反樞軸軍がドイツ軍陣地の後方に新上陸作戦を企圖する可能性も多いといはれる、他方、西部地區の米第五軍も目下盛んに攻勢開始の準備を整へてをりイタリヤ全戦線が活潑化するの

遠くないとみられる

獨、反樞軸軍の挑戰に反擊

【リスボン三十日發】 前線からの報道によればイタリア戦線西部戦區のドイツ軍は二十八日ヴェネツィア西方地區數ヶ所に於て米軍陣地に攻撃を加へ成果を収めたと傳へられる、一方同市北方地區においては米軍は來るべき總攻勢に備へて據點の獲得に努めてゐる様子で、米軍はヴェネツィア北方一哩に所在するカステルヌオヴォに到達した模様である、東部戦區においては英軍の攻勢は執拗且つ苛烈に續行されてゐる様子で、前線報道は英第八軍がサンダゴ河口をも渡河、同河北岸に橋頭堡を造つたが獨軍の熾烈な反撃に遭遇してゐる旨傳へてゐる、激戦の中心はランチャアの東南地區で獨側報道によれば獨軍は英、加、ニュージブランド軍の大規模な正面攻撃のために局地的突出部の結成を許したが英軍をして多數の死傷者を出さしめ夥しい捕虜、鹵獲品を得たとはいはれる、モントゴメリーの目指す「ローマ進撃」途上には横はるサンダゴ北方の要衝としてランチャア、カステル・フレンターノ、及びカソリ等があるがランチャアノ並にカステル・フレンターノはサンダゴ河口附近の英軍橋頭堡の前方に在りガソリは河口からかなり上流に在り同河西岸のアルチと殆ど向合つてゐる、右の内最大の要衝はランチャアノで同市は人口約一萬サンダゴ河口北方五哩、アドリア海岸から六哩奥地に所在してゐる

獨軍ナポリ連擧

【ベルリン三十日發】 ドイツ軍當局は三日次の通り發表した
ドイツ空軍は一日夜大編隊を以つてナポリ港に集結中の反樞軸船舶集團にナポリ港々灣施設に攻撃を加へた、翌二日の偵察によれば敵側の蒙つた損害は甚大で、七千噸級一隻、五千噸級二隻の商船は大破して半分の水中に没し、五千噸級、四千噸級商船各一隻は未だ炎上中であつた、此外六隻の輸送船、商船合計二萬五千噸は夫々相當の損害を受けてゐた、またナポリ港の臨時荷役施設は修理不能な程度に損害を蒙つてゐた

獨軍レロス島占據

【ベルリン二十日發】 ドイツ軍當局はドイツ軍のドデカネーゼ諸島レロス島に對する新上陸作戰につき十二日次の通り言明した
ドイツ軍部隊は十二日早朝ドデカネーゼ諸島レロス島に上陸作戰を敢行し所在の英國沿岸守備隊に攻撃を加へて堅固な足場を確保したが、ひき續き英軍並にイタリア叛軍から成る同島守備隊と戦闘を續けてゐる同時に強力なドイツ軍爆撃機隊は地上部隊に協力してレロス島を爆撃し港灣施設および英軍守備隊陣地に爆撃を加へ更に同島附近において驅逐艦に護衛された英軍輸送船團を襲撃し、右攻撃においてドイツ爆撃機隊は驅逐艦一隻を大破、航行不能に陥らせたほか軍需品を満載した商船四隻に直撃弾を浴せたが、損傷を蒙つた英國船はトルコ領海内へ逃走した

獨空軍サモス島を爆撃

【ベルリン十八日發】 ドイツ軍當局はドイツ軍爆撃機並に急降下爆撃隊が十七日多島海のサモス島を爆撃し軍事施設に大損害を與へ、またコルシカ島上陸その他地中海水域において反樞軸空軍十二機を撃墜した旨發表した

獨軍ニカリア島占領

【ベルリン十九日發】 ドイツ軍當局は十九日次の通り發表した
ドイツ軍部隊は十八日戦闘を交へるレロス島の攻略に成功した
一、レロス島上陸作戰は、岩礁性海岸に布陣する英軍沿岸砲の熾烈な抵抗を排除して行なわれ、ドイツ軍爆撃機及び急降下爆撃機は地上部隊に緊密に協力し英軍砲火を沈黙させた一、同島攻略戰においてドイツ軍は

獨軍サントリン島を占據

【ベルリン十九日發】 ドイツ軍當局は十九日多島海サントリン島のバドリオ叛軍が廿七日夜ドイツ海軍部隊に降伏した旨發表した、サントリン島はキクラデス群島最南端の小島だが、ドイツ軍は同島の砲臺及び他の軍事施設をすべて占領した

アドリア海北部の島嶼を占據

【ベルリン十四日發】 ドイツ軍當局は十三日アドリア海北方クワルネロ灣内のルンノ、チエルト、カルクの三島嶼の掃蕩戰に成功し英人俘虜多數を得たほか夥しい武器彈藥を鹵獲した旨發表した

フユエメ灣の兩島占據

【ベルリン十五日發】 總統大本營は十五日の公表でドイツ軍がフユエメ灣のチエルト、ルツシンの兩島に上陸兩島を占據した旨發表した

獨、ギリシアで十六機墜

【ベルリン十六日發】 獨軍當局の言明によれば英空軍は十五日、ギリシアの獨軍飛行場を攻撃したが、獨軍はその内十六機を撃墜したといはれ

地中海諸島

【ベルリン十日發】 ローマ來電によれば反樞軸空軍は九日午後ゼノアを爆撃したといはれる

【ベルリン二十日發】 ドイツ軍當局はドイツ軍のドデカネーゼ諸島レロス島に對する新上陸作戰につき十二日次の通り言明した
ドイツ軍部隊は十二日早朝ドデカネーゼ諸島レロス島に上陸作戰を敢行し所在の英國沿岸守備隊に攻撃を加へて堅固な足場を確保したが、ひき續き英軍並にイタリア叛軍から成る同島守備隊と戦闘を續けてゐる同時に強力なドイツ軍爆撃機隊は地上部隊に協力してレロス島を爆撃し港灣施設および英軍守備隊陣地に爆撃を加へ更に同島附近において驅逐艦に護衛された英軍輸送船團を襲撃し、右攻撃においてドイツ爆撃機隊は驅逐艦一隻を大破、航行不能に陥らせたほか軍需品を満載した商船四隻に直撃弾を浴せたが、損傷を蒙つた英國船はトルコ領海内へ逃走した

【ベルリン十九日發】 ドイツ軍當局は十九日次の通り發表した
ドイツ軍部隊は十八日戦闘を交へるレロス島の攻略に成功した
一、レロス島上陸作戰は、岩礁性海岸に布陣する英軍沿岸砲の熾烈な抵抗を排除して行なわれ、ドイツ軍爆撃機及び急降下爆撃機は地上部隊に緊密に協力し英軍砲火を沈黙させた一、同島攻略戰においてドイツ軍は

【ベルリン十六日發】 獨軍當局の言明によれば英空軍は十五日、ギリシアの獨軍飛行場を攻撃したが、獨軍はその内十六機を撃墜したといはれ

英軍若干進出か

【リスボン廿日發】 當地に達した最新報道を綜合するにイタリア東部戦

反樞軸軍ゼノア爆撃

【リスボン廿日發】 當地に達した最新報道を綜合するにイタリア東部戦

反樞軸軍ゼノア爆撃

【リスボン廿日發】 當地に達した最新報道を綜合するにイタリア東部戦

反樞軸軍ゼノア爆撃

【リスボン廿日發】 當地に達した最新報道を綜合するにイタリア東部戦

反樞軸軍ゼノア爆撃

【リスボン廿日發】 當地に達した最新報道を綜合するにイタリア東部戦

ソフィアを盲爆

【ベルリン十五日發】ソフィア來電によれば、ブルガリア政府は十四日公報を以て次の如く發表した
十一月十四日反樞軸空軍はブルガリア領土に來襲、白晝ソフィア市に爆彈を投下、市民に死者若干を出したほか負傷者を出した負傷者の中に婦人、子供も含まれてゐる、同市郊外の住宅若干も破壊された
【ベルリン廿五日發】ソフィア來電

ブルガリア政府は廿五日反樞軸空軍のソフィア空襲に關し次の公報を發表した
反樞軸空軍は廿四日數個の編隊を以てブルガリア領土内に來襲した、高射砲隊は直にこれを遊撃、更に空中戦も成功裡に行はれた、然し敵は數ヶ所に爆彈を投下し、このため民家數棟は破壊され市民にも死傷者を生じた、同時に來襲機數臺も撃墜された

敵機も發表【リスボン廿五日發】アルジェニア來電「反樞軸空軍「リベーター」重爆機隊は廿四日ブルガリアの首都ソフィア市を空襲、鐵道操車場に攻撃を加へたが、同市に對する爆撃は去る十四日の爆撃に次いで第二回目である

ハンガリヤ上空に飛來

【ベルリン十二月一日發】ブタペスト來電「ハンガリヤ政府は一日次の通り發表した
廿日午前反樞軸空軍がハンガリヤ領西部上空を通過して北方に向つた、ハンガリヤ領には爆彈は投下されずブタペストでも空襲警報は發せられなかつた

ユーゴを空襲

【ベルリン十二月一日發】アグラム來電「反樞軸空軍は廿日午前三編隊に分れてユーゴスラヴィアのアグラム市を空襲、空襲警報が發せられたが、爆彈は投下されなかつたまた反樞軸空軍は廿九日午前ボスニアの首都サラエヴォ市を爆撃したが、右爆撃で住宅六十が完全に破壊され、死者九十八名、負傷者百四十四名を生じたといはれる

西部戦線

ドーヴァー海峡の砲撃戦

【ベルリン四日發】ドーヴァー海峡沿岸のドイツ軍長距離重砲隊は英軍長距離砲の砲撃に應酬して三日午後十時十五分から英本土南岸の重要目標に砲撃を加へた

撃墜十月に五百六十

【ベルリン四日發】ドイツ軍當局は歐洲上空においてドイツ軍が次の通り反樞軸空軍を撃墜した旨四日發表した
八月 二百四十三臺△九月 二百二十六臺△十月 五百六十二臺
本年初頭以來戰果【ブエノスアイレス五日發】反樞軸空軍の對獨自爆撃はドイツ鐵壁の防空陣のため甚大な損害を蒙りつつある模様で、ニューヨーク來電によれば米國民間筋の推定ですら本年初頭以來反樞軸空軍の損害を炸撃機のみでも二千四百四十

爆撃による英國の死傷

【リスボン十二日發】ロンドン來電「英國内務省は十月中ドイツ空軍の英本土爆撃による市民の死傷につき十二日次の通り發表した
△死者 一一八名(行衛不明を含む)
△負傷、入院 二八三名
歐洲戰爭開始以來英本土に對するドイツ空軍の爆撃による死傷累計は
△死者 四八、四〇〇名
△負傷者 六一、四七五名

獨機英本土連爆

十一月中に於ける獨機英本土爆撃概況左の通り
地 區 日
ロンドン 二日夜六日夜七日夜八日夜、二十日夜、廿五日夜、廿六日朝(以上ベルリン發)十九日夜、(以上リスボン發)廿六日夜(ストツクホルム發)
東南部 三日夜、二十日夜、十八日夜廿五日夜(以上リスボン發)
日 夜、十六日朝(以上ベルリン發)
東アングリア海岸 廿五日(リスボン發)

英機ベルリン大空襲

【ベルリン十九日發】ドイツ軍當局は英空軍のベルリン空襲につき十九日次の通り言明した
英國空軍の編隊は十八日夕刻視界の利かないのを利し、ドイツ西北部に來襲他の數ヶ所と共にベルリンに對しても高性能爆彈並に焼夷彈を投下した、ドイツ空軍夜間戦闘機隊及び多數の高射砲陣地は一齊に行動を起しベルリンに對する敵機の集中爆撃を阻止した、爆彈は大半、郊外の人口稠密な地區に投下された
【ストツクホルム廿三日發】英空軍は廿二日夜再びベルリンを盲爆した模様にロンドン來電によれば、同夜はベルリンの他南獨の工業都市スツツカルトに對しても盲爆を行ひ同夜の對獨爆撃で廿二機の喪失を認めてゐる、英空軍省は例によつて誇大な發表を行ひ爆撃に参加した飛行機は千機以上、千噸から二千噸の爆彈を投下したとその無差別盲爆ぶりを自認した

英米機獨逸爆撃

十一月中に於ける英米機の獨逸各地爆撃概況左の通り
地 區 日(英米機喪失數)
△西北部 五日正午(米機)十四日(廿九機擊墜)廿九日正午(以上ベルリン發)
デンゼンドルフ市 三日夜(英重爆撃機十九喪失)(リスボン發)
ウイヘルムスハーフェン 三日晝(リスボン發)

英機ベルリン大空襲

【ベルリン十九日發】ドイツ軍當局は英空軍のベルリン空襲につき十九日次の通り言明した
英國空軍の編隊は十八日夕刻視界の利かないのを利し、ドイツ西北部に來襲他の數ヶ所と共にベルリンに對しても高性能爆彈並に焼夷彈を投下した、ドイツ空軍夜間戦闘機隊及び多數の高射砲陣地は一齊に行動を起しベルリンに對する敵機の集中爆撃を阻止した、爆彈は大半、郊外の人口稠密な地區に投下された
【ストツクホルム廿三日發】英空軍は廿二日夜再びベルリンを盲爆した模様にロンドン來電によれば、同夜はベルリンの他南獨の工業都市スツツカルトに對しても盲爆を行ひ同夜の對獨爆撃で廿二機の喪失を認めてゐる、英空軍省は例によつて誇大な發表を行ひ爆撃に参加した飛行機は千機以上、千噸から二千噸の爆彈を投下したとその無差別盲爆ぶりを自認した

英機ベルリン大空襲

【ベルリン十九日發】ドイツ軍當局は英空軍のベルリン空襲につき十九日次の通り言明した
英國空軍の編隊は十八日夕刻視界の利かないのを利し、ドイツ西北部に來襲他の數ヶ所と共にベルリンに對しても高性能爆彈並に焼夷彈を投下した、ドイツ空軍夜間戦闘機隊及び多數の高射砲陣地は一齊に行動を起しベルリンに對する敵機の集中爆撃を阻止した、爆彈は大半、郊外の人口稠密な地區に投下された
【ストツクホルム廿三日發】英空軍は廿二日夜再びベルリンを盲爆した模様にロンドン來電によれば、同夜はベルリンの他南獨の工業都市スツツカルトに對しても盲爆を行ひ同夜の對獨爆撃で廿二機の喪失を認めてゐる、英空軍省は例によつて誇大な發表を行ひ爆撃に参加した飛行機は千機以上、千噸から二千噸の爆彈を投下したとその無差別盲爆ぶりを自認した

海上戦線

△西部 五日晝(米機) 卅日(英機)
 (以上リスボン發) 十一日午後十
 二日夜(ベルリン發)
 ケルン 三日夕(英機)(ベルリン發)
 ミュンスター市 十一日晝(十六機
 擊墜(ベルリン發)
 フランクフルト・アム・マイン 廿
 五日夜(英機十三喪失)(リスボ
 ン發)
 ルール地方 三十日午後(米機)(ベ
 ルリン發)
 △南西部 十七日夜(ベルリン發)
 △東南部ウイーン 二日(四發七機
 擊墜(ベルリン發)
 △北部 三日夕、十三日正午(ベル
 リン發)

英米機獨占領地爆撃

十一月中に於ける英米機の獨占領地
 爆撃概況左の通り
 地區 日(英米機喪失數)
 西歐洲 六日夜(英機六擊墜) 七日
 正午(米機) 十一日晝、十四日
 晝間(米機)(以上ベルリン發)
 ノールウエー 十七日白晝(米機)
 (以上リスボン發) 十八日晝間
 (米機七機擊墜)(ベルリン發)
 リューカン發電所及オスロー近郊
 十六日(米機)(リスボン發)
 抹 四日夜(九機擊墜)(ベルリ
 ン發)
 フランス 三日(英機)(リスボン
 發)
 ツーロン市 廿四日正午(ベルリン
 發)
 カンヌ市 十一日夜(ベルリン發)
 北部 五日(米機)(リスボン發)
 和蘭及ベルギー 三日英機(リスボ
 ン發) 三十日午後(米機三擊墜)
 (ベルリン發)

獨潜水艦隊の戦果

【ベルリン一日發】ドイツ軍當局筋
 はドイツ潜水艦の戦果について一日
 次の通り言明した
 一、ドイツ潜水艦は十月中に反樞軸
 商船三十九隻合計二十五萬七千噸を
 擊沈、更に他の商船八隻を大破した
 その八隻の平均噸數を六千二百噸と
 すれば大破總噸數は約五萬噸に達す
 るわけで、反樞軸軍の蒙つた損害は
 三十萬噸以上に達する
 二、ドイツ潜水艦は更に九月、十月
 の二ヶ月間に反樞軸驅逐艦二十四隻
 を擊沈したが、その中十七隻は九月
 中の北大西洋における通商破壊戦の
 戦果であり、他の七隻は十月中に地
 中海において得られた戦果である
 一、ドイツ潜水艦は更に同期間にお
 いて少くとも反樞軸驅逐艦四隻を大
 破した
 一、以上の戦果はドイツ潜水艦が對
 潜水艦戦のための特殊裝備を施した
 反樞軸驅逐艦に對しても十分對抗し
 得ることを證明してゐる

獨海空軍戦果

【ベルリン一日發】總統大本營は一
 日公報をもつて次の通り發表した
 ドイツ海軍並に空軍は反樞軸海上通
 商路に對する戦闘において十月中に
 敵船五十二隻合計卅萬七千噸を
 擊沈した、更に敵船十八隻合計十
 萬噸以上に大損傷を與へたがこれら
 は何れも完全喪失と認められる、又
 他の廿七隻合計約十七萬噸にも損傷
 を與へた

エクリプス號の喪失を發表

【リスボン十一日發】ロンドン來電
 △海軍省は十一日驅逐艦エクリプス
 號の喪失した旨發表したが、詳細は
 不明である
 エクリプスは一九三四年に竣工、排
 水量千三百七十五噸、時速三十九ノ
 ット、四・七吋砲四門を裝備してゐ
 る

大型艦十三隻を擊沈破

【ベルリン七日發】總統大本營は七
 日午後次の特別公報を發表した
 ドイツ空軍は東地中海の北アフリカ
 海岸沖合において驅逐艦八隻に護衛
 された反樞軸護送船團廿二隻を捕捉
 うち大型客船十三隻十四萬噸並に驅
 逐艦二隻に命中弾を浴せた、右客船
 のうち數隻はドイツ空軍が歸途につ
 く先に立ち早くも火災を起し沈没の
 状態に陥つた

英艦二隻を擊破

【ベルリン三日發】ドイツ軍當局は
 三日次の通り發表した
 イタリヤ戰線チレネ海沿岸のドイツ
 軍沿岸砲隊は二日夜ガエタ港西北
 十五哩のテラチーナ沖合に英海軍巡
 洋艦驅逐艦、各一隻を發見、直ちに
 猛砲撃を開始して兩端に直撃彈數發
 を與へた、兩艦は狼狽して艦體の首
 打ちを行ひつゝ全速力で遁走した

地中海戦域米軍の損害

【リスボン七日發】アルジェニア來電
 △反樞軸軍司令部は七日の公報で反
 樞軸空軍が一九四三年一月以降十月
 末までに地中海方面において軍用機
 千五百機を喪失した旨發表した
 【ベルリン九日發】ドイツ軍當局の
 言明によれば反樞軸軍は昨年十一月
 北阿上陸以來今日までの一年間に地
 中海において船舶合計二百六十萬噸

一、更に商船十五隻合計七萬噸に爆
 彈を命中乃至雷撃を加へた
 一、ドイツ空軍はまた反樞軸護送船
 團を攻撃、驅逐艦八隻を擊沈、巡洋
 艦一隻、驅逐艦六隻、潜水艦四隻を
 擊破した

に曳航されたが、同艦の損害は甚大
 で、サレルノ灣上陸作戦當時爆撃の
 爲機關部を大破され、その後中部地
 中海の某港で艦體の應急修理を受け
 た上ジブラルタルに曳航されたもの
 とはいはれる

トシ來電 △米國陸軍長官ヘンリー・
 スチュムソンは米軍がアフリカ北部に
 上陸した一九四二年十一月七日から
 本年十月廿九日までの地中海戦域に
 於ける反樞軸軍の損害に關し四日次
 の通り發表した
 「米軍損害」△戰死五、五三九名
 △負傷一七、六二二名△行方不明七、
 九六六名△合計三一、一二六名
 行方不明者の大部分はドイツ軍の捕
 虜となつたと推定される英軍の損害
 は米軍よりも若干多く、傀儡フラン
 スの軍の損害は米米兩軍より遙かに少
 かつた、反樞軸軍の損害合計は約十
 萬である

【ベルリン十一月一日發】ドイツ軍
 當局は十一月中の通商破壊戦の戦果
 につき十二月一日正午次の通り言明
 した
 一、ドイツ軍は反樞軸運送船並に商
 船廿三隻合計廿三萬七千噸を擊沈乃
 至大破した一別に反樞軸船廿七隻、
 合計十七萬六千噸を大破、その大半
 は沈没の算大なり

【リスボン九日發】ラ・リネア來電
 によれば英國戰艦「ウォースパイット」
 號が八日拂曉驅逐艦四隻護衛の下に
 四隻の曳船に曳航されてジブラルタ
 ルに入港したといはれる、同艦は大
 破損をしてゐる模様だが詳細は目下
 の處不明である
 【リスボン十三日發】ラ・リネア來
 電 △英國戰艦ウォースパイット(三〇、
 六〇〇噸)は去る八日ジブラルタル

【リスボン十一日發】ラ・リネア來電
 によれば英國戰艦「ウォースパイット」
 號が八日拂曉驅逐艦四隻護衛の下に
 四隻の曳船に曳航されてジブラルタ
 ルに入港したといはれる、同艦は大
 破損をしてゐる模様だが詳細は目下
 の處不明である
 【リスボン十三日發】ラ・リネア來
 電 △英國戰艦ウォースパイット(三〇、
 六〇〇噸)は去る八日ジブラルタル

【リスボン十一日發】ロンドン來電
 △海軍省は十一日驅逐艦エクリプス
 號の喪失した旨發表したが、詳細は
 不明である
 エクリプスは一九三四年に竣工、排
 水量千三百七十五噸、時速三十九ノ
 ット、四・七吋砲四門を裝備してゐ
 る

を喪失したといはれ、これら船舶の大部分は軍隊輸送船であり、反艦軸軍將兵の喪失は莫大な数に上るものと見られる

オラン沖航空戦

【ベルリン二十一日發】ドイツ軍當局は十二日正午オラン沖に於けるドイツ空軍の戦果につき次の通り發表した
ドイツ空軍爆撃機隊並に雷撃機隊は十一日夜、オラン東方水域を東方へ向つて航行中の船舶四十八隻、驅逐艦七隻、哨視艇二隻から成る敵大護送船團を發見、熾烈な對空砲火を胃しこれに低空攻撃を加へた結果船舶四隻驅逐艦二隻を撃沈、船舶十一隻合計八萬四千トン並に驅逐艦二隻、哨視艇一隻に大損害を與へた、右作戦でドイツ空軍は未歸還機六臺を出した

英國驅逐艦を撃沈

【ベルリン十六日發】ドイツ軍はエーゲ海において英國新鋭驅逐艦「ゾルヴァートン」號を撃沈したと云はれる

希臘驅逐艦喪失

【ストツクホルム十六日發】ロンドン來電「英國海軍省は十五日、反艦軸陣營に参加してゐたギリシア國籍驅逐艦「ベンサー」號の喪失を發表した同艦は一九一一年、進水、排水量千五百トンである

獨空軍地中海に活躍

【ベルリン二十七日發】ドイツ軍當局は二十七日次の通り發表した
ドイツ空軍爆撃機並に雷撃機は二十六日午後地中海においてイタリア南部に向け航行中の反艦軸軍大護送船團を低空より攻撃し大型輸送船四隻計六萬トン、驅逐艦四隻及び護衛艦一隻を大破し、その沈没はほぼ確實と見られる、右輸送船は何れも兵員及び軍需品を満載してゐた

トルコ船撃沈さる

【イスタンブール二十八日發】アンカラ來電によれば去る二十六日トルコ商船が苛性曹達を積みアレキサンドラ港よりイスタンブール港に向ふ途中、トルコ西岸スミルナ港附近のトルコ領海内で國籍不明の水雷艇の攻撃をうけ撃沈されたといはれる

ドイツ輕艦隊英船二隻を撃沈

【ベルリン三日發】ドイツ

輕艦隊は一日夜半、英本國南岸沖合において英國の有力な護送船團を捕捉し商船二隻合計四千五百トンを撃沈した

和蘭沿岸で小海戦

【ベルリン四日發】ドイツ軍當局の言明に依ればドイツ海軍偵察艇隊は三日夜和蘭沿岸のスケベニンゲン沖で四隻乃至六隻から成る英海軍快速艇隊と交戦、快速艇一隻を撃沈し他一隻に火災を生ぜしめたといはれる

護送船團を爆撃

【ベルリン三十日發】ドイツ護送船團が廿日フランス西北部のブレスト沖合を航行してゐた所英空軍戦闘爆撃機十六機が攻撃を加へて來たが、護送艦艇は内二機を撃沈、乗組員に死傷を出した以外船團は何等の損害を蒙らず航海を繼續した

ヤーマス沖で三隻を撃沈

【ベルリン五日發】ドイツ軍當局はドイツ快速艇隊が五日拂曉英國東海岸のグレート・ヤーマス沖合において驅逐艦に護送された有力な反艦軸護送船團を發見、直ちに攻撃を加へて二千五百トン級船舶二隻、四千トン級船舶一隻を撃沈した旨發表した

英船一隻沈没

【アエノスアイレス十九日發】ワシントン來電「英國海軍省は英國中型商船が八月上旬南大西洋で驅軸軍潜水艦の雷撃を受けて沈没した旨十九日發表した

獨潜水艦カリブ海で活躍

【ベルリン廿一日發】ドイツ軍當局の言明によればカリブ海で作戦中のドイツ潜水艦が米軍の飛行艇一隻並に飛行機一機を撃沈したと言はれる

運河地帯で潜水艦活躍

【アエノスアイレス廿九日發】バルボア來電「パナマ運河バルボア地区の米國海軍司令官は廿九日次ぎの通り發表した
リベティ型貨物船一隻及び油槽船一隻は最近同方面で潜水艦の攻撃を受け沈没し、兩船の乗組員合計二十八名は行方不明となつた

獨空軍輸送船五隻撃沈

【ベルリン廿二日發】獨軍當局は廿二日次の通り發表した
ドイツ空軍は廿一日午後大西洋に於て巡洋艦、驅逐艦その他艦艇の護衛を受けた反艦軸護送船團を攻撃、一萬トン並に八千トンの大型輸送船夫々一隻に直撃弾を與へて大損害を起さしめたが兩船は恐らく沈没したものと推定される、その他三隻合計一萬五千トンにも命中弾を與へて損傷を起さしめた、我方一機未歸還

ソヴェト艦船撃沈破

【ベルリン三日發】總統大域
本營の發表によればドイツ沿岸警備艇隊は二日フィンランド灣東部においてソヴェト船三隻を撃沈、更に他の一隻を大破したといはれる

【ベルリン五日發】ドイツ軍當局は五日次の通り發表した
十一月三日以後赤軍は黒海並にフィンランド灣において快速艇三隻、砲艦一隻、上陸用舟艇三隻を喪失、又

砲艦三隻、上陸用舟艇三隻、快速艇三隻に損傷を蒙つた
【ベルリン八日發】ドイツ軍當局は八日次の通り發表した
クラスマン大尉の指揮するドイツ海軍部隊は七日夜ケルチ海峡でソ聯砲艦二隻、快速艇一隻をそれぞれ撃沈他の砲艦一隻も大損傷を蒙つた、かくて十一月四日からクラスマン部隊のみで砲艦三隻、快速艇二隻、兵員滿載の上陸用舟艇五隻を撃沈したことになる

〔大日本言論報國會編〕

1 世界觀の戦ひ

- 鹿子木員信 作田 莊一
- 高山 岩男 井澤 弘
- 秋山 謙藏 市川 房枝
- 大島 豊 小牧 實繁

2 思想戰の根基

- 山田 孝雄 佐藤 通次
- 阪邊 胤次 市川 武
- 中柴 末純 住田 正一
- 津久井龍雄

3 國家と文化

- 西 晋一郎 大川 周明
- 齋藤 响 齋藤 忠
- 天川 信雄 藤田徳太郎
- 穂積 七益 野林 重臣

各B六判二五〇
各賣價一・二四
同盟通信社發行

國內要事

政治

大東亞會議東京に開催

日華泰滿比緬代表參集

【五日】ビルマ、フィリピン兩國の昂まり來つたので今般東京において獨立を見て大東亞は茲に日、滿、華、日本、中華民國、泰國、滿洲國、フ泰と共に堂々六獨立國を數ふるに至り、自由印度假政府の樹立、日泰同盟條約の締結等アジア解放、東亞復興の偉業は着々としてその巨歩を進め、大東亞新秩序の政治的機構は一應の完成を見たが、更に如上の六目的達成のため共同の敵米英に對し共生同死の世紀的大決戦を遂行しつつある東大亞諸國間にはこの際大東亞總力の渾然たる大結集を實現し、毅然たるアジアの理想、大東亞の信念を具體的且つ刀強く世界に宣揚し、大東亞復興の世界平和的性格を明確にすべきであるとの熱望翕然として

き協議を遂ぐる爲今般大東亞各國即ち帝國、中華民國、タイ國、滿洲國、フィリピン國及びビルマ國の代表者相會し東京に於て大東亞會議を開催することとなり、尙同會議には偶々滯京中の自由印度假政府の代表者も陪席する豫定なり、各國代表及列席者並陪席者氏名左の如し

無任所關係兼書記官長
最高司令部附中佐 ラヂュー閣下
秘書 ハフサン氏
今回の大東亞會議が開催されるに至つた経緯は大東亞建設の進展に伴ふ各國間の盛り上る發意に基くものであるが、各國側の要望漸次高潮し具體化の形態を整へるとともに、帝國は十月中旬フィリピンの獨立直後より愈々具體的準備にかかり、まづ十月十八日大東亞會議帝國準備委員會を構成した、即ち委員長長青木大東亞大臣を中心に副委員長長野内閣書記官長、松本外務次官、山本大東亞次官以下宮内省、情報局、外務、大東亞、内務、大藏、陸海軍各省、東京、都より各委員を任命、委員會に山本大東亞次官を長とする事務局を置いて會計、總務、營繕、議場、接伴の各部を設け萬端の準備に當つたものである

大東亞會議事務局を構成 大東亞會議に關する全般的事務處理のため、會議陪席者中から各國各一名乃至二名を以て大東亞會議事務局が設置されることとなり、その構成が左の如く大東亞會議事務局から發表された會議事務局は國際的構成により共同責任を以て會議關係事務を處理するもので、國際會議に對しては從來とも必ずその構成を見たものであるが大東亞においてはこれが初の構成である、事務局構成左の如し
△大東亞會議事務局構成(大東亞會議事務局發表)

- | | | | | |
|-------------|-----------------|-------------|-----------|----------------|
| 内閣總理大臣 | 東條 英機閣下 | 滿洲國 代表 | 國務總理大臣 | 張 景 惠閣下 |
| 海軍大臣 | 嶋田繁太郎閣下 | 外務大臣 | 外交部大臣 | 李 紹 庚閣下 |
| 大東亞大臣 | 青木 一男閣下 | 外務次官 | 特命全權大使 | 王 允 卿閣下 |
| 外務大臣 | 星光 葵閣下 | 内閣書記官 | 外交部務司長 | 大江 晃閣下 |
| 外務次官 | 重羽 直樹閣下 | 情報局總裁 | 總務總務司官 | 松本 益雄閣下 |
| 大東亞次官 | 松本 俊一閣下 | 外務次官 | 總務總務司官 | 高 丕 雄氏 |
| 外務省政務局長 | 上村 伸一閣下 | 陸軍省軍務局長 | 外交部理事官 | 鄧 藺 鼓氏 |
| 陸軍省軍務局長 | 佐藤 賢了閣下 | 海軍省軍務局長 | 外交部理事官 | 鄧 藺 鼓氏 |
| 海軍省總務局長 | 岡 敬純閣下 | 國民政府行政院院長 | 外交部理事官 | 鄧 藺 鼓氏 |
| 大東亞省總務局長 | 竹内 新平閣下 | 國民政府行政院副院長 | 外交部理事官 | 鄧 藺 鼓氏 |
| 中華民國 國代表 | 汪 精 衛閣下 | 國民政府外交部部長 | 外交部理事官 | 鄧 藺 鼓氏 |
| 國民政府行政院院長 | 汪 精 衛閣下 | 國民政府軍事委員會委員 | 外交部理事官 | 鄧 藺 鼓氏 |
| 國民政府外交部部長 | 周 佛 海閣下 | 國民政府行政院秘書長 | 外交部理事官 | 鄧 藺 鼓氏 |
| 國民政府軍事委員會委員 | 褚 民 誼閣下 | 國民政府行政院副秘書長 | 外交部次官 | ウー・シー・モン閣下 |
| 國民政府行政院秘書長 | 陳 昌 祖閣下 | 國民政府行政院副秘書長 | 内閣總理大臣秘書 | ウー・シユエ・ボウ閣下 |
| 國民政府行政院副秘書長 | 周 蔭 庠閣下 | タイ國 代表 | 内閣總理大臣秘書 | ウー・ニユン・ハンギ氏 |
| タイ國 代表 | 薛 逢 元閣下 | 内閣總理大臣代理 | 自由印度假政府首班 | ボー・ヤン・ナイ氏 |
| 内閣總理大臣代理 | ワンライタヤコン殿下 | 無任所大臣 | 自由印度假政府首班 | ボー・ヤン・ナイ氏 |
| 外務代理大臣 | スパス・チャンドラ・ボース閣下 | 兼内閣書記官長 | 陸軍少將 | ナヤイ・プラタイバセーン閣下 |
| 陸軍少將 | ナヤイ・プラタイバセーン閣下 | 兼内閣書記官長 | 陸軍少將 | ナヤイ・プラタイバセーン閣下 |
| 兼内閣書記官長 | 陸軍少將 | 兼内閣書記官長 | 陸軍少將 | ナヤイ・プラタイバセーン閣下 |
| 兼内閣書記官長 | 陸軍少將 | 兼内閣書記官長 | 陸軍少將 | ナヤイ・プラタイバセーン閣下 |
| 兼内閣書記官長 | 陸軍少將 | 兼内閣書記官長 | 陸軍少將 | ナヤイ・プラタイバセーン閣下 |

國民政府行政院秘書長 周 蔭 庠閣下
國民政府行政院副秘書長 薛 逢 元閣下
外務省東方政務局長 ウイスト・アンタヌク閣下
外務省一等書記官 ウオンサヌワフト・テワクン閣下
滿洲國 外交部政務司長 大江 晃閣下
外交部理事官 鄭 贇 鼓氏
秘書 ホセ・ベ・ラウレル氏
外務次官 ウ・シユエ・ボウ閣下

會議 第一日 各國代表決意を表明

劃期的盛儀とも言ふべき大東亞會議は、五日午前十時十分から開催、七旋の光輝ある各國旗はためく會場、定刻前相前後して到着した各國代表並に列席者、陪席者等關係四十六氏は互に和かな挨拶を交しつ、一旦控室に入った、設けの會場は僅か三鉢の盆栽に飾られてゐるばかりの、至つて簡素なもの、中央にコの字形に並べられた長卓は、青羅紗の卓布の上に各國國旗が硝子板の下に敷いてあつて、イロハ順に定められた各國代表の座席を示してゐる、會議は午前十時、幹旋國たる帝國代表東條首相の簡単な挨拶によつて開幕され、次いでまづ議長推薦を行った結果、タイ國代表ワンワイ殿下の動議に基き、滿場一致、帝國代表東條首相が議長に推され、コの字形卓子中央の議長席に着席、議長席を中心に向つて右側には中國代表國民政府行

政院院長汪精衛氏、滿洲國代表國務總理張景惠氏、ビルマ國代表内閣總理ウ・パー・モウ氏、同じく左側にタイ國代表内閣總理代理ワンワイタヤコン殿下、フリーピン國代表自由印度假政府首班スパス・チャンドラ・ボース氏が各々肩を並べ、或は向ひ合つて着席、また各國列席者は、各自國代表の背後に設けられた席に着席して、愈々會議に入つたが、議題は専ら大東亞戰爭の完遂と大東亞建設の根本方策に關する積極的意見の開陳に終始した、發言は各國代表に限られに發言順は各國號の日本語に呼稱によるイロハ順と決定した結果五日午前中は第一陣日本帝國代表東條首相の發言について中華民國代表汪行政院長、タイ國代表ワンワイ首相代理の發言が行はれ、十一時廿五分一旦休憩、會議場別室において一同歡談裡に晝餐を共にした後、午後一時再開、午前引續き各國代表の演説を續行した、先づ滿洲國代表張國務總理の演説が行はれ、つづいてフリーピン國代表ラウレル大統領は約一時間に亘り、熱烈溢る新比島の信念を吐露し、二時四十五分一旦休憩、三時半再開して最後にビルマ國代表ウ・モウ國務總理の演説あり同四時五十分盛會裡に第一の日程全部を終了した、

東條首相演説要旨 英帝國は過去數世紀に亘り侵略と征服とに依つて地球上に廣大なる領土を獲得し、而して其の優越的地位を飽く迄も維持せんとして世界各地に於て他國を相手に對立抗争せしめて來た、他方米國は、歐洲の動亂常なき情勢に乗じて米大陸に覇權を確立するに止

らず、概ね米西戰爭を契機として太平洋及び亞細亞に爪牙を延ばすに至り、既に第一次世界大戰を轉機として、英帝國と共に世界制覇の野望を遂うし來つた、米英の平素唱道する國際正義の確立と世界平和の保障とは、畢竟、歐洲に於ける諸國家の分裂抗争の助長と亞細亞に於ける植民地的搾取の永續化とに依る利己的秩序の維持に外ならないのである、斯くて、亞細亞の諸國家諸民族は常にその存立を脅威せられ、其の安定を攪亂せられ、民生はその本然的發展を抑壓せられて今日に至つたのである、彼等の呼號する門戸開放、機會均等主義も、東亞を植民地視する根本觀念に發したるもので、實は彼等が東亞侵略の非望を遂げんが爲の便宜手段に過ぎないのである、顧みれば、東亞の諸國家諸民族の間に於て、解放の義舉の起つたことは一再に止まらなかつたが、或は米英の暴戻儼なき武力の彈壓に依り、或は彼等の異民族統御の常套手段たる惡辣極まる離間策に依り、多くは失敗に歸した、此の間にありて日本の興隆は、米英にとつて最も好ましくないものとなつた、茲に於てか、彼等一方に於て、事無に日本抑壓の態度に出づると共に、他方に於て、日本と東亞に於ける爾他の諸國家諸民族との離間を策することを以て、彼等の東亞侵略の要諦とするに至つた、蓋し東亞の隸屬化を維持する爲には、東亞に於て何れかの國が強國として勃興すること、又、東亞の諸國家諸民族が團結すること、彼等から對立の最も不利とする所である、惟ふに、今次の戰爭に米英側の印度に對する遺り口は果

して如何であらうか、印度に於ては志あるものは、悉く牢獄に投ぜられ無辜の民衆が總て飢に泣いて居る、是れ正に世界の悲劇であり、人類共同の痛恨事であり、義憤に燃ゆる我々大東亞民族の斷じて放置し得ざるところである、米英が、所謂大西洋憲章に依つて標榜せる所と現に印度に對して實際に執りつつある事實とを、彼等が如何なる論理に依つて之を調和せんとするも、其れは不可能なことである、然し乍ら敵側の爲す所が如何なるものであるにせよ、帝國は大東亞各國と相携へて天地の公道を歩み、大東亞を米英の桎梏より解放し、大東亞各國と協同して大東亞の復興興隆を圖らんことを期するのみである

汪中國代表演説要旨 世界史上偉大なる意義を有する大東亞會議が本日盟邦日本の首都に於て舉行せられ東條總理大臣閣下の演説を拜聴し感奮負及び其の光輝ある實績に對し茲に謹んで最大の敬意を表するものであり、中華民國の國父孫先生一生の抱負は即ち中國及び東亞をして米英侵略勢力の桎梏を破碎し其の獨立自主を完成せしむるに在つた、斯る抱負に堪ふ者なきに在りたる迄滿四十年の間學生奮闘を續けられた其の逝去の三ヶ月前會て日本の神戸におきまして二回に亘り演説をしたが、第一回は民國十三年十一月廿八日、其の説く所は即ち大亞細亞主義であつた、其の中で「我々亞細亞は世界最古の文化の發祥地であるに拘らず最近百年以來米英の侵略を蒙り漸次衰微するに至り殆ど一として完全なる獨立國家の存在を見ざるに至つたの

であるが其の衰微が極點に達した時
 突如其の轉換期が到來した、これ即
 ち日本の維新である、この日本の維
 新こそ日本が亞細亞に於て先進國た
 るの原因となつたのであり、同時に
 之が亞細亞復興の出発點となつたの
 である、亞細亞各國は當然先進國日
 本と共に同心協力東方の王道的文化
 に基き西方の霸道的文化に打ち勝ち
 米英の侵略勢力を完全に驅逐し亞細
 亞各國の團結に依り亞細亞各國の獨
 立自主を完成せしめねばならない、
 斯くの如くにして始めて能く亞細亞
 全體を衰微より復興に導くことが出
 來るのである、「と謂はれた、第二回
 目の演説では「日本は當然中國を援
 助し不平等條約を廢棄すべき用意あ
 る」と述べられ其の中に「日支兩國
 け兄弟と同様であり日本は嘗て不平
 等條約の束縛を受けたる爲め發奮興
 起し始めて其の束縛を打破し東方の
 先進國並に世界の強國となつた、中
 國は現在同様に不平等條約廢棄を獲
 得せんとしつゝあるものであり日本
 の十分な援助を切望するものであ
 る」と説明せられた、最も不幸とす
 る處は國父孫文先生逝去後日支の關
 係は好轉を見ざりしのみならず却て
 日増しに悪化し遂に民國廿六年七月
 事變の發生を見るに至つたのである
 幸ひ日本政府は事變を最短期間に打
 切るべき方針と日本の目的とする處
 は中國の滅亡に非ずして中國が東亞
 建設の責任を分擔すべき事を期待す
 る旨の眞意を宣布せられた事を我々同
 志は聞き日支關係の好轉並に國父の
 遺志を完成せしむる希望の存する事
 を承知したのであつて、之に依り先
 づ重慶政權に對し抗戰放棄、和平恢

復を勧告致したるが聴き容れざりし爲
 已むを得ず重慶を脱出し、和平運動
 の爲に、奔走する事に決したので
 ある、國民政府は斯る最も重要な
 時期に於て更に努力を重ね一面重慶
 將士及び民衆の覺醒歸來を促進し統
 一を完成すると共に一面政治力の及
 び得る地方に於て一個の模範地區を
 樹立せんとするものであり、其の工
 作は次の三點に重點を置くものであ
 る、即ち第一には思想の肅正、第二に
 け治安の保障、第三には生産の増加
 である、以上三項は國民政府が大
 東亞戰爭に協力せんとする工作の重
 點だ中國人は素より缺點もあるが同
 時に又其の長所もあり、和平信實、
 勤勞、質朴にして所在國人民と其苦
 樂を俱にし休戚を同し得る結果、互
 に其長所を取上げ缺點を補つて既に
 分離すべからざる友好協力關係を形
 成して居る、私は此關係が今次の大
 東亞戰爭を経て更に鍛鍊され團結す
 るに至るべき事を深く信ずると共に
 又此關係が大東亞共榮に對し貢獻す
 る所あるを信ずる次第である

泰國代表演説要旨 從來の戰爭遂行
 方針、殊に日泰關係の基本方針に
 準據したる戰爭遂行方針は極めて妥當
 なるものと信じてゐる、當面の問題
 として現存する友好關係、協力並
 に十分な了解を一層増進致し物的
 心的の力を結果一體化し、以て戰爭
 の完遂と大東亞共榮圏の樹立を期す
 べきものと考へる次第である、一世
 紀前より英と米は大東亞地域に進出
 し植民地とし、原料獲得の獨占的地
 域とし、或は自己の製品の市場とし
 て土地を獲得した、従つて大東亞諸
 民族は或は獨立と主權を失ひ、或は
 治外法權、不平等條約によつてその

主權と獨立に種々の制限を受け國際
 法上何等互惠的取扱を得る處がな
 つたのである、斯くして亞細亞はそ
 の政治的結束力を喪失して單なる地
 理的名稱に墮したのである、泰國は
 領土喪失に基づく忿意を除去せる、
 友好關係を兩國間に打ち樹つて爲喪
 失領土の一部の返還を佛蘭西に要求
 したのであるが幸ひにも日本政府は
 之が調停に同意せられ、遂に正義に
 立脚せる協定に達するを得たのであ
 る、然しながら日本の斯る平和的
 手段に依る國策遂行は米英が加へ來
 つた種々の障礙に依り成功を見ず茲
 に大東亞戰爭勃發の已む無きに立至
 り日本皇軍の輝しき大戦果は牢固た
 る土臺の上に大東亞共榮圏を樹立し
 得べしとの希望を生み全亞細亞民族
 の胸を歡喜に滿ち溢れさせ居るの
 である、泰國は日本の崇高なる目的
 を十分に諒解し、ビボン・ソングラ
 ム總理閣下指導の下に直ちに日本の
 同盟國として協力して來た事は大東
 亞共榮圏の樹立を妨げる不持なる勢
 力一掃を主要目的として日泰兩國が
 締結したる兩國間の同盟條約によつ
 て明白である、今や大東亞は最早や
 單なる地理的名稱でなく確する基
 礎の下に立つ共榮圏を表示する事
 になり、各大東亞國民の大事業は戰爭
 遂行上相互に協力し以て絶對的成功
 を收め、各國民が相互の共通の利益
 の爲め及び共榮圏の恒久的確立の爲
 めにその有する總力を結束集中す
 る事である、大東亞に恒久的繁榮を齎
 す根本方針は、相互の獨立と主權を
 尊重し、互惠の基礎に立つて相互の
 經濟關係を推進し、正義に従つて相
 互に協力援助し以て物的並に心的力
 を含む各國の國力を最高度に増進し

各國並に大東亞全域の平和、幸福並
 に繁榮を確保するにあるのである、
 如斯にして大東亞諸國は各其の文化
 の線に沿ふて發展を遂げると同時に
 本共榮圏の福祉及進歩向上の増強で
 ふ共同目的を達成し得るであらう
 張瀟洲代表演説要旨 悲惨なりし
 過去に訣別し汚辱せられたる榮譽を
 回復すべく、米英支配權力の僞稱と
 抑壓し、米英支配權力の僞稱と
 抑壓しつゝあつた解放への念願は
 日本帝國の終始一貫せる道義的政策
 と旺盛なる實行力により大東亞の名
 に於いて茲に一舉に實現せられんと
 しつゝある、東亞が光輝ある道統で
 立ち還り本然の姿に於いて世界の文
 運に貢獻すべきこと、恰も歐洲諸
 民族が歐洲諸民族として生き、米洲
 各國が米洲各國として自存すべき
 如く大義の明らかに示すと存する
 り、而して東亞が東亞たるの自覺を
 保持する限り、それ何ものも遮り
 得ざる歴史の必然と考へられたので
 ある、然るに東亞の東亞的自覺を好
 まざる米英はその傀儡機關たる國際
 聯盟を動かし又當時南京にあつた蔣
 介石政權を使喚し凡ゆる妨害を加へ
 來つた、しかも我國の永久に感銘に
 堪へざる事は日本が多分の國力を費
 して血を以て張學良軍閥を驅逐した
 るに拘らず何等の領土的野心を示さ
 ず公明なる道義的態度を以つて、我
 獨立と自主發展を援助したことであ
 る、加之日本は我獨立を擁護すると
 共に東亞新秩序建設を高調して國際
 聯盟を脱退し斷乎たる態度を中外に
 闡明したのであつた、我國の共榮圏
 各國との關係は日本帝國とは夙に一
 德一心不可分離にあることは前述
 の通りである、又曩に新生中國の指
 導者汪主席閣下領導の下に南京國民
 政府が樹立せられた、その基礎を固む
 るや日華兩國と共に日滿華間の永久
 の共同善隣關係を規定する三國共同
 宣言を發表し、又泰國とも親密なる
 國交關係を結び更に支那事變が大東
 亞戰爭に發展してより後も緬甸、比
 島獨立に際しては直ちに之を承認し
 將來益々親交を加へんことを期して
 居る次第であるが、余は東亞に獨立
 國六を數へ更に又最近自由印度假政
 府の樹立を加へ、史上無比の股盛政
 現出したる今日こそ全東亞各國は東
 亞一體運命共同の信念に徹すること
 が、大東亞共榮圏建設の根本問題で
 あると信ずるものである、而して今
 後の東亞各國は凡そ世界の人達を尊
 重し全世界の正しき秩序創造に盡さ
 るんとする確たる意圖を有つべきで
 ある、更に將來の東亞諸國家間の關
 係は、今次世界戰爭に於て反樞軸
 諸國間に露骨に見らるるが如き、利
 害に基き離合集散する從來の國際關
 係とは根本的に相容れざる東洋道徳
 的傳統的特色たる家族血縁の情誼に
 基調を置き眞に東亞一家の觀念の下
 に相互に永久の道義的國交を誓約す
 るべきものと信ずるのである、又我等
 の招來せんとする東亞共榮圏の建設
 は光輝ある古き東亞の復興を意味す
 ると同時に、より多く新しき東亞の
 創造を意味するのである、故に東亞
 各國が夫々新時代に即應する意識と
 力量を具備せねばならぬ、而して我
 等十億の民族がその傳統たる優越せ
 る精神力を以て、世界に冠絶する大
 東亞の資源を總動員し戦ひつゝ建設
 し、飽迄進しき建設戦を推進し行く
 に於いては必ずや光榮ある最後の
 勝利が我等に歸すべきは何人も疑は

ざるところである

「パー・モウ代表演説要旨」 今回の如き場合に於て吾人の胸中に唯一の考へあるのみなることは、當然の理であり言葉は多量に亘るも其の思想は歸一するのである、従つて私が既に開陳せられたる思想、感動、事實を単に繰返すに過ぎぬと云ふことも之亦當然のことである、然し私は之を價值あることと考ふる者である、緬甸も亦同じの考へを有するのである、私は同じ言葉語り、同じ所見を御傳へせんがため本國より参つた者である、本日の東亞會議は何れも虚無から生れたのではない、舊い世界を滅し、新しい世界を創造した長い種々の事件の結果として生れたものである、既に述べた通り此等の事件は非常に大きく又影響する所が頗る廣いので、日本が亜細亞の指導權を握られて、不敗の日本軍が東亞を席捲し、反亞細亞勢力を撃攘し、東亞各國が日本の傘下に集まり、共同の敵に對抗して、亜細亞の進展に一轉機を畫する緬甸と比律賓の獨立が招來されたものである、未だ之より偉大にして重要な事件は東洋に起つたことがないのである、しかし、私は現在の東亞はほぼ完全でない、東亞がなほ不完全なことを認めなければならぬ、何となれば一二の缺陷があるからである、殊に印度のことを申したい、侵略者が印度から退放され印度の無盡蔵の資源、人力が敵手から奪回されば話は別である、印度は多大の打撃を蒙つてゐるであらうが、之れ恢復する力を持つてゐると思ふ、之れ印度の獨立は亞細亞獨立の一部にして印度の闘争は亞細亞の闘争、我々の闘争であると

私の所見に閣下並に各位が同意を表せられることを確信する次第である、スパス・チャンドラ・ボース氏は私が字義通り絶対的信念を以て語るに居ることを識らるるものと確信するものであります、扱て現東亞戰爭及東亞の秩序に付て申述ぶる段と相成りました處代表各位が既に述べられたる所に對し私より附加し得る點は殆んど無いのであります、極く概念的に申上げれば我々に於て今次戰爭は止むに止まれぬに出でたるに外ならぬのであります、自由にして強力なる印度無き限り自由にして強力なる緬甸、延いて自由にして強力なる亞細亞、新しき東亞の建設は今次戰爭の砲火の下に行はれなばならぬ、亞細亞にとりては勝利か滅亡の二途あるのみ、十億の亞細亞民族が結束して立つては如何事と雖も可能ならざるは無く、如何なる職意の儘なるべし、既に世界に對して宣言せられたるが如く東亞の新秩序を基礎とするものにして、全亞細亞を打つて一體、一家とする主義の下に立つ、此の新東亞は其の安穩確保に要するあらゆる物の並に人種的要件を具備し右は東亞新秩序建設に對する天與の賜ものなり、但し之だけでは十分でなきけ明白にして此の天與の賜ものに加ふるに東亞の覺醒、東亞の同胞關係、東亞は一體一家ありとの自覺を基礎とする精神的團結を以てするを要し、東亞諸民族が個々の國家主義の上にも全東亞の國家主義を持するを要し、各領土の境界を超えて東亞的的境界を想見せざるべからず、佛國僞言にあるが如く吾人

は二重國籍民たらざるべからず、即ち各自國の國民たると共に東亞の國民なるを要す、此の原則に基づき且世界新秩序の建設に當らざるべからず、今や緬甸が大東亞戰の第一線にして敵に直面し現代戰の凡ゆる慘禍を甜めつゝある處、右は緬甸のみならず全東亞の爲にして緬甸は究極に至る迄努力を續行する所存なり、従つて全東亞諸國民の戦力並に資力を結果し全東亞防衛の爲め必要あらば如何なる戦線に於ても之を發動するを要す、換言すれば東亞が一體なるが如く其の戰爭完遂の爲の努力、經濟並に企畫も一體たらざるべからず、即ち名實共に物質的にも精神的にも一體たるを要す、斯くてこそ東亞自援自強初めて全きを得るならん

ラ比島大統領演説 吾々此の會議に出席して、東亞諸民族として團結を新たに見出しそれに依り大東亞共榮團建設の歩武を彌が上にも早めたことは、同慶の至りと存する歴史を顧みて私が最も残念に感ずることは何故斯かる大東亞諸民族の會議が以前に開かれなかつたであらうかと云ふ、此のことである、大日本帝國の偉大なる武力、高邁なる精神の結果として有史以來初めて大東亞諸民族が一堂に會した、此の歴史的事實に吾々は心からの感銘を感ずる、吾々は日本の力に依り此處に參堂したのであり、參堂した曉は、搾取、壓迫の魔手を飽くまでも防ぎ、十億のアジア民衆は西洋の搾取の犠牲とは再びならぬことをお互ひに確信し、共榮團確立をお互ひの利益の爲でなく、又其の他の特定國の爲の共榮團確立ではなく、東亞共榮團の根本理念は各構成國家の自由自主を認め、其の土臺に共に榮える圈を造り上げるの即ち共榮、共榮圈を代表する三要素道け即ち共存、即ち協力の聖戰を戦ける所以、東洋の諸民族が生存の權益擁護の爲である、日本は榮え、日本は生存すると、恐らく東洋諸民族が滅び苦しむ場合日本は喜ばれないのである、是が日本の大東亞共榮團の根本理念である

と私に確信する、吾々此の共榮團建設の爲に協力を惜んではならぬと、此の聖地に再び米英の魔手の届くことを防ぎ、米英の桎梏から解放され、大東亞に聖天地を建設することが此の協力の對象である、東洋の精神文化は必ず東洋諸民族諸國家の採入れるべきことで、私國の如く長らく西洋の物質文化に醉はるべき要素であると信ずる、吾々は精神復興—東洋人としての東洋の自覺、是が大日本帝國協力の最も大きな要素であると信ずる、私は敢て軍事的協力と申しませぬ、其の理由は申すまでもなく大東亞戰爭完遂の爲には物資を全部投出すの吾々東亞諸民族諸國家の義務でありフイリビンの獨立もビルマの獨立も、大日本帝國の勝利なくしては維持出来ない、恐らく中華民國の繁榮、タイ國、滿洲國の榮えあることも大日本帝國の今の聖戰の完遂に基くものである、吾々が深く肝に銘じ、大東亞戰爭に於て日本の勝利あつて初めて、大東亞共榮團確立が出来ると云ふことを願ひます

會議 第二日

大東亞宣言採擇

【六日】大東亞會議は、第二日は六日午前十時より前日に引續いて開催、帝國代表東條首相より議案を提議し、これに對し各國代表より熱烈なる意見を吐露して同十一時五十分一旦休憩午後零時四十分再開、頭、今回の會議の精華とも言ふべき大東亞共同宣言が滿場一致採擇され、大東亞民族の世界平和に對する至高至大なる信念を感つた久遠の聖典は直ちに會議事務局から發表された、この日午後各國代表は午後零時四十分振鈴とともに各國代表以下列席者一同着席、同四十五分先づ帝國代表東條首相起つて再開を宣し、本日午前中に行つた議案に對する質疑を終り、これより採決に入る、改めて議案を朗讀します

とて大東亞共同宣言議案文を朗讀、次いで東條首相は採決は起立に依つて行ひたいと思ひます、採決に御賛成の代表は御起立を願ひます

と宣すれば六國代表一齊に起立、萬雷の拍手の裡に零時五十五分、歴史

の大東亞宣言は滿場一致を以つて可決され、同時に大東亞會議事務局より大東亞共同宣言全文が發表された

度へ 歴史的な大東亞會議の第二日午後帝國代表東條首相は歴次に互るインド獨立積極的支援の一具現として「アングマン・ニコバル諸島を近く自由インド假政府に歸屬せしめ

自由インド國民軍への出陣の饒けとしたが、これまで領土なき政府として「自由印度假政府」と稱してゐた同政府も、これで領土を有し住民を有する完全な獨立自主の政府たるべき資格を備へたものと言ふことが出来る、首相發言要旨左の如し

帝國は印度を英米の桎梏より解放して其希望達成の爲凡ゆる支援を送るの熱意を有することは屢次の聲明に依つて明かなる所であるが自由印度政府の基礎愈々確立し同政府の下に蹶起せる同志の初志貫徹の氣魄烈々として結束頓に鞏固を加ふるの現状に鑑み帝國は茲に印度獨立の第一階梯として目下帝國軍に於いて占領中の印度領たるアングマン諸島及びニコバル諸島を近く自由印度假政府に歸屬せしむるの用意あるを本席上に於いて闡明する次第である

大東亞共同宣言

大東亞會議事務局發表

昭和十八年十一月五日及六日の兩日東京に於て大東亞會議を開催せり、同會議に出席の各同代表者左の通り

日本國 内閣總理大臣 東條 英機閣下 中華民國

國民政府行政院院長 汪 兆 銘閣下

タイ國 内閣總理大臣 ビー・ビアン・ソ

滿洲國 國務總理大臣 張 景 惠閣下

フリービン共和國 大統領 ホセ・ペー・ラウレル閣下

ビルマ國 内閣總理大臣 パー・モウ閣下

同會議に於ては大東亞戰爭遂迄と大東亞建設の方針とに關し各國代表は隔意なき協議を遂げたる處全會一致を以て左の共同宣言を採擇せり

抑々世界各國各々が其の所得相倚り相扶けて萬邦共榮の樂を借にするは世界平和確立の根本要義なり

然るに米英は自國の繁榮の爲には他國家他民族を抑壓し特に大東亞に對しては飽くなき侵略擄取を行ひ大東亞の安定を根柢より覆さんとせり大東亞戰爭の原因茲に存す

大東亞各國は相提携して大東亞戰爭を完遂し大東亞を米英の桎梏より解放して、其の自存自衛を全うし左の綱領に基き大東亞を建設し以て世界平和の確立に寄與せんことを期す

一、大東亞各國は協同して大東亞の安定を確保し道義に基き共存共榮の秩序を建設す

一、大東亞各國は相互に自主獨立を尊重し互助敦睦の實を擧げ大東亞の親和を確立す

一、大東亞各國は相互に其の傳統を尊重し各民族の創造性を伸揚し大東亞の文化を昂揚す

一、大東亞各國は互恵の下緊密に提携し其の經濟發展を圖り大東亞の繁榮を促進す

一、大東亞各國は萬邦との交誼を篤うし人種的差別を撤廢し普く文化を交流し進んで資源を開放し以て世界發展に貢獻す

大東亞建設五綱領の意義 大東亞會議第二日の六日、六國代表の總意を以て採擇され、堂々中外に公表された大東亞十億民衆の決意の上に成るこの共同宣言は大東亞建設の永遠不動の綱領であつて、宣言はその前段において大東亞戰爭の眞因を究明し、米英の大東亞に對する飽くなき侵略擄取の桎梏より自らを解放し、大東亞の自存自衛を全うして世界平和の確立に貢獻すため

一、共存共榮の原則 一、獨立親和の原則 三、文化昂揚の原則 四、經濟繁榮の原則 五、世界進運貢獻の原則

の五大原則をその實踐の根本方針とした、而して大東亞十億民衆が、その實踐を誓つて大東亞建設綱領の第一たる共存共榮の原則と第二の原則である獨立親和の原則とを、統一體として大東亞の存在を前提とし、相互にその物心總力を發揮すると同時に、互助敦睦の精神に則り、有無相通じ、全體としての大東亞の繁榮と諸國家、諸民族の共存共榮を具現せんとするにある、この原則こそ人類生存の最高理想であつて、構成國家の完全なる自主獨立を基礎とし諸民族の創意と責任の發揮により共存共榮を具現せんとするものであり

り、そこに米英流の強制支配の觀念は毫末も存在しないことは、最も注目すべき點である、第三原則たる文化昂揚の原則、第四原則たる經濟繁榮の原則は右の第一、第二原則の素材を相互に因となり果となつて、究極における新たな大東亞の建設を具現するか、東亞固有の文化の古き傳統と豊富な資源は、必ずや世界新秩序の典型として、最も理想的なる大東亞全體を完成せしめるであらう、右の四原則の實現される大東亞の姿こそ、まさしく正義と人道と平和の殿堂であつて、米英が眞實に正義、人道、平和を希求して現にこの世界戰爭を戦つてゐるならば米英の抗戰名目は、ここにおいて根底から覆へされたといふべきであり米英にしてかかる大東亞の現實に眼を蔽つて依然として、その反政を続けるならば、米英はその野望と罪惡とを再び白日の下に曝す以外ないのである、かくて新たな大東亞の完成は、先づ大東亞十億民族の大東亞建設にあるが、しかし大東亞は決して排他的、封鎖的地域ではなく、全世界と經濟、文化その他各分野にわたる交流を行ひ世界人類の向上發展に寄與せんとするものである、大東亞共同宣言が世界新秩序建設の一環として、その存在理由の強調されてゐるのは、この故であり、第五の原則を世界進運貢獻の原則と稱する所以も實にここにあり、過去數世紀にわたる米英の壓制と擄取による苦惱の歴史に顧み、世界人類の發展を衷心より希求する大東亞民族の心からの叫びに對しては必ずや全世界の國家と民族とが、これに衷心賛意を表すべきは明かであり、この故にこそ大東亞共同宣言は、重ねて米英の抗戰名目に一大衝擊を加へるものといふべきである

大東亞國民結集大會

【七日】歴史的な大東亞會議の後に受けて世紀の感激を米英粉砕熱鐵の決意に凝集すべき大東亞國民結集大會は七日午前十時より日比谷公園大廣場において大政翼賛會、翼賛政治會、東京都の共催下十餘萬の會衆を集ひ東條首相をはじめ華、泰、滿、比、緬の六國代表並びに自由印度假政府ボリス首班を迎へて、華々しく記念すべきこの日翼賛會、翼政會、東京都の主權團體は勿論翼壯、産報、農報、商報、海報、青少年團、婦人會等各國民運動諸團體代表及び町内會長、隣組長ほか一般會衆は、ぞくぞく會場につめかけ、さし大廣場も立錫の餘地なく國防色と會旗の波に彩られ、大東亞十億の總蹶起を誓つて米英擊碎の雄叫びは全東亞の隅々まで高唱された、大會は會集全員の整列を終るや後藤翼賛會副總裁、阿部翼政會總裁、大達都長官、各國務大臣をはじめ翼賛會全總裁、前田翼政總務會長、平生産報會長、有馬東京都會議長、井上郷軍會長ほか來賓が着席續いて東條首相は汪行政院々々、ワンワイ殿下、張國務總理ラウレル大統領、パー・モウ、ビルマ國總理、ボリス自由印度假政府首班等各國代表が萬雷の如き拍手に迎へられて入場、司會者の發聲によつて大會の幕を切つて落された、宮城遙拜、國歌奉唱の後、後藤大政翼賛會副總裁が宣戰の大詔を捧讀大東亞

戰爭完遂の祈念を行つて、主催者代表阿部翼賛政治會總裁の挨拶に入つた。かくて阿部總裁の挨拶後、水野大政翼賛會與亞細本部統理を座長に推挙し、丸山翼賛會事務總長の發聲

いで東條首相は今大東亞會議の意義を闡明、大東亞全民族の緊密なる提携下、米英必滅の力強い決意を高唱、終つて會衆十萬は翼政代議士會副會長廣川重次氏の發聲によつて、大東亞戰爭完遂決議を以て之に應へ

る、燃え上る國民的決意の表明に感激の各同代表は相次いで演壇に立ち熱意を傾け相共に宿敵擊滅の決意を闡明、最後に樞軸國を代表してスマーメイドイツ大使が挨拶を行ひ、東西呼應、世界新秩序建設の雄圖を誓つた、かくて一同「海行かば」を齊唱

大達都長官の發聲によつて聖壽の萬歳を奉唱翼政常任總務永井柳太郎氏の發聲によつて盟邦、友邦の萬歳を三唱、愛國行進曲の奏樂裡に大東亞各代表退場し、全東亞必勝への内熱的決意の下、午後一時大東亞解放戰に總進軍する大東亞結集國民大會は意義深き全行事を終了した

なほ新設三省次官も、同時に發令された (情報局發表) 本一日午前十時三十分親任式を行はせられ左の通り發令せらる

正三位勳一等 山崎達之輔 任農商大臣
正三位勳一等功二級 東條 英機 任農務大臣
正三位勳一等 八田 嘉明 任運輸通信大臣

次官發令
農林次官 石黒 武重
任農商次官(一) 國務大臣 岸 信介
任農務次官(一) 男爵 飯田精太郎
任運輸通信次官(一) 任運輸通信次官(二)

戰時行政職權特例の改正
一日を期して農商、軍需、運輸通信三省の創設を中心として、各般に亘る行政機構の劃期的な整備刷新が實現されたが、これと相並んで政務執行の敏速化と、府行政機構の整備を期するため、戰時行政職權特例が改正され、内閣總理大臣の指示権が及ぶ職權移動制度が擴充されると共に、地方行政協議會長の機能強化が行はれた、改正の要旨左の如し

一、内閣總理大臣の指示権の擴充
從來の第一條としては、内閣總理大臣が關係各省大臣に對し指示をなし得る場合は、重要軍需物資の生産擴充上、特に必要ある指示制度を更に擴充し、右の場合のほか、なほ主要食糧の確保、防空の徹底強化その他綜合國力の擴充運用上、特に必要あり一切の場合に、關係各省大臣に對し指示がなされ得ることになつた (第一條關係)

二、職權移動制度の擴充
從來の第二條と第三條の規定として、必要ある軍需物資の生産擴充上、特に必要ある場合に限定され、また移動をなし得る行政職權の範圍は勞務、資材、動力及び資金に關する行政職權に限定されてゐたが、今回右のほかなほ職權移動をなし得る場合として、主要食糧増産上特に必要ある場合を加へ、且つ移動をなし得る職權の範圍として食糧、施設及び運輸に關する職權を加へた (第二條及び第三條關係)

三、地方行政協議會長の都廳府縣長官の指示権の強化
從前の第六條第一項としては、地方行政協議會長たる都廳府縣長官は、當該地方に於ける各般の行政の綜合聯絡調整に任じ、必要あるときは、廳府縣長官に對しては直接指示をなし得るのであるが、財務局長、營林局長、鐵道監督局長、鐵道局長等の地方行政協議會令第四條に規定するその他の官衙の長に對しては直接指示をなすことができず、それぞれの所管大臣に對し申入れをなし、その指示の發動を求め得たに過ぎなかつた、ところが今回の改正により、これ等の官衙の長に對しても、直接指示をなし得ることとされたので、地方行政協議會長たる當該長官の行政聯絡調整に任ずる機能は、著しく強化されるに至つた (第六條第一項關係)

四、地方行政協議會長に内閣總理大臣及び各省大臣の職權の一部を行はせること
今回の國內態勢強化の一項目として中央官廳業務をできるだけ地方廳へ移讓することに決定したのであるが、今回戰時行政職權特例に新たに第七條が規定せられ、地方行政協議會長たる當該長官に對し、各大臣の輔佐機關としての機能をも附加し、各大臣の職權の一部を行はせる途が設けられたのである。これによつて行政の敏速化、的確化が大いに庶幾され得るのである (第七條關係)

政府

行政新機構構築足

新設三省の各大臣親任式

【一日】軍需省を始め運輸通信省、農商省の新設三省の初代大臣の親任式は一日午前十時半より宮中に於て舉行せられ、内閣より左の如く發令

る一切の場合に、關係各省大臣に對し指示がなされ得ることになつた (第一條關係)

二、職權移動制度の擴充
從來の第二條と第三條の規定として、必要ある軍需物資の生産擴充上、特に必要ある場合に限定され、また移動をなし得る行政職權の範圍は勞務、資材、動力及び資金に關する行政職權に限定されてゐたが、今回右のほかなほ職權移動をなし得る場合として、主要食糧増産上特に必要ある場合を加へ、且つ移動をなし得る職權の範圍として食糧、施設及び運輸に關する職權を加へた (第二條及び第三條關係)

三、地方行政協議會長の都廳府縣長官の指示権の強化
從前の第六條第一項としては、地方行政協議會長たる都廳府縣長官は、當該地方に於ける各般の行政の綜合聯絡調整に任じ、必要あるときは、廳府縣長官に對しては直接指示をなし得るのであるが、財務局長、營林局長、鐵道監督局長、鐵道局長等の地方行政協議會令第四條に規定するその他の官衙の長に對しては直接指示をなすことができず、それぞれの所管大臣に對し申入れをなし、その指示の發動を求め得たに過ぎなかつた、ところが今回の改正により、これ等の官衙の長に對しても、直接指示をなし得ることとされたので、地方行政協議會長たる當該長官の行政聯絡調整に任ずる機能は、著しく強化されるに至つた (第六條第一項關係)

五、地方行政協議會長に内閣總理大臣及び各省大臣の職權の一部を行はせること
今回の國內態勢強化の一項目として中央官廳業務をできるだけ地方廳へ移讓することに決定したのであるが、今回戰時行政職權特例に新たに第七條が規定せられ、地方行政協議會長たる當該長官に對し、各大臣の輔佐機關としての機能をも附加し、各大臣の職權の一部を行はせる途が設けられたのである。これによつて行政の敏速化、的確化が大いに庶幾され得るのである (第七條關係)

陸海軍武官轉任の件

△陸海軍武官より軍需省職員に轉任せられ又は補せらるるものに關する件
第一條 現役に在る陸海軍武官に於て軍需省の總局長官、各局長、總局長、部長、軍需官又は軍需監理官に專任せられたるものは現役として陸海軍に於て之を定員外と爲し陸海軍の在職者に關する規定を適用す

第二條 軍需省に官制に定むる職員の外部長、軍需官、軍需監理官、軍需官補及び軍需監理官補を置き陸海軍武官の中より部長、軍需官及び軍需監理官に在りては軍需大臣の奏請に依り内閣に於て、軍需官補及び軍需監理官補に在りては軍需大臣之を補す

前項の規定に依り軍需省職員に專補せらるる者の員数は部長及軍需官に在りては通じて百十人以上、軍需監理官に在りては四十人以上、軍需官補に在りては四十人以上、軍需監理官に在りては四十人以上とす

現役に在る陸海軍武官にして第一項の規定に依り軍需省職員に專補せられたるものは現役として陸海軍に於て之を定員外と爲し陸海軍に於て之を定員外と爲し陸海軍の在職者に關する規定を適用し其の者の俸給其の他の諸給與は軍需省の經費より支辨す

附 則
本令は公布の日より之を施行す
明治十二年勅令第六百十二號及昭和十四年勅令第三百九十六號は之を廢止す

中央官廳の決戰機構

政府は國內態勢強化方策の一環として、行政運營の決戰化を期し、一日、農商省軍需省、運輸通信省の新設をはじめ、中央各廳の殆んど全部に亘る機構改革を實施した。即ち、廢止されたもの、四省、一院、十三局六所、新設されたもの三省二部、四局、二所、移管一局といふ廣汎多岐に亘るもので、これと同時に官吏員の大規模削減も行はれ、行政の簡素強力化に對する政府の積極的意圖を示した

軍需省官制は、その第一條に、軍需大臣の管理すべき事務の範圍を左のやうに規定してゐる

一、國家總動員の基本に關する事項
二、工業業一般に關する事項
三、礦産物及工業品(鐵道車輛、鐵道信號保安裝置、船舶、船舶用品、罐維工業品及主として國民生活の用

織維局

これまでの農林省蠶糸局と商工省織維局の所掌事項を一括処理する

生活物資局 これまでの農林省食品局の所掌事項の大部分と、一般民需工業品に関する事項等を併せ処理する

人造織維課 監理課 農産食品課、畜産食品課 工業食品課、工業品課

物價局

軍需物資の價格に關するものを除きこれまでの物價局と農林省總務局の所掌事項を併せ、物價一般と農商省所管物資の價格統制に關する事項を掌る

統制課、農林課、日用品第一課 (ゴム製品、皮革製品、油、日用品第二課(脂製品、合成樹脂製品等)、課(硝子製品、木材製品等)

運輸

なほ外局として、馬政局、食糧管理局があることはこれ迄の通りである

1 企画局は、運輸に關する綜合計畫の設定、その他重要政策の綜合調整に關する事項と、内地と内地以外の地域における運輸の連絡に關する事項を所掌する

省信通

大臣官房 秘書課、文書課、統計課、會計課

1 總務局は、所管行政に關する綜合計畫の設定その他重要政策の綜合調整に關する事項と、從事員の給與、厚生、養成に關する事項のほか、通信事業特別會計に關する事項を所掌する

總務局

總務課、物資動員課(生活必需物資動員(綜合事務)、團體課、企業課、整備課、資材課、油脂課

2 業務局は、從來の逓信省郵務局と電務局の所掌事務を併せ、郵便と電氣通信、これらの附帶業務に關する事項を所掌する

農政局

農政課、經營課(農業の經營改善及肥料統制課、耕地課、農産課、特産課(甘藷、馬鈴薯)、畜産課、飼料課、農業保險課

3 海運總局は、船舶、造船、船員、航路標識、その他の水運に關する事項、港灣の運營に關する事項、臨港倉庫に係る倉庫營業に關する事項等を總局内の長官官房と總務局、海運局、船舶局、船員局の四局で分掌する

山林局

林政課、企畫課、造林課、作業課(木材の生産、林道支線、木材課、燃料課(その他木材の搬出施設) 水産局 漁政課、水産課、海洋課、施設課

4 自動車局は、自動車その他地方運送に關する行政を統一強化し、國有鐵道に關する國營自動車、自動車交通事業、小運送事業その他鐵道及び軌道を除く陸運事業に關する事項及び自動車その他の陸運、即ち鐵道及

織維局

計畫課、蠶業課、綿業課、絹毛課

5 貯金保險局は、逓信省の外局であつた貯金局と簡易保險局を併せて内局とし、これに郵便爲替、郵便貯金、簡易生命保險、郵便年金、これらの附帶業務等を所掌する

び軌道並びに軍需省所管の自動車製造事業、同部品製造事業を除く陸運の機械器具の製造、修理加工、配給等に關する事項を掌理する

6 地方機構としては、鐵道局と逓信官署は現行通りとし、氣象官署は現行のまま文部省より運輸通信省に移管し、また現行の海務局と税關等を統合して海運局を設置した、海運局は、横濱、名古屋、大阪、神戸、門司、新潟、鹽竈、小樽の八ヶ所に設置し、鐵道局は現行通りとし、逓信局は新潟と松山に増置した

大臣官房 考査室、文書課、秘書課、會計課、防衛氣象課(文部省より移管)

企畫局 第一課、第二課、第三課 鐵道總局(從來の大局を自動車局と四局に縮減)

長官官房 總務課、人事課 總務課、主計課、會計課、調査課、動員課、整員課(總務員局)

勤務課(總務員局)、鍊成課(局鍊成課)、厚生課(總務員局)、體力課(局體力課)

2 鐵道總局は、國有鐵道と、これに關する國營船舶の業務ならびにその附帶事業の業務、施設および資材に關する事項、地方鐵道及び軌道の監督に關する事項、これ等の要員に關する事項、帝國鐵道會計に關する事務一般、鐵道車輛、その他の陸運に關する機械器具に關する事項、臨港倉庫に係るものを除く倉庫營業等に關する事項を總局内の長官官房と總務局、業務局、施設局、資材局の四局で分掌する

3 海運總局は、船舶、造船、船員、航路標識、その他の水運に關する事項、港灣の運營に關する事項、臨港倉庫に係る倉庫營業に關する事項等を總局内の長官官房と總務局、海運局、船舶局、船員局の四局で分掌する

4 逓信監督局は、郵便と電氣通信の檢閲、電波の監視に關する事項を所掌する

5 貯金保險局は、逓信省の外局であつた貯金局と簡易保險局を併せて内局とし、これに郵便爲替、郵便貯金、簡易生命保險、郵便年金、これらの附帶業務等を所掌する

業務局 總務課、監理課(衛監理局)、財務課(衛監理局)、倉庫課、國際課、制度課、輸送課、船舶課、運行業務課、保安課

施設局 規畫課、整備課、保修課、線路課、停車場課、幹線課、建築課、機械課、電力課、通信課 資材局 總務課、輪材課、金屬課、炭材課、工場課、客貨車課、動力車課

海運總局(從來の五部を)

長官官房 總務課、經理課(衛官房)

海運局(衛運) 管理課(衛總務部監、輸送課(衛第二運送、港政課(衛港、海務課(衛海防課) 標識課(衛航路部、工務課(衛航路部)、燈臺官吏養成所

船政局(衛船) 企畫課、資材課(衛保船課、造船課、造船機

船員局(衛船) 整備課、教育課、服務課

自動車局 總務課 業務部 監理第一課(衛監理局自、監理第二課(衛監理局自、監理第三課(衛業務局自) 運輸課(衛監理局自) 整備部 充員課、資材課、車輛課(衛監理局自) 三課(衛車)

港灣局(衛港) 管理課、計畫課、建設課

航空局(衛空) 監理部(衛第一課)

總務課、監督課、國民航空課、保安課(衛第二課)、無線課(衛第二課)

乘員部(衛乘) 管理課、航空職員課、第一養成課、第二養成課、補給課(衛第二課)

建設課
通信院(外局、舊逓信省)
總裁官房
秘書課、文書課、考查課
總務局
總務課、主計課、厚生課(舊郵務課)、要員課(舊管理課)、需品課、逓信博物館(舊官倉)

業務局(舊郵務局と舊逓信省を統合)
庶務課、郵務課、電務課、無線課、外信課
通信監督局

第一課、第二課、第三課(舊官房通貯金保険局(貯金局と簡易貯金局を統合))
庶務課、規畫課、經理課、貯金業務課、保險業務課、資金課、運用課、醫務課、數理課

工務局
庶務課、線路課、機械課、無線課、傳送課、調査課、營繕課(舊總務局)、標準電波建設所(舊總務局)

その他各廳の新機構一覽
内閣(ゴチャクは新設、統合、廢止を示す)

内閣官房
總務課、人事課、會計課、參事官室
内閣恩給局
庶務課、審査課
内閣印刷局

大藏省(移管)の編輯及び印刷並びに内閣所管機密文書の印刷については内閣總理大臣の指揮監督を受けしめる
内閣東北局
廢止(東北興業株式會社の監督事務は、東

に對する監督は、内閣總理大臣が行ふ)
法制局

從前通り
賞勳局
庶務課、審査課、事變行賞課
企畫院
廢止(國務省の設置に伴ひ企畫院は廢止し、國務省の綜合運用を内閣にまいて所掌する。簡素強力な組織を内閣に設ける)

統計局
庶務課、審査課、人口課、労働課、第一製表課、第二製表課
情報局
一、一部を廢し、官房に新たに戰時資料室を設ける
總裁官房
秘書課、文書課、審議室(情報宣傳課に關する企畫、戰時資料室第一課(國內情報蒐集)、第二課(對外宣傳上必要整理及び輿論蒐集))

第一課
新聞課、放送課、國民運動課、週報課
第二課
檢閱課、出版課、文藝課、藝能課
第三部
對外報道課、對外事業課
技術院(特許局を統合)

總裁官房
審議室(特に總裁より命ぜられた案件を審議する)、秘書課、庶務課
總務部
總務課(各廳の科學技術に關する事項)、管理課(科學技術審議會、科學)、創意課(國民の科學技術に關する創意の誘導、科學技術知識の向上、普及、科學技術に關する表彰、獎勵科學技術、科學技術普及等に關する事項)、調査課(科學技術の綜合運用等に關する事項)

研究動員部
研究動員課(研究動員會議並びに戰時研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)
研究動員課(研究員の綜合運用等に關する事項)

第一課(戰時の對外經濟施)、第二課(對外經濟交渉)
條約局
第一課、第二課
調査局
第一課、第二課、第三課(第三課を統合、對外宣傳發給に關する事務)

内務省
一、神祇院の機構を簡素化
二、防空總本部を設置(總務局、警防局、施設局、業務局の四局を置く。ただし局長二人は、警保局長及び國土局長の兼任とし、防空局長を廢止)
三、東京の警察講習所を一時停止し新たに戰時に適應した強力な訓練を實施
四、土木出張所については、地方行政協議會との關係を考慮して、所要の措置を講ず

大藏省
一、警備管財局、資金局及び監理局を廢止
二、財務局を九局とし、内國稅の機構を充實
三、釀造試驗所を廢止
四、造幣局出張所の一部を廢止
五、内閣印刷局を大藏省に移管(官報その他内閣所管機密文書は、内閣總理大臣が指揮監督する)
六、東京の稅務講習所を一時停止し新たに戰時に適應した強力な訓練を實施する
七、稅關を廢止し、その事務を運輸通信省の地方部局に移す

大臣官房
庶務課、計畫課(國土、地方、都市計、經濟、交通、建設等に關する事項)、河川課、道路課
管理課
總務課(法制、特別會計の豫算決算、經濟、物資動員、生産力増進等に關する事項)
總務課(物資動員、生産力増進等に關する事項)
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

神祇院
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課
第一課、第二課、第三課、第四課

主税局

國稅第一課、國稅第二課、關稅課
經理課、釀造技師課(酒類の分析、鑑
定その他の技術
並に講習、指導に關する)
國稅貯蓄局

總務課、計畫課、指導課

(都道府縣市
町村その他
地方における國民貯蓄に關する事務の一般
的指導監督、助成及び業務組合を除く。國
債の直接消化等)、特別施設課

國庫課、預金運用課、預金監理課

金融課、資金調整課、經理統制課
外資局
總務課、計畫課、爲替課、管理課

銀行保險局

總務課(全國金融統制會、銀行等資金運用
に關する臨時資金調整法及び會計經理統制
令の施行に關する事務、金融統制
關の検査に關)、特別銀行課、普通銀
行課、庶民金融課、保險課、戰時
保險課

司法省

一、行刑局、保護局の二局を統合し
て刑政局とす
二、司法研究所は一時停止し、新た
に戰時に適應した強力な訓練を實
施

大臣官房

秘書課、人事課、會計課、行政考
査室
民事局
第一課、第二課、第三課
刑事局
總務課、刑事課、思想課、經濟課
刑政局
第一課(從來の行刑局總務課及)、第二課
(收容者の作業を中心に、主とし)、第三課
(從來の行政局刑務課の事務)

(少年保護及び一般保護を中心に、第
四課) 思想犯の保護監察を中心に、主とし
局(練成課)
四課(從來の保護局思想輔導課及び行刑
局練成課)

文部省

一、圖書局を國民教育局に、教化局
を教學局にそれぞれ統合し、從來
の八局を六局とす
二、國民精神文化研究所と國民鎮成
所とを統合して、新たに教學練成
所を設置

大臣官房

秘書課、文書課、會計課、建築課
史料編修課
總務局
總務課、考査課、涉外課、調査課
會計課
專門教育局
大學教育課、專門教育課、監理課
國民教育局
總務課(養成を目的とする學校、養成所の
事務)、中等教育課、青少年教育課
第一編修課(國民學校、青年學校、中等學
校等の教科用圖書の編修等)
第二編修課(成所の教科用圖書の編修等)
教學局
教學課、思想課、國語課、宗教課
文化課(藝術の獎勵調査、國寶、史蹟名勝
蹟の調査指導、映畫の改善指導、音樂
演劇等國民娛樂に關する事務等)

科學局

總務課、研究動員課、調査課
體育局
訓練課(學生の體育運動、武道その他體育
學徒動員課、學校教練等に關する事務)
學徒動員課(學生の航空訓練、機甲訓練、
その他の特種訓練、勤勞作業
等に關する)、保健課

厚生省

人口局と生活局を統合し、健民局を
新設、また勤勞局を擴充強化し、五
課を八課に増設
大臣官房
秘書課、總務課、會計課
健民局
涵養課、修練課、母子課、鍛鍊課
指導課
衛生局
醫務課、藥務課、醫療課、防疫課
勤勞局
庶務課(國民動員實施の)、登録課(國民
勞務手帳その他庶務)、國民動員計畫
勤勞總務の調査、企業課(設定その他重要
企業)、整備課(勤勞給付)、動員第
一課(一般若壯年の勤)、動員第二課
(學生卒の動員女子)、管理課(貸金給料
勤勞、勤勞獎勵、住宅課(その住
管理)、施設課(衛生生活局住宅課厚生施設)
保險局
保險課(舊健康保險課と舊船員、國民保
險課、年金課(舊年金保險課と舊船員)、
健康保險指導所
軍事保護院
總務課、指導課、職業課、醫療課
整備課、工營課

大東亞省

一、商工省より交易局を移管
二、興南鍊成院と興亞鍊成所を統合
三、海外移住教養所を廢止
四、外地機關を極力簡素化
五、南洋廳本廳を簡素化し、支廳を
統合強化
大臣官房
文書課、人事課、會計課、電信課

審議室

總務局
總務課、經濟課、調査課、鍊成課
考査課
總務事務局
總務課、殖産課、拓務課、開拓課
青年課
支那事務局
總務課、司政課、文化課、理財課
農林課、商工課、交通課
南方事務局
政務課、監理課、文化課、理財課
產業課、交通課
交易局
計畫課(交易行政の連絡調整、綜)、輸出
課、輸入課

大政翼賛會

四局を三局に簡素強化力す
總務部、會計部、鍊成部(舊鍊成局を
したてて廿六日の定期開議に
した)、調査部(舊調査局と舊)、宣傳部
國民運動局
地方部(舊組織部の大半と、戰時生活部
(舊國民生活活動員部と舊)、増産部(舊經
濟第一の一部を統合)、増産部(舊經
濟第二の一部を統合)、文化厚生
部(舊文化部と舊厚生
部(舊の一部を統合))
團體局
團體部(舊組織部)、推進部(舊發壯年團
との連絡)

一般事項

一、昭和三十九年度豫算上の重要政策
の先議制定に關する件
二、上程星野書記官長より詳細説明を
行ひ、慎重な検討の後左記十件を決
定、同日午後五時情報局より
第一、科學技術研究の振興に關する
件
第二、戰時外交及び大東亞結集の強
化に關する件
第三、防空施設の整備強化に關する
件
第四、戰時經濟犯罪防遏對策確立に
關する件
第五、健兵健民對策の強化に關する
件
第六、軍人援護事業の充實強化に關
する件
第七、滿洲開拓民實施に關する件

新規模豫算重要政策
十件決定

【廿六日】政府は明年度に實施すべ
き重要政策の豫算上の措置に關して
七月十六日の閣議において昭和十
九年度重要事項豫算統制大綱を決定
明年度重要政策の豫算上の重點を皇
國を中心とする大東亞の徹底的戦力
化に置き豫算外すべき重要事項は軍
事、防空、戰時外交推進、重要物資
の生産増強、輸送力の徹底的増強、
國民戰爭生活の確立、科學及び技術
の急速な向上等直接戰爭遂行のため
眞に必要不可欠からざるものに限
定し、そのうち新規施設については、
特に閣議で先議制定する事とし、
着々重要政策の豫算化を急ぎつつあ
つたが、去る九月廿一日現狀勢下
における國政運営要綱を決定これが具
體化に伴ひ軍需省等新省の設置を初
め國內應勢の全般に亘り強化刷新の
一大英斷が實施されるに至つたので
既に準備中の諸政策についても嚴正
に再検討を加へつつ強力なる重點主
義に基きその徹底的再編成に着手、
この程その全施策につつ整備を完了
したので廿六日の定期開議に
した、昭和十九年度豫算上の重要政策
の先議制定に關する件

第八、食糧の増産及び確保に關する件
第九、軍需生産の確保及び増産に關する件
第十、航空機乗員及び船員の養成に關する件

第二、右豫算上の規模は昭和十九年度に於ける物資、勞務及資金の見透しに基く豫算全體の輪廓、義務費及義務費に準ずべき經費の増加及既定經費其の他との關係を整理し今後豫算編成の際に於て之を確定するものとす
三、尙豫算上の所要に充當し得べき物資、勞務及資金に付ては豫算編成前途に急速に其の大體の見透しを著くるものとす
四、第一の事項中豫算編成の際豫算化し得ざるものを生じたるときは改めて閣議に於て協議するものとす
第一、科學技術研究の振興に關する件

〔方針〕 戰事完遂の爲機敏渡刺たる外交を行ふと共に大東亞諸民族の協力結集を強化する爲左記要領に依り必要な措置を講ずるものとす
〔要領〕 戰時外交工作の機動的推進を圖るに必要なる措置を講ずること
①敵國及び交關に於ける帝國權益の保全及び殘留邦人等の保護救済の爲の措置を整備すること
②大東亞諸民族の協力を促進強化する爲本邦より及現地に於ける啓發宣傳其の他文化的諸施策の推進を圖ること
第三、防空施設の整備強化に關する件

〔方針〕 戰局の推移に備へ國土防衛の完璧を期せんが爲一層防空態勢の徹底強化を期するものとす
〔要領〕 重要地域及重要機關の防護に重點を特に強力に指向し防空に關し實施し來れる諸施策を一層強化すること
①重要都市の疎開に努め殊に建築物の撤去を促進すること
②防空監視及通信施設の整備を促進すること
第四、戰時經濟犯罪防遏對策確立に關する件

〔方針〕 戰時經濟犯罪の發生を防止し、國內態勢の確立強化に資する爲左記要領に依り方策を講ずるものとす
〔要領〕 違法精神の普及徹底に資する爲各地に於て違法懇談會を開催すること
①中央及地方に經濟犯罪對策協同會を設け關係各廳間に於て經濟犯罪の取締並に經濟犯罪取締の結果に依る經濟統制施策の改善に付協力態勢を確立すること
第五、健兵健民對策の強化に關する件

〔方針〕 軍人檢護事業に關しては既に従來より諸般の施策の實施に努めつつあるも尙大東亞戰爭の現段階に即應し左記要領に依り一層之が擴充強化を圖るものとす
〔要領〕 ①軍人遺族に對する職業保護の徹底を期する爲既設遺族職業輔導所の規模を擴充するの外新に之が増設を圖ること
②戰死者遺児、傷疾軍人及出征軍人の子女に對する育英に關し大日本育英團の事業との關係をも考慮の上其の施設を強化すること
③傷疾軍人に對する職業再教育の萬全を期する爲職業輔導所を増設すること
④と共に傷疾軍人奉公財團の活動を助成すること
第七、滿洲開拓民實施に關する件

〔方針〕 食糧に主要食糧に付ては南方よりの取得に絕對に依存することなく日滿を通ずる自給の完全なる確保を爲す爲食糧の増産に努むるものとす
〔要領〕 ①既に着手したる土地改良事業は強力に之を促進すること
②食糧の増産及び確保に關する既定諸施策の重點的擴充強化を圖ること
③食糧に關する試験研究を強化すること
④食糧の増産及確保に要する器械及器具を確保する措置を講ずること
⑤北海道土功組合地區内の農地厚生に付特に助成施策を講ずること
⑥食料鹽の自給態勢の確立に努むること
⑦特に樺太及北海道に重點を指向すること
第九、軍需生産の確保及増強に關する件

〔方針〕 戰局の緊迫に即應し軍需生産の飛躍的増強を圖るため左記に依り必要な措置を講ずるものとす
〔要領〕 ①小型熔鑄爐其の他鐵鋼生産の措置を講ずること
②原料品の急連なる増産を圖ること
③原料用炭及發生爐用炭の増産、増送を目的とし主として常盤並に九州、山口の炭田に付必要な措置を講ずること
④石炭並に石油の需給狀況に顧み熱効率の最高度發揮の爲熱管理の指導の措置を講ずること
⑤輕金屬及炭素製品の製造技術の飛躍的向上を圖る爲に必要な指導獎勵を行ふと共に輕金屬の原料たる苦汁の專賣制を實施すること
⑥鐵鑄、非鐵金屬鑄石の増産に資する爲探鑛獎勵等従前より實行せる生産助成の措置を強化すること
と共に既調査鑛山の採掘の企業化を促進し、又地質調査所を強化し新なり

〔方針〕 戰時經濟犯罪の發生を防止し、國內態勢の確立強化に資する爲左記要領に依り方策を講ずるものとす
〔要領〕 違法精神の普及徹底に資する爲各地に於て違法懇談會を開催すること
①中央及地方に經濟犯罪對策協同會を設け關係各廳間に於て經濟犯罪の取締並に經濟犯罪取締の結果に依る經濟統制施策の改善に付協力態勢を確立すること
第五、健兵健民對策の強化に關する件
〔方針〕 結核の豫防撲滅、乳幼児及

〔方針〕 食糧に主要食糧に付ては南方よりの取得に絕對に依存することなく日滿を通ずる自給の完全なる確保を爲す爲食糧の増産に努むるものとす
〔要領〕 ①既に着手したる土地改良事業は強力に之を促進すること
②食糧の増産及び確保に關する既定諸施策の重點的擴充強化を圖ること
③食糧に關する試験研究を強化すること
④食糧の増産及確保に要する器械及器具を確保する措置を講ずること
⑤北海道土功組合地區内の農地厚生に付特に助成施策を講ずること
⑥食料鹽の自給態勢の確立に努むること
⑦特に樺太及北海道に重點を指向すること
第九、軍需生産の確保及増強に關する件

〔方針〕 戰局の緊迫に即應し軍需生産の飛躍的増強を圖るため左記に依り必要な措置を講ずるものとす
〔要領〕 ①小型熔鑄爐其の他鐵鋼生産の措置を講ずること
②原料品の急連なる増産を圖ること
③原料用炭及發生爐用炭の増産、増送を目的とし主として常盤並に九州、山口の炭田に付必要な措置を講ずること
④石炭並に石油の需給狀況に顧み熱効率の最高度發揮の爲熱管理の指導の措置を講ずること
⑤輕金屬及炭素製品の製造技術の飛躍的向上を圖る爲に必要な指導獎勵を行ふと共に輕金屬の原料たる苦汁の專賣制を實施すること
⑥鐵鑄、非鐵金屬鑄石の増産に資する爲探鑛獎勵等従前より實行せる生産助成の措置を強化すること
と共に既調査鑛山の採掘の企業化を促進し、又地質調査所を強化し新なり

鑛山の發見に努むること(製油能の整備擴充を圖り國內原油増産の爲に必要な助成をなすと共に潤滑油の効率的使用の指導を行ふこと)軍需用化學工業品並に其の原料に生産設備の建設及生産技術の向上を指導助成すること(石灰石等重要土石材料の採掘を助成すること)重要機械工業に關し(工作機械等の大量生産又は品質の向上の爲に必要な設計製作又は技術の指導を行ふこと)精密鍛造品の品質の向上の爲の技術指導及検査制度の整備を行ふこと(琵琶湖湖面の調整を擴大し以て食糧の増産と作せて電力の増強を確保すること)

第十、航空機乗員及船員の養成に關する件

〔方針〕 航空決戦の現戦局に對處すると共に海上輸送力の擴充を圖る爲左記要領に依り航空機乗員及船員の養成に關する施設を強化するものとす

〔要領〕 ①既設計畫に基き航空機乗員養成所に於ける正規養成及短期養成の員數を増加すると共に教育内容の充實を圖ること ②航空機乗員養成所に航空通信要員實習施設を併置すること ③高等商船學校生徒の増募を行ふと共に高等海員の短期養成を引續き實施すること

藤原銀次郎氏國務大臣

に親任

【十七日】 東條内閣は戰時行政職權特例の改正に依る首相の權限強化と脱合せ、内閣に政治力を結集して戦力増強に邁進すべく、内閣官制第十條に依る所謂無任所大臣の三人制を改正、一名増員してこれを四人以内

とするに決し、右に伴ふ勅令案を樞密院に御諮詢奏請中であつたが十七日の樞府本會議において、政府原案通り可決せられたので、直ちに同案の御下渡を乞ひ、これを決定、即日官報號外を以て公布施行すると共に増員せられた國務大臣として、内閣顧問、産業設備團總裁藤原銀次郎氏を奏請することとなり、内奏御裁可を経て十七日午後一時半、天皇陛下御下御、東條首相待立の下に、宮中鳳凰ノ間において藤原氏に對する親任式を舉行せられた、なほ右に關聯して政府は内閣顧問制度についてもこれを擴充強北するため内閣顧問現行八名を二名増員して十名とするに決し、同日情報局より左の如く併せて發表した

△情報局發表 本十七日午後一時三十分親任式を行はせられ左の通り發令せらる

- 正三位勳二等 鈴木 貞一
從五位 鮎川 義介
正六位 五島 慶太

△内閣辭令(十七日) 正三位勳二等 鈴木 貞一
從五位 鮎川 義介
正六位 五島 慶太

△内閣顧問被仰付 從三位勳二等 藤原銀次郎
内閣顧問被免

高等試験停止

【二日】 政府は一日附勅令を以て高等試験の停止に關する件を公布した

内閣及省委員異動發令

【四日】 軍需、運輸通信、農商三省の新設、農林、商工、鐵道、逓信の廢省等に伴ふ内閣及び各省委員の處置に就き、政府は去る十月卅一日の臨時閣議において廢廳關係委員は他適當なる官廳に配屬し全部これを包含する方針を決定、一日新機構の發足と同時に各省において夫々所要の手續を進めてゐたが四日左の如くその所屬を決定發令した(○印世話人、◎印協議員)

○内務省(委員總數四〇名、其の内一〇名は今般異動せる者其の氏名次の通り)

○農商省(委員總數五六名) 企畫院より一名(衆議院議員) 佐々木一晁、商工省より五名(衆議院議員) 伊豆富人、上田孝吉、大倉三郎、中助松、堀内一雄

○農商省(委員總數五六名) 企畫院より五名(貴族院議員) 子土岐章(衆議院議員) ○豊田收、野口喜一、森口淳三、吉植庄亮

農林省より三九名(貴族院議員) 侯 池田宣政、男 稻田昌植 ○子西尾忠方、子 北條福八、男 坊城俊賢、米原章三(衆議院議員) 安孫子孝次、五十嵐吉藏、伊藤三

樹三、馬岡次郎、小田彦太郎、越智太兵衛、沖藏、大橋清太郎、加藤知正、唐橋重政、黑澤酉藏、毛山藤太郎、小林絹治、坂下仙一郎、田万清臣、高野孫左衛門、◎高橋守平、高城憲夫、土屋寬、◎恒松於苑二、中越義孝、成島勇、濱地文平、樋口善右衛門、深澤吉平、二田是儀、船渡佐輔、松田俊三、松延彌三郎、松田五百藏、安田桑次、山口左右平、山口馬城次

○軍需省(委員總數三〇名) 企畫院より六名(貴族院議員) ◎侯中山輔親、向山均、(衆議院議員) ○赤松寅七、今尾登、木下義介、藤本捨助

○運輸通信省(委員總數五二名) 逓信省より三〇名(貴族院議員) 柴田兵一郎、子 錦小路頼孝、松岡潤吉 ○子 松平忠孝、男 安場保健、男 山根健男、(衆議院議員) 伊藤藤一郎、植松練磨、岡本傳之助

○赤松寅七、今尾登、木下義介、藤本捨助、商工省より二名(貴族院議員) 子入江爲常、子 梅園篤彦、男 肝付兼英、○伯 柳澤保承、(衆議院議員) 赤城宗徳、片山一男、◎川島正次郎、木暮武太夫、阪本勝、田中和一郎、田村稔、中谷武世、◎中島敏憲、中村庸一郎、◎野田武夫、林正男、深澤豊太郎、前田善治、松永東、三木武夫、八木宗十郎、逓信省より三名(貴族院議員) 伯 山本清、(衆議院議員) 伯 山本清、(衆議院議員)

○運輸通信省(委員總數五二名) 逓信省より三〇名(貴族院議員) 柴田兵一郎、子 錦小路頼孝、松岡潤吉 ○子 松平忠孝、男 安場保健、男 山根健男、(衆議院議員) 伊藤藤一郎、植松練磨、岡本傳之助

長内健榮、勝又春一、川副隆、木原七郎、喜多壯一郎、坂口平衛、◎武智男記、頼母木貞六、濱野清吾、◎肥田琢司、深水吉毅、藤生安太郎、◎眞鍋儀十、松浦周太郎、松尾三藏、山口喜久一郎、(學識経験者) 石原秀、大倉邦彦、近藤儀一、鈴木清秀、男 三井高陽鐵道省より二二名(貴族院議員) 秋田三二、伯 大木喜福、男 神山嘉瑞、子 戸澤正巳、男 古市六三、結城安次(衆議院議員) ◎青木精一、新井寛爾、池田正之輔、卯尾田毅太郎、宇田耕一、大島高精、菊地養之輔、鈴木忠吉、田中藤作、鶴物市、南條徳男、◎羽田武嗣郎、宮崎一、最上政三、(學識経験者) 桑原幹根、戸張正胤

【十八日】 政府は去る四日の閣議において出版事業整備要綱を決定し、出版決戦態勢の確立を急ぐこととなり、右要綱に基き官廳關係の出版物及び日本出版會の會員に非ざるもの行ふ日本出版會の會員にも整備を實施すべく、豫ねて情報局を中心に考究中であつたが、十八日の定例次官會議に村田情報局長より説明、これを決定した

要綱決定 官廳出版、非會員出版整備

【廿六日】 過般の行政機構改革に伴ひ交易に關する事項は大東亞省所管に移され同省において交易計畫の設定、實施を通じて一元統制を行ふこととなつたが、政府はこれに伴ひ

交易協議會を大東亞省に設置

同省内に交易協議會を設置することとなり廿六日の開議で右設置要綱を決定、同日午後三時情報局より發表した

官廳職員の縮減完了

【廿六日】各廳所屬職員の人員大幅縮減に關しては去る十月十二日、十月廿六日、十月廿九日並十一月十六日、四度の開議において内閣及び各廳の中央、地方、作業廳の全部並に朝鮮臺灣兩總督府中央廳の減員を實施して來たが、廿六日の定例開議において最後に残つた朝鮮、臺灣兩總督府内地方廳及び作業廳の分三千百廿六名の減員を決定、これを以て行政運籌決戦の基本的措置である官廳人員縮減は前後五回の開議を通じて全部終了し、その減員總數は七萬八千三百八十七名に達した、今回

局より發表されたが、右二十七件を各省別を區分すると、内務二件、大藏八件、陸軍二件、司法三件、文部三件、厚生一件、大東亞一件、農商二件、軍需一件、運通四件となり各省はこれを來る十二月八日までで一日の開議に上程し全法律案要綱を決定する豫定である、しかして右廿七件はこれを法律案とする場合は六廳六十件内外となる見込であり、前

臺灣總督府内
地方廳及作業廳
六、五、四 三、三三 八、四、三二
元、九〇 八、四 元、二、二

議會提出法律案は

約六十件

【卅日】卅日の定例開議に於ては第八十四通常議會に提出されるべき法律案の件名廿七件が決定、午後六時情報

案
一、増稅等に關する法律案
一、臨時資金調整法中改正法律案
一、天然苦汁及煙草用巻紙の專賣に關する法律案

關する法律案
一、朝鮮に於ける裁判手續簡素化に關する法律案
一、朝鮮秘設鐵道補助法中改正法律案

法律案
一、非常災害に因る喪失國債證券等に關する法律案
一、企業整備資金措置法中改正法律案
一、公債發行に關する法律案
一、特別會計の改廢又は整理等に關する法律案

任内閣統計局長(一)
任内閣調査官兼内閣東亞局長
任内閣參事官(一)
大藏省總務局長 迫水 久常
軍需保護院業務部長 大島 弘夫
企畫院書記官 村山 道雄
任内閣參事官(二)(各通)
任技術院參事官(二)
任技術院參事官(二)
任內閣參事官(一)
任技術院參事官(第三部長)

研究動員部長を命ず
同(第二部長)
生産技術部長を命ず
同(第四部長)
規格部長を命ず
技術院參事官
審查第一部長を命ず
同(特許局審判部) 小山内昌一
審查第二部長を命ず
同(特許局審判部長) 石田祐次郎
審判部長を命ず
△廿七日
外務省調査官兼情報局情報官 井口 貞夫
情報局情報官兼外務省調査官(二) 堀 公一
情報局第三部長を命ず
情報局情報官 堀 公一
任外務省調査官兼情報局情報官
情報局第三部長を命ず
情報局情報官 堀 公一
任外務省調査官兼情報局情報官
情報局情報官 堀 公一
任外務省調査官兼情報局情報官
情報局情報官 堀 公一
任外務省調査官兼情報局情報官
情報局情報官 堀 公一

任內閣參事官(一)
任內閣參事官(二)
任內閣參事官(三)
任內閣參事官(四)
任內閣參事官(五)
任內閣參事官(六)
任內閣參事官(七)
任內閣參事官(八)
任內閣參事官(九)
任內閣參事官(十)

任內閣參事官(一)
任內閣參事官(二)
任內閣參事官(三)
任內閣參事官(四)
任內閣參事官(五)
任內閣參事官(六)
任內閣參事官(七)
任內閣參事官(八)
任內閣參事官(九)
任內閣參事官(十)

任內閣參事官(一)
任內閣參事官(二)
任內閣參事官(三)
任內閣參事官(四)
任內閣參事官(五)
任內閣參事官(六)
任內閣參事官(七)
任內閣參事官(八)
任內閣參事官(九)
任內閣參事官(十)

任內閣參事官(一)
任內閣參事官(二)
任內閣參事官(三)
任內閣參事官(四)
任內閣參事官(五)
任內閣參事官(六)
任內閣參事官(七)
任內閣參事官(八)
任內閣參事官(九)
任內閣參事官(十)

任內閣參事官(一)
任內閣參事官(二)
任內閣參事官(三)
任內閣參事官(四)
任內閣參事官(五)
任內閣參事官(六)
任內閣參事官(七)
任內閣參事官(八)
任內閣參事官(九)
任內閣參事官(十)

任內閣參事官(一)
任內閣參事官(二)
任內閣參事官(三)
任內閣參事官(四)
任內閣參事官(五)
任內閣參事官(六)
任內閣參事官(七)
任內閣參事官(八)
任內閣參事官(九)
任內閣參事官(十)

任內閣參事官(一)
任內閣參事官(二)
任內閣參事官(三)
任內閣參事官(四)
任內閣參事官(五)
任內閣參事官(六)
任內閣參事官(七)
任內閣參事官(八)
任內閣參事官(九)
任內閣參事官(十)

任內閣參事官(一)
任內閣參事官(二)
任內閣參事官(三)
任內閣參事官(四)
任內閣參事官(五)
任內閣參事官(六)
任內閣參事官(七)
任內閣參事官(八)
任內閣參事官(九)
任內閣參事官(十)

見たのでこの旨四日午後三時情報局から發表された

△情報局發表表(二十四日午後三時發表)

豫て帝國外務省と在京獨逸大使館との間に日獨間の醫事の分野に於ける協力を一層緊密ならしむる方式に關し昭和十三年調印の日獨文化協定の規定に基き協議中なりし處今般兩國官憲間に於て同協定の主旨に遵ひ完全なる意見の一致を見るに至れり

ボース氏動靜

首相訪問【一日】自由印度假政府首班ヌス・チャンドラ・ボース氏は一日午前十一時二十分官邸に東條首相を訪問來朝の挨拶を述べ同四十分辭去した

ボース氏歡迎晚餐會【二日】重光外相は目下來朝中の自由印度假政府首班ヌス・チャンドラ・ボース氏を二日午後六時半外相官邸に招待して歡迎晚餐會を開催印度側よりは主賓ボース氏を初めとし國民軍參謀長ホンスレー中佐、無任所大臣サハイ氏

日本側よりは重光外相、石井樞密顧問官、天羽情報局長、日印協會長大隈信常、澤田駐緬大使等出席、席上重光外相起つて歡迎挨拶を行ひこれに對しボース氏は印度假政府承認、その他日本側の假政府への協力援助に對し深甚な謝意を表明、更に

歡談に時を過し八時半頃散會した

ボース氏聖恩に感激【十日】自由印度假政府首班ヌス・チャンドラ・ボース氏は、十日午前十時宮中に參内、天皇陛下に謁見仰付けられ、優渥なる御言葉を賜ひ、新生假政府の上に乗せさせ給ふ大御心の程に感泣宮中を退出した

王克敏委員長來京

【十二日】華北政務委員會委員長王克敏氏は就任の挨拶を兼ねて日本の支援に對し謝意を表明するため、二日北京を出發、邵東湖參議、王遼楫秘書以下隨員を帶同、同日午後三時卅七分羽田着、入京、直ちに宿舎麻布狸穴の中國大使館に入った、王委員長は滯京中東條首相、青木大東亞相、重光外相はじめ政府要路を訪問、帝國政府の支援に對し謝意を表明、今回の華北政務委員會機構改革並に今後の提携協力方策について種々懇談を遂げた

小磯總督板垣軍司令官と會見【十九日】王克敏氏は東京よりの歸途十八日午後三時半京城に立寄り、小磯總督及び板垣朝鮮軍司令官と會見種々要談を遂げたが、朝鮮ホテルに一泊のち、十九日午前十時京城飛行場發歸途についた

ジャワ參議院議長一行來京【十三日】ジャワ軍政に新段階を劃した原住民政治參與の感激に燃えるジャワ代表スカルノ中央參議院議長一行は日本訪問のため十三日午後三時四十分羽田空港に到着、晴れの帝都入りになした、一行はジャワ中央參議院議長スカルノ氏、ジャワ中央參議院議員モハマツト・ハツタ氏、同キバグス・ヘディタスモ氏の三代表並びに同行のジャワ軍政監部三好司政官並びに寺田通譯の五氏で、今回の訪問に於て

一、幾世紀かに亘る蘭印政府の歴史を排除しわが帝國によつて與へられた歴史的政治參與に對する謝意を表

一、戦時下日本國民の眞姿に觸れ且つわが要人に親しく接見して隔意なき意見の交換を遂げジャワ民衆の指導に資せんとするものである

首相訪問【十五日】去る十三日來朝したジャワ參議院議長スカルノ氏は十五日午前十時三十分官邸に東條首相を訪問、ジャワの政治參與に關し五千萬原住民を代表して謝辭を述べ去した

スカルノ氏等に勳章贈與【十五日】長き過りでは今般來訪中のジャワ中央參議院議長スカルノ氏他二氏に對しわが軍政に協力せる功績を思召され十五日つぎの如く勳章贈與の御沙汰あせられた

ジャワ中央參議院議長スカルノ、モハマツト・ハツタ、キバグス・ヘディタスモ勳三等瑞寶章贈與(各通)

なほ勳章傳達式は十五日午後一時から帝國ホテルにおいて行はれた

鳥取震災に中國の義金

【廿日】さきの鳥取縣震災に對して盟邦中國からの同情の一端として去る十七日中國國民政府主席汪精衛氏から六萬圓、華北政務委員長王克敏氏から五萬圓の罹災者慰問金を中國大使館を通じて大東亞省當局に寄せて來たので大東亞省で深甚なる謝意を表するとともに廿日午前青木大東亞大臣から鳥取縣知事代理鈴木警察部長に右慰問金の傳達を行つた

人事雜件

千葉公使を土耳其へ出張【十三日】外務省では土耳其を中心とする最近の近東情勢に對處、萬念を期するため、佛國出張中の千葉公使を土耳其國に出張せしめ、栗原大使を輔佐せしめることとなり、十三日左の如く發令した

特命全權公使 千葉泰一
土耳其國へ出張被仰付
佛國へ出張被免

ウイチツト泰國大使兼任【十二日】新駐日泰國大使ウイチツト氏は家族同伴十二日午後五時六分東京驛着、青木大東亞相、山本次官等の出迎へをうけて入京した

聯合艦隊司令長官に勅語を賜ふ
一、航空部隊の勇戦殊勳を御嘉賞十一月十一日十一時卅分)

大元帥陛下には、本日海軍幕僚長を召させられ、聯合艦隊司令長官に對し左の勅語を賜ひたり

聯合艦隊航空部隊ハ今次ソロモン海域ニ於テ勇戰苦闘大ニ敵艦隊ヲ擊破セリ
朕深ク之ヲ嘉ス
惟フニ同方面ノ戦局ハ益多端ヲ加フ汝等愈奮勵努力以テ朕カ信倚ニ副ハムコトヲ期セヨ

兵役法改正實施
一、服役年限延長一日實施
【一日】今第八十三議會を通過成立

した兵役法の改正は十一月一日附官報をもつて法令公布とともに即日實施せられた、今回の兵役法改正の要點は

一、服役年限の終期を四十五年に滿つる年の三月三十一日迄に延期すること
一、臺灣人を兵役に服せしむること
一、戦時又は事變に際し特に必要ある場合に於ては現役兵の入營を延期し又は歸休せしむるを得ること
一、兵員の配賦徴兵検査實施地等徵集要領を戦時の要求に即應する如く改正すること
一、四點であるが、今回の服役年限の延長は明治五年わが徴兵制々定以來始めてのもので同改正の適用を受けるものは第一國民兵役、第二國民兵役の全般に及び、わが帝國臣民たるものは兵役免除者を除き悉くこれに服することとなつた、而してこれが適用は施行の日から過去に遡及して行はるれば假令施行前に既に服役を終りたるものと雖も更に年齢四十五年に滿たざるものはその適用を受けるのである、又未教育補充兵にして十七年三ヶ月の補充兵期間を過ぎたるものは第二國民兵役に服することは從來通りである

外地同胞の卒業學徒も特別志願兵採用
【十二日】陸軍ではさきに朝鮮、臺灣同胞學徒の熱誠に應へて現に在學中のものに對し特別志願兵採用の道を拓いたが、その後本年九月卒業したのからも内地人學徒と稱を並べて決戦場裡に起たんとする熱烈なる志望があるので今回これら卒業學徒

にも特別志願兵たるの資格を與へらるることになり、十二日附官報でこれに關する省令改正を公布即日實施され、なほ志願者は原則として學校所在地で受檢することになつてゐるが志願資格のうち現在郷里に歸省してゐるものについては歸省地の所管軍司令官宛、願書、成績證明書等を送付し、同軍司令官の指定する検査場を受檢し得るやう便宜が與へられることになつた

北都憲兵隊司令部設置

【二十日】陸軍では戦局の緊迫化に伴ひ國內防諜陣を強化すべく、今回札幌に北都憲兵隊司令部を、また舞鶴に舞鶴憲兵隊を夫々設置することとなり二十日附官報を以つて

一、憲兵令中改正の件を公布、即日實施した、北都憲兵隊司令官は憲兵司令官に隸し北部軍管區に於ける憲兵隊を統轄するものである

感 狀

古閑兵團主力同配屬部隊、同協力部隊

△陸軍省發表(十一月八日十五時)

△感 狀
アキヤブ方面 作 戰 部 隊
古閑兵團主力 配屬部隊
同 協力部隊 同 協力部隊

昭和十七年十二月以降、アキヤブ奪回を呼號し、緬印國境を越え、マユ河兩岸に沿ひ南下反攻の舉に出でたる敵は、逐次兵力を増強して其の實力印度第十四師團を基幹とする約二師團を下らざるに至る

我軍は之を撃擯して其の企圖を封殺する爲攻勢を取るに決し、一月初旬露兵克く猛烈なる空地の攻撃に堪へてアキヤブ要地を確保せる官協部隊正面に新に古閑兵團の主力を増強せし、兵團は逐次閉着する兵力を以て屢次に互る敵の攻撃を破摧し爾後の攻撃を準備中なりしが、偶々アラカ山脈の踏破を強行せる有延部隊好機に投じ、カラダン河谷に進出、官協部隊長指揮の下に、所在の敵有力部隊を急襲殲滅せる爲、マユ河畔の敵に脅威を與へ、動搖の徴あり、茲に於て兵團長はアキヤブ方面一切の部隊を併せ指揮し、三月初旬全力の集結を待つことなく斷乎攻勢に轉じ先づラテドン正面の敵をチズエ附近に於て包圍撃滅せり

次で兵團主力は巧みに企圖を秘匿しつつ困難なるマユ河の渡河を敢行し引續きマユ山脈を越えインデン附近に敵の精銳第六旅團を潰滅せしめ、更に爾後の追撃と相俟ちラテドン以南の地區に於て約六ヶ旅團を捕捉殲滅し、遂にモンドウ附近敵進攻據點を攻略し、敵の反攻企圖を完全に挫折せしめたり、此間長遠にして弱小なる水陸輸送路に於て常に執拗なる敵空海の攻撃を蒙り兵力の極めたる敵ならず、補給亦困難を極めたるに拘らず、機宜に適する兵團長の指揮の下、諸隊克く戮力協心、鐵石の團結を保持し、敵の以て通過し難しとする水澤險峻を踏破し、隨所に包圍殲滅戰を展開し、就中棚橋部隊は隊長傷き、兵力の半を失ふに至るも毫も攻撃の氣勢衰へず、屢々果敢なる包圍戰を遂行し、宇野部隊は、當初強敵を南部マユ山脈に拘束して、主力の機動を容易ならしめ、一度攻

勢に出づるや、峻峻なる山系に據る頑敵を逐次に撃破し、其の抵抗の機軸を制したり、又〇〇船舶部隊は僅少な兵力を以て敵空海の攻撃を排除し、長期に亘り困難なる夜間輸送に任ずると共に、屢々機敏なる戰場機軸の精神を發揮して力戰奮闘、遂に赫々たる戰勝を収め、克く作戰所期の目的を完遂せり、以上古閑兵團及其の配屬並に協力部隊の行動は、兵團長以下堅忍持久、數ヶ月に亘り、始終熾烈なる攻撃精神と強毅不撓の剛魂を以て、衆心を戰勝の一途に歸せしめつつ協同一致其の任務を達成したるものにして其の功績洵に偉大なり

依て茲に感狀を附與す
昭和十八年五月十日
緬甸方面陸軍最高指揮官
河 邊 正 三
大津部隊 △陸軍省發表(十一月十三日十二時)

感 狀

△感 狀 大津部隊
右は昭和十八年六月下旬より開始せられたる十八夏太行作戦に於て敵第二十七軍に屬する豫備第八師主力に對し七月九日朝露安南方隆城鎮附近より陵川北方地區に向ひ攻撃を開始せり、然るに敵軍は早くも西方開始大岳地區に逃避せりとの情報を得たる我軍は七月十一日該敵を急追するに決し大津部隊は反轉長驅峻峻なる地形を克服し炎熱酷暑の下晝夜兼行小栴庄方向に猛烈果敢なる追撃を續行せり、而して十二日小栴庄附近に達するや、敵主力既に南方に退却せざるを知り直ちに獨斷以て追撃方角を變更、十三日正午頃敵豫備第八師主力に追及す、大津部隊長は部下を激

勵し迅速機敏なる部署の下、各一部を以て百草圪堆、及横社溝附近に進出敵の脱逸を阻止せしめ主力を以て敵の退路に向ひ急進せしむ、當時部隊の連日不眠不休炎熱酷暑の爲疲勞其の極に達しありしも勇毅、敢闘力に於て敵師長陳孝強中將以下幹部多數を含む二百五十四名を捕へたるを始めとし多大の戰果を収めたり

右は部隊長の卓卓なる戰闘指揮並に部下將兵の不撓不屈任務に邁進せる結果にして其の武功拔群なり
依て茲に感狀を授與す
昭和十八年八月七日
軍 司 令 官
第一次ソロン海戦ツラギ夜戦部隊
海軍省公表(昭和十八年十一月十六日十一時)

感 狀

〇〇部隊夜戦部隊
昭和十七年八月七日敵艦隊ソロン群島方面に出撃するや基地航空部隊の攻撃に策應し八月八日夜ツラギ海峽に發到し寡兵克く優勢なる敵艦隊を大に撃破せるは其の功績顯著なりと認む

仍て茲に感狀を授與す
昭和十八年九月十五日
聯合艦隊司令長官
キスカ島和田高射砲中隊 △陸軍省發表(十六日十六時)

感 狀
キスカ島守備和田高射砲中隊
右は中隊長陸軍大尉和田朝三指揮の下、昭和十七年十月五日輸送船ボルト、昭十七年十月五日輸送船ボルト、昭十七年十月五日輸送船ボルト、昭十七年十月五日輸送船ボルト

敵艦隊部隊に呼應して航空母艦三隻を基幹とする合計二十八隻の敵新鋭艦隊十月二十六日サンタクルーズ島北方に出現し我機動部隊を奇襲せんとするや機動部隊は制先克く敵を捕捉し終日反覆敵に猛撃を加へ遂に

同地に來襲せる敵艦に對し、友軍部隊と協力してその五機を撃破し、爾來逐日熾烈化する敵の空襲に對し、或は港灣及船舶の掩護に或は飛行場及要地の防空に當り、敵機を撃破すること五十有餘、死傷累増して中隊の三分の一に及ぶも屈せず克く其の任務を全うせり、就中昭和十八年七月廿三日延百機に及ぶ敵機の猛爆を伴ふ優勢なる艦隊の砲撃に會し、中隊陣地は長時間熾烈なる砲撃の集中する所たるも、沈着冷静克く敢闘精神を以て其の觀測機三機を撃墜し敵艦隊をして砲撃を中止するの止するの止むなきに至らしめたり、以上の行動は、中隊長を核

心とする鞏固なる團結の下、旺盛なる攻撃精神と卓越せる戰技とを遺憾なく發揮して克く至難なる任務を完遂し、以て長期に亘るキスカ島防備に絶大な貢獻を致せるものにして仍て茲に感狀を授與す
昭和十八年九月十八日
北東方面陸軍最高指揮官
南太平洋海戦機動部隊並に〇〇航空部隊 海軍省公表(昭和十八年十一月廿日十一時)

感 狀
〇〇部隊航空部隊
昭和十七年十月南太平洋方面に作戦中連日ソロン群島南方に策動せる敵艦隊部隊に呼應して航空母艦三隻を基幹とする合計二十八隻の敵新鋭艦隊十月二十六日サンタクルーズ島北方に出現し我機動部隊を奇襲せんとするや機動部隊は制先克く敵を捕捉し終日反覆敵に猛撃を加へ遂に

同様に來襲せる敵艦に對し、友軍部隊と協力してその五機を撃破し、爾來逐日熾烈化する敵の空襲に對し、或は港灣及船舶の掩護に或は飛行場及要地の防空に當り、敵機を撃破すること五十有餘、死傷累増して中隊の三分の一に及ぶも屈せず克く其の任務を全うせり、就中昭和十八年七月廿三日延百機に及ぶ敵機の猛爆を伴ふ優勢なる艦隊の砲撃に會し、中隊陣地は長時間熾烈なる砲撃の集中する所たるも、沈着冷静克く敢闘精神を以て其の觀測機三機を撃墜し敵艦隊をして砲撃を中止するの止するの止むなきに至らしめたり、以上の行動は、中隊長を核

同様に來襲せる敵艦に對し、友軍部隊と協力してその五機を撃破し、爾來逐日熾烈化する敵の空襲に對し、或は港灣及船舶の掩護に或は飛行場及要地の防空に當り、敵機を撃破すること五十有餘、死傷累増して中隊の三分の一に及ぶも屈せず克く其の任務を全うせり、就中昭和十八年七月廿三日延百機に及ぶ敵機の猛爆を伴ふ優勢なる艦隊の砲撃に會し、中隊陣地は長時間熾烈なる砲撃の集中する所たるも、沈着冷静克く敢闘精神を以て其の觀測機三機を撃墜し敵艦隊をして砲撃を中止するの止するの止むなきに至らしめたり、以上の行動は、中隊長を核

心とする鞏固なる團結の下、旺盛なる攻撃精神と卓越せる戰技とを遺憾なく發揮して克く至難なる任務を完遂し、以て長期に亘るキスカ島防備に絶大な貢獻を致せるものにして仍て茲に感狀を授與す
昭和十八年九月十八日
北東方面陸軍最高指揮官
南太平洋海戦機動部隊並に〇〇航空部隊 海軍省公表(昭和十八年十一月廿日十一時)

感 狀
〇〇部隊航空部隊
昭和十七年十月南太平洋方面に作戦中連日ソロン群島南方に策動せる敵艦隊部隊に呼應して航空母艦三隻を基幹とする合計二十八隻の敵新鋭艦隊十月二十六日サンタクルーズ島北方に出現し我機動部隊を奇襲せんとするや機動部隊は制先克く敵を捕捉し終日反覆敵に猛撃を加へ遂に

同様に來襲せる敵艦に對し、友軍部隊と協力してその五機を撃破し、爾來逐日熾烈化する敵の空襲に對し、或は港灣及船舶の掩護に或は飛行場及要地の防空に當り、敵機を撃破すること五十有餘、死傷累増して中隊の三分の一に及ぶも屈せず克く其の任務を全うせり、就中昭和十八年七月廿三日延百機に及ぶ敵機の猛爆を伴ふ優勢なる艦隊の砲撃に會し、中隊陣地は長時間熾烈なる砲撃の集中する所たるも、沈着冷静克く敢闘精神を以て其の觀測機三機を撃墜し敵艦隊をして砲撃を中止するの止するの止むなきに至らしめたり、以上の行動は、中隊長を核

敵航空母艦三隻を殲滅し戦艦一隻も多数を撃沈破すと共に多数の敵機を撃墜し敵を潰走せしめて同方面海域に於ける敵の作戦企圖を破摧したるは爾後の作戦に寄與せる處極めて大にして其の功績顯著なりと認む

仍て茲に感状を授與す
昭和十八年九月十五日
聯合艦隊司令長官

第三次ソロモン海戦参加部隊
軍省公表(昭和十八年十一月廿五日十一時)

感状

○部隊挺身攻撃隊

昭和十七年十一月中旬の對ガダルカナル島船團輸送作戦に際し命に依り十二日夜ガダルカナル島飛行場砲撃の爲同島水域に突入ルガ沖に達するや突如巡洋艦約九隻を基幹とする有力なる敵艦隊と遭遇直に之を強襲し狭視界中而も強力なる敵航空基地の直前に於て猛烈なる混戦を演じ各艦隊は勇戦奮闘克く敵大型巡洋艦五隻防空巡洋艦二隻、驅逐艦八隻及魚雷艇一隻を撃沈(驅逐艦中五隻は大破後沈没)大型巡洋艦二隻を大破驅逐艦一隻を中破して殆ど所在の敵を殲滅したるは其の功績顯著なりと認む

仍て茲に感状を授與す
昭和十八年九月十五日

聯合艦隊司令長官

感状

○部隊ガダルカナル島攻撃隊
昭和十七年十一月中旬の對ガダルカナル島船團輸送作戦に際し極めて困難なる状況の下に克く迅速に作戦準備を整へ○部隊指揮官自ら之を率ゑガダルカナル島飛行場砲撃の目的

を以て、十四日夜同水域に突入する兵に對し、大東亞戦争死没者第十一回論功行賞の御沙汰あられ、この旨海軍省並に賞勳局より發表された
今回御沙汰を拜したる勇士は、昭和十七年一月より本年五月迄の期間に於て大東亞共榮の礎石となつて散華したる將兵の一部でその内、功績抜群にして、殊勳甲の優賞を拜したる勇士は太田信之輔少將以下九十三名である

仍て茲に感状を授與す
昭和十八年九月十五日
聯合艦隊司令長官

論功行賞

陸軍關係

【廿一日】 畏き遡りでは二十一日、大東亞戦争、及び支那事變に参加、戦死を遂げた陸軍將兵に對し、論功行賞の御沙汰あられ、同日この旨陸軍省並に賞勳局より發表された
陸軍關係支那事變死没者第五十二回論功行賞において有難き恩命を拜したる勇士は、南方々面にあつては、比島攻略戦、支那大陸に在つては宜昌作戦を始め北中支の各作戦に勇戦敢闘し赫々たる武功を樹て終に征戰遂行の尊き人柱となつた勇士である、右の中金鶴勳章叙賜の恩命に浴したる勇士は、井上豊中佐以下九百八十八名で功績抜群にして、特に殊勳甲の優賞を賜りたる者は、功四旭五を拜した吉岡勝大尉以下三名である

仍て茲に感状を授與す
昭和十八年九月十五日

聯合艦隊司令長官

海軍關係

【廿一日】 廿日畏き遡りでは大東亞戦争勃發以來、太平洋の全域に勇戦敢闘

關遂に護國の神となつた幾多海軍將兵に對し、大東亞戦争死没者第十一回論功行賞の御沙汰あられ、この旨海軍省並に賞勳局より發表された
今回御沙汰を拜したる勇士は、昭和十七年一月より本年五月迄の期間に於て大東亞共榮の礎石となつて散華したる將兵の一部でその内、功績抜群にして、殊勳甲の優賞を拜したる勇士は太田信之輔少將以下九十三名である

仍て茲に感状を授與す
昭和十八年九月十五日
聯合艦隊司令長官

陸軍

△十六日 南方第一線兵團長として活躍中去的九日戦死したる富永信政中將は、今般陸軍大將に進級せしめられた旨十一日陸軍省より左の通り發表された
陸軍省發表(十一月十六日)
陸軍中將正四位勳一等功三級 富永信政
任陸軍大將 富永信政
陸軍大將勳一等功三級 富永信政
功二大綬
陸軍中將勳二等功三級 中蘭盛孝
功二旭一
△廿六日 陸軍省發表
陸軍中將 赤柴八重藏
補近衛師團長

仍て茲に感状を授與す
昭和十八年九月十五日

聯合艦隊司令長官

海軍

△一日 海軍省公表
海軍中將 相馬 六郎
補佐世保海軍工廠長
海軍少將 小畑長左衛門
補横須賀海軍砲術學校長
海軍軍醫中將 若生 良穗
補横須賀海軍病院院長

兼横須賀鎮守府軍醫長 松本 暢
補佐世保海軍病院長
兼佐世保鎮守府軍醫長
△十五日 海軍省公表(十五日十一時三十分)
海軍少將 金子 繁治
補佐世保鎮守府參謀長 上阪 香苗
補海軍航空本部總務部長
△十七日 畏き遡りでは軍事參議官鹽澤幸一海軍大將病氣危篤の趣聞召され、十七日特旨を以て左の如く敘位の御沙汰あられされた
海軍大將正三位 鹽澤 幸一
敘從二位(特旨を以て位一級被進) 鹽澤幸一 大將薨去 海軍省公表(十一月十七日廿一時廿分)
一、軍事參議官海軍大將鹽澤幸一は十七日廿一時急性脾臟壞死にて薨去せり
一、海軍葬儀は廿日執行せらる、葬儀委員長は海軍大將及川古志郎なり
△十八日 大阪警備府發表
大阪警備府參謀海軍大佐間直顯は今般前線某要職に補せられたり、後任は海軍中佐有近六次なり

仍て茲に感状を授與す
昭和十八年九月十五日

貴族院

國民との紐帯たるの役割を遺憾なく果すため、調査會を積極的に活用すべく既にこれが第一着手として、食糧調査委員會は東北、北陸、關西、關東および朝鮮の地域に各地方視察團を派遣することに、朝鮮班を除く各視察團一行は十七日夫々東京出發視察地に赴いたが尙ほ左の日程において調査會を開催し諸種の對策を講究檢討することになつた
一、防空委員會
十八日午前九時半院内に開會陸軍省那須兵務局長より防空問題に關する説明聴取
一、企業整備委員會
十九日午前十時院内に開會、軍需省美濃部機械局長より第二種工業部門の整備問題に關し説明を聴取し懇談
一、木造船懇談會
廿二日午前十時院内に開會、斯波造船統制會長、河合木造船聯合會長、西條石卷宮城山形木造船組合理事長出席懇談
一、第二部會
廿五日午後二時院内に開會、山形智利公使の講話聴取
一、企業整備懇談會
廿六日神奈川縣廳に開催、縣當局並に同地商工經濟會關係者出席懇談

仍て茲に感状を授與す
昭和十八年九月十五日

聯合艦隊司令長官

貴族院

【十七日】 貴族院は政府の戦力態勢を一層鞏固にし、政府と



有田氏研究會脱退
【十六日】 貴族院議員有田八郎氏は十六日所屬會派たる研究會を脱退した、この結果、研究會所屬議員は百六十四名となつた

仍て茲に感状を授與す
昭和十八年九月十五日

聯合艦隊司令長官

貴族院

【十七日】 貴族院は政府の戦力態勢を一層鞏固にし、政府と

翼賛政治會

翼賛議會準備

【十六日】翼賛會では時局に即應して今期通常議會の運営を一層圓滑ならしめることとなり、政調の役員會で左の如き方針を決定、十六日の常任總務會においてこの方針を諒承、大塚國務相から政府に申達するにも、政府翼政の連絡會議においても詳細説明、議會運営に萬全を期することとなつた

△來る通常議會對策準備に關する申合

一、來る通常議會に對する政府提出法律案は戰爭遂行に直接關係あるものみに限定し、政府をして嚴に其れを遵守せしむること

二、右の法律案要綱に付ては出來得る限り細目に互り明示せしめ、從來の如く其の大意をさへ捕捉し難き弊を避けしむること

三、法律案の事前審議並に議會運営の圓滑を期する爲政府をして特に各省委員の活用に付善處せしむること

備考 各省委員と政務調査會との連絡を一層緊密ならしむる爲には別途の方法を講ずること

大政翼賛會

機械化國防協會を傘下へ

統合

【十一日】大政翼賛會では昨年五月

十五日の閣議決定に基き機甲要員の養成充足並びに國防技術練成の見地よりこれに訓練を國民全般に實施すべく種々考究中のところ從來より陸軍の外廓團體として機甲訓練を實施しつつある財團法人機械化國防協會を大政翼賛會の傘下に統合することとなり、十一日の次官會議において正式決定を見たので、同日大政翼賛會より左の如き統合要綱を發表し、今回の統合により翼賛會では入營前壯丁を始め大學、高專、中等學校學徒に對して大々的にこれが訓練を開始する筈であるが、その第一着手として差當り指導者を急速且つ多數養成すべく準備を進めてゐる

△機械化國防協會統合要綱

一、昭和十七年五月十五日閣議決定の趣旨に基き大政翼賛會は機械化國防協會を其の機構内に包容し、國民に對する機甲技術練成に關する事業の徹底を圖るものとす、但し機械化國防協會は其の法人たる性質並に事業内容に鑑み現在組織を存続するものとす

二、機械化國防協會の會長並に役員の委嘱、解嘱は大政翼賛會總裁之を行ふものとす

三、機械化國防協會に對しては毎年度補助金を交付することとし大政翼賛會豫算に計上し之を交付するものとす

四、將來機械化國防協會の組織及び機構を變更する必要がある場合は大政翼賛會と主務官廳と協議して之を行ふ

翼賛壯年團

總務制を復活

【廿四日】さきに機構改革とこれに

件ふ陣容の強力簡素化を斷行した翼壯中央本部では同改組により新たに就任した藤井本部長を中心に刻下の決戦段階に即應すべき翼賛壯年團の分擔職能に關し種々新構想を凝しつつあるが、翼壯が各種國民運動の中核體である現状に鑑みこれが速やかなる決定と新陣容を基幹とする強力な實踐への發見が期待されてゐる

而して翼壯の抱藏する新構想として(一)運動目標の重點化(二)運動企畫の計畫化の二點が重點的課題として採り上げられてゐる、(一)に關しては從來免もすれば思ひ付き式に行はれ勝ちであつたものを排して今後は運動目標を豫め重點的に定める、(二)に關しては中央本部の機構と翼賛會内部との横の連絡を圓滑ならしめる必要があり、これが具體的方法として中央本部の總務制を復活せしめることに決定したが同總務制にはそれが翼壯運動の頭腦であるとともに又その實踐體でもあるといふ獨自な性格を持たしめるため、これが人選には各地の翼壯團長の中から十名内外を選任して總務を兼任せしめることとなり目下藤井本部長の手許で人選を急いでゐる

主要人事(五日)

報道部長を命ず 藤原龜三郎
報道部長事務取扱 藤井 崇治
報道部長事務取扱を解く

外地

國民總力朝鮮聯盟 機構を決戦化

【十五日】朝鮮總督府では雄勢の強力推進を期し國民運動の中核體たる國民總力朝鮮聯盟事務局の機構を改革新に次長制を設けるとともに經濟、厚生兩部を廢し實踐、徵兵、講演、事業の四部を設置、從來の宣傳部は弘報部に改稱され次長の下に五部十一課制に改組したが、事務局局長には半島實業界の巨頭中樞院顧問韓相龍氏を簡拔、次長は總務部長簡牛凡氏の兼任とし實踐部長に朝鮮金融組合聯合會より重松教育部長を起用、聯盟と金聯の結合により總力運動を活潑に推進せしめることとなつた

臺灣總督府人事異動(十三日)

高雄州知事 坂口 主税
陸軍軍政長官 高原 遼人
任高雄州知事(二)

地方廳に經濟部設置

【二日】内務省では去る九月十九日の閣議において決定せる地方行政機構の整備強化措置要綱にもとづき地方行政機構の一部改革を行ふこととなり、これが官制改正を一日公布即日實施した、即ち一、經濟部未設置の縣に經濟部を設けること

一、各縣の事務分量等に應じ、専任官房長を置かず、内政部長をして官房長を兼ねしめる途を拓くこと
一、木船の製造および修繕に關する事務を海務局より都廳府縣に移管すること

一、船員職業紹介事務を國民職業指導所において掌ること
等による職員振替増置が改正内容とされてゐる

重要都市疎開實行方式決定

【廿四日】國土防衛の重要施策として取上げられた都市疎開に關し、内務省防空總本部では改正防空法の施行を目前に控へて愈よ本格的施行準備に着手、廿四日内務省會議室に都市疎開に關する打合せを開催、總本部より上田總務局長、川上疎開課長以下關係官、重要都市側より東京都、建設各課長出席、防空上重要地區として指定すべき都市の疎開方策決定に關し、總本部並びに重要都市事務擔當者との隔意なき意見交換を行つたが、大要左の如き順序をもつて具體的方策を樹立、可急の速かにこれが實施に移ることとなつた

(一)防空總本部に六地域を擔當する疎開専門委員會を設置し、同委員會は、總本部技師を主査として、現地軍部土木、警察各代表をもつて構成、當該府縣における疎開の具體案を立案し、これを總本部に提出する(二)防空總本部は、各地域別専門委員會案を綜合的に検討して、總本部案を樹立決定、これを當該府縣に指示、この決定案にもとづき當該府縣は實施に移る(三)實施に當つては、關係府縣はそれぞれ都市疎開指導部を設置するならばにその他の技術者をもつて構成し、實踐に關する具體的指導の連絡調整に任ずる、(四)都市疎開指導部の實踐機關として、當該府縣ではさ

外地地方

【十一日】大政翼賛會では昨年五月

らに疎開事業部を設置する、同事業部は都市計畫、土木、河川、道路、建築その他あらゆる疎開に關する行政第一線機關をもつて集中的に構成する、なほ當該府縣單位のみの疎開事業部では不十分の機關は、さらに當該都市別に同様の機關を設置すること、②疎開に關し當該府縣以外の關係府縣との連絡については、地方行政協議會防衛専門委員會がこれに當る。

地方行政協議會長會議

【十五日】十一月の地方行政協議會長會議は十五日首相官邸に開會、大達東京都長官以下九協議會長並びに九地方參事官出席、先づ東條首相より地方行政機構の整備強化に伴ひ、中央官廳業務の地方廳委託に關する事項及び新に地方長官の權限に屬せられる事項につき説明を行ひ、特に中央業務の地方委託に關しては「軍需省、運通省、農商省等新設官廳及びその他の各廳から業務委託に關し種々意見が出てゐる、又地方側からも意見が具申せられてゐるが、政府はこれ等の綜合検討し速かに方針を決定する」旨言明、ひきつづき船舶、石炭等當面の諸問題に關し中央、地方側を隔意なき意見の交換を遂げ同四時半散會した。

關東協議會第三回委員會

【十九日】關東地方行政協議會第三回委員會總會を十九日午後二時より東京都廳に開會委員の外農商省より山林、水産兩局長等出席、大達會長の挨拶に引續き相馬主幹より諸般の経過報告を行った後當面の諸問題に互

つて種々協議が重ねられ五時散會したが主なる協議事項は左の如し
一、帝都の人口、物資並に施設の疎開に關する件
一、薪炭供出促進に關する件
一、鮮魚介配給統制に關する件
一、災害發生時における關係地區内通信連絡に關する件
一、間接國稅犯則矯正會結成に關する件

地方議會一齊に開幕

【十四日】國內態勢強化に即應し戦力増強の一點に地方行政の全機能が発揮せしむべき全國都道府縣會は去る六日結集された北海道會を皮切りとして今月中旬から來月初旬にわたり全國一齊に開會され、昭和十九年度地方豫算の審議にあたることとなつた、而して地方議會に附議せられる明年度豫算は各都道府縣ともすでにその編成を終り、目下續々内務省に報告が到達した三十二道府縣の豫算について見るに何れも中央の國內態勢強化の方策に則り、中央行政の企畫指導性に對する地方行政の實踐的執行力強化方針を採り入れ「地方費も戦費だ」といふ性格を極度に濃化してゐる。即ち今次地方豫算編成の重點は、一、防空その他直接戦争遂行上必要なもの、一、重要物資の生産増強その他直接戦力の緊急増強に必要なもの、一、食糧確保、國民保健その他國民の戦争生活の確立に必要なもの、一、陸海空を通ずる輸送力増強等の重要國策に協力するもの等の戦時施策遂行に集中せられ、平

時的經費は徹底的に削減されてゐることが注目される、而して支那事變以來の財政緊縮方針はあくまで堅持されてゐるが、國內態勢強化に處する一億の戦闘配置と戦力増強諸施策に必要な豫算總額は結局相當の膨脹を見るは必至で、全國都道府縣本年度當初豫算總額約三十六億圓に比し明年度地方豫算總計は四十億を突破することとならう、なほ、六日召集の北海道會を除き十四日までには内務省に報告せられた三十一府縣會の召集日は次の如くである

- 十五日 群馬、山口
- 十七日 香川
- 十八日 山形、埼玉、新潟、岡山、宮崎
- 十九日 静岡、三重、兵庫
- 二十日 青森、茨城、千葉、山梨、奈良、高知、福岡、佐賀
- 廿二日 栃木、京都、廣島、鹿児島
- 廿四日 宮城、神奈川、大分
- 廿五日 富山、石川、和歌山、沖縄

地方部長異動

- △内務事務官 岩永 賢一
- 任群馬縣部長(四)補經濟部長 源一
- (元滋賀縣内政部長) 沖森
- 任千葉縣部長(三)補經濟部長 陸軍中村 續次郎
- 任奈良縣部長(四)補警察部長 友雄
- 任奈良縣部長(四)補經濟部長 松尾
- 任奈良縣部長(四)補經濟部長 友雄
- 任奈良縣部長(四)補經濟部長 友雄
- 任奈良縣部長(四)補經濟部長 友雄
- 任奈良縣部長(四)補經濟部長 友雄

- (國民教育局中學校 青課長)文部書記官 石九 敬次
- 任岐阜縣部長(三)補經濟部長 護院書記官 新井 茂司
- 任秋田縣部長(四)補經濟部長 (警保)内務事務官 石井 榮三
- 任福井縣部長(四)補經濟部長 鳥取縣官房長 高山 一三
- 任鳥取縣部長(三)補經濟部長 (警保)内務事務官 鈴木 匡
- 任鳥取縣部長(五)補警察部長 德島縣官房長 榎田 武男
- 任德島縣部長(四)補經濟部長 兵庫縣外事課長 工藤 九郎
- 任栃木縣官房長(四) 栃木縣官房長 川口正次郎
- 任福井縣部長(四)補警察部長 長瀨 英一
- △内務事務官(華北 政務委員會建設總 署經理局參事) 長瀨 英一
- 任德島縣經濟部長(三) 高知縣官房長 鈴木 雄市
- 任高知縣部長(四)補經濟部長 陸軍中村 續次郎
- 任大分縣部長(四)補經濟部長 福井縣官房長 加藤 清
- 任佐賀縣部長(四)補經濟部長 宮崎縣官房長 谷本 利夫
- 任宮崎縣部長(三)補經濟部長 沖繩縣官房長 牧 福松
- 任沖繩縣部長(三)補經濟部長

- △市長異動
- 阿部今治市長辭任【十七日】今治市長阿部秀太郎氏は一身上の都合により十七日午後内務大臣宛辭表を提出した

鹿屋市長に永田良吉氏【十二日】内務省では鹿児島縣鹿屋市會の推薦に基き十二日同市長に衆議院議員永田良吉氏を任命した

政治短信

- 一日 天羽總裁、林部長日華同盟條約締結記念交換放送
- 十日 第八十四通常議會召集の詔書公布△七大都府縣參事會幹事會京都府廳において開會△衆議院ではプリンブル島沖海難並に第一次及び第二次プリンブル島沖海難に對し空軍に對する大戦果に對し十日古賀聯合艦隊司令長官宛祝電を發した△自由印度假政府主席チャンドラ・ボース氏杉山參謀總長訪問
- 十一日 臨時全國控訴院長檢事長會同司法大臣官邸會議室で開催
- 十二日 帝國海軍航空部隊のブーゲンビル島沖海面における大戦果に貴族院より古賀聯合艦隊司令長官宛祝電を贈る△長谷川臺灣總督入京
- 十三日 翼贊會日印協會主催ボース講演會
- 十四日 第二次日米居留民交換船帝亞丸横濱入港
- 十五日 ジャワ中央參議院議長スカルノ氏天機奉伺
- 十六日 長谷川臺灣總督統治狀況奏上
- 十七日 王克敏委員長放送
- 廿七日 唐澤内務次官鳥取、島根兩縣下の震災地視察
- 廿九日 ジャワ中央參議院議長スカルノ氏一行北九州視察△海相神宮に必勝の祈願
- 三十日 日滿華三國共同宣言記念日



物價政策の運営方針決定

農商省に物價協議會を新設

【十九日】軍需、農商、運通各省の新設並に企畫院の廢止など行政機構改革に伴ふ物價政策の新運営方針については、關係各省の協議により成案を得、十九日の定例閣議に行政機構改革に伴ふ物價政策の運営に關する件を附議決定同日午後情報局より左の如く發表した

△情報局發表

軍需省、農商省、運通通信省の新設並に企畫院の廢止に依る物價統制に關する各省所管事項の改變に伴ひ今後に於ける物價政策は概ね左記要領に依り其の圓滑なる運用を圖るものとす

- 一、物價政策の基本は閣議に於て之を決定すること
- 二、前項の閣議に關すること及各種問の物價に關する行政の調整統一は内閣に於て之に當ること
- 三、農商省に於ては物價一般に關する事項を主管すること
- 四、軍需省に於ては所管物資の生産者價格及需要者價格の統制に付其の方針及具體的實施策の決定に關する事項を主管すること、併し一般物價水準に影響ありと認めらるる事項に於ては豫め農商省に連絡すること
- 五、大藏省、厚生省、軍需省、運通通信省等に於ては各其の所管に屬する貨金、給與及運賃の統制に付其の方針及具體的實施策の決定に關する事項を主管すること但し貨金水準、給與水準又は運賃水準の改訂等にして價格形成上一般物價水準に影響ある事項に付ては豫め農商省に連絡すること
- 六、大藏省に於ては購買力の吸收調節に關する事項を主管すること但し其の直接價格等に關係するものに付ては豫め當該物資の主管省に連絡すること
- 七、物價に關する各廳事務の連絡を滑かにらしむる爲農商省に物價協議會(假稱)を設置すること
- 八、物價協議會は内閣、内務、大藏、陸軍、海軍、司法、厚生、大東亞、農商、軍需、運通通信各廳關係官を以て之を組織すること
- 九、物價對策審議會の廢止の外物價關係各種委員會に付此の際左の如く措置すること
- 價格形成委員會の簡素化を圖ること

◎財務管理委員會及舊財務準則統一協議會の所管事項の處理に關しては別途措置すること

〔備考〕本件各項に依るの外、各省に於て其の所管に係る物價に關聯ある事項を處理するに際し他省の物價に關聯ある事項に影響ある場合に於て從來通り豫め緊密なる連絡を爲すこと

農商省中心の物價政策運営 今回決定した物價政策の運営方針は各主管官廳が必要なる物價政策を實施するに際して一般物價水準に影響ありと認められる事項は凡べて農商省と連絡すべきことが明定された、このため從來の物價對策審議會は廢止されて新に關係各官廳の連絡機關として農商省に物價協議會(假稱)を設けることとなつたが、右協議會の構成は會長に農商大臣若くは農商次官を當て、内閣、内務、大藏、陸、海軍、司法、厚生、大東亞、農商、軍需、運通通信の各官廳關係局長を以て委員とし、關係課長を以て幹事とする豫定であり、今後物價政策の運用に當つては本協議會を中心として官廳相互間の連絡を密にし、以て政策の一貫的運用を期することとなつた

物價對策審議會廢止【十九日】政府は企畫院の廢止に伴ひ同院に在つた物價對策審議會を廢止することとなり、去る十七日の樞密院本會議に於て同官制廢止の件を政府原案通り決定したので、十九日の定例閣議に附議正式決定した

一、物價對策審議會官制廢止の件

【廿二日】滿洲國が食糧基地として負ふべき使命は現下の情勢に鑑み、一層重きを加へ來つたので滿洲國で今回新に尅大なる農地造成緊急計畫の線上げ實施を計畫し、右二案を合せて緊急農地造成計畫案を作成し、明後昭和廿年完成、僅々二箇年の短日月を以て新たに松花江地區及遼河地區に於て第二水田地造成するの實現に關する協力を提案し來つた、よつて帝國に於ても、大東亞省を中心し右提案に基きこれを檢討した結果、各方面の意見は欣然滿洲國の提案を受諾するに決し、更に右案實施に伴ふ帝國側の協力援助に關しても、基本方針を得たので廿二日の線上げ閣議に於て、滿洲國緊急農地造成計畫に對する協力援助に關する件を附議決定、右協力援助の趣旨を情報局から發表すると共に、その實行計畫の概要を闡明する青木大東亞相談を發表した

△大東亞大臣談

滿洲國朝野が總力を結集して食糧増産と之が對日寄與に専念せられつつあることに對しては衷心より感謝感激に堪へない所であるが、現下の食糧供給關係に鑑み滿洲國の食糧供給基地としての使命は益々重大性を加へ、今後滿洲國に於ける食糧の飛躍的増産に對しては多大の期待が掛けられて居る、滿洲國政府に於ては積極的の斯る要請に即應する爲從來採り來つた各般の施策を一段と徹底強化すると共に新に、確實にして好率的なる増産對策として晝期的農地造成計畫を樹立し、日滿相協力之が達成を圖る爲過般武部總務長官一行上京せられ、本邦側に對し之を提案せられた、政府に於ては直ちに現地案に基づき關係事務當局に於て檢討を遂げたる慮意見の一致を見たるを以て愈々本日の閣議に之を附議し、本計畫に對する協力援助方に關し、基本方針を決定した次第である、今回緊急農地造成計畫は明年事業に着手、明後昭和廿年完成、僅々二箇年の短日月を以て新たに松花江地區及遼河地區に於て第二水田地造成するの實現に關する協力を提案し來つた、よつて帝國に於ても、大東亞省を中心し右提案に基きこれを檢討した結果、各方面の意見は欣然滿洲國の提案を受諾するに決し、更に右案實施に伴ふ帝國側の協力援助に關しても、基本方針を得たので廿二日の線上げ閣議に於て、滿洲國緊急農地造成計畫に對する協力援助に關する件を附議決定、右協力援助の趣旨を情報局から發表すると共に、その實行計畫の概要を闡明する青木大東亞相談を發表した

今後幾多困難なる事情が豫想せられるのであるが、之が前途の爲には日滿兩國益々其の聯繫を強化すると共に關係方面の深き理解と眞摯なる協力を切望する次第である、本計畫の實施に依り日滿を通ずる食糧の自給態勢は更に強化せらるることとなるのであつて、決戦下向に御同慶に堪へない所であるが、本計畫を積極的提案せられたる滿洲國の好意に對しては茲に深甚の謝意を表する次第である

滿洲農地造成計畫 援助方針決定

農地造成計畫の概要

今滿洲國側より提案され、帝國がその實現にあらゆる協力援助をなすに決した緊急農地造成計畫案に昭和十九、二十年の兩年度に於て第二松花江流域及び東遼河流域に新規に〇〇町歩の

大水田を開拓造成すると共に、康徳七年(昭和十五年)以來既に實施中の既存開拓計畫中、十二ヶ所の開拓を緊急に緊急繰りあげ完成し、以て毎年約〇〇萬石の食糧對日寄與を實現せんとする晝期の計畫案で、これは從來も既に莫大な食糧の對日寄與を行ひ來つた滿洲國側の全く自發的且つ積極的提案であり、日本側でも大いに感謝、右新規造成並に繰上げ造成に必要な資金、資材、技術等の供給を通じて全面的にこれを援助協力することによつたものである、同案が日本側に提示されたのは、去る十月中旬にして滿洲國國務長官武部六藏氏並に同古海總務廳次長等の上京の際であつて、武部長官、古海次長等は滯京旬日餘、各般の打合せを以て歸國したが、爾來わが方では慎重原案の検討を續けてゐたもので、右計畫の大要は左の如くである、一、新規造成計畫案 第二松花江流域並に東遼河流域の未耕地を開拓、主として水田となすもので、完成の曉は總面積において大體鹿兒島縣の食糧耕地面積に匹敵する

三、造成所要勞力 この事業は緊急を要するので右計畫實施に要する延べ數十萬人の勞働力は滿洲國が今春來實施して好成绩を収めつつある勤勞奉仕隊の動員その他専ら滿洲國內の勞働力動員を以てこれに當てる、四、開拓後の營農組織 造成完了の耕地には、早速農耕者を入れるが、これには内地からの開拓民は勿論、鮮人、滿人の農業者も入耕する、五、日本の援助計畫 今回の計畫實施に當つては、日本内地における土地造成の場合と同率の助成をなすこととしたので、その所要資金は相當の巨額に達するが、日本からは右所要資金のうち相當高率を占むる巨額の融資を行ふほか、技術、資材の供給を行わが、技術は現地に相當保有されてゐるので、主として資材上の援助を行ふもので、これがため、帝國としては貴重な軍需資材を特別に割當して、揚水機、揚水機用原動機、石油發動機、各種ポンプ類、混合機、液溼機、トラクター、トラック、鑿岩機、空氣壓縮機、機關車、軌條、變壓機等を必要に応じて供給する

六、作物の利用處分 かくて新に開拓せられたる農地より産出される食糧品は、現地消費を除き、他は全部對日輸出にふり向けられるので、昭和二十一年以降は現在滿洲國が日本和二十一年以降は現在滿洲國が日本向け輸出してゐる食糧總量に更に年〇〇萬石が追増されることになり、以上の計畫は、明年早々から直ちに實施に着手するが、これが擔當機關に就いては目下滿當局間で種々研究室に關係業者代表二十一名を招致、整備要領を中心細目懇談を遂げた

業種別企業整備要領 續々決定

戦力増強企業整備要領に基き十一月中に決定商工次官通牒を以て指示された各種事業整備要領は既に前月までに發表された各種企業整備要領と大同小異で、原則として工場を操業保有、廢止の三とし操業及び保有工場と雖も設備の一部供出の道を設け廢止工場設備の轉用、引受、共助金の交付並に共助資金徵收等を実施することとなつてゐるが企業の特殊事情によつてこれが適用には多少の相違がある

高壓コンクリート【四日軍需省發】高壓コンクリート製品及び厚型スレートは軍需、生擴用として極めて重要であるが、技術、設備不十分な工場が尠くないので、軍需省では企業整備要領を決定、四日付をもつて日本高壓コンクリート製品及び厚型スレート商工業組合へ次官通牒を發し、同日この旨發表した、整備完了の時期は來年二月末

水飴製造業【十日農商省發表】農商省では戦力増強企業整備要領にもとづく第一種工業部門たる水飴製造業の整備につき十日本省會議室に業者代表十六名を招致、これに關する整備要領を提示して具體的協議を行つた

清涼飲料水【十三日同上】農商省では戦力増強企業整備要領第一種工業部門(乙)に屬する清涼飲料水の主要食糧又は非常用食糧製造工場に關係業者代表二十一名を招致、整備要領を中心細目懇談を遂げた

同部門の整備率は約六割の豫定で本年中に完了を見る筈である

精製糖工場軍需轉用【十八日同上】精製糖工場は輸入原料糖の杜絶と臺灣耕地白糖の技術進歩とにより既に大部分閉鎖轉用を見てをり、現在では大日本、臺灣明治の各社それぞれ工場宛、計三工場に過ぎないが、これら残存精製糖工場も今秋戦力増強企業整備第一種工業部門(甲)に編入され、舉げて軍需生産部門へ轉用を見ることに決定し、八日農商省よりその旨發表された

食糧品罐詰工業【廿四日同上】農商省では戦力増強 企業整備要領にもとづく、その第一種甲部門に屬する食糧品罐詰製造業の整備につき廿四日同省會議室に關係業者代表四十名を招致、當局の整備要領を中心として協議を遂げた結果、小委員會を設け本月中に個別的な整備方法を決定、本年一杯に整備を完了することとなつた

製菓業【廿五日同上】農商省では戦力増強企業整備要領にもとづくその第一種工業部門(乙)に屬する製菓業の整備につき二十五日同省會議室に關係業者代表十八名を招致、整備要領を中心種々協議を遂げた製菓業の全国的整備率は現在企業者數一萬八千七十五人、工場數一萬九千五百四十七に對し、その現有設備能力の四割以上とし、一ヶ月一萬二千斤以上の原料糖を使用する大企業については農商省において、他は地方長官において整備を行ふこととなつた

なほ食パン、菓子パン、乾パンなどの主要食糧又は非常用食糧製造工場については成るべく存置操業せしむる方針をとり、かくて年内には整備完了を見る豫定である

玉糸、座繰製糸【三十日同上】農商省では戦力増強企業整備要領にもとづく第三種工業部門に屬する玉糸および座繰生糸製造業の整備を推進せしめることとなり、卅日丸の内黨糸會館に業者代表卅名を招致、これに關する具體的協議を遂げたが、當局の整備方針は現在の玉糸製造設備三萬釜、座繰生糸製造設備七萬釜、計十萬釜の約半數を整理、軍需その他の重點部門へ轉用せんとするもので、右は明年三月までに完了の見込みである

財政金融

融 金
【十二日】日本銀行國稅代
理店である舊東京區域内の各銀行では來る十五日より金額百圓未満の政
府支拂事務取扱を開始することに決
つた、即ち從來政府小切手及び支拂
通知書の受取人が銀行に預金取引の
ない場合應々支拂場所たる日銀本店
或は流谷、王子等の同行代理店に持
参しなければならなかつた不便を除
く爲であるが、郵便局取扱出金支拂
通知書については市中銀行で取扱は
ず從來通り指定郵便局で取扱は
なればならない、なほこの取扱は
舊東京市以外に大阪、名古屋、京都
神戸の四市に於ても同様來る十五日
より實施される

整備資金措置法の實施成績

【廿四日】戦力増強を目的とする決戦企業整備は去る七月十五日よりの企業整備資金措置法實施以來漸次進行を見てゐるが、同法關係の許認可申請經由機關たる日本銀行の處理状況を通じてこれが進行状態を資金面より窺つて居るに同法立法の中心の狙ひである現金移動の抑制が大體において所期の効果を収めてゐるの注目される、即ち企業整備資金措置法實施以來の日銀受理件数は十月末において約一千三百件、金額は二億五千萬元見當であつてこのうち件数において七割金額において九割程度は同法第四條に基く特殊決済制度免除の申請であるが、これによる資金の使途も金融機關よりの借入金の返済重點産業株式の引受及び新規事業費等に限定されてゐる、しかして同法による特殊決済制度は特殊預金を中心とする特殊金銭信託、國民更生金庫戰時金融金庫借入金を通じ、十月末現在で大體二億圓見當になつてゐるが、第十二條及び第十四條に基いてこれが解除申請を行つてゐるものは極めて小範圍に止まつてをり、従つて特殊決済制度の免除、特殊決済制度の解除を通じて生活費、退職手當、諸給與支拂の形で現金移動となつてゐるものは微々たるもので、この點被企業整備者の協力と共に同法運営の圓滑なる推移を物語つてゐる、なほ企業整備資金措置法に基く特殊決済制度の利用状況を見るに、特殊預金並に特殊金銭信託取扱金融機關の積極的努力と相俟つて、その決済條件が債務者特殊借入金金の四分三厘十年に對し、三分八厘五年と幾分有利になつてゐるため一般に利用され件数及び金額において特殊決済の過半を占めてをり、これに對し産業設備營團、戰時金融金庫、更生金庫政府並に其他債務者の特殊借入金は何れも見るべき額に達してゐない。

日銀上期業績續き上昇

【十九日】日本銀行では營業年度改正による本年上期の臨時事業年度（自七月一日至九月卅日）における事業概況を十九日發表廿日付官報を以つて公告したが、本期業績は大東亞戰爭の進展に伴ふ國債及債券利息の増收を主因として引續き顯著なる上昇を辿り剩餘金は僅か三月間において五千五百八十八萬二千圓と五千萬圓を突破した、一方政府納付金は四千六百九十八萬九千圓に達しこれを前期（本年一月一六月の七千二百九萬四千圓と合算すれば本年度納付實行額は一億一千九百八十三萬三千圓と同年度納付金豫算額一億三千五百八十八萬三千圓を上廻るに至つた、しかし本期事業概況のうち主なる變化を摘記すれば左の如くで決戦下財政支出の増大を反映して日銀券發行高が膨脹し又對民間授信の積極化によつて其他貸出金が著増したことが注目されるが巨額な決戦財政の遂行にも拘らず日銀券發行高を比較的低位に止め得たことは戰時金融統制の奏功と共に國民貯蓄の増強國債消化の推進に官民一致の努力が拂かれたためである。

【十九日】日本銀行では營業年度改正による本年上期の臨時事業年度（自七月一日至九月卅日）における事業概況を十九日發表廿日付官報を以つて公告したが、本期業績は大東亞戰爭の進展に伴ふ國債及債券利息の増收を主因として引續き顯著なる上昇を辿り剩餘金は僅か三月間において五千五百八十八萬二千圓と五千萬圓を突破した、一方政府納付金は四千六百九十八萬九千圓に達しこれを前期（本年一月一六月の七千二百九萬四千圓と合算すれば本年度納付實行額は一億一千九百八十三萬三千圓と同年度納付金豫算額一億三千五百八十八萬三千圓を上廻るに至つた、しかし本期事業概況のうち主なる變化を摘記すれば左の如くで決戦下財政支出の増大を反映して日銀券發行高が膨脹し又對民間授信の積極化によつて其他貸出金が著増したことが注目されるが巨額な決戦財政の遂行にも拘らず日銀券發行高を比較的低位に止め得たことは戰時金融統制の奏功と共に國民貯蓄の増強國債消化の推進に官民一致の努力が拂かれたためである。

【十九日】日本銀行では營業年度改正による本年上期の臨時事業年度（自七月一日至九月卅日）における事業概況を十九日發表廿日付官報を以つて公告したが、本期業績は大東亞戰爭の進展に伴ふ國債及債券利息の増收を主因として引續き顯著なる上昇を辿り剩餘金は僅か三月間において五千五百八十八萬二千圓と五千萬圓を突破した、一方政府納付金は四千六百九十八萬九千圓に達しこれを前期（本年一月一六月の七千二百九萬四千圓と合算すれば本年度納付實行額は一億一千九百八十三萬三千圓と同年度納付金豫算額一億三千五百八十八萬三千圓を上廻るに至つた、しかし本期事業概況のうち主なる變化を摘記すれば左の如くで決戦下財政支出の増大を反映して日銀券發行高が膨脹し又對民間授信の積極化によつて其他貸出金が著増したことが注目されるが巨額な決戦財政の遂行にも拘らず日銀券發行高を比較的低位に止め得たことは戰時金融統制の奏功と共に國民貯蓄の増強國債消化の推進に官民一致の努力が拂かれたためである。

政府預金	七、一六、五五〇	政府貸上金	三三五
其他預金	二、五〇九、二二二	其他貸出金	八四八
諸貸出金	六七一、五八八	現金及地金	六三二、四八八
國債及債券	一、九一八、二七九	國債及債券	六〇二、八九一
其他	六、二五〇、〇四〇	代理店勘定	一、八〇三、二一七
計	二、〇四〇、〇四〇	雜勘定	二七八、五八七
期平均殘高	七、一六、五五〇	拂込未済資本金	五五、〇〇〇
發行銀行券	七、一六、五五〇	總計	一一、三〇九、四二八
政府預金	七、一六、五五〇	發行銀行券	七、一六、五五〇
其他預金	二、五〇九、二二二	政府預金	七、一六、五五〇
諸貸出金	六七一、五八八	其他預金	二、五〇九、二二二
國債及債券	一、九一八、二七九	雜勘定	一、九一七、一七五
其他	六、二五〇、〇四〇	資本金	一〇〇、〇〇〇
計	二、〇四〇、〇四〇	積立金	八二、六四〇
期平均殘高	七、一六、五五〇	當期剩餘金	五〇、五八二
發行銀行券	七、一六、五五〇	總計	一一、三〇九、四二八

【四日】銀行等金融機關の營業年度改正に伴ふ五大銀行（帝國、三菱、安田、住友、三和）の臨時營業年度（七月一九月）の業績は戦力増強を指向する決戦經濟の飛躍的進展に即應し企業整備資金特別措置、普通銀行の貯銀業務兼營等各種金融政策の展開を見ると共に戰時金融の中心機關たる生實資金の供給確保に全力を傾注したため、短期間乍ら前期に引續き顯著な上昇を辿り、当期純益金は貸出金利息増收を反映し合計二千二百萬圓に達し、前期（一六月）の純益金合計三千二百萬圓の半ばを遙かに上廻つてゐる、而して貸借對照表を見るに、當期末預金殘高は合計二百四十五億七百萬圓、期中増加高は季節的影響を反映し四億一千五百萬圓に止り、預金増勢は停頓傾向を示してゐるが、一方貸出金は超重點産業方面よりの資金需要益々旺盛を極めたため期末殘高合計百四十八億八千七百萬圓と、期中増加は僅か三ヶ月間に十五億四千六百萬圓といふ未曾有の巨額を示し、預金増加高に對する貸出金増加高の割合は三・七倍に達してゐる、従つて三菱を除き各行とも民銀の民間貸出に資金源を求めたため借入金金の期末合計は八億四千七百萬圓と十月二日現在日銀貸出金二十五億八千四百萬圓の約三分の一を占めてゐる、かかる金融状況からして金融統制會指導による國債消化には相當窮乏を感じた模様であり、期末國債保有合計は七十一億四千五百萬圓、期中増加高は四十五萬圓であるが、これは貸付有價證券の増加並に有價證券價格を厚くしたため計數上において少額に止まつてゐるものの各行とも期末において

特殊銘柄のせり賣認可

【十日】日證取引所では地方取引所に於ける取引の圓滑なる運営を目的として豫て實物特殊銘柄のせり賣を決定し當局に認可申請中であつたが十日正式認可を得たのである十六日より東京大阪を除く各市場で一齊に取引を開始する事となつた、但し銘柄は各市場で個々に決定する管

工・礦業

輕金屬増産資材等最優先處理

【十九日】軍需生産の増強特に航空戦力の飛躍的擴充に對する輕金屬増産の最重要性に鑑み政府は十九日決定例閣議に「航空戦力増強のため必要な輕金屬増産用資材、機器、及び設備等の優先處理に關する件」を附議、岸軍需次官より詳細説明してこれを決定し同日午後軍需直から發表するとともに、輕金屬局長談をもつて、これが趣旨を敷衍した

△軍需省發表
航空戦力の飛躍的増強に緊切火急を要すべきアルミニウム「アルミナ」「マグネシウム」「水晶石」「酸化アルミニウム」「ピッチコークス」「電極」等の生産確保及増産目標達成の爲必要とする資材、機器の製作、配給、設備の轉用其他勞務、輸送、

五大銀行期末業績

（表見）

電力等に關しては爾今少くとも純軍需及航空兵器と同等に最優先的處理を行はしむる如く各廳及官民諸機關に於て的確敏に協力處議すること

航空機の製作數量を規正するものは實に懸つて輕金屬の生産量に存するものである、莫大なる航空機の生産數を頼んで一舉に我が南方戰線を突破せん」と企圖しつつある米軍を粉碎せんが爲には目下進行しつつある輕金屬の生産就中其の増産計畫に基き、明礬石、粘土、礬土頁岩、マグネシアト等の採掘、其の輸送、此等を使用して輕金屬を作る爲に必要な諸工場

の擴充等は今日何れか置いて置いても完兒に遂行してゆかなければならぬ重要な問題である、つまり此等の増産對策を實施する爲には開發すべき礫山、輸送に必要な道路橋、梁港灣等の構築、増築すべき工場等に必要な資材、機器、設備、勞力、電力輸送力等が計畫又は命令通り機を失せず向けられなければならない、從て輕金屬の増産に必要な此等の對策は純軍需や航空兵器と少くも同等に最優先的に取扱つてゆくのでなければ總の方面にあなゆるものが需要されてをる今日の實情に於て特に航空戰力を飛躍的に増強することは至難である

設備機械動員實施要綱

【二十九日】政府は現下の苛烈な戦局に對處して航空戰力の劃期的擴充を圖るため、に航空機工業をはじめとし緊要工業全般に亘る生産力の飛躍的増強確保に必要な工作機械その

他重要機器の需要を充足すべく去る八月三十一日、「航空機の増産確保に必要な、工作機械に關する應急措置」を閣議決定し戦時型工作機械を採用するとともに、その後右に基き企業集團を各地域に結成し、工作機械の大量生産と所謂隘路機械に屬する特定機種の急速充足の方策を進め來つたが、今更に航空機の多量生産を目指し、遊休及び不要不急の設備機械を強力急速に動員する必要を認め、過般來軍需省機械局を中心に陸海軍その他、關係官廳打合せの結果、「設備機械動員實施要綱」を決定し、二十日軍需省より發表した

△軍需省發表

一、實施地域 東京、京都、大阪、神奈川、兵庫、新潟、埼玉、愛知、静岡、廣島、及福岡の各都府縣とする、尙右以外の地域に付ては地方廳の協力に依り大體本動員と同趣旨の指導勸奨を行つて共に動員實施地域としての横流れ等を防止する

二、動員機械の範圍 遊休設備機械の兒部及稼働中の機械にして軍需大臣の指定する機種に屬するもの

三、動員工場 工作機械等登錄規則の適用工場中第一種工業部門に屬するもの、工場事業場管理令の管理工場、軍用資源租密指定及秘匿命令工場並に秘密工場を除きたるもの

地方廳、軍需監理部、陸海軍關係官等をして設備機械動員委員會を設置し動員機械の調査、動員の可否の決定等動員實施に必要な事項を審議決定せしめる

五、設備機械の調査 委員會は工場調査班を編成し十二月月上旬より同月中に工場調査を行ひ遊休機械及び指定機械の認定並に産業設備集團の評價基準に依る認定を行ふ

六、動員の手続 (一)貸與及任意供出 工場調査班及び委員會の勸奨に依り一月二十日迄に申込を爲さしめ貸與間に協議せしめ供出に付ては産業設備集團をして之を買受けしめる

七、貸借の協定 地方長官は貸與又け任意供出を爲さざるもの及び貸借の協定不調のものに對し委員會の決定に依り二月二十日迄に産業設備集團に供出を命ずる

八、賃借料及買上價格 賃借料は當事者間の協議に依り軍需大臣の指示する範圍内に於て地方長官の定め買上價格は産業設備集團の評価基準に依るものであるが共に供出者に有利に定められてゐる

九、轉讓 轉讓者は設備の新増設に付法令の許可を受け又け受けること確實なる者の中特に航空機工場を優先せしむるものとし委員會に於て之を決定する、轉用者尙地方長官の交付する轉用證明書に依り機械の取引を行ふは工場調査班の調査に係る機械以外のものでは重要工場より具體的に所有者設備機械を指示して申請すれば委員會に於て無期限に同様の取扱をすることとなつてゐる

【十一日】大阪、名古屋兩地の戦時型工作機械企業集團結成式は十二日大阪で舉行、軍需省より大臣代理として美濃部機械局長出席、企業集團指定書を交付し、ここに全國の結成式を完了して戦時型工作機械の多量生産體制が整備される、なほ戦時型工作機械の試作は數社において着々進捗してゐるが三菱工作機械擔當の分は既に完成し急速に多量生産に移されることとなつた、その他の會社擔當分も近く全部完成する豫定である

優秀二十炭礦を表彰

【二十二日】昭和十七年度下期における學國石炭確保運動に引續き本年度も前期、後期の二期に分つて同運動を實施し前期を去る九月三十日末をもつて終了したが右期間中に優秀な成績を収めた左記二十炭礦に對し二十二日、首相官邸において軍需大臣より表彰式を舉行した、優良炭礦の中央表彰式、これで四回目である

【二十日】航空機生産に不可欠の資材たる積層木材の製造壓搾機を急速に充足するため、目下企業整備進行中の植物油脂製造用壓搾機を大量の方面へ轉換せしむることとなり、これを促進をはかるため農商、軍需兩省では廿二日農商省會議室に關係府縣主務課長會議を開催、具體的な協議を行つたが農商省では、同日附を以て關係地方長官完積層木材製造用壓搾機供出方に關する通牒を發した

【三十日】重要礦物増産法第一條の二の規定に、北炭礦業の事業着手許可制は樺太、北海道、山口縣、及び九州の大部分に實施して來たが、亞炭礦業の現況に鑑み軍需省では今般その適用範圍を擴大し、十二月一日から

【三十日】重要礦物増産法第一條の二の規定に、北炭礦業の事業着手許可制は樺太、北海道、山口縣、及び九州の大部分に實施して來たが、亞炭礦業の現況に鑑み軍需省では今般その適用範圍を擴大し、十二月一日から

木材硬化用壓搾機の供出促進

【二十二日】航空機生産に不可欠の資材たる積層木材の製造壓搾機を急速に充足するため、目下企業整備進行中の植物油脂製造用壓搾機を大量の方面へ轉換せしむることとなり、これを促進をはかるため農商、軍需兩省では廿二日農商省會議室に關係府縣主務課長會議を開催、具體的な協議を行つたが農商省では、同日附を以て關係地方長官完積層木材製造用壓搾機供出方に關する通牒を發した

東北六縣にも亞炭事業許可

【三十日】重要礦物増産法第一條の二の規定に、北炭礦業の事業着手許可制は樺太、北海道、山口縣、及び九州の大部分に實施して來たが、亞炭礦業の現況に鑑み軍需省では今般その適用範圍を擴大し、十二月一日から

- 鹿町 (長崎縣) 日鐵礦業
- 吉隈 (福岡縣) 麻生礦業
- 嘉穂 (福岡縣) 嘉穂礦業
- 龍崎 (長崎縣) 住友礦業
- 高松 (福岡縣) 日本礦業
- 沖の山 (山口縣) 宇部興業
- 新田 (福岡縣) 三菱礦業
- 新井 (福岡縣) 九州採炭
- 春美 (北海道) 太平洋炭礦
- 三菱採炭 (北海道) 三菱礦業
- 張 (北海道) 北海道炭礦汽船
- 夕張 (北海道) 北海道炭礦汽船
- 別 (北海道) 住友礦業
- 神威 (北海道) 北海道炭礦汽船

戦時型工作機械企業集團結成式

- 赤池 (福岡縣) 明治礦業
- 崎戸 (福岡縣) 三菱礦業
- 三池 (福岡縣) 三井礦業
- 好間 (福岡縣) 古河礦業
- 勿來 (福岡縣) 大日本炭礦
- 岡田川 (福岡縣) 岡田川礦業
- 重内 (茨城縣) 重内礦業
- 炭礦名 (茨城縣) 炭礦名礦業
- 昭和十八年度前期優良炭礦
- 昭和十八年度前期優良炭礦

號を改正した

其 他

皖安の生産確保策を答申

【三十日】戦時下食糧増産の重大要素たる皖安の生産確保をけるため農商省では去る廿二日農林計畫委員會を開き山崎農商相より皖安肥料の生産確保に對してこのべき措置如何の諮問を行ったが、これに對して皖安肥料製造組合で口次の如き答申案を作成、廿日種田同組合理事長より山崎農商相に提出するとともに張力かつ速かなる實現方を要望した

一、肥料行政を強化するため現肥料統制課を擴充強化して肥料増産對策の部を新設せられたし
二、戦時行政職權特例に依り皖安工業を名實共に超重點産業に繰入れ、原料、資材及勞務者の確保を圖られたし
三、既割當の鐵鋼壓延製品の入手、機械類の製作等については軍需品と同等の優先權を附與し早急なる現物化を圖られたし
四、皖安生産に必要な電力量については質實的に優先措置を講じ湯水期における減産を最少限度に防止せられたし
五、石炭、コークス等の輸送確保を圖り苟くも原料不足に基因する操業短縮乃至操業休止の事態を招來せざる様萬全の措置を講ぜられたし
六、勞務者の配置に對しては軍需工業と同列の措置を講ずると共に賃銀についても亦同列の措置を講ぜられたし
七、硫酸アンモニア等生産統制規則に基づき生産命令を發動し生産目標並

に責任の所在を明瞭ならしめられたし

農 業

内地産米第二回豫想收穫高

一六千二百五十五萬五千石
【廿二日】農商省では二十二日午前十一時本年産米第二回豫想收穫高十月三十一日現在を發表したが、これによれば全國總計六千二百五十五萬五千七百四十石で、先の第一回豫想收穫高に比し七十四萬七千五百六十石(一分二厘)の減收を示した(農商省發表)

△昭和十八年産米第二回豫想收穫高
本年米第二回豫想收穫高は六千二百五十五萬五千七百四十石にして、右は第一回豫想調査後の天候、九州、中國地方は概して順調に経過したるも、其の他の地方は一般に曇、雨天勝ちなりしのみならず、十月三日及び十日に關東及び東北の一部地方に風水害あり、又四國及び近畿の一部地方に病害を見たるものありたるため、第一回豫想に比し稍々減少を示せり

鮮米第二回豫想收穫高

一八千八百七十萬五千石
【三十日】昭和十八年米第二回豫想收穫高は三十日正午總督府農林局より左の如く發表された
△朝鮮總督府農林局發表
十月三十一日現在の米第二回豫想收穫高を調査せるに作付反別け水稲百五十萬五千三百三十八町三段、陸稻一萬一千八百三十七町八段、合計百

五十一萬七千七百七十六町一段にして豫想收穫高は水稲一千八百六十四萬三千八百三十六石陸稻六萬一千七百七十七石合計一千八百七十七萬五千五百五十三石となれり
十八年産麥類實收高
一八千八百五十三萬七千石

【十一日】農商省では十一日昭和十八年産麥類の實收高を發表したが、これによれば前年實收高に比し大麥は百四十七萬九千石(二割二分減)、裸麥は百廿四萬四千石(二割一分減)、小麥は二百十二萬四千石(二割一分減)またこれら合計においては四百九十四萬七千石(二割二分減)のそれぞれ減收を見、十八年度生産目標大麥九百二萬六千石、裸麥八百三十萬六千石、小麥三千三百六十萬一千石に對してもそれぞれ未達成に終つた

△農林省發表
昭和十八年麥實收高
昭和十八年における麥實收高は
大麥 五、二六六、〇七三石
小麥 七、九九〇、四八五石
計 一八、五三七、二〇七石

下期肥料割當決定

【廿二日】昭和十八 肥料年度下期(明年一月より七月まで)の都道府縣別肥料配給割當を決定すべき農林計畫委員會に開催、一現下の食糧事情に鑑み下期肥料の配給割當に關し取るべき方策如何の諮問事項を中心に審議の結果、政府原案通り可決答申した、しかして次期肥料割當議を遂げた

方針の骨子は從來通り米麥および主要食糧作物重點主義を基本とし、最近の肥料事情に鑑み、諸般の考慮を加へたもので、農商省ではこれに基き直ちに各都道府縣に對し割當數量を決定、通達する筈である
官行薪炭増産計畫を協議

【五日】薪炭需要期に當面して農商省では木炭、薪生産者を督勵中であるが、一方省自體においても國有林を中心とする官行薪炭の増産を積極化するため今回製炭に對しては既定計畫十萬七千石の約二割割方、薪については新たに約五百萬束の増産を圖ることとなり、このため四、五兩日に亘り全國營林局事業部長會議を同省會議室に開催、具體的協議を遂げた、なほ民製木炭の増強に資する爲め國有林の立木處分に付便利な場所を選び積極的に大増伐を行ふことに決定した

柑橘園利用の甘藷増産對策
【十五日】農商省では外米に依存し得ない明年度の食糧事情の下においては諸類に期待すると最も大きいので、明年度の諸類増産に資するため、明年春植馬鈴薯の作付五萬町歩増加、並に傾柑橋面における甘藷の周圍懸崖作などを實施し、一層増收の實を擧げることとなり、前者については十八日同省において地方主務課長會議を開催、また後者については十五日柑橋面懸崖作の實地試驗に當つては神奈川縣係府用柑橋試驗地において關係府縣係官を集め、本省より石井農政局長、坂田特産課長など出席實施要領其他に付種々協

議を遂げた

自作農創設維持資金取扱要領
勸銀【十日】決戦下皇國農村確立の中核的施策たる自作農創設維持資金を資金面より促進するため勸銀では今回政府の自作農創設維持資金を取扱ふことになり十日之が取扱要綱を左の如く決定發表した
△自作農創設維持資金(預金部資金)融通取扱要綱
第一、資金名
自作農創設維持資金
第二、貸付先
(一)個人 自作農適格者
(二)團體 自作農創設維持事業を行ふ農事實行組合
第三、資金用途
(一)個人 ①自作農創設資金 ②自作地となすべき土地の取得若しは開發 ③右事業に伴ひ其の自作地の利用上必要な施設の取得若しは建設 ④自作農維持資金、舊債の用途を問はず自作農家の維持に必要な債務の借替
(二)組合 ①前號 ②各用途の轉貸資金 ③前號 ④に必要な事業の事業資金
第四、抵當物件
(一)個人 ①創設資金 本資金に依り創設せらる可き當該自作農地を第一抵當に徴す ②維持資金 本資金に依り維持せらる可き自作地を第一抵當に徴す
(二)組合 無擔保とす
第五、貸付金額及股金 購入の場合はその購入價格、交換分合の場合には其の支拂差額金開發の場合には其の開發費、建設の場合には其の建設費の夫々範圍内に於て其の所要額を貸付

要領

くるものとす②維持資金 舊債の現在残額(利息を含む)の範囲内において其の所要額を貸付くものとす

(二)組合①轉貸資金 所要額を貸付くるものとす②事業資金 當該事業費の範囲内に於て其の所要額を貸付くるものとす

第六、貸付利率 個人組合共年三分二厘とす

第七、据置期間 (一)個人 一年以内、但し未墾地(農地開發營園等の開發地を含む)の取得及び開發並に之に伴ふ施設の取得又は建設に付ては五ヶ年以内とす

(二)組合 五ヶ年以内とす 第八、割賦年限 原則として二十四ヶ年、特別の事由ある場合は二十ヶ年、十五ヶ年となすことを得

第九、期限前償還手数料徴せず ①自作農短期自行資金融通要綱

第一、資金の用途及び貸出先 本資金の貸出は自作農の經營確立上必要な資金及び自作農創設維持事業に關する預金部資金供給に到る迄の間に於て右預金部資金の目的とする用途に使用する爲め必要な資金を夫々左の貸出先に融通するものとす

④經營確立上必要な資金(自作農) ⑤自作農五人以上連帯者(農事實行組合及び養蠶實行組合、但し其の構成員の大部分が自作農なる場合に限る) ⑥繁資金(一)自作農(二)農事實行組合

第二、貸出金額 ①經營確立上必要な資金 資金の用途を考慮し必要と認むる金額の範囲内に於て之を定むるものとす

②繁資金 本行に於て貸付を爲し

得可き預金部資金見込額の範囲内に於て之を定むるものとす

第三、貸出利率 ④自作農に對する貸出日歩一錢二厘(年四分三厘) ⑤自作農五人以上連帯者並に農事實行組合及び養蠶實行組合日歩一錢一厘(年四分)

第四、貸出の方法及び期限 六ヶ月以内の短期貸付又は三ヶ月以内の手形割引の方法に依るものとす

但し期間満了の際必要に應じ延長又は書替を妨げず

第五、擔保 農林中央倉庫【十一日】農林中央金庫では今政府において自作農創設維持資金供給に關する方針決定をみ

そのに伴ひ中央金庫では日本本資金貸出要項を左のごとく決定し、産業組合又は農業會による本事業の積極的進展に資することとなつた

①自作農創設維持資金貸出要項 一、資金の用途 本資金は所屬市町村農業會、所屬信用組合又は農事實行組合が農地調査法に基く事業を行はんとする場合之に要する左の用途の資金として所屬市町村農業會又は所屬信用組合に對し貸付するものとす

②會員若し組合員の前地の耕作に必要とす土地(既墾地たる或未墾地たるを問はず)の取得若し開設に必要とする資金として貸付する資金 ③會員若し組合員の前地の耕作に依り創設せらるる自作地の利用に必要な施設(移住家屋共同建造物等)の建設

若し取得に必要な資金として貸付する資金 ④自作農たる會員若し組合員の負擔する債務の借替に必要な資金として貸付する資金 ⑤會員若し組合員の自作農創設を目的として農業會(市町村農業會信用組合及び農事實行組合を含む以下同じ)に於て土地(既墾地たる或未墾地たるを問はず)を開發し取得し取得して開發し又は開發して取得するに要する資金 ⑥前號の事業に依り創設せらるる自作地の利用に必要な施設

(移住家屋、共同建造物等)の建設 若し取得に必要な資金として貸付する資金 ⑦及⑧には農地開發營園等より土地若し建造物等を購入する場合を含むものとす

二、貸付金の限度 ①創設資金 取得の場合に取得價格、開發の場合に開發費、建設の場合に建設費の範囲内に於て其の所要額(但し助成金の交付を受けたる場合は其の金額を控除したる残額以内とす)を貸付するものとす

②維持資金 借替せらるべき債務の現在額の範囲内に於て其の所要額を貸付するものとす

三、貸付の方法 市町村農業會若し信用組合に對する直接貸付とす

四、貸付の形式及び期間 ①貸付の形式 元利金均等償還の方法に依る貸付とす、年賦金の計算は實情に應じ半年賦又は一年賦の何れかに依るものとす

②据置期間 會員若し組合員の既墾地に關する資金及び維持資金に付ては一年以内、農業會の既墾地に關する資金又は會員組合員及び農業會の開發地に關する資金に付ては五年以内とす

③償還期間 廿四年とす、但し特別の事由ある場合に於ては廿年又は十五年とす

五、貸付金利率 其の他 ①當金庫の市町村農業會若し信用組合に對する貸付利率は年三分とす(預金部資金當金庫の貸付利率は年三分二厘たるべきも當金庫は政府より交付せらるべき補助金の内より年二厘を市町村農業會若し信用組合に交付するを以て事務取扱の便宜上貸付利率に年三分の計算を以て取扱ふものとす)

農業會會員若し組合員に對する貸付利率は年三分二厘以内とす、本資金に對しては特別配當を附せざるものとす

勞 務 救 方

皆働運動の成績決定

【廿日】鐵鋼統制會では去る七、八月の二ヶ月間、全會員工場を動員し皆働運動を展開したが、その結果について審査中のところのほど各月の工場別、部門別成績および二月の総合成績について順位を決定したので近く左の優秀工場を表彰することになつた、なほそのほか中山製鋼、吾孺製鋼、日本鋼業、日本特殊鋼管および大谷重工業の五社、六工場に進歩賞を授與する、工場別七、八月総合分の優勝工場つぎの通り

- 出動率
- ①日本鋼業本社 九五・七八九
- ②東海鋼業九州工場 九四・八三七
- ③日本製鐵京濱工場 九四・七四〇
- △規模小なるもの
- ④日本鋼業本社 九六・二三七
- ⑤尼崎製鐵本社 九五・七八〇
- ⑥日本製鐵關西工場 九四・二四三
- ⑦東洋鋼鈔中國工場 △規模大なるもの
- ⑧日本鋼管京濱第一工場 九七・四五七
- ⑨中山製鋼本社 九七・一七三
- ⑩日本鋼管京濱第二工場

中等學校新規卒業生者動員方針決定

【廿四日】厚生省では國民動員強化の一環として昭和十八年度新規中等學校卒業生者即ち本年十二月及び明年三月新規に中等學校を卒業する生徒の割當及び其の勤務動員方針を決定各地方長官宛通牒を發したと共に二十四日これの内容を發表した、今回の動員割當はその給源を著しく擴大したと、男子は事務要員としての割當を爲さざること及び女子勤務挺身隊の活用を圖ることの三點に特色があり、第一種工場求人者に對しては二十四日より、第二種及び第三種工場求人者に對しては十二月一日よりそれぞれ全國一齊に銜衝を開始せしめることとなつた、その要點は左の通り

①自發的就職希望者以外に上級學校進學希望者中入學し得ざるもの、家事從事希望者をも動員の對象として見込んだこと ②男子は工業學校等の卒業者は勿論中學校、商業學校卒業生者も事務要員としては割當を爲さざることとした、従つて男子の割當を受けた求人者は技術者若し幹部工として養成するか又は工員として使用せねばならぬこととなる ③採用地域については制限を設けず割當を受けた求人者は任意の地方より採用し得ることとした、但し交通關係もあるので極力地元採用を指導する ④中學校、商業學校卒業生はなるべく同一學校より同一事業場に集團的に就職せしめる ⑤女子については學校單位に女子勤務挺身隊を結成せしめて供出を圖る ⑥女子勤務挺身隊

の供出先は航空機関係工場政府作業
廳其他勤務管理の良好なる工場方面
に重點を置き今回になるべく事務方
面への供出を避け、家庭遊休努力を
事務方面の給源とする

配給

織維関係配給機關の統合

【十五日】 國內態勢強化策の一環
たる統制機構整備の先驅として注目
される織維關係中央配給統制會社の
整理統合については十月十一日發表
の整備要綱に基き十一月一日紙、屑
の整備關係を除く各部門に對し統制會
社令による新會社の設立命令が發せ
られ、爾來關係各社で合併交渉を進
めてゐたが、このほど何れも合併調
印が完了、近くそれぞれ臨時總會を
開き合併契約書を承認し、設立委員
を選任して新會社の本格的設立事務
に着手し、遅くも明年一月末迄には
何れも創立總會を開く運びとなつた
新會社名、被統合會社名(括弧内)
資本金は左の通り
△日本布帛製品統制株式會社(作業
衣團體服、和裝製品、布帛製品、既
製服四、中央製造配給會社および全
國中等服商聯)一、三、五〇〇千圓
△日本織物配給統制株式會社(綿ス
ワ、織物、タオル、絹人絹織物、毛織
物、毛布、肩掛、五中配給統制會
社)一、六二、〇〇〇千圓
△日本メリヤス統制株式會社(メリ
ヤス製造、メリヤス中央配給兩會
社)一一、一四〇千圓

△日本足袋統制株式會社(足袋製造
足袋中央配給兩會社)一五、〇〇〇千
圓
△日本縫糸統制株式會社(絹縫糸、
縫糸兩製造配給會社)一六、三〇〇千
圓
△日本漁網撚糸株式會社(綿漁網製
造、撚糸製造販賣兩會社)一三、〇〇
〇千圓

各種公價改訂

【廿六日】 農商
省では、今回昭和十九年以降産の菜
種最高販賣價格を引上げることによ
り、二十六日告示實施した、これは
最近菜種油が軍需としてその一定量
を是非とも確保しなければならぬ實
情にあり、これが原料菜種増産を促
進する一方策として昭和十五年以來
据置となつてゐる現行菜種公定價格
を約三割五分引上げることとなつ
たものである
【十六日】 農商省で
は過般の本年度諸類價格引上に伴
ひ、これを原料とする澱粉の最高販
賣價格を改訂十六日告示即日實施し
た、舊價格に比し馬鈴薯澱粉の生産
者價格は二割四分、方最終販賣價格
は二割二分方、また甘藷澱粉の生産
價格は一割四分方、最終販賣價格は
一割三分方それぞれ引上げ
となつた
【二十九日】 帝國
輕金屬統制會社では、航空機の大量
生産に即應してこれが重要資材たる
マグネシウムの割増の準備を進めて
ゐるが、十五日軍需省より正式認可
があつたので廿九日發表した、しか
して今回の値上げは十月一日に遡及

運輸交通

鐵道小運送の運賃料改正

【十五日】 運輸通信省では今回小運
送能力を擴充し、陸運の綜合力を最
高度に發揮せしめるため小運送能力
の中核たる鐵道小運送の運賃料金を
改正することに決し、十五日右要領
を發表するとともに來月早々實施せ
しめることとなつた、今回改正の理
由は鐵道小運送料金が昭和十五年決
定のまま据置されて來たのに反し、
これと不可分の關係にある貨物自動
車および荷牛馬車等陸上小運搬業の
運賃が逐次引上げられて均衡を失す
るに至り、ために所要輸送力の確保
に支障を來すに至つたためである、
しかし今回は差當り鐵道小運送業の
集配料につき、車扱簡素化すること
に必要に應じ鐵道局長において適
用號表(貨率の地區別表)の變更認
めることとなつたもので、貨物自動
車との調整は通つて決定することと
なつてゐる、なほ右改正の結果集配
料關係分は舊貨率に比し二割三四分
の引上げとなるが、料金全體として
は一割一分見當の引上げとなる筈で
ある、

同日以後十九年三月卅一日に至るま
で同社が買入ならびに販賣するもの
に適用するものであつて値上額は各
規格品とも感當り千七百圓の大額引
上げに當る
【八日】 政府は決戰的段階に對處す
る決戰經濟體制確立の一環として今
回交易業者の整備を更に徹底せし
め交易業者の計畫的活用と餘剩遊休
經濟力の戦力化を圖ることに決定し
八日情報局より左の如く「交易業整
備要綱」を發表した
△交易局發表要綱
方 針
内外の情勢に鑑み計畫交易の迅速的
確目強力なる遂行は現下の絕對的要
請なり曩に米英等の對日資産凍結措
置以後の情勢に對處し第三國關係輸
出業者の整備を爲したるも更に此の
際交易營團を中心とする交易業者の
計畫的活用を圖り併せて餘剩經濟力
を轉換集約し以て戦力増強に寄與す
る爲左の要領に依り交易業の再整備
を爲さんとす
要 領
第一、整備の方法
甲 輸出の部
① 整備の基準は左に依るものと
し基準以上の業者を適格者とする
こと、① 綜合基準輸出実績五百
萬圓以上にして且五商品以上に付
別に定むる商品別基準(綜合商品
別基準)に達すること、② 商品
基準商品又は地域の事情等を勘案
して商品別に別に之を定むること
③ 前二號の基準實績の年度は地
域別に別に之を定むること
④ ①の基準に達せざる業者に付
ては左に依り統合體の組成を認め
之を適格者とする、① 統合
體の組成は當局の指定する商品に
付當局の指定し又は承認せる業者
を中核として企業統合を寫さしむ
ること、② 綜合統合體及商品別
統合體組成の基準は原則として④
①、②を適用すること、③ 地
方的に特殊の事由あるものに付て
は地區別統合をも考慮すること
④ 企業合同の形態としては原則
として會社とすること
乙 輸入の部
① 整備の基準は左に依るものと
し基準以上の業者を適格者とする
こと、① 綜合基準輸入実績五
百萬圓以上にして且五商品以上に
付②の商品別基準に對すること
② 商品別基準 商品別に別に之
を定むること、③ 前二號の基準年
度は別に之を定むること
④ 商品又は業者の特殊事情ある
ものに付ては前項の基準に拘らず

交易

交易業整備要綱發表

總揚制を急速に全面化
【三十日】 船舶運營會では去る七月

措置することを得るものとする

第二、適格者の運用

適格者は事情の許す限り交易管團又は受託輸出機関の實務擔當者又は受託者たらしむること

第三、轉廢業者に對する措置

轉廢業者に對しては別に定むる所に依り轉廢業者資金を交付すること

轉廢業者に對しては別に定むる所に依り轉廢業者資金を交付すること

轉廢業者並に轉廢業者の従業員等

轉廢業者並に轉廢業者の従業員等は其の技能經驗を活用し得る如く考慮しつづ之を軍需其の他の重點部門等に轉換配置する様指導を施すこと

第四、特別の事由あるときは

特別の事由あるときは本要綱に拘らず、別途措置することを得るものとする

第五、交易業整備委員会

整備實施に關する具體的事項に付ては政府の諮問に應じしむる爲日本交易協會に日本交易協會、交易管團、受託輸出機関、關係交易業者等を以て交易業整備委員會を設置し調査審議せしむること

第六、本整備要綱に定むる外

別に之を定むること

交易業整備に依る轉廢業者

及被統合者に付ては商賈、実績等を日本交易協會に登録し置くこと

交易業者六百商社程度に整備

大東亞戰爭の勃發に依つて、政府は昭

和十六年十二月二十二日附を以て極的に貿易業整備要綱を決定發表し

て、これに基き從來の第三國關係輸出業者三千九商社中七百七社を殘存せしめるといふ大整理統制を行ひ、これにより大東亞國中心の新貿易體制を一應樹立したが、その後大東亞戰爭の進展に伴ふ大東亞交易の新たな要請にそはがため第八十一通常議會の協賛得て交易管團を設立したが、更に今回第二次交易業整備行ふに、更に今回第二次交易業整備の四日の開議に報告せられた八日情報局から發表された、今回交易業整備は現在殘存する交易業者總數六千商社に對し、要綱に定められたる基準に照してこれを相當思ひ切つて整理し本年内に結局約六百商社にせんとするもので從つて第二次整理により殘存を許されるものは從來の一割といふことになる

交易轉廢業者資金交付最高十萬圓

【九日】今回決定發表を見た交易業整備要綱に基き轉廢業者に對しては日本交易協會が十萬圓を限度として轉廢業者資金を交付することに決定したが、轉廢業者資金交付規程の主要なる點は左の通りで資金交付を受けんとするものは十二月末日迄に申請書を協會に提出することになつてゐる

一、轉廢業者資金の交付を受ける者は

全輸出実績又は全輸入実績につき轉廢業者する者及び統合體組織に關し輸出実績額の半額以内を讓渡し爾餘につき轉廢業者する者(統合體轉廢業者と稱す)とし左の支給率による、但し會長が必要と認めた場合は政府の承認を経て支給率を變更することがある

支給率

一萬圓以下 一割五分
一萬圓以上 一割二分五厘
五萬圓以上 一割
二十萬圓以上 七分
五十萬圓以上 五分
百萬圓以上 三分

二、輸入業者に對する轉廢業者資金の支給

支給については昭和十五年乃至昭和十七年三ヶ年平均実績額につき前記の支給率を適用する

三、轉廢業者資金交付額の最高限度

は十萬圓とす
四、轉廢業者資金の交付期日は明年三月末日迄とする

交易業整備委員會結成

【九日】右

交易業整備の具體的實施に關し政府の諮問に應ずべき交易業整備委員會は八日結成され、九日委員會規程、轉廢業者資金交付規程、日本交易協會委員登錄規程を發表した、整備委員會は日本交易協會會長長南郷三郎氏を委員長とし、交易協會理事、交易管團理事、輸出受託機關代表者、交易業者および交易に關する學識經驗者等委員以下四十名をもつて組織し整備要綱に基き適格者の選定に當ることになつたが、更に輸入分科委員會および輸出については日貿關係機械、纖維製品、綿糸布、絹人絹、織物、織造製品、綿糸布、絹人絹、織物、織造製品、皮革、農産物、ルロイド、化學製品、皮草、農産物、雜貨、水産物、果物、茶、飲食料

品、合板仕組板、毛麻糸布の十九商

品につき商品別分科委員會を設置し單獨適格者実績に満たざる業者による組織すべき統合體の中核體の選定、適格者実績に満たざる業に者し地域のその他の特殊事情により存置の必要ある特殊適格者の選定および綿糸布間接業者の處置など具體的

事項に關し審議せしめ、萬全の措置を講ずることになつた

輸出実績證明の指定機關決定

【廿二日】戦時下交易業者の計畫的活用を圖り併せて餘剩經濟力を轉換して戦力増強に活用すべくさきに交易業者の再整備に關する要綱が發表され整備の基準を輸出並に輸入の実績(五百萬圓以上)および商品別実績に置くことに決定されたが日本交易協會で大東亞交易局その他關係官廳と協議の結果、今回輸出実績の說明機關を別項の如く指定、廿二日發表した、しかして輸出実績算定の年度を歴年にするか物動年とするかは大東亞省交易局において夫々の證明機關を決定せしめ、また登錄申請一率の決定せしめ、轉廢業者資金交付申請書、実績證明書、轉廢業者資金交付申請書の諸書式は來月早々日本交易協會同會關西支部、地方關係官廳等を通じて業者に配布することとなつた

輸出実績證明指定機關

(綿糸布) 日本綿糸布輸出組合、絹人絹(スフ) 絹人絹輸出振興株式會社(毛麻糸布) 日本毛麻糸布輸出組合(生糸) 日本生糸輸出組合、(纖維製品) 日本纖維製品輸出組合、(化學製品關係) 交易管團、(ゴム製品) 日本ゴム交易株式會社、(セルロイド製品) 交易管團、(合板) 日本合板仕組板輸出組合、(セメント) 交易管團、(皮革) 日本皮革輸出振興株式會社、(飲食料關係) 交易管團、(砂糖) 交易管團、(機械關係) 交易管團、(茶) 日本茶輸出組合、(農産物) 日本農産物輸出組合、(日貿關係) 日本貿易振興株式會社、(雜

會社團體

損保業の統合進歩

【十日】損害保險會社の合同については曩に大倉火災、富國火災の二社合併及東京海上、明治火災、三菱海上の三社の合併を見たが、今回更に(一)東京火災、帝國海上の安田系の二社および第一機織の三社、(二)神戸海上、朝日海上の岡崎系の二社及び共同火災の三社、(三)日産火災および太平洋海上の二社、(四)辰馬海上、大北火災、神國海上及び尼崎海上の四社ならびに(四)東京勤産および東神火災の二社、計十四社の合併が夫々成立するに至つたので十日大藏省から夫々内認を與へた、なほ損保保險會社の數は昭和十六年末四十五社、十七年末三十九社十八年四月三十六社と漸減を辿つて來たが今回の合併により再保險會社の東亞火災を除いて廿社となるに至つた、各社の資本金、合併形式左の如し(括弧内資本金單位千圓)一、東京火災(一八、五〇〇)、内拂込四、六二五)帝國海上(一五、〇〇〇)内拂込三、七五〇)第一機織(五

會社團體

損保業の統合進歩

【十日】損害保險會社の合同については曩に大倉火災、富國火災の二社合併及東京海上、明治火災、三菱海上の三社の合併を見たが、今回更に(一)東京火災、帝國海上の安田系の二社および第一機織の三社、(二)神戸海上、朝日海上の岡崎系の二社及び共同火災の三社、(三)日産火災および太平洋海上の二社、(四)辰馬海上、大北火災、神國海上及び尼崎海上の四社ならびに(四)東京勤産および東神火災の二社、計十四社の合併が夫々成立するに至つたので十日大藏省から夫々内認を與へた、なほ損保保險會社の數は昭和十六年末四十五社、十七年末三十九社十八年四月三十六社と漸減を辿つて來たが今回の合併により再保險會社の東亞火災を除いて廿社となるに至つた、各社の資本金、合併形式左の如し(括弧内資本金單位千圓)一、東京火災(一八、五〇〇)、内拂込四、六二五)帝國海上(一五、〇〇〇)内拂込三、七五〇)第一機織(五

○内拂込(二五)の三社合併によ
り安田火災海上(三三、九〇〇、内
拂込八、四七五)を新設、実行期は
明年二月

一、神戸海上(一五、〇〇〇内拂込
三七五〇)共同火災(一三、〇〇〇
内拂込三、二五〇)朝日海上(七、
〇〇〇内拂込一、七五〇)の三社合
併により同和火災海上(三五、〇〇
〇内拂込八、七五〇)を新設、実行期
は明年三月

一、日産火災(一〇、〇〇〇内拂込
二、五〇〇)が太平洋海上(五、〇
〇〇内拂込一、二五〇)を吸収、同社
の資本金は(六、〇〇〇内拂込四、
〇〇〇)となる、実行期は明年三月
一、辰馬海上(二、〇〇〇内拂込六
〇〇〇)大北火災(四、〇〇〇内拂込六
〇〇〇)神國海上(三、〇〇〇内
拂込一、五〇〇)及び尼崎海上(二
〇〇〇内拂込五、〇七五)の四社合
併により興亜海上火災運送(一五、
〇〇〇内拂込三、七五〇)を新設、
実行期は明年二月

一、東京勲産(二、〇〇〇内拂込五
〇〇)が東神火災(五、〇〇〇内拂
込一、二五〇)を吸収、同社の資本
金は五、〇〇〇内拂込一、二五〇と
なる、実行期は明年一月

更に合併二件内許可【十五日】右
に續き今回日本火災、帝國火災の川
崎系の二社および日本海上千代田火
災の二社は夫々次の通り合併するこ
ととなり、十五日大藏當局より内認
可を與へた

大藏省発表
一、日本火災(資本金一千萬圓、内
拂込四百萬圓)が帝國火災(同一
千萬圓、内拂込二百五十萬圓)を
吸収、合併後の資本金二千六百萬

圓(内拂込六百六十五萬圓)とな
る、実行期は來年三月

一、日本海上(資本金一千萬圓、内
拂込二百六十五萬圓)千代田火災
(同千二百萬圓、内拂込三百萬圓)
の合併により、昭和海上火災(資
本金二千五百萬圓、内拂込六百二
十五萬圓)新設する、実行期は來
年四月

【十六日】興銀調査「九月中の會社
合併決議状況は件數廿七件、合併及
被合併會社數合計二十四社、同資本
金合計二億三千三百萬圓、合併後資
本金二億三千九百萬圓、合併による
資本減少四百萬圓である、同月中の
主なる合併はトヨタ自動車工業の中
央紡績合併(合併後資本金九千九百萬
圓)關東電氣興業の日曹火藥合併(同二
千八百萬圓)日窒鐵業開發の日窒鐵
業合併(同二千百萬圓)等である
が、その他は企業整備進捗を反映し
機械工業を主とする小規模産業の會
社合併が大部分を占めてゐる、詳細
左の通り(金額單位千圓、△印減)

件數 三 △
合併及被合併 七 △
會社數合計 九 △
同資本金合 三三、一七三 △
計 三三、一七三 △
合併後資本 五九、一三三 △
金 五九、一三三 △
合併による 二五、九六四 △
資本減少 四、〇七五 △

【十七日】地方金融の整備と經營合
理化を目標とする地方銀行合同は最
近急速に進展し、十七日現在をもつ
て全國地方銀行數は九十九行と遂に

地銀數百行臺割れ
【十九日】さきに決定せる取引員統
制組合結成要綱に基き、各地取引員
業者は金融統制團體令に依る取引員
統制組合の設立準備中であつたが、
十九日大藏省では同統制組合の設立

百行臺を割るに至つた、さらに目下
石川縣下の加能合同銀行ほか二行山
口縣下の百十銀行ほか五行間に夫々
合併交渉が進行中であり、大體年内
に合併決議の成立を見る豫定で、本
年末の地銀數は九十二行に減少する
ものと見られ、これを昨年五月地銀
統制會設立當時の百六十九行に比す
れば一年有半を以つて六十行を減
少することとなるが、弱少銀行の整
理も大體完了し、金融統制實施の基
盤と略々確立するに至つたので、當
局の積極的勸導指導による地銀合同
は大體これを以て打切り、今後は寧
ろ地方銀行間の業務調整經營制新等
その育成強化に重點を轉ずる模様で
ある

鐵鋼統制會表彰者
決定
【十七日】鐵鋼統制會では
かねて表彰規程にもとづき
昭和十七年度における發明
、功勞、勤続者等を銓衡中
のところにこのほど決定をみたので、
時局柄特に表彰式を行はざつとそれ
ぞれ表彰状を送ることとなつた、表
彰の榮に浴するものは總計十九件、
千五百六十六名で、その項目別内訳
左の通り

△綜合二件△特定四件△發明十九
名(十二件)△功勞三名(一件)
△精勵二一八名△勤績一三二六名

取引員統制組合認可
【十九日】さきに決定せる取引員統
制組合結成要綱に基き、各地取引員
業者は金融統制團體令に依る取引員
統制組合の設立準備中であつたが、
十九日大藏省では同統制組合の設立

を認可し、同時に各統制組合の理事
長の任命らなびに理事及び評議員の
認可を行つた、今回認可された取引
員統制組合は東京以下の九組合で從
來より取引員の少なかつた長岡市の
取引員組合は新潟に、また長崎市の
取引員組合は福岡の取引員統制組合
に夫々統合されたが、右は今後の取
引所整備の方向を示唆したものとし
て注目される、なほ各地取引員統制
組合の理事長は次の通り

△東京徳田昂平、△大阪溝口庄太
郎、△京都六鹿清治、△横濱小島
周次郎、△神戰藤井忠兵衛、△名
古屋河瀬文一、△廣島米田榮次郎
△福岡平野貞一、△新潟大塚佐吉

東商内に企業整備委員會
【十九日】戦力増強企業整備の促進
を力かため今回東京都商工經濟會
内に設置された東京都戰約増強企業
整備協力委員會は十九日第一回委員
會を開催、規程および委員會運営に
關する協議を行つた、會長は藤山東
商會頭、副會長は船田東商理事長、
委員は關係諸團體役員、關係業者、
代表、學識經驗者等廿三名で企業整
備計畫の樹立並に實施に關する指導
を行ふが、特に第三種工業部門商業
部門の整備に關し具體的立案および
建議を行ふ

主要人事
産業設備營團正副總裁發令【廿日】
藤原銀次郎氏の國務大臣就任に伴ふ
産業設備營團首腦部人事は十九日の
閣議で決定を見、廿日左の如く發令
された

産業設備營團副總裁 廣瀬 久忠
臨時倉庫の善處方要望【十九日】
日本倉庫業會では十九日町町區九の
内大東區會館に於て臨時理事會を開
催、臨時倉庫の一元的運営を要望す

産業設備營團理事 金子喜代太
産業設備營團副總裁被仰付 藤原銀次郎
依願産業設備營團總裁被免
北支開發副總裁に中村理事【十八日】
北支那開發副總裁神輿常孝、山西恒
郎兩氏は今回任期満了により辭任、
政府はこれが後任を人選中のところ
同社理事中村孝次郎氏、前鐵鋼統制
會理事長津田秀榮氏をそれぞれ起用
することに決定をみた、

建議意見書
重産協政府に建議【二十日】さき
の臨時議會では可決された軍需會社
法の近く勅、命令令の制定をまつて
實施されるが、重要産業協議會では
二十日「軍需會社法運用に關する意
見」を決定、軍需省に建議し、企業
經營に關する不當なる干渉による綜
合的統制運營の阻害を來たしやう
留意するとともに、軍需省内に關係
各省及び統制會並に軍需會社代表者
による運用委員會を設け運用の適正
を期すべきことを要望した【二十日】
經聯、三意見書を提出

【二十日】
日本經濟聯盟會ではさる七月企業整
備委員會を設置し整備の迅速圓滑な
實施に關する具體案を研究中のと
ころ二十日の委員會で
一、企業整備の計畫及び實施に關す
る希望
二、第一種及び第三種工業部内等の
企業整備に關する意見
三、企業系統の整備に關する意見
を決定、關係當局に建議した

臨時倉庫の善處方要望【十九日】
日本倉庫業會では十九日町町區九の
内大東區會館に於て臨時理事會を開
催、臨時倉庫の一元的運営を要望す

臨時倉庫の善處方要望【十九日】
日本倉庫業會では十九日町町區九の
内大東區會館に於て臨時理事會を開
催、臨時倉庫の一元的運営を要望す

意見書を附議決定、運通省並に陸海軍當局に提出することとなつた

經濟短信

二日 鐘ヶ淵紡績、鐘ヶ淵實業合併總會、鐘ヶ淵工業（資本金三億二千四百萬圓）明春一月發足決る

十日 日糖工業と改名を決定

十二日 日本陶磁器工業設立 大阪、名古屋兩地區工作機械企業集團結成式

十九日 日本倉庫業會臨港倉庫の善處方を當局に要望

二十日 重要産業協議會「軍需會社法運用に關する意見」を決定軍需省に建議△日本經濟聯盟會「企業整備に關する意見書」を提出

二十二日 觀光協會、東亞旅行社に合併

二十五日 工業組合中央會解散總會二十九日 昭和電工倍額増資、資本金二億四千四百萬圓△秋田山口兩縣水産業會設立認可△炭酸マグネ

統制委員會を設置

三十日 秋田、滋賀兩農會認可（二十七日附）

Table with columns: 國債, 外債, 預金, 貸出, 現金及預金, 前月比, 十月末, 前月比. Includes values for various financial metrics.

Table showing public debt and exchange rates. Columns include '公債發行高', '東京手形交換高', '有價證券時價總額', '株式', '國債', '地方債', '社債', '勸業債券', '其他銀行債'.

Table showing economic indicators. Columns include '林業價格總指數', '指數', '流通代金指數', '物價指數', '東京', '日銀調', '東京', '日銀調', '東京', '日銀調', '東京', '日銀調', '東京', '日銀調'.

文化

大元帥陛下陸大、大本營陸軍部に行幸

今同有難き恩賞の光榮に浴した者は曠古の大戦下良く銃後國民の總體たるべき節婦、孝子をはじめ實業、發明、開墾、土木、衛生、社會、公共等各般の事業に特別の功績のあつた人々でその内譯は特別勲章五名、勲に代るべき賜杯（木杯）一名、緣綬並に藍綬褒章下賜百五十七名、褒賞に代るべき賜杯（銀杯）五名、賜金七名計百七十五名に及んでゐる

十五方には、皇后陛下の内旨を奉じさせられ大東亞戦下における地方民の活動狀況特に戦力増強に協力奉公する農山漁村の婦人の活動狀況及びその施設を御視察あらせらるるため五月中旬より十一月中旬に至る間春秋の農繁期にそれぞれ各地方に赴かせられ、本月十三日高松宮妃殿下の愛媛縣御視察を以て御豫定通り御視察日程の全部を御終了あらせられたる御成地方は一道二府二十六縣に亘り各地方における主なる御視察箇所は季節託兒所、母子保健及び乳兒保健施設、健康相談施設、産院、遺家族授産施設、銃後奉公施設、方面事業施設、學生生徒の勤勞奉仕などであつて、かくの如く廣範圍に亘り恐れ多くも各妃殿下が親しく山村僻地に至るまで具さに御足跡を印せられたることは今回が初めてである

皇后陛下白衣勇士に菊花下賜

【廿一日】 故宮永信政陸軍大將邸に勅使御差遣△故宇宿行輔陸軍中將、鈴木文次郎陸軍少將に幣帛並に祭料下賜

皇太后陛下瀨療養所に御下賜金

【廿二日】 佛國大使葬儀につき御名代として閑院宮戴仁親王殿下御差遣

各妃殿下の地方巡視御終了

【廿三日】 新嘗祭御親祭

恩賞

【廿九日】 皇后陛下青山御殿行啓

宮廷録事

【四日】 清水光美、小池四郎兩海軍中將等六提督に賜調△大東亞代表賜調

中將等六提督に賜詔

定期勲

陸軍中將勳一等 樋口季一郎
陸軍中將勳二等 横山 助成
廣島縣知事勳二等 眞島 利行

陸軍中將勳二等 沼田多稼藏
海軍中將勳二等 高木 武雄
陸軍中將勳二等 堀内 茂禮
陸軍中將勳二等 鈴木 宗作
臺北帝大教授勳二等 安藤 一雄

一般

出版決戰體制を確立

【四日】政府は皇國文化と戰意の昂揚並に對外宣傳の強化に遺憾なからしめるため、かねて出版事業の整備に關し、情報局を完了すること、この報

程成案を得たので、四日の繰上閣議に「出版事業整備要綱」を附議、天羽情報局總裁より詳細説明、これを決定し情報局より左の如くその内容を發表した
△出版事業整備要綱
一、第一 總則

一、本要綱に依る整備の対象は出版事業令の適用を受くる出版事業とし概ね左記に依り之が整備を行ふこと
○日本出版會會員たる事業主の行ふ出版事業の整備は本要綱に依り主務官廳監督の下に日本出版會をして之

を行けしむること、官廳外團體、政治思想團體、學術研究團體等の行ふ出版事業の整備は之と併行して當該關係官廳協議の上別途之行ふこと
○日本出版會會員に非ざるもの行ふ出版事業の整備は本要綱の趣旨を參酌して當該地方廳をして之を行はしむること
二、整備に當りて特に左記諸點に留意すること

○出版事業の公的性格を確立し揚せしむること
○出版事業の經營的基礎を確立し其の企業力に實踐力を強化すること
○可及的に事業體刷を確立し創意と工夫とを最高度に發揮せしむること
○勞務並に資材の重點的活用を圖ること
○出版事業の地域的配布を考慮すること
○印刷、製本の緊密なる聯繫を確保すること
○著作權者及出版事業體との有機的關聯を考慮すること
三、整備は原則として自主的統合に依りて之を行ふものとし必要ある場合は出版事業令を發動すること
四、整備は直に着手し可及的に之を完了すること
第二 整備の方法
一、整備は出版事業の性格、規模及出版部門等を勘案し其の綜合制定に基きて之を行ふこと
二、日本出版會會員にして左に掲ぐるものに付ては原則として其の出版事業を廢止せしむること
○性格に於て不適當と認むるもの
○正當の理由なくして一定期間出版活動を爲さざりしもの
○書籍を發行する會員にして最近一年間に於ける割當用紙量五千所未満のもの但し性格優良と認むるものを除く
○副業とし

て出版事業を行ふもの
三、前號に依り出版事業を廢止するものと一定期間内に自發的に出版事業を廢止するものとの對しては日本出版會をして其助金を支給せしむること
從業者の共助に付ては當該事業主をして之を行はしむること
四、前號に掲ぐるもの以外の出版事業主に付ては別に定むる
出版部門毎に適正なる規模並に適正なる事業體數又は誌數を定め之を目標として合同又は買収に依る統合を行はしむること
統合の條件は當事者の協議に依る原則とする
五、新事業の具備すべき要件概ね左の如し

○優良なる性格を有すること
○適當なる規模を有すること
○適當なる統合を完了したるものなること
○適當なる企業編輯組織を有すること
○原則として出版事業を專業とすること
六、日本出版會に出版共助資金を設け新事業體をして之を負擔せしむること
七、日本出版會に主務官廳指導の下に資格審議會及企業整備委員會を設けしむること
資格審議會は事業體の資格並に事業體數又は誌數等に付審議し企業整備委員會は資格審議會に於て審議するものを除くの外企業整備の實施に關する事項に付審議するものとする
八、企業整備の實施に關する重要な事項に付ては主務官廳の承認を受けしむること

出版事業整備資格審議會

【二十日】出版業界の刷新強化を圖るため、さきに出版事業整備要綱が決定發表されたが、これに基き日本出版會では官廳側より情報局橋本第二部長、町村內務省警保局長、阿原文部省國民教育局長、松村陸軍省報道部長、栗原海軍省報道部長、永村農商省纖維局長、出版會久富理事長、外四理事、一般より鹿子木員信氏外八名の委員をもつて資格審議會を設置、その第一次會議を十九日午後二時から情報局第四會議室において開催、今後の審議具體策につき協議したが、席上天羽情報局長は出版事業が皇國文化の發揚並に思想國防の強化に重大なる影響を持つ點に遺憾なきやう出版事業の公的性格を明徴ならしむることが眼目であり出版事業は今や個人の趣味又は利害打算によつて行はるべきではなく、その國家的使命の重大なるを自覺し天下の公器として運営すべきであると當局の整備方針を闡明した

雜誌買切制實施

【廿四日】日本出版會ではさきに書籍に對して畫期的な買切制を實施、當初においては多少の議論もあつたがすでに缺陷も補はれこの戦時下出版の新體制も一應軌道に乗つて來たので來る昭和十九年一月からその實施範圍を雜誌にまで擴大と決定したかくて自由主義出版事業の殘滓たる委託販賣制は完全に一掃され、雜誌に對する買切制は昭和十九年一月號（二月一回以上發行のもの同第一號）から實施されるが、已むを得ぬ事情からあるものに限り三月十五日まで延期が認められ、その決定は日本出版會が保持する、また創刊、題號變更のものと日本出版會の承認により新刊（週刊一號、月刊一號、旬刊一號、一六號、月二回一號、月刊一號、月刊一號、三月一號、四月一號、月刊一號、二月一回一號、月刊一號、月刊一號）の委託販賣が許される

映畫誌を二種に統合

【九日】出版企業整備令とともに「映畫雜誌」の統合再編成は著々と業者間において進捗してゐるが、このほど演劇、美術誌の自主的統合につづいて映畫雜誌が二誌に統合決定を、新巻一月號を期して發行される「映畫旬報」「新映畫」「映畫技術」「映畫新聞」「新映畫」「映畫研究」「文化映畫」「映畫脚本」「映畫評論」「映畫の友」「日本映畫協會發行の「日本映畫」「刊畫」の十誌であるが、新たに日本映畫協會の發展的改組を機に日本映畫出版株式會社を創設、研究評論技術誌の専門的、的「映畫評論」と一般大衆向の鑑賞指導誌「新映畫」の二種となつたものである、なほ新設の出版社には南部圭之助、高田俊郎兩氏が専務理事に就任決定し新發展する

明治神宮歌詠歌披露式

【十一日】明治神宮歌詠歌「海上船」の披露式は十一日午後一時から同神宮大前において行はれた、本年度の歌詠は秩父宮妃殿下を始め皇族王公族各殿下御十六方の御歌詠を始めとて全國及び海外殊に第一線勇士並に白衣勇士よりの歌詠約七千九百數

十首に達し、又出征將士並に傷病軍人からの獻詠歌中からも三名が選歌の榮を得た

東京新聞社長に遠藤柳作氏就任

【十三日】社団法人として去る九月一日新發足した東京新聞社では、この理事會々議の結果元内閣書記官長、貴族院議員遠藤柳作氏を初代社長に選定、監督官廳に認可申請中の處十一日主務大臣の正式認可があつたので、正式就任することとなつた

大東亞新聞大會

【十七日】大東亞新聞大會は十七日午後一時から丸の内大東亞會館三階大廣間で盛大な開會式をもつて開幕した、定刻國民儀禮につづいて日本新聞會々長田中都吉氏の開會の辭、天羽情報局長、青木大東亞相の祝辭、中國國民政府宣傳部長林柏生氏の祝電朗讀、張滿洲國事務總理、ビ

ンタイ國首相、バー・モウビルマ國總理、關東軍、南方軍兩報道部長各地域軍政、民政監部等各方面よりの祝電が披露され終つて陸軍報道部長松村秀逸大佐、海軍報道部長代理田代格中佐の講演あり、午後三時歴史的開會式を終つた

【十八日】「大東亞新聞大會」本會議第二日は十八日午前十時から大東亞會館三階大會議場で、各代表の言々火を吐く熱議がつけられて行つた、まづ議長に高石眞五郎(毎日新聞社社長)、副議長に高橋雄射(讀賣新聞社社長)、東季彦(北海道新聞社長)、許力求(中國)、セマ

リニ(タイ)、李雅森(滿洲)、パウチヌ(フィリピン)、ウ・トン・タ

ン(ビルマ)の八氏がそれぞれ推舉され、盟邦ドイツ國新聞協會會長ワイス氏から寄せられた祝電を披露、更に將兵感謝決議の動議提出、文案を讀み上げ満場一致で可決した

各國各地代表の發言は日本代表緒方竹虎氏(朝日新聞主筆)、中華民國代表許力求氏(中華日報社長)、タイマイ代表セイ・マー・ニン氏(タイ・マイ紙主筆)、滿洲國代表李雅森氏(康徳新聞社編輯局長)、フィリピン國代表イカシアノ氏(サンデー・トリビュン紙主筆)等各代表の發言を終り、午前十一時半一旦休憩し外代表一行四十一名は首相官邸を訪れた

午後三時半再開スマトラ代表のウ・ネゴロ氏發言の後ビルマ代表のフ・トン・タン氏に對して全インド人ならびに新聞人に對し同情と熱意を示す決意を有する決議の提議、高石議長これを採擇して、左の決議を可決した

大東亞全域の新聞人東京に會して大東亞共榮の理想達成に貢獻すべき言論報道人の使命を諷するに當り、われらの隣邦インドがいまなほ米英の鐵鎖の下に苦惱しつつあることを思ひ轉た同情の念に堪へず、われらの同志たるべき全インド新聞人の健在を祈るとともに相携へて共同の敵と戦はんことを期す

十一月八日 右決議す

大東亞新聞大會

つづいて自由發言に移り中國代表の陳重光氏(新民報社編輯局長)から意見開陳あつてのち日本代表の小汀利得氏(産業經濟主筆)から「新聞聯合團體組織」に關する動議の提出

あり高石議長から委員長正力松太郎(讀賣社長)、委員、阿部賢一(毎日新聞主筆)堀義貴(同盟通信理事)小坂武雄(信濃毎日社長)セイ・マー・ニン(タイ國)松方義三郎(滿洲國)イカシアノ(フィリピン國)ウ・トパン・トウ(ビルマ國)胡山(香港)バン・トウ(セレベス)以上十氏を指合ありかくて午後四時散會した

【十九日】第三日の十八日定刻九時三十分には代表八十五名がもれなく會場に參集した

日程に先立つて歐洲新聞協會聯盟本部並にドイツ國デイトリツヒ新聞局長からの祝電をDNB通信東亞總局長ワイゼ博士が朗讀し日本代表小汀利得氏は、委員に小汀氏ほか十氏を指名した、ついでこの日の自由發言の先頭としてフィリピン國ホセ・パウチヌタ氏は新生フィリピン國新聞事業の現状を説明、中國張伯

薩氏、ビルマ國ウ・トン・ペー氏セレス、パントウ氏、中國秦墨晒氏の發言があり、高石議長から印度救援決議文は日本放送協會によつて各國語に翻譯録音され全世界に放送された旨報告した、更に皇軍將兵感謝決議に對し陸海軍報道部長を代表して松村陸軍報道部長から謝辭があつた

頭に立つ者、同心協力、全身全靈を傾けつて米英の詐術謀略を撃攘し、亞細亞興隆、世界平和確立の大使命遂行に挺身せんことを期す

議長は急激の拍手をもつてこれを迎へ、宣言案が華語、英語に譯讀されるたびに力のこもつた拍手がくり返された

かくて高石議長日程終了を宣し、フイリピン國フランススコ・イカシアノ氏起つて議長に感謝の挨拶を述べ、中國許力求氏から主權者に對する謝意表明、田中日本新聞會々長の開會の辭、古野同盟社長の發聲で聖壽萬歳を奉唱、中國許力求氏の發聲で大東亞萬歳を唱へて三日間にわたる總親和の歴史的大會の幕を閉ぢた

大東亞全域の新聞代表同志我等、ここに會堂して大東亞戰爭完遂と大東亞建設に貢獻すべき新聞の使命を顧るに亞細亞は敵米英の政治的制壓と經濟的搾取とに呻吟し、その宣傳謀略の跳梁に委ねられること數十年の久しきに及ぶ、然るに萬邦共榮の公道を踐める大東亞戰爭ひとたび勃發するや、大日本陸海軍の雄渾なる作戦と「亞細亞は一つ」の大東亞十億の大信念とは忽ち凝結して曠古の大戦果となり、亞細亞を縛する米英の政治的經濟的鐵鎖一朝にして寸斷され、謀略の網、宣傳の機關亦一舉にして破潰されて了つた、かくて亞細亞は我等の亞細亞にかへり、思想戰の機能亦亞細亞本然の體制を恢復したのである、執拗なる米英の反攻、誦詐極りなきその謀略宣傳、なほ侮りがたきものありと雖も、大東亞戰爭完遂、大亞細亞建設の信念

益々固きを加ふ、時恰も歐洲にありて獨逸並に盟邦諸國、我等と理想を同じうして起ち、世界新秩序建設の大旗のもと、共同の敵米英の野望粉砕に奮戦しつあり、その善謀力戰に對してはこの機會において深甚なる敬愛を表するものである

さきに大東亞各國代表東京に會して共存共榮、獨立親和、文化昂揚、經濟繁榮、世界進進貢獻の五大原則を中外に宣言す、これ實に大亞細亞精神の神髓といふべく、また以て世界恒久平和確立の大憲章となすに足るしかしてこの大憲章實踐具現の一翼を擔ひこれを敷衍し、これを滲透徹底せしめて兆民の血液たらしむるは實に我等新聞人の責務に屬す

我等言論報道の陣に據り思想戰の先頭に立つ者、同心協力、全身全靈を傾け、誓つて米英の詐術謀略を撃攘し、亞細亞興隆、世界平和確立の大使命遂行に挺身せんことを期す

大東亞新聞協會結成

【十九日】「大東亞新聞大會」の熱烈眞摯な討議を経て新發足を遂げる大東亞新聞協會は高石議長より任命の理事として六つの獨立國代表日本田中都吉(日本新聞會會長)、中華民國許力求(中華日報社長)、タイセイ・マー・ニン(タイ・マイ紙主筆)、滿洲國松方義三郎(滿洲新聞協會會長)、フィリピン堀尾浩一(マニラ新聞社トリビュン紙)、ビルマウ・トン・ペー(バー・マキト紙編輯長)の六氏が初代理事に就任、第一回理事會を午後二時から大東亞會館三階別室において開催、初顔合せを行った結果、「大東亞新聞協會」

に關する規程を發表し規程に基いて互選により田中郡吉氏理事長に新任し連絡事務局局長を兼任して日本新聞會内に「大東亞新聞協議會」連絡事務局を設置することになつたほか顧問は各國代表が歸國の上改めて各理事間の文書交換により決定、理事は各國と十名以内(但し日本は新聞社多數のため廿名以内)とし外地代表理事も各地代表が歸國の上軍政廳部の諒解を得てこれを決定することなど措置を完了して同二時四十分散會した

△大東亞新聞協議會規約
第一條 本會は大東亞新聞協議會と稱す
第二條 本會は大東亞に於ける新聞界の大同團結を以て大東亞の建設を推進し併せて相互の親睦啓發を圖り興亞大業の達成に協力することを目的とす
第三條 本會は大東亞圈内に於ける公認新聞團體及其の推薦する新聞社並通信社を以て組織す、公認新聞團體なき地域に於ては關係當局の推薦に依る
第四條 本會は前條の目的を達する爲に左の事項を行ふ
○大東亞新聞大會に關する事項
○新聞編輯に關する協力共助に關する事項
○新聞人の視察研究に對する便宜供與に關する事項
○其の他本會の目的達成に必要な事項
第五條 本會は大東亞圈内諸國又は諸地域に事務所を置く
第六條 本會に左の役員を置く
○顧問若干名
○理事長一名
○理事若干名
○連絡事務局局長一名

第七條 顧問は理事會之を推薦す、顧問は理事長の諮問に依り職務を參事す
第八條 理事長は理事の互選に依りて決す、理事長は本會を代表し業務を統轄す、理事長事故あるときは理事長の指名する理事之を代理す
第九條 理事は各地域に於ける公認新聞團體の推薦に依りて決す、公認新聞團體なき地域に於ては關係當局の推薦に依る
第十條 連絡事務局局長は理事會に諮り、理事長之を選任す
第十一條 理事長、理事及連絡事務局局長の任期は三年とす、但し再任を妨げず
第十二條 理事會は必要の都度理事長之を召集し本會の事業遂行に關する重要事項につき審議す
第十三條 本會の事務を處理する爲東京に連絡事務局を置く
第十四條 本規定の變更は理事會に於て決定す
日本新聞協會發展の解消【十九日】
「大東亞新聞協議會」が生誕したのを機に日本新聞協會はここに發展的解消を遂げることとなり、同日午後情報局を通じて聲明書を發表した

日滿間に初の模寫電信實施
【廿六日】 通信院では豫て滿洲電信電話會社と協議の上東京、新京間に模寫電信業務を開始すべく準備を進めてゐたが、このほど設備端整つたので、いよいよ来る十二月一日から本邦最初の公衆業務を實施し模寫電報の取扱を開始する、模寫電報の特徴は發信人が頼信紙に記載した文字、簡単な圖表等がそつくりそのまま連續的に電送されて、寫眞電信のやうに現象の必要もなく、取扱操作も比較的簡便なものであつて、この通信方式の實現は我國電氣通信史上に一新紀元を畫したものである
この電報が普及されると従来の片假名電報は漢字電報へと移行行くこととなり、特に國語文字の異なる大東亞共榮圈内の電信はこれによつて劃期的な進歩が期待される
△模寫電報として取扱ふもの
葉書大の電報類信紙に墨、黒色のインキ又は鉛筆等で記載した文字、記號、簡単な圖表類で次の條件を備へたもの
①鮮明なこと
②餘り緻密に過ぎないこと
③文字は凡そ四號活字以上のこと
△受付局は當分のうち次の電信局及郵便局とする
東京中央、室町の各電信局、日本橋神田、京橋、深川、東京中央、本郷日本橋通、新橋、菱町、芝、麹町、本所、兩國、小傳馬町、京橋通、淺草、下谷、築地、兜町の各郵便局、右以外の地方からは郵便で前記の一局へ差出すこと
△取扱時間 受付時間は一般電報に同じ、電送時間は差當り毎日午後十一時から翌日午前八時まで
△取扱制限 信紙一枚につき五圓の特許取扱をしない
△直配達區域 「本邦側」日本橋、本郷、本所、神田、深川、麹町、赤坂淺草、京橋、芝、下谷の各區
「滿洲側」新京市
右以外の本邦及滿洲の各地宛のものに對しては無料速達郵便により配達する

皇國農民必勝の誓を制定

【十九日】 中央農業會では今回左の如き「皇國農民必勝の誓」を制定、来る十二月八日を期し重大時局突破の決意を愈々堅くし全國農民打つて一丸となつてこの誓の下に戦時下國內食糧の絶対確保に邁進することとなつた
△皇國農民必勝の誓
一、大詔奉戴、必勝の信念を堅持し米英擊滅に邁進せむことを期す
一、盡忠報國、至誠を捧げ國民食糧の自給確保に挺身せしむことを期す
一、一家和親、心身を鍛練し戰爭生活に徹せむことを期す
一、隣保協力、皇國農村を確立し、民族力の根基を鞏固ならしむことを期す
一、八紘一宇、大東亞共榮圈を確立し、道義世界を建設せむことを期す

學術

中等教員に獎勵金

科學振作の範圍擴張
【二日】 飛躍的な生産擴充の礎となる科學教育の振興については文部省を中心として種々の施策を實施してゐるが、そのうち科學研究獎勵金については従來高等專門學校以上の少壯有爲の科學研究者の國家有用研究に對し交付してきたのを、本年度はこれが交付を師範學校教職員にまで擴張したが今回さらにその一部をもつて中等學校教職員の科學研究者または科學教育研究者中優秀なる者を

選抜して獎勵金を交付し中等學校高等女學校實業學校などにおける理科教育者を鞭撻し中等教育における科學振作の一助とすることになつた
本年度交付金の總額は二萬五千圓交付件数は全國で百三十六件であるが當局ではこれによつて中等學校理科教職員の奮起を期待してゐる、獎勵金受領者のうち東京都關係は左の通り
△「界面物理學研究」十文字高女桑山喜穂教諭、△「覺醒アミン類の合成的研究」聖心女子學院高女、篠塚きよし教員、△「金屬飛行機製作の基礎となるべき板金工作指導の研究」航空工業山崎文雄教諭外一名、△「麥芽と水飴の研究その他」井草高女守邦かをる教諭、△「食用植物の研究」聖學院中學田澤康夫講師、△「東京都における昆蟲相の調査研究」巢鴨商業加藤正世教諭、△「重要栽培植物(とくに大豆)」の細胞遺傳學的的研究」早稻田中學唐澤光太郎教諭、△「工業植物の諸性能と組織との關係」電機工業佐藤茂樹教諭△「ミジンコウキクサの生態」第七中學中路正義教諭△「女學校低學年生物教材の取扱について」聖友女學校浦口眞左教員

科學動員の中核學研の新態勢

【廿六日】 文部省では去る八月二十日閣議決定を見た「科學研究の緊急整備方策要綱」に基き學術研究會議の官制を改正二十六日付官報を以て公布、決戦科學陣を強力に推進することになつた
右官制改正に基く學術會議の初代會長には前氣象臺々長理學博士岡田武松氏副會長には厚生科學研究所長暨

學博士林春雄、東大名譽教授法學博士穗積重遠の兩氏が夫々廿六日內閣より正式任命される事となつた、政府においては學術研究會議が我國獨自の立場における科學振興の機關たるべく科學及びその應用に關する研究の連絡統一および促進獎勵の機關としての性格を強化するため、今回の官制改正に基いて自然科學關係の會員を從前の二百名から三百三十名に増員し、且つ新たに人文科學關係の七十名も増して一躍四百名とし内地及び朝鮮、臺灣の帝大總長をはじめとし全國の主要な科學研究機關の代表者と優秀な科學者とを網羅しこれを夫々專門部門に分屬せしめ整然たる科學陣營を確立することになつた、なほ動員運營の機關として學研内に會員及び各高等官に依り約五十名の委員を以て科學研究動員委員會を設置することとなり近く正式に文部大臣より發令されるが、既に暫定の委員に依り戰時下における重要研究課題が検討せられつつあり、各大學專門學校の教授陣を總動員し研究課題に基く約百の協同研究組織が學研内に設けられる見込で、來月初旬開催される第一回の動員委員會に附議決定を見る筈である、而して今回の官制改正の眼目は從來會長、副會長は推薦制であつたがこれを廢して内閣において正式任命し、その任期も各々三年とし、更に學術研究會議に科學研究動員委員會を設置したることである

學士院會員推薦

【十二日】帝國學士院では東北帝國大學總長熊谷竹藏氏を會員に推薦すべしと決定した

【廿四日】文部省では學士院會員河津暹氏の死去に伴ふ缺員補充慶應義塾長經濟學博士小泉信三氏を推す事になり廿四日次の如く發令された

文藝・美術

【廿五日】貴族院議員小野塚喜平次氏(學士院出身)の議員辭職に伴ふ補缺選舉は廿五日午後二時より上野學士院會館において執行、開票の結果、法學博士山田三良氏が當選した

芭蕉翁二百五十年忌 獻詠發表會【十四日】俳聖芭蕉逝いて二百五十年日本文學報國會では東京、大阪をはじめ俳聖ゆかりの地大津上野等において二百五十年忌ならびに獻詠句會追悼法要など盛大に行けるが、帝都では十四日午後五時半から神田共立講堂で芭蕉二百五十年忌並に獻詠發表會が開催された

俳句部會長高濱虛子氏俳句會を代表して「安んぜよ銀河の流れとこしへに」と獻詠、ついで全國から募つた獻詠中入選句二千句と會員獻句を神前に獻げて式典を閉じ、休養後第二部に移り獻詠五千句から特選された關東の部二百四十句を選者夢人、蛇笏、亞浪、井泉水、風生、一碧樓、虛子、かな女、秋櫻子、青柳、水巴等各自の選句を朗誦、又志田義秀・小島政二郎氏の講演及び俳句部會員

獻詠作品發表があつた 芭蕉翁墓前祭【二十一日】大日本文學報國會大津市共催で、廿一日午前十時大津市馬場義仲寺において全關西の俳人五百名が參列盛大な墓前祭を執行した、同寺住職三浦道海師範となりしめやかな讀經に次いで甲賀三郎氏の挨拶、高濱虛子氏の追憶文朗讀があり、引續き午後一時より同市平野國民學校において青木月斗萩原井泉水氏等が選者となつて關西俳人五百名が出席盛んなる句會を舉行、また同校に遺墨展を開催した

生誕地墓前祭【廿三日】上野市に於ける墓前祭は二十三日午前十一時から同市愛染院故郷塚で舉行され、文報俳句部長高濱虛子氏をはじめ關係者多数參列した、なほ引續き午後一時から同市公會堂で講演會と俳句大會が開かれ萩原井泉水、伊藤月草、菊山當年男三氏の記念講演があつた

徳田秋聲氏の餘榮 【三十日】畏き邊りでは去る十八日逝去した、帝國藝術院會員徳田末雄(秋聲)氏の葬儀に先立ち廿日靈前に幣帛下賜の御沙汰あらせられた

國民學校教育報國隊の發足 【十八日】東京都國民學校教育報國會結成式は十八日午後一時から九段中學で大達都長官、生悅住教育局長、國民學校長八百二十三名列席の下に舉行された

海員救濟援護會役員決定 【廿九日】さきに改組新發足した社團法人日本海員救濟援護會は役員の詮衡をすすめてゐたがこの程決定で廿六日運輸通信省の認可を得たので廿八日左の如く發表した

東洋體協會解消 【七日】日本、滿洲國、フイリピン三國に依つて設立されてゐた東洋體

宗教

佛教六大學を單一化

【十五日】「教育戰時非常措置方案」に基き文科系統大學の整理統合は著々構想が進められてゐるが、各大學にさきかけて佛教大學が一つに統合される、現在佛教大學としては大谷大學、龍谷大學、高野山大學、駒澤大學、立正大學、大正大學の單科大學があるが、何れも大日本佛教會で協議を重ねたうへ十五日午後一時から駒澤大學々監西澤頼應氏ほか五名佛教會理事ら參集、「佛教大學整備委員會」を開催、各大學の歴史的、宗派的條件、在學生人數その他に對して意見を交換した結果

△現存の各宗派單科大學が専門學校に縮小△各宗派大學の現財團をそれぞれ持寄つて權威ある一大學の設立△大學に豫科を設けず専門學校卒業者を入學させる

△意見を一一致をみた

明治神宮全國大會 【三日】本年度第十四回明治神宮國民鍊成大會全國大會は、菊花薫る十一月三日明治節の佳日を期して全國各會場一齊に開幕された、この日長くも高松宮殿下に川口市、小石川蒲田、各地區大會に台臨あらせられ小泉厚生大臣は激勵の辭を明治神宮外苑競技場東京都澁谷區地區大會から全國に送つた

明治神宮中央大會 【七日】第十四回明治神宮國民鍊成大會秋季中央大會は三日の明治節の全國大會に引續き七日午前九時から日比谷大廣場に開かれた大東亞民族の祭典「大東亞結集國民大會」に呼應して長くも總裁高松宮宣仁親王殿下の台臨のもとに明治神宮外苑競技場で舉行された嚴肅なる開會式の後競技に移り、國鐵従業員八百名の體操を皮切りに呼物の各種の公開演練が競技場一面に展開された、當日午後東條首相を初め大東亞會議參列の各國代表も參觀、東條首相より參加者に對し激勵の辭があつた

東洋體協會解消 【七日】日本、滿洲國、フイリピン三國に依つて設立されてゐた東洋體

教育

國民學校教育報國隊の發足

【十八日】東京都國民學校教育報國會結成式は十八日午後一時から九段中學で大達都長官、生悅住教育局長、國民學校長八百二十三名列席の下に舉行された

海員救濟援護會役員決定

【廿九日】さきに改組新發足した社團法人日本海員救濟援護會は役員の詮衡をすすめてゐたがこの程決定で廿六日運輸通信省の認可を得たので廿八日左の如く發表した

東洋體協會解消

【七日】日本、滿洲國、フイリピン三國に依つて設立されてゐた東洋體

厚生

海員救濟援護會役員決定

【廿九日】さきに改組新發足した社團法人日本海員救濟援護會は役員の詮衡をすすめてゐたがこの程決定で廿六日運輸通信省の認可を得たので廿八日左の如く發表した

東洋體協會解消

【七日】日本、滿洲國、フイリピン三國に依つて設立されてゐた東洋體

明治神宮全國大會

【三日】本年度第十四回明治神宮國民鍊成大會全國大會は、菊花薫る十一月三日明治節の佳日を期して全國各會場一齊に開幕された、この日長くも高松宮殿下に川口市、小石川蒲田、各地區大會に台臨あらせられ小泉厚生大臣は激勵の辭を明治神宮外苑競技場東京都澁谷區地區大會から全國に送つた

体育

明治神宮全國大會

【三日】本年度第十四回明治神宮國民鍊成大會全國大會は、菊花薫る十一月三日明治節の佳日を期して全國各會場一齊に開幕された、この日長くも高松宮殿下に川口市、小石川蒲田、各地區大會に台臨あらせられ小泉厚生大臣は激勵の辭を明治神宮外苑競技場東京都澁谷區地區大會から全國に送つた

明治神宮中央大會

【七日】第十四回明治神宮國民鍊成大會秋季中央大會は三日の明治節の全國大會に引續き七日午前九時から日比谷大廣場に開かれた大東亞民族の祭典「大東亞結集國民大會」に呼應して長くも總裁高松宮宣仁親王殿下の台臨のもとに明治神宮外苑競技場で舉行された嚴肅なる開會式の後競技に移り、國鐵従業員八百名の體操を皮切りに呼物の各種の公開演練が競技場一面に展開された、當日午後東條首相を初め大東亞會議參列の各國代表も參觀、東條首相より參加者に對し激勵の辭があつた

東洋體協會解消

【七日】日本、滿洲國、フイリピン三國に依つて設立されてゐた東洋體

育協會では七日正午から神田岸記念體育館で臨時總會を開催、日本側より末弘殿太郎、久富達夫、澤田一郎、高島文夫の諸氏、滿洲國側より神守源一郎、閻德潤、鈴木良徳、フイリビンよりイラン博士が各代表として出席、劈頭イラン博士より國際情勢の變化に依つて日、滿、比三國のみの東洋體育協會の存在は無意味なものとなつた、この機會において即時同會を解散せしめ、新時代に即應せる大東亞各國を一九としたものを樹立すべしとの提議を採擇、審議の結果三國の同意により此處に昭和十年以來日滿比三國の體育大會を統轄して來た東洋體育大會は解消される事となつた

大東亞體育代表者會議

【八日】大東亞體育代表者會議は八日前十時から第一ホテルで滿洲體育聯盟神守源一郎氏、中華全國體育會常務理事張超氏、タイ國駐日大使館ナワサワット一等書記官、ビルマ國駐日大使館ウ・バ・モン文教官、フイリビン體育協會イラン名譽主事、大日本體育會後藤副會長、郷理事長、平沼顧問、永井評議員ら五十餘名出席して開催、郷理事長の開會の挨拶に續いて議長に滿場一致で平沼亮三氏を推薦、ついで(日本)後藤文夫氏、(中華)張超氏、(滿洲)閻德潤氏、(タイ)ナワサワット氏(ビルマ)ウ・バ・モン氏、(フイリビン)イラン氏の各國代表の挨拶があつた後左の宣言を決議した

△宣言

抑も大東亞戰爭の目的は東亞を米英の極權より解放して以て道義に基く世界新秩序を建設するにあり、今回

大東亞各國代表は東京に大東亞會議を開催し、右目的遂行に關する鞏固なる決意と方針とを同じくする旨を全世界に明示せり、この歴史的會議の決定せるところに基き吾人各國の體育關係代表者は此處に相會して新なる理念の下に大東亞體育文化を創造し、左記要領に準據し、相互の理解と協力により大東亞全民族の體力氣力を徹底的に鍊磨育成し以て戰爭目的の完遂に寄與せんことを誓ふ

一、大東亞各國は東亞の傳統と創造性に基き在來世界に浸潤したる米英的體育理念より輝脱し國民の體力氣力の鍊成強化に全力を盡さんことを期す

二、大東亞各國は國民體育に付き一致協働の實を擧ぐるがため、新なる指導原理の下に大東亞體育組織を確立し以つて纏て樹立せらるべき世界體育組織の基礎たらしめん事を期す

三、大東亞各國は夫々國民體育の振興を圖るが爲め有無相通じ長短相補ふの精神の下に人的並に物的に相互援助の實を擧げんことを期す

續いて此の宣言に示された三要項の強力なる實行機關設置に關し各國代表が自熱的の論議を交した結果大東亞體育協會設立を滿場一致可決し、現狀に即した實行可能なものから實施の建前で左の六要項を決定

- 一、體育運動指導統轄機關との連絡及び會議の開催
- 二、體育運動に關する諸般の指導並に研究調査
- 三、體育運動指導者の連絡常置機關の設置
- 四、各地域體育大會の開催並に講演
- 五、體育運動用具及び資材に關する

調査並に調整 六、本會の目的達成に必要な出版物の刊行

そのほか同協會の事務局を大日本體育會内に置いて協會の組織作成に當ることや各國東京駐在連絡員一名をおくことなどを申合せたのち各々の體育界の現状説明などあり米英的の理念から輝脱した東亞的體育指導理念確立の輝かしい收獲を收めて閉會した

日 鍊 誌 成

【三月】第十四回全日本力士選手権明治神宮奉納相撲(神宮)

優勝双葉山△關東庭球選手権最優勝(神宮)

終日(田園)優勝男子卓球原(日立) 同復鶴原楠本(日立) 女子卓加茂田(田園) 同復加茂、大浦(田園、東俱) 卅年單關澤(田園) 同復長堀、志村(田園)

【七日】日本野球秋季公式試合最終日、秋季優勝西鐵、本年度優勝巨人軍、秋季首位打者坪内(朝日) 一年通計首位打者吳(巨人)

【十四日】早慶陸球最終日(早大) 慶9-0早

【十五日】第三回日本野球優秀選手選抜東西對抗東戰最終日(十三日)

【廿一日】關東産業人賞業團蹴球大會最終日(神宮) 日立製作22-18三井精機

【廿三日】大相撲大阪場所千秋樂(十一日-廿三日) 一六五對一〇四

西軍優勝、羽黒山全勝△第七回日本野球優秀選手選抜東西對抗西戰最終日(廿一日-廿三日) 東軍連勝△早慶出陣學徒蹴球(外苑) 早25-2

慶△大學高專出陣學徒選別蹴球(東大) 殘留組2-0出陣組△國民野球(込) 5-0全日立(立川)

【廿八日】實業團籠球試合決勝(國體館) 優勝男子鐵興社、女子保險局△第五回日本野球關西電鐵爭覇戰、優勝阪神

檢察裁判

「教育疑獄」有罪決定

【十五日】帝都中等學校の入学に絡む所謂「教育疑獄」事件は一般社會並に児童に及ぼす影響を考慮し、東京刑事地方裁判所検事局では去る四月二十三日記事の掲載を差止め野村検事を主任とし外數名の検事が警視廳捜査第二課を管轄秘裡に府立市立(都立)男女中等學校十四校の教職員約六十名、國民學校八十校の教職員約百五十名並に父兄約二千名を召喚取調を行つた結果收賄額多額に上りその犯情重き中等學校教員校長その他二十八名、國民學校訓導三十名、贈賄した父兄を瀆職ローカール等十名合計六十八名を瀆職罪として起訴豫審に附し稍々犯情の輕い父兄二百九名に對しては略式命令を請求したが豫審請求の分についてはその大部分がこの程有罪の決定があり、近頃同裁判所刑事十一部草庭裁判長係りで順次公判が開始されることとなつた、よつて十五日午後三時を期し記事差止を解除したが檢察當局では童心に興へる影響を考慮し今回に限る被告人の氏名發表を行はぬことと

した

△事件の概要

中等學校の入学に所謂内申制度が採用されてからこれに關し學校教職員と父兄との間に贈收賄が行はれてゐると云ふ噂が傳はつてからこれに留意警視廳捜査第二課をして内偵せしめてゐたところ去る四月初旬國民學校の訓導と父兄との間に兒童の成績査定に關し贈收賄が行はれた確證を握つたので疾風迅雷摘發を敢行するに至つたものである、この捜査の結果國民學校については父兄から學校長及び訓導に對し申元、歳暮、卒業祝等の名義を以て一般儀禮の程度を著しく超えて多額の金員が贈與せられてゐるばかりでなく、中等學校入學考査の方法が所謂内申制度となり、成績の評価査定につき大いに擔任訓導の主張を容れる餘地を生じた結果父兄の一部には凡ゆる機會手段を利用して擔任訓導に接近せんことを努むる一方、兒童の學期成績及び中等學校への内申書中の成績その他の事項を有利に記載して貰ひ、以て入學考査に合格せんとする陋劣な意圖の下に擔任訓導に對し金品の贈與を爲す者があり、又訓導においてはその中の或者は金銭の收受に馴れ或は禁止を破つて家庭教師を爲し、その報酬金義の下に相當以上の金員を貰ひ受くる等の事から結局情實を容れて成績の不當考査をなし、或は成績原簿、通信簿、内申書等の改竄等も敢て行ひこれを入學考査に提出して廣く一般的に行はれては優一つ何十圓で賣買される等と謂ふ巷間の噂も單なる聲に止まらぬものであることが判

明したのみならず、この風潮は中等學校にも浸潤して國民學校長の報告書(内申書)身體検査人物考査の綜合判定による現行考査制度に甚しく不安を抱く父兄中には中等學校の教諭に對しても凡ゆる方法を以て猛烈な運動を行ひ多額の金錢贈與、饗應等を爲し、以て合格を企圖する等常軌を逸した者も尠からず存在することと明白となつた、検査局は内申制度そのものの健全な發達を圖り、又教育界の肅正を圖るためかたる不正分子の檢舉を斷行するに至つたものである、なほ検査局については東京都教育局に於る懲戒免官、諭旨退職其他の行政處分に委し起訴猶豫とした

航空局疑獄近く公判

【十九日】東京地方検事局では逓信省航空局第一部建設課勤務官吏と土木請負業者との間の土木建築工事に絡む贈收賄事件の檢舉に着手、石田検事係りで取調べを行つた結果、去る四月下旬元逓信省建設課管財係長安達晴雄等九名を瀆職罪で起訴豫審を請求爾來同地方裁判所門田豫審判事係りで審理中であつたが、此程豫審終結決定、何れも有罪の認定が與へられ近く同所刑事三部飯塚裁判長係りで公判が開廷されることとなつた、被告氏名左の如し

- △收賄側
 - 元航空局技師建設課管財係長 安達 晴雄(五)
 - 同局技師同課土木係長 手川 一郎(五)
 - 同局建築課技手 井上 治隆(四)
 - 同 堀内 徳昌(四)

- △贈賄側
 - 鐵道工業株式會社社員 道寬 盛(四)
 - 株式會社高野組事務取締役 高野 政造(五)
 - 同會社工務部長 伊藤 廣喜(四)
 - 株式會社飛鳥組理事 北川 一之(三)

事件概要

事件は某所の同局關係土木建築工事に絡むもので、安達は昭和十五年三月頃から本年二月迄の間に鐵道工業株式會社社員道寬盛、高野組事務高野政造、飛鳥組理事北川一之等から職務上好意ある取計ひをして貰ひたいとの趣旨で現金合計三萬三千五百圓を收受した外、居室の増築修繕や慶應、糸川は昨年五月から本年二月迄の間同じ趣旨の下に前記三名から現金二千五百五十圓を收受した外居室修繕、家具、風呂桶の設置等を爲さしめ五百數十圓の利益を得てゐた堀内は昭和十四年暮から去一月迄の間に鐵道工業の道寬から現金六千四百圓を收受し井上は同く道寬から現專務伊藤工務部長外一名から現金九千六百四十圓を收受したものである

人民戦線派事件控訴第一回公判

【廿二日】昭和十二年十二月一齊檢舉された人民戦線派事件に連座、治安維持法違反に問はれた一番有罪の判決を受け控訴した勞農派グループの代表議員黒田壽男(四七)、著述業荒畑勝三(三七)、同向坂逸郎(四七)の三名にかかる控訴第一回公判は廿二日午前十一時から東京控訴院刑事三部宮本裁判長、吉江検事係りで開廷、檢察の公訴事實の陳述のち直に傍聴禁止となり、事實審理を續行午後三時開廷、次回は来る廿四日、尚同事件に連座した著述業山川均(四七)、同鈴木茂三郎(五)同堀甚二(四七)の三名は病氣その他で分離となつた

西園寺公一、犬養健兩氏公判々決

【二十九日】軍機秘密等を他人に漏泄した罪で國防保安法違反並に軍機保護法違反に問はれた西園寺公一及犬養健の兩氏にかかる公判は去る十九日二十日以來東京刑事地方裁判所第九部田島裁判長平松検事係りで公開禁止の上個人審理を行つて來たが、西園寺氏については去月二十九日、犬養氏については去る十五日各その審理を終つたので二十九日午前十時二十分公判開廷の上左の通り判決言渡しがあつた

- △無罪
 - 二年間執行猶豫 西園寺公一(三)
 - 代議士 犬養 健(四)
- ▲高杉瀧藏氏(早大名誉教授) 七十四歳 五日
- ▲田村虎藏氏(帝國高等音楽學校々々) 七十三歳 七日
- ▲岩村俊武氏(退役海軍中將) 七十三歳 七日

文化短信

- ▲豊田豊吉氏(代議士) 七十八歳 九日(三日迄)
- ▲西晋一郎氏(文博、廣島文理大名譽教授) 七十一歳 十三日
- ▲堤正義氏(工博、元大阪工大學長) 七十歳 十四日
- ▲鹽澤幸一氏(海軍大將) 六十一歳 十七日
- ▲德田秋聲氏(小説家、文報小説部長) 七十三歳 十八日
- ▲宇宿行輔氏(退役陸軍中將) 八十二歳 十九日
- ▲井上孝哉氏(元代議士、大阪土地建物取締役) 七十四歳 廿二日
- ▲山本秀煌氏(日本基督教會の大長老) 八十七歳 廿二日
- ▲佐上信一氏(大日本防空協會常務理事) 六十二歳 廿九日
- ▲八回生徒兒童發明展△勤皇士平尾桃岩齋八十回忌(横濱)
- ▲ボース首班日同忌(獅子吼)
- ▲學徒海洋大會△交換船帝亞丸横濱港着
- ▲馬事研究所開所式(西那須)
- ▲日赤第六次大東亞戰爭殉職救護員慰靈祭△下賜菊花の傳達式
- ▲櫻田武陸軍中將葬儀△押川春浪三十回忌△比律雅協會理事長兼副會長に陸軍中将本間晴晴氏就任
- ▲食糧國防團地域別協議會△交換船歸還者懇談會△海軍筏東京港到着
- ▲國際佛教協會第一回懇談會△大東亞新開代表大東亞相招待晚餐會△帝亞丸歸國者報告大會
- ▲東京聯合教育會△故鹽澤幸一海軍大將葬儀△スカルノ氏招待晩餐會
- ▲德田秋聲氏葬儀
- ▲釜石市で二百餘戸焼く△富永信政陸軍大將葬儀△帝都防訓始まる(二十八日迄)
- ▲全國一齊に新穀感謝祭△新構造社展開
- ▲第一回地理學會開(廿六日迄)
- ▲徵用援護強化運動開始
- ▲皇道佛教會創立△土浦の列車事故犠牲者合同慰靈祭△第三回職時教育協力會議開(廿九日迄)
- ▲藝能團體勸勞報國隊結成式
- ▲朝鮮臺灣特別志願學生壯行會
- ▲日本宗教文化學會研究發表會
- ▲經濟學特別學會(神戸商大)
- ▲郷軍有功章親授式
- ▲大東亞青少年指導會議(十日迄)



大東亞

國民政府

政治・軍事

汪行政院長歸國

汪主席歸國

【南京九日發】 國民政府宣傳部は大東亞會議に中國代表として出席した汪行政院長の歸國に關し九日午後六時左の如く發表した

△國民政府宣傳部公表

汪行政院長は本月一日行政院副院長周佛海、外交部長蔣民誼、軍事委員會委員陳昌祖、行政院秘書長周蔭序、同副秘書長薛逢先を帶同して日本を訪問大東亞會議に中華民國代表として出席今回滞りなく任務を終了し本日午後五時三十分南京に歸着せり、

なほ周行政院副院長は經濟、財政問題に關し日本當局と折衝のため目下引續き東京滞在中なり

【南京十日發】 大東亞會議を終へて九日空路南京に歸着した汪主席は同夜深夜談話を發表した全文左の如し

今回の大東亞會議は歴史上における國際會議と異なる點が三つある

第一、ナポレオン戦争後のウィーン會議、第一次歐洲大戰のパリ會議の如きは強者の弱者に對する處分であつて目的は強者が如何に弱者を分割し弱者が如何に強者に提供するかといふことであつた、大東亞會議これに反して強者の弱者に對する援助である、前者は功利的な見解に基づき、後者は道義精神に基づくもので完全に相反するものである

第二、米國のモンロー主義は所謂米州人の米州を唱へ、人種的偏見に基づき他の人種を排斥し米州内に存在せしめざることを狙つたものである

大東亞會議はこれに反し所謂アジア人のアジアを唱へ、アジアのアジア人が米英の壓迫より解放を求め解放した後資源の開發文化の興隆を世界と共に共有せんとする公明正大なものである

第三、最近米英等は屢々會議を開催してゐるが、その目的は次の二つに他ならぬ

一は英國が如何にしてその既得の植民地を保持し、植民地の人民を壓迫し、その獨立自由を防止せんかといふこと、他の一は米國が世界的に豊富なる資源を擁してゐるにも拘らず尙これに満足せず如何にすれば全世界をその植民地となし得るかを企圖してゐることである

この米英兩國は利害關係をそれぞれ相反するものであるが、他の人種を妨碍し他民族を壓迫するといふ目的の上から同じ惡事をせざるを得ないのである、大東亞會議はこれに反し各民族はその生存獨立のために奮闘し掠奪された利益を恢復するにあり、他人の利益を掠奪せんとするものではない、これは革命精神であつて侵略ではない

以上三つの特點を綜合すれば大東亞會議は正に劃期的國際會議である、吾人は茲において盟邦日本の唱道する功徳に對し敬服せざるを得ない、またタイ、滿洲國、フィリピン、ピルマ諸友邦、インド假政府の協力に對し深甚なる敬意を表するものである

吾人は「吾れ平等をもつて對する世界の民族を聯合し共に奮闘せん」となる國父の遺囑を遵守し同時に重慶

は醜然反省し我に歸り來らんことを深く望むものである、重慶が東亞の同志となるか、或は再びその誤りを繰返し米英に使喚され獨立の芽を出したピルマに刃を向けなほ足れりしとせざ更にまた自由印度を毒せんとしたかくて東亞の反逆者となり中國史上に未曾有の汚辱を印せんとするか、その何れを選ぶかは今や重慶自身の選擇をまつのみである

【南京十一日發】 國民政府は十一日中央政治會議を開催、席上汪主席は今次大東亞會議の經過並に同會議において受けた印象を詳細説明するとともに大東亞共同宣言の内容を逐一報告し、同宣言は大東亞各國間の國際條約に相當するものであること、並に同宣言の内容が中央政治委員會の追認を要すべき性質のものである旨報告した結果、全員一致これを承認、ついで汪主席は日本國民が總力を結集して米英を擊滅せざんば止まぬ氣概に満ち溢れてをり、かゝる敵米英敵愾心の昂揚は過般のブーゲンビル島沖の航空戦における日本の決定的大戦果と相俟つて日本の必勝は益々確乎たるものであると信ずる旨力説多大の感銘を與へた

【南京十一日發】 國民政府汪主席は上海方面視察のため廿六日午前十時五十分陳璧君夫人並に行政院秘書長周蔭序氏等を帶同空路上海に向つた

【南京廿六日發】 國民政府汪主席は上海方面視察のため廿六日午前十時五十分陳璧君夫人並に行政院秘書長周蔭序氏等を帶同空路上海に向つた

國民政府汪主席は廿六日政務多端の寸暇を割いて二月廿六日上海に赴いたが、今次汪主席の上海行は日華同盟條約の締結及び大東亞共同宣言發表を契機として展開された中國と東亞の新情勢の展開、就中國の大東亞建設に對する實務の重大化に伴ひ上海に於ける青少年知識分子に呼びかけ、租界回收後漸次轉換を示しつつある上海青年知識層の思想を根本的に切り替へると共に、上海財界その他各層有力者と懇談し官民一體となつて中國に課せられたる重大責務の遂行に邁進すべし決意を披瀝するにあり、汪主席は既に去る七月下旬より八月月中旬に至る約二週間上海に赴き佛租界及び共同租界回收後の新上海を東亞建設據點として再發足せしめるため、國府首腦部の全能力をあけて上海工作に没頭すると共に劃期的經濟政策たる綿糸強制買上を斷行、多大の成果をあげたが、今次の上海行はそれ以後徐々に展開された新事態特に日華同盟條約に示された中國統一への指針、大東亞共同宣言中に闡明された大東亞建設の具體的方策を青少年始め各有力者に徹底せしめんとするいはゞ國府の上海第二次工作の展開と見らるべきもので、この結果南京、上海の一體化は着々實現され、中國の統一ある建設と大東亞建設との協力態勢に一段と拍車がかつけられるであらう

【上海廿九日】 來滬中であつた國民政府主席蔣精衛氏は各界要人特に經濟關係者との懇談を遂げてゐるが廿九日午後四時半上海發空路南京に歸還した

華來又一

【南京十七日發】 △外交部宣傳部共同發表十七日午後六時

【南京十七日發】 △外交部宣傳部共同發表十七日午後六時

自由インド假政府主席・スバス・チャンドラ・ボース閣下は大東亞會議に陪席任務を終了せるを以て、特に我が國に訪問せられ、本日午後五時半首都に到着せり、汪主席は親しく飛行場に赴き一行を歓迎せり、ボース主席の隨員はボンスレー參謀長サハイ書記官長、ラヂレニュー中佐、ハツサン秘書の四名にして、日本側同行者は千田陸軍軍政長官、山本陸軍大佐、根岸陸軍囑託、太田外務書記官等なり

汪主席と懇談

軍官學校で開兵

上海着

上海二十一日發

自由インド假政府の招きを受けて國賓として中國を訪問、宿舎迎賓館に入京第一夜を明かした自由印度假政府主席チャンドラ・ボース氏は十八日午前九時中山陵に參拜東亞解放の先覺孫總理の靈に對し敬虔な祈りを捧げ、次いで同十一時十分國民政府に汪主席を訪問、和氣霽々裡に兩主席は胸襟を開いて種々懇談を重ねた後、午後零時三十分から國府憲法廳における主席の招宴に臨み、各院長、各部長等も卓をかこんで歡を盡し、續いて同二時半から總司令部に細總司令官、二時五十分から大使館に谷大使を夫々訪問挨拶を述べた、次いでドイツ大使館、滿洲國大使館を訪問、挨拶を述べ續いて同四時半から細總司令官谷大使の答訪を受け、終つて同五時半から日華記者團と會見、インドの獨立と東亞十億民族の解放によつて烈々の抱負を語つた

ウエルマン獨逸大使、呂滿洲國大使の答訪を受け、同十一時から國民大會堂における首都民衆歡迎大會に臨み、中國の統一團結、インドの獨立達成こそ大東亞解放のための絶對的要素で中印兩國國民は共同戦線に立ち共同目的達成に總躍起せんと一時間餘に亘り獅子吼した、次いで帝國大使館官邸における招待午餐會に出席、午後三時より汪主席官邸において意義深き會談を遂げ、同四時半よりウエルマン獨逸大使と懇談、夜は細總司令官の招宴に臨んだ

【南京二十日發】チャンドラ・ボース首班は二十日午前十時から汪主席と共に中央軍官學校に赴き新中國建設の意氣に燃える同校生徒の演習を參觀閱兵を行ったのち、十一時から約一時間に亘つて國立博物館を見學つて午後〇時三十分滿洲國大使館における呂大佐の午餐會に臨んだ午後三時からは玄武湖における周南京市長の招宴に臨み、湖上に舟を浮かべて歡談の時を移したが、同四時から東亞聯盟新國民運動促進委員會共催の茶會に出席、同夜は六時半から國際クラブに日滿華要人を招いて晩餐會を催した

逆行せんとする態度に對し直情を以て順逆の理を説き東亞の將來はかかつて重慶の態度如何にある旨を強調するとともに重慶は速かに本然の姿に歸つて大東亞決戦に協力し一致團結英米を打倒し民族的理想實現を促進すべしと切々たる言辭をもつて重慶當局者の反省を促した

【上海二十一日發】自由インド假政府首班スバス・ボース氏は二十一日日華印各名士と挨拶を交したのち軍艦出雲に支那方面艦隊司令長官吉田善吾大將を訪問、種々懇談を重ねて辭去、ついで在上海印度人の歡呼のうちバンドからカセイ・ホテルに入つた、午後は一時から我が田尻公使主催の歡迎午餐會に出席、記者會見のち靜安寺路大光明戲院に於ける市政府主催の歡迎民衆大會に臨み、在上海インド人代表及び中國側保甲青年團代表等約一千名を前に得意の熱辯を揮つた、更に夜は七時からカセイ・ホテルに開かれた陳市長主催の歡迎晩餐會に出席した

【南京廿四日發】自由印度假政府首班スバス・チャンドラ・ボース氏は廿四日日夜の第一回重慶開放送において公平な第三者の立場から、中國統一の急務を叫び「もはや中國の統一を阻する何物もなく、欲すれば明日からでも全面和平の實現を見るであらう」と誠意を披瀝して重慶に呼びかけたが、これに續いて「再び重慶に訴ふ」と題する録音放送が廿三日南京よりの第二弾として送られ重慶を今日の窮地に追ひ込んだ英米謀略の憎むべき陥穽をあらゆる角度から剔抉、英に代つた新帝國主義者の米の野望を直視せよと絶叫した

行政院會議決定事項

【南京十七日發】國民政府は十六日の行政院會議で、○戰時社會教育實施要綱案、○綿製品集中配給暫行辦法及び綿製品生產配給規則、○修正懲盜盜竊暫行條令、その他を審議可決すると共に左記人事を決定した

司法行政部次長 胡 澤 吾
任新司法行政部駐滬辦事處長 周 濟 人
任駐釜山總領事 林 文 秀
任駐橫濱總領事 洪 洪
任駐重慶總領事 郭 洪
任內政部總務司長 郭 洪

第二回全國宣傳會議

【南京廿四日發】國民政府宣傳部では廿四日より三日間南京に第二回全國宣傳會議を招集、第一日の廿日は開會に先立ち午前八時から全國宣傳機關並に關係團體、新聞文化關係代表者百餘名が林宣傳部長の引率で中山陵に參拜の後、同十時中德文化協會の

在華公館の機構を改廢

【南京二十四日發】日華同盟條約締結後の日華關係と、中央の戰時行政運営體制強化に呼應する現地機構の簡素強力化を目指し、このほど南京帝國大使館並に上海大使館事務所の機構を改革し、大使館では従来の政務經濟文化、情報の四部制を、總務情報の二部に改め、調査室を新設しは公使をもつて當てることとなつた

再び重慶に呼びかく

【南京十九日發】ボース首班は十九日宿舎迎賓館において午前十時から

重慶に呼びかく

【南京廿日發】自由印度假政府主席スバス・チャンドラ・ボース氏は廿日午後九時半から四十分間に亘り宿舎迎賓館からマイクを通じて「重慶に訴ふ」と題する放送を試み自由獲得を目指して東亞十億民族が興つて起ち上らんとする時重慶が獨り英米の東亞植民地化の手先となり時勢に

民衆大會で獅々吼

【南京十九日發】ボース首班は十九日宿舎迎賓館において午前十時から

これと同時に上海大使館事務所の機
構も官房、總務室、經濟第一部(産
業交通)同第二部(財政)とし、總
務室の一部を南京大使館に入れ、同
大使館總務部の一部は上海總務室を
兼務することとなつた、また情報關
係は南京情報部の分室の形に縮小す
るなど思ひ切つた重點主義を斷行的
懸案の南京大使館事務所との一元化
緊密化を圖ることになつた

在華公館長會議

【南京廿九日發】日華同盟條約締結
後の新情勢に對應する在華公館新體
制の具體的推進を目的とする谷駐華
大使就任以來初の在華公館長會議は
廿九日午前九時より南京大使館會議
室において開會された、管下大使館
事務所長たる田尻上海、鹽澤北京、
岩崎張家口各公使、廣東中野參事官
漢口、厦門、九江、濟南、徐州、蘇
州、杭州、上海、石門、蚌埠、青島
天津、北京、太原、開封、張家口、
南京、廣東の各總領事、大使館より
谷大使、堀内公使、太田、松村、坂
田の各參事官、その他各關係官、本
省側より山本大東亞次官、藤原、堂
脇兩調査官等出席、堀内公使館總務
部長會議長となり、先づ青木大東亞
相の訓辭を山本次官が代讀、續いて
約二十分間に亘り谷大使より新情勢
に處する訓辭があり、引續き太田參
事官より日華同盟條約に至る経緯並
に今後の施策要領に關し、大野書記
官より大東亞會議及び大東亞共同宣
言に關し、また尾川調査官より大使
館並に大使館事務所の機構改革と大
使の権限擴大を目標とする在華公館
業務處理規定の改正についてもそれ
ぞれ口述あつて休憩、午後一時から

再開、戦局に關し陸海軍司令部參謀
より國際情勢に關し岸情報部長より
夫々説明があり、同四時五十分第一
日の會議日程を終つた、午後の再開
に先立ち田尻上海大使館事務所長、
赤塚廈門總領事はそれぞれ所長、總
領事を代表して國民政府、外交部總
領事司令部、海軍武官府を歴訪挨拶を
行つた、尚各公使、總領事は同六時
半より借行社に於ける陸海軍合同招
宴に臨んだ。

△青木大東亞相の訓辭(山本次官代
讀)要旨、大東亞共同宣言並に日華
同盟條約は單にこれが宣言又は條約
の發出をもつて足れりとするべきで
なく、これを實踐具體化するこゝによ
つてその眞價を發揮すべきである、
諸官は國策の大綱を把握し從來の行
きかたを捨て小乘的に捉はれるこ
となぐ大乘的觀點に立つてこれが具
現に努めねばならぬ、今や決戦期を
控へ政戦兩面を通じ國家の總力を舉
げ國策の果敢なる遂行を必要とする
點に思ひを致し責任觀念と敢闘精神
の昂揚に一層努力しなければならぬ
又具體的に實施すべき對華新政策の
治外法權撤廢の續行、既成事業の調
整及び條約上定められた既定方針の
實行に關するものはか中國の經濟
力において或は民生確保、中國政府
政治力強化の見地より或は東亞民族
戦力増強の立場より中國の産業食糧
物價など各般にわたりこれが對策に
力を要するものが尠くない、なほ帝
國のとり來つた對華諸施策の結實と
成果擴充のためには大東亞共同宣言
及び日華同盟條約の根本精神を第一
義とするを以て各官は在華邦人を率
ひ公私全生活を通過對策方針と日華
提携の顯現のため凡ゆる精力を傾注

する必要がある、又特に日華提携、
戦力昂揚運動と相俟ち、増産の指導
を強力に展開し、中國民生の確保安
定を圖り後顧の憂をなからしむるこ
とが最も肝要である、各官不斷の配
意を希望して止まぬ
△谷駐華大使訓辭要旨、戦局は日毎
に苛烈凄慘の度を加へつたある、從
て今日ほど總力の必要な時機はない
のである、我々出先きにおいても機
構の改革、事務の簡素化をはじめと
し今後次第に改編してゆく方針であ
る、國家總力の發揮の要諦は人にあ
り、就中人の心構へが最も重要であ
る、惟ふに八紘爲宇の大精神は大東
亞宣言に云ひつくされてをり、大御
心の存するところと確信感激を以て
實踐に邁進することが臣子の本分と
確信する、中國の建設には同盟條約
第二條に示されてある通り凡ゆる部
面に亘つて中國側と協力すること
言ふまでもなく中國側官民との接觸
は益々緊密を加ふべきであり、帝國
の建設精神が中國上下に理解される
やう努力し支那大陸における眞の建
設が實現すれば大東亞戰の勝利は自
ら明かとなるであらうから諸君の一
層の努力を期待する次第である、ま
た居留民の一舉一動が直ちに帝國の
行動であること考へらるべきがすく
まなく從つて大東亞戰争の意義と
使命に鑑み居留民は大國民としての
矜持を忘れずかりそめにも帝國の政
策が居留民の末端から裏切られるこ
となきやう注意されんことを希望す

【南京三十日發】第二日は三
十日午前九時より開會、經濟問題に
關する坂田參事官の説明があつて後
十時より懇談會に入り、先づ行政運
轉の決戦化を圖るための事務處理方
法の改善に關し一時間餘に亘り協議
遂げ、十一時二十分より本省及び大
使館に對する希望事項その他に關し
て種々意見の開陳あり、午後零時半
一旦休憩した、午後は一時半再開
各公館長より管内の情況報告を行ひ
同四時より山本大東亞次官の挨拶あ
り、堀内大使館總務部長の閉會の辭
をもつて二日間に亘る會議の全日程
を終了する管

上海警察局新陣容

【上海二日發】共同、フランス兩租
界回收後中國の手に掌握された上海
特別市警察は十一月一日を期して第
三、滬西の兩警察局を第一警察局に
合併、これに伴ふ同局首腦陣が發表
された、なほ特高、警備關係は戰時
下にある上海の特殊性に鑑み從來通
り邦人職員をもつて固めてある

△局長陳市長△主席副局長張正監△
總務處長松本五郎△督察處長姚會誠
△警防處長渡正監△特警處長五島茂
△行政處長呂琪△司法處長李時雨△
保甲處長顧繼武

上海及天津海關長決定

【上海廿日發】海關總稅司署では天
岡前上海海關長の逝去に伴ひ次の人
事異動を決定した

任上海海關長 石井 孝助
任天津海關長 小山田 晃一
任上海海關副海關長 盧 壽 汝
任天津海關副海關長 盧 壽 汝

上海海關額外稅務司

任上海海關額外稅務司 盧 壽 汝

任天津海關額外稅務司

任天津海關額外稅務司 盧 壽 汝

任上海海關副海關長

任上海海關副海關長 盧 壽 汝

任天津海關副海關長

任天津海關副海關長 盧 壽 汝

任上海海關額外稅務司

任上海海關額外稅務司 盧 壽 汝

任天津海關額外稅務司

任天津海關額外稅務司 盧 壽 汝

五日最高國防會議を開催次の件を決
定した
一、全國經濟委員會組織條例第三條
を修正し、華北政務委員會の經濟、
農務、工務各總署督辦を當然委員に
任命する件
二、蘇淮特別行政區行政長官郝鵬舉
中將を徐州綏靖主任に任命する件

自沈伊砲艦レバント浮揚

【上海九日發】去る九月九日朝イタ
リア、パドリオ政權の降服と同時に
黃浦江上で自沈した元イタリア東洋
艦隊所屬砲艦レバント(八五〇噸)
についてはその後支那方面艦隊の手
で引揚作業中のところ、九日浮揚し
たので右に關し支那方面艦隊報道部
では次の如く公表した

△支那方面艦隊報道部發表
かねて引揚げ作業中の元イタリア砲
艦レバントは本日九日未明浮揚せり

財政・經濟

水産増産公路建設方針闡明

【南京八日發】國民政府建設部長陳
春圃氏は八日中國經濟建設部の基本
のべき水産増産計畫及び公路建設方
針につき、國府の意氣込みを示す注
目すべき談話を發表したが、右要點
を指摘すれば次の通り

一、水利増産に關する事項、農業増
産に不可欠の水利開發工作推進を目
的とする、水利増産設計委員會第一
次全體會議においては④東太湖浚壩
第一期工事⑤尹谷湖浚壩工事の芙蓉
坪の排水灌漑工事⑥華陽開工事の完
成などの各法案を決定以來、準備を

【南京二十五日發】國民政府は二十
國府最高國防會議開催

進めつつあつたが去る三日の第二次全體委員會で④資金辦法⑤工事推進機關の資材問題⑥地域別施行計畫など具體策を決定、爾來東太湖の計畫、湖方面の調査測量工作を開始した、これは一ヶ月以内に完了の豫定である、今次工作の進展に伴ひ明年秋頃より各種増産計畫は着々實現を呈してゐるが、就中東太湖の工事が完了すれば産米量は一萬二千石から一躍六萬石に、又麥は四萬石臺への増産が可能である

財政

【上海二十六日發】石渡國府經濟最高顧問は十月中旬來上京であつたが歸寧の途次二十五日來滬、二十六日宿舎キャセイホテルにおいて當面の國府財政問題、蘇淮地區の通貨調整等に關し左の如く語つた

「新財政年度を一ヶ月の後に控へて目下上海に滞在中の周部長はじめ國府財政部當局では新年度豫算編成に忙殺されて轉口税を中心とする大衆の統稅及び轉口税を中心とする關稅收入の實績が非常に好成績なるが編成の上にも極めて好影響を齎らすものと思ふ、また通貨吸収と生産事業の振興の建前から事業公債の發行も考慮してゐる、來月一日からは蘇淮地區に備備券が流通することになるがこの措置により蘇淮地區は政治的に経済的にも本然の姿に立ち還るわけである、やがて同地區の通貨は聯銀券に代つて備備券に一体化されることとなるであらうが、その場合從來北支の物資として北支の需要に應へてゐた小麦を始め豊富な農産物物資が、今後は中支の物資として北支に向けられることとなるので、その決濟を如何に調整するかといふことが問題となる、そのために中支においてはこれを通貨の面において背負ひ込む様な形になるかも知れぬが、北支からもつと多くの物資をうることによつてこの決濟面の不均衡を調整

【南京十日發】日華同盟條約締結による中國戰時經濟の新情勢に對處し中央、地方並に地方相互間の有機的連絡調整を圖るため國民政府實業部は十、十一兩日南京で全國地方經濟連絡會議を開催、會議第一日の十日は陳議長の訓示、次いで物資移動取締辦法、綿糸布收買配給統制策、各地方同業公會の改組促進並びに地方經濟機構の強化、物資交流に關する方策等當面の重要問題につき實業部長より詳細報告説明した

南京で地方經濟連絡會議

【南京十一日發】第二日は十一日國民政府實業部に開催、各地方經濟局長の提案にかかる同業公會機構、物資配給、削減減對策、物資移動取締罰則等八項目二十六件につき慎重審議を重ね、主として戰時經濟應勢強

海關輸出税を改正

【天津廿日發】國民政府では北中支における幣制が相異してゐるため輸出税の徵收に不均衡を招來してゐるに鑑み、これが調整を圖るとともに中國參戰、日華同盟條約の基本精神に則り積極的に日本戦力を増強する見地から十二月一日を期し現行海關輸出税則中從來の從量稅從價稅の兩建制を改正、一律に從價稅とするに決定、この旨廿日天津海關より發表され、十二月一日附をもつて左の如く告示した、今回の改正のうち劃期的なものは特に從量稅であつた石炭以下重要物資廿品目を無稅となし、對日輸出を促進して中國の兵站基地的使命を十分發揮する一方、國庫の財政力強化のため現行無稅であつた酒、砂糖、綿製品など廿二品目に對しては擔稅力あるものにして從價二分五厘の稅率を課したのと、二百數十品目について稅率の一大改正を行ひ擔稅力の調整を行つた點が注目される

蘇淮特別地區を備備券一色化

【南京廿四日發】國民政府は蘇北、華中の接壤地區たる蘇淮特別地區を中央直轄とすべく軍事、行政の兩分野について着々調整を加へつた本となつてゐたため、これが合理的運営に幾多の支障を來したのみならず、動もすれば政治と經濟の遊離を惹起する傾向が見られるに至つたので、今回該地區經濟の基礎たる流通通貨に根本的な調整を加へることとなり、その第一着手として來る十二月一日より蘇淮特別地區に中央備備券を流通せしめる方針に決定した、しかしして國府の方針としては當分備備券と聯銀券を備備券百對聯銀券十八の割合で併用せしめ、今後備備券の流通成績如何を見たと同地區に對する聯銀券の新規發行を停止し、これに伴ひ備備券による聯銀券の全面交換を實施同地區の通貨を備備券一色とするに内定してゐる、但し今回の措置は中央、華北を通ずる現行通貨制度の變革を意味するものではなく、既に着々實施を見つゝある國民政府の行政整備に對應すると同時に備備券流通によつて同地區に

下げるもの、豚毛、羊毛など八品目、現行從價稅を從價二分五厘稅に改するもの、正金屬製品など廿二品目、現行從價稅を從價五分稅に引下げるもの、廿六品目、現行從價稅を從價七分五厘稅に引下げるもの、外國銀、中國銀元など六品目、現行無稅より從價二分五厘稅に引上げるもの、酒、砂糖、紅茶、綿製品など廿二品目

棉花統制委員會公布棉花統制配辦法公布

【上海一日發】棉花の出廻り最盛期に控へ物資統制審議委員會では新情勢に應ずる棉花統制機構の確立並に棉花の收買配給方策の決定を急いでゐたが、十月廿日南京において開催された物資統制審議委員會全體會議に棉花統制配暫行辦法法案を上げ、修正の上通過同日行政院の認可を経て公布施行された同辦法によれば棉花の一元統制機關として商統會棉花統制委員會を設立することとなつてゐるが、同委員會には有力紡績業者をもつて組織される等、委員長は行政院において任命することとなつてゐる、しかし棉花統制委員會はその下部機構として棉花收買同業協會を設立せしめ棉花の收買配給業務に當らせる筈である

綿製品集中配給暫行辦法決定

【南京十九日發】國民政府はさきに物價對策の一として上海地區における綿糸布強制買上を實行したが、右買上綿糸布の圓滑なる配給を期するため去る十六日の行政院會議において綿製品集中配給暫行辦法を決定、この程發表した、同辦法は、綿糸布買上暫行條例に基いて買上げた綿糸布、中華日本貿易聯合會より買上げた綿糸布、商統會に登記した綿製日

【天津廿日發】國民政府では北中支における幣制が相異してゐるため輸出税の徵收に不均衡を招來してゐるに鑑み、これが調整を圖るとともに中國參戰、日華同盟條約の基本精神に則り積極的に日本戦力を増強する見地から十二月一日を期し現行海關輸出税則中從來の從量稅從價稅の兩建制を改正、一律に從價稅とするに決定、この旨廿日天津海關より發表され、十二月一日附をもつて左の如く告示した、今回の改正のうち劃期的なものは特に從量稅であつた石炭以下重要物資廿品目を無稅となし、對日輸出を促進して中國の兵站基地的使命を十分發揮する一方、國庫の財政力強化のため現行無稅であつた酒、砂糖、綿製品など廿二品目に對しては擔稅力あるものにして從價二分五厘の稅率を課したのと、二百數十品目について稅率の一大改正を行ひ擔稅力の調整を行つた點が注目される

【南京廿四日發】國民政府は蘇北、華中の接壤地區たる蘇淮特別地區を中央直轄とすべく軍事、行政の兩分野について着々調整を加へつた本となつてゐたため、これが合理的運営に幾多の支障を來したのみならず、動もすれば政治と經濟の遊離を惹起する傾向が見られるに至つたので、今回該地區經濟の基礎たる流通通貨に根本的な調整を加へることとなり、その第一着手として來る十二月一日より蘇淮特別地區に中央備備券を流通せしめる方針に決定した、しかしして國府の方針としては當分備備券と聯銀券を備備券百對聯銀券十八の割合で併用せしめ、今後備備券の流通成績如何を見たと同地區に對する聯銀券の新規發行を停止し、これに伴ひ備備券による聯銀券の全面交換を實施同地區の通貨を備備券一色とするに内定してゐる、但し今回の措置は中央、華北を通ずる現行通貨制度の變革を意味するものではなく、既に着々實施を見つゝある國民政府の行政整備に對應すると同時に備備券流通によつて同地區に

用雜品に對し包括適用されるものでこれがため商統會に配給保管事務機關を設け専らこの事務を行はしめることになつてゐる

綿製品生産配給規則公布

【上海廿二日發】上海地區の買上綿糸布はさき行政院より公布施行された綿製品集中配給暫行辦法に基き中支の民生安定、上海と奥地との紐帶強化、北南支その他との物資交流促進のため商統會において一括保管しこれが一元的配給を行ふこととなつたが、綿製品生産業者に對する配給については行政院において別に綿製品集中配給暫行辦法第八條に基き綿製品生産配給規則を制定このほご公布施行した、これによれば上海地區内の紡織、織布、綿雜品などを製造する各工場は既設生産機械の數量職工數及び一ヶ月間の生産數量、種類、製品並びに在庫數量などを所屬同業公會を通じて商統會に報告し、商統會はその報告に基き需給狀況及び各工場の生産能力を斟酌して原料の計畫配給をなすことになつてをり更に製造、加工の費用及び工場の利潤についても商統會の認可を要することとなつてゐる

中支棉花統制委員會役員決定

【上海廿四日發】中支棉花收買統制機構の整備確立に關しては、第八回物資統制審議委員會の決定方針に基き棉花統制委員會及びその下部機構たる棉花收買同業協會を設立することとなり、廿四日右統制委員會及び同業協會役員が正式任命された

統制委員會は委員長長開蘭亭氏以下委員十三名(中國側七名、日本側六名)同業協會は理事長江上達氏以下理事十一名(中國六名、日本五名)及び監事四名(日華各二名)である

商統會綿業管理處設立

【上海廿六日發】買上綿糸布の一元的保管配給機關として設立準備中であつた商統會綿業管理處は國府の認可を得て廿六日成立した、處長には聶壽生、副處長には孫禮楹、本多大作の各氏が正式任命され、事務所を競馬場綿糸布買上事務所跡に置き業務を開始した

會社

【上海廿五日發】華中蠶糸解散【上海五日發】中支における國策會社の調整方針に基き解散することになつた華中蠶糸會社は五

日午後二時より本社で解散に關する臨時株主總會を開催、清算人に小林衛、王紹鈞、中山佐吉の三常務取締役を選任、同社の財産處分を清算人に一任と決定した
而して解散に伴ふ同社の收支差引殘餘財產三千五百八十四萬一千餘圓は特別株主配當、役員退職金、陸海軍關係への獻金、國民政府への寄附並に清算事務費等に割當てられることとなる筈で、華側の現物出資たる卅一工場、三倉庫は清算したる金額をもつてそれぞれ原所有者に譲渡されることとなつてをり、また繭短織維絹布、絹メリヤス等の新規事業については今後設立されるべき新會社に譲渡することとなつてゐる

【上海八日發】去る九月開業式を舉げた上海華商證券交易所は、支那事變完了したので八日開場し、なほ同取引以來最初の立會を行つた、なほ同取引

引所は九日より毎日午前九時半より正午まで開場するが、國府當局では同交易所における株式取引の健全化を期するため毎日監理委員及び職員を派遣、監督することとなつた

華中鹽業日本持株正式移讓

【上海十五日發】日華兩國間に決定をみた第一次國策會社調整方針に基き日本側となつた華中鹽業では爾來日華雙方の株主代表者間に株式讓渡に關する具體的細目につき協議中であつたがこの程兩者間に完全に諒解成り十五日正式に株式移讓の手續きを行つた、即ち同社の資本金五百萬圓(全額拂込、額面五十萬圓、總株數十萬圓)を今同中國側株主たる國民政府並に中央信託公司に夫々持株數に應じ額面一株八十圓に算定して移讓が行はれた

上海廿五日發

純然たる中國側の企業となつた華中鹽業では廿五日日本俱樂部に定時總會を開催、當期(四月より九月まで)利益處分案(配當一年一割据置)を附議可決、さらに社名を中華鹽業股份有限公司と改稱することに決定した

在支米空軍の非道

【香港十七日發】在支米空軍は十六日午後戰機連合十數機の編隊を以て小嶺にある香港上空に來襲、裏香港の山頂にある我が陸軍病院目がけて暴虐にも投擲、その一發が同病院の正門近くに、他の數發は病舎周邊に落下炸裂したが我方の機宜の處置により入院患者其他に被害はなく、病舎の窓ガラス約五十枚が破損したのみであつた、同病院は白壁の建物でし

澳門で双毫銀貨の流通を禁止

【香港十一日發】澳門よりの消息によれば澳門ポルトガル政廳がかねて通貨制度の調整を計畫中のところこの程双毫(額面二十仙の中國銀貨)の流通を禁止するに決し、十一月三日經濟局長ロボ氏より澳門財界有力者に對しこの旨正式に通告一般の協力要望した、因みに澳門は極めて難多な通貨が流通してをりポルトガル海外銀行の紙幣、香港ドル法幣、双毫などが主なるものであるが、大東亞戰以來双毫が賤賣しポルトガル海外銀行紙幣に對してさへ打歩を生じてをり澳門當局は双毫とポルトガル海外銀行紙幣とをバード流通させるべく努力してゐたものである、なほ政廳當局は双毫の流通を禁止したが他の各種通貨については従前通り流通せしめる方針を明らかにしてゐる

敵性銀行の不動産處理規則公布

【香港四日發】香港における敵性七銀行の清算は豫定の如く進捗をみせてゐるが今同總督部財政局では敵性銀行保有擔保不動産處理規則を公布、清算中の敵性銀行は不動産を擔保として債務を負ふ者に對し昭和十八年十二月卅一日迄にその債務を辨濟させ擔保の整理解除を行ふこととなつた

王克敏氏決意表明

【北京六日發】六日大東亞會議により宣言された大東亞宣言に關し華北政務委員會王克敏委員長は同日大要左の如き談話を發表して華北一億の決意を表明した
大東亞會議の席上行かれた東條首相の詳細なる大東亞戰爭に對する決意表明は各出席者の齊しく感奮賛同するところであり、苛烈なる戰況のもとに東亞十億民衆は熱誠をもつてこれを擁護し欽敬の意を表明するものである、盟邦日本は昨年十二月八日驟然として英米勢力の掃蕩の戰を起すや、正義の師征くところ米英の惡辣なる勢力が肅清され、久しく英の壓迫下に呻吟したビルマ、フィリピン兩友邦が大東亞戰爭の勝利に伴ひ遂に獨立躍起するに至り、自由インド假政府もまた成立をみたのである、大東亞戰爭は決して盟邦日本一國のことに非ずして大東亞各國各民衆が解放の偉業を戦ひたる戰爭である、しかるにこの決戦下に大東

治政

【北京六日發】六日大東亞會議により宣言された大東亞宣言に關し華北政務委員會王克敏委員長は同日大要左の如き談話を發表して華北一億の決意を表明した

かもし山頂にあり、屋上に付縱横數十米の大きな赤十字標識があり、更に當時香港上空には一片の浮雲さへなく敵は比較的低位から爆撃した事實からしても、敵機は明らかに病院と知つて爆撃したことは疑なく、正に天人俱に救さざる暴舉である、敵はこれと同時に華人密集商店街をも盲爆した

亞會議が開催せられ、且つ大東亞宣
言が發表せられたことは正に十億民
衆の意志と目的を明示するものであ
る。大東亞宣言の發表によるもので
各國家各民族の團結は金石の如く堅
固となり、必勝の趨勢も又鐵壁の如
く微動だにせざるものとなつた、わ
が華北は産業基地の立場から刻下の
現狀を深く心に帶し、一億民衆に重
大戦局下における自らの責務を全う
されんことを衷心より切望して止ま
ない次第である

政務委員會機構を大改革

【北京十一日發】華北政務委員會で
は日華同盟條約の締結を機として國
府の參戰態勢に即應する決戰諸施策
の飛躍的進展を圖るため同委員會及
び所屬各總署の全般に亘り機構の改
革及び重要人事異動を斷行すべく過
般來國府と緊密なる連絡の下に諸般
の準備を進めつつあつたが、機構並
に人事とも國府の諒解を得たので新
構想の下に再出發することとなり十
日午後十時から政務委員會外交大樓
に臨時常務委員會を開催王克敏委員
長以下齊燮元、蘇體仁、汪時瑒、王
蔭泰、余晉蘇の各常務委員列席し、
慎重協議の結果、再出發に當り常務
委員總辭職するに決定し即日中央に
通達した、依つて國府では十一日午
前最高國防會議を開催し、華北政務
委員會組織條例修正案並に人事任命
案を上提し原案通り可決即日公布實
施した

華北政務委員會組織條例

第一條 國民政府に河北、山東、山
西三省及び北京、天津、青島三市の

防共、治安、經濟その他國民政府の
委任にかゝる各項の政務を處理し、
且つ管下各省市政府を監督せしむる
ため華北政務委員會を設置す
第二條 本會に委員十七名乃至廿一
名を置く、うち一名を指定して委員
長とし五名乃至九名を指定して常務
委員となす、その人選は行政院々長
より中央政治委員會に提議し通過後
國民政府これを特派す
第三條 委員長は本會の會務を總理
し外に對して本會を代表し所屬機關
および職員を指揮監督す
第四條 常務委員は委員長を輔佐し
本會の會務を處理す
第五條 本會の會議規則は別にこれ
を定む

本會内に左の各廳を置く、
その組織は別にこれを定む
○總務廳 ○內務廳 ○財務廳
○總務廳に長官一名を置き、委員の兼
任とす、次長一名を置き簡任又は委
員の兼任とす、內務、財務兩廳に廳
長次長各一名を置き、簡任又は委員
の兼任とす
第七條 本會は左の各總署を置く、
その組織は別にこれを定む
○治安總署 ○經濟總署 ○農務總署 ○
教育總署 ○工務總署
各總署に督辦一名を置き委員の兼任
とす、署長一名を置き簡任す
第八條 本會に顧問、參議、諮議、
專員調査員各若干名を置くことを得
第九條 本會は所屬各機關の專任を以
下の公務員を代理任免することを得
第十條 本會は防共および治安に關
する事項の處理につき中央法令の規
定する範圍内において便宜處置をな
すことを得

第十一條 本會は華北の治安を維持

するため綏靖軍を編成し之を指揮す
ることを得、華北綏靖軍に總司令一
人を置く、その兵力は別に之を定む
華北政務委員會新機構下部組織
△總務廳 參事室、秘書室、總務局
△內務廳 民生局、警務局
△財務廳 主計局、審計局、印刷局
△治安總署 總務局、軍醫局、軍務
局、宣導局、軍需局、軍醫處、軍法
處
△經濟總署 總務局、實業局、金融
局、稅務局、勞工局、物價局
△農務總署 總務局、農產局、糧政
局、林牧局、合作局
△教育總署 總務局、教育局、文化
局、保健局
△工務總署 總務局、公路局、水利
局、都市計畫局、交通局
新機構による人事

△華北政務委員會常務委員 王克敏
(委員長) 王蔭泰、汪時瑒、蘇體仁
(特任) 張中直、徐良 △總務廳長官
王蔭泰、同次長張仲直 (特任) △內
務廳長王蔭泰 (兼任) △財務廳長張
仲直 (兼任) △治安總署督辦杜錫鈞
△經濟總署督辦汪時瑒、△農務總署
督辦王蔭泰 (兼任) △教育總署督辦
王蔭、△工務總署督辦蘇體仁
汪委員長談【北京十一日發】華北政
務委員會の機構刷新既に國民政府
令により發表されたが、これが大東
亞戰爭の後方基地とする華北の決戰態
勢を強化せんとする意義からみて當
然の措置である、蓋し行政組織を強
化簡素化し總員の戰闘配置を確立し
てはじめてよく決戰體制が強化せら
れるのであつて、盟邦日本との同盟
條約の精神に基き同心協力もつて國

民物心總力動員の責任を擔ねばな
らぬのである、革新機構は全く機構
の強化と組織の簡素化の二原則に基
くものである、今次の華北最高政治
中樞の劃期的改革を機として一億官民
は愈々戰力を増強し必勝の信念を固
め一億一心もつて兵站基地の使命完
遂に總力を發揮すべきである

華北政務委員會人事

【北京十五日發】華北政務委員會で
は十五日左の如き人事を發表した

任工務總署々長 侯 毓 汝
任農務總署々長 吳 錫 永
任經濟總署々長 郭 立 志
任工務總署々長 羅 錦
【南京十八日發】國民政府は十八日
の最高國防會議で曩の華北政務委員
會機構改革に伴ふ人事を左の如く決
定した
華北政務委員會常務委員
兼工務總署督辦 蘇 體 仁
任籌塔黃河中牟決口委員會主任委員
華北政務委員會常務委員兼
治安總署督辦 杜 錫 鈞
任華北綏靖總司令
王委員長歸任
【北京廿一日發】去る十二日空路東
上した華北政務委員長王克敏氏は日
本朝野に對する就任挨拶並に帝國各
方面との懇談を終へ、歸途滿洲國に
立寄り同様就任の挨拶をなした廿一日
午後二時四十分空路歸任した

稅務委員會設置

【北京二十四日發】華北政務委員會
では中央の關稅稅等の處理に關する

協力及び華北各般の統稅、地方稅を
綜合的に整理すべく政務委員會直屬
の華北稅務委員會を設置し、これが
委員長を政務委員會委員長兼任し、
委員五名乃至七名を置き更に委員會
内に四處を設け中央地方を通ずる稅
制の徹底的整理に乗り出すことにな
り特に同委員會では田賦および地方
鹽稅に對する審査檢討、徵收の監督
稅制整理を推進することになつた、
華北稅務委員會暫行組織條例ととも
に左の人事を發表した

于 景 陶
任兼華北稅務委員會委員兼第一處長
李 鵬 圖
同、兼第二處長
同、兼第三處長 郭 立 志
同、兼第四處長 沈 允 昌
【北京廿四日發】華北政務委員會では
剿共態勢を一段と強化すべく今回新
たに剿共重點地域を設定、これを政
務委員會の直轄區域として政、軍、
民の總力結集のもとに徹底的肅
清を圖ることとなり、先づ河北省、
霸縣、永清、安次(以上津海道)及
び固安(燕京道)の四縣を第一直轄
行政區とし、行政長に前山東省沂州
道尹曹若山を起用することとなり、
廿三日直轄行政區公署暫行組織大綱
とともに情報局より發表した

日滿華藥物資交
流會議終る
【北京十四日發】日滿華
藥物資交流會議は十一日
から三日間に亘り北京興

濟

亞會館において日滿蒙華各關係官出席の下に行かれたが十三日を以て豫定の審議を終つたので十四日午前十一時在北京大使館當局から次の如く發表された

今回の會議において審議された事項は(一)大陸諸地域の日本に對する戰時重要資源の供給計畫に關する問題(二)大陸各地域相互間の物資交流問題であつたが會議の第一日において日本側關係官を中心に昭和十九年度計畫について日本の戦力増強の爲最大限の寄與を行ふことを目標として討議され、第二の問題については二日目から本年度計畫の實績及び下期の計畫に關して審議を進め、二日目午前

は滿洲對華北蒙疆對華中午後は華北對華中、滿洲對蒙疆、第三日目は華北對蒙疆滿洲對華中の順序で各地域別に行はれ、何れも満足すべき結果を得た從來現地で開催されたこの種會議は一地域對一地域の形で行はれその結果稍々すれば地區別割據主義の弊に陥りやすかつたが今回特別に各地域代表が一堂に會し更に日本内地關係官も列席の上協議を進めたので総合的計畫を樹立する上において効果があつた、議事は全地域を通ずる輸送の問題及び價格の面から種々検討が行はれた、なほ本會議の結果明年度におきき役割がけつき寄與のためになすべき役割がけつき決定され、大東亞戰爭遂行のため華北の任務が益々重要になりこれが推進に當つては新たに戦力増強目標として改組された華北政務委員會と緊密な協力が保たれる筈である

【北京十九日發】華北政務委員會總務長官王蔭泰氏は十九日初の新聞記者會見において當面の華北政治經濟問題各般に亘り所信を語つたが特に食糧問題及び戰時資源開發について左のごとき眞實應答が行はれた

(問) 食糧問題解決につき何か新しい方策を考へてゐるか

(答) 必ずしも所期の成果を擧げ得なかつたことを遺憾に想ふ、然し今日までの經驗を生かすべく目下新たな方策を考究中である、元來華北は食糧については自給自足出来ないといふとされて來たが今後は大々的増産によつて自給自足を達成したと思つてゐる

(問) 戦力増強のための資源開發對策如何

(答) 本問題については今次政務委員會の機構改革以前から實業總務が種々の對策を講じつあつたもので資源開發促進のためには食糧問題解決が先決條件なので食糧増産増配價格の引下げに全力を傾倒して來た、勿論今後この方針を進む積りでありますが重要資源の開發については自分個人として非常に興味を持つてをり華北はまだまだ幾らでも開發の餘地があると思ふ、例へば華北の石炭は種類においても量においても頗る多いばかりでなく未開のものが多いので今後開發を進めてゆく方針である、また棉花についても米棉、印棉エデプト棉のいづれも成育に適するに多量の期待をかけてゐる、その他羊毛、油糧、皮革等についても既にこれら諸物資の統制機構の整備を終り、運営も緒についてゐるので、今後の生産、配給が急速に圓滑化するものと思はれる

【北京十九日發】華北政務委員會總務長官王蔭泰氏は十九日初の新聞記者會見において當面の華北政治經濟問題各般に亘り所信を語つたが特に食糧問題及び戰時資源開發について左のごとき眞實應答が行はれた

(問) 食糧問題解決につき何か新しい方策を考へてゐるか

(答) 必ずしも所期の成果を擧げ得なかつたことを遺憾に想ふ、然し今日までの經驗を生かすべく目下新たな方策を考究中である、元來華北は食糧については自給自足出来ないといふとされて來たが今後は大々的増産によつて自給自足を達成したと思つてゐる

(問) 戦力増強のための資源開發對策如何

(答) 本問題については今次政務委員會の機構改革以前から實業總務が種々の對策を講じつあつたもので資源開發促進のためには食糧問題解決が先決條件なので食糧増産増配價格の引下げに全力を傾倒して來た、勿論今後この方針を進む積りでありますが重要資源の開發については自分個人として非常に興味を持つてをり華北はまだまだ幾らでも開發の餘地があると思ふ、例へば華北の石炭は種類においても量においても頗る多いばかりでなく未開のものが多いので今後開發を進めてゆく方針である、また棉花についても米棉、印棉エデプト棉のいづれも成育に適するに多量の期待をかけてゐる、その他羊毛、油糧、皮革等についても既にこれら諸物資の統制機構の整備を終り、運営も緒についてゐるので、今後の生産、配給が急速に圓滑化するものと思はれる

【北京十九日發】華北政務委員會總務長官王蔭泰氏は十九日初の新聞記者會見において當面の華北政治經濟問題各般に亘り所信を語つたが特に食糧問題及び戰時資源開發について左のごとき眞實應答が行はれた

(問) 食糧問題解決につき何か新しい方策を考へてゐるか

(答) 必ずしも所期の成果を擧げ得なかつたことを遺憾に想ふ、然し今日までの經驗を生かすべく目下新たな方策を考究中である、元來華北は食糧については自給自足出来ないといふとされて來たが今後は大々的増産によつて自給自足を達成したと思つてゐる

(問) 戦力増強のための資源開發對策如何

(答) 本問題については今次政務委員會の機構改革以前から實業總務が種々の對策を講じつあつたもので資源開發促進のためには食糧問題解決が先決條件なので食糧増産増配價格の引下げに全力を傾倒して來た、勿論今後この方針を進む積りでありますが重要資源の開發については自分個人として非常に興味を持つてをり華北はまだまだ幾らでも開發の餘地があると思ふ、例へば華北の石炭は種類においても量においても頗る多いばかりでなく未開のものが多いので今後開發を進めてゆく方針である、また棉花についても米棉、印棉エデプト棉のいづれも成育に適するに多量の期待をかけてゐる、その他羊毛、油糧、皮革等についても既にこれら諸物資の統制機構の整備を終り、運営も緒についてゐるので、今後の生産、配給が急速に圓滑化するものと思はれる

【北京十九日發】華北政務委員會總務長官王蔭泰氏は十九日初の新聞記者會見において當面の華北政治經濟問題各般に亘り所信を語つたが特に食糧問題及び戰時資源開發について左のごとき眞實應答が行はれた

(問) 食糧問題解決につき何か新しい方策を考へてゐるか

(答) 必ずしも所期の成果を擧げ得なかつたことを遺憾に想ふ、然し今日までの經驗を生かすべく目下新たな方策を考究中である、元來華北は食糧については自給自足出来ないといふとされて來たが今後は大々的増産によつて自給自足を達成したと思つてゐる

(問) 戦力増強のための資源開發對策如何

(答) 本問題については今次政務委員會の機構改革以前から實業總務が種々の對策を講じつあつたもので資源開發促進のためには食糧問題解決が先決條件なので食糧増産増配價格の引下げに全力を傾倒して來た、勿論今後この方針を進む積りでありますが重要資源の開發については自分個人として非常に興味を持つてをり華北はまだまだ幾らでも開發の餘地があると思ふ、例へば華北の石炭は種類においても量においても頗る多いばかりでなく未開のものが多いので今後開發を進めてゆく方針である、また棉花についても米棉、印棉エデプト棉のいづれも成育に適するに多量の期待をかけてゐる、その他羊毛、油糧、皮革等についても既にこれら諸物資の統制機構の整備を終り、運営も緒についてゐるので、今後の生産、配給が急速に圓滑化するものと思はれる

【北京十九日發】華北政務委員會總務長官王蔭泰氏は十九日初の新聞記者會見において當面の華北政治經濟問題各般に亘り所信を語つたが特に食糧問題及び戰時資源開發について左のごとき眞實應答が行はれた

(問) 食糧問題解決につき何か新しい方策を考へてゐるか

(答) 必ずしも所期の成果を擧げ得なかつたことを遺憾に想ふ、然し今日までの經驗を生かすべく目下新たな方策を考究中である、元來華北は食糧については自給自足出来ないといふとされて來たが今後は大々的増産によつて自給自足を達成したと思つてゐる

雜穀收買價格追加發表

【北京九日發】華北物資物價處理委員會では更に穀子、穀子米、綠豆、大豆、黑豆、江豆の收買價格を決定十日より實施することになつた、なほ落花生油等各種油類及びその原料の公定價格については去る九月十三日より暫定的に實施中であつたが、穀子など公定價格決定と同時に改めて公布を行つた、追加雜穀收買公定價格は次の如くである(沿線または指定地渡し百公斤建、單位元)

△穀子 一二五△穀子米 一三九△綠豆 一三七△黑豆 一六六△大豆 一二九△江豆 一二九

農産物記録的增加

【北京十七日發】緊急食糧増産對策委員會では過般來華北全域に亘り本年度農産物收穫最終豫想たる第三次綜合實地調査を實施しつあつた、このほど完了、これによれば華北農産物收穫豫想は昨年度に比較して耕作地面積が減少したにも拘らず收穫量において著しく増大を示し、反當りの收穫量についてみればまさに記録的増産を示すに至つた、即ち作物面積においては山西省を除き他地區は一%乃至二%方減少してゐるに拘らず收穫高は前年度に比し河北省四%、山東省二十九%、山西省十七%、安徽省十九%、隴海地區は二%減となつてゐる、就中甘藷において三十%の記録的増産を示しその他の穀類においては六%増となつてゐる

本年度小麥、雜穀の收買好成績

【北京廿日發】華北の本年度食糧農作物は昨今出廻最盛期に入り目下活潑な收買が進められつつあるが、右北京日本大使館當局では廿日本年度華北の小麥、雜穀收買狀況に關し左の如く發表した

△小麥 小麥の收買數量は去る十月下旬迄昨年一ヶ年間の全收買量を突破する好成績を示したが、その後においても山東、河南地區の如きは收買工作が益々盛んで十月下旬以降兩地區を併せて數萬トンの收買実績を擧げ、現在迄の目標額の約九十二%を獲得した、かかる好成績を収めるに至つた原因は左の如くである

一、今秋の小麥は作付面積の増加と共に播種期以來順調な天候に恵まれて豊作確實の見透しがつたため農民は當初の賣惜しみ態度を捨てて積極的供出をなすに至つたこと

一、華北においては本年初めて行政力をもつてする收買を實施し、各縣長の收買に對する積極的態度と農民の増産意識は價格その他に對する當局の適切な施策と相俟つて中共の食糧工策を完全に粉碎したること

一、見返り物資の第二次放出が順調に行はれたため農民の手に過く行き互り小麥供出を促進せしめたこと

△雜穀 雜穀は十一月頃から出廻期に入り收買開始以來一ヶ月足らずであるがその間既に河北省に於いて〇萬トン、山東省において〇萬トンの実績をあげてをり來春に入るとともに益々收買成績は向上するものとみられてゐる、雜穀收買の成績向上を見透し得る理由としての次の三點がある

①見返り物資の第一次放出、配給を完了してゐること

②來年度における雜穀の豐作が豫想されるために農民の供出氣運が増大しつあるとみられること

③積極的な中共討伐により中共の蒐荷工作が著しく阻害されたこと

會社

北支に新製鐵會社創立【北京四日發】〇〇製鐵株式會社では四日午後四時より北京飯店に第二回發起人會を開催、同會をもつて創立總會に代へることとし定款を附議可決の後、左の如く役員を選出した、同社が資本金五千萬圓、北支那開發及び日本鋼管の折半出資により設立、本社が青島、出張所は北京に置かれる、役員氏名左の如し

△社長 淺野良三(日本鋼管) △專務取締役 玉置善雄(日本鋼管) △常務取締役 大敏次(開發) △取締役 中田義算、松下長久 △監査役 渡邊政人、石川愛吉

華北交通新機構人事決定【北京五日發】華北交通では去る一日實施した機構改革に伴ふ人事の大異動を五日付を以て發表した、右は本社機構において從來の十二局を六局に半減、最高責任地位には宇作美總裁、後藤、周兩副總裁以下各理事が、幹部陣頭指揮制の實現を期した、新機構及び人事左の通り

△總裁 總務、鍊成、生活、事業の各部をおく

△新六局及び局長 經理理事市川健吉、運輸同佐原憲次、工務同平井喜久松、機務同加藤伸二、警務同陶尚銘、愛路同趙心哲、△東京支社長 參事伊藤太郎

北支那開發の新機構人事決定【北京十八日發】北支那開發では十八日機構改革の内容およびこれに伴ふ人事

異動を發表した、新機構の要點左の通り、北京支社の庶務、交通、電業、炭業および産業の五部を廢し、新たに計畫局、管理第一部および管理第二部の一局二部を設け物資調整部を物資部と改稱する、この結果新職制における北京所在部署は從來の一室七部より總裁室、計畫局、經理部、物資部、管理第一部及び管理第二部の一室一局四部に統一整備される、各部における課についても統合整備を行ひ、從來の三十八課一室を二十六課四班に改める

蒙疆

政府行政機構改革

【張家口二十九日發】 蒙古政府では去る十月一日確立された非常態勢強化施策に基づき行政運用の決戦化を期するためその基礎となるべき中央、地方を通ずる行政機構の改革を斷行明年一月一日より實施することとなり二十八日午後五時總務廳公報課より發表された

明年度農産物増産計畫決定

【張家口廿九日發】 蒙古政府では昭和十七年を初年度とする農産物増産五ヶ年計畫の第三年度たる明年度の増産實行計畫要綱をこの程決定した右實行計畫によると明年度において優良種子の配布、病虫害の防除、水利灌漑による未墾地の開拓、休閑地の利用、農耕技術の改善等にその施策の重點を置き、増産目標は對前年度比約三倍に達してゐる、なほ明年度の増産關係豫算は政府三百五十萬圓乃至四百萬圓、農事協會五百萬圓(種子購入費を含む)に上る見込みである

地下資源飛躍的に増産

【張家口十五日發】 蒙疆地區の地下資源開發は最近目覺しい躍進をみせ著々業績を上げてゐるが、就中石棉雲母の開發は顯著なものがあつて、これ等礦産資源の開發状態を概観すれば次の通りである

蒙銀正金間に特別圓勘定成立

【張家口十八日發】 蒙疆華中間の交易及び交易外收支の決済については本年三月締結の兩者間交易協定において差當り蒙疆の特殊性に鑑み特別圓決済によることに協定成立し、爾來具體的措置に關して蒙疆銀行と橫濱正金銀行間に交渉を進めてきたが今回兩者間に特別圓勘定開設並に運用に關する協定成立實施することになつた、この結果蒙疆と華中及び華南を初め、香港南方との物資交流は著しく促進されるものと期待されてゐる

中國短信

- (△國民政府▲華北×蒙疆)
- 四日 △谷大使上海着、木村備備銀行顧問來滬
- 十日 △谷大使汪主席と懇談
- 十二日 △國父遺志實現奉告祭(南京)
- 十五日 △田尻公使北京着
- 十六日 △全國衛生行政會議開催(南京)
- 十六日 △林宣傳部長等歸國(南京)
- 廿一日 △中日文化協會三周年祝典(南京)
- 廿三日 △各縣に地方法院分院設置決定△烟總司令官南京發北支蒙疆視察
- 廿四日 △山本大東亞次官上海着

つき四十圓とし十一月末迄に拂込を徴收する件○右に伴ふ定款變更の件、附議可決した

必要なりと認めたるもの○戦力増強上蒙疆に課せられたる重要國防物資の生産増強に必要不可欠からざるもの○食糧の増産、輕工業の振興などの民生の安定上必要不可欠のもの○低物價政策の遂行上緊急實施の要あるもの○その他國策遂行上緊急已むを得ざるもの、などに限の上し、極力支出を抑制して重點的效率主義に徹し既定經費についても再検討を加へたるが總額において前年度に比較、約四割程度膨脹したこれが財源としては稅收入並びに專賣益金等が主なるものである

により一時減産傾向を示したが、軍産計畫も非常措置が講せられ着々成果を収めてゐる、なほ最近各地に優秀雲母資源が續々發見され、直に開發に移されつつある○黒鉛、黒鉛の増産も黒鉛公司の手により夫々軌道に乗りつつある

廿六日 △東亞文化協議會總會(北日滿支連絡運輸會議(廿五日)廿七日) △山本大東亞次官南京着 △廿七日 △畑總司令官南京歸着 三十日 △畑總司令官南京歸着

滿洲國

政

皇帝陛下増産諸計畫を御聴取

【新京廿四日發】滿洲國皇帝陛下には刻下喫緊の問題たる鐵、アルミニウム、増産並びに農地造成計畫遂行につき夙に御留意あらせられ、廿四日午前張國務總理、武部總務長官に親見仰せつけられ、右各計畫案の内容につき種々御聴取あらせられるとともに右計畫遂行に萬遺憾なきよう特に優渥なる御言葉賜つた

張總理新京歸着

【新京八日發】大東亞會議に滿洲國代表として出席した張國務總理は李外交部大臣以下を従へて八日午後新京に歸着した

各省次長懇談會開催

【新京十八日發】滿洲國政府では明年度地方行政並に財政の決定的切替へと國內諸増産問題協議のため全滿各省次長を招集懇談會を開催し、第一の十八日は午前九時から總理官邸に開催、中央閣武部總務長官、源

田、古海兩總務廳次長以下各部長等、地方側全滿十八省次長出席、武部長官の訓示について明年度省府並に財政方針に關し午前午後、互に各省次長より夫々報告が行はれた、なほ第二日の十九日は農産、鐵、石炭、アルミ等の増産方策につき懇談が行はれる

王克敏氏滿洲國訪問

【新京十九日發】華北政務委員會委員長王克敏氏は日本訪問の歸途十九日午後三時新京飛行場到着を歓迎を行ひ、續いて張國務總理、武部總務長官、李外交部大臣を歴訪宿舎に歸り李外交部大臣の答禮を受け午後六時から總理官邸における張國務總理の招宴に臨んだ

皇帝に接見

【新京二十日發】華北政務委員會委員長王克敏氏は二十日午前九時二十分忠靈塔及び建國忠靈廟に参拜の後、十時四十分梅津關東軍司令官を官邸に訪問委員長就任の挨拶を行ひついで十一時四十分帝宮に参進、皇帝陛下に接見種々滿華親善上の有難き御言葉を拜すると共に午後一時三十分退下した

軍隊内務令制定

【新京七日發】滿洲國軍ではさきに國兵法を改正し國軍の整備強化を斷行したが、今回更に國軍將兵の軍隊生活の規範であり軍人精神の教典とも云ふべき軍隊内務令を制定、来る十二月八日の意義深き大東亞戦争二週年記念日を期して施行することとなり、七日それに伴ふ軍事部次長談話を発表した

つたが、今般更に軍隊内務規則草案に所要の改正を加へ、四日軍隊内務令を制定し精神の道を經とし日滿共同防衛の本義を緯として、兵營における國民生活の規範を定めたのである、國民魂の錬成を充實しては如何にすべき軍隊とは稱し得ないのである軍當局としては今次制定の趣旨を強調しこれに全力を集中以て國軍使命の達成に邁進せんことを期する次第である

蒙系住民逃走米兵逮捕

【新京十九日發】蒙古地帯に逃走潜伏中の米兵俘虜三名を發見した蒙古原住民が相手の虚偽巧言に惑はされず身の危険を冒して渾然一團となつてこれを逮捕したと云ふ滿洲國民の防護防護美談がこれほど明かにされ關係當局を感激させてゐる

勞務管理刷新強化

【新京十八日發】滿洲國ではかねて勤勞報國の實踐を期する基本國策大綱に基き重要事業場における勞務管理の刷新強化の方途につき審議中であつたが、去る十日の國務院會議においてこれが根幹をなす重要事業場勞務管理刷新強化要綱を決定、十八日一月一日から實施することとなつた、同要綱は國家の見地から重要な事業を行ふ鑛山、工場その他所管大臣の指定する重要事業場の事業主として勞務管理に關し勤勞報國の精神を基調とし、民族協和および勞働生産昂揚の實を擧げせしめるをその目標とするもので事業主は事業年度毎に勞務管理に關する實施計畫を豫め所管大臣に提出するほか勞務者に対する措置についてはその計畫及び結果を所管大臣に報告することを規定してゐる、又これ等の勞務管理を

中銀券發行高二十億突破

【新京四日發】最近増勢を辿る中銀の通貨發行高は十一月一日現在において二十六億一千六百二十八萬四千圓と二十六億圓の關門を突破するに至つた、右は主として特産物買付期に入つて買付資金の放出が最近著増したためで、特産物買付期以前の二十二億圓に比較すると約四億圓の増發となるが、そのうち約一億圓は興農金庫支店の手持現金の増大によるものであるから、實際の特産物買付資金は約三億圓と見られる

指導監督するため所管部に勞務官(假稱)を置き重要事業場における技能者養成の指導監督をも併せ管掌することになつてゐる

滿業の職制改正決定

【新京八日發】滿業では八日職制の改正を決定發表した、今次改正の要點は動員局を新設するとともに従來の二部十二課を二部六課制に改め、總務部は從來の文書、人事、庶務、會計、調査の五課並に防衛の一班を總務、人事、經理の三課に縮減して部長を廢し、また監理部は從來の第一、二、三、四、五課を第一、第二課に纏めた上これに審査役を配し第一課は資金の計畫調達及び金融、非鐵金屬、機械兩關係會社の監理を主たる業務とした、新設の動員局は今後滿業本社的心臓ともなるべきもので一局長に次長二名を配し特にその分課制を設けず、六人の審査役を配屬して徹底的に精銳主義による運用を行ふこととし、之に伴ひ左の人事異動を行つた(括弧内舊職)

戦力増強計畫日滿間意見一致

【新京十日發】過般東上し日滿を通ずる戦力増強生産擴充計畫等に就き日本側と具體的折衝を行つて八日歸任した古海總務廳次長は十日記者團と會見、左の如く語つた
今回滿洲側が携行した食糧並に鐵、石炭、アルミニウム等の増産企畫は日本側の全面的贊同を得たが、何分決戦段階に間に合ふ如くこれが實現を必要とするので、特に事務當局とも具體的に折衝した、要は戦力増強、生産擴充に關する限り國境觀念を撤廢して「戦力増強は滿洲でやるんだ」と云ふ氣持でやつて貰ふ必要がある、日滿を通ずる食糧自給方策特に新なる農地造成計畫に對しては日本側官民の非常な積極的強力方向が見え、これに必要な資金、資材は早速物動企畫に織込まれるであらうが、滿洲國としてはこのほかに荒

第二回經濟顧問會議

【新京二十三日發】滿洲國政府は二十三日午後二時より總理官邸に第二回經濟顧問會議を開催、政府側より武部總務長官以下、關開側より鮎川(前滿業總裁)、小日山(滿鐵總裁)、岡田(興銀總裁)、高崎(滿業總裁)、西山(中銀總裁)の五氏出席、武部長官から過般の對日折衝の結果を報告し、鐵、アルミニウム、食糧等の緊急増産計畫を説明した、これに對し各顧問より意見の交換を行ふと共に決戦に即應する滿洲國生産力の増強策につき種々懇話を重ねた

黑鉛の埋藏量世界的

【新京廿四日發】鐵鋼、輕金屬増産に必要な電極、坩堝の原料となる黑鉛の増産は日滿を通ずる緊急要請となつてゐるが、滿洲國東滿總省東安區域林口縣附近一帶の鱗狀黑鉛は、此種極めて優秀、埋藏量も甚大、これが開發により日滿の黑鉛需要を一舉に解決し得ることが最近の調査によりに判明した、即ち林口縣柳河、勃利縣蓮花を結ぶ丘陵地帯は花崗岩閃岩より成る黑鉛層で稀に見る優良鱗狀黑鉛を有してをり品位も廿五%乃至三十%以上と言はれ、埋藏量も柳河地區のみで〇〇〇トンを超え、採掘も既に開始され、手掘ですら日産〇〇〇トンで今後は三倍以上に増産すべく計畫を進めてゐる、右につき滿洲鐵發當局は次の如く語つた
東安區域の黑鉛地帯は數年前發見されて以來調査の進捗に伴ひ最近それが世界的埋藏量を有してゐることが確認された、品質も優良なもので將來非常に有望と思はれる、大東亞圈内では最大のものであらう、鑛發としてもこれが開發を積極化する意志を持つてゐる

東遼河の開拓工事開始

【新京十八日發】滿洲國の穀倉四平省の中心地區を貫流する東遼河の綜合開發はいよいよ本年度より總工費二千萬圓、二ヶ年計畫で交通部、開

鑛業 滿鐵化學工業諸事業檢討

【新京八日發】滿鐵では化學工業部門における社業の全般的な檢討を行ふべく八日新京重役公館に

おいて右に關する基本的な重要打合せを開催、小日山、佐藤、山崎の正副總裁以下同社首腦部出席、液體燃料工業をはじめ化學工業全部部門につき時局の必要とする業種別の可能性につき部門別に基本的な檢討を遂げ、金屬マグネシウム部門についても審議を行つたが會議は九日も續行される、しかして會議の結果實行性ありとし時局の緊急性に照應して極めて近き將來に建設を完了して製品を産出するといふ即効的な方法が大なる條件となつてをり、又企業形態等も直營係系の如何を問はず最も有效適切な方法をもつて實現の可能性と必要度の緩急に應じて着手せんとしてゐる

地の復舊、未開墾地の活用等を圖り増産の完壁を期する方針である、アルミニウムの増産については大陸原料によることに意見の一致を見つたのでこれが企畫立案を滿洲國で行ふ豫定である、鐵鋼に關しては現有施設の完全運轉とともに場合によつては内地設備の一部移駐についても相談してゐる、要するに計畫については全然日滿の意見が一致し具體的な點についても大體諒解がついた、今後はいかに日本の物動に織込むかといふことにこの點についてはさらに日滿協力をして戦力増強の完壁を期さねばならない

増産に必要な資金融通の圓滑を圖りつつあるが、さらに右制度を擴充、鑛業金融のみならず生産力擴充資金その他時局に緊要な資金の融通についても政府において特別保證を行ふこともとなり所要の手續きを了へて廿九日事業資金に對する特別保證に關する件を公布、即日實施した、右によれば滿洲興銀または興農金庫が生産力擴充資金等時局に緊要なる資金の貸出をなす場合、政府が必要と認めるときは興銀または興農金庫に對しその元本の償還及び利息の支拂ひにつき保證し、經濟部大臣が必要ありと認むるときは興銀または興農金庫に對し資金の貸出しを命ずることが出來、この場合政府は興銀または興農金庫に對しその元本の償還及び利息の支拂ひを保證するもので、本制度の實施により資金の面より生産力擴充に資するところ大なるべく、その効果が期待される

【新京十六日發】開拓地の増産については明年度は動的に勤勞奉仕隊を動員することとなり、この程日滿兩國政府當局間に意見の一致を見た、それによれば明年度は日本側五萬滿洲國側五萬、計十萬の勤勞奉仕隊を動員して開拓地増産に挺身せしめるもので、この十萬のうち學生勤勞奉仕隊として約四萬を動員するが、その内譯は日本側三萬(女子三千)、關東州側、滿洲側が各五千(女子一千)となつてをり、勤勞の時期は播種、除草期の五月上旬から六月上旬にかけて二萬名、收穫期の九月上旬から十月上旬にかけて二萬名と二期に分けて動員し男子學生は開墾、播種、除草、收穫の作業に女子學生は園の炊事、育児、裁縫等に奉仕せしめることとなつてゐる、なほ隊の編成については男子五十名、女子十名を單位として開拓團の勞力狀況に應じて一乃至數隊を配屬する

拓總局共同で實施されることになり本年度は先づ工費として八十六萬圓をもつて早くも現地調査と併行して工事を開始した、同計畫によれば梨樹縣に洪水防止、河水調整を目的とする土堰堤を築造、〇億立方メートルの容量を有する貯水池を設営、下流沿岸の濕地アルカリ地帯等を干拓改良して約二萬ヘクタールの新たな農地を造成する外、クワンソルの都市に豊富な工業用水を供給するもので、これが完成により洪水防止による増産その他戦力増強に多大の成果を舉げるものと期待される

農 業

農産物の早期出荷 割當量の六倍

【新京十九日發】滿洲國における本年度、農産物の出荷は豐作と官民一體の努力により頗る好調を示してゐるが早期出荷最終日たる十五日の農産會社收買量は全割當量の實に六倍に達し、これを昨年度同月に比すれば凡そ四倍の出荷量を確保するにいたつた、これを省別にみる

と吉林省の八六・一%を筆頭に五〇%以上の省は北安、濱江、四平、錦州の五省で早害を蒙つた錦州省がかかる好成績を収めたことは頗る注目される、また品目別にみると五〇%以上のものは大麥、燕麥、糧穀三品で大豆は四八・二%でこれに比し雜穀は一・二・五%で最下位である

農地造成に邁進

【新京廿一日發】日滿支を通ずる食糧自給自足確保の一翼として滿洲國政府では第二松花江、東遼河流域等における約〇〇萬町歩の緊急農地造成案を策定し過般武部總務長官以下政府首腦が東上し日本側政府の援助協力について折衝の結果その大綱において完全に意見の一致を見、同長官の歸任とともに同案の細部にわたつて實行案を更に検討し日本側の事務的折衝を残すのみとなり既に關係事務當局者の一部が同案を携行して東上したが、廿二日日本側において「滿洲國緊急農地造成計畫」に対する協力援助に關する件一を閣議決定したことによつて同計畫は強力に推進されることとなり、滿洲國としては大東亞食糧基地としての使命完成の覺悟を一段と固め日本側の協力

政 治

憲政實施協進會設置

【廣東十一日發】重慶中央社電によれば蔣介石が曩の十一中全會で民心繋ぎ止め策として公約した憲政實施に關し申す準備を進めるため重慶に「憲政實施協進會」を設置することに意がつたが、同會は十二日重慶において成立式を舉行する

【廣東二十七日發】當地に達した情報によれば、重慶政權宣傳部長梁寒操は去る十一日外國記者團と會見、當面の重慶國內問題に關し種々説明したのち懸案の憲政實施問題に言及し現情勢においては憲政の早急實施は到底困難であると次

勞働義務法案可決

【廣東十九日發】勞働力の不足に悩む重慶政權は勞働義務法案を立案中であつたが、重慶來電によれば十八日の行政院會議に於て右法案が正式に可決された、同法によると十八歳から五十歳までの男子は毎年八十時間（一年に十日間）の勞務勞働を課せられ、特別の事情ある場合は二倍に延長されることになつてゐる、勞働は主として道路建設水利事業その

參謀長パウナルに不満

【廣東二日發】重慶情報によればマウントパツテンの

援助に應へんとしてゐる、即ち右農地造成計畫の概要は總面積〇〇萬町歩で水田〇〇萬町歩、畑〇〇萬町歩から成りこれを康徳十二年までに完成し、康徳十三年度における生産量は粗、雜穀合せて凡そ〇〇萬トンに達定その約半數は對日寄與し得るものであり造成地區は新たに康徳十一區の水田造成〇〇萬町歩東遼河地區水田造成〇〇萬町歩と三江省鶴立縣鶴立にも滿洲拒殖公社を合流させること崗地區はじめ東安、吉林、北安、龍

江、錦州、奉天の各省下において目下土地開發會計の手により施行中の水田〇〇萬町歩、畑地〇〇萬歩の造成事業であるが、今回日本側が全面的にこれに協力するに至つたことは日滿支食糧自給體制の確立を著しく促進するものとして頗る期待されるものがある、なほ今次決定の農地造成實施を機會に、これが實際の衝に當る滿洲土地開發會社を擴充するとともに滿洲拒殖公社を合流させることになつてゐる

他公共事業等で、國防工業に従事する者は免役される

なほ官公吏、學生、婦人の義務勞働制に就いては別途に立案中で近く發表される豫定であるといはれる

重慶政權

重慶紙政權弱體を暴露

【廣東廿六日發】重慶文化層の動搖は重慶當局必死の防遏にかまゝならず愈々深刻で、巧妙なる詭辯をもつてして其懷柔は困難なる情勢を示してをり、最近の建國日報の如きは「六年の自白」と題する論評を掲げ抗戰態勢の確立には先づ重慶部内に充満する貪官汚吏及び土豪劣紳を先づ芟除し、然る後ち政權を再建すべしと痛撃、重慶自體の浮薄ぶりを假借なく左の如く暴露してゐる

われわれの抗戰建國の根本目標は民族獨立を目指し三民主義を基幹とする新中國を再建するにあり、かかる觀點から見た場合現在の重慶が如何なる方向に進みつつあるかは慎重なる検討を要する、しかも現在の抗戰が愈々多難にして國民建設も問題山積前途遠慮なるに拘らず、政權部内は貪官汚吏充満し、建軍の基礎、建設の基礎組織を確立してゐない、かくては對日全面反抗の發動などは到底困難であらう、故に重慶の抗戰態勢を再建するには先づ政權自體を刷新し、然る後民衆の生活安定より出發すべきであり、今日に至る六年間

の抗戰建國の國策は根本的に修正を加ふるべきである

【廣東二日發】重慶情報によればマウントパツテンの

【廣東二日發】重慶情報によればマウントパツテンの

東南アジア反極軸司令部參謀長ヘンリーパウナル中將が任命されたことは英國の對重慶非協力態度を表明せるものとして重慶首腦部に非常な不滿を醸成せしめてゐるといはれる。即ちパウナル中將は從來重慶軍の實力を最も輕視し對重慶非協力態度を最も露骨に表示した人物であり、今次のビルマ反攻作戰に際しても恐らく重慶軍に對して極めて冷淡な態度に出るのであらうと豫想されてゐる。かくの如き札附の人物をマウントバツテンの片腕として任命したことは英國が米國との協調のみに重點を置き、重慶との協調を依然無視したものであるとなし憤慨してゐるといはれる。

英の陋劣態度を攻撃

【廣東二日發】米英特に英國側の誠意のない援蔣態度に對する重慶側の不滿は最近屢々表面化してゐるが、近着の重慶政權機關紙中央日報は短評欄に「不愉快なる事實」と題し左の如く英國の態度を痛罵した一文を掲載してゐる。
過般米國上院議員の戰線視察談中に「英國の重慶に對する援助は未だ充分な努力が拂はれてゐない」といふ言葉があつたが、われわれとしてもこの言の眞實性を認めない譯にはゆかない、われわれはこの友邦の無責任な態度を攻撃すると同時に英國がこれに對する反證を表示してくれることを望むのである、今や東南アジア軍司令官マウント・バツテンは着任し東亞極軸軍將領はニューデリーに參集して久しく策を練るところがあり、作戰は正に遷延を評さない事態である、なほまた英國が米國よ

りの武器貨物資の商標を自國のものに張りかけて他國に送り戦後における有利な地位を獲得しようとした事實は我々にとつてもつと不愉快を禁じ得ないところで、これは決して貸與法施行上の技術的な問題のみではないのである。

正面切つて米國攻撃

【廣東六日發】米英の懸聲のみの援助に對する重慶の不滿は漸次鬱積しつつあり、重慶言論界はこの空氣を反映して米英の不誠意をなじる論調が隨所に見られるが、最近の桂林發行情報の如きは「米國人の五大錯覺」と題する一文を掲げ正面切つての米國攻撃を行つてゐるのは注目すべき傾向である。

米國の開戦以來の慘敗は軍事的のみでなく精神的にも完全に敗北を喫してゐる、第一に米國はその誇示する財力によつて如何なる最強の國家でも擊破し得ると考へてゐたが、十萬ドルの小切手で戰車一臺を破壊することが出來ないのはあたりまへだ、第二は白聖館のみつともないお家騒動である、各機關は年中摩摻し國務省と戰時動員局の如きは衝突が絶えず戰時下の貴重なる時間を浪費してゐる、第三は陸海長官の頭古さだ彼らは依然として保守的且誇大的な理論を固持して譲らざる、陸大の空中訓練の科の如きはごく最近になつて漸く新設された位であり、この古老連の頭では複雑な陸海共同作戰の如きは無理な話だ、第四はあひも變らぬ樂觀のニユースであり、國家の軍大事に民衆を安心せしめて勝利を得られるわけがない、第五には一週四十時間の勞働力で極軸を擊破

出來ると自惚れてゐることだ、その心底には金錢がこびりついてをり、英國が毎週七十時間から八十時間の勞働力で如何に苦心してゐるかを見るべきであり、金力のみで戦力が獲得出來ないことは今更いふまでもあるまい。

米英は我々を蔑んでゐる

【廣東十五日發】去る十月中旬米國より重慶に歸還せる林語堂はその後重慶各界に對し最近の米國情勢に對する見解を披瀝し、盲目的に米英追隨をこととしてゐる政府當路者の間にも相當の反響を呼んでゐる模様であるが、林は去る十月二十四日中央大學において「東西文化と心理建設」と題する講演を行ひ、「不平等條約は撤廢されても、米英人の心中に約の不平等心理は今も依然として根強く残つてゐる」と次の如く述べ

重慶政府當局の對外宣傳は外國をして却つて支那に對する認識を誤らしめてゐる傾向がある、また我々は外國を觀察する場合、あくまで自國に對する自信を堅持した上で、米國を見るやうにしなければならぬ、これと相互間の摩摻や官公吏の全權濫用に起因するいざごは絶えたことがない、孔子は嘗て立國の道は食足り兵たり信立つを要すと述べてゐるが、これはとりもなほさず物質建設と同じ時に心理建設も確立するべきことを言つてゐるのだ、現在不平等條約は撤廢された、しかし彼等外人の不平等の心理は依然として根強く存在し

輕侮の觀念が改まつてゐないと同様、我々の側でも外人を大人視する買辦根性が未だに抜け切れないのである、平等は決して他人から與へられるものではなく自らこれを獲得するべきものでありこれを忘れては支那は永遠に救はれないことを我々はつきり知るべきだ。

孔祥熙不平等條約撤廢を諷す

【廣東十七日發】重慶側最近注目すべき現象としては親英米派にすら米英に對する懷疑の感情が兆しつつあることで親米派の巨頭たる財政部長孔祥熙は「四つの希望」と題する論文を最近の力報に寄せ、暗に米英頼むに足らざる感情を含めて次の如く述べてゐる。

蔣介石の「中國の運命」の結論は要するに我々は環境に適應せる建設をするに我々中國復興を圖るにあるので、決して外力によつて國力を増進するものではないことを力説してゐるのだ、我々の思想の根底には地大物博の思想が強く流れてゐるが、これを打破しなければ中國の近代化は到底不可能である、列強に比しては中國の工業のいかに貧弱であるかは贅言を要しない、人力や畜力のみでは軍艦は建設し得ないのだ、國父孫文は「交通は實業の母であり鐵道は交通の母」といはれた如くわれわれは國土近代化の第一歩から再出發すべきである、今日不平等條約は撤廢されたが、これは決して欣喜すべきではなく寧ろ一本のレールを敷くことに全力を注ぎ中國の自主自立の鐵路を貫通すべきだ。

更に一矢を酬ゆ【廣東二十日發】

近の重慶大公報によれば行政院副院長孔祥熙は外人記者團との會見席上次の如く述べ、米英の世界政策に一矢を報じてゐる。

對外國保關 諾亡命政權重慶間 法權撤廢條約調印

【廣東十一日發】重慶中央社電に依れば重慶外交部は十日重慶ノルウェー亡命政權間に治外法權撤廢に關する協定が成立、同日重慶外交部長宋子文ノルウェー亡命政權大使との間に調印を了した旨發表した條約内容は例に依つて北京、上海、厦門等失陥地區の租界返還及び沿海貿易權の拋棄等何等實質を伴はない空手形である。

遣英使節團を派遣

【廣東十一日發】重慶放送によれば重慶政權は昨秋重慶を訪問した英國議會使節に對する答禮のため遣英使節團を派遣することに決定、過般來日外交節より左の如く發表された、

一行は近く重慶を出發、ロンドンに向ふ豫定である王世杰(前參政會秘書長、王雲五(國民參政會社會委員)抗立武(同)胡霖(參政會委員、大公報編輯、溫源霖(外交部總務局長)王世杰等渡英【廣東廿日發】重慶放送によれば王世杰を團長とする遺英重慶使節團一行は十八日午後インド經由空路訪英の途について

米大統領の特使重慶へ

【ブエノスアイレス十四日發】米軍代將パトリック・ハレーは約四週前ルーズベルトの特使として東北に赴いたが、十四日に至り重慶からのUP電報は同特使が三日間重慶に滞在、蔣介石、何應欽等の協議を遂げた後十四日重慶を去つた旨報道してある、右報道によればハレーは先づニューデリーで反樞軸軍代表と協議した後、米軍航空隊司令スートラトメーヤー少將と共に空路重慶に赴き米軍司令スチルウェル將軍の本部で數回に亘り會議を遂げ、次いで重慶軍政部長何應欽と會見最後に十三日夜は蔣介石主催の晩餐會に出席したと云はれる、ハレーは又外交部長宋子文とも會談したが同人の使命に付いてはルーズベルトの個人的代表として前線の實狀を觀察大統領に報告する爲めと云ふ以外詳報はない

軍

事

米支混成飛行團を編成

【廣東八日發】重慶UP 六日電によれば在支米空軍は今日米支兩國人飛行家を以て混成飛行團を編成し支那各

地の米空軍基地に配屬せしめた旨發表した、同飛行團は從來の在支米空軍第十四航空部隊或は重慶空軍とは別個の組織で、米國より新たに派遣されるこのほど到着したものといはれるが、指揮權は在支米空軍司令官シエンノットが掌握し、更に大陸戰線における航空要員不足を補ふため支那人飛行士を訓練し養成してこれに當てんとするもので、米空軍の重慶空軍乗取りの野望を露骨化したものであることは明らかである

混成航空部隊の内幕

【リスボン八日發】重慶來電に米支兩航空部隊員を包含する混成航空部隊が編成されたことは六日南支の某航空基地において混成航空部隊情報部員少佐フランクリン・メトカーフによつて始めて正式に發表されたのであるメトカーフ少佐は右事實を發表すると同時に次の通り揚言した

混成部隊に屬する各部隊は既に重慶治下各地の航空基地に到着した、混成部隊の地上員は重慶軍將兵並に米軍技術者から成つてゐるが、言語の相違から幾多の困難な目に遭つた、而して米支混成部隊は米國側が頻りに米將兩軍の戰爭協力が具體化されたいものだと言傳してゐるが、事實上は在支米空軍重慶空軍をその下に吸収、併合してしまつたこと、即ち軍事迄も逐次米國の手に握られた事を意味する、例へば混成部隊の總司令官がシエンノットであるに加へ、各單位部隊の司令官も米國人將校であり、支那人將校はこれが副司令官として配屬されてゐるに過ぎない、尤もあらゆる作戰を行ふ前に正副司令官の意見は完全に一致するとの規定はあるが、これも結局有名無實の規

新徵兵辦法公布

【上海九日發】重慶軍の兵員補充難は最近とみに激化してゐるが、重慶軍政部當局はこれが對策として去る十月廿五日新たに徵兵辦法を公布し、急速補充方を嚴命したと傳へられ、新辦法によつると滿廿歳に達した者を徵集すると明示しながら、施行規則には本軍は應急措置として滿十九歳に徵集年齢を引下げ、もしこの第一次の措置でなほ滿たない場合は第二次手段として徵集年齢を滿廿五歳まで引上げることにしてゐるが、結局重慶側の企圖は年齢を問はず不具者に非ざる限りこれを徵集するといふ方針である、これと呼應して重慶側は正規軍の不足を補ふ他の手段として遊撃隊、雜軍等を改編して正規軍の頭数を揃へることに躍起となる一方、連坐法を強化して隊内から逃亡者が出た場合には同隊の残りの兵隊を嚴罰に處する等の方法をとつて逃亡兵防止に躍起となつてゐる、雜軍遊撃隊等を如何に改編したとて、これらは元々訓練も裝備もなつておらず、連坐法の強化も残つてゐて罰せられるなら割に合はぬといふので却つて逃げ出す者が多いといふ有様で重慶側必死の對策も悉く失敗してゐる仕末だ

在印重慶軍は米軍指導

【廣東廿日發】駐印重慶軍の一部は目下ビルマ奪回の白晝夢に踊らされ血の犠牲に供されることも知らず、アッサムから北部ビルマを通ずる新ビルマ公路の建設に苦力代りに使役されると共に、小癩にも進撃を企圖してると傳へられるが、ニューヨークタイムズ特派員は印緬前線某基地からの特電として、駐印重慶軍の司令官にはこの程在印支米軍司令官スチルウェルが任命され、スチルウェルが直接作戰指揮を執つてゐることを明かにすると同時に完全に、米軍の傀儡と化した駐印重慶軍の近況について次の如く報じてゐる

ビルマ作戰の最大難關は後方補給

【廣東十日發】雲南方面に對する日軍の先制攻撃によつて反樞軸側が呼號するビルマ反攻はその出鼻を挫かれた形で印緬國境方面の敵は依然として動かず、マウントバットン着

任以來既に月餘、新司令部の組織も作戰計畫も未だに完成をみない模様であるが、重慶放送は英例情報として反樞軸反攻を開始するにはなほ幾多の解決さるべき問題があり殊に後方運輸の困難が最大の難關となつてゐる旨左の如く報じてゐる

陳誠雲南より退陣

【ラングーン廿九日發】ビルマを繞る軍事的情勢が益々緊迫を告げつつある折柄、中立國筋の情報はビルマ反攻重慶遠征軍司令陳誠が辭職したと報じ、注目をひいてゐる、右に關し重慶側は全く沈黙を守つてゐるが情報綜合すると從來重慶軍と英印軍との提携によるビルマ總反攻企圖が今次の日本軍による怒江方面急襲作戰によつて全く畫餅に歸したとビルマ反攻作戰を全面的に改竄せざるを得ない窮地に迫込まれ、従つて陳誠はその責任者として病氣を理由に辭職したのではないかと解されるまた陳誠失脚の裏面に潜む事情に關しても各種の取沙汰が行はれてゐるが主要なものから左の如くである

一、十月初めには開始された日本軍の怒江方面急襲作戰によつて、重慶中央軍の第三十六師が高黎貢山脈内に追詰められて殲滅に瀕したとき、蔣介石は陳誠にこれを救済する様敵命したと言はれるにも拘らず、陳誠はもとよりその麾下の軍、師長も悉く怒江東岸を一步も踏み出そうとはせず拱手傍觀の態度に出たため、怒

かりで、米軍の將校と下士官が指揮してゐる、これは基本訓練から地上と空中の共同作戰ジャングル戰術や複雑な兵器の使用法等も含んでゐる司令官にはスチルウェル中將が任せられ、パウナル參謀長が直接訓練の責任者である、衣料や俸給は英蔣間の財政協定に基いて英印軍から供給されることになつてゐるが、金銭傳達には米蔣兩國將校により組織された機關がこれに當つてゐる

江西岸の橋頭堡は日本軍のため、に覆滅され、一切の反攻計畫は水泡に歸したのである。かくて惨敗の結果怒江西岸の豊富な食糧を胸算用に入れてゐた重慶遠征軍としては西岸への出入口を完封され、早速兵站疎開の題も新たに再検討を要する破目陥つた、かかる作戦上の重大齟齬を招來した責任者として陳誠の辭職になつたものである。

二、更に他の情報は陳誠と東南アジア反極軸軍司令官マウントバットン及び在支米軍司令官スチルウェルの間に何等かの意見の不一致があつたことを示唆してゐるが、最近頻々として傳へられる英米兩軍の重慶軍に對する暴狀や奴隸的差別待遇問題もあり或ひは英米將軍合體の複雑な指揮權限問題を併せ考へるとき、印緬支國境における英米將陣營内には容易ならぬ不一致が惹起されてゐるものと觀測されるので、或は陳誠が今回の作戰失敗特に反極軸陣營内の指揮不統一の犠牲になつたとも解される。

なほ辭職後の陳誠の行方については再び第六戰區司令に轉出し、今次支那派遣軍の洞庭湖方面の進攻に對處せしめることになつたとの報道がある。

【廣東五日發】桂林大公報の報ずるところによれば最近西南支那は七年來の石炭大飢饉に見舞はれ粵漢、湘桂、黔桂の三鐵道は數百の車輛が運轉停止のまま雨曝しにされ、衡陽電力廠は一週間に亘り停電、各都市の工場は電力不足のため殆んど操業停止したといはれる、原因は西南各炭が防水設備不完備のため坑内の浸水に振向けられたため山元貯炭は全然消化不能に陥つたこと、炭礦の劣悪な待遇に不満を抱く坑友は極度の労働力不足を來したこと、石炭商が奇貨おおく可しとなし囤積を開始したことなどによるが哀れをとどめたのは

し、①一億弗、節約建國貯蓄債券發行擔保②一億弗、民國卅一年度同盟勝利米弗公債發行擔保③二億弗、金融安定のため米國より金塊購入④一億弗、その他の用途に充當と説明せられてゐるものの第三項に該當するものであつて、この金塊の用途に關しては次の如く決定されたといはれる、即ち三分の一は法幣を回收、三分の一は發行準備として中央銀行に保管残り三分の一は敵地區よりの物資買上げ金に充當する豫定であるが、當初張平群の言明せる如く金塊がすべて金融通貨工作のためにみ振向けられることなく、その一部を敵地區の物資購入に充當せんとしてゐることは重慶治下の通貨工作が刻下の重要問題だと同時にそれにも増して物資の窮迫がいかに緊迫せるかを示唆する一端として注目される。

一億米弗の金塊

【上海九日發】重慶來電によれば米國より二億米弗相當額の重慶向金塊六

トロンがこの程重慶に到着したといはれる、右金塊は去る九月十五日行政院參事張平群が外人記者團との會見席上對米五億米弗借款の用途に關

一般大衆で夜は蠟燭、ランプを灯し電燈に代へる始末で、その上電力不足に起因した物價の狂騰に四苦八苦しつてゐると傳へられる。

【廣東十一日發】重慶放送によれば重慶政府は今回證券取引所及び手形交換所を重慶市に設立することとな

南方諸國

軍政諸地域

【昭南十日發】昭南で光る蝸牛を發見

北帝大名譽教授畑井新見され、斯界の泰斗東



喜司氏から新發見の折紙をつけられて戦ふ南方學術界に朗かな話題を提供してゐる、この光る蝸牛の發見者はセレベスにある昆蟲専門の熊澤誠義技師で、さき頃昭南を訪れた水交社に假泊して専門の螢の幼蟲を探してゐたとき偶然この光る蝸牛を發見

【昭南廿四日發】食糧自給力の飛躍的強化と都市遊休労働力の活用を圖り、ひいては原住民勤勞精神の昂揚を期するためマライ軍政監部「集團的模範農村」建設を計畫、十一月初旬より華僑協會の有志數名を加へた調査團を派遣實地踏査を行つたが、この程成案を得たので來る十二月中旬よりこれを實施することとなつた

右模範農村は計畫農村の創設と農地の原住民への開放を基本とし差當りジョホール州及びネグリセンピラン州内の四地區にこれを置いて住民を移住せしめ食糧増産に挺身せしめる方針である、移住民には一戸當り三四英反の土地を與へて自由に設置せしめ、建造資材は一切軍政監部が幹旋し、農具は無償貸與の上食糧も自給し得るまで供給することは勿論、生活必需品も供給する建前で耕地が無償移讓なることはいふまでもない、なほこれら農村には孤兒院、學校、病院、役場、農會、共同作業場

スマトラ

【〇〇八日發】さての東條首相の開明に基き南方各地方のうちジャワ、マライでは既に原住民の政治參與が實現されたが、スマトラでも豫ねて独自の立場から原住民の政治參與につき施策を進めてゐるが、今回愈々實施の運びとなり、八日の大詔奉戴日を期して軍政監部からその實施要綱が發表された

原住民に政治參與

甲敷地も豫定され、耕地面積も能力次第によつて擴大されることとなつてゐる。

聯合で組織するもので、上場證券は現物に限られる、一方手形交換所は證券取引所同様三銀行、二局及び各商業銀行をもつて組織資本金は二千五百萬元で會員組織である

【昭南十日發】南方建設の中心基地、昭南で最近「光る蝸牛」が發見され、斯界の泰斗東北帝大名譽教授畑井新見され、斯界の泰斗東

①名稱 議員の選任 約半数は村長等の推薦としたもの、他の半数は宗教團體その他の團體員、若しくは徳望高く且つ學識經驗あるものの中より州長官任命す②議員資格 特に制限せず③議員年限 一年但し再任を妨げず④議長及び副議長 議員互選せるものの中より州長官任命す⑤定例會議のほかに臨時會議を開催す⑥職務權限、政務に關し州長官の諮問に應じて答申し必要に應じ建議する

集團的模範農村建設

【昭南十日發】南方建設の中心基地、昭南で最近「光る蝸牛」が發見され、斯界の泰斗東北帝大名譽教授畑井新見され、斯界の泰斗東

①議員の互選により常任委員若干名を置き常時州長官の諮問に答へしむ

②議員は名譽職とし議長三千ギルダ、副議長二千ギルダ、議員一千五百ギルダの手當を支給す

二、左の要領により官吏の登用を圖るの仙その待遇を改善す

④各州に原住民を長とする厚生局を設置し主として原住民の福祉に關する事項を處理せしむ

敵産農園處理方針決定

【ブリチンギ廿五日發】ゴム、椰子油、胡椒等の重要農産物を生産し南方企業農園の中樞を占めてきたスマトラの敵産農園に關しては昨年八月

昭南に設立を見た昭南ゴム組合に生産、蒐荷等一切の經營が委ねられて來たがスマトラ軍政監部ではマライと別箇に經營の合理化を圖るべく豫てより中央と折衝を重ねてゐた所、今回愈よ正式經營方針が決定、近く實現に移されることになつた、今回の決定に基き昭南ゴム組合は來る十一月卅日をもつてその經營を打切り敵産農園の大部分を指定業者にそれぞれ分割委託經營せしめると同時に新たにこれら業者をもつてスマトラ農園會を組織せしめ、軍政監部との連絡保持に當らしめることになつた

而して今回の改正の特徴とするところは従來昭南ゴム組合が直接事業經營に當つてゐたのに對しスマトラ農園會は直接事業に携はらず、主として資材、資金の斡旋、農園の維持その他連絡統制など統制會の性格を有することとなり、一方農園の維持經營には各業者の過去における經驗と

ジャワ

原田最高指揮官 巡視

【ジャカルタ二日發】

原田最高指揮官は軍政監部産業部長その他を帶同廿四日夜ジャカルタ發東部ジャワ、マデラ、ケデリ、マラン、ブスキ、スラバヤ等五州の軍政狀況を親しく巡視し、一日ジャカルタに歸還した

原住民を州長官に登用

【ジャカルタ十日發】軍政監部では去る八月一日の現地住民政治參與並に原住民高級官吏充用に關する最高指揮官聲明に基き、曩に軍政監部各部參與として各地より練達の原住民を起用したほか次席總局長並にポール、バンデン、マドラの三州經濟部長に原住民官吏を拔擢任用し、軍政監部總務部長にヂヤヤ・デニングラード氏(中央參議員)を登用したが、更に十日附を以て曩に内務部參與に任命したスタルジョ、スルヨ兩氏をそれぞれジャカルタ、ボジョネゴ各州長官に拔擢登用し、左の如く發令した

- 内務部一等行政官、内務部參與 マス・スタルジョ・カルトハ
- 内務部一等行政官、補ジャカルタ州長官 デクスモ
- 内務部一等行政官、内務部參與 ラデン・マス・トマンゲン
- 内務部一等行政官、補ボジョネゴ州長官 リヤ・スルヨ

全住民の感謝吐露

【ジャカルタ十三日發】ジャワ軍政監部ではさきに許容した現地住民政治參與に對する五十萬住民の感謝の意を帝國政府に表明するため今回中央參議院議長スカルノ、同參議員ハデに派遣したが、右に關し十三日軍當局談が發表された

△軍當局談 今般派遣ありたる中央參議院議長一行の使命は戦時下ジャワ住民の政治參與を許可せられ、而もその具體的措置が急速に實施せられたることに對する全住民の感激を吐露し、深甚なる感謝の意を捧げるとともに、この感激の下全住民の一致團結、大東亞戰爭完遂の固き決意を表明せんとするものなり、また一行は大東亞共榮圏の核心として、また大東亞戰爭遂行の中核として、決戦體制下にある日本内地を視察し、親しくその指導に接しその眞髓に觸れ、以てジャワ戦時體制確立の推進を期するものなり

作戦記念館落成

【バンドン九日發】大東亞戦史に陸離たる光彩を放つジャワ戦時作戦を永遠に記念すべきジャワ戦時作戦記念館は同作戦の最後を飾つた由緒ある戦蹟たるバンドン郊外レンバン丘陵の舊インテラ・ホテル跡にかねて設営中であつたが、このほど内外の裝備一切を終り、また同庭園内に御遊營中であつたジャワ作戦に散華せる〇〇柱の英靈を祀る護國神社も落成を見たので大詔奉戴日の佳き日をトシ八日午前九時三十分から軍政監以上軍官民原住民等約五千名參列のもとに嚴肅盛大な開館式が舉行された

真正伊人の監視解除

【ジャカルタ二十日發】ベドリオ政權の裏切り行為以來軍政監部ではジャワ在住百八十名のイタリヤ人に對し懇切なる保護並に監視を行つてきたが、これらのイタリヤ人は何れもフアシト共和政府に忠誠を誓ふとともに軍政推進に協力の決意を明らかにするに至つたので今回その監視を解放從來通り樞軸國人として取扱ふことに決定、發表された

回教聯合會設立認可

【ジャカルタ廿二日】舊インドネシア最高回教會では島内回教團體の協力を結集するため、去る十月廿四日總會の決議により同會を發展せるに消せしめ、新に全ジャワ回教團體の連絡機關としてインドネシア回教聯合會(略稱マシニム)を設立するに決し認可申請中のところ廿二日附軍政監部より正式に認可された、なほ新聯合會總裁にはハシム・アシアリ氏、副總裁にユム・マンヌール及びワヒド・ハシムの兩氏がそれぞれ就任した

緊急食糧増産對策決定

【ジャカルタ四日發】緊急食糧對策樹立のため第二回ジャワ各州經濟部長會議は四日軍政監部に開會、緊急食糧増産對策を協議の結果、これを決定、直ちに實行に移すこととなつた、本對策の骨子左の通り

- ①不急不要の企業農園の轉換を促進するとともに未開地の開墾による耕地の擴大をはかる
- ②企業農園における勞務者の食糧を自給す
- ③休閑地の徹底的利用を行ふ
- ④農村金融の擴充もつて一定量の租を供出せしめる
- ⑤地方自給團體に責任を擔負せしめる
- ⑥重要都市における配給機關を整備し配給の適正確實化を計る
- ⑦軍政監部産業部、中部、ジャワの各食糧増産技術及び技術監督を設け當該地域内の緊急食糧増産の技術指導を統率指導する

海軍地區勞務中 央協會發會

【マカッサル一日發】現地海軍軍政當局は進展する管下の産業開發に對處し勞務の重點主義に基き需給調整を圖るため、かねて海軍勞務中央協會を設立すべく準備中のところこの程成果を得るに至つたので一日發會式を舉行、規約、事業計畫昭和十八年豫算並に會費賦課方法その他議案を附議原案通り正式決定した、即ち右協會は今後各地區毎に設立さるべき勞務協會の中央機關として勞務の適正管理、給與制度の制新勤勞能率の向上、急速なる技術養成



を計る他勞務の移入とこれが統制ある配分を行官民一體の協力なる統制機關で、役員には理事長〇〇海軍大佐が就任理事七名、監事二名、參與一名をそれぞれ決定した

民政地域原住民参政近く實施

【マカツサル二十五日】セレベス南

ボルネオ、セラム等の南方海軍政地域における原住民の政治參與に關してはかねて民政當局において中央の方針に基きこれが實施に必要な諸法令の立案調整を急ぎつつあつたが成案を得たので去る十月二十六日より開催された民政部長官會議にこれを上程、討議の結果最後の決定を見

マラリヤ技術員養成所第一回卒業式

【マカツサル五日發】熱帯の頑敵マ

ラリヤ撃滅に挺身する原住民技術員養成機關たるマカツサル研究所熱帯衛生部マラリヤ技術員養成所の第一回卒業式が五日午前同部講堂で現地軍官民關係者參列のもとに行はれた

マカツサルの人

【マカツサル廿九日發】マカツサル

市の人口調査はこのほど完了したがこれによれば本年三月現在の人口は一〇一、六八九名(邦人を除く)で内インドネシア人は七六、六八二名華僑は二三、四四八他は歐洲人、インド人、アラブ人であるが、この外

マカツサル市管下島嶼人口約三九、二〇〇名で總計實に一四〇、八八九名に上る、なほ右調査は戦時下準備の不備などのため一齊調査によるものではないので多數の誤差はさげられないが開戦直前の推定人口九萬に比すれば實に四萬以上の増加でマカツサル市の増進を如實に示すものである

ボルネオ

ダイヤク族に特殊行政

【バンジエムシマン九日】

南ボルネオの土着原住民として島内に百萬を超えるダイヤク族は從來オランダの統治下にあつては全く野蠻人として顧みられず、次第に奥地へと追ひやられつつあつたが、皇軍の南ボルネオ職定以來は過去のオランダ人の壓迫から解放され皇軍に對してもよく協力の態度に出で今や皇威のもと次第に開化しつつあるが現地當局でも彼等に對する不斷の啓蒙と宣撫或は指導者階級の日本の訓練等を行ふと共にダイヤク族地域に對する特殊行政を實施して彼等の社會的經濟的地位を向上せしめ進んで他種族と協力し新ボルネオ建設に邁進するやう指導し着々成果を収めてゐる、特殊行政としての保護政策

南ボルネオ分縣監理官第一回全體會議

【バンジエムシマン十二日發】

南ボルネオの縣並に分縣監理官第一回全體會議は十一の兩日にわたつて開催されたが、第一日における主なる指示事項は左の如くである
○興南報國團の組織
○村長制度の運用
○ダイヤク地域に對する特殊行政
○暫定民政裁判令
○公學校二部教授の實施
○地方青年團結成による社會協力の振興
○物資配給の圓滑適正化
○主要食糧の増産計畫
○衛生思想の普及及び未種痘學童の調査

南ボルネオの試作棉花優秀

【バンジエムシマン八日發】

南ボルネオにおける本年度試作棉花の收買は去月廿三日から各地の定期市を利用して開始され、二日までに收獲高の約二割五分を收買した、そのうち一等品および二等品は斷然そのを壓して多く全體の七割九分を占め、試作棉花の優秀なことを示してある、本月末までには收買を完了する豫定である

西ボルネオ米の増産に邁進

【ボナンチアナツク十日發】

ゴムとコブラの世界的名産地から一躍主要食糧自給地へと大轉換を急ぎつつある西ボルネオ地方の今期棉作は官民一致の努力が實を結んで目下各地に頼もしい田植風景を展開し、早くも從

來の移入數量を半減する見込みがたつて全地域に閑色が漲つてゐる西ボルネオ地方は從來原住民の主要食糧たる稻作が極めて原始的且つ小規模に行はれたにすぎず食糧の大部分を東部からの移入に仰いで來たが米穀城内自給増産をはかるために現地當局では從來行はれて來た消極的な二期作を一擲し本年度初頭より水稻二期作を採用すると共に原住民の積極的協力により米穀の自給増産の積極的獎勵は原住民に多大の反響を喚び起し斃休ゴム園の稻作轉換はもとよりすべての空閑地は到る所青田と化し「赤道標」まで青田に取り圍まれるといふ有様である

葡領チモール

チモール島に關する流説否定

【リスボン廿日發】

ポルトガル領チモール島に關聯した最近反輻軸の宣傳機關は頻りに惡質のデマを流布し遂にポルトガル首相サラザール博士が先週末の演説で日葡兩國の關係に言及するに至つたが、リスボン駐劄帝國公使館は直ちに廿日夜特に聲明を發表し此等一切の流説を否定した聲明の要旨次ぎの通り
一、チモールの生命財產保護に出来るだけの手段を講じポルトガル人は農耕漁獲その他自由由各々の生業に従事し衛生状態も申分ない
一、日本軍當局においてはポルトガル人の電信を受け付本國との聯絡に



日本文化會館開館

【ハノイ一日發】

在佛印日本文化會館として横山會長を中心に會館準備を行つてゐたが、此の程館内諸設備が、完成東京より赴任の館員も大體着任をみたので、三日の明治節に開館式を舉行し事業を開始することになつた

比島、香港へ和文電報

【サイゴン十七日發】

去る八月開始されたサイゴンと昭南並に南方占領地域間との和文電報取扱ひに次いで今般サイゴンと比島、香港間にも夫々和文電報取扱が開始されることとなりその旨大使府サイゴン支部より發表された

印度支那纖維統制會設置

【サイゴン二十九日發】

纖維資源の自給態勢確立に努力してゐる佛印政

一切の便宜を提供してゐる、但し軍機保持の必要ない暗號電報を受付けることが出来ないのである
一、日本軍司令官並に總領事は十月五日ポルトガル國祭日に當りチモール島總督を訪問して祝意を表明した
一、澳門沖で海賊のため逮捕されたポルトガル人に對しても日本艦隊が保護を加へ各自の家庭に送りかへし英人婦女子をも釋放した

廳では今般總督令によつて印度支那
織維統制會を設置して國內に生産さ
れを棉花、苧麻、黃麻各織維資源の
蒐荷を一元的に取扱はしめることと
なつた

佛印聯邦會議復活

【ハノイ廿日發】佛印總督府最高諮
問機關たる印度支那聯邦會議は昭和
十五年以降停會となつてゐたが、本
年五月廿一日附佛本國令により改組
從來定員數の三分の一であつた現地
人議員數を増加、佛人議員數より多
數ならしめ現地人の政治參與權を擴
大したるが愈々新しき構成による聯邦
會議を來る十二月十六日サイゴンに
開催することに決定、總督府では廿
九日農、商、工自由職業など各代表
佛人廿五名、原住民廿名の議員氏名
を發表した同會議は原住民の發言權
を擴大、各般諸問題特に總督府豫算
徵稅に輿論の見解を具申するもので
あり年一度の會議開催のほか委員會
を常置せしむるものである



特別議會開會

【バンコック一日發】タイ國明年
豫算を審議するため召集されたタイ
國特別議會は一日午後二時開會式を
行つた、なほこの特別議會は來る四
日以後毎週水曜日午後二時から引續
き開會四億バーツに上るタイ國未會
有の明年度豫算について審議を行ふ
豫定である

豫算概要説明

タイ國議會は四日午後二時から開會
まづ政府提出の來年度豫算案に對す
るソングラム藏相代理に附託し對す
あり十八名の豫算委員に附託して散
會した同豫算案の概要は歳出總額三
億三千九百七十四萬バーツで、國防
費としては一億一千三百萬バーツが
計上されてゐる、これを本年の歳出
總額二億七千萬バーツ、國防費五千
萬萬バーツに比すれば未曾有の膨
脹でタイ國議會が始まつて以來の大豫
算である

領土の擴張に豫算増大

【バンコック九日發】マライ四州、
シヤン二州の新領土は十月十八日
もつてタイ國に移讓を完了、ここ
タイ國は宿望を達するとともに資源
豊富な新領土を獲得したことによつ
て愈々對日協力大東亞建設の熱意を
昂めてゐる

△豫算五割方増加 明年度豫算を審
議する特別議會は十一月一日より開
催されたが、明年度豫算は領土擴張
に伴ふ新規經費國防費の膨脹、各種
生産擴充資金の増加、防空、民衆疎
散費用の計上などにより本年度の二
億七千萬バーツに比し五割方増加の
四億バーツ程度と豫想されてゐるが
租稅收入の増加および信用統制によ
る國債消化の促進により財政状態は
依然堅實味を失はないものと期待さ
れてゐる、一方産業開發に缺くべか
らざる交通運輸においても鐵道、公
道の擴張、國內定期航空路の復活な
どにより圓滑となりつつあるが、更
に最近セリ交通大臣の言明によれば
目下建設中のバンコック郊外クロ
ン

△完成し、既に十月一日より一般の
使用に當てられてをり残りも着々進
行中である
△森林開發進歩 昭和十二年の調査
によれば當時タイ國領土は約五十萬
平方キロでうち約六割の三十萬平方
キロは森林地帯であつたが、曩のタ
イ佛印協定および今回の日泰領土條
約により全領土は約六十五萬七千平
方キロに達し、森林地帯も四十萬平
方キロ程度に著しく増大したものと
見られてゐる、政府は大東亞戰爭勃
發後、從來森林資源を墾斷してゐた
イギリス系會社を接収するとともに
その他民間の私有森林を買収、現在
全森林地帯の五割以上を農林局の直
轄下に置き、森林地帯の保全開發に
萬全の措置を講じてゐるが森林の收
入は毎年五百萬バーツの巨額に上つ
てゐる、これらの森林資源は建築、
造船材料としての利用價値に富んで
ゐるが、最近では各種の樹木からメ
チルアル、コールドタンコンその他各
種の化學藥品の製造に成功してゐる
また農務省は特に最近椰子の栽培を
奨勵してゐるが、椰子實は食用とし
て重要視されるのみならず、椰子油
石鹼、蠟燭の油脂原料として重要視
されてゐる、全國の數ヶ所ある椰子油工場
は何れも多大の利益を擧げてゐる
△米價下落 米價は八月から九月に
かけて昂騰し、國民生活を脅威する
ものとして頗る憂慮されてゐるが、
九月末より洪水の危惧が解消すると
ともに、特に最近では新穀が續々と
精米所に下荷するやうになつたため
米價は下落の一途を辿り、十一月始
めには特等白米一ピクル十三バーツ
五と十月初めより一バーツ二十五
へて管下地方の政府機關監督に當ら

示してゐる、更に一般の商品市場は
大體高値で一服模樣であるが、金塊
のみは十月中旬より又もや昂騰、十
二月二十五日には月初めより三十五
月高の二百三十五バーツ(十五グ
ラム當り)と空前の新値を示現する
に至つた

新首都候補地をベチャブ ンに變更

【バンコック一日發】タイ國政府は
さきに首都のサラブ移轉を決定、
十五年計畫をもつて首都建設準備
を進めてゐたが、その後の情勢に鑑
みサラブ移轉を中止し、同地に於
ける建築その他の中止、命令を發し
これに代るものとして新にベチャブ
ンをあげ、これを新首都候補地に決
定、廿一日夜ラジオを以て公表した

政府機關分散

【バンコック十七日發】タイ國政府は現下の世界情勢に
鑑み新首都建設並に政府機關の分散
計畫を考慮中であるが、十七日のス
ーパー・サトリ紙は數名の閣僚をし
て副首相の資格において各分散地域
政府機關の監督並に連絡の衝に當ら
しめることとならうと次の如く報じ
てゐる

專任國防相任命

政府は現下の情勢に應じ政府諸機關
を左の諸地域に分散せしめたとして
ゐる、即ちベチャブン、ロツプリー
ナコンラシマ、ビマイの四ヶ所並に
バンコックをその豫定地となし現に
警視總監にして副首相の職にあるア
ドゥ經濟相をバンコック地方に國防
大臣クアンサツマ・ビチツ陸軍
中將をナコンラシマ地方に、文相ブ
ロムヨテ陸軍中將をベチャブン地
方に駐在せしめ、副首相の地位を與
へて管下地方の政府機關監督に當ら

【バンコック十六日發】泰國ではビ
ン首相の兼任であつた國防大臣に
現國防軍副最高指揮官ビチツ・ク
アンサツマ中將を起用することと
なり十五日發令した

【バンコック廿五日發】ピン首相
は廿五日の人民議會定例本會議に今
會議初の出席をなし、開會劈頭大東
亞會議の経過を報告したのち、同會
議に主席隨員として列席したチャイ
・バラチバセン國務相をして東條首
相及びワソワイ・タヤゴーン殿下
の同會議における演說並に大東亞共
同宣言を朗讀せしめ、これに對し議
長より日本政府に對し同會議の成功
を祝詞し併せて同共同宣言の精神に
基き大東亞各國が愈々其決議の實を擧
げんことを期待する旨の決議を提出
萬場一致これを可決した、なほピン
首相はこの歴史的會議に病氣のた
め出席し得なかつたことを遺憾とし
て長期の旅行に堪へ得るに至れば東
條首相の來タイの答禮として日本を
訪問する意思ある旨言明した

ピン首相訪日の意志表明

【バンコック廿五日發】ピン首相
は廿五日の人民議會定例本會議に今
會議初の出席をなし、開會劈頭大東
亞會議の経過を報告したのち、同會
議に主席隨員として列席したチャイ
・バラチバセン國務相をして東條首
相及びワソワイ・タヤゴーン殿下
の同會議における演說並に大東亞共
同宣言を朗讀せしめ、これに對し議
長より日本政府に對し同會議の成功
を祝詞し併せて同共同宣言の精神に
基き大東亞各國が愈々其決議の實を擧
げんことを期待する旨の決議を提出
萬場一致これを可決した、なほピン
首相はこの歴史的會議に病氣のた
め出席し得なかつたことを遺憾とし
て長期の旅行に堪へ得るに至れば東
條首相の來タイの答禮として日本を
訪問する意思ある旨言明した

【バンコック廿五日發】ピン首相
は廿五日の人民議會定例本會議に今
會議初の出席をなし、開會劈頭大東
亞會議の経過を報告したのち、同會
議に主席隨員として列席したチャイ
・バラチバセン國務相をして東條首
相及びワソワイ・タヤゴーン殿下
の同會議における演說並に大東亞共
同宣言を朗讀せしめ、これに對し議
長より日本政府に對し同會議の成功
を祝詞し併せて同共同宣言の精神に
基き大東亞各國が愈々其決議の實を擧
げんことを期待する旨の決議を提出
萬場一致これを可決した、なほピン
首相はこの歴史的會議に病氣のた
め出席し得なかつたことを遺憾とし
て長期の旅行に堪へ得るに至れば東
條首相の來タイの答禮として日本を
訪問する意思ある旨言明した

【バンコック廿五日發】ピン首相
は廿五日の人民議會定例本會議に今
會議初の出席をなし、開會劈頭大東
亞會議の経過を報告したのち、同會
議に主席隨員として列席したチャイ
・バラチバセン國務相をして東條首
相及びワソワイ・タヤゴーン殿下
の同會議における演說並に大東亞共
同宣言を朗讀せしめ、これに對し議
長より日本政府に對し同會議の成功
を祝詞し併せて同共同宣言の精神に
基き大東亞各國が愈々其決議の實を擧
げんことを期待する旨の決議を提出
萬場一致これを可決した、なほピン
首相はこの歴史的會議に病氣のた
め出席し得なかつたことを遺憾とし
て長期の旅行に堪へ得るに至れば東
條首相の來タイの答禮として日本を
訪問する意思ある旨言明した

副司令官兼任となり去る一月訪日軍
事視察團團長として戦時下の日本を
視察して歸國した、同中將はタイ國
軍幹部の中でも珍らしく外國留學の
經驗をもたぬが、首相の片腕と言は
れる武將であり、國防大臣の椅子を
同中將に譲つたことによつて軍政系
統におけるビョン首相の意向は依然
強力に反映されるものとみられ、ま
た陸海空軍最高指揮官の權限は依然
ビョン首相の掌握するところである

女軍スリヨタイ部隊

【バンコック十八日發】昨年十一月
バンコックに開校されたタイ國女子
士官學校及び女子下士官學校生徒は
一年間の課程を終へ、本年十二月を
もつて卒業、それぞれ任官タイ國軍
の編入されるが、政府ではこれらも
もつて三ヶ大隊よりなる一部隊を編
成することに、部隊名にはアム
チャ王朝の明君ナレスン大王(一
五九〇—一六〇五)の皇后でビルマ
との戦に大王の危急を救つた女傑ス
リヨタイ皇后に因んでスリヨタイ部
隊と命名、來年六月廿四日の革命日
念日を期して盛大に部隊命名式を行
ふことになつた、この女存士官學校
第一期生の中にはビョン首相の令嬢
チャラット嬢もゐるが、士官學校、
下士官學校共に今年十二月第一期生
に卒業式後約二ヶ月に亘つてロッツ
プリーにおいて現地訓練を行ひ、一方
女子義勇兵を徵募して兩卒業生を幹
部に先づ第一大隊を編成、將來はス
リヨタイ部隊の編成する豫定である

陸海空軍警察を統一強化

【バンコック廿四日發】タイ國政府
は陸海空軍及び警察を一元化して國
軍の統一強化を圖るため、國軍の元
老ビヤ・パボン陸軍大將を初め各軍
及び警察の最高幹部に對し陸海空軍
の階級をあたへることとなり廿三日
夜ラジオをもつて次の如く發令した
陸軍大將 ポツト・パホンヨテン
(ビヤ・パボン)

任海空軍大將

海軍部長農務大臣海軍中將

シン・カモラヴィン

任陸空軍中將

國防大臣陸軍中將

ピチット・クリアンサ

ツク・ピチット

任海空軍中將

國防副大臣陸軍中將

サワット・サワットロ

ナン

任海空軍中將

副首相警視總監警察隊長

アドウン・アドウンデ

イチヤット

任陸海空軍大將

內務大臣陸軍中將

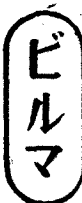
プロムヨテイ

よつてバンコックに海軍兵學校が創
立された日を記念するものである
ワナラート大僧正を國葬

【バンコック九日發】去る五月一日
逝去した前タイ國宗教會議々長ソム
デット・ブラ・ワナラート大僧正に
對し、タイ國政府では國葬をもつて
これを葬ふこととなり、來る十四日
午後三時からバンコック市内テスビ
ルン寺において執行されることとな
つた

駐日大使館附陸軍武官更迭

【バンコック十七日發】駐日大使館
附陸軍武官ソラキッド・ヒツサン少
將は病氣のため離任、その後任とし
て現タイ國陸軍參謀本部ノム・サク
ダボラツク大佐が去る十一月三日附
を以て發令された旨十六日發表され
た



政府、役人要員に強制的な軍事訓練

【ラングーン五日發】雨季明けの敵
米英の總反攻態勢に對しビルマ國で
はビルマ國民軍を先頭に國を擧げて
決戦態勢を整備し對日絕對協力の實
をあげつつある、ビルマ政府では更
にビルマ人の第一線意識の昂揚を圖
ると共にビルマ民衆に一層國防意識
を徹底さすべく今回政府役員並に要
員全部に對し組織的強制的に軍事訓
練を實施することに決定、宣傳局で
はタキン・ミヤ副總理は去る一日第
二回樞密院顧問官會議の席上、政府

は政府役人並に要員に對し近く強制的
的軍事訓練を實施する意向を有し、
既に發令の準備中である旨を言明し
た、なほ軍事訓練に不適當なる者は
國民奉仕隊に参加せしめることにな
る豫定である

大東亞會議祝福國民大會

【ラングーン十日發】大東亞會議にパ
ー・モウ首相を送つたビルマ政府で
はこの成功を祝福すると共に一層國
民の士氣を昂揚し邦日本と相携へて
米英撃滅の征戰を圖ひ抜かうと九日
午後五時半からラングーン市でビル
マ政府及びドバマ・ギンエタイオン
黨共同主催の「大東亞會議を祝福す
るビルマ國民大會」を開催、政府側
からタキン・ミヤ副總理、タキンヌ
外相、オン・サン國防相ほか各大臣
出席、インド獨立聯盟ビルマ各支部
カラム・ガニシ、日本側軍官代表も
顔を見せ定刻前から押寄せた一千數
百名の聽衆で會場が割れかへるばか
りの盛況裡に幕を開いた

醫師並に技師を軍務徵用

【ラングーン十七日發】ビルマ政府
は、今回更にビルマ國軍の増強を期
するため醫師並に技師を軍務に徵用
することに決し十六日「醫師並に技
師軍務徵用令」を公布即日實施した
即ち獨立以來五ヶ月ビルマ政府は各
種の總動員機構の完整に努めた結果
その準備殆ど終へ愈々具體的に戰
争協力に乗出し得る實力を備へるに
至つたのであり、戦争完遂に邁進す
べき烈々たる決意を表明したものと
いふべきである

ラングーンに隣組を結成

【ラングーン十四日發】ビルマ政府
は鹽、砂糖、燐寸、油等の統制物資
の公平且つ圓滑なる配給を圖るため
今回主要都市に隣組及び町會を作り
配給組織を整備確立することとなり
この程これらの組織化をビルマ物資配
給組合に命じた、よつて同組合は先
づラングーン市を手初めにこの組織
を結成すべく日々各町村代表と協
議、組織化に努力中であるが大體
市民十家庭を單位として十人組を作
り、この十人組を以て町會を組織し
ラングーン全市を十六町會に分ける
計畫をもつて本月中には結成を見る

第一回國民記念日

【ラングーン廿一日發】ビルマ國で
は廿一日、第一回國民記念日を迎へ
全國各地で早朝より國旗敬禮式を舉
行、又民衆大會を開催して大東亞建
設の一翼を擔ふビルマ國の固き決意
を昂揚したが、この國民記念日は一
九二〇年ラングーン大學が口火を切
つた全國學生界の反英ポイコット抗
争を永く記念し暴英徹底撃滅の決意
を固めるため、ビルマ國獨立後、抗
争勃發の日たる十一月廿一日を正式
に記念日に制定したものである

海軍記念日

【バンコック廿日發】タイ國海軍は
タイ灣で不斷の練磨をつづけてゐる
が、廿日は第七回タイ國海軍記念日
に當るので決戦下にふさむい数々
の催物を行ひ意義ある一日を送つた
このタイ國海軍記念日は三十七年前
の佛曆二千四百四十九年十一月二十
日、時の國王チュエラロンコン大帝に

農業國策要綱發表

【ラングーン一日發】ビルマ國政府は去る八月三十一日パー・モウ國家代表が發表した基本國策要綱を全面的に具體化するため爾來同要綱を指示に副ひきし當り一ヶ年を目標として各省毎に所管行政の施策と計畫を整備立案中であつたが、この程農業關係における政府政策とその向ふ所を闡明せる農業國策要綱の成案を了しパー・モウ國家代表の承認を得たので今回農務大臣の名をもつて正式發表した、本要綱は先づ政府の採りつつある農業政策の眼目が國內自活體制の創建と軍需の充足を圖りつつ農民の福祉と農業の發展を増進することにある旨を明かにした上、本年初頭以來政府の努力し來れる棉花増産計畫、黃麻新栽培計畫、新穀米買上計畫、役牛の保護などの成績を検討し、遠海漁業を始めとする諸産業の振興がビルマ工業化の端緒として持つ重要性を説き、更に土地問題の解決と協同組合組織の廣汎なる再建を政府が眞剣に考慮しつつあることを述べ、最後にビルマが現在採りつつある自給自足體制創建の政策こそ大東亞戰爭を勝抜き唯一の經濟的進路なることを強調し、國民の理解と協力を求めたものであるが、而してビルマが農業國であり産業行政の中心が農業部門におかれてゐるので今回發表の農業國策要綱はビルマ國民の間に多大の反響を呼んでゐる

交通灌漑要綱決定

【ラングーン五日發】ビルマ政府は去る八月三十一日「農業國策要綱」を發表した後に「交通灌漑に關するもの」を

一括し、四日「交通灌漑國策要綱」として正式發表した

本要綱は、毀損交通路の整備復舊の他に牛車の組織的活用、造船及び船舶養成所の擴充、運輸料金の統制等により、國內交通の圓滑なる運送を旨とし、同時に、郵政および灌漑の復舊事情を報告、さらに新規計畫の方向を説明したものである

金融國策要綱

【ラングーン廿二日發】ビルマ政府は國家財政をあげて大東亞戰爭の目的完遂に集中し金融財政の圓滑なる運送を圖るため貯蓄債券の發行、中央銀行の創設戰時保險の創設等を闡明せる畫期的な金融國策要綱を二日發表したが、その内容左の通り

基本國策要綱に基き本要綱の最も重要な特徴は國家が財政の總力をあげて大東亞戰爭の最後目的遂行に動員しつゝあることである、而してこれに關し政府の計に遂行し又近く實現すべき施策と計畫について述べれば次の如くである

一、本年度豫算 本年度豫算は一億四千六百萬ルピーの赤字を出してゐるが、歳出のなかに本來の支出と並ぶ米穀買上費、中央銀行設置費、表裏金などが含まれ、實際の赤字はこれの半に過ぎず、しかもこの主因は國防豫算の増加にある、政府は國防のために三千萬ルピーを計上し國防の負擔額は歳入の七割を占めてゐる、戦前英國の支配時代戦費は六千萬ルピーに達したが、しかもその半は戦前の三千万ルピーは戦前英國支配當時の六千萬ルピーより遙かに有効に使用し得るのである

二、貯蓄債券の發行 戦前歳入の増加を必要とする際は米穀輸出税、輸入税、所得税の如き財源よりこれを抽出することが出来た、然しながら今日にあつては對外貿易關稅は非常時局下にもと從來も少して重要な税目ではなかつた、よつて政府は他の財源によることとした、その手始めに政府は先づ二百萬ルピーの政府貯蓄債券を募集した、これにより財政運籌を容易ならしめるとともに國民貯蓄の熱意を啓蒙せんとしたのである、本債券は近く急速に全國へ賣出される筈である、既に今日まで國民は假證券により七十萬ルピーを購入了、今後二ヶ月の間に總額の應募が行はれると期待する、しかして政府は本債券發行の成績を見た上、公債増發の可否を決定する

三、中央銀行創設 計畫は英國り妨害によつて實現しなかつた、しかし今やわれらは獨立を獲得し資本金一千万ルピーをもつて中央銀行を創設すべく、概ねその準備を了し、近々開設する豫定である、開設の際には通貨信用の諸制度を整備し、紙幣發行高をその健全化の見地より統制し、國庫收支均衡化の責任を負ふ筈である、なほわが國普通銀行の數の僅少ななるに鑑み中央銀行の間に普通銀行の業務を行ひ國民の間に勤儉貯蓄の風を起し、可能な全國民資本を動員して一般金融の圓滑を圖る豫定である、これはわが國商工業の發展及び戦後復興の問題の解決のためにも絶對不可缺である

四、戦時保險の創設 さらには今一つ革新は戦時保險制度創設の計畫である、官吏は全て本保險に強制助入

をうけることなるが加入條件は極めて有利である、本制度ははじめ政府収入増加のために企畫されたがその點の目的は官吏の扶養家族に生活の保證を與へ、併せて勤儉の風を振作することにあり、近くこれがため設立準備委員會を設け、政府が全保險を獨合的に擔當するのは否に付き審議を行ふ筈である

在緬軍の現地自活能勢完壁

【ラングーン廿六日發】大東亞戰爭西の最新線緬印國境、雲南戰線を受持つ我がビルマ方面派遣軍では生活必需物資を一切他よりの輸送に仰がない方針で豫てより現地自治能勢の確立を整備してゐたが、各部隊必死の努力邦人商社の犠牲的健闘、原住民の心からなる協力により最近では「現地の生活は現地物資」によつて營み得る状態に達し、餘剩物資は民需或は内地後送に振り向けるといふ綽々たる餘裕を示してゐる、一方國境一つ越したアッサム、ベンゴールには反樞軸軍がビルマ奪回を呼號して大軍を集中してゐるが、彼等は後方補給の困難と不充分のため極度の困感に陥り、わが軍は武力戰の前哨戦ともいふべき補給戰においてすでに必勝能勢を確立してゐる

△衣料自給能勢完壁 ○○、○○を中心とする上ビルマの棉作地帯は一時戰爭によつて生産量は減少したが棉花栽培増進策の進捗とともに着々増産の一途を辿り、最近では現地軍並に邦人商社の指導のもとに戦前以上の收穫をあげ、○○、○○などの機械工業に轉換しつつあり、シャヤツ、靴下、タオルなどの生産は逐次

現地部隊の需要を充してゐる、靴も牛革が頗る豊富であり、その上鞋劑たるタンニンの原料となるヌーハークもまたあり餘る程で、靴のほか雜糞類から劍道銃劍術の用具に至るまで現地人の手で生産され衣料自給能勢はすでに完壁の域に達してゐる

△食糧糧給も完壁 主食物たる米は「米の國」ビルマのことであるから全然問題はない上ビルマは戦前南ビルマから不足量の補給を仰いでゐたが、現地軍では上ビルマにおいても豐沃な休閑地を利用して植付けを奨励すると共に現地住民の勤勞精神向上に努力着々その成果を収めつつある、またビルマ前線の特徴たるジャングル地帯の作戦に備へて軍では非常食糧たる糯の大量生産を圖つてゐるがこれまた豫想外の好調を示しつつある、次に野麥に關しては上ビルマ○○に千五百町歩の模範農場を建設技術者の農民指導によつて今では大根、胡瓜、菜葉、トマトなど見事な出來榮えをみせてゐる、この野菜増産に呼應する漁業の發展も目覺しくイラワジ河を中心とする大小の河川はいづれも魚類に富む上、漁獲方法も従来の手釣りや原始的な投網から地曳式の大量漁獲法に改善されたため捕獲量は飛躍的に増大し、鮭、雷魚や蝦、蟹などに需要を上廻る増産振りで、干魚の生産もまた

現地人の協力により好調である、次に鹽は最近○○方面の鹽層を大規模に開發した結果、戦前の○○倍に達する生産をなし得るに至り、この鹽層が充分に開發されればビルマの鹽の問題は直ちに解決されるものと見られる、更に上ビルマには大豆、小麦、大麥など極めて良質のものが多

量に産するので、味噌、醤油は勿論甘納豆、粉ぜんざいさへも現地生産するといふゆとりを示し食糧必勝の布陣も完璧の域に達してゐる。△木炭も各部隊で増産 上ビルマにはいたる所良質の竹が群生してをリまた屋根や壁に使ふアンペラやテツケ(木の葉を組み合せたもの)の類が隨時隨所に入手できるので雨露をしのぐには事かかない、アラカンや雲南前線では部隊長から一兵士に至るまで皆このやうな即製ニツパー・ハウスに起居しつづ日夜撃滅の矛を進めてゐる、但し南方とはいへ高山地帯は内地の冬と變らぬ寒氣に襲はれるので木炭を缺くことは出来ないが、これも各部隊で生産を行ひ、内地に負けじと撃滅戦の寸暇を惜んで必死の増産戦を戦つてゐる

ガラ紡機移駐完了

【ラングーン八日發】ビルマに對する日本遊休紡機の移駐計畫は着々進捗し、移駐精紡機〇〇錘の棉入式を見たが、別に紡績擔當商社は去る九月日本よりガラ紡機〇〇錘が到着したので、これに現地製ガラ紡機を以て組合を組織せしめ、彼等の有する手紡、手織機を積極的に活用、衣服の増産を計ることとなつたが、増大するビルマの軍、民兩需の完全なる自給を圖るため邦人商社の經營技術を高度に採用することとなり、今回右計畫とは別に邦人棉花擔當商社を主體とし同様手續、手紡により一ヶ年〇〇反を目標とする衣服増産計畫を樹立、十九日これを擔當商社に通達した

主要都市の主食品を統制

【ラングーン廿日發】ビルマ政府では去る五月ビルマにおける衣服自給計畫の第一歩としてビルマ人業者を以て組合を組織せしめ、彼等の有する手紡、手織機を積極的に活用、衣服の増産を計ることとなつたが、増大するビルマの軍、民兩需の完全なる自給を圖るため邦人商社の經營技術を高度に採用することとなり、今回右計畫とは別に邦人棉花擔當商社を主體とし同様手續、手紡により一ヶ年〇〇反を目標とする衣服増産計畫を樹立、十九日これを擔當商社に通達した

衣服増産新計畫決定

【ラングーン廿日發】ビルマ政府では去る五月ビルマにおける衣服自給計畫の第一歩としてビルマ人業者を以て組合を組織せしめ、彼等の有する手紡、手織機を積極的に活用、衣服の増産を計ることとなつたが、増大するビルマの軍、民兩需の完全なる自給を圖るため邦人商社の經營技術を高度に採用することとなり、今回右計畫とは別に邦人棉花擔當商社を主體とし同様手續、手紡により一ヶ年〇〇反を目標とする衣服増産計畫を樹立、十九日これを擔當商社に通達した

棉花蒐荷に萬全

【ラングーン廿九日發】ビルマ政府は本年度棉花の蒐荷を容易ならしめ、ため新棉採上價格を改訂したが、案下銃雄軍醫少尉は軍務の寸暇を割いてこれが代用藥の完成に努力を重ねてゐる

アミーバー撃滅の新藥發見

【上ビルマ〇〇基地廿七日發】マラリヤ、デング熱と共に南方前線に活躍する兵隊さんたちを悩ますアミーバー赤痢を撃滅する特效藥ニメチンにも優る新代用藥がこれほど現地の一軍醫の努力によつて發見されたが、躍進軍人醫學に又復新らしい戰果を加へた、從來アミーバー赤痢の治療には南米産の吐根草から精製したエメチンの注射が唯一絶対のものとして使用されてゐたのが、最近の輸入杜絶に鑑み、目下〇〇方面で活躍するため新棉採上價格を改訂したが、案下銃雄軍醫少尉は軍務の寸暇を割いてこれが代用藥の完成に努力を重ねてゐる

比島

【マニラ二十五日發】フィリピン共和國第一回通常國會開會は二十五日午前十時より開會された

第一回國會開會

【マニラ二十五日發】フィリピン共和國第一回通常國會開會は二十五日午前十時より開會された

比島

【マニラ二十五日發】フィリピン共和國第一回通常國會開會は二十五日午前十時より開會された

日發】二十五日のフィリピン共和國第一回通常國會開會に於けるラウレル大統領の施政演說要旨を左の通り、大東亞會議において参加諸國が決議した大東亞共同宣言は過去並に現世紀を通じてその比をみざる人類の大憲章である、この宣言に策された五大原則についてみるに、第一原則は大東亞各國民並にフィリピン國民が大東亞戰爭完遂、東亞民族共榮の共同目的に向つて協力一致、各々の獨立主權を確保維持するに必要なる共存共榮の協力原則を確立したものであり、第二原則は共存共榮の基礎に立つて各主權國家が確したる團結を保つべきことを誓つたもので、フィリピン並に東亞諸國にとり極めて重要な原則である、第三原則は相互にその傳統を尊重して各々民族の精神文化を昂揚すべきことを示したもので、これは東亞各國國民の獨立を保證したのみならず更に各國國民がその信念慣習に從つて進歩と繁榮を達成すべき傳統と特異性の保證を意味するものである、第四原則は經濟繁榮の原則についてみるに東亞各國の團結のみならず如何なる團結についても相互に有無相通することなければ持続しうるものではなく、これによつてのみ一切の繁榮は達成されるものである、大東亞諸國は世界各國と親善關係を強化し、人種的差別の撤廢實現を期すべきことを宣言したのがその第五原則である、吾人は人類の普遍性を無視することは出来ない、世界は如何なる一國にも所屬するものではない、一人種の他人類に對する態度は決して人種的差別に立つものであつてはならないのである、轉じて國內問題について

比島

述べれば、第一の緊急問題は食糧の確保といふことである、現在の食糧問題は生産と配給統制の二つであるが、第一の生産増強の緊急性は一段と強く農民に奮起を要求する次第で各州知事は一段と農村指導に善慮されたい、そのためには農村に對して金融問題も考慮されるべきであらう、何れにしても現在の食糧價格の値上りは是正するに増産が最も必要であり、食糧の自給なくしては國家の獨立はあり得ない、第二は藥品の増産問題である、比島は數十種の藥草があり、また化學者や藥學者も多く製藥工場も少くない、これを動員して藥品を増産し國民の保健衛生を全ふした、そのためには化學者達の委員會を組織し國產藥品の増産を計畫せしむべきである、第三は治安の確保であり現在治安の確保状態は殆んど完全である、しかし國土防衛のため警察隊を強化し治安責任者として政府は内務省に新に次官一名増員し治安行政を専門に管掌させる方針である、第四は輸送力の増強改善である、今後さらに海陸運とも大いに改善されねばならず、また輸送機關の不足が食糧や物資の値上り或は地域的偏在の原因をなしてゐるので、この點からも輸送は更に改善されなければならない、第五には財政及び金融の改善につき一段と研究を要請したい、新政府の行政力の強化には多くの政府支出を必要とするが、そのために稅制改革、増稅が必要となる、また現在企業院ではそのために中央銀行の設立、新通貨制度、輸出入貿易爲替等について研究を進めてゐる、その報告が出来た曉には國會に提出し、新たに教書を送つてその立法を

要請したいと思ふ、第六は行政機構の簡素強力化である、強力且迅速なる行政の推進には現在の政府機構を改廢統合し、例へばそれにより經濟省の如きものをつくるのもよいと考へる、しかしこの行政機構の改組は豫算と關聯がある、豫算に關しては現在の政府機構で必要な歳出入の收支を近く國會に提出することになつてゐる、第七は救濟事業の繼續であつて特別國會で支出を決定せるは二萬ペソは現在適當なる分配が行はれてゐることを報告したい

大救委員會設置

【マニラ二十五日發】政治犯釋放の大赦令は過般の特別議會で協賛を得た大統令布告として一般に告示されたが、ラウレル大統領は二十四日、更に大統領令第三號を以て「大救委員會」を設置し、ゲリラ及び政治犯人などの投降改心を促進することとなり、同委員會委員長には前警保局長ホセ・デ・ロス・レイエス氏が任命された、なほ大赦令有効期間は二十五日から六十日間である

【マニラ十九日發】新生比島の力強き推進體として發足した新比島奉仕團カリバビは近く創立一周年記念日を迎へるが、十一月廿日の比島獨立後初のリサール記念日を期し同本部ではフリーピン全都市に百萬本の果樹を植へることに決議、カリバビ團員の總てが一本宛植へることとなつた、カリバビ團員の數は獨立宣言後急速に増加し七十萬五千四百人の署名濟團員のほかに多數のカリバビ少年團員及び婦人團員を擁しさらに増加の傾向を示してゐる、なかでもコタバト、ミンダナオ兩州の増加率は驚異的でラ・ユニオン、タルラック兩州も注目すべき擴大ぶりを示し團員數において指導的なマニラ市では四萬六千五百十四名の登録團員を有してゐる

カリバビ團員七十萬に激増

【マニラ四日發】比島内の治安及び秩序確立のため警察隊を明年三月末までに四萬人に増強されることとなつた、即ち過般の特別國會は本年十二月末までに警察局の費用として合計二百九十五萬五千ペソの追加支出を認め、この追加支出により大要次の如き警察隊の陣容強化策が行はれることに決定した

警察隊四萬に増強

【マニラ九日發】比島文化人の間ではアジアの比島民に還れとの聲に應じて固有文化の復興と東洋文化の研究熱が湧然と起つてゐるが、この程比島文化協會(カリブナン・カビハ

比島文化協會創立の

【マニラ九日發】比島文化人の間ではアジアの比島民に還れとの聲に應じて固有文化の復興と東洋文化の研究熱が湧然と起つてゐるが、この程比島文化協會(カリブナン・カビハ

比島獨立と共に國民結集運動の母體たるカリバビの任務は一段と重要性を加ふるに至つたが、カリバビ本部では廿二日會議の結果、一九四四年中に比島全人口の二割即ち三百六十萬人をその會員として獲得すべく新らしき運動に乗出すことになり、會議直後カリバビ事務總長代理カミロオシアス氏よりその旨發表された、なほオシアス氏のその發表表において「三百六十萬人の會員中すくなくとも三割は婦人會員たることを豫定し、新比島共和國のあらゆる運動は精神的に婦人の支持を必要とする」と述べ、婦人の地位の重要性を説くと共に、更にカリバビ青年團にも言及し「青年團の團員數はすくなくとも現在各學校に就學中の青少年男子及び女子の數の二倍にまで達すべきだ」と青年團員獲得運動の目標を示した、而して現在カリバビは國語としてのカガログ語の全國的普及のため少くとも四百萬人の國民に完全なタガログ語を教へ込むべく運動を開始してゐるが、オシアス氏は同運動のために凡ゆる全國的な機關の援助を要求してゐる

大救令は過般の特別議會で協賛を得た

【マニラ廿六日發】廿五日の比島第一回通常國會におけるラウレル大統領の内務次官を一名増員して主として治安關係に専任せしめる旨の言明に基き比島共和國政府は同日午後現警保局長ギレルモ・フランシスコ將軍を内務次官に任命する旨發表した

書記官長にサンヴィクトレヌ氏任命

【マニラ廿七日發】農商務部次官ホセ・サンヴィクトレス氏は廿五日附を以て内閣書記官長に任命された旨廿七日大統領官邸から發表された

十二月八日を「大東亞解放記念日」

【マニラ二十九日發】比島共和國政府では大東亞戰爭發端發記念日の十二月八日を「大東亞解放記念日」として首都マニラをはじめ各地一齊に民衆大會を舉行し、日本に對する比島民族解放の感謝と大東亞戰爭協力への士氣を昂揚する

ボース首班マニラ着

【マニラ廿二日發】自由印度假政府首班チャンドラ・ボース氏のマニラ到着に對しフリーピン外務省では二十一日午後四時左の如く發表した

カリバビ事務總長代理任命

【マニラ二十九日發】オシアス氏が事務總長代理へ昇格してからカリバビ事務總長の席は空席のままとなつてゐたが、ラウレル大統領は二十五日付をもつてカリバビ書記長兼會計部長たるアルセニオ・ルス氏を事務副總長代理に任命した

フランシスコ將軍を内務次官に任命

【マニラ廿二日發】比島獨立と共に國民結集運動の母體たるカリバビの任務は一段と重要性を加ふるに至つたが、カリバビ本部では廿二日會議の結果、一九四四年中に比島全人口の二割即ち三百六十萬人をその會員として獲得すべく新らしき運動に乗出すことになり、會議直後カリバビ事務總長代理カミロオシアス氏よりその旨發表された、なほオシアス氏のその發表表において「三百六十萬人の會員中すくなくとも三割は婦人會員たることを豫定し、新比島共和國のあらゆる運動は精神的に婦人の支持を必要とする」と述べ、婦人の地位の重要性を説くと共に、更にカリバビ青年團にも言及し「青年團の團員數はすくなくとも現在各學校に就學中の青少年男子及び女子の數の二倍にまで達すべきだ」と青年團員獲得運動の目標を示した、而して現在カリバビは國語としてのカガログ語の全國的普及のため少くとも四百萬人の國民に完全なタガログ語を教へ込むべく運動を開始してゐるが、オシアス氏は同運動のために凡ゆる全國的な機關の援助を要求してゐる

【マニラ廿二日發】大使館の新設により我が對比外交陣は完成をみるに至つたが、今更さらには地方の事情に應へてダバオ領事館を總領事館に昇格復活するほかセブ、バギオに領事館、レガスピにマニラ總領事館分館、イロイロ、パコロドに各セブ領事館の分館を新設することになり、取敢へずダバオ總領事館開設準備のため倉田副領事、またセブ領事館新設のため天野副領事が廿二日それぞれ現地向け出發した、なほセブ領事には茂垣長作氏が決定、近く赴任の豫定である

ケソンの別荘比島政府に返還

【マニラ二十四日發】オギバ山の都に戰前大統領ケソンの別荘として宏壯豪華を誇つてゐたマンシオン・ハウスがフリーピン政府に返還された、マンシオン・ハウスは大東亞戰爭勃發後わが軍の手で保管されてゐたもので、このほど黒田比島方面最高指揮官の温厚意から新生共和國政府に返還今後大統領の別荘として使用されることになつた

比島文化協會創立の

【マニラ九日發】比島文化人の間ではアジアの比島民に還れとの聲に應じて固有文化の復興と東洋文化の研究熱が湧然と起つてゐるが、この程比島文化協會(カリブナン・カビハ

ケソンの別荘比島政府に返還

【マニラ二十四日發】オギバ山の都に戰前大統領ケソンの別荘として宏壯豪華を誇つてゐたマンシオン・ハウスがフリーピン政府に返還された、マンシオン・ハウスは大東亞戰爭勃發後わが軍の手で保管されてゐたもので、このほど黒田比島方面最高指揮官の温厚意から新生共和國政府に返還今後大統領の別荘として使用されることになつた

比島文化協會創立の

【マニラ九日發】比島文化人の間ではアジアの比島民に還れとの聲に應じて固有文化の復興と東洋文化の研究熱が湧然と起つてゐるが、この程比島文化協會(カリブナン・カビハ

ケソンの別荘比島政府に返還

【マニラ二十四日發】オギバ山の都に戰前大統領ケソンの別荘として宏壯豪華を誇つてゐたマンシオン・ハウスがフリーピン政府に返還された、マンシオン・ハウスは大東亞戰爭勃發後わが軍の手で保管されてゐたもので、このほど黒田比島方面最高指揮官の温厚意から新生共和國政府に返還今後大統領の別荘として使用されることになつた

比島文化協會創立の

【マニラ九日發】比島文化人の間ではアジアの比島民に還れとの聲に應じて固有文化の復興と東洋文化の研究熱が湧然と起つてゐるが、この程比島文化協會(カリブナン・カビハ

【マニラ廿六日發】廿五日の比島第一回通常國會におけるラウレル大統領の内務次官を一名増員して主として治安關係に専任せしめる旨の言明に基き比島共和國政府は同日午後現警保局長ギレルモ・フランシスコ將軍を内務次官に任命する旨發表した

書記官長にサンヴィクトレヌ氏任命

【マニラ廿七日發】農商務部次官ホセ・サンヴィクトレス氏は廿五日附を以て内閣書記官長に任命された旨廿七日大統領官邸から發表された

十二月八日を「大東亞解放記念日」

【マニラ二十九日發】比島共和國政府では大東亞戰爭發端發記念日の十二月八日を「大東亞解放記念日」として首都マニラをはじめ各地一齊に民衆大會を舉行し、日本に對する比島民族解放の感謝と大東亞戰爭協力への士氣を昂揚する

ボース首班マニラ着

【マニラ廿二日發】自由印度假政府首班チャンドラ・ボース氏のマニラ到着に對しフリーピン外務省では二十一日午後四時左の如く發表した

カリバビ事務總長代理任命

【マニラ二十九日發】オシアス氏が事務總長代理へ昇格してからカリバビ事務總長の席は空席のままとなつてゐたが、ラウレル大統領は二十五日付をもつてカリバビ書記長兼會計部長たるアルセニオ・ルス氏を事務副總長代理に任命した

フランシスコ將軍を内務次官に任命

【マニラ廿二日發】比島獨立と共に國民結集運動の母體たるカリバビの任務は一段と重要性を加ふるに至つたが、カリバビ本部では廿二日會議の結果、一九四四年中に比島全人口の二割即ち三百六十萬人をその會員として獲得すべく新らしき運動に乗出すことになり、會議直後カリバビ事務總長代理カミロオシアス氏よりその旨發表された、なほオシアス氏のその發表表において「三百六十萬人の會員中すくなくとも三割は婦人會員たることを豫定し、新比島共和國のあらゆる運動は精神的に婦人の支持を必要とする」と述べ、婦人の地位の重要性を説くと共に、更にカリバビ青年團にも言及し「青年團の團員數はすくなくとも現在各學校に就學中の青少年男子及び女子の數の二倍にまで達すべきだ」と青年團員獲得運動の目標を示した、而して現在カリバビは國語としてのカガログ語の全國的普及のため少くとも四百萬人の國民に完全なタガログ語を教へ込むべく運動を開始してゐるが、オシアス氏は同運動のために凡ゆる全國的な機關の援助を要求してゐる

ケソンの別荘比島政府に返還

【マニラ二十四日發】オギバ山の都に戰前大統領ケソンの別荘として宏壯豪華を誇つてゐたマンシオン・ハウスがフリーピン政府に返還された、マンシオン・ハウスは大東亞戰爭勃發後わが軍の手で保管されてゐたもので、このほど黒田比島方面最高指揮官の温厚意から新生共和國政府に返還今後大統領の別荘として使用されることになつた

【マニラ九日發】比島文化人の間ではアジアの比島民に還れとの聲に應じて固有文化の復興と東洋文化の研究熱が湧然と起つてゐるが、この程比島文化協會(カリブナン・カビハ

ケソンの別荘比島政府に返還

【マニラ二十四日發】オギバ山の都に戰前大統領ケソンの別荘として宏壯豪華を誇つてゐたマンシオン・ハウスがフリーピン政府に返還された、マンシオン・ハウスは大東亞戰爭勃發後わが軍の手で保管されてゐたもので、このほど黒田比島方面最高指揮官の温厚意から新生共和國政府に返還今後大統領の別荘として使用されることになつた

比島文化協會創立の

【マニラ九日發】比島文化人の間ではアジアの比島民に還れとの聲に應じて固有文化の復興と東洋文化の研究熱が湧然と起つてゐるが、この程比島文化協會(カリブナン・カビハ

ケソンの別荘比島政府に返還

【マニラ二十四日發】オギバ山の都に戰前大統領ケソンの別荘として宏壯豪華を誇つてゐたマンシオン・ハウスがフリーピン政府に返還された、マンシオン・ハウスは大東亞戰爭勃發後わが軍の手で保管されてゐたもので、このほど黒田比島方面最高指揮官の温厚意から新生共和國政府に返還今後大統領の別荘として使用されることになつた

比島文化協會創立の

【マニラ九日發】比島文化人の間ではアジアの比島民に還れとの聲に應じて固有文化の復興と東洋文化の研究熱が湧然と起つてゐるが、この程比島文化協會(カリブナン・カビハ

ケソンの別荘比島政府に返還

【マニラ二十四日發】オギバ山の都に戰前大統領ケソンの別荘として宏壯豪華を誇つてゐたマンシオン・ハウスがフリーピン政府に返還された、マンシオン・ハウスは大東亞戰爭勃發後わが軍の手で保管されてゐたもので、このほど黒田比島方面最高指揮官の温厚意から新生共和國政府に返還今後大統領の別荘として使用されることになつた

比島文化協會創立の

【マニラ九日發】比島文化人の間ではアジアの比島民に還れとの聲に應じて固有文化の復興と東洋文化の研究熱が湧然と起つてゐるが、この程比島文化協會(カリブナン・カビハ

ス・ナンダ・カビリノハン) が創設され、比島文化の發揚を圖ることとなつた、尙會長には國立圖書館長イー・ビー・ロドリゲス氏が當り、會員にはアウナリオ參議ほか評議家、歴史家、文藝家など數氏が加入してゐる。

政財

中央銀行創設

【マニラ二十五日發】ワイリピン共和國では獨立に伴ふ新通貨制度の確立と金融機構の整備擴充ならびに政府財政強化の見地より「比島中央銀行」を創設すべくかねて準備を進め來つたが、ラウレル大統領は二十五日の第一回通常國會に送つた一般教書にて「政府の活動強化に伴ひ政府支出は膨脹するの

加を計る必要がある、これと共に中央銀行の設立も必要となつてくる、これ等に關しては現在企業院において報告が作られてゐるので、その報告の議會提出に伴つて新たに教書を送り、これに必要な立法を要請することにならう」と述べ、政府の収入増加手段としての税制を要求すると同時に中央銀行設立の準備が行はれてゐる事實を明らかにした、中央銀行問題の具體化にはまた大統領教書の提出、中央銀行設立委員の任命などが行はれねばならず若干の時間を要するものとみられるが、比島民が米國時代幾度か要求して與へられなかつた中央銀行が比島人の手で開設せられることに決定したことは比島經濟界のみならず一般民衆にとつても大きな喜びを與へるものと云はねばならぬ

通貨法案の内容

【マニラ廿七日發】

二十七日の國會にアランズ議員の手により「中央銀行設立法案並に比島の通貨單位決定及び通貨發行に關する法案」の二法案が提案され、第一議會にかけられることとなつた、このうち通貨發行に關する法案の要旨次の通り

◎比島の貨幣單位をペソとし、一ペソは百セクタボをもつて構成する ◎比島中央銀行は大蔵大臣の承認を得て流通貨幣を發行す ◎比島共和國が補助貨幣發行を決定するまでの期間、中央銀行は五十セクタボ、二十セクタボ、一セクタボの補助紙幣を發行す ◎ペソ貨と圓貨間の平價維持のため中央銀行は流通貨幣總額の二十五パーセントより少からざる額の圓爲替基金を維持す ◎比島方面帝國陸軍最高指揮官が一九四二年一月三日行ひたる聲明に基き比島内に流通する、日本帝國政府紙幣、比島國立銀行券、比島銀行券並に緊急通貨などはペーをもつてこの法律により發行を認められたる紙幣により回收するべし ◎本法は承認の日より效力を發生す

設立法案内容【マニラ廿七日發】廿七日の議會と提出された中央銀行設立に關する法案は全文廿九條に亘るがその主要點は次の通りである ◎比島の經濟及び金融狀態の改善に促進を圖るため「比島中央銀行」を創設す ◎中央銀行はマニラ市に置く ◎中央銀行の資本金は五千萬ペソとし一千万株の五萬株に分ち全額政府出資とす ◎中央銀行は比島内における通貨發行權を獨占的に與へられ中央銀行の發行せる通貨は法貨として凡ゆる支拂に當てらるべきものとす ◎中央銀行の業務は爲替手形の賣

買、再割引、政府公債その他國內發行の保證債券大東亞各國發行の證券などの買買及び再割引、國內、國外における公開市場爲替手形の買買及び割引、政府及び銀行の預金受入れなどを行ふものとす ◎比島内銀行の預金準備は現存の法律規定によりすべて中央銀行に集中するべきものとす ◎大蔵大臣の承認により理事會を各銀行の預金準備率を變更することを得、但し準備率は少くとも十五%以上たるべきこと ◎中央銀行の準備金はその銀行券流通高及び預金に對し少くとも廿五%たるべきこと ◎國庫券(トレジャリー・サーモファイケット)、比島國立銀行券比島銀行券日本軍票並に政府承認の緊急紙幣は政府には支拂はれるべく、また各銀行により受け入れられるべきものなるが今後發行を許されず中央銀行に預金せられるか又は中央銀行發行の新通貨と引換へらるべきこと ◎政府の有する總ての通貨準備基金は中央銀行の業務開始と共に移管するべきこと ◎中央銀行の業務は理事長一名、並に總裁、副總裁以下五名の理事により構成される理事會により運営するべし總裁、副總裁及び理事は大蔵大臣の推薦により任命され内閣の承認を必要とすべし、任期は夫々五ヶ年とす

物動對策基礎調査完了 【マニラ十九日發】比島議會の任命せる物價對策委員會は去月來各方面と協力して物價騰貴の對策につき研究中であつたが同委員長イन्द्र・バメンダ議員は十八日までその基礎調査を完了し、物價騰貴の抑制に必要な對策を感つた報告が出来上つた旨發表した、同議員の語るにこれによれば同報告は物價騰貴抑制諸對策として相當過激な方法を提案してをり、特に開取引の防止には斷乎たる處置を採るべきことが勸告されてゐるといはれる、同報告は廿五日より通常議會に議長より提出されこれを基礎に必要な立法が行はれる筈である

米、玉蜀黍配給統制強化

【マニラ廿五日發】

比島政府では刻下食糧問題の重要性に鑑み米及び玉蜀黍配給統制を一段強化すべく從來

政府の財政黒字

【マニラ二日發】比島政府では特別國會で成立せる追加豫算を中心に本年度末までの財政狀態の檢討を行つてゐるが、本年度末までの歳出豫算は二千四百三十四萬六千八百八十ペソに對し本年中の歳入見込は二千四百三十九萬四千六百五十五ペソに達する豫定で差引五萬三千九百七十五ペソの黒字となる

棉花栽培新政府で推進

【マニラ十二日發】比島における棉花栽培は軍政下においては軍政監督の指導監督の下行はれて來たが今同獨立後の新情勢に應じて比島政府の手に繼承され同政府の監督指導の下に今日迄に進出してゐる邦人開發擔當業者を以て棉花増産五ヶ年計畫が推進されることになつた、目下第二年度の植付が進行中であるが新情勢に應じて現在の棉花栽培の經營機構は若干調整さるべく比島棉花栽培協會の機構もこれに伴つて改組するに決定した

一日 比島人商業會議所物價問題調査委員會結成
二日 農商務省内に食糧管理局新設
五日 初の次官會議開會
六日 帝亞丸マニラ入港

比島短信

の配給統制規定を大統領令第一號をもつて法文化する旨廿五日發表したこの結果米及び玉蜀黍並にその副産物の生産、配給、賣買一切が同令の適用を受け、ナリツク(國立米穀會社)は直接統制機關としてその傘下に米穀生産者組合並にその聯合會を新に組織統制の完璧を期することとなつてゐる

食糧増産に休閑地動員

【マニラ廿六日發】ラウレル大統領は廿五日の通常國會劈頭の一般教書において比島食糧増産の急速なる實現のために「今同食糧生産のため利用可能なる土地總ての耕地化に關する」大統領令第二號を發表公布しなふべく比島第一切の休閑地をあけて食糧増産に動員せんとするもので食糧問題の緊急性に鑑み米、玉蜀黍などのほか豆類、芋類などの短期作物の栽培が決定され、また公有地を失業者に配布すべき全權を地方長官に與へてゐるが、これは行政府時代の休閑地動員令を緊急事態に直面してさらに内容を強化し極力實行に移さんとこの意圖に出たものである、同法令は施行當日より六十日以内に休閑地を總て耕作に着手せしむべきことが強調され、現下の緊急事態を反映してゐる

十二日—十四日 獨立祝賀會
 十九日 農業記念日
 二十日 皇后陛下下賜菊花傳達式
 (陸軍病院)
 廿一日 慶祝音樂使節野外大演奏會
 (リサール野球場)
 廿二日 比島漁業聯合會創立
 廿九日 村田駐比大使信任狀捧呈
 三十日 英雄記念日

自由インド假政府

自由印度假政府承認

自由インド假政府樹立の通電に接し左記各國は直に之れを正式承認の通電をチャンドラ・ボース主席に通達した

中華民國國民政府、滿洲帝國政府(一日) イタリア、フアシスト共和國、獨逸國(二日) タイ國(十八日)

北愛蘭獨立黨から祝電

【リスボン廿七日發】ダブリン來電によれば英領北アイルランドをエール國に合併し、全アイルランドを英國から解放することを目的として去る九月一日結成された「綠色戦線」なる團體は最近エールに於て北アイルランド獨立運動に殉じたジェームス・タリーの記念會を開催しその席上同じく英國の羈絆を脱することを目的として躍起したスパス・チャンドラボース氏のインド獨立運動に對する同情決議を行つたといはれる

行政要員養成

【昭南五日發】デリー進撃の準備に大馬力をかけてゐる自由インド假政府

府は四日左の如き聲明を發表、祖國のインドが解放せられた曉インド國內地域に挺身すべき行政要員の養成を實施しつゝある旨明かにした

自由インド假政府はインド國內にある英米人と出来るべき鬭争の結果、解放せられたインド諸地域の状況に即應すべき各種の計畫を立案遂行中である、多數のインド青年が現在すでにこの目的のため特別の訓練を受けておるが、彼等は近く英國の桎梏から最初に解放されたインドの各地域において行政ならびに建設面の各任務を擔當する豫定である、これら行政要員は一定の軍事教練が義務的に課されており、その教育はインドにおける行政に多年の經驗を有する有能な官吏によつて實施中である

國民軍國境に進駐

【昭南廿六日發】大東亞會議に出席廿五日昭南に歸還した自由インド假政府首班スパス・ボース氏は廿六日正午から興南クラブに於て記者團と會見し聲明を發表すると共に記者團の質問に答へたが聲明要旨左の如し

今回の日本訪問に關し第一に述べたことは日本國民が全く渾然一體となつて大東亞戰爭の結動的勝利の確信を堅持してゐることである、長期にして困難なる戰爭下にも拘らずその物心兩面の綜合戦力は益々擴充強化され國民の凡ては感激を以て最後の勝利に向つて最大の努力を傾注してゐる、今回の大東亞戰爭の大東亞會議の目的は一言でこれを云へば大東亞戰爭の完遂と東亞新秩序の確立と云ふ二つのことに歸する、しかもかかる會議が東亞で開かれることは今回の大東亞會議を以て嚆矢とす

のものであり、ひとり東亞にとつてのみならず更に全世界にとつても今回の會議の意義は極めて重大だと思ふ、特に會議の席上、ビルマ國代表バー・モウ總理が記念すべき發言を行ひ、インドの自由獲得に對し全幅的支援をなすべき旨の動議を提出されたことはビルマがインドの友邦たることからも特に意義深いことと云ふべく、また東條首相が帝國政府に對してアンダマン、ニコバル諸島を自由インド假政府に歸屬せしめる用意ある旨を闡明されたことは今回劃期的なる效果を與へたものである更に余の滯京中自由インド假政府の首班として長くも天皇陛下に拜謁を賜はつたことは、光榮まことにこれに過ぎるものはない我々はかくて新らしき感銘と十二分の感慨をもつて目睫に迫る鬭争に向ふため東京をたまた今や吾々の背後には日本を盟主として強固に團結せる東亞の全國家が控へてゐるのである、歸途餘は中華民國及びイリピン共和國を訪れることが出来たが、そのいづれにおいても我々が相互の間にそれぞれの共同一致と、絶えざる協力の信念を深めたことはいふまでもない、アンダマン、ニコバル諸島を假政府に歸屬せしむべき旨の日本政府の公約はインド國民にとつて非常な意義を有する、即ち我々は今や我々自身の領土を持ち、名實共に政府としての實體を整へたのである、自由獲得鬭争の第一段階に於てアンダマン島が我等に歸屬せしめられることはアラ

の愛國者の流刑の島であり、同島に於いて多くのわが愛國者達は英國の虐待によつて死し、或はハンガー・ストライキに依る抗争で不幸病魔にたはれたのであるが故に自由インド假政府はアンダマン島を「殉國者の島」と名付け、ニコバル島を「自治の島」と名付けんとしてゐるかくていまやアンダマン鬭争の遂行に關する凡ゆる前提條件は完備した、今後我等の爲すべきことは敢然として最後の鬭争を開始し、英國の桎梏よりインドを完全に解放することであり、これがため不斷の勇氣を持つことである我等の第一着すべきことは現在の國民軍の訓練を一層強化し擴充することであり、これは既に實行に移されてゐる、わが軍の一部は既にインド國境地區に進駐を開始した、政府は於て第一線將士の忠勇に酬むために恩典制度を公布し戦歿戦傷勇士の慰藉法を考慮中である、次に政府本部のビルマ進出に關する準備も既に完了し、これが實現も間近い、政

府のビルマ移駐後といへども余け富然各地の各機關及び同志と密接なる連繫を保ち、その動員計畫の推進に更に努力するつもりである、余は自由インド國民軍がインド内部に進駐する日の既に近きことを確信する、勿論ニュー・デリーの總督官邸の屋上高層にわたる苛烈なる鬭争を續せねばならぬであらう、しかしあらゆる事態に對處する萬全の準備は既に完了してゐるのである

【昭南廿六日發】自由インド假政府首班スパス・チャンドラ・ボース氏は廿六日の記者團會見席上大東亞會議第二日における東條首相の公約に基きアンダマン、ニコバル諸島が自由インド假政府の領土となつた曉において假政府としてはアンダマン諸島をシャヒド(殉國者)諸島、ニコバル諸島をスワラジ(自治)諸島と呼稱する旨を明かにした

アンダマン在任印度人感謝の献金

【アンダマン發】アンダマン、ニコバル諸島を近く自由印度假政府に歸屬せしめるとの東條聲明はアンダマン住民の大部分を占めるインド人一萬八千に多大の感銘を與へ日本政府の對する感謝を益々深めてゐるがその反響は十二日先づアンダマン最初の國防費金となつて現れたこの獻金は同島皇軍兵士にレコードを開かせ心からの慰安を與へ美味しいコーヒートリストを喰べて貰ふため、さきにアレアの中心街に出來た「武家食堂」の賣上利益五百圓である、また印度獨立聯盟アンダマン支部では十二日國民部に會議を開いた結果首腦部の改組を斷行し支部長の下に義勇軍を創設することに決定、既に創設委員が擧げられて島内の各村から二十歳乃至四十歳の壯丁〇〇名が選ばれ同時に軍樂隊の準備も出來たのである廿五日頃盛大に義勇軍創設式を舉行祖國開放の第一線に立たせることになつた

【昭南二十五日發】大東亞會議に陪席せる自由インド假政府首班スパス

アンダマン、ニコバル諸島を改稱

ボース首班昭南歸着

・チャンドラ・ボース氏は歸途中華
民國國民政府およびイギリス共和
國政府を訪問ののち二十四日マニラ
發サイゴンに一泊の上二十五日午後
一時四十分昭南に歸着した

印度

政治軍事 ベンゴール州の知事代理

【リスボン三日發】 ロンドン
來電「インド省の發表によれば、
ベンゴール州知事ジョン・ハーバートは
今回病氣のため辭任し、後任にはビ
ハール州知事トマス・ルサーフオー
トが知事代理に任命されたと言はれ
る

ガンヂー翁等の釋放要求

【リスボン四日發】 ニューデリー來
電によれば、インド中央立法會議は八
日開會される豫定だが、會議の席上
會議派系の議員はガンヂー翁等所謂
政治犯人の即時無條件釋放、國民政
府の組織を要求する意向と傳へられ
る、以上インド政界の動きに對して
新總督ウエーウエルは如何なる對策
に出るか未だ判明しないが、近く全
インド食糧會議並に各州知事會議を
ニューデリーに召集、先づ國內の事
情を聴取すると云はれる、別電によ
れば回教聯盟の内部に英國政府の傀
儡と化したジンナーに對する不満が
からずシンド州議會の議員モハメッ
ド・アリ・シャー其の他回教聯盟の
領袖は斷然回教聯盟から脱退したと傳
へられる

印度問題を協議せん

【アエノスアイレス十二日發】 アト
ランチック・シテイ（ニュージャ
ーシー州）來電「反極軸各國代表は日
下アトランチック・シテイで救済復
興會議を開催中だが、新設された反
極軸救済復興局長官に任命されたハ
ーバート・リーマンに十二日新聞記
者團に對して次の如く語つた
インドは現實には極軸國に占領され
てゐる地域ではないが、今次の會議
ではインド問題も重大議題とならう
特にベンゴール州の飢饉問題は會議
の取あぐべき最も緊急なる議題の一
つたるべく、既に各國代表からも至
急インドの飢饉對策を協議するやう
希望が出てゐる

印度も平等權要求

【イスタンブール十二日發】 米國の
重慶懷柔策の空手形法案たる支那移
民禁止法撤廢案は支那人以外の各ア
ジア人の間に微妙な反響を與へ、却
つて蕪蛇的結果に終らんとしてゐる
が、ニューデリー來電によれば、イン
ド人の間でもこの問題が極めて重大
視されはじめたもの如く十二日の
インド中央立法議會では果然この問
題が取上げられ議長アーマツドは議
員の質問に答へて次の如く答辯した
インド政廳は米國にあるインド代表
との間に緊密な連絡を保ち、インド
人に對して支那人同様の權利が與
へられるやう努力してゐる（駐）イ
ンド代表は支那移民法案が米國議會
に提出されるや直ちに國務省に對し
てインド人にも平等權を與へる用意
あるや否やを訊したが、右に關する
米國政府との交渉についての報告は

近くインド政廳の手許に届く筈であ
る

ジンナー總裁に再選

【リスボン十四日發】 ニューデリー
來電「印度回教徒聯盟は十四日ニュ
ーデリーで年次大會を開催、ジンナ
ーを總裁に再選した、大會の席上ジ
ンナーは「全インドの解放なくして
パキスタンなし」と喝破して全イン
ドの大同團結を提唱し、またベンゴ
ール州の飢饉に關しては「飢饉は人
爲的であり、英國のインド支配の最
大汚點である」とインド政廳の施策
を非難した

總督、各州首相と會見

【イスタンブール十八日發】 ニュー
デリー來電「インド總督ウエーウ
エルは、回教徒會議出席のためにニュ
ーデリーへ參集してゐたベンゴール
バンジャヤ、シンド並に西北國境州
の各首相と十七日會見、協議を遂げ
た

ホース氏獨立運動の影響

【ラングーン二十日發】 東亞におけ
るスパス・チンドラ・ボース氏の獨
立運動は自由インド假政府の樹立と
インド人の州除たる印度國民州の組
織によりインド國內におけるイン
ド人がとらんとして採り得ない獨立
運動形態を體現しつつ今や印緬國境
を越えてデリーへの討英武力進撃を
開始せんとしてゐるが、最近ラング
ーンに達した各種のインド情報はい
づれも右ボース氏の指導する獨立運
動は英國側の苛烈な斷崖下蝸牛角上
の政争をつづけてゐるインド國內指

導者の動向に多大の不滿を抱くイン
ド國內の民衆にとつて唯一の期待と
なつてゐる事實を傳へるとともにボ
ース氏の提唱する斷乎たる武力的抗
争のみが印度を救済する唯一の道た
ることを確信し現在インドの進歩的
分子は勇敢にボース氏によつて指向
された道を歩んでゐると傳へてゐ
る、即ちインド民衆殊にアツサイン
ベンゴール、オリッサの三州のイン
ド民衆の生活は食糧難、各種軍事徵
發及び逮捕、彈壓等のために中世期
の如き陰慘さを示してゐるが絶対に
希望を失つてゐるわけではなく常に
東方からの救世主の到來を信じつつ
これを頼りとして自己の生活を幾分
でも明るくしやうと努力してゐるの
が民衆心理の實情だといはれる、勿
論東亞における武力討英獨立運動は
現在英國の武力警戒線の障壁により
インド民衆との直接の連繫は斷たれ
てゐるが、眞實を傳へる巧妙な宣傳
報道により有形的に密接に連絡がと
られてゐるのである、既にインド諸
洲の民衆ならびに英印軍將兵の間に
は自由インド假政府とインド國民軍
のインド國內進撃を迎へる準備が進
められ、英印當局もテロ行爲に對す
る取締を強化し或はインド兵の叛亂
を抑壓するために東部インドに軍事
裁判所を新設、また嚴重なる取締法
を公布するなどボース氏の運動のイ
ンドに對する影響を極度に警戒して
ゐる有様である、なほ他の情報によ
れば一般國民運動、黨派運動も抑壓
されてゐる現在インド獨立運動の主
導的推進力は不服從運動勃發以來一
年にして非合法的流行運動に移行し
てしまひ、その組織的なテロ行爲は
東南アジア軍の内幕が豫想に反し、

インド駐屯反極軸軍の内幕

【ストツクホルム二日發】 マウント
バツテンを司令官とする東南アジア
軍を中樞とする反極軸軍は頻りにピ
ルマ奪回を呼號し、着々戦備を整へ
てゐると傳へられるが、最近、米上
院議員リチャード・ラツセルに依て
東南アジア軍の内幕が豫想に反し、

支離滅裂であることが暴露されるに至つた、即ち過般、米軍の駐屯する世界各戦線の視察旅行を行ひ、歸米後、對英誇詐報告書を發表した米上院議員團の一人である、ラッセルはインド方面における反樞軸軍の状況につき次の如く言明、反樞軸軍がヒルマ奪回の大作戦を開始することは困難であらうと述べた、インドに駐屯する米軍の士氣は他の何處の戦域に駐屯する米軍より低く、駐屯米將兵は同方面における英國の競争努力に對し極めて無關心である、然も重慶軍の裝備は悪く現在彼等は専ら防禦戦に終始してゐる、有様だ、又インドにある米國の諸機關は米國の外交政策に即應するやうな活動ぶりは示してをらず、インドにおける將來の米國の權益などは一切無視してしまつてゐる、然るに英國側ではかういふ點について十分考慮を拂つてをり、若し米國が將來英國に依頼して、自己の權益を確保しようとするならば假令反樞軸國として英國がいかに立派であらうとも、混亂と相剋は不可避であらう

英科學者を招請

【ストックホルム十六日發】 ロンドン來電にイギリス政府は今回インド復興に關する科學上および工業上諸問題調査のため英國戰時内閣の科學諮問委員會委員たるA・H・ヒルを顧問として招請することになつた、ヒルは近くニューデリーに向け出發する豫定だ

實狀の調査を要求

【リスボン七日發】 印度中央立法會議は八日ニューデ

リーにおいて開催されるが會議に先立ち行政參事會の前長官ホーマス・モデー氏、並にナリニ・ランシヤン・サルケル氏は七日新總督に對する公開狀を發表、ガンジー翁など會議派領袖の釋放、印度國民政府の結成を要求したと傳へられる、中央立法會議においては印度議員の間から特別委員會を結成しベンゴール州における食糧局に關する實狀を調査する決議案が提出される豫定である

【リスボン八日發】 印度中央立法會議は八日午前ニューデリーにおいて開會されたが、ニューデリー來電によれば、會議派議員十名は食糧政策について印度政府は無爲無策を攻撃するため特に會議に出席したと傳へられる、印度總督ウエーヴェルは「食糧問題が重大化したため政務多端で會議に出席出来なない」旨のメッセージを送つたが、會議の勢頭會議派その他の反對黨から「印度の競争努力について説明するために非公式に使節を米英兩國に派遣した」印度政府の措置を非難する決議案が四十三票對三十九票で可決されたといはれる

【ストックホルム十八日發】 ニューデリー來電に十七日のインド中央立法會議でも飢饉問題が俎上に上せられ、活潑な討議が行はれた、先づ一回教徒議員が飢饉の最も甚だしいベンゴール州政府に對し一億ルービーの借款提供方を要請したのに對し、政府側では「ベンゴール州が求めてゐるのに金ではなくて穀物と穀物の適正な配給である、本年六月以來、政府はベンゴール州政府に對し一般費用として三千萬ルービーを又數類購入費として七千萬ルービー

を提供、更に同州は穀類増産費として七百萬ルービーをも受領してゐる」と述べ、明確な答辯を避けた、一方總督行政參事會員であるスリヴァスタワは飢饉は單にベンゴール州のみでなくオリッサ、マドラス、ベンビ各州の大部分でも同様の状態にあることを認めると同時に「新穀の大半は既に市場に出てをり、これによつて情勢は幾分緩和されるであらう」と極めて無責任な答辯を行つた

ウエーヴェルの對米無效

【リスボン九日發】 印度總督ウエーヴェルは着任早々ベンゴール州の飢饉地帯を視察、食糧危機に對する三項目の對策を決定、英國政府はこれを宣傳してベンゴール州内の食糧事情は緩和されるに至つたと宣傳したが、ウエーヴェルの對策は印度食糧問題の本質を衝いたものでない、印度政府の計畫では來るべき二箇月間に各種穀類二十萬二千、小麦製品九萬二千トンに印度各地並に海外からベンゴール州に送りそのほかにパンジャブ州からも小麦類を送つて急場の間に合せようといふ見込だが、明年夏期の飢饉を防止するための措置は何ら講じられてゐない、若し南部のトラヴァンコア及びゴチャの南地方を食糧増産に振り當てればベンゴール州が必要とする食糧の半分以上に收穫出来る見込だが、これら二地方は印度駐屯反樞軸軍に供給するゴム、茶、コーヒー等の栽培に必要缺くべからざるところであり印度政府の悩みに深刻である、一方この本質的問題から離れてウエーヴェルの決定した救濟三項目そのもの

の實施に就ても幾多の困難があり現在食糧飢饉は實際的には一向に緩和されてゐないのみならず逆に激化の一途を辿つてをり、殊に農村における慘狀は言語に絶するものがあり、餓死者は日に千を以て數へる状態であるといはれる、A・P電報はその状態を次の如く傳へてゐる
農民はいづれ少量の小麦で飢えを凌いでゐるが飢饉發生以來の習慣で米などは既に食べるものではないといふ氣持になつてゐる、十二月中旬には收穫が行はれるが、これによつて飢饉状態が果してどれだけ緩和されるかが疑問である、この二點で當局が憂慮してゐるのは左の二點である、即ち第一には農民が久しきに亘る榮養不良の爲め收穫耕作に従事することがむづかしいであらうといふことであり、第二には假令收穫をしても價格が暴騰してゐるため地主だけが利潤を獨占して農民の耕作の代償では結局自らの食糧にも充たないであらうといふことである、以上の如き狀況に對し九日カルカッタ來電によれば、ベンゴール州の回教聯盟會議にベンゴール州の食糧飢饉が官僚政治の不當なる政策に基くものであるとなし印度事務相アメリカ以下を通過せしめたといはれる

食糧危機依然深刻

【リスボン九日發】 マンチエスタール紙によれば、聯合州およびバハワブ地方より小麦十五萬屯が近くベンゴール州に輸送されるほか、ベンゴール州政廳がパンシヤブ州で小麦九萬屯を買付けてをり、更にシンド、

パンシヤブ兩州の新米四萬五千屯、パンシヤブ州から雜穀並に粟一萬屯國外から輸入された雜穀の内一萬屯がベンゴール州に振向けられる豫定と傳へられるが、A・Pのカルカッタ電報は依然たる食糧危機の慘狀を傳へ、八日次の通り述べてゐる
カルカッタの飢饉状態は漸次改善されてゐるが、農村地方の食糧不足は依然甚しい、毎日數百名否數千名が餓死してをり、一部中心地區では米その他食糧品の貯蔵がすつかりなくなつてしまつてゐる、十二月中旬新米が出れば食糧危機も一時緩和するかも知れないが、何分にも農民達は榮養不良に陥つてゐるから取入れなさは出來ぬのではないか、その上地主達が食糧の値上りを狙つて成るべく現物納入を小作人に要求するだらうから果して新作物が市場へ廻るかどうか當局では早くも懸念してゐる、又、マンチエスタール紙のニューデリー電報はベンゴール州内における餓死者数は毎週五萬人に上るだらうと述べ、印度人農民は闇のべら棒な相場場で米を買入れるため地所を賣り拂つてをり、自殺者の數も非常に増加してゐる

ベンゴール州に食糧割當制

【ストックホルム廿六日發】 カルカッタ來電によれば深刻な食糧飢饉に悩むベンゴール州では今回カルカッタをはじめ州内の全市町村に嚴重な食糧割當制を實施し、今後主要食糧は官營の店舗以外では一切販賣させないことになつたといはれる

カルカッタ市内の餓死者

【リスボン十七日發】 カルカッタ來

電 〓 カルカタ市廳は十七日次の如く發表した
カルカタ市警病院は十五日百六名の難民を收容、同日病院での餓死者は五十七名であつた、十六日の收容人員は百八名、餓死者は五十九名に達した、十一月十三日迄の二週間に千百十三名の行路病者が收容されたが内千十四名が死亡した、なほ同期間内死者總數は三千八百三十五名であつた

オリッサ州にも波及

【イスタンブール十九日發】 ニューデリー來電 〓 ベンゴール州を中心とするインドの食糧飢饉は最近その西方のオリッサ州にも波及し同州の飢饉は漸次深刻化するべき状態に達してゐる、オリッサ州知事は最近同州各地の状態を視察したが「一般民衆の困窮状態は恐るべきものあり、特にガンジヤム地區において甚しい」と言明した

コレラ死者六萬名

【リスボン廿八日發】 タイムス紙のカルカタ特電によれば七月十日以來ベンゴール州内でコレラによる死者は無慮六萬人に達し、患者のうち六〇%乃至七〇%は悉く死亡する實狀と傳へられる

印度で石炭割當

【リスボン四日發】 ニューデリー來電 〓 印度政廳では印度の石炭事情が英本國と同様極めて窮迫してゐるので、今後石炭割當制を實施する旨四日發表した

政廳、南阿産金を賣却

【ストックホルム十二日發】 ロンドン來電 〓 英誌エコノミスト所報によれば、インド當局は現在ボムベイ市場において金塊の賣却を行ひつつあるが、右金塊は恐らく南阿産金で南阿政府と英本國大藏省との特別な取決めに基いて南阿より英國に供給されたものとみられ、右南阿産金に英國よりインドに引渡されたのであるが、これに對しインド政廳はインド準備銀行所有の磅資金の中から支拂ひを行つてをり、事實ここ三週間のインド準備銀行週報をみると磅資金勘定の増勢は著しく鈍つてゐる、このよう金の受入れによつて徐々であるが、インドの磅資金堆積問題はある程度解決をみるのではないかと希望的觀測が行はれてゐる

英國に棉花輸出

【ストックホルム十六日發】 ロンドン來電 〓 最近インド諸港に食糧補給のため船舶數隻が到着してゐるが、ロンドン筋では右船舶はインドの船舶不足を緩和し、インドは英國向印棉一萬俵積込みに充分の船腹が與へられたものと解してゐる、右情勢に應じ英國綿業統制局は既に昨週相當低廉な價格で印棉に註文を發したと



新總督にグロスター

任命

【ストックホルム十六日發】 ロンドン來電 〓 英皇弟グロスターはガウリンの後任として十五日濠洲總督に任命されたが、同人の赴任は明年にな豫定である

駐ソ濠洲公使更迭

【リスボン廿七日發】 キャンベラ來電 〓 濠洲政府當局はモスクワ駐劄濠洲公使ウイリヤム・スレーターの後任にJ・J・マロニーが任命され、同人は廿九日濠洲を出發する豫定な旨廿六日發表した

駐印高等辨務官任命

【アエノスアイレス八日發】 キャンベラ來電 〓 濠洲外相エヴァアットは濠洲第二軍司令官ギフアワード・マツケイをインド駐劄高等辨務官に、又タスマニア首相代理トーマス・ダルトンをニュージランド駐劄高等辨務官に夫々任命した旨發表した、右發表と同時にエヴァアットは「インドを基地とする對日戰遂行の重要性が昂まり、濠洲、インド兩政廳間の協力をより緊密ならしめる必要が生じた結果、マツケイをインドへ派遣することとなつたのである」と述べた

炭坑罷業彈壓

【リスボン三日發】 濠洲政府は十月中旬以來全國に亘る炭坑罷業に悩んで居るが、キャンベラ來電によれば検事總長エヴァアットは三日炭坑罷業に對する政廳の強硬措置を發表罷業の責任者は自動的に炭坑夫としての地位を喪失多額の罰金に處される旨言明した

檢閲緩和を要求

【リスボン十六日發】 デーリー・エクスプレス紙の報道によれば濠洲新開聯盟は十五日シンドニーにおいて總會を開催、濠洲の新開檢閲方針の緩和を要求する決議案を採擇したと傳へられる、同決議案は次の如く政府を非難してゐる
濠洲政府の新開檢閲方針は國家保安上必要とされる範圍を越えてゐる、濠洲の戰爭勢力を弱化したものは政府の檢閲である

戰車の製作中止

【リスボン七日發】 タイムス紙のキャンベラ特派員は濠洲政府が戰車、裝甲車の製作を中止することに決定した旨次の通り報道してゐる
濠洲内閣は陸軍省首腦と協議の末濠洲國內で生産されてゐた中型戰車を他の裝甲車輛の製作を中止することに決定した、マツクアサーもこの處置に同意してゐるが、軍需相ノーマン・メイキンは「米國の軍需生産力は躍進的な増大を示し特に戰車の生産量は反輻軸側の全需要を満了して餘りあるに至つた、その結果濠洲の工業界がその製造を続けることは人的にも資源的にも不經濟と認められるに至つた、濠洲の人力はこれよりも要求の大きい商船小型舟艇、農耕機械、機關車、鐵道貨車、航空機部分品等の生産に振向けた方が合理的である」と述べてゐる



新西蘭との協力を説く

【アエノスアイレス十六日發】 ウェリントン(ニュージランド)來電 〓 米國戰時情報局代表アラン・ネグリンは十六日新聞記者團に米國將來の東亞政策を示唆次の如く述べた
米國とニュージランドは將來密接なる隣邦とならう、米、濠、ニュージランド三國は東亞問題處理にあつては緊密に協力しなければならぬ、從來米英兩國の仲介役を演じたのはカナダだったが、今後は濠洲、ニュージランド兩國もこの役割を果たすこととならう、一部では米國內にはまだ孤立主義が強いと考へてゐる人もあるが、孤立主義は現在では殆んど死滅してしまつたといつてよく、將來世界の貿易或は未開發地域に對する投資を管理すべき國際機關の設立さへ要する意見が次第に強まつてゐる

逆貸與情況

【リスボン廿九日發】 キャンベラ來電 〓 濠洲首相ジョン・カーチンは廿九日の閣議の席上、武器貸與双務協定によつて濠洲が逆貸與を行つた額を次の通り發表した
本年八月廿一日までに濠洲が行つた逆貸與額は一億七千八百七十萬磅であり、右のうち一九四一、二年度に

ウ州の小麥産額半減の見込

【リスボン十三日發】 メルボルン來電 〓 濠洲の重要小麥産地ウイクトリア州では本年度の小麥收穫高は悪天候の爲半年の半分しか無い見込で、在庫小麥量も急激に減少し當局は大いに憂慮してゐる

は一千六百五十萬磅、一九四二、三年度には一億五千九百萬磅の支出を行つてゐる、一九四三、四年度の武器貸與支出額も一億磅を突破しようとして濠洲の武器貸與支出額は濠洲總戰費の約十一・四%に當る

世界情勢

歐洲

ドイツ

政治 ヒットラー總統 完勝を説く

ナチス黨蹶起二十週年

【ベルリン八日發】ヒットラー總統はナチス黨蹶起二十週年に當りミュンヘンのレーウエン・ブラウ酒場に臨み、ゲリーング將軍、ゲツベルス博士、ヒムラー內相、勞働戰線司令ライ博士、突撃隊長シュブマン氏その他ナチス黨の領袖を前にして約一

時間に亘り戦局に對處するドイツ國民の決意を表明した、總統の演說要旨次の通り
余は同志蹶起の記念日に當り諸君と相見えて當時を憶ひ、將來の方針を説くために數時間の豫定でミュンヘンに參つた次第である第一次世界大戰においてはドイツ軍は背後における裏切りのために崩壊したが、當時のワイマール共和國は民主主義政權であつたにも拘らず民主主義各國のために瀕死の苦しみを嘗めさせられた、勿論ワイマール共和國はボルシエヴィーキの勝利を阻止すること

は出来なかつた、ボルシエヴィーキの勝利を打倒出来るのはひとり國家主義ドイツ國民だけであらう、
は殆ど至る所において敵軍を國境線外一千軒以上に驅逐するに至つた、勿論ドイツ國民は今後幾多の犠牲を覚悟しなければならぬが、萬一敗北する場合は全然言ふに足りないで、あらう、従つて余はドイツ國民の總てに對し一切を擧げて抗戦を繼續するやう要望せざるを得ない、イタリヤ國王、王儲その他の裏切りは戦局の推移に影響をおよぼしたること勿論であるが、敵軍の期待は裏切られ、彼等の豫想してゐたことは些も實現せず今後においてまた實現しないであらう、敵軍は當初疾風枯葉を卷くが如き勢ひをもつてイタリヤ本土を席巻したであらうが、右作戦は今より羅馬南部における蝸牛のやうな遅々たる足取りに變つた、敵軍がイタリヤ本土に新たな上陸を企圖すれば徒らに船腹を釘付けにして兵力を分散させる結果となり、而も上陸部隊は苛烈なドイツ軍の反撃に當面するであらう、嘗てチャーチルはイタリヤ軍を相手にシチリア島に上陸することムドーヴァ海峽を経て歐洲大陸に乃至は北海からノルウェー又はデンマークに上陸するのは別問題だと述べたが、ドイツ軍が或る戦線において依然として戦略豫備を手持ちしてゐるのはドイツ軍が弱く結果かそれを冷静な打算の結果であるかは戦局今後の推移によつて自ら明瞭とならう、東部戦線における戦ひはドイツ國民が未だかつて経験したことのないやうな苛烈な抗争だが、要するに勝敗を決定するのは最後の戦ひであり、ドイツ國民は必ず最後の戦ひにおいて勝利を占めるであらう、ドイツ各都市に對する反樞軸空軍の

は殆ど至る所において敵軍を國境線外一千軒以上に驅逐するに至つた、勿論ドイツ國民は今後幾多の犠牲を覚悟しなければならぬが、萬一敗北する場合は全然言ふに足りないで、あらう、従つて余はドイツ國民の總てに對し一切を擧げて抗戦を繼續するやう要望せざるを得ない、イタリヤ國王、王儲その他の裏切りは戦局の推移に影響をおよぼしたること勿論であるが、敵軍の期待は裏切られ、彼等の豫想してゐたことは些も實現せず今後においてまた實現しないであらう、敵軍は當初疾風枯葉を卷くが如き勢ひをもつてイタリヤ本土を席巻したであらうが、右作戦は今より羅馬南部における蝸牛のやうな遅々たる足取りに變つた、敵軍がイタリヤ本土に新たな上陸を企圖すれば徒らに船腹を釘付けにして兵力を分散させる結果となり、而も上陸部隊は苛烈なドイツ軍の反撃に當面するであらう、嘗てチャーチルはイタリヤ軍を相手にシチリア島に上陸することムドーヴァ海峽を経て歐洲大陸に乃至は北海からノルウェー又はデンマークに上陸するのは別問題だと述べたが、ドイツ軍が或る戦線において依然として戦略豫備を手持ちしてゐるのはドイツ軍が弱く結果かそれを冷静な打算の結果であるかは戦局今後の推移によつて自ら明瞭とならう、東部戦線における戦ひはドイツ國民が未だかつて経験したことのないやうな苛烈な抗争だが、要するに勝敗を決定するのは最後の戦ひであり、ドイツ國民は必ず最後の戦ひにおいて勝利を占めるであらう、ドイツ各都市に對する反樞軸空軍の

盲爆に對しても余は必ずしも過度に事慮を重視してゐない、要塞線の構築に六百萬立方メートルのコンクリートを叩き込むことが出来た民族は戦後極めて迅速に且つ一層壯麗に國內の諸都市を再建するであらう、爆撃によつて焼出されたドイツ國民こそは反樞軸軍に對する報復の前衛部隊とならう、かつて歐洲戦争の當初に當り英國首相チエンバレンはドイツ軍が戦機を失したといつたが、爾後戦争が漸く長期化したに拘らず、今や將軍はドイツ軍を打破らず、今やかつてドイツ軍の味方となるに至つた戦争は長期に亘つて繼續されるであらうが、ドイツ軍は決して降伏しない、ドイツ軍は十二時の十五分前に武器を横たへず、常に最後に十二時過ぎ五分に武器を横たへるであらう、反樞軸陣營の宣傳によれば、敵は早くも勝利を収めていられるが事實は全く反對で、彼等はひとつの會議から次の會議へと相互間における紛争の處理に忙殺されてゐる實狀だ、彼等はまた戦後の世界經營に關して各種の委員會を設置してゐるやうだが、戦後の世界よりも現在各國の同狀を整へようとするのが急務であらう、同志諸君ドイツ國民は惡魔的な破壊と最も深刻且つ狂氣染みた敵軍に抗して生存のための極め困難な戦ひを繼續してゐるが今後如何なる事態が持上らうともドイツ國民は一切を克服し、最後には勝利が到来するであらう、反對側の紳士諸君が信ずると否とを問はず、報復の時はずる来ずであらう、かりに米國迄は手が届かないとしても戦争の責任者が目される或る國家はドイツ軍の手が届く所に控へてゐる、

反極軸陣營は余がゲリリング將軍を
罷免したとか、ゲリリング將軍が余
に取つて代つたとか、軍部がナチス
に取つて代つたとか、更に又、余
が將軍連を逮捕したとか、或は將軍
連が革命を起したとか色々なデマを
飛ばし、甚だしきに至つては余が神
經衰弱に罹つたとまで、デマを流布
してゐる、但し、如何なることがあ
らうとも余は決して失望しない、余
は充分歴史を研究してゐるから重大
な犠牲と重荷とがなくては偉大な勝
利を贏ち得ないことを充分承知して
ゐる、何人も陽光を樂しむことは出
來るが、眞の人格は嵐に遇つて始め
て眞價を發揮するであらう、ドイツ
人の所謂名譽とは忠誠を意味する、
これこそドイツ國民全體の座右銘で
ある、ドイツ國民とドイツ軍とは絶
對に國內において眞切者の擡頭を許
さず、征服し且つ生存する熱狂的な
決意の下に祖國鐵桶の守備を整へて
ゐるのである

反バルフォア宣言大會

【ベルリン二日發】一九一七年十一
月二日、全世界のアラビヤ人、回教
徒を憂憤の端に投げ込んだ所謂「バ
ルフォア宣言」が發表されてから茲
に二十八年、ベルリンにおいてはこの
日を記念してフセイン大司教司會
の下に「バルフォア宣言反對アラビ
ア人大會」が開催されユダヤ人擊滅
パレスチナ擁護の雄叫を上げたが、
ドイツ外相フオン・リッペンントロツ
プ氏は特に同大會に激勵電報を送り
遠路ベルリンに馳せつけた各國在住
アラビヤ人の勞を憐ふと共に、アラ
ビア人の目的と大ドイツ國の目的と
が合致する點を強調して次の如く述

ベネ
アラビヤ人と大ドイツ國との關係が
今日程緊密なことは未だなかつた、
今次大戦によつてパレスチナ地方を
ユダヤ人の手から解放することばド
イツ國の主要目的の一つである

レズチナ地方に關して英國の政策と は全く相容れない所以である」 國際工藝中央局ベルリン に移轉

【ベルリン四日發】從來イタリアに
あつた國際工藝中央局は獨伊兩當局
折衝の結果今後ベルリンに移される
こととなつた、同局は各國の主要工
藝團體より成る連絡機關で手工業界
の利益促進を目的としてゐたなほ今
回の措置は獨外務省の委託によりチ
ュールン氏がイタリアに赴き決定し
たもので國際工藝中央局長には新に
ドイツ側よりハンス・シュネルト氏
が就任する筈である

【ベルリン六日發】新任ドイツ駐劄
イタリア大使フイリッポ・アンブ
ロジ氏は六日總統大本營においてリッ
ペンントロツプ外相待立の下にヒット
ラー總統に對して信任狀を捧呈した

ブルガリア首相總統訪問

【ベルリン九日發】ブルガリア首相
ブリ・ボチロフ氏並に外相デイミト
リ・シシユマノフ氏は五日總統大本
營にヒットラー總統を訪問し、外相フ
オン・リッペンントロツプ氏を交へて
會談を遂げたが、九日夜右會見につ
き總統大本營から次の通り發表され
た
ヒットラー總統は五日ブルガリア首相
並に外相を引見、外相フオン・リッ
ペンントロツプ氏出席のもとに獨勃兩
國に關係ある一切の諸問題について
包括的な討議が行はれた、ドイツ軍總
司令カイテル元帥、ドイツ軍參謀長
ヨダ爾將軍も右會談に参加したが、
會見は獨勃兩國間の緊密な諒解並に
傳統的友好關係の精神に基き行はれ
た、次いでブルガリア首相並に外相
は外相フオン・リッペンントロツプ氏
の接待を受け、友好的な討議が續行
され同夜終了した

シュエパー博士を首班とする、供給部
(以上二氏は紡織工業界から起用)
ザウル氏を首班とする軍需技術部、
ジーパウエル氏を首班とする生産部
(同氏は動力工業界から起用)
ストツペ・デシュルツフェン氏を首班と
する建築部、ジュルツフ・フイリッツ
氏を首班とする動力部以上の六部は
ドイツ軍需生産の中樞である

軍需省の機構を強化

【ベルリン十三日發】政府は十三日
軍需生産の飛躍的増進を圖るため、
軍需省の機構を全面的に改組した旨
發表した、新機構の概要次の通り
一、ニュールンベルグ市長リーベル
氏を起用、同氏を局長として中央局
を設置同局をして一切の他局の業務
を調整しめる
一、生産は六部に依つて統制される
即ちカール氏を首班とする原料部、

【ベルリン十八日發】ドイツ經濟省
次官ランドフリード氏は今回經濟政
策遂行上の特殊任務に就くため辭任
し、後任には商業組合會頭フランツ
・ヘーラー氏が任命され、更に經濟
省局長オット・オーレンドルフ氏が
次官代理に任命された

經濟省人事異動

【ベルリン三日發】ヒットラ
ー總統はクバン橋頭堡にお

協定違反で瑞船抑留

【ベルリン六日發】過般獨英兩國間
に行はれた捕虜交換に際し、交換船
として使用されたスウェーデン船ド
ロツトニングホルム號が最近ドイツ
當局のため抑留された事件が起りこ
當局の態度を不法なりと非難してゐ
るが、六日ドイツ外務省は事件の眞
相を公表、スウェーデンの筋違ひの
抗議を一蹴した、ドイツ當局の發表
によれば獨、西兩國政府間で取決め
られた協定によれば、交換船として
の使命を果した後、歸航に際しては
同船は百噸までの消耗品を積載して
も良いことになつてゐたのであるが
ドロツトニングホルム號は同協定を
無視し多數の敵側宣傳材料を積載し
てゐたのである、以上の事實が檢索
の結果判明したためドイツ當局は同
船を抑留するに至つたものである

新任伊大使信任狀呈呈

【ベルリン六日發】新任ドイツ駐劄
イタリア大使フイリッポ・アンブ
ロジ氏は六日總統大本營においてリッ
ペンントロツプ外相待立の下にヒット
ラー總統に對して信任狀を捧呈した

クバン殊勳章制定

【ベルリン三日發】ヒットラ
ー總統はクバン橋頭堡にお

けるドイツ將兵の英雄的行爲を記念して「クバン章」を制定する旨發表した

突撃隊司令任命

【ベルリン八日發】 ナチス黨は八日突撃隊參謀長シエツプマン氏が従來司令代理の職にあつたが、一九四三年十一月一日附を以て正式に突撃隊司令に任命された旨發表した

新鋭機ME三二三

【ベルリン二十日發】 ドイツ空軍が世界最大の陸上機として誇り、獨國內で「巨人機」と呼ばれる新鋭機メツサーシュミットME三二三の寫眞が二十日始めてドイツ各紙上に發表された、その寫眞によると同機は發動機六基を裝備、翼長は五十五メートルである

ロケット魚雷の威力

【ブエノスアイレス廿五日發】 ニューヨーク・タイムズ紙の軍事記者ハノン・ポールドウインはドイツ軍の空の新兵器ロケット魚雷の威力に關し次の通り報じてゐる
反樞軸艦船は今後ロケット爆彈の外にロケット魚雷に悩まされるだらうこれは翼を持つてゐて親飛行機から投下されるとロケット式に推進され目標に向つて滑走すると、水中に落ちると同時に翼は自動的に離脱され、以後は從來の魚雷同様の方法で推進されて水中を走る、最近の魚雷は電池を動力源としてゐるから航跡を残さない、また目標に激突しなくとも磁氣的又は音響的に目標の下部或は近くで爆發させることも可能である水中に投下されると同時に求心的或

は遠心的に螺旋を畫いて目標に衝突する迄ぐるぐる廻る様に調節することも可能で、斯かる方法は既に實際に使用され、港灣内或は輻輳する港外碇泊所等で猛威を發揮する

ベルリン爆撃による邦人の被害

【ベルリン廿日發】 去る廿二日廿三日の兩夜に亘る英空軍のベルリン盲爆による在留邦人の損害は、大體次の通り
滿洲國公使館、陸軍武官々邸、財務官事務所、昭和通商、朝日、毎日、讀賣、同盟各支部以上は何れも全燒けしたが帝國大使館も相當の損傷を受け暫くは執務不能の状態である、外に七、八十名の邦人が燒出されたが死者はなく負傷者は猛火に包まれ三階から飛降り大腰骨を折つた滿洲重工業の淺井一彦氏だけである

【大英空軍のベルリン盲爆にも拘らずベルリン駐劄帝國大使館は殆んど損害をうけず大島大使以下一同元氣だが、萬全を期し大使館の一部は安全地帯に移轉する豫定と傳へられる、在留邦人はその後續々大使館内の堅固な防空壕に避難してゐるが、何分にも人数が多いのでまだいづれ氏名が分つてはゐない、但し記者團は全員無事、三菱社員も全部無事だといふことだけは判明した

當面してゐるかの如き宣傳に躍起となつて居るが、事實は全然違ひ、ドイツ國民の榮養状態は戦争第五年目にも拘らず、確固たる基礎の上に立つてをり、戦争の遂行を困難に陥れる様な兆候は現れてゐない、この點に關し「フエルクツィンジャー・ベオバハター」紙は十一日の紙上において十月現在の食糧配給情況及び物價状態を一九一八年十月と比較してゐるが、その差違ひの最も著しいのは脂肪分で、一九一八年十月には普通消費者は一週間七十瓦しか配給されなかつたのに對し、一九四三年十月には三倍以上即ち一週二百十六瓦といふ分量が割當てられてゐる、パンは當時の一週二千五百五十瓦に對して現在は二千二百二十五瓦だが、當時は地方によつては配給量が全く市場に出るだけで實際消費者に行き渡らなかつた場合が少くなかつたのに比べて今回は配給割當量だけは必ず受取ることが出来る、パツケ食糧相が收獲感謝祭で説明した所によれば、以上配給状態が良好なのは當局の周到な計畫と農民の努力により穀物類の收穫が増加したからで、例へば前回の大戦當時穀物の收穫高が一九一七年に於ける五十七パーセントに減少したのに對し、今回は去年から今年にかけての不作にも拘らず、尙前回の七十パーセントに對し、尙前回の七十馬鈴薯類は前回は七十七パーセントに低下したのに對し今回は前と同様の成績をあげてゐるし、又甜菜類は前回の五十七パーセントに對し、九十五パーセントに對し、今回は單に收獲率を示してゐる、今回は單に食糧の配給量が安定してゐるだけでなく、物價政策もまた計画的に遂行され前回のやうな物價騰貴現象は全

然生れない、前大戦當時の物價常態を振返つてみると、ペターは一九一四年から一九一八年迄に四倍近く騰貴、豚肉は三倍上り、馬鈴薯は三倍以上、牛乳は七倍以上に騰貴した、今回は状況次第で、部分的な價格調整が行はれたが配給割當食糧品は殆ど價格が釘付けされた儘だ



ム統帥祖國再建を説く

【ベルリン十六日發】 ムツソリーニ統帥はフアシスト黨大會に對しメツセーヂを送つたが、バヴオリニ黨書記長が大會議上右メツセーヂを朗讀した、メツセーヂの要旨次の通り刻下の状態においては軍事上、政治上の問題が他の一切の問題よりも重要である、卑怯者と犯罪人との一味が九月八日祖國に對し屈辱と混亂を齎した、イタリア國民は凡ゆる部面において悉く新規再出發しなければならぬ、しかしながらフアシスト黨員は飽くまで黨の綱領を堅持するであらう、武器を持たない祖國が出来るだけ早く交戦國とならねばならずフアシスト黨は黨員を擧げてイタリア國民の模範とならねばならぬ、イタリアは國民は武器を採つてフアシスト革命本來の理念に基きフアシスト共和国を建設するであらう

フアシスト黨大會宣言

【ベルリン十七日發】 共和フアシスト

黨大會は各地方支部長出席の下に十四日ヴェローナ市において開催されたバヴオリニ書記長司會の下に共和新憲法の基礎となるべきフアシスト黨の綱領につき審議を加へた結果次の宣言を可決した
(前文) ムツソリーニ統帥よ、黨綱領の發表に當りフアシスト黨はイタリア國民の精力を再び結集して祖國の救済を實現する人物として貴下を歓迎する、貴下が救ひ出されたことは祖國救済の前兆であるが貴下の理念と二十年に亘る歴史的業績によりイタリア國民は再び立上つて王家とその他妥協反動の一切の暗黒な力を掃蕩し去るであらう、貴下の指導の下に犧牲と闘争によつて明日祖國を再び榮譽と獨立とに導かんことを期待す
(本文) フアシスト黨は盟邦日獨兩國と相携へて最後の勝利を確保するまで斷乎戦争を繼續する決意であるが、以上の目的を達成する爲にはイタリア軍の即時改編裏切り分子の處断が絶対に必要である、祖國の再建は次の三段階による
一、憲法上並に内政上の諸懸案
①憲法會議を召集し同會議においては「ゲリ・レバリカ・ツチアリスモ」(戰時社會主義共和國)を宣言し王政を廢しイタリア國の首班を任命す
②新共和憲法においては市民、兵士、労働者並に納稅者の對して公共行政の統制並に批判者の權限を與へる
③新たな混合選舉制度によつて議員を選出する行政官吏は一部選舉一部任命による
④フアシスト共和国における公認の宗教はローマカトリック教にするが他の宗派にも「敬意」を表明する
⑤ユダヤ人は外人として取扱

ひ戦時においては敵國人と見做す
二、外交政策 ①イタリア國內における非占領地区の解放②四千五百万のイタリア人の生存を保證するに至る生存権の確保③歐洲諸民族集團の實現

三、社會的政治的諸懸案 ④私有財産制は國家においては保證するが、右制度を搾取の具に供してはならぬ
⑤公共企業並に軍需工業は半ば國家の監督に屬しあらゆる工業部門において労働者は正當な賃金率の設定並に利潤の公正な分配に協力する
⑥農業部門においては土地の開墾乃至監督が不充分と認められる場合には地主の私的發意を制限する
⑦高級職業は國家の統制を受けるが即時に自由發展の機會が與へられる
⑧特別の國家機關として「人民の家」を設置し各個人の家並に私有財産に對する權利を保證する
⑨フアシスト體制の偉大な社會政策諸施設を保存する
⑩關取引者並に戰時において暴利を貪る者は極刑に處す

政府初閣議

【ローマ廿五日發】共和フアシスト政府は廿四日北伊の某地でムツソリーニ統帥司會の下で初閣議を開催したが當日の閣議決定事項は次の通り
一、共和フアシストの國家は「イタリア社會共和國」と正式に命名する
二、新共和國の國旗は三色旗だが従来の三色旗から「王冠と楯」は抹殺する
三、共和フアシスト軍の宣誓文句の形式を次の如く決定する「余は生命の崇高なる犠牲にかけてイタリア社會共和國の制度、法律名譽並に領土防衛のために奉仕することを誓約する、余は此の誓約を神の前に於てま

た祖國の獨立、統一と將來の祖國のために生命を落した人々に對して行ふものである」
右宣誓は集團的に行れるものではなく最も嚴肅なる形に於て個別的に行れるものである
一、所屬各省と共に北イタリアに移動し四日及び二十五日のフアシスト大評議會に於てフアシズムとイタリアを裏切つた同評議會議員を裁判する
二、特別裁判所構成員を任命する
三、ペドリオが政權を掌握した四十五日間にフアシスト黨を裏切つた黨員を裁判する
四、イタリア王國防衛を決定する
五、イタリア王國防衛を暫定的に再建しテロ行爲の再發を防止し乃至は食糧の買溜め、敗戦思想等の取締りに當らしめる
一、過去三箇月間に賃金の増加を受けなかつた全労働者に對し三十%の賃金増加を許す
一、主要なる農業、工業生産品の價格を訂正する、一方政府倉庫に食糧その他物資を供給する規則は一層嚴重に強行する
一、ユダヤ人が所有する美術工藝品は國家が沒收し外國蒐集家の手に渡ることを防止する

法相逝去

【ベルリン三日發】ヴェネチア來電 法相アントニオ・カサノヴァ氏は二日逝去した、氏は元大審院長でフアシズム大評議會に列しフアシスト共和政府樹立と共に法相に任命された

前伊大評議會議員逮捕

【ベルリン四日發】ミラノ來電 ゴツタルド・マリネリその他數名の前フアシスト大評議會議員が最近イタリア北部のパデウア市で投獄された前警視總監チエリツチはベルノ市で逮捕、投獄されたといはれる

【ベルリン五日發】ヴェネチア來電 ムツソリーニ統帥は四日イタリア共和フアシスト政府内相ブツフアリイ・ギデイ氏に對し共和フアシスト黨の綱領に依つて明示された諸原則に従ひ行政機構の再編成を行ふ權限を賦與した、目下イタリア政府では官界内部の肅正に努めてゐるが、内相の權限擴大に伴ひ、一切の不純分子は遠からず一掃されることとならう

【ベルリン廿九日發】共和フアシスト政府は廿九日、労働者並に九歳から十八歳までの子供に對するパンの割當量を七十五グラムに増加した旨發表した

法王各國に抗議を提出

【ジュネーリツヒ十四日發】ローマ來電によれば法王は十三日交戰各國代表に對し十一月五日のヴアチカン市爆撃に對し抗議したと言はれる
【ローマ中立尊重を要請】ローマ廿八日發 法王ビオ十二世は廿八日交戰各國に通牒を以てヴアチカン市上空の中立を尊重するやう更めて要請し、右通牒寫しを中立各國に傳達した
【ベルリン廿一日發】ヴェネチア來電 共和フアシスト黨は十四日ヴエロナ市で黨大會を開催、イタリア國再建のため國軍の即時改編を決定したが、特別歩兵部隊のうち黒シャツ部隊を設けることになり、その司令官にフイリツポ・デアマンチ將軍が任命された
同將軍は第一次大戰に参加し更にエチオピア戰爭に際しては黒シャツ部隊の司令官として殊勳を樹て、現大戰において黒シャツ、並びに東部戦線に歴戦し、鐵十字章を授與されてゐる
【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればムツソリーニ統帥は二十一日ジョヴァンニ・ジャンチール博士をフアシスト・イタリアの科學院總裁に任命したといはれる

ロンバルジャ地方に戒嚴令

【ベルリン十二日發】ミラノ來電 イタリア政府は十二日ミラノ市並にロンバルジ地方一帯に非常状態を宣言、午後八時から消燈、公共施設も料理店を除き一齊に閉鎖されることとなつた

黒シャツ部隊司令官任命

【ベルリン廿一日發】ヴェネチア來電 共和フアシスト黨は十四日ヴエロナ市で黨大會を開催、イタリア國再建のため國軍の即時改編を決定したが、特別歩兵部隊のうち黒シャツ部隊を設けることになり、その司令官にフイリツポ・デアマンチ將軍が任命された
同將軍は第一次大戰に参加し更にエチオピア戰爭に際しては黒シャツ部隊の司令官として殊勳を樹て、現大戰において黒シャツ、並びに東部戦線に歴戦し、鐵十字章を授與されてゐる

新聞編輯會議開く

【ベルリン十三日發】ミラノ來電 イタリア全新聞の編輯長會が十二日ミラノ市で開會された、席上フアシスト共和政府樹立の取べき進路を明らかにした

新科學院總裁任命

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればムツソリーニ統帥は二十一日ジョヴァンニ・ジャンチール博士をフアシスト・イタリアの科學院總裁に任命したといはれる

國家保安隊を組織

【ベルリン十九日發】ローマ來電によればイタリア・フアシスト共和國政府は十九日從來の黒シャツ義勇隊、騎馬警察隊及びアフリカ植民地警察隊をもつて國家保安隊を組織した旨發表した、同保安隊は内務大臣の監督下に治安維持に任ずるもので初代長官には前フアシスト義勇軍司令リツチ氏が就任するものと見られる

法王各國使臣と協議

【ストツクホルム廿七日發】スウェーデン紙ダグブラデットのベルン電によれば法王ビオ十二世は最近法王廳駐劄の獨佛米英各國使臣を招致して「戰爭問題」につき協議したと

いはれる、戦局が微妙な展開を示してゐる折柄法王の行動は注目される

フランス

内閣一部改造

【ベルリン廿二日發】 ヴィシー來電
情報省は労働長官ユベール・ドラ・ガルド氏が廿二日辭職し、生産長官兼運輸通信長官ジャン・ビシエロン氏が労働長官を臨時兼任することになった旨廿二日發表した

ドブネー將軍逝去

【ヴィシー十日發】 元フランス軍參謀長ドブネー將軍は八月廿九日フランス外人部隊記念日に暴徒に襲はれたが、十日遂に逝去した

對伊爲替相場改訂

【ベルリン四日發】 ヴィシー來電
政府は今回對伊爲替相場を二フラン對一リラに決定したが、これで戦前のレートに戻つた譯である

スイス

選挙に左翼進出

【チューリッヒ三日發】 戦争勃發來第二回目のスイス國民議會總選舉結果は一般に左翼的傾向を多分現はして來た、即ち最大反對黨たる社會民主黨は共產黨が禁止されて以來極左

翼を代表してゐるが、議席十一を増して五十六を獲得するに至つた、かつて同黨は急進黨に代つて反對黨中第一黨となつたが、然し政府黨は急進黨、カトリック保守黨、農民黨の各勢力を糾合することにより、議席總數百九十四中百十六を占め依然として絶對多數を維持してゐる

スペイン

政府重大閣議

【リスボン十二日發】 マドリッド來電
政府は去る五日フランコ統領司會の下に閣議を開催十一日まで連日協議を重ねたが閣議の席上外相ホルダナ伯は國際情勢について報告したと傳へられる

比島に對する儀禮電報解決

【マドリッド廿日發】 スペイン外相ホルダナ伯は去る十月十八日フリード共共和國の誕生に際しラウレル大統領に對し儀禮電報を發したが、外國報道機關はこれを以てスペインがフリード共共和國を承認したものであるとの歪曲報道を飛ばし米國政府はその眞偽につき問合せ來たに鑑みスペイン政府は十九日夜右に關し次の公報を發表した

フリード共共和國大統領ラウレル氏から十月十三日送られた電報に對する答電としてスペイン外相が同月十八日同氏に發した儀禮電報は外國ラジオ解説者及び通信機關によりスペインがフリード共共和國の獨立を祝福し、これを承認したものであるとの報道

英西貿易協定

【マドリッド廿七日發】 スペイン政府は茲三週問の中に英國政府とオランダ三十萬噸および玉葱十五萬噸の輸出協定を結んだが廿六日更にオレ

に使用されるに至つた、これらの報道は米國新聞において非常に騒がれたために米國政府はスペイン政府に對しこれら報道に關する眞偽を確かめ來つたので政府はワシントン駐劄大使に對し次の覺書を米國務省に提出すべきことを命令した、

スペイン政府は米國政府に對し次の通告を提出することを欣快とする

一、ラウレル大統領に對する電報は血液、宗教、言語によつてスペインと結ばれ、五十年前まではスペインとともに生活して來たフリード共共和國に對する儀禮的行爲である、政治的、國際的情勢とは離れてフリード共共和國の傳統には密接なつながりがある、これこそスペインが偏頗と解釋されるが如き政治的行動を回避してゐる理由である

一、スペイン外相は今回の電報が凡て、政治的問題の埒外に置かれるものであり、フリード共共和國の間接的な承認を意味するものでないことを理解せられんことを希望する

一、この覺書はスペインと米國政府との友好關係を曇らせるが如き歪曲せる解釋を防止せんとするものである

【リスボン十六日發】 政府は十六日同國交通相ホセ・ヴァルテ・パチエコ氏が十五日自動車事故のため十六日死亡した旨發表した

交通相死亡

【リスボン廿七日發】 首相オリヴェイラ・ラサザール博士は廿七日議會における外交演説で日本との關係につき次の如く述べた

日葡關係は正常

【リスボン廿七日發】 首相オリヴェイラ・ラサザール博士は廿七日議會における外交演説で日本との關係につき次の如く述べた

【リスボン二十五日發】 マドリッド來電によればサンシエズ・テンブレク大佐がモロッコ駐屯スペイン軍參謀長に任命された

ポルトガル

各國領事アゾーレスから引揚げ

【リスボン五日發】 アゾーレス諸島駐在各國領事は現在サン・ミグエル島のボンタ・デルガダに近いフィオルノスに收容されてゐることが漸く判明したが、米英兩國領事を初め各領事は英軍の軍政下にあつて全然活動が出来ないため來週アールモスからそれぞれ歸國する筈である

根である、事實はこれに反し澳門當局は國民政府及び日本當局との間に澳門の行政問題につき交渉を行つたが、この交渉において彼等は終始善意の態度を示した

北政諸國

各國の船舶喪失狀況

【ストックホルム廿三日】 スヴェンスカ・ターゲアラデット紙所報による戦時中立國船舶喪失狀況左の通り
一、開戦以來中立國船舶の戦争による喪失隻數は九百七十二隻、その噸數四百六十八萬八千五百一重量噸、人命喪失數八千五百六十六名
二、十月の中立國船舶喪失數は一隻、その噸數六萬噸、戦争行爲の變化に伴ひ、その沈没狀況も變り魚雷攻撃で沈没したものには二隻に過ぎないのに對し、飛行機の攻撃で沈没したものは五隻に達した

一、七月以來スウェーデン船舶の沈没は著しく減少し、十月にはグチニア港で一隻沈没したのみだつた
二、開戦以來スカンデナヴィア各國の船舶喪失數は左の通り

瑞 典	隻數	噸數	喪失人命
芬 蘭	三二八	六萬七千五	一、二八
丹 麥	一八八	一五、七三	一、九三
瑞 士	一七六	五八、三五	一、〇五
芬 蘭	一七六	七〇、七〇	三、〇

アルジェーと國交開始

【ストックホルム廿七日發】 スウェーデン政府は過般アルジェーのフランス傀儡政

ンデーエウス

權と國交を開始するに決したが、アルジュニア駐劄スウェーデン代表にペルフラウゲ氏を任命した旨廿七日發表した、然しスウェーデン政府は依然としてフランス政府との國交は繼續する

英機瑞典首爆

【ストックホルム十九日發】十八日夜スウェーデン南端ルント市上空に國籍不明の飛行機數機が來襲、爆彈及び機夷彈を投下した

政府對英強硬抗議

【ストックホルム二十日發】スウェーデン陸軍當局は投下された爆彈につき調査中のところ二十日に至り遂に英國製のものとして明したので、外務省はこれをもつてスウェーデンの中立侵犯と見做し、直ちに英國政府に對し嚴重抗議方をロンドン駐劄スウェーデン公使に訓電を發した

總選舉を延期

【ストックホルム十一日發】ヘルシンキ來電「フィンランド議會の組織委員會は總選舉を一九四五年まで延期する政府の提案を可決した



スターリン元帥布告

【ストックホルム六日發】モスクワ來電「赤軍最高司令官スターリン元帥は五日特別布告を發しヴァツチン軍大將

麾下の第一ウクライナ戰線軍が電撃的且つ大膽な側面作戰によつて六日拂曉ウクライナの首都キエフを占領したの對し感謝の意を表明した

武器貸與支拂を保證

【ブエノスアイレス十一日發】ニューヨーク來電「米國戰時生産局長官ドナルド・ネルソンは十一日ニューヨーク市のマディソン廣場で演説を行つたが、最近のソ聯訪問の結果を報告し「余はスターリン議長とも會見したが、その際はソ聯が米國から受けた武器貸與額廿五億ドルを完全に支拂ふ旨保障した」と發表した

回復地域の復興困難

【モスクワ十四日發】ソ聯は夏期攻勢でドンバスを含むドニエプル東岸の地域を回復したが、同地域の生産施設はドイツ軍のため、徹底的に破壊され、その復興は極めて困難である、十三日附ソ聯各紙は回復地域調査委員會の報告を掲載したが、これによれば回復地域で破壊された重要生産施設は次の通りである

- 一、スターリノ市「スターリン冶金工場、コークス化學綜合工場、機械製作工場、窒素化學工場が破壊された
- 一、クラマトルスカヤ「スターリン機械製作工場、オルジョニキーゼ機械製作工場、クイビシエフ冶金工場を含む市内の全工場施設が破壊された

一、マケエフカ市「戰前勞働者二萬を擁してゐたソ聯最大の冶金工場たるキエフ冶金工場が破壊され、工場施設の一部はドイツ軍が撤収の際西方へ移轉した模様だ

一、ゴルロフカ市「戰前ドンバス炭田の中心地で、一日當りの出炭高が一萬五千噸を數へてゐた、ゴルロフカの炭坑は完全に爆破されてゐた、またオルジョニキーゼ窒素化學工場は廢墟と化し、コークス綜合工場その他十一の大工場が破壊された、窒素化學工場の損害丈でも廿四億留に達するといはれる

ソ聯國內の波瀾軍隊

【モスクワ十四日發】從來ソ聯國內で編成されたポーランド軍隊として「ベルリグ少將麾下のポーランド第一師團があり、同師團は赤軍とともに戦線に参加してゐるが、今回更にポーランド第二師團が編成され師團長にはシグイスキー大佐が任命された、右新師團は機械化歩兵部隊重砲部隊、戰車部隊のほか婦人大隊も含まれてゐる

前線に参加【ベルリン十八日發】ドイツ軍當局の言明に依ればソ聯國內で編成されたポーランド軍隊たる「タデウスコ・ステウシコ」師團は最近モレンスク方面の戦線に参加してゐるが多數の將兵はドイツ軍と交戦するや、集團をなしてドイツ軍に投降して來たといはれる、投降ポーランド兵は「タデウスコ・ステウシコ」師團について次の如く語つてゐる

「タデウスコ・ステウシコ」ポーランド師團は本年春ユダヤ人のベルリグ少將指揮下に設置されたが、獨立した師團でなく赤軍の一部に屬するもので將校はポーランド及びウクライナの赤軍將校が任命されてゐる

共産黨員著増

【モスクワ十五日發】ソ聯情報局局長ヤロヌラフスキー氏は十五日のプラウダ紙に「戦争三年目の十月革命記念日」と題する論説を發表し、多數の共産黨員が戦死したにも拘らず、黨員數が逐次増加してゐると次の通り述べてゐる

現在黨員數は候補者を含めて四百六十萬に上つてゐる、戦前の一四〇〇年には黨員數は三百四十萬であつた戦争中數十萬の黨員が戦死したにも拘らず、黨員數は逐次増加してゐると一四三三年八月には候補者二十萬一千六百七十七名が候補者となり、三萬五千七百七十九名が黨員に選ばれたが一九四三年八月には候補者二十萬一千三百三十五名、正黨員十一萬三千八百名といふ状態である

ベネシユ、モスクワに到着【ストックホルム廿三日發】モスクワ來電によれば亡命チエツコスロヴァキア大統領エドアルド・ベネシユはソヴェト政府との間に廿廿年の不可侵相互援助條約に調印するため廿三日ロンドンからモスクワに到着したといはれる

ウルグアイ公使任命【モスクワ三日發】政府はセルゲイ・アレクセーヴ

イツチ・オルロフ氏をウルグアイ公使に任命した

駐ア大使任命

【モスクワ十二日發】ソ聯邦最高會議幹部會は十一日イワン・ニコラエヴィツチ・バクレーン氏をアフガニスタン駐劄大使に任命した

外務人民次長新任

【ストックホルム廿四日發】モスクワ來電「政府は廿四日M・I・アリエフ氏を外務人民委員部次長に任命した恐らく首相次官アンドレ・ゲイシンスキー氏がイタリヤ訪問委員會のソヴェト代表としてアルチエリに赴任した結果次長一名を補充したのではないかと見られる

支那人苦力を輸入

【ストックホルム十一日發】ソヴェト政府は東部戦線に於ける赤軍兵力の甚大な損耗を補填するため人の資源の獲得に狂奔してゐるが情報によればソ聯は一ヶ年内に重慶から多數の支那人苦力を輸入之と交替に多數の軍需工業勞働者を軍務に動員したといはれる

沿海州の漁業成績

【モスクワ十二日發】プラウダ紙浦鹽特派員の報道に依れば沿海州に於ける本年度の漁業成績は次の通り一、本年度漁業期の漁獲高は昨年度漁業期の漁獲高よりも七十五萬六千プード増加した、國營漁場の漁獲高

人事

ウルグアイ公使任命【モスクワ三日發】政府はセルゲイ・アレクセーヴ

は年度計畫より十六%以上(共營漁場は年度計畫より九%以上)に達した、本年度に於ける罐詰生産高は昨年度より七百萬罐増加した

バルカン諸國

伊駐洪大使着任

【ベルリン十九日發】 フダペスト來電 伊タリアフアシスト共和政府の新任フダペスト駐劄大使ラファエレ・レ・カセルターノ氏は十八日フダペストに着任した

アリガンハ

アニバルア

【ベルリン五日發】 テイラナ來電 〓アルバニア攝政府は獨立運動の領袖レツエツプ・ミトラヴィツオ氏をアルバニア首相に任命した

首相決定

【ベルリン六日發】 ベルグランド來電 〓セルビア首相ミラン・ネデイツ將軍は六日社會政策相兼厚生相ストイミル・ドロサヴルヂエヴィツチの辭表を受理し、後任に内相タサ・ディニツチを任命した、内相はネデイツチ首相の兼攝となつたがの内閣改造とともにネデイツチ首相はセルビア軍隊の總指揮官をも兼ねることとなつた旨發表した

保安局長任命

【ベルリン廿五日發】 ソフイヤ來電 〓ブルガリア攝政府は今回國家保安局長にマニオ・ナチエフ氏を任命した

大統領逮捕さる

【イスタンブール十一日發】 カイロ來電 〓十一日午前四時突如アフリカ土民軍のセネガール兵の一隊がリスノ大統領ベシヤラ・エルクエリスの官邸に亂入、同大統領を逮捕何れかへ拉致したことが判明した、更に首相リアド・エルソン並に他の二閣僚も同様拉致された

大統領逮捕さる

【イスタンブール十二日發】 フランス來電 〓フランス傀儡政權の現住民がカイロ、ジャッファ並にイエルサレム各放送局のラジオオニユースを聴取することを禁止し更にユースを流布することを禁止したと傳へられる

英國政府介入

【リスボン十二日發】 レバノン地方の獨立運動に對しフランス傀儡政權が武力彈壓の舉に出たとの報道を接するや英國政府は直ちにペイロト駐劄英國代表エドワード・スピアス並にアルヂエリ駐劄代表ハロルト・マクミランに對し嚴重抗議方訓令したがロイター電報によればレバノン地方の情勢につき英國外務省は十二日次の公報を發表したといはれる

彈壓政策の撤回を要求

【イスタンブール十四日發】 ペイロト來電 〓レバノン駐劄英國公使スピアスは十三日レバノン高等辨務官ジャン・エルリと會見し次の要求を提出したと傳へられる

西諸國

アリシ

レバノン地方獨立問題

レバノン新憲法を採擇

アリガルブ

内閣改造

【ベルリン一日發】 ソフイヤ來電 〓ブルガリア駐劄イタリヤ代理公使並にフアシスト黨員は廿一日ソフイヤのイタリヤ公使館において共和フアシスト黨の復活を宣言した

【イスタンブール十日發】 ダマスカス來電 〓レバノン議會は十日棄權二名以外全會一致をもつて憲法改正法案を可決したが、改正法案の要旨次の通り

第一條 レバノン國は完全な獨立國であり、分割せられ得ず、主權は絕對であり、且つ現在の國境線を確保する

【イスタンブール十二日發】 イズミトル來電 〓レバノン地方高等辨務官ジャン・エルリは十二日布告を發表しレバノン地方の現住民がカイロ、ジャッファ並にイエルサレム各放送局のラジオオニユースを聴取することを禁止し更にユースを流布することを禁止したと傳へられる

【イスタンブール十三日發】 フランス解放委員會はレバノン騷擾事件に關する英政府の抗議に對するド・ゴールの回答を十三日、英北阿常駐相ハロルド・マクミランを通じて英政府に傳達した

【イスタンブール十一日發】 カイロ來電によれば一九四一年六月八日英國政府を代表して、シリア地方ドゴール將軍の代表として、レバノン地方並にレバノン地方に獨立を與へる旨言明、英國政府においても全く同感なる旨言明

【イスタンブール十二日發】 カイロ來電によれば一九四一年六月八日英國政府を代表して、シリア地方ドゴール將軍の代表として、レバノン地方並にレバノン地方に獨立を與へる旨言明、英國政府においても全く同感なる旨言明

【イスタンブール十二日發】 カイロ來電 〓エチプト首相ナハス・パシヤは傀儡政權委員長ドゴールに對し電報を以て「レバノン地方に即時平和が確立されなければエチプト政府としてはフランス解放委員會に對する態度につき再考を加へるの止むなきに至るであらう」と通告したと傳へられる

アビルセ

【ベルリン四日發】 ベルグランド來電 〓セルビア政府

首相義勇軍總司令官

【ベルリン四日發】 ベルグランド來電 〓セルビア政府

レバノン新憲法を採擇

【イスタンブール十二日發】 カイロ來電によれば一九四一年六月八日英國政府を代表して、シリア地方ドゴール將軍の代表として、レバノン地方並にレバノン地方に獨立を與へる旨言明、英國政府においても全く同感なる旨言明

レバノン地方獨立問題

【イスタンブール十二日發】 カイロ來電によれば一九四一年六月八日英國政府を代表して、シリア地方ドゴール將軍の代表として、レバノン地方並にレバノン地方に獨立を與へる旨言明、英國政府においても全く同感なる旨言明

レバノン新憲法を採擇

【イスタンブール十二日發】 カイロ來電によれば一九四一年六月八日英國政府を代表して、シリア地方ドゴール將軍の代表として、レバノン地方並にレバノン地方に獨立を與へる旨言明、英國政府においても全く同感なる旨言明

レバノン新憲法を採擇

【イスタンブール十二日發】 カイロ來電によれば一九四一年六月八日英國政府を代表して、シリア地方ドゴール將軍の代表として、レバノン地方並にレバノン地方に獨立を與へる旨言明、英國政府においても全く同感なる旨言明

【イスタンブール十三日發】バグダット來電によれば、イラク政府は十三日レバノン騷擾に關し次の公報を發表したといはれる

イラク政府は十三日ベイルート駐在のイラク代理公使に對し直ちにレバノン首相その他政府要人と會見してイラクはレバノンの立憲政治再建のために最善を盡すべき旨を通告すべしと命令した、イラク政府はまた英國公使および米國代理公使に對してレバノンの自由再建のために米英兩國が必要なる措置を講ずるやう要請した

一方ダマスカス來電によれば、シリア首相サード・ジャフリおよび同國內相ルトフイ・ハフアールはレバノンを援助する旨の演説を行つたと傳へられる

サウジ・アラビアも抗議

【イスタンブール十五日發】アルジェー來電によればサウジ・アラビア國王イブン・サウドも十五日レバノン政府要人の逮捕を不當としてフランス解放委員會に抗議したと傳へられる
トランスジヨルダン國王抗議 【イスタンブール十五日發】イズミール來電トランスジヨルダン國王は十五日レバノン地方におけるフランス傀儡政權の措置に對し嚴重抗議した

レバノン新政權を樹立

【イスタンブール十四日發】レバノン地方の原住民はフランス傀儡政權の強壓にも拘らず飽迄獨立運動に進する決意で十三日に至りヘトリイ・アラロンを大統領代理としてベイルート東方五十軒のパールベックに臨時政府を樹立し首相代理にはサラムが就任した、フランス傀儡政權の

逮捕を免れた關係は全部臨時政府の傘下に入ったと云はれる

傀儡政權を樹立

【イスタンブール十五日發】レバノン地方高等辨務官ジャン・ユルーは正當政權に對し武力彈壓を加ふると同時に、傀儡政權の樹立を企圖してゐたが、ベイルート來電によれば新政權は辯護士エミール・エディを首班として十五日ベイルートに樹立されたと傳へられる、傀儡政權は十四名の委員から成り内譯は各種公共事業統制官七名、行政地方官五名、行政事務局並に保安隊長各一名である

騷擾シリアへ擴大

【イスタンブール十五日發】アンカラに達した情報によればレバノンの騷擾は今やシリアまで擴大、十四日ダマスカス及びアレツポの兩市において住民の大規模な示威運動が展開されたと傳へられる、一方ベイルートの情勢に關してはフランス解放委員會の出先當局は嚴重な檢閲を實施して騷擾に關する報道の外部發出を抑へてゐるが、エルサレム電報は旅行者並に避難民の言としてベイルートはド・ゴール軍の完全支配下に置かれ戦車が出動して市街の重要交差点を固めてをり、これに反抗する住民との間に隨所で流血の慘事が惹き起されてゐると傳へられる

シリア政廳報道禁止

【イスタンブール十五日發】イズミール來電によればシリア首相バード・アラア・ジャブリは十五日學生大會に出席し全國民に對し飽くまで冷靜を持して公安を維持し、レバノン事件に關する措置については一切政府並に議會に一

英國政府重ねて抗議

【リスボン十五日發】ベイルート來電によれば米人經營大學の學生團は十三日英國公使スピアスの會見を希望し英國公使館附近に大衆集集しところ、フランス軍當局が直ちに發砲、學生の間から數名の負傷者を出したと傳へられるが、右報道を接受すると同時に英國政府はアルジェー駐劄關係ハロルド・マクミランに對しフランス解放委員會に嚴重抗議するやう訓令した、マクミランは右訓令に基き直ちに解放委員會を訪問し文書を以て抗議を提出した模様である

英國政府の解決方針

【リスボン十五日發】カイロ來電によれば、英國代表リチャード・ケイシーは十四日午前フランス傀儡政權代表カトルー將軍と會見しレバノンの地方の騷擾につき實地調査の結果に基き傀儡政權の善處を要請したと傳へられる、ロンドンからのAP電報は英國政府の對策として次の諸項を擧げてゐる
一、レバノン大統領、關係に國會議員の釋放
一、大統領其他を逮捕し且つ傀儡政權を樹立した責任者として高等辨務官ジャン・ユルーを罷免すること
一、獨立運動に付ては別個にレバノン代表との間に交渉を開始すること

ド・ゴール方針を闡明

【リスボン十六日發】アルジェー電

報によれば傀儡政權の外交委員ルネ・マンゲグリーは十六日次の通り言明したと傳へられる
レバノン高等辨務官ジャン・ユルーは回教委員カトルー將軍とベイルートにおいて會見したが、委員會に對しては現地の情勢について二本の電報で報告して来た、報告によれば十五日レバノン地方を通じて死者三名を出したに過ぎず、ユルー自身は今日の騷擾が傀儡政權に對する陰謀の結果にほかならぬと斷定してゐる
解放委員會においては直ちに會議を開催し慎重協議を遂げた結果、委員長ド・ゴールが聲明を發表し次の通り言明したと傳へられる
一、委員會においてはレバノン地方に關する事務と法律上の立場とを絕對に放棄することは出来ない
一、殊に戰略體制を阻害するやうな事態の存續を容認出来ないが、事態は既に解決の緒についた
一、今回の事件によつて英國とフランス委員會の關係は聊も阻害されない

米、佛委員會に申入れ

【アエノスアイレス十六日發】ニューヨークタイムズ紙は十五日、米國政府はフランス解放委員會に對しレバノン騷擾に關する重大申入れを行つた旨報道してゐる

英國政府重ねて見解を表明

【リスボン十六日發】ロンドン來電によれば英國政府當局は十六日レバノン事件に關聯し重ねて次の見解を表明したと傳へられる
一、レバノン事件は影響するところ極めて廣汎且重大だから事件を關係

當事國に満足に處理するためには凡手段を盡さなければならぬ、西亞各國における戰爭努力並に戰略體制を改善することは主として英國政府の擔當する責任だから英國政府においては以上西亞の體制が危殆に瀕する場合において初めて直接事件に介入するであらう、英國政府においては嘗てカトルー將軍が宣言したシリア並にレバノン兩地方に對する英佛兩國の共同公約が實現されレバノン地方における反輻軸軍の戰略體制が確保されるのを希望する以外全く他意がない
一、フランス解放委員會は曖昧な態度を清算し無責任な出先官憲の失當且つ近視眼的な措置を取消し同委員會が究極において重大な屈辱を蒙ることがないやう善處する必要がある

傀儡政權遂に屈服

【リスボン廿一日發】レバノン事件の發生以來英國政府は戦局上の必要を理由にフランス傀儡政權に對しあらゆる壓迫を加へ同政權の讓歩を強要したが傀儡政權は廿一日緊急委員會の結果遂に全面的に英國政府の主張を容認するに決定し會議後次の通り發表した
一、フランス解放委員會は現地に派遣したカトルーからの報告に基き

パノン大統領ベシヤラ・クラーリを復職させ、逮捕した関係を解放する一、レバノン高等辨務官ジャン・エルーを召還する

大統領等復職

【イスタンブール二十一日電】 ベイルート來電によれば事件の發生以來逮捕監禁されて居た大統領ベシヤラ・エル・クラーリは二十二日ベイルートに歸還復職し、他の関係も續々釋放されたと傳へられる、レバノン市街の要衝を占據警備してゐたド・ゴール派軍隊は二十一日夜撤收し、街は全く平靜に歸し、大統領釋放の報に歡喜した民衆は二十二日にはレバノン新國旗を公共建築物の屋上高く掲げて祝意を表明した

レバノン地方愈々獨立

【イスタンブール廿四日發】 ベイルート來電レバノン事件解決ととも到大統領ベシヤラ・クラーリは廿三日午後ベイルートに歸還復職し、直ちに新内閣の組閣並に議會の再開に着手した、更に大統領は十一月十日の議會において可決された憲法改正法案が依然有效であり、フランス政府の委任統治は終焉を告げた旨言明し、フランス傀儡政權代表ジョン・カトルーに高等辨務官の制度を廢止し代りにフランス、レバノン兩國間の國交を調整するための外交代表を任命し、速かに協議を開始する様を求した、シリア政權も同一の要求をカトルーに提出してゐると言はれる

二週間ぶりレバノン議會は再開され首相アド・エル・ソルは議會に對し國內の秩序は既に回復したと述べ、更にレバノン國民に對しては政府を信頼するやう懇へたといはれる別電によればレバノン議會は大統領の復職に伴ふ新内閣の組織に續いて再開されるといはれてゐたが以上のベイルート電に徴すれば恐らくリアド・エル・ソル以下大半の閣僚は留任したものと見られる

米國レバノン解決を支持

【アエノスアイレス廿六日發】 ワシントン來電レバノン騒動は十一月廿一日大統領ベシヤラ・クラーリ並に關係の釋放復権をもつて一先づ解決したが、米國務省は右に關し廿六日次の通り見解を發表した

米國政府はフランス傀儡政權がレバノン政府大統領並に關係を釋放復権せしめ、且つ去る十一日のレバノン議會解散命令を撤回した今日の措置に對し満足の意を表明する、そもそ米國のシリア・レバノン地方における權益は一九四二年來、佛兩國政府間の協定に規定せられ、爾來米國政府は同地方の完全獨立達成に對し深甚なる同情を寄せ來つたが、一九四一年フランス解放委員會の名においてレバノン獨立が宣言されるや、米國政府は直ちに同國內に外交機關を設置してこの獨立を部分的に承認したのであり、かかる経緯から今回米國政府は深く喜ぶものである

し得ぬ慮だが、今回フランス傀儡政權が採つた行動は眞に機宜を得たものといへよう

レバノン事件、責任者を懲罰

【イスタンブール廿六日發】 ベイルート來電によればフランス傀儡政權代表ジョルジュ・カトルーは過般のレバノン事件に際し高等辨務官ジャン・エルと行動を共にしたフランス人官吏全部に罰金を課すこと決定、更にベイルート警察署長その他三名は既に罷免されたといはれる

レバノン・シリア關稅同盟決定

【イスタンブール二十九日發】 ベイルート來電によればレバノン、シリア兩國政府は近く關稅並に交通を兩國共同管理とする協定を締結するに決定したと云はれる

コルト

大統領、文明の擁護を強調

【イスタンブール一日發】 アンカラ來電レバノン大統領イスマット・イノニユ氏は十一月一日トルコ大國民議會の開會に當り暴力に依る戰爭を排撃して次の如く述べた

トルコ政府の外交政策は國民の自由と獨立によつて基礎づけられた文明の維持のみを希求するものであり、文明の基礎を破壊せんとする者に對しては我々は抵抗するであらう、今次大戰の破壊的勢力は刻々増大しつつあり、戰爭によつて破壊された都市とともに文明も亦破壊されつつある、吾人には「暴力」を基礎とした政治制度が世界を支配するとは思へ

ない、暴力による制度は時と共に再び崩壊するであらう

外相、獨大使と會談

【イスタンブール十二日發】 アンカラ駐劄ドイツ大使フォン・パーベンは十二日午前トルコ外相メネメン・ジョグル氏を訪問し、長時間に亘つて會談を遂げた、右會談でドイツ大使にカイロ會談の経緯につきトルコ外相から事情を聴取したと傳へられる

カイロ會談の経過を報告

【イスタンブール十七日發】 トルコ人民共和黨は十六日午後三時秘密會を開催、モスタワ並にカイロ會談に關するメネメン・ジョグル外相の報告を聴取した、右會談には「レバノンを離れては既に公報に述べられた通り英土兩國間の條約に照し政治上の諸問題並に國際情勢が検討された、メネメン・ジョグル外相はトルコ政府の態度が右同盟條約に基くトルコ政府の義務と何等背馳しない旨確言したが、次で委員團の間から諸種の質問あり結局委員團は全會一致外相の報告を承認した

ブルガリア軍の使節到着

【ベルリン廿一日發】 アンカラ來電によればブルガリア軍の使節はトルコ政府の招請に基き廿一日アンカラに到着したと傳へられる

駐加公使館を新設

【アエノスアイレス二十五日發】 オツタワ來電によればトルコ政府は近くオツタワに公使館を設置することに決定したといはれる、更に公使には現ワシントン駐劄公使メーメド・アリ・セヴキ・アルハンが任命されるはづといはれる

重慶駐劄大使任命

【イスタンブール廿九日發】 アンカラ來電レバノン政府は義に重慶政權と修交條約を締結したが、同條約に基き廿九日現スペイン駐劄大使で嘗て支那駐劄代理大使を勤めたフルシ・フアド・ワカイ氏を初代重慶駐劄大使に

任命した

トルコに大地震

【リスボン廿七日發】 アンカラ放送によると廿六日夜アンカラ北方のエラム、アマシアートカト地方を中心稀有の地震が起り、死者六百名以上になり、アマシア北方のオスマニツクでは殆ど全家庭が倒壊したと云はれる、アンカラでは二十七日午前震動が感ぜられた

震災の死傷者

【アンカラ廿七日發】 アンカラ廿九日發】 アンカラ來電】 二十六日夜トルコ西海岸アナトリア地方を襲つた大地震の損害について二十九日夜トルコ政府は次の通り發表した
現在迄に判明した損害は死者二千五百九十一名、重傷者一千八十四名、輕傷者三千三百二十一名で、鐵道は四十軒に亘つて破壊され、二十九ヶ村落が全滅、倒壊建築物四百三十九戸の上つてゐる、これがため農作物および食糧の配給に甚大な支障を來してゐる

クライ

【イスタンブール五日發】 イーデンはモスクワからカイロに赴く途次ハバニアでイラク首相ヌリ・サイド將軍と會見した

ンライ

【イスタンブール三日發】 反樞軸軍から法權を奪回

テヘラン來電】 イラン政府は彙に同國駐屯の英軍並にソ軍の引揚を要求して略その目的を達成したが更に引續いて駐屯軍に對し駐屯地帯に於ても一切の司法判決はイラン法廷に一

任するやう要求、英ソ兩國代表は十月廿六日以上のイラン政府の主張を容認する議定書に調印した

陸相急死

【イスタンブール十六日發】 アンカラ來電によればイラン陸相アームドイ大將は十六日急死したと云はれる

ウ次長外相と會談

【イスタンブール二十四日發】 テヘラン來電】 ソ聯外務人民委員部長長ランンドレ・ウイシンスキー氏は二十三日イラン外相モハマド・サエド氏と長時間に亘つて會談した、右會談には反樞軸地中海委員會のソ聯代表としてウイシンスキー氏と共に赴任した

アビラア・ジウサ

【アエノスアイレス十日發】 ニューヨーク來電】 サウジ・アラビア外相エミール・フエイザルは十日ニューヨーク市の歡迎會でサウジ・アラビア政府がワシントンに公使館を設置することに決定した旨言明した

米に公使館を設置

【アエノスアイレス十日發】 ニューヨーク來電】 サウジ・アラビア外相エミール・フエイザルは十日ニューヨーク市の歡迎會でサウジ・アラビア政府がワシントンに公使館を設置することに決定した旨言明した

トブヂエ

【イスタンブール三日發】 飛行場
カイロ近郊に米軍



令部はカイロ近郊に陸軍飛行場を新設、飛行場の工事は七十日間完了した

アラブ聯盟豫備會談終了

【イスタンブール四日發】 カイロ來電】 過般來カイロにおいてシリア首相ザイダラ・ジャブリ並に同外相ジエミル・マルダム・ベイとエジプト首相ナハス・パシヤとの間に行はれてゐたアラブ聯盟結成に關する豫備會談は三日夜終了した旨當局から發表された

カイロで食糧會談

【イスタンブール四日發】 カイロ來電によればエジプト駐劄の米英當局は共同で十一月一日カイロに西亞各國の代表を招集、地中海の最新情勢に件ふ西亞における食糧事情の改善を目的とする會談を開催したといはれる
同會談にはアラビア各國代表をはじめ英西亞常駐相リチャード・ケーン、西亞派遣米經濟使節團長ジェームス・ランデイスその他米英兩國現地代表が出席、迫り来る冬を前に食糧問題につき種々協議を遂げた様子だが大した成果は擧げなかつたといはれる、問題はむしろ今回の會談開催に際し表面上米英共同となつてゐるものの事實上、米國側が會談の主導權を把握してゐた點にあり、從來完全な英國の勢力範圍とされてゐた西亞において米國がかくの如く積極的に出て來たことは各方面の注目を惹いてゐる

土外相、首相と會見

【イスタンブール五日發】 カイロ來電】 目下カイロに滞在中のトルコ外相ヌリ・サイドと首相ナハス・パシヤと會見した

英土會談に駐土英大使參加

【イスタンブール六日發】 五日カイロにおいて英國外相イーデンとトルコ外相メメンジヨグル氏との間に開始された英土會談については極力その内容が外部に漏れるのを防いでゐる模様で、會談には駐土英國大使ヒューゲツセンも參加してゐるとの報道があるのみで、その他會談の内容容については殆んど不明である、然しバドリオ政權の降伏に伴ふ東地中海及びバルカン方面の最新情勢に關し英國が戦局の展開に乗じてトルコを反樞軸陣營内に引込むべくあらゆる努力を盡してゐることは略々確實と見られる、六日にはカイロの英國當局の主催でメメンジヨグルの外相、およびイーデンに對する歡迎午餐會が開かれたが、これには反樞軸中東航空司令官ジョルト・ダグラス、同陸上部隊司令官メイトランド・ウィルソン及びイーデンに從つてモスクワ會談に参加した英戦時内閣幕僚長ヘイスティンガス・イズメー・外務顧問ウィルソン・ストラング等も列席した

カイロ會談公報

【イスタンブール八日發】 カイロ來電】 英國外相イーデンはモスクワからの歸途、特にカイロに立ち寄りトルコ外相メメンジヨグル氏と會談を遂げたが、會談の結果につき八日午前次ぎの公報が發表された

ソ公使カイロに着任

【イスタンブール十七日發】 カイロ來電】 エジプト政府は十七日國內開發五ヶ年計畫を發表した、右計畫は特にナイル河のダム建設に重點を置き更に自國を西亞空路の中心とすることを狙つてゐる

五ヶ年計畫發表

【イスタンブール十七日發】 カイロ來電】 エジプト政府は十七日國內開發五ヶ年計畫を發表した、右計畫は特にナイル河のダム建設に重點を置き更に自國を西亞空路の中心とすることを狙つてゐる

相ヌリ・マン・メメンジヨグル氏は五日首相ナハス・パシヤと會見した

英土會談に駐土英大使參加

【イスタンブール六日發】 五日カイロにおいて英國外相イーデンとトルコ外相メメンジヨグル氏との間に開始された英土會談については極力その内容が外部に漏れるのを防いでゐる模様で、會談には駐土英國大使ヒューゲツセンも參加してゐるとの報道があるのみで、その他會談の内容容については殆んど不明である、然しバドリオ政權の降伏に伴ふ東地中海及びバルカン方面の最新情勢に關し英國が戦局の展開に乗じてトルコを反樞軸陣營内に引込むべくあらゆる努力を盡してゐることは略々確實と見られる、六日にはカイロの英國當局の主催でメメンジヨグルの外相、およびイーデンに對する歡迎午餐會が開かれたが、これには反樞軸中東航空司令官ジョルト・ダグラス、同陸上部隊司令官メイトランド・ウィルソン及びイーデンに從つてモスクワ會談に参加した英戦時内閣幕僚長ヘイスティンガス・イズメー・外務顧問ウィルソン・ストラング等も列席した

カイロ會談公報

【イスタンブール八日發】 カイロ來電】 英國外相イーデンはモスクワからの歸途、特にカイロに立ち寄りトルコ外相メメンジヨグル氏と會談を遂げたが、會談の結果につき八日午前次ぎの公報が發表された

ソ公使カイロに着任

【イスタンブール十七日發】 カイロ來電】 エジプト政府は十七日國內開發五ヶ年計畫を發表した、右計畫は特にナイル河のダム建設に重點を置き更に自國を西亞空路の中心とすることを狙つてゐる

五ヶ年計畫發表

【イスタンブール十七日發】 カイロ來電】 エジプト政府は十七日國內開發五ヶ年計畫を發表した、右計畫は特にナイル河のダム建設に重點を置き更に自國を西亞空路の中心とすることを狙つてゐる

ワフド黨の新決議

【リスボン十六日發】 カイロ來電によれば國王ファルーク一世は十五日自動車事故のため足部を負傷したといはれる

國王負傷

【リスボン十六日發】 カイロ來電によれば國王ファルーク一世は十五日自動車事故のため足部を負傷したといはれる

ワフド黨の新決議

【リスボン十六日發】 カイロ來電によれば國王ファルーク一世は十五日自動車事故のため足部を負傷したといはれる

會議の結果に鑑み全般的情勢につき意見の交換が遂げられた、兩外相の會談は兩國を結ぶ友好と同盟の精神に基いて行はれた

政府大西洋憲章に參加

【イスタンブール十五日發】 カイロ來電】 首相ナハス・パシヤは十五日ワフド黨立憲記念日に當り黨大會に出席しエジプト政府が近く大西洋憲章に參加する旨言明した

國王負傷

【リスボン十六日發】 カイロ來電によれば國王ファルーク一世は十五日自動車事故のため足部を負傷したといはれる

ワフド黨の新決議

【リスボン十六日發】 カイロ來電によれば國王ファルーク一世は十五日自動車事故のため足部を負傷したといはれる

ワフド黨の新決議

【リスボン十六日發】 カイロ來電によれば國王ファルーク一世は十五日自動車事故のため足部を負傷したといはれる

ワフド黨の新決議

【リスボン十六日發】 カイロ來電によれば國王ファルーク一世は十五日自動車事故のため足部を負傷したといはれる

ワフド黨の新決議

【リスボン十六日發】 カイロ來電によれば國王ファルーク一世は十五日自動車事故のため足部を負傷したといはれる

ワフド黨の新決議

【リスボン十六日發】 カイロ來電によれば國王ファルーク一世は十五日自動車事故のため足部を負傷したといはれる

【イスタンブール廿四日發】カイロ
來電「初代エジプト駐劄ソヴェト公
使ニコライ・ノヴィコフ氏は廿四日
カイロに着任した

金塊自由賣却を再開

【リスボン廿四日發】カイロ來電に
よればエジプト政府は今回「ダーハ
ム」當り千七百七十三エジプト磅すな
はち一オンス當り十七・七三エジプ
ト磅の公定相場をもつて諸銀行に對
し金塊の自由賣却再開を許可するに
至つた、右は米英兩國當局協議の上
で決定され明かにインフレ抑制を目
指したものである

北
ア
イタリヤ艦船反樞
軸軍へ

【リスボン廿八日發】アルジ
エー來電「反樞軸軍司令部は八日イ
タリヤ商船十七萬噸、イタリヤ海軍
艦艇百四十九隻並に多數の小艦船が
反樞軸軍の支配下に歸した旨發表し
た

佛艦艦就役

【リスボン十九日發】アルジエー來
電「北阿反樞軸軍司令部は十九日フ
ランス艦隊リシユネー(三萬五千噸)
今度フランス海軍の艦隊に編入
され同艦隊旗艦として就役した旨發
表した

リシユネー號はフランスの對獨降
伏後英國艦隊によつて砲撃され大損
傷を受けたがダランの謀叛に伴ひ
米國に曳航されてニューヨークの海
軍工廠で修理、同艦には特殊の機密
武器が裝備されたといはれる

ソ聯代表着任

【リスボン廿七日發】アルジエー來
電「ソ聯外務人民委員部長グヴィシ
ンスキー氏は反樞軸地中海委員會の
ソ聯代表として廿六日アルジエーに
到着した

反樞軸
聯合國

三國會談
公報

【モスクワ一日發】
ソヴェト外務人民委
員部は一日夜次の公
報を發表した

英ソ三國並に重慶政
△四國共同宣言「米
一九四二年一月一日反樞軸各國
の宣言並に爾後の宣言に準據し各國
がそれぞれ交戦状態にある樞軸各國
に關しこれら各國が武器を擧げ無
條件降伏するまで戰闘行為を繼續す
るの決意において一致し、各國自身並
に盟邦各國の自由を確保すること
につき責任を痛感して茲に共同に次
の通り宣言す

一、それぞれの敵國に對し戰爭を遂
行する四國共同の行動は將來の世界
組織維持のためにも繼續されるもの
とす、
二、四國の内共同の一敵國と戰爭狀
態にある諸國は戰爭の完遂に付き共
同の動作を採るものとす、
三、敵國に對し課せらるべき各條件
の違反に對しては各國においてあら
ゆる必要な措置を講ずる、
四、諸國の主權平等の原則に立脚し
大小各國の加盟を認める全般的國際
組織を出来るだけ早く設置する必要
を認める、
五、將來の國際機構が成立する迄四
國は共同動作に出る目的を相互に協

議し、更に必要に應じて他の反樞軸
國と協議する、
六、戰闘行為の終了後においては今
回の宣言において豫見される目的以
外には他國の領土内において自國の
兵力を行使しない、
七、戦後軍備の統制につき實際的な
全般的取極めを締結するため四國は
互に協議協力する、
△三國外相會談に關する米英ソ三國
の共同公報

合衆國國務長官ハル、英國外相イー
ドンの會談は一九四三年十月十九日
から三十日までモスクワにおいて
十二回開催された、議題は米英ソ三
國政府が討議の爲に損失した一切の
問題を含んでゐる、これら問題の或
他の諸問題については討議の後原則
について決定が下されざらるに細目檢
討の爲に新に設置され各委員會に附
託乃至外交機關を通じての處理に委
ねられた

會談においては第一にドイツ國並に
歐洲におけるその衛星諸國に對する
戰爭を短縮する爲採らるべき措置に
ついて卒直且つ周到な討議を行ひ
三國軍の參謀本部を代表する軍事顧
問が會談に出席してゐるのを利用し
將來米英ソ三國間に最も緊密な軍事
上の協力の基礎を確立する爲め明
確な軍事行動について検討が加へら
れた、次いで重要なことは米英ソ三
國政府が各國の利益の爲めに戰爭遂
行に關する現在の緊密な協力を戰後
においても繼續するに意見一致した
ことである、以上の確信は三國外相

會談は戰爭の推移と共に發生する歐
洲の諸問題の検討につき三國政府間
の最も緊密な協力を保證する機關と
して、これら諸問題を研究し三國政
府に對し共同勸告案を提出させるに
決定した、また必要な場合現在の外
交機關を通じて三國政府代表が夫々の
首都において協議を繼續する爲この
取極めを講じた

會議はさらばイタリヤに關する事項
につき諮問協議會を設置、差當り三
國政府並にフランス國民解放委員會
の代表を以て右協議會を組織するに
意見一致した、右協議會は作戦準備
以外の個々の問題を處理し、イタリ
ヤに關する聯合國の政策調整を目的
とする勸告案を提出する

三國外相は今日公表された宣言にお
いてイタリヤ國內における民主政治
の復興を支援する反樞軸各國政府の
態度を再確言することを至當と考へ
た、また三國外相はオーストリアの
獨立を回復することが三國政府の目
的であることと宣言すると同時にオ
ーストリアに對しオーストリアが自
身の解放のために爲すべき努力が考
慮に入れられることについて注意を
喚起したい、會談においては相互的
信頼と了解の雰囲気裡にその他の
重要諸問題について考慮が加へられ
た、これら現在の諸問題だけでな
く、経済的協力及び全般的保障
等に關する問題を含んでゐる

獨外務省の見解

【ベルリン二日發】外務省當局はモ
スクワ會談の公報に關し次の如き見

解を表明した
一、モスクワ會談の公報は歐洲にお
けるソ聯の制覇に對する米英兩國の
降伏であり、歐洲が擧げて来ルシエ
ヴィズムに屈服したことを確認した
外ならない、
一、更に今回の公報に徴すれば米英
兩國政府の政策が全く支離滅裂であ
ることが明瞭だ、今回の公報におい
てはソ聯の野望の對象になつてゐる
歐洲諸國に關し何等言及されてを
らず、却てオーストリア國の問題を
とりあげてゐる
一、しかしオーストリア國民は一九
三八年自由な人民投票によつてドイ
ツ國の不可分の一部を構成するに至
つたことは世界周知の事實である、
現に前大戦直後においてもオースト
リヤ國民は民主主義體制の下におい
て人民投票を施行し、ドイツ國とい
合邦を主張したのである、しかし人
民投票の結果はヴェルサイユ條約違
反の罪で無効の宣言を受けたのであ
る、大西洋憲章において民族自決の
看板を掲げながら當該人民の意思に
反し所謂「民主主義的自由」を強要
するの全く諒解に苦しむところだ
一、今回の公報はドイツ軍並にナチ
ス黨員を非難してゐるがカトウイン
森において赤軍がポーランド將兵の
大量虐殺を犯した事實を想起すれば
右非難の如きは全く顧みて他を言ふ
厚顔無恥のやり方だ

カイロ三國會談

【ストツクホルム廿九日發】米大統
領ルーズヴェルト、英首相チャーチ
ル並にソ聯人民委員會議長ヨシフ・
スターリンの會見説についてニヤ・
ダクリヒト・アレハンダ紙のベルン

特電は廿九日「三國代表が現にカ
イロにおいて會談を繼續してをり、
蔣介石もまた右會談に参加してある
と推定される」と報道してある、會
談の主要題目について、米英兩國の
宣傳機關が數日以前から連日のや
うに種々の臆測を傳へてゐるが、こ
れ等の報道のうち最も代表的なのは
ワシントンからのロイター電報で
次の通り述べてゐる「三頭會談で討
議される諸問題のうち次の三項目が
特に重要だといふのがワシントン政
界筋一致の觀測だ①第二戰線開始の
時期地點並に方法 モスクワ會談で
米英兩國政府は第二戰線の展開を最
終的に公約したが、細目は依然未定
になつてゐるので、今度の會談でス
タリーン議長に對し歐洲反攻作戰の
具體案を提出することとならう②ド
イツ民族に對する對策③歐洲の政治
的諸懸案 對にバルト三國ポーラン
ド等の亡命政權を繞る諸懸案が問題
となり得るが、ソ聯との紛争を避け
て國境線の問題等は或ひは將來に持
越されるかも知れない」

第二戰線展開の時期に關聯しては一
九四四年春季といふ觀測が依然とし
て有力だが、ニューズスクロニクル紙
のワシントン特派員は赤軍と反樞軸
軍との作戰を緊密にするため、今回
の會談でロンドンに米英ソ三國軍代
表の統合參謀本部が設置され、米軍
參謀總長マシーナルが司令官に任命
され、米軍參謀總長はアイゼンハウ
アーではないかとの觀測を傳へてゐ
る、尤もロンドンに新たな統合參謀
本部が出来ても、ワシントンに現有
する統合司令部は依然存続し相互に
補ひ合ふ仕組になるだらうといはれ
る、ニューヨークタイムス紙のロン

ドン特電は次の通り述べてゐる
「ホワイトハウスは米國內に太平洋
第一論者が相當有力なことを十分承
知してをり、あらゆる機會に英軍が
太平洋戦線にも熱意を持つてゐるこ
とを示さうとしてゐる、また今度蔣
介石が會談に出席すれば、英國國民に
對しても、日本軍との困難且複雑な
戰闘を遂行するため有力な水陸兩用
作戰部隊を太平洋に派遣しなければ
ならないことを端的に示す機會を與
へられよう」

【リスボン二十一日發】アルジェ
ニ來電「イタリヤ諮問委員會は三十
日午後アルジェニ於いて第一回會
議を開催、一時間十五分に亘り協議
を遂げたが、主なる出席者は次の通
り
米國代表 マーフィー、英國代表 ハロ
ルド・マクミラン、ソヴェト代表 ヴ
イシンスキー、フランス解放委員會
代表 ネ・マシグリー
會議は先づイタリヤの統治狀況に關
しアイゼンハウアー司令官參謀長大
將ウォルター・ペデル・スミス並に
代將ジュリス・ホルメスの報告を聽
取した後種々協議したが何等の決議
も行はなかつたといはれる

政權と反樞軸軍との休戰協定に基づ
きアイゼンハウアーの指揮下に反樞
軸軍占領下のイタリヤの戦時動員を
他萬般の監視、統制事務に當るが
新委員會設立の結果、現在まで反樞
軸軍を代表してパドリオ政權に派遣
されてゐた軍事使節團が解散され、
使節團長だつた英國陸軍中將メーソ
ン・マックファアレンは再びジブラ
ルタル總督として歸任することとな
つた、而して委員會はパドリオ政權
が首都と定める所に設置されること
とならうが、委員長ジョイスは元來
第九軍司令官で後太平洋陸軍司令官
となつた、委員會設置に當りアイゼ
ンハウアーが發表せる聲明要旨左の
通り

新委員會の任務は休戰協定事項を實
行に移し、イタリヤ經濟を反樞軸軍
の對獨戰のため完全に動員するにあ
るが、イタリヤに課せられた新役割は
今や共同の敵となつたドイツと戦ふ
にあり、これがためにはイタリヤの
資源を如何に動員するかを明確にし
なければならぬ
因みに新委員會は米、英、ソ聯、フ
ランス傀儡派代表を以て組織され、
將來ギリシャ、ユーゴスラヴィア兩
亡命政權もこれに参加する筈である
諮問評議會も組織【ブエノスアイ
レス二十日發】ワシントン來電「北阿
反樞軸軍司令官アイゼンハウアーは十
日イタリヤ監理委員會の設置を發表
したが、米國陸軍省は同時に「イタ
リヤ諮問評議會」の創設を發表した
この評議會は莫のモスクワ外相會談
の決定に基づき組織されたもので監
理委員會が軍事問題を擔當するに對
して諮問評議會は非軍事問題を擔當

【リスボン二十一日發】アルジェ
ニ來電「イタリヤ諮問委員會は三十
日午後アルジェニ於いて第一回會
議を開催、一時間十五分に亘り協議
を遂げたが、主なる出席者は次の通
り
米國代表 マーフィー、英國代表 ハロ
ルド・マクミラン、ソヴェト代表 ヴ
イシンスキー、フランス解放委員會
代表 ネ・マシグリー
會議は先づイタリヤの統治狀況に關
しアイゼンハウアー司令官參謀長大
將ウォルター・ペデル・スミス並に
代將ジュリス・ホルメスの報告を聽
取した後種々協議したが何等の決議
も行はなかつたといはれる

米英加食糧會議

【ブエノスアイレス八日發】オッタ
ワ來電「米英加三國の食糧情況調査
に關する會議は八日からオッタワで
開始された、右は去る七月ロンドン
で開催された三國會談の續開で、食
糧の生産、消費および榮養價等の專
門的事項に關し協議を乞はれたが、次
回はワシントンで開催される筈であ
る
食糧需給推計法改訂【リスボン廿六
日發】ワシントン來電「カナダのオ
ッタワにおいては目下米英加三國食
糧專門會議が開かれてゐるが、米農
務省はこの程同會議がすでに殆んど
議事を終了、近く反樞軸國合同食糧
委員會に對し食糧品の需給推計方式
に關し報告を提出することにならう
と發表した、従来の食糧品需給統計
は必ずしもホテル、レストラン、ク
ラブの食糧品消費を算入してゐなかつ
たものであるが、今回の會議にお

【リスボン二十日發】アルジェニ來電
「北阿反樞軸軍司令官アイゼンハウ
アーは「八日イタリヤ監理委員會」
の設立を發表し、その代理委員長に
米國陸軍少將ケネオン・ジョイスを
任命した、新委員會はパドリオ裏切
り
新委員會の任務は休戰協定事項を實
行に移し、イタリヤ經濟を反樞軸軍
の對獨戰のため完全に動員するにあ
るが、イタリヤに課せられた新役割は
今や共同の敵となつたドイツと戦ふ
にあり、これがためにはイタリヤの
資源を如何に動員するかを明確にし
なければならぬ
因みに新委員會は米、英、ソ聯、フ
ランス傀儡派代表を以て組織され、
將來ギリシャ、ユーゴスラヴィア兩
亡命政權もこれに参加する筈である
諮問評議會も組織【ブエノスアイ
レス二十日發】ワシントン來電「北阿
反樞軸軍司令官アイゼンハウアーは十
日イタリヤ監理委員會の設置を發表
したが、米國陸軍省は同時に「イタ
リヤ諮問評議會」の創設を發表した
この評議會は莫のモスクワ外相會談
の決定に基づき組織されたもので監
理委員會が軍事問題を擔當するに對
して諮問評議會は非軍事問題を擔當

【リスボン二十一日發】アルジェ
ニ來電「イタリヤ諮問委員會は三十
日午後アルジェニ於いて第一回會
議を開催、一時間十五分に亘り協議
を遂げたが、主なる出席者は次の通
り
米國代表 マーフィー、英國代表 ハロ
ルド・マクミラン、ソヴェト代表 ヴ
イシンスキー、フランス解放委員會
代表 ネ・マシグリー
會議は先づイタリヤの統治狀況に關
しアイゼンハウアー司令官參謀長大
將ウォルター・ペデル・スミス並に
代將ジュリス・ホルメスの報告を聽
取した後種々協議したが何等の決議
も行はなかつたといはれる

イタリヤ監理委員會 設立

【リスボン二十日發】アルジェニ來電
「北阿反樞軸軍司令官アイゼンハウ
アーは「八日イタリヤ監理委員會」
の設立を發表し、その代理委員長に
米國陸軍少將ケネオン・ジョイスを
任命した、新委員會はパドリオ裏切
り
新委員會の任務は休戰協定事項を實
行に移し、イタリヤ經濟を反樞軸軍
の對獨戰のため完全に動員するにあ
るが、イタリヤに課せられた新役割は
今や共同の敵となつたドイツと戦ふ
にあり、これがためにはイタリヤの
資源を如何に動員するかを明確にし
なければならぬ
因みに新委員會は米、英、ソ聯、フ
ランス傀儡派代表を以て組織され、
將來ギリシャ、ユーゴスラヴィア兩
亡命政權もこれに参加する筈である
諮問評議會も組織【ブエノスアイ
レス二十日發】ワシントン來電「北阿
反樞軸軍司令官アイゼンハウアーは十
日イタリヤ監理委員會の設置を發表
したが、米國陸軍省は同時に「イタ
リヤ諮問評議會」の創設を發表した
この評議會は莫のモスクワ外相會談
の決定に基づき組織されたもので監
理委員會が軍事問題を擔當するに對
して諮問評議會は非軍事問題を擔當

【リスボン二十一日發】アルジェ
ニ來電「イタリヤ諮問委員會は三十
日午後アルジェニ於いて第一回會
議を開催、一時間十五分に亘り協議
を遂げたが、主なる出席者は次の通
り
米國代表 マーフィー、英國代表 ハロ
ルド・マクミラン、ソヴェト代表 ヴ
イシンスキー、フランス解放委員會
代表 ネ・マシグリー
會議は先づイタリヤの統治狀況に關
しアイゼンハウアー司令官參謀長大
將ウォルター・ペデル・スミス並に
代將ジュリス・ホルメスの報告を聽
取した後種々協議したが何等の決議
も行はなかつたといはれる

【リスボン二十一日發】アルジェ
ニ來電「イタリヤ諮問委員會は三十
日午後アルジェニ於いて第一回會
議を開催、一時間十五分に亘り協議
を遂げたが、主なる出席者は次の通
り
米國代表 マーフィー、英國代表 ハロ
ルド・マクミラン、ソヴェト代表 ヴ
イシンスキー、フランス解放委員會
代表 ネ・マシグリー
會議は先づイタリヤの統治狀況に關
しアイゼンハウアー司令官參謀長大
將ウォルター・ペデル・スミス並に
代將ジュリス・ホルメスの報告を聽
取した後種々協議したが何等の決議
も行はなかつたといはれる

伊諮問委員會第一回會議

いては家庭消費であるか否かを問はず食糧品全般に亘りこれが消費推計方式を決定、他方供給推計においても商業食糧生産者、輸出入高、在荷は勿論通常市場には出ない家庭栽培の食糧品及び野禽類をもこれに算入せんとするものである

反樞軸救済會議

【アノスアイレス十日發】アトランチック・シテイ(ニュージャージー州)來電 反樞軸救済復興會議は十日から米、英、ソ聯、重慶政權等反樞軸四十四ヶ國代表出席の下に開催された、會議は先づ救済復興局長官として米國代表ハーバート・リマンを選出した後財政、補給、運輸等各種の議題につき協議を進める筈で、各國代表は夫々多數の顧問を引連れてゐる

パドリオ新内閣を組織

【リスボン十七日發】アルジェー來電 貝ドリオ降伏政權は今同新内閣を組織した、額觸れは次の通り
一、首相兼外相 パドリオ
一、内務次官 ヴイトオ・レアリ
一、司法次官 ギゼツベ・デサンチ
一、陸軍次官 タデオ・オルランド

將軍

一、文部次官 ジオヴァンニ・キエオモ
一、大藏次官 ギド・ユング(前藏相)
一、工業次官 エピカルモ・ゴオル
一、農業次官 トマン・シチリアニ
一、鐵道次官 ジオヴァンニ・ディライモンド將軍
一、海運次官 デイエトロ・パロネ

參謀總長更迭

【リスボン廿一日發】アルジェー來電によればパドリオは廿一日更に參謀總長の更迭を發表、ヴィットリオ・アンブロジーオは罷免されてジョデアンニ・メツセが新參謀總長に任命されたといはれる、一方參謀次長にはペラリが任命された

軍司令部を設置

【リスボン二十四日發】ナポリ來電に依ればイタリア降伏政權は二十四日アントニオ・パツソを司令官とするイタリア軍司令部をナポリに設置した旨發表したといはれる、同軍司令部は反樞軸軍司令部アレキサンダ

スラフ

【リスボン九日發】アルジェー來電 フランス解放委員會が改組され、今同フランス解放委員會が改組され、今同フランス解放委員會が改組され、今同フランス解放委員會が改組され、今同フランス解放委員會が改組され

容共策を決定

【リスボン十六日發】アルジェー來電 フランス解放委員會は共産黨員の加入について過般來協議を重ねてゐるが容共政策を決定し十六日夜次の通り發表した
前フランス下院議員ルツシアン・ミドルは工業生産委員にエティアンヌ・パジヨンは保健委員に任命された

海軍の「肅清」發表

【リスボン十七日發】アルジェー來電 フランス解放委員會海軍委員ジャキノーは、一九四一年一月以降フランス政府と何等かの關係あつた海軍將兵全部を罷免する旨十七日發表した、フランス海軍司令ジョローは以上の政治的考慮に捉はれず各將兵の實力だけを問題とすべきだと主張して居るがジョローの意見は委員會によつて全的に否認されたといはれる

新驅逐艦を傀儡政權へ

【リスボン廿九日發】アルジェー來電によれば最近米國某造船所で進水した驅逐艦七隻のうち一隻は近く武器貸與法によりフランス解放委員會に引渡されると言はれる

イギリス

政治

武器貸與白書發表

【リスボン十一日發】ロンドン來電 英國政府は十一日白書を以て米英兩國間の武器貸與協定運營狀況並びにその他反樞軸諸國に對する武器貸與情況を發表した、米國政府もこれと殆ど同時に大統領の議會に對する敎書の形式をもつて武器貸與報告を行つてゐるが英米兩國政府が豫め打合せの上の發表と見られる、白書要旨左の通り
一、一九四三年五月末までに武器貸與協定に基づき英國はソ聯に對して飛行機四千六百九十機(輸送の途中破損せるものを含む)を供給した英國は危険なる北海を通じてソ聯に莫大な物資を送つたばかりでなく、イランを通じての對ソ補給路を開いた、一九四三年六月末までは英國がソ聯に補給した軍需品の額を全額にするに大體一億八千七百萬磅となつた

兵の必要物資は總べて武器貸與によつて賅はれた
一、歐洲反樞軸諸國への武器貸與の一部は無料であり、又その他はクレジットの形式でなされた
二、米國が參戰するも共に武器貸與は從來の一方的なものから双務的なものとなつた、即ち米國から英國に對する武器貸與は軍需契約の履行、軍需品の對英補給といふ形で行はれたが、これに對する英國の對米逆貸與は日々々の戰闘において米國軍が必要とする極めて多額の補給品供給の形をもつてなされ特に英本國及びその屬領にある米國軍に對して多量の補給がなされた、又戰時發明、情報等の交換も行はれた
一、されば武器貸與取極めにより米英兩國が相互に援助し合つたものを具體的に數字をもつて現はすことは極めて困難である、これを單に金額をもつて表示すれば一般に物價高の米國が多額の援助をとつた如く見られて不公平である、たゞ以上を考慮に入れて一九四二年から一九四三年六月末までの一年間に英國が米國に對してとつた援助額は約三億六千六百萬磅に上る

外相會談の結果を報告

【リスボン十一日發】ロンドン來電 外相イーデンは十二日英國下院に出席、モスクワ會談の結果について報告したが、會談の實體には觸れず單に次の諸點を強調するに止めた
一、歐洲諮問委員會は歐洲に關聯する一切の問題を検討するための外交上の新機構である委員會は間もなく設置されるが、米英ソ三國政府に對する共同の勸告案を検討し且つ提出し

七命政權

アリタイ

【リスボン十二日發】アルジェー來電によればイタリア降伏政權は十一日夜イタリア叛軍參謀總長マリオ・ロット大將が罷免された旨發表したといはれる

ロット大將を罷免

更に三國政府の付託するあらゆる問題について検討を加へるのがその任務である、委員会は要するに諮問機關で執行機關ではない、且つ戦争遂行の主要任務を三國が擔當してゐるのだから、今回も三國を以て委員會を組織したのは當然である

一、イタリア國內における反極軸軍の軍政についてイデーデンとハルトはソヴェート代表に事情を報告し、率直な討議の結果、イタリア國民に關する政策について米英三國政府が共同聲明を發表したが、更に經濟上の諸問題については三國代表間に率直な意見の交換が遂げられた

一、今回の會談ですべての問題が片付いたとは言はないが、相互に相手方の見解を熟知することが出来た、率直且つ善意をもつて意見を交換したのが今後最も困難な問題についても交渉の進捗を期待することが出来るだらう

イデーデンが最も困難な問題と稱してゐるのは要するにソ聯の西方國境線に關する懸案と解されるが、イデーデンは更に重慶政権を交へた四國共同宣言に關聯し、「右宣言は米國代表ハールの提案にかゝるが宣言が纏つたのは同代表の政治的手腕による」と御世辭を列べた、最後にカイロ會談に言及したが、極めて控へ目で次の通り述べたと過ぎない

トルコ外相とはモスクワ會談の結果に照して余般的状態につき意見を交換した、トルコ外相は會談の結果を報告するためアンカラに歸任したが差當つて自分としてはこれ以上言明出来ない

内閣改造を發表

【リスボン十二日發】 ロンドン來電 イギリス政府は十一日復興省の新設と同時に次の内閣改造を發表した △復興相 ウィルソン 前食糧相 △無任所相 ウィリアム・ジョーンズ ウィット(前食糧省政務次官) △ラウカスター(前領尙書アーネスト・ブラウン(前保健相) △保健相 ヘンリー・アームストン・ウイリントン △食糧相 大佐 ジョーン・レウリン

更に労働黨のベン・スマイスは常駐相の肩書を以て米國へ赴き補給問題に關する駐米英代表となり、保守黨のレノックス・ガイドが航空機製作省政務次官になると決定した、今回の内閣改造における最大の人事はウィルソンの復興相就任で、またラウカスター公領尙書ダフ・クーパーが罷免されたことも注目される

モズレー遂に釋放さる

【リスボン廿日發】 ロンドン來電 英國フアシスト首領オスワルド・モズレー夫妻の釋放問題は英國各方面の猛烈な非難の中にその成行を注目されてゐたが、同夫妻は廿日朝遂に三年半に亘り監禁されてゐたホロウエー刑務所から釋放された旨英國内務省が正式に發表された

下院で釋明【リスボン廿九日發】

ロンドン來電 英國フアシスト首領モズレー夫妻の釋放に對し内相モリソンは最近の下院で次の如く釋明した 英國の危機が解消した結果、政府は國內の治安を危険に陥れることなく多數の舊英國フアシスト黨員を釋放することが出来るやうになつた、然しながら向黨首領の釋放はこれとはその性質を異にし、モズレーの釋放は全く別の意味で行はれたのである

即ち彼の健康状態についてはしばしば余の下に報告あり、政府も専門醫を派遣して診斷せしめた結果、これ以上彼の監禁を続ける場合はその生命の危険さへ豫想されるといふことであつた

直接一般公共の治安に害ある如き事態の發生は全く豫想されないので、嚴重な監視下におくことの條件をもつて遂に釋放に決した、然しながら今後彼を再び監禁することを必要とする如き事態が發生したならば、政府は彼を再監禁するに躊躇するものではなく、かかる場合には彼の健康を犠牲にすることもやむを得ないだらう

軍事

樂觀論者に警告

【アエノスアイレス十一日發】 キヤンペラ來電 濠洲駐屯英國陸、空軍司令官少將デューウィンは十八日、歐戰の前途困難を豫想して次の通り述べた

今後數ヶ月で赤軍がドイツを壓倒するだらうなどと考へてはならない、ドイツは依然強力であり内部崩壊の徴候など微塵も見えない、反極軸空軍が投下した爆弾もドイツ國民の士氣を沮喪せしめることは出来なかつた 英國首相チャーチルは反極軸軍の西歐上陸が漸く行はれる旨言明したが、我々は漸くの上陸作戦がいかに困難なものであるかを認識しなければならぬ、若し西歐上陸作戦が開始されるならば恐らく史上未曾有の海上輸送部隊が使用されることにならう、更に日本は膨大な人的資源を有しその經濟的工業的資源もいまだ大して消耗してゐないのである、而して我々はドイツの打倒と英軍の太平洋戦域集結といふ二つの事實の間には餘裕を見ておかねばならない、英國陸、空軍はヨーロッパ戦争から先づ解放され、一旦英本國へ引きあげ再編成、再裝備をうけた上で遠く太平洋へ輸送されねばならないのである、戦争の長期化と反極軸陣營内の不和並に極軸國の勢力範圍の擴大は必然的に極軸國へ勝利を齎らすのであり、我々は戦争努力へ全力を盡さねばならない、弛緩は敗北へ通ずるのであり現在の情勢では些かの弛緩も許されない

海軍軍令部長更迭

【リスボン十三日發】 ロンドン來電 海軍省は十三日海軍軍令部長大將ダットレー・パウンドの後任に大將ジョン・トヴィーが任命された旨發表した、新任海軍軍令部長トヴィーは歐洲戰爭開戦當時から一九四三年三月まで英本國艦隊司令長官の職にあり、その後英國沿岸哨戒基地司令長官であつた

トヴィー新元帥に昇進

【リスボン十三日發】 ロンドン來電 海軍省は海軍元帥ダットレー・パウンドの死去にともなひ大將ジョン・トヴィーがそのあとを襲つて海軍元帥に昇進した旨十三日發表した、新元帥は歐洲戰爭開戦當時から一九四三年三月まで英本國艦隊司令長官の職にあり、その後英國沿岸哨戒基地司令長官に任命された

新兵器

【リスボン十七日發】 デイリー・エクスプレス紙は十月廿九日附紙に次のやうに報道してゐる

英空軍の四發重砲撃機には今後第五番目の發動機が取付けられることとなつた、但しこれは翼の上に取付け

られるのではなく、胴體内に裝備され、脚の引込、機銃座の揚げ下げ電力の供給その他の航空機の補助的機能操作のために動力を提供する、これらの機能操作には従来飛行用の各四基の發動機の動力が複雑なポンプ装置や發電機を介して利用されてきたのだが、この目的のために専用の發動機が別に装置されれば各種操作が非常に合理化され、地上や水上に止まつてゐる際も飛行中と變りなく各種の補助機構が操作出来る譯である

空軍の輸送機アヴロ・ヨーク【リスボン八日發】タイムズ紙は英空軍の新型輸送機「アヴロ・ヨーク」の性能を次の通り報道してゐる
これはランカスター爆撃機を輸送機に改造したもので、翼幅二呎、全長七十八呎、發動機はロールスロイス・マーリン液冷式發動機四機を裝備してゐる、このアヴロ・ヨークとランカスターとの外型上の主要相違點は胴體の形状と、アヴロ・ヨーク機が三枚の垂直安定板を有する尾翼装置を採用してゐる點である、胴體は貨物および人員輸送に適するやうに設計されてゐる、胴體内部は簡単に貨物輸送用或は人員輸送用には右兩用に改装し得るやうに出来てゐる、胴體の扉は非常に大きいので大型な荷物の積み降ろしも自由である、長距離飛行でなければ五十名以上の人員を輸送することが可能である

組立式「オートバイ」【リスボン十一日發】近着の英誌によれば、英軍落下傘部隊は最近落下傘部隊専用として組立式「オートバイ」を裝備してゐる模様で同誌は右「オートバイ」の寫眞を掲載、説明を加へてゐるが

これによると同一「オートバイ」は分解して箱に收め落下傘部隊とともに投下される仕掛になつてをり、組立てると子供用自動車くらゐの車輪で、一人で簡単に持ち上げられる重量だが、時速四十五哩、ガソリン一ガロンで百八十里走るといはれる
【リスボン十六日發】ロンドン來電 英國戰時交通省は十六日船舶沈没防止装置が發明され、既に英國油槽船百隻に取付けられてゐる旨發表した、右装置は元油槽船の機關士ウィリアム・リン・ネ

新型スーパードモスキー【ストックホルム廿五日發】ロンドン來電 英國空軍省は廿五日新型スーパードモスキー戦闘機が製作され、第一線出動を待つばかりとなつてゐると發表した、同戦闘機は時速四百哩と言はれる

戦時財政情況
【リスボン廿六日發】廿六日のロンドン報道は英國における戦時財政情況を次の如く傳へてゐる
一、英國政府は開戦直後戦時特別法人税として超過利得税を設定したがこれに普通の法人税を加へると各商社のその營業純益とは關係なくその収入の少くとも四十％が税金として

經濟

と去られる勘定となり、即ち超過利得に對する税率は百％であり、戦後に廿％の拂戻しがあるに過ぎない、結局各會社は平均して戦前の基準利潤の七十％を確保し得るに過ぎない
一、英國戰費の半分は公債その他の借入金で賄はれてゐる、従つて公債募集や貯蓄獎勵運動が頻りに行はれてゐるが、これは國民の購買力吸收の目的も含まれてゐる、政府はインフレの進行を防ぐため銀行からの借入は最少限にとどめ一般小口の公債募集を勸奨してゐる、今日までの所の公債募集運動には一般大衆もよく協力し、殆ど例外なく應募額を超過してゐる有様である、英國戰時公債の大部分は三分利付期限十年乃至十五年のものである

一、戰爭開始以來の英國の増税は正に劃期的といふべく最近三ヶ年間に於ける税制體系の變化はそれ以前九十年間にわたる英國税制の推移に匹敵すると言へば可い、例へば戦前の年度に比較すると法人税は九倍、個人所得税は十倍となつてゐる、國民所得の増加によつて國民の擔税力が殖えたことは事實だが、これは同時に英國官民の戰爭に對する眞剣さを示すものといへよう

共同作戰に廿五億弗支出
【リスボン二十九日發】ロンドン來電 空軍省廿九日の發表によれば英國政府は米英協同作戰強化の見地から二十五億弗を新に支出したが、このうち五億五千二百萬弗は米第八空軍の飛行場及び格納庫の建設に充當される豫定といはれる

【ストックホルム十九日發】ベルフンにおいて反樞軸各國勞働代表會議を開催することに決議した、會議への招請狀は英國勞働組合會議々長兼國際勞働組合聯盟議長たるシトラインの名で發送される、招待された各國勞働代表が果してそれに應ずるか否かは不明だが、ソ聯代表と米國のCIOおよびAFL兩勞働團體の代表とが出席すれば世界勞働組合史空前の大成功と云へよう

反樞軸勞働代表會議開催
【リスボン七日發】反樞軸諸國の勞働組合は最近その本来の目的を離れて共同戦線強化の宣傳謀略機關と化してゐるがニューズ・クロニクル紙は此の意味における英國勞働組合の活動ぶりを次の通り傳へてゐる
英國勞働組合會議は來春五月ロンドン

米洲諸國製鋼高
【ブエノスアイレス十六日發】ニューヨーク來電 鐵鋼協會は十五日米中南米の製鋼能力は一ヶ年百四十萬

ランカシア炭坑又罷業
【リスボン廿九日發】ロンドン來電 蘭カシア東南部の八炭坑の坑夫約一萬名は二週間前罷業を開始し、その交渉の結果先週から復業したが二十九日に至り同地方の五炭坑の坑夫の大半は英國政府が賃銀問題を解決せぬのに憤慨して又も罷業を開始した

英領南ローデシヤの雲母統制
【リスボン七日發】ロンドン來電 英帝國全域に亘る雲母供給の促進及び調査計畫の一翼として英供給省はこの程英領南ローデシヤ産雲母はすべてこれを政府代理機關卸賣すべき旨命令を發した

洲諸國の製鋼能力につき次の通り發表した
月下建設中の製鋼工場が竣工すれば



噸とならう右の鋼鐵生産高は戦前のポーランドの生産高より稍多くスウェーデンの生産高より稍少ない、ブラジルとメキシコは全生産高の約八十五%を占めるが、残餘の十五%はチリ、コロンビアその他から供給される

米の米洲各地からの天然

ゴム輸入高

【フエノスアイレス十六日發】ワシントン來電 米國政府は十六日日本一月以降九月末までの米洲各地からの天然生ゴム輸入高を發表したが、昨年同期に比し百四十五%の増加となつてゐるにも拘らず、米國政府が豫定した天然ゴム生産計畫には遙かに遅れてゐる、即ち米國政府は米洲における天然ゴム生産高として一九四三年三萬噸、一九四四年五萬噸を豫定したが、本年九月月の実績は僅ぼその三分の二程度を達成したに過ぎない、輸入先別の内譯次の通り

(單位噸) 本年 前年

ブラジル	九、七四一	三、三三三
ボリヴァ	一、九〇三	三、六六八
ペルー	一、九〇三	一、九〇三
メキシコ	一、九〇三	一、九〇三
中米	一、九〇三	一、九〇三
其他	一、九〇三	一、九〇三

米國對米洲貿易狀況

【フエノスアイレス廿三日發】ワシントン來電 商務省は廿三日本年一月以降九月末までの對中南米貿易情況に關する報告を發表したが、米洲諸國からの物資買入れの増加を物語つてゐる、主要各國別との貿易情勢次の通り(單位百萬弗)

キューバ	一〇三
アルゼンチン	七六
チリ	六三
コロンビア	五二
ブラジル	四一
△輸入超過より輸出超過に轉せる國	三
△輸出超過の國	三
△輸入超過の増加せる國	三

墨米協定

【フエノスアイレス五日發】メキシコ市來電 米墨兩國間の共同防衛委員會は軍參謀總長マシヤル、及び海軍中將ジョンソン等出席の下に過般メキシコ軍の増強案に付き協議を重ねてゐたが、米國政府においてはメキシコ國に對する武器貸與を増大するに同意し更に大體次の諸點に付き意見の一致を見たと言はれる

武器貸與

○米國海軍省はメキシコ政府に驅逐艦、驅潜艇等を含む軍艦數隻を移讓する
○メキシコ陸軍を近代的に改組し、米國の援助の下に新に戰車隊を設置する
○米國政府はメキシコ軍に對し備砲口径の大きい沿岸砲を提供する

米・伯協定

【フエノスアイレス八日發】米伯兩國間のブラジル産雲母、水晶等買上げに關する協定は本年五月をもつて満期となつてゐたが兩國政府は今回更に同協定を一九四四年五月まで延長するに決し、八日新協定に調印した旨發表した

雲母水晶買上協定

【フエノスアイレス八日發】米伯兩國間のブラジル産雲母、水晶等買上げに關する協定は本年五月をもつて満期となつてゐたが兩國政府は今回更に同協定を一九四四年五月まで延長するに決し、八日新協定に調印した旨發表した

米・ハイチゴム開發計畫

【フエノスアイレス八日發】ワシントン來電 米國國務省は最近ハイチ共和國大統領エリ・レスコットがワシントン訪問中、米國、ハイチ兩國政府の間にハイチにおけるゴム栽培計畫につき取極めが成立、米國ゴム開發會社は右は取極めに基き一九四四年中に約九百六十萬弗をハイチに投資することとなつた旨八日發表した

米・ハイチゴム開發計畫

【フエノスアイレス八日發】ワシントン來電 米國國務省は最近ハイチ共和國大統領エリ・レスコットがワシントン訪問中、米國、ハイチ兩國政府の間にハイチにおけるゴム栽培計畫につき取極めが成立、米國ゴム開發會社は右は取極めに基き一九四四年中に約九百六十萬弗をハイチに投資することとなつた旨八日發表した

米・ハイチゴム開發計畫

【フエノスアイレス廿日發】オータワイル(カナダ、オンタリオ州)來電によれば同地の某化學工場では戰場で空氣中に毒ガスのある時は直ちに危険と警告する一種の試験紙を製作してゐるといはれるが、同報道要旨次の通り

毒瓦斯「警報」紙

これは特殊な合成樹脂で處理された試験紙であつて、腕章のやうにして軍服の袖に着用する、空氣中に微量でも毒ガスが存在すれば人體に何らの危害を蒙らないうちに激しい化學反應を示して警告を發する仕組みとなつてゐる

重慶公使を昇格

【リスボン廿二日發】オッタワ來電によればカナダ外務當局は重慶駐劄カナダ公使オドラムを近く大使に昇格せしむる意向となつたへられるが、これと呼應して重慶政權もカナダ駐劄公使劉師舜を同様大使に昇格させる模様である

八日發)メキシコシテイ來電 米墨兩國政府は曩に兩國産業委員會を組織したが、今回更にこれを改組擴充し、八日右に關しメキシコ外務省は次の如く發表した

最近設置された米墨産業委員會は今回来墨經濟協力委員會と改稱された委員會の機能は擴大され、メキシコの工業化に關するあらゆる經濟的問題を検討する筈である

【リスボン十五日發】ニューヨーク來電 米國ペルー兩國は今回ペルー産銅の對米供給に關する新協定を締結したが、供給價格は從來と變りがない、なほ昨年ペルー銅生産高は三萬六千九百六十五トンに減少したが目下建設中の鑛山地帯への鐵道完成の曉には生産高は増加する筈である

値上げにあり 勞働者側は○一日の賃銀水準を五弗七十八仙に引上げること○一年二週間有給休暇及び土曜日の半休、の二項を要求してゐるがこれは結局形式的なものに過ぎず、罷業勞働者はいづれも米國炭坑夫組合カナダ支部に所屬してをり、罷業を米國東部炭田罷業と同じに開始した所から見ても米國炭坑夫に對する同情罷業と見られる

【リスボン十五日發】

保險計畫延長協定締結

【リスボン廿八日發】リオ・デ・ヂヤネイロ來電によれば米國、ブラジル兩國は去る廿五日ブラジルのアマゾン及びリオデゼネラにおける衛生保險計畫延長に關する協定に調印したが、新協定に基きブラジルは右計畫のため五百萬弗を支出、米國は三

炭坑夫罷業

【フエノスアイレス一日發】オッタワ來電 米國ペルー兩國は今回ペルー産銅の對米供給に關する新協定を締結したが、供給價格は從來と變りがない、なほ昨年ペルー銅生産高は三萬六千九百六十五トンに減少したが目下建設中の鑛山地帯への鐵道完成の曉には生産高は増加する筈である





政治

地方選挙総合結果

【アエノスアイレス三日發】ワシントン來電... 選挙の結果は豫想通り共和黨の大勝となつたが、この主なるも次の通り

- △ニューヨーク州副知事 共和黨ジョー・ハンレー當選、民主黨ウイリアム・ハスケル落選
△ニュージャージー州知事 共和黨ウオセター・エツチ當選、民主黨ウオセター・エツチ當選
△ケンタッキー州知事 共和黨シムオンウイリス當選、民主黨ライター・ドナルドソン落選
△ワイラデルファイア市長 共和黨バーナード・サミュエル當選、民主黨ウイリアム・プリフト落選

ブリツカー立候補聲明

【アエノスアイレス十一日發】シカゴ來電... 明年度大統領選挙戦に對する共和黨の有力候補と目されてお

たが、十一日新聞記者團に對して明年五月に行はれるオハイオ州の共和黨大會代表選挙戦に候補として立つ旨正式に聲明した、共和黨からは既にウイルキーが立候補聲明を行つてをり共和黨は既に二名の候補が正式に名乗りをあげたわけである

政綱を發表

【アエノスアイレス十八日發】クリーヴランド(オハイオ州)來電... オハイオ州知事ジョン・ブリツカーは十八日クリーヴランドで大統領選挙戦に對する彼自身の政綱とも目さるべきものを發表、次の如く演説した

ルーズヴェルトの政治は約束破棄と

赤字財政の政治だつた、我々は個人企業を維持しなければならぬ、之が爲に余は次の五項目の實施を提唱する

- 政府放漫財政の停止
○不足哲學を擯り生産と潤澤との移行
○彼岸なる官僚主義、必要なる統制の終結
○聯邦税制の再編成
○米國憲法の「權利の章典」精神への復歸

ツイラ號事件外交文書

【アエノスアイレス十一日發】ワシントン來電に依れば國務省は十一日一九四一年七月廿日揚子江上で發生した米砲艦ツイラ號事件に關するこれ迄未發表の外交文書を發表した

比島假大統領就任

【アエノスアイレス十五日發】ワシントン來電... 政府は十五日比島傀儡政権大統領マヌエル・ケソンが假大統領としての新任を開始した旨發表した、ケソンの任期は十五日をもつて満了したが、比島憲法の改正も乃至、選挙を行はぬ限り大統領の資格を失ふので周章狼狽したケソン及び米國政府は議會に働きかけて最近漸くインチキ便法たる「比島大統領任期延長決議案」なるものの議會通過に成功した

商船乘組員損害

【アエノスアイレス二十四日發】ワシントン來電... 戦時海運局は開戦以來米國商船乗組員の死者及び行方不明者數四千八百名、捕虜となつてゐることが判明したものと五百四十七名と發表した、勿論以上の数字は乗組員喪失數の極く一部と見られる

大學、専門學校男子入學者激減

【アエノスアイレス廿六日發】ワシントン來電に依れば廿六日米國教育局から發表された本年の大學専門學校入學者數調査に依れば男子入學者の如きは昨年比に半分以下に激減してゐる、即ち左の通り

本年の大學専門學校又はこの種の諸施設における軍事教育以外の普通の入學者は總數七十二萬六千四百五十五名であつて、昨年比して三六%の減少を示してゐる、右の中男子は二十二萬九千二百名、女子は四十九萬七千二百五十名であり、昨年度に比して男子は六五%四女子は四%六の減少である

食糧事情大統領會議

【アエノスアイレス一日發】ワシントン來電... 大統領ルーズヴェルトは一日會議に米國の食糧事情を説明した廣汎な特別教書を送つたがその詳報次の通り

米國食糧政策の第一の主要目標は我々の需要に適合した食糧を最も能率七、百、ジャマイカから八千八百がそれぞれ輸入され絶対不可欠な農業労働者に對しては召集延期の特典も與へられた、次に農業機械の不足が招來されたが、政府は戦時における農業の重要性を認め、一九四四年の農業機械用としては本年分の倍額の鐵鋼を配分した、一方、食糧需要の増加は大體三方面からやつて来た、このうち最大の需要増加は國內民需の増加で第二の増加は今や九百萬に達した米國軍隊の消費である、現在米國軍隊一月の食糧消費額は肉類三億二千八百萬封度、卵三千四百萬打、バター二千八百萬封度、馬鈴薯二億二千八百萬封度に達してゐる、更に武器貸與による外國への食糧供給額も漸次増加しつつある、即ち一九四一年には武器貸與と食糧輸出額は、米國食糧生産總額の約六%となつたが、本年はソ聯における食糧不足の激化およびその他の地區の需要増加によつて多分十%に達するものと豫想される、一九四一、四二兩年に亘り武器貸與食糧最大の供給を受けた國は英國であつたが、一九四二年ドイツ軍がウクライナを占領すると同時にソ聯に對する食糧の供給は大いに増加しなければならなかつた、事實、ソ聯は一九四三年上半期において米國が輸出した武器貸與食糧の三分の一を受け取つてゐる、かくて米國軍および反極軸軍の消費する食糧は一九四三年十月一日から始る一ヶ年間に對して米國で生産する全食糧額の四分の一に達しよう、されば米國內の需はこの四分の三以内で賄はれなければならない、しかしながら米國は

から四萬八千五百、バハマから四千七百、ジャマイカから八千八百がそれぞれ輸入され絶対不可欠な農業労働者に對しては召集延期の特典も與へられた、次に農業機械の不足が招來されたが、政府は戦時における農業の重要性を認め、一九四四年の農業機械用としては本年分の倍額の鐵鋼を配分した、一方、食糧需要の増加は大體三方面からやつて来た、このうち最大の需要増加は國內民需の増加で第二の増加は今や九百萬に達した米國軍隊の消費である、現在米國軍隊一月の食糧消費額は肉類三億二千八百萬封度、卵三千四百萬打、バター二千八百萬封度、馬鈴薯二億二千八百萬封度に達してゐる、更に武器貸與による外國への食糧供給額も漸次増加しつつある、即ち一九四一年には武器貸與と食糧輸出額は、米國食糧生産總額の約六%となつたが、本年はソ聯における食糧不足の激化およびその他の地區の需要増加によつて多分十%に達するものと豫想される、一九四一、四二兩年に亘り武器貸與食糧最大の供給を受けた國は英國であつたが、一九四二年ドイツ軍がウクライナを占領すると同時にソ聯に對する食糧の供給は大いに増加しなければならなかつた、事實、ソ聯は一九四三年上半期において米國が輸出した武器貸與食糧の三分の一を受け取つてゐる、かくて米國軍および反極軸軍の消費する食糧は一九四三年十月一日から始る一ヶ年間に對して米國で生産する全食糧額の四分の一に達しよう、されば米國內の需はこの四分の三以内で賄はれなければならない、しかしながら米國は

一方においては反樞軸諸國から逆貨
與として多量の食糧の供給をうけて
ゐる、例へば米國は澳洲およびニュ
ージーランドのみからでも米國が武
器貸與法により全反樞軸國に輸出し
たペターの五五〇羊肉の一六〇の供
給を受けてゐる
戰時食糧局は一九四四年の貸付面積
として三億八千萬ユーロを豫定し
てゐるが、戰時食糧局は余の承認を
得て議會に對し商品金融會社營業年
限の延長および貸付限度の擴張を要
請したこれにより戰争終了後二年間
に亘り食糧價格の崩壊を阻止し得よ
う戰時における食糧の増産を確保す
るためには農家に對して相當の利益
を保障する必要あり、同時に消費者
に對しては食糧價格が過度に上昇し
ないことを保障しなければならなかつ
た、この二つを同時に達成するため
には政府資金の使用が必要だつた
のであり、一九四四年の食糧増産計
畫が擴大されたとこの政府資金も
金額が増額されねばならぬ、商品金融
會社による一九四三年の食糧助成金
額は八億弗だが、これは僅か三日間
の戰費に過ぎず、而もこれによつて
一年間に亘り食糧の増産と低廉なる
食糧價格とが保障されるのである

政府の食糧政策が現在まで決して失
敗に終つても明らかとならう、即ち
一九三五年―三九年の戰前五年間に
おける農業經營者の平均年收は四十
六億六千八百萬弗、一九三九年のそ
れは四十四億三千萬弗と減少したが
一九四二年には九十五億弗となり
本年は更に増加して百二十四億七千
五百萬弗と推定される、勿論過去に
おいて閣取引の存在配給の不公平等
があり、また食糧關係機關の混亂、
或は能率低下等の現象が發生したこ
とは事實だが、今や食糧機關は統轄
され、閣取引その他食糧政策の缺陷
は急速に是正されるであらう、政府
は價格維持政策は生産の増加および
消費者に對する妥當なる價格維持の
兩分路において相當の成功を示して
ゐる、現在の政策を拋棄すれば必ず
生計費の高騰を招来すべく、延いて
は勞働者賃金の引上要求をも誘致し
かくて深刻且つ危険なるインフレ
ション發生の端緒とならう、インフ
レーションは阿片吸飲者が次第に深みに陥
つて行くと同じやうなものであつて
余は議會にせよその他の如何なる機關
にせよ、インフレの最初の一般を
とるが如き政策には飽迄も反對する
であらう

下院追加豫算を大削減

【アエノスアイレス四日發】ワシ
ントン來電 下院歳出委員會は過般來
政府各機關の本會計年度追加豫算案
は審議中だつたが、四日要求總額十
一億六千萬弗を實に十億弗削減、僅
かに一億六千七百萬弗のみを認めて
これを可決した、削除されうた最
も大口なものは海軍追加豫算七億五
千萬弗だが、削減をうけず無修正の
儘可決されたのは戰時情報局の五百
萬弗宣傳豫算のみである、一方下院
歳出委員會は財務省提案の本年度新
増稅案に對して殆んど形骸をとどめ
ぬ程の削除、修正を加へてをり、米
國政府の本年度財政計畫は收支の兩
面において議會から大きな牽制をう
けその豫定通り實施は全く不可能
視されるに至つた

比島獨立法案

【アエノスアイレス四日發】比島
の獨立政府樹立に周章狼狽した米國
政府はさき大統領ルーズヴェルト
の議會に對する教書によつて比島に
即時獨立を認めるとの米國得意の空
手形を發行したが、ワシントン來電
によればこの教書の趣旨に副ひ、會
議の起草者として知られる上院屬領
委員長ミッド・タイディングスは
四日の上院に對して「新比島獨立法案」
なるものを提出した、法案の骨子は
一、比島の戰略的要地に米國が軍事
基地を建設し得る權利を留保し、比
島に獨立を認め
一、比島の經濟、通商、財政を援助
するため比島復興委員會を設置す
るため比島復興委員會を設置す
にあるが、法案はあくまでも現在の
比島新體制を否認せんとするにある

國際協力案

【アエノスアイレス五日發】ワシ
ントン來電 上院は過般來民主黨議員
トム・コナリー提案の國際協力決議
案をめぐつて米國議會稀に見る論戰
を展開したが、五日表決の結果八十
五票對五票の多數をもつて可決した
反對投票を行つた、議員は民主黨で
ハートン・ホイラー、ロバート
・レイノルズ、共和黨ではハイラム
・ジョンソン、ウイリアム・ランカ
ー、ヘンリック・シツプステッドとい
づれも孤立派として有名な連中であ
り、決議案の内容は本會議に移され
てからも多くの修正が行はれる、結局
反樞軸國と協力して戰爭を繼續する
一、モスクワ會談の四國共同宣言の第

ツラ・レーク調査委員會任命

【アエノスアイレス八日發】ワシ
ントン來電 カリフォルニア州ツラ・
レーク日本人收容所の彈壓事件はワ
シントン政界でも重大問題となつた
が、民主黨下院議員マーチン・ダイ
スは委員長とする「非アメリカ運動
調査委員會」はこの事件のため特に
特別分科委員會を任命し、現地に於
いて事件の真相を調査させることと
なつた、分科委員長にはカリフォル
ニア州選出民主黨議員のジョン・コ
ンラークが任命されたが、委員會はツ
ラ・レーク收容所における最近の騷
擾及びこれに對し當局が軍隊を使用
したことをその他あらゆる状態につ
いて徹底的調査を行ふ筈である

偽大統領任期延長案

【アエノスアイレス十日發】ワシ
ントン來電 比島偽政權大統領ケン
ン及副大統領オスメニヤの任期は來
る十五日を以て満了するが、米國政府
及び議會にその任期延長の便法を講
ずるやう要請した、この要請に基づ
き上下兩院の屬領委員長ミッド・
タイディングス及びジャスパー・ベル
ムは夫々兩院に對して比島正副大統領
任期延長決議案を提出、上院は既に
これを可決したが、下院も十日百十
一票對百七票をもつて可決、大統領

大統領武器貸與報告

【アエノスアイレス十一日發】ワシ
ントン來電 大統領ルーズヴェルト
は十一日議會に對して第十一回武器
貸與報告を提出した、右報告は英國
政府の武器貸與白書と呼應して發表
され、最近米國で非難の中心となつ
た武器貸與における米國の一方的援
助の事實を辨護するために反樞軸就
中英國からの逆貨與を特に強調して
ゐる、要旨左の通り
一、米國が武器貸與取極によつて得
た大きな利益は反樞軸諸國が樞軸諸
國を撃破せんする戦ひにおいてその
資源並に努力を一つに統合し得たこ
とである、これによつて反樞軸各國
が共同の戦ひにどの程度の軍事的貢
獻をなしたかその程度を具體的に表
示することは出来ないが唯一つ明か
なことは米國はこれら友邦の協力に
よつて戦局を有利に導き得たばかり
でなく米國將兵は勿論反樞軸軍將兵
多數の生命を救ひ得たことである
一、本年夏英國政府は逆貨與によつ
て米國の陸海軍を援助する物資のう
ちに從來は米國軍が購入しなければ
包含すること原物料食料、其他を
含む體の細目交渉は目下兩國政府
間に進行中である、この逆貨與取極
によつて米國は無償を以て例へばセ
イロン島、トリニダッド島、英領ギ
アナ、英領ホンデユラス等の天然ゴ
ム、南ローデシアのアスカベト及び
セイロン島の錫及び椰子油其の他英
帝國の特産物資を入手し得るだらう
一、一九四三年六月廿日現在にお

四項をその儘借用して將來全般的國
際機關設置の必要を認める等の諸點
を骨子とした極めて漠然たる内容を
持つたものだが、最後に「米國が外
國と何らかの取極めを行ふ場合は事
前に上院に提出され上院三分の二以
上の支持を要する」との牽制の修正
が附されてゐるのは注目に價する
ツラ・レーク調査委員會任命
【アエノスアイレス八日發】ワシ
ントン來電 カリフォルニア州ツラ・
レーク日本人收容所の彈壓事件はワ
シントン政界でも重大問題となつた
が、民主黨下院議員マーチン・ダイ
スは委員長とする「非アメリカ運動
調査委員會」はこの事件のため特に
特別分科委員會を任命し、現地に於
いて事件の真相を調査させることと
なつた、分科委員長にはカリフォル
ニア州選出民主黨議員のジョン・コ
ンラークが任命されたが、委員會はツ
ラ・レーク收容所における最近の騷
擾及びこれに對し當局が軍隊を使用
したことをその他あらゆる状態につ
いて徹底的調査を行ふ筈である
偽大統領任期延長案
【アエノスアイレス十日發】ワシ
ントン來電 比島偽政權大統領ケン
ン及副大統領オスメニヤの任期は來
る十五日を以て満了するが、米國政府
及び議會にその任期延長の便法を講
ずるやう要請した、この要請に基づ
き上下兩院の屬領委員長ミッド・
タイディングス及びジャスパー・ベル
ムは夫々兩院に對して比島正副大統領
任期延長決議案を提出、上院は既に
これを可決したが、下院も十日百十
一票對百七票をもつて可決、大統領
の手に許に廻附した

て英帝國は逆貸與援助費として總額十一億七千萬弗を支出したといはれるが、このうち英本國には八億七千万弗、濠洲ニュージブラン及ビインドは三億弗を支出した、本年上半年六ヶ月間における支出額を基礎として英帝國は現在逆貸與援助費として年約十二億五千万弗の割合で支出してゐる計算である

一、以上の英國の逆貸與に關する數字は極めて不完全なもので英國はこれの外にも巨大なる援助を行つてゐる即ち米國の武器貸與が英本國の一點を中心として行はれてゐるのに對し英國の逆貸與援助は全世界に散在する米國軍に對し各地で個別的に行はれてゐる、例へば北アフリカ、シチリヤ島その他地域にある米國軍は英國から相當額の援助を受けたがこれに關する報告は未だ一切入手してゐない

一、英帝國の各自治領、屬領等の對逆貸與援助を除き英本國が米國軍に與へた援助額八億七千万弗の内譯左の通り

物資及び勞務三億三千万弗、海運一億六千九百萬弗、空軍基地兵舎、病院、其他施設三億七千万弗

我々は米國陸軍第八航空部隊が英本國を基地とし英國空軍と協力の下に對獨爆撃に活躍してゐる事實をよく承知してゐるが、この作戰において米空軍が英國から逆貸與によつてどの程度の援助を受けてゐるかは餘りよく知られてゐない、更に英本國はそれ自身巨額の食糧を輸入してゐるにも拘らず逆貸與によつて米國軍に對し相當額の食糧を補給してゐるがこれは野菜類、小麥粉、馬鈴薯から清涼飲料水にまで及んでゐる

一、濠洲政府は一九四三年六月廿日現在において米國に與へた武器貸與援助は六千七十九萬二千濠洲磅と發表したが、これを弗に換算すれば一億九千六百萬弗となる、その内譯次

一般補給員 三千九百萬弗、機械器具七百萬弗、自動車輛一千四百萬弗、飛行機部分品一千六百萬弗、銃砲部分品二千四百萬弗、運輸通信設備二千百萬弗、海運七百萬弗、建築施設その他七千七百萬弗、雜二百萬弗、而して米國が濠洲から受けた逆貸與援助額を數量の方面から見ればその主なるもの次の通り

(一九四三年六月廿日迄) 肉類六千四百八十八萬封度、パン、ビスケット等四千八百一十一萬封度、馬鈴薯二千九百七十六萬二千封度、野菜及果物四千九百九十三萬五千封度、鷄糞糧二百二十三萬一千封度、緊急食糧七十八萬二千封度、バター六百六十二萬八千封度、煉乳八百七十一萬一千封度、牛乳一千五百五十萬封度、生菓子二千二百萬ダース

去る九月廿九日濠洲藏相は議會に對して今年度豫算を提出したが、そのうちに約三億二千三百萬弗にのぼる逆貸與費が含まれてゐた

一、ニュージブランと濠洲及英本國に劣らぬ程度の逆貸與援助を行つたニュージブラン政府の報告によれば、同國は一九四三年六月廿日まで逆貸與費として五千百萬弗を支出したと言はれるが、その内譯は次の通り

食糧及勞務二千四百萬弗、兵營六百萬弗、病院三百萬弗、倉庫五百萬弗その他建築物七百萬弗、船舶建造六

一、英帝國の各自治領、屬領等の對逆貸與援助を除き英本國が米國軍に與へた援助額八億七千万弗の内譯左の通り

物資及び勞務三億三千万弗、海運一億六千九百萬弗、空軍基地兵舎、病院、其他施設三億七千万弗

我々は米國陸軍第八航空部隊が英本國を基地とし英國空軍と協力の下に對獨爆撃に活躍してゐる事實をよく承知してゐるが、この作戰において米空軍が英國から逆貸與によつてどの程度の援助を受けてゐるかは餘りよく知られてゐない、更に英本國はそれ自身巨額の食糧を輸入してゐるにも拘らず逆貸與によつて米國軍に對し相當額の食糧を補給してゐるがこれは野菜類、小麥粉、馬鈴薯から清涼飲料水にまで及んでゐる

一、濠洲政府は一九四三年六月廿日現在において米國に與へた武器貸與援助は六千七十九萬二千濠洲磅と發表したが、これを弗に換算すれば一億九千六百萬弗となる、その内譯次

一般補給員 三千九百萬弗、機械器具七百萬弗、自動車輛一千四百萬弗、飛行機部分品一千六百萬弗、銃砲部分品二千四百萬弗、運輸通信設備二千百萬弗、海運七百萬弗、建築施設その他七千七百萬弗、雜二百萬弗、而して米國が濠洲から受けた逆貸與援助額を數量の方面から見ればその主なるもの次の通り

(一九四三年六月廿日迄) 肉類六千四百八十八萬封度、パン、ビスケット等四千八百一十一萬封度、馬鈴薯二千九百七十六萬二千封度、野菜及果物四千九百九十三萬五千封度、鷄糞糧二百二十三萬一千封度、緊急食糧七十八萬二千封度、バター六百六十二萬八千封度、煉乳八百七十一萬一千封度、牛乳一千五百五十萬封度、生菓子二千二百萬ダース

去る九月廿九日濠洲藏相は議會に對して今年度豫算を提出したが、そのうちに約三億二千三百萬弗にのぼる逆貸與費が含まれてゐた

一、ニュージブランと濠洲及英本國に劣らぬ程度の逆貸與援助を行つたニュージブラン政府の報告によれば、同國は一九四三年六月廿日まで逆貸與費として五千百萬弗を支出したと言はれるが、その内譯は次の通り

食糧及勞務二千四百萬弗、兵營六百萬弗、病院三百萬弗、倉庫五百萬弗その他建築物七百萬弗、船舶建造六

一、濠洲政府は一九四三年六月廿日現在において米國に與へた武器貸與援助は六千七十九萬二千濠洲磅と發表したが、これを弗に換算すれば一億九千六百萬弗となる、その内譯次

一般補給員 三千九百萬弗、機械器具七百萬弗、自動車輛一千四百萬弗、飛行機部分品一千六百萬弗、銃砲部分品二千四百萬弗、運輸通信設備二千百萬弗、海運七百萬弗、建築施設その他七千七百萬弗、雜二百萬弗、而して米國が濠洲から受けた逆貸與援助額を數量の方面から見ればその主なるもの次の通り

(一九四三年六月廿日迄) 肉類六千四百八十八萬封度、パン、ビスケット等四千八百一十一萬封度、馬鈴薯二千九百七十六萬二千封度、野菜及果物四千九百九十三萬五千封度、鷄糞糧二百二十三萬一千封度、緊急食糧七十八萬二千封度、バター六百六十二萬八千封度、煉乳八百七十一萬一千封度、牛乳一千五百五十萬封度、生菓子二千二百萬ダース

去る九月廿九日濠洲藏相は議會に對して今年度豫算を提出したが、そのうちに約三億二千三百萬弗にのぼる逆貸與費が含まれてゐた

一、ニュージブランと濠洲及英本國に劣らぬ程度の逆貸與援助を行つたニュージブラン政府の報告によれば、同國は一九四三年六月廿日まで逆貸與費として五千百萬弗を支出したと言はれるが、その内譯は次の通り

食糧及勞務二千四百萬弗、兵營六百萬弗、病院三百萬弗、倉庫五百萬弗その他建築物七百萬弗、船舶建造六

を大統領に與へる様要請した、而して右救済復興會議は反樞軸各國が醸出すべき救済資金の割當に付協議中だが、大體資金全額を廿五億弗とし各國は國民所得の一分を基準として各々寄附すべく、米國は十五億弗を離出して大半を負擔し、英國の負擔額は六億三千五百萬弗見當となる模様である、ソ聯も大國の一つだが同國は國內が戰禍に荒らされてゐるとの理由で支出を求められてゐない

上院酒不足調査に乘出す

【アエノスアイレス十五日發】 ワシントン來電「米國における酒類不足は議會方面でも遂に問題となり、上院司法委員會は特に特別分科委員會を任命してこれが徹底的調査にあたらせることとなつた、これにつき上院司法委員長長ヴァン・ヌイは十五日次の如く言明した

余は現在までに既に酒類の闇取引或は買だめ等につき豫備的な調査を行つたが余の調査だけでも數々の驚くべき事實が判明した、委員會が詳細な調査を行へばそれこそ一世を驚倒させるやうな事實が明るみに出されよう、米國には少くも今後數年間の消費を支へるに足るだけの酒類がある筈であり、最近の不正は總べて不正な利得をねらふ者が買占め、買だめを行つてゐるからに他ならぬ特別委員會は來週早々から公聽會を開いて調査に乘出す豫定である

選挙監視委員會

【アエノスアイレス十六日發】 ワシントン來電「明年の米國大統領選挙に對しては數百萬にのぼる海外派遣米國軍將兵の投票問題が重視され、

を大統領に與へる様要請した、而して右救済復興會議は反樞軸各國が醸出すべき救済資金の割當に付協議中だが、大體資金全額を廿五億弗とし各國は國民所得の一分を基準として各々寄附すべく、米國は十五億弗を離出して大半を負擔し、英國の負擔額は六億三千五百萬弗見當となる模様である、ソ聯も大國の一つだが同國は國內が戰禍に荒らされてゐるとの理由で支出を求められてゐない

上院酒不足調査に乘出す

【アエノスアイレス十五日發】 ワシントン來電「米國における酒類不足は議會方面でも遂に問題となり、上院司法委員會は特に特別分科委員會を任命してこれが徹底的調査にあたらせることとなつた、これにつき上院司法委員長長ヴァン・ヌイは十五日次の如く言明した

余は現在までに既に酒類の闇取引或は買だめ等につき豫備的な調査を行つたが余の調査だけでも數々の驚くべき事實が判明した、委員會が詳細な調査を行へばそれこそ一世を驚倒させるやうな事實が明るみに出されよう、米國には少くも今後數年間の消費を支へるに足るだけの酒類がある筈であり、最近の不正は總べて不正な利得をねらふ者が買占め、買だめを行つてゐるからに他ならぬ特別委員會は來週早々から公聽會を開いて調査に乘出す豫定である

選挙監視委員會

【アエノスアイレス十六日發】 ワシントン來電「明年の米國大統領選挙に對しては數百萬にのぼる海外派遣米國軍將兵の投票問題が重視され、

を大統領に與へる様要請した、而して右救済復興會議は反樞軸各國が醸出すべき救済資金の割當に付協議中だが、大體資金全額を廿五億弗とし各國は國民所得の一分を基準として各々寄附すべく、米國は十五億弗を離出して大半を負擔し、英國の負擔額は六億三千五百萬弗見當となる模様である、ソ聯も大國の一つだが同國は國內が戰禍に荒らされてゐるとの理由で支出を求められてゐない

上院酒不足調査に乘出す

【アエノスアイレス十五日發】 ワシントン來電「米國における酒類不足は議會方面でも遂に問題となり、上院司法委員會は特に特別分科委員會を任命してこれが徹底的調査にあたらせることとなつた、これにつき上院司法委員長長ヴァン・ヌイは十五日次の如く言明した

余は現在までに既に酒類の闇取引或は買だめ等につき豫備的な調査を行つたが余の調査だけでも數々の驚くべき事實が判明した、委員會が詳細な調査を行へばそれこそ一世を驚倒させるやうな事實が明るみに出されよう、米國には少くも今後數年間の消費を支へるに足るだけの酒類がある筈であり、最近の不正は總べて不正な利得をねらふ者が買占め、買だめを行つてゐるからに他ならぬ特別委員會は來週早々から公聽會を開いて調査に乘出す豫定である

選挙監視委員會

【アエノスアイレス十六日發】 ワシントン來電「明年の米國大統領選挙に對しては數百萬にのぼる海外派遣米國軍將兵の投票問題が重視され、

を大統領に與へる様要請した、而して右救済復興會議は反樞軸各國が醸出すべき救済資金の割當に付協議中だが、大體資金全額を廿五億弗とし各國は國民所得の一分を基準として各々寄附すべく、米國は十五億弗を離出して大半を負擔し、英國の負擔額は六億三千五百萬弗見當となる模様である、ソ聯も大國の一つだが同國は國內が戰禍に荒らされてゐるとの理由で支出を求められてゐない

上院酒不足調査に乘出す

【アエノスアイレス十五日發】 ワシントン來電「米國における酒類不足は議會方面でも遂に問題となり、上院司法委員會は特に特別分科委員會を任命してこれが徹底的調査にあたらせることとなつた、これにつき上院司法委員長長ヴァン・ヌイは十五日次の如く言明した

余は現在までに既に酒類の闇取引或は買だめ等につき豫備的な調査を行つたが余の調査だけでも數々の驚くべき事實が判明した、委員會が詳細な調査を行へばそれこそ一世を驚倒させるやうな事實が明るみに出されよう、米國には少くも今後數年間の消費を支へるに足るだけの酒類がある筈であり、最近の不正は總べて不正な利得をねらふ者が買占め、買だめを行つてゐるからに他ならぬ特別委員會は來週早々から公聽會を開いて調査に乘出す豫定である

選挙監視委員會

【アエノスアイレス十六日發】 ワシントン來電「明年の米國大統領選挙に對しては數百萬にのぼる海外派遣米國軍將兵の投票問題が重視され、

を大統領に與へる様要請した、而して右救済復興會議は反樞軸各國が醸出すべき救済資金の割當に付協議中だが、大體資金全額を廿五億弗とし各國は國民所得の一分を基準として各々寄附すべく、米國は十五億弗を離出して大半を負擔し、英國の負擔額は六億三千五百萬弗見當となる模様である、ソ聯も大國の一つだが同國は國內が戰禍に荒らされてゐるとの理由で支出を求められてゐない

上院酒不足調査に乘出す

【アエノスアイレス十五日發】 ワシントン來電「米國における酒類不足は議會方面でも遂に問題となり、上院司法委員會は特に特別分科委員會を任命してこれが徹底的調査にあたらせることとなつた、これにつき上院司法委員長長ヴァン・ヌイは十五日次の如く言明した

余は現在までに既に酒類の闇取引或は買だめ等につき豫備的な調査を行つたが余の調査だけでも數々の驚くべき事實が判明した、委員會が詳細な調査を行へばそれこそ一世を驚倒させるやうな事實が明るみに出されよう、米國には少くも今後數年間の消費を支へるに足るだけの酒類がある筈であり、最近の不正は總べて不正な利得をねらふ者が買占め、買だめを行つてゐるからに他ならぬ特別委員會は來週早々から公聽會を開いて調査に乘出す豫定である

選挙監視委員會

【アエノスアイレス十六日發】 ワシントン來電「明年の米國大統領選挙に對しては數百萬にのぼる海外派遣米國軍將兵の投票問題が重視され、

を大統領に與へる様要請した、而して右救済復興會議は反樞軸各國が醸出すべき救済資金の割當に付協議中だが、大體資金全額を廿五億弗とし各國は國民所得の一分を基準として各々寄附すべく、米國は十五億弗を離出して大半を負擔し、英國の負擔額は六億三千五百萬弗見當となる模様である、ソ聯も大國の一つだが同國は國內が戰禍に荒らされてゐるとの理由で支出を求められてゐない

上院酒不足調査に乘出す

【アエノスアイレス十五日發】 ワシントン來電「米國における酒類不足は議會方面でも遂に問題となり、上院司法委員會は特に特別分科委員會を任命してこれが徹底的調査にあたらせることとなつた、これにつき上院司法委員長長ヴァン・ヌイは十五日次の如く言明した

余は現在までに既に酒類の闇取引或は買だめ等につき豫備的な調査を行つたが余の調査だけでも數々の驚くべき事實が判明した、委員會が詳細な調査を行へばそれこそ一世を驚倒させるやうな事實が明るみに出されよう、米國には少くも今後數年間の消費を支へるに足るだけの酒類がある筈であり、最近の不正は總べて不正な利得をねらふ者が買占め、買だめを行つてゐるからに他ならぬ特別委員會は來週早々から公聽會を開いて調査に乘出す豫定である

選挙監視委員會

【アエノスアイレス十六日發】 ワシントン來電「明年の米國大統領選挙に對しては數百萬にのぼる海外派遣米國軍將兵の投票問題が重視され、

モスクワ會談報告演説

【アエノスアイレス十八日發】 ワシントン來電「米國國務長官ハルは十八日上下兩院合同會議に臨んでモスクワ會談の報告演説を行つた、米當局はハルの演説をラジオ中継で全米に放送するなど極めて重大演説なるかに取扱つたが、その内容は例によつて荒唐無稽なる戰後論を述べてモスクワ會談を自畫自讚するにとどまらず、演説要旨左の通り

反樞軸各國が現在最大の任務とする處は出来るだけ早く敵を撃破するに

對しては數百萬にのぼる海外派遣米國軍將兵の投票問題が重視され、

對しては數百萬にのぼる海外派遣米國軍將兵の投票問題が重視され、

對しては數百萬にのぼる海外派遣米國軍將兵の投票問題が重視され、

ある、然しながら我々の前途には尙大きな困難と犠牲が横たはつてゐるに應じて戦争の早期終結が招来されるよう、モスクワ會談の目標は戦争を早期に終結せしめること、將來に對して準備を整へるにあつた、而してこれは各國民の援助と協力によつてはじめて實現されるべく、會談はかかる協力についての基礎をも樹立したモスクワ會談では何等の秘密協定も成立せず又秘密協定が提案されたやうなこともなかつた

上院父親召集案通過

【ワシントン來電】上院は廿三日久しく議會で難詰してゐた「父親召集法案」を遂に可決して大統領の署名をうるため白聖館に廻附した、法案の内容は上、下兩院で審議中相當の修正を受け、その要旨は戦争前に生れた子供を持つ父親の召集はあらゆる獨身男子が召集された後ではじめて行ふとなつてゐる、但し右法案は修正條項のうち「人的資源委員長ホール・マクナットの兵員徴集に關する権限を免除し、徴兵局を従前通り人的資源委員會から獨立せしむ」との項一あり、マクナットはこれを大いに不服としてルーゾヴェルトに對して法案を否決するやう運動してゐるといはれる

下院増稅案可決

【ワシントン來電】下院は廿四日二十一億四千萬弗の本年度新規増稅案を二百票對二十七票をもつて可決、上院に廻附した、この増稅案は當初財務當局から總額百五億弗の大増稅案として提出されたものが下院は六十億弗の個人所得稅増稅案をはじめ思ひきつた削減を行ひ、五分の一程度は増稅額に縮減してしまつた、下院は廿二日も政府の意向を無視して食糧助成金禁止法案を可決してをり、益々露骨な反政府的態度を示してゐるが、助成金問題と同様増稅問題でも政府對議會が一戦を交へる可能性は愈々濃化して來た

支那移民法案議土通過

【ワシントン來電】米國の重慶政權懐柔法案たる支那移民入國禁止法並に支那人歸化禁止法撤廢法案は廿六日に至り漸く上下兩院の審議を完了し大統領の名の下に上院から白聖館に廻附した、下院に上程されてから殆ど一年諸否兩派の間に稀に見る大論戰を展開したこの法案も結局實質的に對當制によつて一年百五十名の支那移民の入國を認めてゐるに過ぎず、正に米國得意の空手形政策の標本である

上院海軍委員會、建艦計畫承認

【ワシントン來電】米國上院海軍委員會は廿五日五十三億二千五百萬ドルに上る海軍建艦計畫豫算案を承認、愈々上院本會議に上程されることとなつたが、同建艦計畫は補助艦艇二十萬十萬トン上陸用艦艇百萬トンの建造購入等を含み、艦種の内譯は補助空母、彈藥、補給船、冷藏船、補助貨物船、掃海艇、タンカー、輸送船、救援用輸送船、輸送航空機、修理用

除隊兵援護案提出

【ワシントン來電】ルーゾヴェルトの提唱になる除隊兵援護計畫に關しては廿六日法案が議會に提出され議會は近く討議を開始することとなつた、右案の内容は左の通りで除隊する男女に對し等しく適用される

○除隊兵に對し一時金として最高三百萬までを給與すること
○除隊後一ケ年間にわたり一週十五萬乃至二十萬の失業保險金を支拂ふこと
○除隊兵に對し社會保障法にもとづく保障金を交附すること
○下院陸軍委員會長ケンタツキー選出民主黨アンドリュウ・メイは右に關し左の如く語つた

下院陸軍委員會の除隊金給與案は六ケ月以上兵役に服した除隊兵に對し三百萬、四ケ月乃至六ケ月の者に對し二百萬、四ケ月未満の者に對し百萬を給與せんとする案であり、大尉以下の將校に對する除隊給與に關する案は別にこれを陸軍に附して、尙前記法案は至急審議要請を附して議會に提出されたものである

採擇を勧告【ワシントン廿八日發】十一月廿四日附ロンドン・タイムズ紙所報によれば、除隊兵援護案に關聯し米大統領ルーゾヴェルトは廿四日右法案の至急議會通過を要請する左の如き教書を議會に送つたといはれ

役に服した男女に對し等しく相當額の一時賜金を給與し、かつ就職出來ずにあるものに對しては一樣に補償金を支拂ふほか、聯邦養老及び生殘保險法に基づきその陸海軍及び海兵隊の除隊兵に對し保障金を交附する案の通過を要請する、戦後における第一の仕事はこれら除隊兵と動員解除千弗△食糧および農産物五億四千九百二十萬二千弗

善隣政策の調査開始

【ワシントン來電】共和黨上院議員ヒュー・パトラーが米國の米洲諸國に對する所謂善隣政策を攻撃し、この政策に基づいて米國政府が中南米で行つてゐる濫費政策の内容を暴露した報告を上院軍需調査委員會に提出した結果、この問題は俄然議會方面の重視する所となり、軍需調査委員會の調査と併行して歳出委員會もジュエラルド・ナイを首班とする特別分科議員會を組織してこれが徹底的調査に乗出すこととなつた、右につきナイは廿九日新聞記者團に對して次の如く語つた

我々に現在武器貸與に關する調査を行つてゐるがパトラー議員の報告に基づき米國の所謂中南米諸國に對する「施し物政策」の内容を明らかにしようと思ふ、殊に米國は現在までに六十億弗に上る巨費を中南米諸國のために支出し乃至支出せんとし

分科明する必要がある

武器貸與狀況

【ワシントン來電】米國

外國經濟院長レオ・クローリーは十六日本年九月末までのソ聯に對する武器貸與状況を次の如く發表した、對ソ武器貸與開始以來去る九月末までの貸與總額は三十二億八千七百四十七萬七千弗でその内譯次の通り
△武器十八億五千三百六十五萬六千九百二十萬二千弗
△工業品八億八千四百三十六萬九千九百二十萬二千弗
△食糧および農産物五億四千九百二十萬二千弗

一、右のうちその半分以上は本年に入つてから送られたものであり、殘餘はその以前の十五ヶ月にわたり供給された

一、ソ聯に供給された工業品は同國の軍需生産擴大に大いに役立つたがその内譯次の通り
△鋼および鋼製品百萬噸以上、△非鐵金屬三十萬噸以上、△化學製品および爆發物三十萬噸、△石油製品五十萬噸、△金屬切削機械一萬七千以上

倉糧貸與情況
【ワシントン來電】米國外國經濟院は十八日日本一月以降九月末に至る武器貸與法による食糧輸出情況を次の如く發表した

△肉類總量一、七一一百萬噸度、米國內類全產額に對する比率九・六％
△前年同比率五・八％(以下同じ順序)
△牛乳二、九一一百萬噸度三・二％

三・四% (ソ聯向バタ四二百萬封度を含む) △乾燥卵六二二萬封度一〇・六%、一〇% △食用油脂七三三萬封度、一三・九%、一三・七% △罐詰魚類一六三萬封度、二一・二%、二二・五% △罐詰果物八四四萬封度、二・五%、一・七% △乾燥果物二〇七萬封度、二一・一%、一五・七% △罐詰野菜五九萬封度一%、〇・八% △乾燥豆二八萬封度、一〇・三%、五% △乾燥豌豆八四萬封度、一四・二%、六% △玉蜀黍及び同製品二九五萬封度、〇・一%、〇・一% △小麥及び同製品八三七萬封度、〇・九%、〇・三%

【アエノスアイレス十九日發】 ワシントン來電 外國經濟院發表によれば米國は今回フランス傀儡政權より北アフリカ向米需物資供給の代償として千五百萬弗の支拂を受けた、右は本年四月以降七月までの物資供給

【アエノスアイレス十九日發】 ワシントン來電 外國經濟院發表によれば米國は今回フランス傀儡政權より北アフリカ向米需物資供給の代償として千五百萬弗の支拂を受けた、右は本年四月以降七月までの物資供給

對佛傀儡政權武器貸與狀況

【アエノスアイレス十九日發】 ワシントン來電 外國經濟院發表によれば米國は今回フランス傀儡政權より北アフリカ向米需物資供給の代償として千五百萬弗の支拂を受けた、右は本年四月以降七月までの物資供給

に對する支拂で、これを含め現在までにフランス側より米國に支拂はれる金額は合計五千六百廿四萬弗に達する、米國とフランス傀儡政權との間に締結された協定によるものと北阿に對して行ふ軍需物資の供給についてはこれに直接武器貸與法を適用し民需物資については現金拂とする建前になつてをり、また一方フランスは逆貸與として米國に對し軍需物資を供給すべきこととなつてゐる、外國經濟院總裁レオ・クロワールはフランス傀儡政權との間における武器貸與實施狀況につき次の如き報告を行つてゐる

アルゼリア、佛領モロッコ、佛領西アフリカなどの諸域においては食糧生産が相當回復し地中海地方の米國軍に對する食糧供給を行ひつづける北アフリカにおける、銅業生産も再開され、鑛産、鐵鑛、コペルなど重要物資がすて反樞軸側に供給されてゐる、佛領アフリカ諸國は米國よりの民需品供給に對しては現金貸與をなしつつあるが一九四二年十一月以來米國は鋼鐵製品、化學藥品、肥料、噴霧器、農業用機械の豫備拂分自動車など合計廿四萬トンの民需物資を北阿に供給した、これに對し米國はフランス側より三萬トンの小麦、果實、野菜數千トンを逆貸與として受取つてをりフランス側はさらにこの種逆貸與を續行する、方針なる旨言明してゐる、また同時にフランスはシザル、麻鉛、マンガン、コルク、コバルト、マンガン錫、ニッケル合金など重要物資の逆貸與を約してゐる

【アエノスアイレス十九日發】 ワシントン來電 外國經濟院發表によれば米國は今回フランス傀儡政權より北アフリカ向米需物資供給の代償として千五百萬弗の支拂を受けた、右は本年四月以降七月までの物資供給

八月中の武器貸與續報

【アエノスアイレス廿一日發】 アメリカン・マガジン誌所報によれば去る八月中の米國武器貸與物はセーヴイス合計十二億六千五百萬弗で一九四一年三月武器貸與援助開始以來の總額は百五十二億三千五百萬弗となつた、九月中の武器貸與援助を年にするると百五十一億三千二百萬弗となる、本年上半期における武器貸與額のうち英國およびソ聯兩國向け七〇%、重慶、インド、南太平洋諸域は一一%、他はアフリカ、西亜その他地方である、八月中の貸與額の内武器は八億七千二百萬弗に上りこれは同月の米國武器生産高の一六%に上る

對佛傀儡政權武器貸與狀況

樞軸國人逮捕狀況

【アエノスアイレス廿一日發】 ワシントン來電 陸軍次官ロバート・パターソンは廿四日米國上院軍需調査委員會でカナダ西北部油田開發問題に關聯し米國がアラスカ經由でソ聯に飛行機の空輸を行つてゐる事實をばじめ明らかにしたの如く言明した、米國は一九四二年の初頭からアラスカ、北極圈經由の短かい經路を通じてソ聯向け戰鬥機、空輸を企圖、今迄に多數の飛行機がこの經路を通じて空輸された、現在も依然として多數の飛行機が送られてゐる

波亡命政權に船舶讓渡

【アエノスアイレス十九日發】 ワシントン來電 戰時海運局は十九日沿岸航行用貨物船三隻がポーランド亡命政權に讓渡されることとなつた旨發表した

アラスカ經由でソ聯に飛行機を供給

【アエノスアイレス廿四日發】 ワシントン來電 陸軍次官ロバート・パターソンは廿四日米國上院軍需調査委員會でカナダ西北部油田開發問題に關聯し米國がアラスカ經由でソ聯に飛行機の空輸を行つてゐる事實をばじめ明らかにしたの如く言明した、米國は一九四二年の初頭からアラスカ、北極圈經由の短かい經路を通じてソ聯向け戰鬥機、空輸を企圖、今迄に多數の飛行機がこの經路を通じて空輸された、現在も依然として多數の飛行機が送られてゐる

【アエノスアイレス廿一日發】 ワシントン來電 國務省は十一日米國、カナダ兩國政府が今回夫々の公使館を大使館に昇格するに決定した旨發表した

加と大使を交換

【アエノスアイレス廿一日發】 ワシントン來電 國務省は十一日米國、カナダ兩國政府が今回夫々の公使館を大使館に昇格するに決定した旨發表した

生計費調査委員會任命

【アエノスアイレス十九日發】 ワシントン來電 大統領ルーズベルトは五日新聞記者の會で生計費調査のため戰時勞働局委員のうちから選出した五名の委員をもつて特別委員會を設置した旨發表した、右委員會の構成次の通り

對佛傀儡政權武器貸與狀況

【アエノスアイレス十九日發】 ワシントン來電 外國經濟院發表によれば米國は今回フランス傀儡政權より北アフリカ向米需物資供給の代償として千五百萬弗の支拂を受けた、右は本年四月以降七月までの物資供給

波亡命政權に船舶讓渡

【アエノスアイレス十九日發】 ワシントン來電 戰時海運局は十九日沿岸航行用貨物船三隻がポーランド亡命政權に讓渡されることとなつた旨發表した

アラスカ經由でソ聯に飛行機を供給

【アエノスアイレス廿四日發】 ワシントン來電 陸軍次官ロバート・パターソンは廿四日米國上院軍需調査委員會でカナダ西北部油田開發問題に關聯し米國がアラスカ經由でソ聯に飛行機の空輸を行つてゐる事實をばじめ明らかにしたの如く言明した、米國は一九四二年の初頭からアラスカ、北極圈經由の短かい經路を通じてソ聯向け戰鬥機、空輸を企圖、今迄に多數の飛行機がこの經路を通じて空輸された、現在も依然として多數の飛行機が送られてゐる

加と大使を交換

【アエノスアイレス廿一日發】 ワシントン來電 國務省は十一日米國、カナダ兩國政府が今回夫々の公使館を大使館に昇格するに決定した旨發表した

生計費調査委員會任命

【アエノスアイレス十九日發】 ワシントン來電 大統領ルーズベルトは五日新聞記者の會で生計費調査のため戰時勞働局委員のうちから選出した五名の委員をもつて特別委員會を設置した旨發表した、右委員會の構成次の通り

アサートン、新大使に任命

【アエノスアイレス十九日發】 ワシントン來電 米國政府は十一日オッタワ駐在にルーズベルトは新大使に前國務省歐洲局長レイ・アサートンを任命するに決定した

内務次官辭職

【アエノスアイレス十九日發】 ワシントン來電 白聖館當局は内務次官アベ・フォータスが海軍入隊のため辭職した旨十七日發表した

上院議長死去

【アエノスアイレス十九日發】 ワシントン來電 上院議長が死去した

軍 事

【三日發】ワシントン來電ニニューヨ
ヤシー州選出共和黨上院議員ウ
レン・バーバーは廿二日夜心臓麻痺
で死去した、バーバーは一九三二年
以來上院議員たり、百萬長者だつた

ガソリン三分の一が軍用

【ブエノスアイレス一日發】ワシ
ントン來電ニ石油長官イツキーズは一
日はじめて米國において生産される
ガソリンの三分の一が米國陸海軍で
使用されてゐると發表した

太平洋岸の燈管を解除

【ブエノスアイレス三日發】ワシ
ントン來電ニ軍當局はアラスカ並に太
平洋沿岸一帯の燈火管制を十一月一
日を期し解除した

駐ソ米軍事機關設置

【モスクワ四日發】ソ聯駐米國大
使アヴエリル・ハリマンは四日駐ソ
米國軍機關の設置につき次の如く發
表した
今回常駐の米國軍事使節團がモスク
ワに設置された使節團は陸軍大將ジ
ョン・デインを團長とし、陸軍參
謀總長ジョージ・マーシャル及び駐
ソ米國大使ハリマンの指令の下に英
國軍事使節團と連絡を保ちつつソ
エト軍當局との間に緊密なる協力を
行ふ。陸、海軍及び軍需補給部その
他ソ聯にある米國のあらゆる軍事的
代表機關は新使節團に包含されよう

十月中の戦費

【ブエノスアイレン十八日發】ワシ
ントン來電ニ戰時生産局發表によれ
ば十月中の戦費は七十億五千萬弗
に上つたといはれる

【四ヶ月間の費戦支出額】リスボン十
九日發】十一月十五日附デイリー・
エクスプレス紙所報によれば本年七
月一日以降四ヶ月十日間における米
國政府の戦費支出高は三百八十八億三
千萬で從來の最高記録となつてゐる

【ハットン事件】リスボン廿三日發】アルジェー
ラ電ニ米國の素破ぬき記者ドリー・
ビアンが北阿反極軸軍司令官アイ
ゼンハウアーは、米國第七軍司令官
ジョージ・パットンに部下殿打の廉
で罷免するかも知れないと報道した
ことは反極軸陣營内の新しいお家騒
動とし各方面で注目されたが、アル
ジェーの反極軸軍司令部は二十三日
特に左の聲明を發し、事件が解決し
た旨發表した
米國第七軍司令官パットンは、さき
のシチリア作戦の際神経病で入院中
の兵士を、寢臺から引出して殿打し
た、かかる亂暴に對してアイゼンハ
ウアーは彼を譴責處分に附した、然
しパットンは今回その非を認め正式
に謝罪したので、彼は第七軍司令官
の職を免ぜられることなく事件は解
決した

【事件議會方面に發展】ブエノスアイ
レス廿四日發】ワシントン來電ニイ
タリア派遣米國第七軍司令官ジョー
ジ・パットンの部下兵士殿打事件を
パットンの譴責處分が着するかに
見えたが、事件は議會方面の重視す
るところとなり上院陸軍委員會は廿
四全會一致をもつて陸軍長官スチュ
ムソンに對してパットン事件に關する

正式報告を委員會に提出するやう要
求するに決定した、パットン事件に
對する上院方面の空氣は頗る險惡で
彼の隱退を要求する聲高く民主黨議
員ギルゴアの如きも廿四日次の如く
語つた
自分の感情を制禦し得ないやうな人
物は司令官の役はつとまる筈がない
至急辭職させるか、本國に召還すべ
きだ、この事件の真相は全部國民に
傳へる必要がある、但し議會は決し
て軍紀に干渉せんとするものではな
い
一方下院でもこの事件を重視して
共和黨議員ヘーヴェンは廿四日下
院陸軍委員會もその真相調査に乗出
すやう提案した

【ブエノスアイレス二十八日發】ワ
シントン來電陸軍長官スチュムソンは
議會に對しパットン事件の報告を行
ひ、更に北阿反極軸軍總司令アイゼ
ンハウアーも議會に宛てた書翰で事
情を釋明したが、事件は一向に落着
きの模様なく、上院陸軍委員會委員長
ロバート・レイノルズは「スチュムソ
ン、アイゼンハウアー兩名の報告文
では事件は解決されぬ」と言明、
同委員會は當局に對し「一層詳細な報
告を要求するに決した、問題の焦點
は目下次の三點にあるといはれる
○米第七軍内で今回の事件と類似の
事件が発生したことはないか、○事
件に對する當局の發表が何故遅れた
か、○アイミー・アンド・ネーグイ
ジャーナル、アイミー・アンド・ネ
ーグイ・レヂスターの兩誌が初めて
事件を報道した際アイゼンハウアー
司令部は何故事件の存在を否定した
か

【ブエノスアイレス廿六日發】ニ
ューヨーク・タイムズ紙軍事記者ヘ
ンリー・ポールドウインは最近前後五
回に亘り同紙上に太平洋戦略論を發
表したが、以上の連續論文において
ポールドウインは對日攻勢上考へら
れる四經路に詳細な検討を加へた後
太平洋戦の性格を海空戦に制限直接
日本本土に對する急速な攻勢を豫想
する樂觀論に痛棒を加へて米國民は
せよと要請した、ポールドウインは
往らく長期に亘る苦澁な戦闘を覺悟
し、論旨次の通り、長期に亘る戦闘
展開にも拘らず太平洋における戦略
上の釣合は依然として日本の側に傾
いてゐる、日本戦力の主要源泉は日
本本土にあり、従つて日本本土攻勢
を念頭に置かなければならぬが、一
般に次の四通りである
(第一) は、ハワイ、ダッチハーバ
ーを基地とする千島列島上陸作戦、
だが、これは直接日本本土攻勢に役
立たぬから第二義的作戦の域を一步
も出ない、(第二) は、ハワイを基
地とする中部太平洋上陸作戦だが、
以上の所謂ニミッツ攻勢は開始當初
陸上基地空軍力の支持を受け得ぬ重
大缺點を有する、尤も遠距離基地か
ら長距離爆撃機が多少の支持を與へ
得るがニューギニア、ソロモン程度
の効果も期待することは出来ず更に
空母基地空軍力は上陸作戦の掩護上
大きな缺點がある、(第三) の進攻
路は、ニューギニア、ソロモンから
北上乃至西上する作戦だが、以上の
マッカーサー攻勢は叢林、山嶽等の
地理的條件ばかりでなく、疾病、補

對日戦は依然長期戦

給等幾多の重大困難が山積し更に海
空軍力の壓力的優勢を確保しなければ
ならぬのみか長期に亘る消耗戦に
堪へねばならない、しかも日本本土
への道は遠い、(第四) は、ビルマ反
攻作戦だが重要なものは重慶との連絡
を確保する方法を發見するにあり、
更に派生的に泰、佛印、マライ、ス
マトラに作戦を起さねばならない、
(最後) は、重慶制基地からの爆撃
だが、空爆だけで日本を併すことが
出来るかと考へるよりも大きな軍事上
の錯誤はなほ更に補給上の困難が附
き纏つてゐる、最近米國は超「空の
要塞」機を製作してゐるが長距離爆
撃をもつて日本を撃破出来るかどう
かは別としてかかる超大型機の使用
は補給、設置上の新たな問題を提起
するであらう、一部の軍事通は二十
乃至三十隻の空母が艦隊の護衛下に
ハワイを進發、直接日本海岸を襲ふ
ならば、米國に制空權を確保出来る
であらうと大膽に論斷してゐるが、
必ずしも架空の説ではない、併しす
くなくとも近い將來かかる大空母勢
力を確保することは困難である
以上述べた如く短期間に日本を撃破
出来るやうな思ひ切つた作戦は茲暫
らくは不可能であり従つて必然的に
長期戦の性格を帯びる海空戦に局限
されるし、また局限されざるを得な
い

【ブエノスアイレス廿日發】ロンドン來電に
よれば全量搭載の米軍リベレイター
重爆撃機が廿九日カナダのモントリ
ールと英國西海岸の間を十一時
間廿五分(時速二百七十哩の割合)
で翔破、大西洋横斷無着陸長距離飛

大西洋横斷新記録

【ブエノスアイレス廿日發】ロンドン來電に
よれば全量搭載の米軍リベレイター
重爆撃機が廿九日カナダのモントリ
ールと英國西海岸の間を十一時
間廿五分(時速二百七十哩の割合)
で翔破、大西洋横斷無着陸長距離飛

行に新記録を樹立したといはれる

東部海岸防衛司令官更迭

【ブエノスアイレス一日發】ワシントン來電、海軍省は一日東部海岸防衛司令官中將アドルフ・アス・アンドリニを後任に、前海軍第五管區司令官海軍中將リアーが任命された旨發表した

人

補アラスカ地方第十一航空隊司令官新任のジョンソンは爆撃戦術の専門家と傳へられ、前任地において爆撃機乗員の養成に當つてゐたといはれる、前任者の少將ウィリアム・バトラーは今同本省附に轉じた

第三航空司令官更迭

【ブエノスアイレス十五日發】ワシントン來電、陸軍省は去る九月十日附をもつて代將ウエスタンサイド・ライソンをフロリダ州スタバ所在米國陸軍第三航空隊司令官に任命した、ライソンはこれまで潜水艦驅逐飛行隊司令官であつた

アダク島司令官更迭

【ブエノスアイレス廿一日發】前アダク島米軍司令官並にアツツ島占領軍司令官少將オイゲン・ランドラムは今國內の某新任務に就くことになり、後任としてアダク島司令官に代將ハリートム・ブロンが任命された

ノロモン水域航空隊司令官更迭

【ブエノスアイレス廿一日發】ブーゲンビル島沖の戦闘に付いては米國海軍當局は依然として極端な類被り政策で押し通して居るが、西南太平洋反極軸軍司令部からのJ電報によれば、ハルゼーは廿一日に至り突如ソロモン水域航空隊司令官の更迭を發表したと傳へられ、現在の司令官ネーザン・F・D・ワイニング少將の代りにラルフ・F・ミッチェル少將を新たに航空隊司令官に任命すると稱して居る

パナマ運河航空新司令官

【ブエノスアイレス廿四日發】ワシントン來電、陸軍省は廿四日少將ヒューバート・R・ハーモンの後任に代將ラルフ・D・ウーテンをパナマ運河防衛第六航空隊司令官に任命した

カーペンター第九軍司令部司令官に就任

【リスボン廿九日發】ワシントン來電、西南太平洋反極軸軍新海軍司令官中將トーマス・キンケードの着任により他に轉出することとなつた前司令官カーペンターの轉出先は米國第九軍管區司令官たることが判明した、因みにマツカーサーの麾下にある米國海軍は米國第七艦隊で、キンケードの正式役名は米國第七艦隊司令官長官である

海兵隊司令官更迭

【ブエノスアイレス廿日發】ワシントン來電、海軍省は官ノツクスは廿日記者團會見に於て海兵隊司令官の更迭を發表、明年一月一日附を以て現司令官ホルコムは退官し代つてアレキサンダー・グアンデグが新司令官に就任する旨を聲明した、ホルコムは去る八月停任に達しその後延期されて今日に至つてゐたものだが、新任のグアンデグはガダルカナル島並にブーゲンビル島に於いて米上陸軍を指揮した男である

グラマン・ヘルキヤットの性能

【ブエノスアイレス二日發】米軍當局は過般の南島島爆撃に参加したグラマン・ヘルキヤット戦闘機の性能に關し次の通り發表した

これは全金屬製の單發、單胴、單翼式戦闘機で世界最新鋭軍用機である、速度は最高速の日本機に匹敵し、行動半徑は二千四百浬、上昇限度は一萬六百米である、發射機はプラット・アンド・ホイットニー二千馬力で三翅プロペラを裝備する、折疊翼を有するので空母搭載が可能である、翼長十三米、機長十米である、十月五日の大島島攻撃にも參加した

紙製落下傘使用

【ブエノスアイレス六日發】ワシントン來電、海軍省は六日地上部隊に物資彈藥を投下する爲の落下傘には今後紙製のものを使用することとなつたと發表した、落能傘製造に必要な生糸の入手が不可下なため、米國軍隊は従來も人絹、ナイロン等の代用落下傘を使用してゐた

三吋迫撃砲

【リスボン八日發】デーリー・エクスプレス紙のニュー・ヨーク特派員は次の通り報道してゐる、米陸軍の新型四・二吋迫撃砲は十五・五種、榴彈砲と同程度の破壊力を有し、第一次世界大戰で名を馳せた佛軍の七・五種砲と同じ程有力になつた、米國の兵器當局は同砲の發射速度は二秒間に一發、分解運搬が容易で第一線において三分間に組立完了、射撃を開始出来ると言明した

【ブエノスアイレス九日發】ヘラルド・トリビュン紙は米國陸軍の新型火焰放射器の性能と、その操作法に就て次の通り述べてゐる、この火焰放射器は總重量七十ポンドで携帶用の二つの部分からなつてゐる、即ち燃料槽二個及び噴射氣壓管からなる春中に春負ふ部分と、長さ約三十吋の手に持つ桿狀の放射器とである、此の桿狀放射器は合成ゴム製の管を以つて燃料槽に連結されて居り、スパーク・コイル、點火ガス、點火引金、燃料開閉瓣及び火口とが附いて居る、燃料は氣壓管から氣壓調整弁を通じて一定壓力で噴出する壓縮不活性ガスによつて送り出され、桿狀放射器に附いてゐる點火ガス筒内の水素ガスに點火すると燃料が點火され、五十呎の長さの火焰となつて放射されるのである、火焰放射器を操作する兵隊は背中に燃料槽その他を背負ひ、左手に放射器を持ち右手で燃料開閉瓣その他を操作する火焰放射器を使用する際は煙幕彈その他で煙幕を展開したのち攻撃を開始するので、火焰放射手の損害は非常に低下して行はれ、火焰放射攻撃は通常火焰を編成して行はれる、一班は通常火焰を放射手二名(自衛兵器として拳銃携行、工兵爆破隊二名、小銃、トムソン小型機銃を携行する歩兵十二名よりなる)の迷彩用顔料【リスボン十日發】五日附マンチエスターガーディアン紙によれば、米國陸軍省は四日次の通り發表した

米國陸軍當局は地上部隊が手や顔に迷彩を施すための擬裝用顔料を大量に前線へ送り出した、この顔料には次の九色ある、薄緑、濃緑、灰色、淡黃褐色、土褐色、土黃色、漆喰色、赤色、オリイグ褐色、これらの迷彩色は夫々適度地帯或は西南太平洋戦域の環境に適切なるものである

【ブエノスアイレス十四日發】ニュー・ヨーク來電、カーチス・ライト飛行機會社は今回同社が二千二百馬力の新空冷式航空機用發動機的大量生産を行つてゐる旨發表した、右發動機はサイクロン十八型と呼ばれ、今まで公表されたものうちでは最強力な發動機であるといはれる、これは現在四發の六十八乗リロックヒード輸送機に使用され、直徑五十五吋シリンドラー十八が二列となり排氣量は三千三百五十五立方吋で重量二千二百磅度強となつてゐる、また二ヶのスーパー・テャージャーにより成層圏飛行にも適用するよう

【ブエノスアイレス二日發】ヘラルド・トリビュン紙は米國陸軍の新型火焰放射器の性能と、その操作法に就て次の通り述べてゐる、この火焰放射器は總重量七十ポンドで携帶用の二つの部分からなつてゐる、即ち燃料槽二個及び噴射氣壓管からなる春中に春負ふ部分と、長さ約三十吋の手に持つ桿狀の放射器とである、此の桿狀放射器は合成ゴム製の管を以つて燃料槽に連結されて居り、スパーク・コイル、點火ガス、點火引金、燃料開閉瓣及び火口とが附いて居る、燃料は氣壓管から氣壓調整弁を通じて一定壓力で噴出する壓縮不活性ガスによつて送り出され、桿狀放射器に附いてゐる點火ガス筒内の水素ガスに點火すると燃料が點火され、五十呎の長さの火焰となつて放射されるのである、火焰放射器を操作する兵隊は背中に燃料槽その他を背負ひ、左手に放射器を持ち右手で燃料開閉瓣その他を操作する火焰放射器を使用する際は煙幕彈その他で煙幕を展開したのち攻撃を開始するので、火焰放射手の損害は非常に低下して行はれ、火焰放射攻撃は通常火焰を編成して行はれる、一班は通常火焰を放射手二名(自衛兵器として拳銃携行、工兵爆破隊二名、小銃、トムソン小型機銃を携行する歩兵十二名よりなる)の迷彩用顔料【リスボン十日發】五日附マンチエスターガーディアン紙によれば、米國陸軍省は四日次の通り發表した

設計されてある、傳達装置にあつてはギアを使ふのを少なくしたため、プロペラを回轉せしむる力は著しく少なくて済み、プロペラの回轉速度に對してクランクシャフトのスピードは半分となつた、なほプロペラの回轉速度はある場合には一分間六百回にすぎない、シリンドラーの頭部はアルミニウム合金で作られ、シリンドラーの胴部は特殊鋼、クランクケースは鋼、發動機の鼻部とスパーチャージャー、ハウジングはマグネシウム合金を使用してゐる

航空機使用蒸氣機關【ストツクホルム十六日發】「アフトン・プラデツ」紙ロンドン特派員の報道によれば米國の發明家ルイス、ドロツキは航空機用の蒸氣機關の製作に成功せる旨發表した、彼の説明によれば右蒸氣機關は内燃機關に比較して小型であり、燃料は原油より豚脂に至るまで如何なるものも使用することが出来、且つ振動が全くないから僅か六十五米の上空に達すれば機音は聞えない、ドロツキはこの機關を使用して燃料の補給なしに世界一周飛行も可能であると言明したと傳へられる、ドロツキは右蒸氣機關を自動車に取付けて試験したが試運転を開始して僅か三十軒走破した時既に百五十軒餘の高速を出したと稱してゐる、スウェーデンの専門家はこれに關し次の通り述べてゐる

自動車の蒸氣機關は何等新しい着想ではなく、既に廿年前から存在した、要するに發明者ドロツキはこれを航空機に利用する構想の下に小規模な蒸氣機關を使用して自動車で試験を行つたといふ程度を出てゐない、そこから航空機用機關として實

現の域に達することは容易ではない、試験飛行を行ひ得る迄漕ぎつけられ、たら大したものだ、一つの難點は蒸氣機關自體の外に重い汽機や燃料を塔載せねばならぬため、動力装置の總重量が大變なものとなつて有効積載量が皆無といふ結果となり得ることだ、蒸氣機關である以上燃料と殆ど何等も使用出来ることではない、何等不思議とすべしことではない

【リスボン廿日發】「デリー・テレグラフ」紙のニューヨーク特派員は十二日次の通り報じてゐる
米國のライト航空機會社は航空機用の二千二百馬力星型空冷發動機の製作を開始した旨發表した、これは現在迄に公表されてゐる航空機用發動機中最強力のもので、これを裝備すれば米軍の各種軍用機の性能が可成り向上されることとならう

高射砲電氣式照準器【ブエノスアイレス廿五日發】最近米軍では高射砲に裝備される電氣式照準器なるものが、ベル電話研究所の技師デザイン・ト・パーキンソンによつて發明され、好成績を發揮してゐるといはれる、デリー・メル紙の報道によれば該器具は同試験所において米國陸軍兵器長官レヴィン・キャンベル以下五名の將校立合の下に公開された、この照準器は瞬間の間に自動的に飛行機の高度方向、速度を測定し引力、發射速度、風速及び空氣密度等による誤差を自動的に算定し、電氣的に高射砲の照準と砲彈の信管を調節し、飛行機の致命的圏内で砲彈を爆發させる仕掛になつてゐる、この器具の有効高度は約六マイルと云はれてゐる

爆撃照準器を改善【ブエノスアイレス廿七日發】近着のニューヨーク・タイムス紙電報によれば米空軍のノルデン爆撃照準器は最近改造されて一層高空からの爆撃が可能となり、來春からその生産が開始されるといはれる、ノルデン新照準器は從來の月産百八十臺から三百臺に増産される豫定と傳へられる

航空用高級新燃料【ブエノスアイレス三十日發】近着の米誌「アメリカン・マガジン」は米國における航空用高級燃料トリブテインの生産狀況並に效用に關し次のやうな記事を掲げてゐる
トリブテインを普通の石油精製工場で從來の設備の儘で生産し得る方法が最近完成された、トリブテインの原料として使用されるのは石油精製中に副産物として多量に發生する凝縮性のガスで、觸媒としては市場で豊富に購入出来る材料が使用される

この製法によれば實驗期間中できへるトリブテイン一ガロンの生産費は一弗以下に引下げられたが、商業的に經營されるやうになれば高オクタイン價ガソリンと殆ど同じ價格で販賣出来るやうになるだらう、この新製法によれば原料ガスの九十%まで液體として回収され、その五十%がトリブテインなのである、トリブテインの外に副産物として二種の貴重アンチ・ノック性含水炭素劑が採れる、これはネオ・ヘキシンと二一二・デイ・メチル・ブタンとであつて、航空用ガソリンに混入するアンチ・ノック劑としアルカレートよりも優秀であるといはれる、米國陸軍省は最近石油業者に對して航空用燃料のオクタン價を百四十まで引上げ

ることを目標とするやう通告したがトリブテインのオクタン價は百四十より更に遙かに高い、トリブテインを使用する航空用發動機を設計すれば飛行機の馬力は即座に五割方増大される結果となる、トリブテインを使用する發動機の設計は機械工學的に少しも難事ではない

現存の型の發動機でも氣筒の容積を小さく且つその強度を高めさへすればトリブテインを使用することが出来る、トリブテイン發動機が完成されるまでは、現在の發動機の設計が許す限度までトリブテインを普通の高オクタン價ガソリンに混入して發動機の性能を高めればよい、その結果時速を二十哩迄は増大し得る

陸 參謀總長報告

【ブエノスアイレス廿二日發】ワシントン來電「米國陸軍參謀總長ジョージ・マーシャルは最近陸軍の作戦に關聯した報告を發表したが、その重點左の通り

一、一九四二年初夏ドイツ軍がエル・アラメインの線に進出、スエズを衝かんとする態勢を示すや英國軍は非常な危機に直面したが米國は急速にニューヨークから多数の中程戰車、百五十輦砲等を同方面戦線に送りドイツ軍の進出阻止に努めた

億三九百九十六千弗であつた一、一九四一年以來陸軍は擴充に次ぐ擴充をもつてしたが、兵員の健康状態は向上の一途を辿つた

一、陸軍航空部隊の擴充に伴ひ過去二年にわたり飛行行時間は非常な増加となつたに拘らず、事故死數は僅かしか増加せず、一九四三會計年度第一四半期には却つて減少にさへ轉じた

一、今次大戦においては前線における傷病兵の後方輸送においても畫期的進歩を示し、例へばガダルカナル島及び最近のニューギニア島作戦では傷病兵は全部飛行機で後方に輸入飛行機によつて後方に輸送された傷病兵は多い時には一日四百名にも達し、その輸送距離は二百八十哩から三百五十哩であつた

アラスカ防衛司令部獨立

【ブエノスアイレス二日發】ワシントン來電「陸軍省は二日西部防衛司令部を獨立させ防衛司令官には少將サイモン・ボリヴァー・バックナーが留任する旨發表した

米、アラスカ直通電話線開通【ブエノスアイレス廿日發】ワシントン來電「陸軍當局はカナダのエドモントンおよびアラスカのフェアバンクス間に今回直通の電話線が開通した旨廿日發表した、この線はフェアバンクスから更にアンカレッジまで延びてをり、今回の開通によつて米本土とアラスカ間の電話線が直通した譯である

新編米機甲師團の構成
【ブエノスアイレス九日發】米國陸

軍は過般陸軍地上部隊の改組を發表したが、ニュー・ワーク・タイムス紙ではケンタッキー州のフォート・ノックスから再編後の米陸軍機師師團の實情を次の如く傳へてゐる。

一、米國陸軍は北阿戦の經驗以來機師師團を再編成し、一機師師團の總數を一萬一千名以下に減少し、戰車部隊の廢止、師團の職制中心は戰車三個大隊、裝甲步兵二個大隊、裝甲野砲三個大隊から成つてゐる。

一、一個師團の戰車數は總體として減少してゐるが、輕戰車に對する中型戰車の比率は増大してゐる。

輕戰車は目下偵察用に使用され、中型戰車は攻撃に使用されてゐる。

一、戰車一個大隊は中型戰車三個中隊、輕戰車一個中隊、本部一個中隊補給一個中隊から編成されてゐる。

一、騎兵偵察中隊は強化された、多數の武器は大に改善され新武器も出現してゐる、フォード裝甲自動車自働砲、所謂戰車破壞砲等は標準裝備となつてゐる。

一、裝甲歩兵は裝甲師團の作戰並びに陣地攻撃のために特別な訓練を受けその裝備は火箭發射砲並びに臼砲を含んでゐる、目下多くの戰車は回轉安定機關(ジャイロスタビライザー)火砲安定裝置を備へてゐる。

一、照準器は非常に改善され係員の座席は科學的に設計されてゐる、中型戰車は氣筒八個五百馬力のフォード機關又はライト機關を備へてゐる、輕戰車は雙子キアアデイヤック機關を使用してゐる。

戰車兵の士氣は旺盛で戰車の機動性を保持すると同時に特殊な機械裝備を發達することを主張して一部唱へ

東西航空隊を獨立

【アエノスアイレス二十五日發】十六日附ニュー・ワーク・タイムス紙によれば、米國陸軍省は航空隊の訓練計畫を容易ならしめるためインデアナ州ミツチエ飛行場所在の第一航空隊及びサンフランシスコ所在の第四航空隊を夫々東部及び西部兩防衛司令部の管轄から分離し、陸軍航空部隊司令部の直轄下に置くこととなつた。然し兩航空隊從來の防空任務は變化せず、防空警報の發令並に電波管制を實施する任に就き更に東、西各防衛司令部管轄下に飛行するすべての飛行機を統轄するほか、燈火管制その他防衛司令部より發する各種の命令に従ふこととなつてゐる、而して緊急事態の勃發次第兩航空隊は再び元の防衛司令部の管轄下に復歸する筈である、なほ第一航空隊司令官には代將フランク・オドリスコル・ハンター、第四航空隊司令官には代將ウイリアム・エリンドが夫々任命された。

陸軍の改組

【アエノスアイレス廿五日發】近着のニュー・ワーク・タイムス紙九月廿八日號は米國陸軍の組織變更につき次の如く報じてゐる。

陸海兩省の機構に對する大規模な組織變更が既に實施され乃至は計畫されてゐる、これは人的資源の節約或は事務の簡易化を期するにあるが、

また戰爭の現段階に對應する戰略的要求に應ぜんとしたものである、従つて最も重大な改組を受けてゐるのが陸軍の戰團部隊で、從來軍團地區として知られた米國本土の九軍管地區は、改組統合が行はれて多分六地區に減少することとならう、代將フレデリック・オズホーンの指揮下に軍隊の士氣問題を擔當してゐる陸軍省の特務部は廢止され、その機能は陸軍省内の夫々の部局に分配されりとなつた、又戰團部隊G-1三科の軍隊訓練部は特務部が從來行つてゐた教育隊報その他の任務を引繼ぐこととならう。

海軍の増強を宣傳

【リスボン八日發】ロンドン特派員は米海軍の増強狀況に關し次の通り報道してゐる。

米海軍省當局は一九四〇年七月一日から本年六月末迄の三箇年間の米海軍の増強狀態に關する數字を發表したが、その膨脹振りにはまさに史上空前の驚異だ、此の期間に進水完成した海軍艦艇の總數一萬五千三百七十六隻で排水量合計二百二十萬噸に達する、また航空機の完成數は二萬三千機であつた、完成艦艇の内譯次の通り。

世界大戦中の海軍最高兵員數の四倍である。

太平洋艦隊の編成替へ

【アエノスアイレス十四日發】日本海軍航空隊の果敢な攻撃に依て苦い經驗を嘗めた米國海軍省は今回愈々太平洋艦隊の思ひきつた編成替へを斷行したと傳へらる、ニュー・ヨーク來電によれば、米國各紙は海軍省筋の情報として以上のニュースを大膽的に報道「史上最大の戰術的再編成」として稱して居るが、編成替の眼目は太平洋艦隊の戰艦を悉く空母中心に集めて各艦隊を構成して艦隊の攻撃力を増大するに在ると言はれる、更に米國各紙は過去二ヶ年間に米國內で空母十七隻が建造されたこと頻りに書き立ててゐる。

海軍建艦報告

【アエノスアイレス廿六日發】ワシントン來電によれば米國海軍長官フラック・ノックスは廿六日本年に入つてからの海軍建艦情況に關する報告を發表した、例によつて建艦の進捗を誇りに大宣傳するとともにこれに反過少に發表、自ら報告の内容の虚偽を暴露してゐる、報告要旨次の通り。

一、本年一月以降現在までの十一ヶ月間に米國艦隊勢力は丁度二倍となつた、即ち去る廿四日までの日本艦に擊沈された空母ワサプの代艦が完成することによつて、本年に入つてから竣工した艦艇數は四十九隻に達し、昨年末の艦隊勢力に比し丁度二倍となつた、新に建造された艦艇のうちには空母四十隻も含まれてゐる、現在米國海軍は世界の各水域に

八百七隻の艦艇を擁してゐるが、今後二週以内丁度今年中米國海軍が喪失した廿一隻の艦艇が建造される豫定であり、護送用驅逐艦から大戦艦に至るまであらゆる艦艇を含めてその隻數は八百廿八隻とならうは而してこれに對し日本軍が眞珠灣を攻撃した當時の艦隊勢力は全部で三百四十四隻に過ぎなかつた。

一、一九四四年には本年以上の大量建艦が行はれよう、その隻數及び噸數の具體的數字は發表出來ないが、豫算の方から一九四三、四四年の海軍擴充計畫を比較すれば一九四四年計畫は本年に比し夫々次の如く増加してゐる。

マース號米國海軍へ引渡し

【アエノスアイレス二日發】ニュー・ヨーク來電「世界最大の飛行艇と云はれる「マース」號は性能試験終はり最近正式に米國海軍省に引渡されたと傳へられる、同飛行艇は自重七十噸で十五噸餘の搭載力を持ち米本國と遠隔な前線との兵員並に軍需品輸送に使用される豫定といはれる。

【アエノスアイレス八日發】ワシントン來電「海軍當局は去る四日グレン・マアティン社製の世界最大といはれる飛行艇の試験飛行を完了した、重量七十噸の此の飛行艇は「マース」と呼ばれ試験飛行において滞空時間三十二時間十七分、航続距離四千六百哩の成績を挙げた、海軍當局はこの飛行艇を遠方第一線への兵力、資材の補給に使用する計畫で、グレン・マアティン社は近くその多量

軍艦	三三三隻
補雷敷設艇	一、二七四隻
補助艦艇	一五一隻
哨戒艇その他的小汽艇	六五四隻
上陸用舟艇	一、九六四隻
合計	一五、三七六隻

海軍の現役兵員數も同様に躍進的増倍となつた、新に建造された艦艇のうちには空母四十隻も含まれてゐる、現在米國海軍は世界の各水域に

軍艦	三三三隻
補雷敷設艇	一、二七四隻
補助艦艇	一五一隻
哨戒艇その他的小汽艇	六五四隻
上陸用舟艇	一、九六四隻
合計	一五、三七六隻

海軍の現役兵員數も同様に躍進的増倍となつた、新に建造された艦艇のうちには空母四十隻も含まれてゐる、現在米國海軍は世界の各水域に

八百七隻の艦艇を擁してゐるが、今後二週以内丁度今年中米國海軍が喪失した廿一隻の艦艇が建造される豫定であり、護送用驅逐艦から大戦艦に至るまであらゆる艦艇を含めてその隻數は八百廿八隻とならうは而してこれに對し日本軍が眞珠灣を攻撃した當時の艦隊勢力は全部で三百四十四隻に過ぎなかつた。

一、一九四四年には本年以上の大量建艦が行はれよう、その隻數及び噸數の具體的數字は發表出來ないが、豫算の方から一九四三、四四年の海軍擴充計畫を比較すれば一九四四年計畫は本年に比し夫々次の如く増加してゐる。

△艦艇建造十三億弗△航空機製造十四億弗△主要兵器八億弗

驅逐艦建造の新記録

【アエノスアイレス三日發】三日マサチエツツ州ヒンガム來電によれば、同地のベスレヘム造船所は商船護送用驅逐艦一千三百噸級を龍骨掘つけから二十五日で完成し、驅逐艦建造の世界記録を樹立したといはれる、因みに従來の記録とされたものは前大戦當時同じくベスレヘム會社で建造された驅逐艦リード號の四十五日半であつた

墨國へ驅逐艦三隻賣渡

【アエノスアイレス廿一日發】ワシントン來電メキシコ政府は米國より驅逐艦三隻を買入れることになり廿一日米國大西洋岸の某造船所で引渡式が行はれた

戰艦オクラハマ浮揚

【アエノスアイレス廿九日夜次】ワシントン來電海軍省は二十九日夜次の如く發表した

艦艇續々進水

【アエノスアイレス十五日發】米國海軍省は十四日、驅逐艦二隻、護送用驅逐艦二隻、フリゲート艦一隻並に大型商船一隻を含む九隻の艦船が進水した旨發表した

ヘレナ號代艦建造

【アエノスアイレス十五日發】ワシントン來電海軍省は米海軍偵察飛行船「プリンプ九十四號」が十月三十一日夜西印度諸島へ飛行中炎上し喪失したものと認める旨五日發表した。なほ同飛行船の乗組員八名は行方不明となつた

米紙、新空母を宣傳

【アエノスアイレス十八日發】ニュ

ヨーク・タイムズ紙は十八日次の如く報じてゐる

某海軍工廠では目下建造中の超弩級新製航空母艦の第一隻目が完成に近づいてゐる、排水量四萬五千噸の此の新型空母は従來の空母に比し各種の改善が加へられ戰闘に於ける行動の敏捷性に於て如何なる戰艦にも匹敵し得るものである

【アエノスアイレス十七日發】ライラデルフイヤ來電海軍省は十七日航空母艦「バタソン」號が就役した旨發表した、米國海軍省の新艦建造發表は従來進水に限られてをり、今回「バタソン」號の就役を發表したのは全く異例だが、米國海軍省當局では「バタソン」半島における米比兩軍を記念するため」と稱してをり、

【アエノスアイレス廿一日發】カムデン(ニュージャージー)來電アラスカ型の第二艦「グアム」號は今回進水した、同艦は戰艦より小さい巡洋艦より大きく、巡洋艦程度のものであるといはれる

【アエノスアイレス廿二日發】ワシントン來電海軍省は廿一日新驅逐艦「ウイニマルト」が大西岸の某造船所で進水したと發表した

【アエノスアイレス二十九日發】ワシントン來電に依れば次の艦艇が二十八日米國各地の造船所で進水したといはれる

△驅逐艦一隻△空母護衛艦一隻△護衛驅逐艦三隻△潜水艦一隻△水上機母艦一隻△軍隊輸送船一隻

【アエノスアイレス廿日發】ワシントン來電米海軍委員會は廿九日次の十三隻の艦船が同日進水した旨發表した

【アエノスアイレス十六日發】ワシントン來電米國海軍委員會は十六

日新に船舶十一隻が進水した旨發表した

經濟

臨時納稅制の實績

【アエノスアイレス五日發】ワシントン來電財務省の發表によれば、臨時納稅制度實施以來最初の三ヶ月間の天引による個人所得稅納入額は合計十七億九千八百萬弗に上つたといはれる

政府戰費豫算を削減

【アエノスアイレス廿九日發】ワシントン來電米國議會方面における政府の放漫なる戰時支出に對する非難の聲は最近愈々熾烈となり、今回下院が政府提案の百五億弗に上る増稅案を僅に廿億弗に削減してしまつたのも、この具體的現れだが政府當局もこれに鑑みてか速かに緊縮政策をとりはじめた模様で、豫算局長ハロルド・スミスは廿九日一九四四年度戰費豫算の改訂數字を發表、當初の戰費支出豫算一千億弗には八十億弗の削減が加へられ、結局九百二十億弗に改訂されたと聲明した

郵便收入十億弗突破

【アエノスアイレス八日發】ワシントン來電郵政省の發表によれば九月卅日に終る一年間の郵便收入は十億六百萬弗と遂に十億弗臺を突破したといはれる、なほ同期間の支出は九億九千四百萬弗となつてゐる

國民所得新記録

【アエノスアイレス十一日發】ワシントン來電財務省は十一日、本年の米國民所得が一月以降九月末まで

【アエノスアイレス廿四日發】ワシ

に總額一千三十億八千八百萬弗に達し未曾有の記録を示したと發表した

【アエノスアイレス十日發】ワシントン來電米商務長官ジュエツシー・ジョーンズの發表によれば九月中の米國個人所得額は昨年同期に比し二〇%方の増加に當ると

空母飛行機製作に公債募集

【アエノスアイレス廿四日發】ワシントン來電米國では首都ワシントン所在のコロンビア特別區に於て去る十一月九日までの二ヶ月間に再り空母搭載用飛行機製作資金調達のため三千二百六十萬弗の戰時公債募集を行つたが、この程海軍長官ノックに對し送られた報告によると右は百五十萬弗方の應募超過となつたといはれる

在外資産を調査

【アエノスアイレス十日發】ワシントン來電米國政府は去る六月以來國民所有の在外資産調査を行ひつたが財務省は今國民に對し在外資産の申告を十一月末までに提出するよう要請した、在外資産所有者は全米で四十萬人に上るものと推定されてゐるが現在までに申告を終つたものは僅か七萬人總額三十億弗にすぎない

十月中の軍需生産

【リスボン廿一日發】ワシントン來電米國戰時生産局長官ドナルド・ネルソンは廿日、十月中の軍需生産が九月に比し顯著な進捗を遂げた旨報告したが、その要旨左の

産

狀況

【アエノスアイレス十一日發】ワシントン來電米國戰時生産局長官ドナルド・ネルソンは廿日、十月中の軍需生産が九月に比し顯著な進捗を遂げた旨報告したが、その要旨左の

通リ
一、十月中の軍需生産指数が六四八(一九四一年十一月基準一〇〇)で九月に比し二九ポイント増加、本年四月以來最高の月別増加率を示してゐる

一、努力、原料の不足は過去数ヶ月に比し相緩和された、尤も各會社が軍需生産に経験を積んで来たことは増産の主因となつてをり、これは今後も増産を助長する因とならう

一、飛行機生産高は八千三百六十二機と過去の最高記録を示し、九月に比し、數において一〇%重量において九%生産價格において一〇%と夫々増加となつてゐる

一、造船は五%、彈藥は一%、通信機および電氣器具は九%、銃砲は一%と夫々増加、一方軍事建設高は九%方減少、なほ銃砲生産および軍事建設高は計畫通りとなつてゐる

一、彈藥増産は特に目立つてゐるが小銃彈藥生産が九月と殆んど變らぬに反し大砲彈藥は著増してゐる

一、小型武器生産は計畫より九%増加したが、陸軍用大砲生産は生産計畫に從つて九月に比し九%方切詰められた

一、戦闘車輛は一%の増産を示してゐるが、うち戦車は計畫に従ひ最も切望された、一方自動車牽引車は目標を六%方上廻つた

一、通信兵器中、地上電氣裝置器は大體九月の生産と等しいが、空中信號裝置機は生産技術上の難點も解決され、増産の緒についた
一、造船中、貨物船、補給船建造高は九月に比し六%、戦艦其他の船舶は四%方と夫々増加してゐる
一、商船引渡高は百六十六萬DWT

ンで本年十月迄の造船高累計は一千万五千三百三十三萬二千DWTとなり、本年造船目標一千九百萬DWTの八〇%に當る
一、自由型船建造高は九十八隻で九月に比し八%減少したが造船計畫に比すれば五%方上廻つてゐる、なほ自由型船建造を減少せしめる一方戦勝型船擴充を準備中である、油槽船建造高は三十五隻で九月に比し一%増加してゐる

十月中飛行機生産高

【アエノスアイレス二日發】ワシントン來電 戰時生産局長官トルソンは二日、十月中の米國飛行機生産高に就き例によつて尅大な數字を羅列し次の通り發表した
一、十月中の飛行機生産高は八千三百六十二機に達し最高記録を樹立した
一、十月中の重爆撃機の生産高は月産高としての最高記録に達した
一、右月産高は大統領が開戦直後發表した米國の飛行機生産目標年産十萬臺の一月當りの比率を若干超過してゐる

米國造船高

一、軍用におけるこの期間における従業人員の増加は九百三十三%に過ぎなかつた
一、飛行機製造所要人員數は一九四〇年十月當時に比し戦闘機では二分の一、攻撃爆撃機では百分の九、中型爆撃機では十分の一に減少した

一、十月の月産高は八月の月産高七千六百十二臺より七百五十臺増加し九月の月産高七千五百九十八臺より七百六十四臺増加してゐる
生産情況誇示【アエノスアイレス廿五日發】ニューヨーク來電 米國戰時飛行機生産評議會は最近米國の飛行機生産情況につき要旨次の報告を發表した
一、太平洋洋各飛行機製造工場は飛行機生産高はその重量において一九四〇年一月以來四千二百六十%の増加を記録した

明年度人造生産計畫

【リスボン十五日發】十一月十一日付フアイナンシア
ル・ニューズ紙は米國の人造ゴム生産につき左の如く報じてゐる
米ゴム統制官ブラッドレー・デューイー發表の報告書によれば、一九四四年の人造ゴム・タイヤ生産目標は三萬個と定められてをり、軍需用特に軍用車輛および飛行機用大型タイヤの需要は尅大な數に上つてゐる、尙ほ明年初め迄には人造ゴム生産計畫に基き建設中の全工場が操業を開始する豫定である

人造ゴムは劣質

【アエノスアイレス廿二日發】ニューヨーク來電 米國のゴム會社グッド・イヤール社は最近天然ゴムと人造ゴムとの比較につき次の如く發表した
人造ゴムの性質を天然ゴムと比較すれば伸縮率は廿三%低く、チューブとしての張力は六十五%だけ弱い、又人造ゴムは熱に弱く、加熱された場合の磨滅度は天然ゴムより、餘程高い、タイヤとして使用された場合天然ゴムに比し、裂けたり、溶けたりするものが速く、これは熱が加はつた時特に甚しい、又人造ゴムは重量が大で六呎の十六型乗用車用タイヤのチューブにして天然ゴム製のものより約一封度重い

對日戰用の船建造

【アエノスアイレス二十三日發】リッチモンド來電(カリフォルニア州)ヘンリー・カイザー造船所は二十三日はじめて新型戰時標準船たるグアイクトリ型船の建造を開始した、これと同時に同造船所は新たに新規格の小型貨物船の建造も開始したが、これは一萬五百噸級のリベティ型船の半分位の大きさで、同社當局の言明によれば、この小型船は専ら對日戰を目標としてつくられ、小港灣の多い太平洋戰域の作戦に適した船だといはれる

【リスボン廿八日發】デイリー・テレグラフ紙のワシントン特電によれるマクネンシュウム生産はアルミニウム

米國造船高

【アエノスアイレス廿日發】ワシントン來電 米國海事委員會は廿日米國の造船情況につき次の如く發表した
一、一九三八年一月以來現在までに米國が建造した商船隻數は二千四百七十三隻である
一、このうち本年一月以降十月末までに建造した隻數は一千五百二十四隻であり、その噸數は一千五百五十萬一千六百二十四噸である

アルミ生産狀況

【リスボン三日發】ワシントン來電 戰時生産局アルミニウム主任バンカーは本年第四四半期における米國のアルミニウム供給高は八億七千萬噸封度と需要高七億七千万噸封度を上廻り、また再生用に回収された屑アルミニウムだけで現在年六億噸封度と戰前の米國アルミニウム生産高の二倍に達したと誇稱してゐる、なほ二ヶ月前には少くとも一千万噸封度の屑アルミニウム供給超過がみられ、從つて米國は本年第四・四半期における聯向アルミ引渡高の三分の一を屑アルミニウムで賄ふことになつてゐると

カネ増産狀況

【リスボン廿八日發】デイリー・テレグラフ紙のワシントン特電によれるマクネンシュウム生産はアルミニウム

ばカリフォルニア州リッチモンドのカイザー造船所當局は廿五日同所で浸水性に富む長さ八呎の平底輕舟が進水したが所要建造時間は僅か十分過ぎぬと自慢してゐると云はれる
しかし輕舟は進水にあたり船が全くつぶれてしまつたといふ粗製振りでさすがの米國民も驚いて居る實狀から、右特電によれば一九四一年一月から四三年十一月末までに太平洋岸のカイザー造船所は千八百九隻の艦艇船を當局に引渡したと傳へられが内譯次の通り
自由型船 九六五
高速油槽船 四〇
航空母艦 一二
四千噸級上陸用船舶 五〇
驅逐艦、護送艇其他 二二

ムと同様今次戦争を契機として頗る増大したといはれるが、戦時生産局長官ドナルド・ネルソンは最近左の如くマグネシウム増産を報告してゐる

米國のマグネシウム生産は急増したため最早増産云々の問題はなくなり、ただ如何にしてこれが新用途を見出すかの問題があるのみだ、一九三九年の米國マグネシウム生産高は僅か三千トンに過ぎず、これに對し世界生産高は三萬一千トンであつた

開戦以後米國は二十萬トン生産計畫をたて、更に其後これを三十六萬二千トン生産計畫に變更、これが達成のため復興金融會社は三億三千九百萬ドルを支出したのである、なほスエーデン紙スヴェンスカ・タグスマグネシウム生産能力は十三萬トンに急増、また本年上半期には年産二十萬トンに上昇、明年第一・四半期中には年産三十萬トンを突破し、結局同年末迄には目標の三十六萬二千トンを達成することを豫想されてゐるといふ、現在米國のマグネシウム工場は原料としてドロマイト或はマグネサイト等を使用するもの殆んどなく、殆んど海水を重要原料として利用してゐる、なほ現在マグネシウム価格は一封度當り二〇仙半で、これは戦前の價格水準より三分の一方低く、且つ開戦當時のアルミニウム價格に等しくなつてゐると

十月中の製鋼高

【ストックホルム十一日發】ストックホルム・テイドニンゲン紙ニユーヨーク特電によれば炭坑罷業の結果米國の製鋼高は約四萬トンの減少

をみるものと豫想されてゐたが事實はさほどの影響なく、十月中の製鋼高は七百七十八萬六千三百五十九トシと過去の記録たる三月の生産高を示した、かくて本年一十月の製鋼高は七百四十萬トシと前年同期の七百五十萬トシに比し二百五十萬トシの増加となつた

セメント生産高減少

【リスボン十八日發】ニユーヨーク來電「セメント生産高は本年五月以來減少を示してゐるが、九月中の生産高は一千三百三十萬バレルと前年同期に較べ三五%の減少であつた、なほ九月十日現在のセメント在庫は一千九百七十萬バレルであつた

ヘリウム發見

【アエノスアイレス十五日發】ニユーヨーク來電「鐵山局は十五日ニユーメキシコ州西部において從來米軍需要の大半を満してゐたテキサス州の産出高より遙かに多いヘリウムを發見した旨發表した

産油、出炭情況

【アエノスアイレス廿五日發】ワシントン來電「米國燃料長官ハロルド・イツキーズは最近米國の石油産出情況を次の如く發表した
十二月の産油豫定額一日平均四百六十九萬四千二百バレルだがこれは十一月の目標に比し日産五萬八千バレルの増加である、而して軍需は今後一層の増加が豫想され産油額は益々増加することならう
一方出炭額について燃料當局の言明によると本年の出炭豫定額は、一九

四二年の出炭額五億五千八百萬噸に比し六億噸となつてゐるが、去る九月廿五日までの出炭実績は四億三千二百九十九萬噸であつた
【ワシントン來電】鐵山局發表によれば本年九月中の米國の原油生産高は一日當り四百三十四萬七千バレルと新記録を樹立したと

イラン・イラク國境に油井採掘

【リスボン十四日發】イスタンブール來電「米國における石油需給危機切抜策として米國はこの程イラン・イラク國境地區に二十に上る油井を開拓したと傳へられる

食糧 明年度食糧計畫

【アエノスアイレス十二日發】ワシントン來電「戦時食糧局長官マルヴェイン・ジョーングは十二日米國の明年度食糧計畫につき次の如く發表した
明年の食糧計畫完成を期するために農産の記録的増産が必要であり、政府も農産増收を實現するために價格維持政策を實行する豫定である、本年は幸ひにして肉類の大増産によつて農産物若干の減收にもかかわらず食糧生産全體としては未曾有の記録を示現することが出来たが、明年はかかる肉類の増産は期待出来ず却つて寧ろ若干の減産さへ覺悟しなければならぬ、作付面積は本年より更に一千六百萬エーカーを増加して三億八千萬エーカーを豫定してゐるが、右は米國としても未曾有の廣大な作付面積である、主要農作物の價格は

大體現水準でも農家に相當の利潤を約束してゐるが、戦時諸費の昂騰により或る種農産物に對しては今後若干の値上を行ふことが必要であらう、また現在の助成金政策の繼續が必要なばかりか、その増産さへも豫想しなればならぬ、本年政府が食糧助成金として支出した金額は三億五千萬弗であつた
一九四四年の農産計畫においては作付面積及び農産物販賣に關する従来のあらゆる制限は除去されることとなつた、尤も煙草栽培についてはみは依然として作付面積の制限が存續される、一方政府は土地荒廢防止費として約三億弗の支出を豫定してゐる
なほ農務省當局は目下本年度農作實績につき各種報告を蒐集中だが、現在までに判明したところでは玉蜀黍は三億八千五百萬ブツシエルで未曾有の記録を示したが小麦は八億三千六百萬ブツシエルで昨年より減少となつた

貿易 九月中の輸出入高

【リスボン十一日發】ワシントン來電「商務省發表、九月中の米國輸出入高次の通り(單位百萬弗)
本年九月 昨年九月
輸出總計(再輸出を含む) 一、二三〇 七三二
内米國商 一、二一六 七二六
品の輸出 二八〇 一九六
輸入總計 二七九 一九七
内國消費用 二七九 一九七
九ヶ月間の輸出入高累計【ベルリン十五日發】リスボン來電「本年初春九月末までの九ヶ月間の米國輸出高

累計は武器貸與計畫に基く供給を含めて九十二億弗に達した、これは一九四二年一ヶ月間の輸出總額に比し約一割八分の増加にあたる、これに對し右九ヶ月間の輸入高累計は二十四億弗で、前年輸入總額に比し一割方少ない
ラテン米洲への食糧輸出切り下げ
【アエノスアイレス九日發】ニユーヨーク來電「ジャヤバル・オヴンコマース紙の報道によれば各家庭の食糧不足に鑑み、今回米國政府はラテン米洲への食糧輸出を大幅切り下げる豫定といはれる、從來米國はラテン米洲に對し主としてトマト、ケチャップ、コンフレック、チョコレート等を輸出して居た

油脂類輸入を民間業者に移譲

【リスボン十六日發】ワシントン來電「米國では海外よりの油脂類買付は昨年七月十九日以來政府が一手に行つて來たが、今回戦時生産局及び戦時食糧局は右制度の改訂を發表、今後民間業者が外國輸入一部油脂類及び採油原料の買付並びに輸入に當らしめると發表した、尤も國內における使用割當に關しては從來通り戦時食糧局がこれを統制する、なほ右適用をうける油脂類はブラジルより輸入するオイシシカ油、蓖麻子油、カシユ油並にアルゼンチン及びカナダより輸入する胡麻、グリセリンとダツテ油等、一方ステアリン酸及び玉蜀黍油も同様の取扱をうけることとなつた

チリのマンガンを全部買占め

【アエノスイレス廿二日發】米國は昨年米國輕金屬豫備會社をして明年二月末までにマンガンを八十萬噸の購入契約を行はしめたがサンチアゴ來電によれば同地の商業筋で一九四四年度には米國はチリのマンガンを殆ど全部を買ひ占めるであらう旨言明したといはれる。

十月中の酒類輸入額最高記録

【アエノスイレス廿四日發】ワシントン來電によれば本年十月中の米國の酒類輸入額は五百萬ガロン餘と未會有の高記録を樹立したといはれる。すなはち右は過去における最高記録たる本年八月に較べ百三十萬ガロンの増加で、前年同期に較べ倍増となつてゐる、なほ米國當業者筋では右輸入酒類はアエルトロコ、キニウバ及びメキシコからのデン、ラム及びウイスキーであるといつてゐる。

ナイロンよりのプラスチック製造

【リスボン一日發】ニユーヨーク來電「デューボン會社では豫てよりナイロンを原料とするプラスチック製造法を研究中であつたが、このほど完成、右新法によるプラスチック製品は他の原料を用ひた場合より品質優良であると稱してゐる。

膨大灌漑計畫發表

【アエノスイレス三日發】ワシントン來電「政府當局は戰時食糧確保のため農業増産策を講じてゐるが、最

近その一翼として膨大なる灌漑計畫を發表した右によれば明年中に二千萬エーカーが新たに耕地に加へられる筈であり、次で一九四五年には八千萬エーカー、一九四六年には百萬エーカーを豫定してゐる。

海外食糧機關新設

【ストックホルム三日發】ロンドン來電「英紙ニユーズ・クロニクル所報によれば米大統領ルーズヴェルトは今回海における食糧需要の調査及びそれに基く手持在荷の利用に關する一機關を新設する旨發表した。かして右長官には外國經濟院總裁レオ・クローレイが任命される筈で、この結果戰時食糧局長官マルヴィン・ジョーンズの権限は國內食糧問題に限られることとなる。

生活費指數上昇

【アエノスイレス二十三日發】ワシントン來電「労働省は二十三日最近の生活費指數を發表したが、右によつて所謂「小鐵鋼様式」の基準期間となつてゐる一九四一年一月の指數に比較して現在は一・九四一年一月の指數となつてゐる、小鐵鋼様式は基本水準から十五%までの労働賃銀の値上りを認めてゐるに過ぎないの様に、この生活費指數の發表は小鐵鋼様式が既に物價と脱み合せた賃銀水準決定の機能を喪失してゐることを實證し、労働團體の小鐵鋼様式廢棄要求の妥當性を認めたものといへよう。

全罷業炭田接収命令

【アエノスイレス一日發】ワシントン來電「大統領ルーズヴェ

イツキースに軍隊使用權限附與

【アエノスイレス二日發】ワシントン來電「大統領は一日東部炭田における罷業彈壓のため、罷業炭田の政務接收と炭坑夫の三日迄の復業とを命じたが、二日更に復業労働者保護のため燃料長官ハロルド・イツキースに對して必要な場合は軍隊を使用し得る權限を與へた。

炭坑罷業急轉解決

【アエノスイレス三日發】ワシントン來電「東部炭田の總罷業は罷業炭坑夫の強硬な態度により異常の紛糾を豫想されたが、大統領ルーズヴェルトの復業指令期限の満了した三

抗に復歸するものとみられるに至つた、今回の新協定においては労働者側の要求は部分的に達成されたが、政府は右新協定の結果炭礦主側に及ぼす影響を考慮しその不満を押へるため石炭價格を各種に三リ一トン當り十五仙乃至四十五仙方引上げるものとみられてゐる。

賃銀交渉監視委員任命

【アエノスイレス十二日發】ワシントン來電「米國炭坑夫組合は過般政府との間に暫定的賃銀契約を締結して東部炭田の罷業を打切つたが、大統領ルーズヴェルトは炭坑夫組合と經營者との直接賃銀交渉を監視するため、十二日次の如き構成の委員會を任命した。

△委員長 モリス・クック (一般代表) △労働代表委員 トーマス・ケネディ (炭坑夫組合書記長) △資本家代表委員 R・L・アイルランド (米國炭業聯盟幹事長)

炭坑賃銀交渉成立

【アエノスイレス廿日發】ワシントン來電「炭坑夫組合と東部炭田炭坑主とは過般の炭坑罷業に引續き新賃銀契約の締結交渉を進めてゐたが廿日に至り交渉成立、十二月一日をもつて新契約に調印することとなつた、新契約は過般炭坑夫組合長ルイスと燃料長官イツキースとの間に締

政府石炭價格引上げ

【アエノスイレス七月發】ワシントン來電「燃料管理局長イツキースと炭礦労働者組合との間の新賃金協定に基き既に組合側は全般的に罷業打ち切りを指令したが右に基き罷業中の炭礦労働者は大部分は八日迄に各炭

出が停止することは戰爭遂行を阻害するばかりでなく、戦線にある米國將兵、即ち炭坑夫諸君の子供や兄弟の生命を危殆に瀕せしめるものである、炭坑は政府の手によつて三日午前開かれるであらう、全炭坑夫はその時までに職場に戻り米國政府のた

結された賃銀契約を基礎とした炭坑夫側に頗る有利なものである、但し今回新契約に調印することとなつた炭坑主は北部及び西部の炭坑主で、南部炭田の炭坑主は未だ新契約への調印を拒否してゐる、一方物價管理局は炭坑夫賃銀の引上げを理由としてさきに無煙炭價の値上げを行つたが、廿日更に有煙炭價をも順當り十七仙上げる旨發表した

フォード労働者増賃要求

【アエノスアイレス十七日發】ワシントン來電「労働者賃銀の引上げ要求は今や全米労働階級を風靡する運動と化した形だが、産業別組織會系と有力組合たる自動車工業労働者組合所屬のフォード自動車會社就業員約十六萬は十七日會社當局に對し賃銀引上げ要求を提出した、右要求は政府の堅持する「小鐵鋼様式」以上の賃銀引上げである

罷業工場を接收

【アエノスアイレス二十四日發】ワシントン來電「マサチューセツ州ビーボデー、セラム兩市の皮革工業労働者は過般來大統領ルーズヴェルトの命令を無視して罷業を行つてゐたが、白聖館當局は二十四日大統領が去る二十日大統領令をもつて罷業中の十三皮革工場の接收を命じ、目下陸軍省の管理下におかれてゐる旨發表した

労働罷業情况

【アエノスアイレス廿七日發】ワシントン來電「労働省労働統計局は十月中の罷業情况につき廿七日次の數字を發表した

十月中罷業によつて失はれた労働日數は九十七萬五千労働日となり全米の労働者による全労働日數の八分の一に當る、因みに昨年十月の喪失労働日數は二十四萬三千七百五十六労働日であつた
罷業件數は二百九十件、これに參加した労働者は二十一萬五千人だつた
このうちの大部分は十月十三日から月末まで東部炭坑各地で散發的に行はれた炭坑夫組合員の罷業であり、罷業參加労働者の四十%、喪失労働日數の半分以上はこの罷業によつて占められてゐる

罷業彈壓法の撤廢を要求

【アエノスアイレス二日發】ワイアデルフイア來電「米國産業別組織會議は目下ワイアデルフイアで第六次年次大會を開催中だが、二日政府の現貨銀政策の基調をなす「小鐵鋼様式」及び罷業彈壓法の即時撤廢を要求する要旨左の決議案を可決した

△罷業彈壓法撤廢決議 労働組合の行動に對する干渉は民主主義及び競争努力に對する危険信號である、かかる法律を成立させたことはそれ自體労働者の愛國心及び國家の統一に對する攻撃であり、議會は直ちにかくの如き惡法を廢止すべきである
△小鐵鋼様式撤廢決議 健全なる經濟安定政策に對する國民の要望がまだ實現されてゐないことはまことに不幸である、強力なる物價政策、全面的割當制、妥當なる課税が實施されぬ限り労働賃銀は時に應じ調整されなければならぬが、當面の問題として我々は小鐵鋼様式による賃銀の安定策の放棄を要求する

CIO議長再選

【アエノスアイレス五日發】ニューヨーク來電「ワイアデルフイアで年次大會開催中の米國産業別組織會議は五日議長に現議長フイリツプ・マレーを再選した、マレーの議長選出は今度で四回目である

航空職工を召集延期

【アエノスアイレス十一日發】ワシントン來電「徴兵局は十一日太平洋岸の航空機製造労働者に召集延期の特典を與へる旨發表した、米國の軍需工場における人的資源不足のうち西海岸航空工場の労働力不足は特に著しく、人的資源委員會は取敢ず緊急措置として約五千名の職工に對して召集延期の特典を發してゐたが、今回の徴兵局の措置によりこれが正式且つ恒久化されるに至つた、但し召集延期の特典を受ける労働者は陸海兩軍および雇傭者によつて戦時絶對不可缺な作業に従事し、且つ他に他の交替が不可能なことが立證されなければならぬ

労働割當實施

【アエノスアイレス十五日發】ワシントン來電「軍需産業の労働力不足は特に太平洋岸で著しく、戦時人的資源委員會は頻りにその対策を考案中だつたが十五日からサンフランシスコ地域において遂に強制的な「労働割當制」を實施した、新割當制の下では雇傭主は從來の如く自由に労働者を備入れることが出来ず政府當局が大局的の見地から戦時最も必要にして且つ最も労働力不足に悩んでゐる産業に優先的に労働者の配給を行ふこととなつてゐる



中南米鋼鐵生產高

【リスボン十六日發】ニューヨーク來電「米國鐵鋼協會發表によればラテン・アメリカ諸國における鋼鐵生產高は目下建設中の新工場の完成次第年産合計百四十萬トンに増大するものと傳へられる、右はほぼ戦前のポーランドの生産高に近く、またスエーデンの生産高を少々凌駕してゐるわけだが、うちブラジル及びメキシコ兩國のみで八五%を産するものとみられる、なほ右生産状況を主要國別にみると大體左の通りとみられる(單位千トン)

中南米石油生產高

【アエノスアイレス廿一日發】ワシントン來電によれば米政府當局は此程中南米諸國の一日當り石油生産高を左の通り發表した(單位バレル) △メキシコ一〇〇〇、〇〇〇 △アルゼンチン八六、〇〇〇 △ペルー四〇、〇〇〇 △ボリヴィア八〇〇 △ブラジル二二〇 △コロンビア及びヴェネズエラ八〇〇、〇〇〇
すなはちコロンビア及びヴェネズエラの石油生産高は斷然他の南米諸國を壓してをり、したがつて對米輸出餘剩量も最も多いわけである

智、秘兩國間の自由貿易

【アエノスアイレス九日發】リマ來電「チリ代表ホアキン・フェルナデス外相とペルー代表ソル・イムロ外相とは九日兩國間の自由貿易案をも研究する委員會を夫々兩國間に設置する旨の協定に調印した

ボパ兩國大統領會談

【アエノスアイレス十五日發】ラバ來電「パラグアイ大統領イヒニオ・モリニホとボリヴィア大統領レンリク・ベニヤランダとの會談は十五日から開始されたが、兩大統領は今回の會談を機會にパラグアイ、ボリヴィア兩國間の次の諸協定に調印する筈である

- 兩國學生交換に關する協定
- 兩國を連絡する公路に關する協定
- 兩國間油送管協定
- アスンシオン、ラパス兩首都を結ぶ直接有線、無線電信連絡に關する協定
- ボリヴィア産石油とパラグアイ産棉花との交換協定
- アルゼンチン政府に對し兩國産物のアルゼンチン鐵道運賃引下げを要求する申合せ

ボ・パ通商協定

【アエノスアイレス十八日發】ボリビアおよびパラグアイ兩國大統領は最近國境にあるボリビアの村落チヤコで會見、數種の通商協定に署名したが、この中には○パラグアイ産椰子油とボリヴィア産石油の交換 ○チヤコよりパラグアイのブエルト・カサドの間に油送管を敷設する件を含んでゐると

ア、パ兩國の通商協定

【ブエノスアイレス十八日發】アルゼンチン外相アルフレド・ギルベルト將軍は十七日ブエノスアイレスにおいてバラグアイ蔵相ロチェリオ・エスピノザとの間に兩國間の新通商協定に調印した、一方サンチャゴ駐劄アルゼンチン大使は同日チリ經濟相を訪問アルゼンチンの小麦とチリの鐵鐵石との交換貿易に關し協議したと傳へられる

ウ、ド兩國の國交再開

【ブエノスアイレス二十二日發】カラスカ來電によればヴェネズエラ共和國政府は二十一日同國とドミニカ共和國との外交關係が再開された旨發表したといはれる

コシキメ

【ブエノスアイレス九日發】メキシコ市來電「ミホカム、ヤリスコ、グアナユストのメキシコの食糧狀勢を危険に陥れるとの理由で今後これを嚴禁する旨八日發表した

新聞用紙制限

【ブエノスアイレス三十日發】メキシコ市來電「メキシコ政府は最近の用紙拂底に鑑み戰爭終了迄、新聞、雜誌の新規發行並びに現在許可されてゐる新聞でも特輯版の發行を禁止することになつた旨三十日發表した一方各種新聞の用紙割當も十五乃至二十％削減されることになつた

内閣の一部改造

【ブエノスアイレス二十四日發】ハヴァアナ來電「キニクアアドル國が皮革類の對米輸出を禁

ラスネエヴ

【ブエノスアイレス十九日發】カラスカ來電「ヴェネズエラ内閣は十七日總辭職したが十八日夜新内閣が成立した主要閣僚左の通り

内閣成立

【ブエノスアイレス十九日發】カラスカ來電「ヴェネズエラ内閣は十七日總辭職したが十八日夜新内閣が成立した主要閣僚左の通り

アピンロコ

【ブエノスアイレス廿一日發】ボゴダ來電「コロロンビ大統領領アルフオンゾ・ロベス氏に近く米國へ向け旅行する一日大統領代理に就任した

大統領代理決定

【ブエノスアイレス廿一日發】ボゴダ來電「コロロンビ大統領領アルフオンゾ・ロベス氏に近く米國へ向け旅行する一日大統領代理に就任した

對獨宣戰布告

【ブエノスアイレス廿七日發】ボゴダ來電「コロロンビ政府は廿六日夜ドイツに宣戰を布告した、外相カルロス・コロンバは上院に對して宣戰布告後のコロロンビ政府の政策を説明したが、ほぼブラジルと同様の措置をとり戰行爲には實際に参加せずただ國內の防備態勢強化の措置を講ずるとどめる旨言明した

ルドアクエ

皮革類の對米輸出を禁止

【ブエノスアイレス二十九日發】ワシントン來電によれば米商務省は二十九日エクスアドル國が皮革類の對米輸出を禁

止した旨發表したといはれる

ソ伯外交關係開始交渉

【ブエノスアイレス廿五日發】メキシコシティ來電「ニューヨーク・タイムズ紙メキシコ・シテイ特派員は廿五日メキシコ駐劄ソヴエト大使ウーマンズキー氏が目下ソヴエト政府とブラジル政府間の外交關係開始につき鋭意折衝中の旨報道してゐるがウーマンズキー氏は更に今關係樹立に奔走するものとみられる

肉類輸出を禁止

【ブエノスアイレス八日發】リオデジャネイロ來電「ブラジルの肉類輸出は益々甚しく政府は八日に至り遂にあらゆる肉類の輸出禁止令を發した、此肉類は本年の早魃が主要原因と見られてゐるが、燃料不足による輸送困難も直接の原因となつてゐる、肉類輸出の特許に著しいのけりオデジャネイロ・サンボロ地方である

知事連決辭職

【ブエノスアイレス三日發】地方長官廿名は今回辭職したこの内に廿名は今回辭職したこの内に廿名は今回辭職したこの内に廿名は今回辭職した

ンチンゼルア

【ブエノスアイレス七日發】政府は七日學生團體の最高組織たる「アルゼンチン學生聯盟」を極左傾向との理由で解散を命じた

政府學生團體を解散

【ブエノスアイレス七日發】政府は七日學生團體の最高組織たる「アルゼンチン學生聯盟」を極左傾向との理由で解散を命じた

軍部ヒ外相を絕對支持

徵兵制實施

【ブエノスアイレス五日發】モンテヴィデオ來電「ウルグワイ政府は今同、同國內に徵兵制を實施することとなり、徵兵法案を議會へ提出した

リテ

ウ港一帯に戒嚴令

【ブエノスアイレス十一日發】サンチャゴ來電「ヴァルパライソ市の沖仲仕組合がチリ政府の勞働時間改定に反對し罷業を開始したため十日以來同港一帯には戒嚴令が布かれ水兵が深更迄船荷の積み卸しに従事してゐる、但しヴァルパライソ市の鐵道従業員等が同情罷業を開始した以外罷業が全國的に擴大する様子は見えない

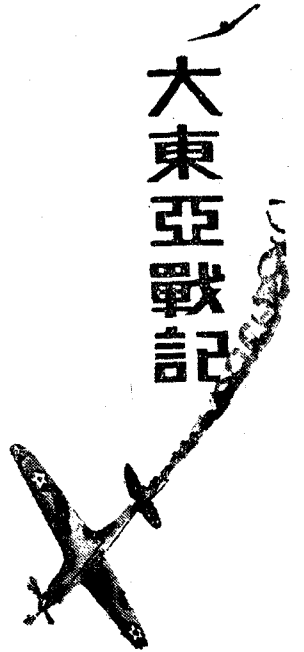
ウ市の罷業解決

【ブエノスアイレス十五日發】ヴァルパライソの造船工沖仲仕の罷業は十四日チリ政府と勞働組合代表との間に假協定が成立した結果一應終了したといはれる、爭議は時間的勤務手當の關係から政府の十時間勞務制に反對罷業に出たのだが協議の結果當局において時間的勤務手當に付ては特別に考慮する旨を公約して漸く妥結に達したといはれる

憲法修正案可決

【ブエノスアイレス十五日發】サンチャゴ來電「チリ議會は十四日午前上下兩院合同會議において百八票對四十票をもつて憲法の憲法修正案を可決した、この憲法修正により政府公共機關の新設廢止にともなふ豫算の決定權は議會から大統領の手に移されるが、此修正問題は一九三五年以來チリ政界の重大問題だつた

大東亞戰記



ブーゲンビル島沖海戦記

軍艦〇〇上にて 小柳海軍報道班員

十一月一日〇時〇分―巻層雲の薄いヴェールの中に、銀の糸を思はせ、青く揺れ輝いてゐた上弦の新月は、つしかな隠れ、高積雲が次第に空を覆ひ始めてゐた。やがてそれがスコ

ブーゲンビル島沖海戦、航空戦それはまこと息もつかせぬ大戦果の速射であつた、第三次ソロモン海戦以後満一年、久振りに破られた無敵敵艦隊の沈没は、ここに怒りの巨弾巨雷となり、忽ちにして敵が決戦主力と頼みにする艦艇を海底深く叩き込み世界戦史に不朽の頁を残した。以下四篇はその敢闘記である。

模様の分厚い層となつた。たまたし喇叭は吹鳴らされて一戦配位置に就けられたがそれからやや長い時間があった。すでに捕捉すべき敵影は見えない、或は南方に遁走しやうなるとののであらうか。いや敵にはまた護衛すべき輸送船団がある筈だ。し色に塗り、弓弦のやうに緊張した神経は、齊しめられる頃、南東凡く闇の水平線に敵を索めた。約三米、その時である、わが偵察機から吊光の影が投げられた。その數〇個、黒だ深夜の海を、スルスルと一枚一枚の指す敵艦の姿はなかつた、又、張り白線が快速つり付けた時が流れた、黙々と望遠鏡に映つていつのやうな艦隊の観像

浮び出た敵影を發見したのだ。たちまち敵からも照射があつた。パツパツと閃光が見えしばらくしてゾーンと肚に應へる砲撃である。少なくも敵五六艦がその〇〇に砲彈を集中してゐるらしい。だが空しくあがる水煙は狼狽しきつた敵の状況を物語つてゐるだけではないか。わが〇番隊も一齊に砲撃を開始した。しばらくは闇をつん裂く閃光と砲聲の應酬であつたが、見よ。敵艦隊は驚しい二艦に高い焰が上り、それは大きく艦を煽つて、それと見る一瞬、その姿はかき消えてゐた。あまりにも美事な轟沈だつた。しかしこの前哨戦に、他の我が隊列からは一發の砲彈とて發射されてゐなかつた。黙々とひたすら突入だ敵の胸ぐら深く躍り込み直接七首を懐らにつきつけるわが海軍傳統の夜襲戦術を敢行しようとするのだらう。夜光塗料で青く光る測程儀の指針は高速を示して〇〇ノット、既に速度は全速に近い。敵は全砲門を開いた模様である。齊射間隔〇〇秒乃至〇〇秒といふ速度で、彈丸雨飛形容はそのまま、しかし目茶苦茶の亂撃だつた。電波探儀のみを唯一の頼りに、くらがりからする闇夜の戦法である。この時わが襲撃部隊司令官は眉を揚げた。更に敵陣深く突入後一舉に敵を屠れとの命である。常かくも端的に照明された上は、それも當然であつたかしの。閃滅する敵砲の火焰は、はるか水線と覺しいあたりを横に連なり、そのまま高速で南に西へ移動してゐる。だが更に美事な場面が展開されたの果してその敵は？ 照明彈は、密雲を縫ひ、敵の頭上にパツと碎けるま

で、息をのむ一瞬があつた。やがて炸裂した照明彈は、暗雲を背景とし、いくつも中天に吊され、放射する強烈な白金の光は白晝宛ら、これから激闘の展開される海面を事もなげに照らしてゐる。さらけ出された敵は距離〇〇、十隻あまり連なる驅逐隊一番艦は濛々たる煙幕を張りめぐらせて他の一隊は我を挾撃の態勢をとり、速力三〇―三五ノットの高速で南西へ疾走して居た。敵は島陰である。南東風は島の沿岸に垂れこめた層積雲をつくり、或はスコリルして居るのでもあつたか、味方より望む視界はさだかでない。しかも勢力は我が〇倍、状況は先づ我に不利とも見られた。だが我方は最高指揮官のもと、闘魂は一つに燃えだぎつてゐる。―打ち方始め

―發射始め

待ちに待つた命令は砲雷同時戦であつた。旗艦〇〇は先づ敵巡洋艦陣の先頭、大巡に向け第一發を送る。時に二日午前〇時〇分―

ああこの一刻の戦闘のため、如何に長い猛訓練があつたことか、つるべ撃ちの砲彈も、敵艦に吸はれて行く魚雷も、さながら生ける命あるやうに照明されてからの敵砲撃も、しかし一段と激しさを加へたやうである。かくも端的に照明された上は、それも當然であつたかしの。閃滅する敵砲の火焰は、はるか水線と覺しいあたりを横に連なり、そのまま高速で南に西へ移動してゐる。だが更に美事な場面が展開されたの果してその敵は？ 照明彈は、密雲を縫ひ、敵の頭上にパツと碎けるま

上つたではないか。それは高くしかもゆつくりと空に伸びていつた、照明彈下夜目にも鮮やかなその水柱はしるがねの色をキラキラと輝やかせる艦の長さの四、五倍に達したかと思はれるころ、しばらくそのままでどまりやがて靜かに崩れていつた。魚雷命中であつた。そこへなほも砲彈が叩き込まれたらしい、二番艦が眞紅の焰を吹き上げた、と見る次の一瞬、忽ちにして轟沈し、三番艦からは猛烈な黒煙を吹き出し、鋼鐵は青白い焰をあげて融け、間もなく一番艦と同じく海面から姿を没して行つた。

既にして大型巡洋艦三、驅逐艦二は完全に轟沈して葬り去られた。その他或は炎上し、撃破されて、うすれ行く照明彈の光のもと、闇の海上にのたう大型巡洋艦一、驅逐艦二の惨めな姿もあつた。

―打ち方止め―

攻撃は僅か〇分間であつたが、〇倍の敵に與へた豫想外の戦果である。しかし勢ひに驅られての深追ひは、戦法として凡そ愚なるもの―目的はすでに達せられた。

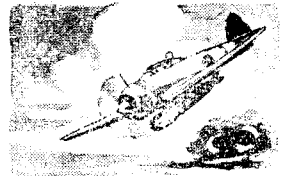
―面舵、〇〇度―

諸方に突上する敵艦を尻目にわが艦は一方の回頭である、艦首がサツと白波を被つた、しかし敵はこれで見えなかつた。打ち方止めのかかる寸前、わが〇番隊一番艦の狙撃の巨雷は驅逐艦としては大いなる巡洋艦級一隻を一撃のものとし、とめたのである。そして直ちに左側〇番隊に遅れ見たの反轉も水際立つた武者ぶりに見えたが、ここに面白くは弱者の心理であつた。我れ進退と見るや、それまで逃げ惑つてゐた

敵艦隊の群が、ざわざわと後に迫つて来たのだ。この時わがしんがり

明ければすでに二日朝、基地〇〇に

島沖航空戦記



第一航空戦

空母二隻その他

南太平洋〇〇方面

八方に擴げた索敵の網は遂に無駄で

居合せた記者が眼に見、耳に聞いた

ありまさんので私は目の前にぐうつ

飛行長の謙惑は當つてゐた、操縦員

は右肩貫通銃創、電信員は壯烈な機

機、大型空母が轟沈したあの刹那こそ敬愛する指揮官の姿を失った瞬間であることを部下の海鷲達はその夜更けに深く識つたのであつた。

敵艦橋吹飛び大爆發

南太平洋〇〇基地

仁木海軍報道班員

これは當日の攻撃に参加した急降下爆撃隊員に聞いた攻撃概報である。

急降下爆撃機隊と戦闘機隊に出撃命令が下つた。十一月八日早朝である昨日も一昨日も攻撃待機が下令されてゐながら目ぼしい敵船團の攻撃もなく、俾肉の嘆を叩つてゐた爆撃隊は時時ブーゲンビル島敵揚陸點附近に大船團現はるの報に「それつ、一兵も餘すな」とばかり搭乗員が我先にと愛機に飛乗つた。〇〇キロの爆撃をしつかりと胴腹に抱き込んだ爆撃機が〇秒毎に鮮やかに發進して行くすでに基地上空を爆撃隊と直衛の戦闘機隊が堂々の鷲翼を張つて進撃に移つた。胸ときめかきさずにはゐられない。戦連連合の大編隊が白晝の強襲を敢行するのだ。やがて廿分、廿分と過ぎた。巨大尉は〇〇隊の先頭をきつて〇〇機の急降下爆撃機を従へて目指す敵船團の上空に急いだ。天候は幸ひ概ね晴、翼下に去來する断雲の間に波一つ見えな、青海原が何處までも續いてゐる。高度〇〇、速度計の針がびたりと〇〇節を指して動かない。もう左手遙かにブーゲンビル島が断雲の間に巨大な姿を横たへ、あと〇〇分で戰場到達だ。戦闘機隊がぐつと速力を落しながら急

撃に來る敵機に鋭い警戒の眼を光らせてゐる更に五分過ぎ十分たつたら突如、傳聲管を流れる偵察員の聲がかん高く響いた「ゐたッ、敵船團だ」見よ左翼下に敵上陸地點トロキナ岬沖二キロメートル附近を巡洋艦、驅逐艦に護衛された輸送船〇〇隻が速力十五節で出港してゐるではないか。攻撃隊はトロキナ岬を高く見下した、すると更に同船團南東三キロメートル附近に眞白な航跡を残しながら全速で同船團に近づかんとしてゐる。絶好の攻撃目標だ、幸ひ敵艦船上空を遮る雲もなく附近一帯に雲高千メートル、雲頂五千五百メートルの層積雲が漂つてゐる。敵部隊発見に成功した攻撃隊は更に進路を南西にとりぐつと大きく左に旋回カゼレ灣を右翼下に見ながら遂に突撃が下令された、時に〇〇時、直衛の戦闘機隊がさつと編隊を解いて全速で北東へ飛去り初めた。雲間から二段三段に分れた敵戦闘機群が風の如く爆撃隊目掛けて殺到して來るのだ。敵戦闘機の始末を味方直衛機の戦闘に任せてぐんぐん急降下進路に入つて行つた。爆撃隊の一群が雲間を突破して高度〇〇から機首を眞直さまに突込んだ瞬間の防禦砲火が一齊に火を吐いた。敵艦橋の高角砲やボムボム機銃が狂氣の如くが射撃を浴せて來る。たちまち大空が眞黒になつて弾幕が爆撃隊の前左右を包み、眞赤な曳尾弾が目も眩むばかりに弾幕を縫つた。攻撃隊員は齒を喰ひしぼり眼を血走らせながら得意の急降下爆撃に移つた。爆撃機がい

敵艦と刺違へに決死の雷撃

南太平洋〇〇基地

西尾海軍報道班員

以下第二二次航空戦の歴巻である戦艦四隻撃沈の大殲滅戦の開始前から終局まで觸接機として觸接を續け巧みに僚機を誘導してこの大戦果を挙げしめた五飛曹長をはじめ同航空戦に参加した五飛曹長、M飛曹長、五上飛曹長殊勲の海鷲から親しく聞きあるひは同基地にあつて記者が自ら體験した見聞である。

敵大船團見ゆクの飛電に俊敏率の如き急降下爆撃機が戦闘機とよもに一大編隊を作つて〇〇基地を飛び立つたのが八日の早朝〇〇時〇分、記念すべき殲滅航空戦の幕を切つて落された、固唾をのんで待つこと〇時間攻撃隊からの無電は、巡洋艦二艘沈没輸送船一撃沈の快報を傳へる、續いて、巡洋艦〇隻炎上しつゝあり、〇〇からの無電だ、そして〇時間過ぎた、〇時〇分途に待望の飛報は來た、敵大船團見ゆ、戦艦四隻、巡洋艦八隻、大型驅逐艦四隻、緊張の氣はサツと基地上空を覆ひつゝんだ、モノ島にあるひはブーゲンビル島に上陸し、先のブーゲンビル島沖航空戦にわが海鷲の好餌となつたといはへ空母をすら出動せしめつたといはへは鑑み戦艦の出現も豫想されないで足はなかつたが、その戦艦がしかも四隻も出現したのだ。相手にとつて不足はないやがて下された雷撃準備命令基地はまさに緊張の極に達し、地上員が心をこめて調整した魚雷は次々に雷撃機の胴腹にしつかと抱かれて行く。

〇時〇分觸接機出發、續いて各攻撃機隊が〇〇分の間隔をおいて離陸する、機上から日の丸を振つて地上の見送りに應へるものもあれば拳を固め腕をたゞきつゝ行く海鷲もある、一艦と一艦との刺し違へといはれる決死の大攻撃に出で行くといふ悲壯さは微塵もない、ただ不足ない相手〇時間後には居り得る喜びに欣喜しつゝあるのである。

觸接機は〇時〇分豫想戰場上空に到達した。だが敵は見えない、進路を變更して更に前進すること〇分、ゐた、單縱陣にまぎれもない戦艦四隻、兩側に護衛の巡洋艦、驅逐艦を從へ流石堂々たる陣容である。しかし不思議なことには上空掩護の戦闘機は一機も見えない。戦闘機の交代のあひ間なのか。しかしこれぞ豫想外の幸運である。後継の雷撃隊へ、敵見ゆ、位置〇〇角の〇〇度、〇〇混針路〇〇度、連力〇〇ノット、飛電は發せられた。かくて待つこと〇分、はせつた第一攻撃隊が敵の右舷から殺到して行く。觸接機に觸接されてゐながらもわれの攻撃を豫想しなかつたのか、この第一撃は敵には餘程の奇襲であつたらしい。あわてふためいた防禦砲火がおよそ無意味な方向を向いて火を吐き續ける。雷撃隊は悠々と各自の目標に向つて進む、發射、雷撃機は波に下り水煙りを擧げて魚雷は波に下りそこから一筋の白線となつて敵艦に吸ひつけられるやうに誘導する。そしてその白線が、敵艦側に激突したところに、チカリと閃光がし、ついで艦橋を蔽ふ水柱が立ちあがる。命中、敵の船尾はグツと落ちた、〇〇ノットの高速で走る敵の艦尾に

渦巻いて伸びてゐた。航跡(ウエーキ)も伸びなくなつた。しかし敵艦は流石に左右に傾くこともなく攻撃を終つて退却する雷撃隊へやうやく熾烈な砲火を送りつゝある。南海の黄昏は短い。文字通りつるべ分の早さである。第一攻撃の〇〇分のは既に薄暮の時期は過ぎてゐた。だが天佑なるかな、十日の月があつた、高層雲に遮られてゐるとはいへない艦型を識別するのは苦勞するやうな暗さではない。忽ち船團を發見した編隊はばつと散開して敵艦に躍りかゝつた。

出發の際に、一番機だから俺が先頭だ、防禦砲火は全部引受ける、そのすきにゆつくり照準して雷撃せよと訓示した編隊長野阪大尉は機尾の燈を点じたまま突込んで行く。危険はもとより承知なのだ。直接言葉を送へることの出来ない部下に自らの所在を明らかにして無言の激勵を與へようとする。武將の親心である。感奮した列機我劣らじとこれに續くさきの奇襲に目を覺したのか、今度は敵の防禦砲火を極める。例のボンボン砲はもとより主砲までが砲門を開いて我を邀へ撃つ、第一次攻撃の際あさましくも親船を捨てて遁走した駆逐艦も左舷遠く身を躲しながらかも砲火を集中する。攻撃隊を交點に文字通りの十字砲火だ。

しかも雷撃隊は一糸の亂れも見せない。戦艦の姿が夜目にも非常な速力で引きよせられる、高い艦橋がまさに雷撃機にのしかゝるかと見られる一瞬魚雷發射、雷撃機は甲板すれすれに敵艦上を駆けぬげる。その時〇番機、〇番機が眞紅一丸の火となつ

てその上に自爆する、見かへれば〇百メートルに達する火焰が火となつた。鐵片が夜空をつんざいて飛散する。流出した重油に火がついて周囲はまさに火の海である、その中に斷末魔の敵艦が見苦しくも身もだえし敵兵が右往左往する。

第二次攻撃隊の雷撃で炎上した火災は大きかつた。〇十哩を隔ててすら望見し得る大火災であつた。しかし流石は戦艦だ。第三次攻撃隊が突入した時なほのろのろながら運動を續けその防禦砲火は殆んど衰へを見せなかつた。だが第三次攻撃隊のとどめの猛襲をうけ各艦〇本以上の魚雷をうけてはなんぞうたまるべき。

〇分のち一番機が紅蓮の焰も天にどくどくばかりに噴き上げたのを最後に巻き起る大渦の中に姿を沒した。これに續いて二番機も轟音とともに二つにふき割れてソロモン海の藻屑とかき消えて行つた。三番機は最も激しい火焰につつまれ、のたうち廻りつゝも生をつなぎ續けてゐたが、

〇時間の大火災に艦内全部を燃えつきたかと思はれるころ消えやうに三番機遂に撃沈の報が入つたのはすに八日もあと〇時間をあますのみとなつた〇時であつた。しかしこの大戦果の尊い犠牲を忘れてはならない。野阪大尉をはじめ自爆未歸還廿機、敵が暴をたのみに反攻を續ける時一人一人が國寶とも最大重寶である飛行機、その〇〇名を失ひ、その甘機を失つたのだ、それは小さい損害ではない。

〇山を超低空でかすめるかと思はれる間にノースアメリカンの青い機體が眞赤な火を吐いて迫つて来た「銃撃だ！」防空壕に飛込むと見る間にカラカと不気味な音がした。

「敵さん、氣味を棄てるのかない」聞のなで誰かが囁いた、グシングシン爆弾の炸裂する地響きが次第に近寄るかと見る間に「ズボン」と腹に響くやうな音がすると、防空壕が大地雷のやうに揺れた炸裂音が遠のいたと思ふとまた近寄り、防空壕を瀕りに揺する。機銃掃射も盛んである。長いやうな短かいやうな時間が終つて南半球の蟬がジジジーと鳴き初めた、防空壕から出て見ると高角砲の名残りの黒い斷雲が明るく碧い空にとけかけてゐるだけで、敵機の影も友軍機の影も見當らなかつた一體どういふことになつたのか、さつぱり分らぬ。

碧い海に白い渦紋

やがて南の空にばつと黒點が染め出された點が次第に増して編隊となり艦音が聞え出した、〇〇飛行場を一周した戦闘機隊の編隊は解散して着陸姿勢に入つた、思はず足が勇んで馳け出した。飛行眼鏡をかけている顔は誰とも分らぬが機上で指を二本立てて笑つてゐる、次は一本指を次に片手と一本だ、〇〇中尉は翼に日の丸程の大穴を開けながらも元氣で降り立ち指を三本立ててあごひげをどいた。大した戦果である。報告を終へた〇〇中尉が「やつたです」と笑ひながら交々語つて呉れた

た。時はぐんぐんと経つて行く、空襲警報が發せられてからも相當の間が経過した時だ。

空の果に大空中戦

〇山を超低空でかすめるかと思はれる間にノースアメリカンの青い機體が眞赤な火を吐いて迫つて来た「銃撃だ！」防空壕に飛込むと見る間にカラカと不気味な音がした。

「敵さん、氣味を棄てるのかない」聞のなで誰かが囁いた、グシングシン爆弾の炸裂する地響きが次第に近寄るかと見る間に「ズボン」と腹に響くやうな音がすると、防空壕が大地雷のやうに揺れた炸裂音が遠のいたと思ふとまた近寄り、防空壕を瀕りに揺する。機銃掃射も盛んである。長いやうな短かいやうな時間が終つて南半球の蟬がジジジーと鳴き初めた、防空壕から出て見ると高角砲の名残りの黒い斷雲が明るく碧い空にとけかけてゐるだけで、敵機の影も友軍機の影も見當らなかつた一體どういふことになつたのか、さつぱり分らぬ。

碧い海に白い渦紋

やがて南の空にばつと黒點が染め出された點が次第に増して編隊となり艦音が聞え出した、〇〇飛行場を一周した戦闘機隊の編隊は解散して着陸姿勢に入つた、思はず足が勇んで馳け出した。飛行眼鏡をかけている顔は誰とも分らぬが機上で指を二本立てて笑つてゐる、次は一本指を次に片手と一本だ、〇〇中尉は翼に日の丸程の大穴を開けながらも元氣で降り立ち指を三本立ててあごひげをどいた。大した戦果である。報告を終へた〇〇中尉が「やつたです」と笑ひながら交々語つて呉れた

た。時はぐんぐんと経つて行く、空襲警報が發せられてからも相當の間が経過した時だ。

空の果に大空中戦

空襲滅戰記

南海に消える敵

大編隊

南太平洋〇〇基地 齋藤桂海軍報道班員

戦艦連合二百数十機、勢に傲りラバウルの椰子の葉末にもれる碧空を埋め盡して來襲した敵大編隊を邀撃、一閃その百七十四機を南浜の海に確實に撃墜、白煙を曳き或は火を發し倉皇と編隊を離れてしまふ不確實二十七機を加へると一日にして實に二百一機撃墜の大戦果を挙げたのであるが、これは大東亜戦争開始以來の最大航空空襲滅戰であらう十一月二日午前十一時十五分ラバウルに空襲警報が鳴響いた時、敵が如何に満ちたる自信を持つてゐたかは超低空の突込みに現れてゐた、だが約一時間後基地のラヂオには敵が敗北の極、しきりに打ちまくる電波が「ビビピー」と美しい音楽のメロデーをぶち壊してゐた。

ソロモン島の激雷が刀の切先きとすればラバウルは血の鏝元となる、されば日米必死の血闘が凄じくなれば、激しくなる苦である、ラバウルが久方振りに敵の大空襲を受け出したのは十月の十二日この方である。百機、二百機の大編隊が遙かな高空を金屬的な爆音を響かせつつ時折り通り過ぎては鼠の糞のやうに見える

黒い爆弾をばらまいて行くしかし、いつも被害は驚く程少い。かうした状況の下に遂に敵にとつては宿命的な十一月二日の朝が訪れたのであつた。悠々たる待機 この朝九時すぎP38三機がかなり的高度で長く長く飛行雲を曳きながら〇〇飛行場の上空に現はれて〇〇山の彼方に消えた。

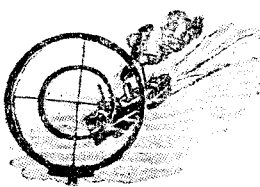
「敵さん、氣味を棄てるのかない」聞のなで誰かが囁いた、グシングシン爆弾の炸裂する地響きが次第に近寄るかと見る間に「ズボン」と腹に響くやうな音がすると、防空壕が大地雷のやうに揺れた炸裂音が遠のいたと思ふとまた近寄り、防空壕を瀕りに揺する。機銃掃射も盛んである。長いやうな短かいやうな時間が終つて南半球の蟬がジジジーと鳴き初めた、防空壕から出て見ると高角砲の名残りの黒い斷雲が明るく碧い空にとけかけてゐるだけで、敵機の影も友軍機の影も見當らなかつた一體どういふことになつたのか、さつぱり分らぬ。

「どういふんですかなーあのP38といふ奴は煙も吐かず火も出さずにすばんと海に落ちたのが大分あつたがね、とに角飛行機の胴體の間から青空が見えるからおかしな飛行機だ敵は上手ぢやないが編隊を仲々くづさぬ、三機合計十五挺の機銃に眞赤な火を吐かせながらぐうつと廻るところなぞは一才立派なのだつた、しかしよく落ちましたよ、全く、さうさう光りながら矢繼早に落ちましたね、碧い海の到る處に白い渦紋が出来ましたよ、みんな敵機の落ちた跡ですよ、あれは何處の隊か知らなかつたが、すぐかつたです、火を吐いたなど見る間に旋回して敵の隊長機に體當りしましたよ、ばつと火が散つたと思つた時、敵機がばらばらに分解して落ちました、えらい奴ですなあれは」話す間にも一機、二機と續々着陸して来る、一文字に横ぎる編隊は他の飛行場に歸投する戦闘機であらう。みなそれぞれの獲物に風防の中でつこり笑つてゐた。

死を超越した操縦

基地に二機が並んで歸投して来た、飛行場の手前で解散したかと思つて林に土煙をあげた。救急車が走つて行く、他の一機は無事着陸した、かけよつてみるとその搭乗員は全く解せない顔をしてゐた。いままで元氣だつたんですよ。〇〇一飛曹は歸途手先き信號で機體を點檢してくれといふので私が點檢し異常なしと信號すると今度はわしの機を見てくれて異常なしと知らせしてくれました、それからわしが二機落ちたと知らせると指を一本立て「残念さうな顔をしてたんですかね救急車で運ばれて来た

南海上海輸送戦



有平太洋電線〇〇基地 佐藤・藤田・山田・同盟派員

〇〇一飛曹は既に靖國の英靈であつた。しかも日の丸の鉢巻をきり、としめた後頭部には機銃弾が貫貫射創でつきまゝつてゐたのである、どうして今まで生きてゐられたのか、軍醫長も首をかしげるほどの傷であつたら大切な飛行機を持つて歸らねばならぬ、この精神力だけが死の操縦を續けさせたのである。〇〇中尉が敵二機を撃墜した後に敵隊長機とさしちがへて壯烈な最後をとげたとの報も聞もなく入つて来た。各隊の戦果がどんどん集まつて来る、在泊艦船もおびただしく撃沈してゐる、開戦以來の大戦果なのだ。

渺茫たる南海の果に海上輸送戦を闘ひつゝある船舶部隊の勞苦は限りなく、その勤しは大きい、この薩の功績と、言語に絶する勞苦の数々があまりに船長に知られてゐない、現地にも統後には知られてゐない、船員もそれに特に船舶部隊の隊長及び〇〇參謀の出席を得て、「南海海上輸送戦」を語る座談會を開き、この方面の海上補給戦の特異性をきき、その大きな役割をはつきりと認識した、以下その談である。

船舶關係〇〇部隊長 南海方面の特異性について述べたい、第一に内地とは全く逆の行き方をしてゐることだ、例へば平時では船は晴天を希望するのだが當方面では悪天候を希望する。晴天では敵の飛行機が絶えず哨戒してゐて發見次第銃爆撃されるからだ。荒天は敵の飛行機も飛ばない、敵機に空襲されるよりも荒天と戦つた方がいいと皆語るのだ、次は船の修理をする處がない、一航海してどこか故障があつてそれを修理する機關がないため、非常な無理をしながら次の航海に出て行く、まだ海圖が整備されてゐないことも苦しいことだ、大型船が然りだから小型の漁船、機帆船はもつと困る、凡ては日本人獨特の第六感に依つて危険な航海を續けてゆくばかりだ、その他南海は珊瑚礁が多く、それを見分けて航海する勞苦、小型船では觀測機もなく暗夜の航行に方向を誤る危険、水先案内のゐない不安な航行等々南海の航行の勞苦は實に涙ぐましいものがある。

〇〇參謀 國運と船舶、之を一言にして言ふと船そのものが國力だ、その大事な船を敵は夜も晝もひつきりなしに狙つてゐる、その危険を冒して船員は運輸に従事してゐるのだ、敵の軍艦、飛行機、潜水艦その他未知の危険が船が内地の港を出たときから常時くつついて離れない、しかもこの南太平洋戦線ではこの危険は更に大きい、それだけに他の方面に較べて一隻が果す役割のこの方面程大きいものはない、だから一時間でも一分でもこの大事な船を遊ばせて置くことが出来ない、この常時の危険に對していかにしてこの危険を防ぐかといふ對策が講ぜられて海軍力も敵機は照明彈を投下して絶えず執射砲の設備も要るのだが、船は船自身で兵装する、單獨航行のやむを得ない時直接船に向つて来る敵機に對しては貧弱な兵装ではあつてもこれに射撃を加へねばならぬ。また平時では甲港から乙港に向ふ時眞直に航路を取るのだが、こんな航行をしてゐたらすぐ敵に發見されるので「之字」運動(ジグザグ航行)を絶えずやらねばならない、そのため三日かかる處は五日もかかるといふ様に勞苦は多い、又航行中は襲撃された場合を何時も考へてどんなに暑い時でも救命具を身に着けてゐるやられた場合はかうするのだと精神ばかりでなく、形の上でもかうして救命具をつけてはつきりと常時に準備してゐるのだ、この危険を通り抜けて無事入港すれば、ここでは、また時間的に制限されて、その制限時間内に荷役を終り船を空っぽにして歸らねばならない、將に不眠不休で揚陸作業に従事するのである。ここでは朝も晝もなく、船が入つて出るまで、たとへば空襲があつても、ほとんど揚陸作業を續けてゆくのだ、次に次第に敵に近づくと從つて妨害も激しくなり、敵の海上艇が執拗に攻撃を加へて来る、内地を出港したある地點迄は大型船を持つて来ることも出来る、それから先は漁船、舟艇と小型になり、しかも晝間は島蔭にびつたりと横づけして身を隠し、夜に機動輸送を行ふのだが、横から見れば壁になつて見えないと思つても、上から見れば天井がなく、敵機に襲撃され、身を隠す處もない

一方かうした危険に曝され乍らも敢然闘ふ船員生活はどうか、このやうな勞苦の中にある船員だから、その待遇はさぞいいだらうと誰もが考へ勝ちなのだが物養生活も、また時間的にも決してその様に報いられてはゐないのだ、航行中の來襲は昔關所を通る時の様に一時的なものではなく、港を出て港に歸るその長い間常に危険の中に國の責を預つて苦闘してゐるのであり、しかも港々では時間仕事で上陸して少くも休む暇とてない、食物も腐敗しないものはあるが、副食物といつては乾燥野菜のほかは食べものも少ないのだ、この一身の利害を顧りみず船に乗るの唯一とへに國家のためだ、今南太平洋戦線の運命を擔ふものは補給戦であるのだとはつきり知つて挺身するとの闘魂があるからだ、この船員の任務を理解し、この船員の活躍に感謝して統後は深い愛情を示さねばならない。

そしてその愛情を船に注ぎ、一枚の慰問文でもいい形で示して戴きたいと衷心より統後にお願ひする

〇〇九船長坂本庄一氏 私達はこの方面に來て愈々其の輸送戦に臨んで、一身を賭してこの輸送戦に臨んで居ります、軍需品を積み、兵隊さんを乗せて、この海上輸送に當るといふことはそのあまりの責任の重大さに壓倒されるのですが、しかも敵の妨害は執拗で果してその任務を完遂出来るかと心配するので、そして唯

頼むのは神佛の加護なのです、無事に任務を達成出来るよう私は出港に先立つてお願ひするのを常として居ります、そのため私は出港するときには船の重要書類は凡て陸に揚げて持たないのです、先刻部隊長殿は内地では晴天を祈るといはれましたが私達は港を出るときどうぞ時化てくれようにと祈るのです。

勿論スコールが来れば前方が見えず船長は、どれ程苦勞するかわからぬのであるが、飛行機に見つかるよりもどんなに助かるかしれません、そして出港したが最後、船長は絶えず船橋にあつて自室に歸ることなく、航海中は一睡もせずに見張つて無事にこの大事な輸送任務を達成出来る様にと願ふのです。

○九船長相馬嘉藤治氏 ○月五日の沖南四十七哩の地點で敵ボーイングに襲撃されたときのこと、我々の船はデーゼル船なのでエンジン音の爲敵機の爆音が聞えず機影を見ないといわからず、わかつたときは爆弾を落されてゐる時だ、恰度此の日午後一時五十分それぞれ「之字」運動をとりつあつたが、突然背後から低空で來襲して來た、私はこの敵機と共に右針路ととりつあつた操舵手に「右一杯」と大きく命じたと殆ど同時に敵の爆弾は左側に落下してゐたそれはほんの一瞬の差で危なく直撃弾を避けて至近弾で済んだのだつた。

若しこのとき敵襲に操舵手が度々失つて右一杯に舵をとつてゐないとしてたら船はそのまま沈んでゐたに違ひなかつた、至近弾の破片でこの越田盛照操舵手は悲しくも吹き飛ばされ、操舵室は血と肉が飛散し、慘状を呈したのだつたが、越田操舵手の死んでも舵を手放さぬ責任感、よく船を救ひ、同時に貴重な輸送の役目を果たしたもので今でも戦友の語り草となつてゐる、例へばかうした奮闘美談は、この方面の輸送戦も亦苦烈であるだけ數多くあり、日本海軍の輝かしい傳統を發揮してゐることに輝かす。

○九船長中平久次郎氏 私船は○から○へ往復五回目的航海中至近弾を受けた空襲は實に十二回といふ執拗な米機の攻撃を受けたのですが○月○日午前九時四十分ノースアメリカン三機の來襲の時一等運輸士が不幸敵弾の盲貫銃創を受けた後更に午後十二時三十分にはボーイングの襲撃を受け執拗に四五回旋回した後連續三發の爆弾の中一發はアテナを破壊しその破片で水夫長は右脚を切断されたが、水夫長は船の安否を氣づかふとともに部下はどうしたかと自分の身體のことは云はずにそればかり氣にしてゐた、その心に泣いたのですが、實にかうして船員の一人々々が輸送戦を戦つてゐるのです。

船中○部隊長山清治郎曹長(宮城縣出身)この方面では珊瑚礁が實に多く、一寸でも油断すればすぐ坐礁する、私は故郷で漁船を操つた経験を持つてゐたのだが、あの内地を航海するとは全く異り、實に緊張の連続であり、しかも對飛行機の監視見張りなど、一刻の餘裕もない、しかもこの戦ひを、兵隊達は死生を超越して黙々と遂行してゐます。なほ最後には銃後に送る言葉をきいて戴きます、我々第一線は必勝の信念に燃えて戦つてゐる、銃後も何かと不自

由もあると思ふがぐつと耐え忍んで最後まで我々を信じて銃後の戦を戦ひ克つて戴き度い、我々は今朝夕戦の寸暇を惜しんで野菜を作つてゐるが私達は誰もそれを食べ様としない、之は後から来る部隊の爲に大事に取つてゐるのです敵をやつつける爲に後から後からと銃後の青少年が何時來てもいい様に取つてゐるのです

ムンダ戦血闘記

南太平洋○基地
佐藤、福島、山田、川井、島田、同盟特派員

杉浦突撃隊の奮戦

決戦死闘のムンダ戦場にその名を轟かして凄烈目をおぼはしめる最後を遂げた杉浦勇中尉(愛知縣碧海郡知立町出身)の奮戦こそは皇軍將校の眞面目を發揮して餘りあるものであつた、この名隊長の下に弱兵はなは常に先頭を切つて突進する杉浦隊長の直ぐ後を部下はガツチリと肩を組んで従つた。

敵中に突撃することまきに九回、隨所に敵兵を捕捉してこれを殲滅し敵の心膽を寒からしめた杉浦隊の戦ひを、杉浦中尉が最後の息を引取つたその最後の戦闘を共に戦つて笑いた今井利喜助曹長(函館市千代ヶ岱町)に聞く

××無名高地(杉浦臺)奪取の血戦

米軍レンドベ島上陸當時ムンダ岬第一機橋確保に當つてゐた杉浦部隊長以下が敵反攻の第一線正面の日記臺(馬蹄山)後に錦成山(東方二軒)の線に出動したのは七月十三日だ

敵は日比臺の後方馬蹄山山麓に出撃が重つて背後に迂迴して敵陣西北部の豫定地點に到着したのは午後八時二時間行軍して歩いた里程は、驚くなれば五百米、この進撃の勞苦は大にかつた。

「いいか今夜の夜襲であの高地を奪取するんだぞ」杉浦隊長の囁きのなみ清らかな聲が靜かに全身を傳はる敵前二十米銃聲は二發射された。後方わが○砲と機關銃との協同攻撃が事前打合はされられてその突撃の合圖なのだ途端に友軍の火砲は火を吐いた。「今だ突込め」と杉浦隊長の命令一下、敵陣突撃は密林を壓すの喊聲とともにドドと開始されて行く、不意を突かれて敵兵は退路を遮断されたと連断して遮二無二射ち返して來た。敵の八連發小銃、自動小銃、水冷式機關銃と約三百の敵兵は取と決つた、この無名高地こそ敵と友軍と奪りつ奪られつた重要地點である、夜襲だ覺悟は決つた。靜かに夜を待つ。午後六時、杉浦隊長は先頭に鬼部隊の前進は開始されやくて思ひ出したやうに敵砲撃が耳朶に響いて來る、その中を敵に悟られぬやうに靜かに眠る一木一草の騒ぎも生ぜぬやうに周到の注意の中に進んで行く、敵斥候隊は密林のどんな處にもある。何時敵の暮合の中にぶつかるともわからない。それは苦心の進撃だ。暫ら進んで連絡道路に

出た。そこを通る途中地面を這つてゐる黒線は敵の張り廻らした通信網だ。土地を這ふやうにして突き進む兵の手足にからむ。これらの線は隊長の命によつて寸断されたのは十三本、こうして何米進んだか間もなく停止の命令があつて敵偵察の斥候が前に出た。前進、停止、この數回

この激突は六回、惡戦と苦闘の末、この無名高地を奪取したのは翌日の午後三時であつた。この三百の敵に突込んだ我が方は僅かに五十名だ、この數倍の敵を壓倒して高らかに凱歌は擧つたが廣い密林に殘敵掃蕩の役目が残つて此處彼處には小さい戦場が小止みなく續いてゐるこの掃

薄戦の最中に後方の〇〇部隊命令が
杉浦中尉の許に來た「無名高地の奪
取成功は悦ぶも僅少部隊の確保維持
は難し速かに本隊の位置に歸還すべ
し」受取つた中尉の心境は悲痛だつ
た。幾多の尊い犠牲を出して今占領
したこの高地を棄てて隊は去らねば
ならぬ。敵三百は殲滅はしたけれど
隊は今歸へる。押へきれぬ愛着をこ
の高地に感じつつ隊長はふり返へり
つつ〇〇部隊に歸つた。だが杉浦隊
長以下の奮戦は無名高地を杉浦隊と
命名して永久にその偉勳は刻みつけ
られたのである。この戦闘終つて〇
〇部隊豫備隊としての後方警備の任に
ついた杉浦隊がこの線に當つて企畫
した作戦は敵の後方遮斷、擾亂、通
信網破壊の突撃挺身隊だ、そして、
其計畫は次々と實現されてゆく。

敵陣擾亂の奮戦

第一回―七月十四日先づ選ばれたの
は今井利喜助曹長と松浦圭三上等兵
の二名、夜になるのを待つて敵偵察
に出かけた。日比臺左方七百米の
距離で敵電話線を発見、これを切断
すると間もなく敵の夜間射撃があつ
た。その彈丸は敵陣地に落下して行
つた、不意の砲撃に敵陣の混亂はそ
の極に達した、電話線は切断された
敵砲陣は敵味方の見當を失して敵同
志の中に砲彈を落して行つた。これ
を目撃して陣地に歸つた今井曹長は
この旨を〇〇部隊長に報告した「ウ
ン、いいことを知つた、からした砲
撃のある毎に敵電話線を切れ」巧み
に敵の缺陷を突く指令である。

續いて第二回が出た

十五日夜神谷伍長以下二名が出撃
したが敵の捜査隊と遭遇し負傷して
歸るとすぐ敵の砲撃があつた、そこ

で早速敵の電話線を切断すべく第三
回の今井曹長と松浦上等兵が再び出
撃し奥へ奥へと進入しつゝ敵線十六
本を切断したこの時だつた、約三十
名の敵保線隊がガヤガヤと我方へや
つて來た、すぐ附近の密林にかくれ
た。敵は何も知らずだんだん近づき
その二、三名が切断された處を修理
し残りはそれを取らぬと守つてゐる
今井曹長と敵兵との距離は僅かに二
米、目と鼻だ、観念して今井曹長は
手榴彈と拳銃を握りしめ、松浦上等
兵は鹵獲した敵八連發銃を持つて發
見されたら射つて出でんと待構へた
だが幸運にも敵は何も知らずこれ
を工事して歸つて行つた。そのとき
兩勇士は目の前にゐる敵兵を各自一
人づゝ射殺して巧みに姿をくらまし
不意をつかれて進撃して來る敵兵を
尻目に二人は歸つた。

第四回は十六日

杉浦中尉以下十一名出發目的は後
方擾亂、輕機二挺及び敵の八連發銃
四を持つこの夜は敵と遭遇せず敵陣
に對して機銃彈百發をぶち込んで敵
兵を潰亂せしめて敵陣内に突入遺棄
した背囊から煙草罐入、パン、ミル
ク、水の入つた水筒を鹵獲、意氣揚
々引揚げた、當時炊爨に出る者二名
三名と歸つて來ない折とてこの食糧
の確保は偉大な戰果となり士氣軒昂
當るべからざるものがあつた。丁度
此頃敵陣の方向に機械化部隊らしき
騒音あり、此敵情を偵察する爲更ら
に斥候突撃隊を出す事となつた。

第五回(十七日から翌々十九日)

さらに選ばれて今井、松浦の兩名が
乾麵飽一人宛二分づつを用意して
深夜の密林を衝いて出發した約二十
分程歩いて三時四十分、圖らずもぶ

つつかつたのは敵の暮舎此敵に向て
二人の手榴彈は唸りを生じて飛びあ
とをも見ずに更に前進した。そのあ
とには炎々と燃える焔があつた、ぐ
んぐん歩いたが暗闇のジャングルに
道を失ひそのまま密林中に横になつ
て夜が明けてみて驚いた、自分の周
圍には敵が蟻集してゐる動いて草木
を騒がしては氣付かれる懼れがある
まよと思つて再び横になるが
その傍には大膽にもそれを知りなが
らぐつすり睡つてゐる松浦上等兵が
あつた、正午頃約六百と覺し敵部
隊が自分等の前を友軍陣地の日比臺
方向へと前進して行く、之をみて案
じたのは今井曹長だつた、昨夜自陣
を出るときは勿論死を覚悟して之を
友軍に知らずまではどうしても死に
きれない、しかも自分には敵機械化
部隊の正體を見届けねばならない、
今井曹長の決心は迷つたが目指す目
的地らしい處にはもう近い、とにか
く目的を果さう、其處で夜を待つて
再び前進して行つたが、夜間は敵は
動かないのでその爆音が聞えない、
その中に密林を踏み迷つてそこに眠
らざるを得なかつた。明るくなつて
目を覺ましてみるとまた驚いた敵機
械化部隊がすぐ目の前にゐるではな
いかしかもがやがやと人聲がしてゐ
る、じつと偵察する今井曹長のつか
んだものは移動する機械化部隊であ
ること、人聲は機械化部隊を護衛し
てゐるものらしいこと、その正體は
戦車であることだつた、よし、一刻

も早く報告しよう「悦んだ兩人は夜
明けを待つて歸途にいたが、密林
の中ではその方角すらもわからない
想定に餘つてゐる時敵砲陣はどんど

ん打ち出して來た「そうだ彈着の方
向へ行けば友軍だ」そして彈丸の飛
ぶ方へとその足先は向けられてゐた
この途中敵兵三十五名と遭遇した
が、巧みに彈痕の穴に身を隠してガ
ヤガヤと無秩序な隊勢を組んで草原
をゆく敵兵を目撃して今井曹長の胸
は躍つた。松浦いゝか、敵兵をぶつ
殺すのだ」手にした拳銃と八連發銃
は空を切つて敵中に飛びこんで行つ
た一人、二人、三人と彈丸は敵兵の
血を吸つて五名の米兵はぶつ倒れ残
りの兵は周章狼狽兵器を捨て逃げ去
つた、この奇襲に遺棄しあつた兵器
は機關銃一、彈藥は千五百發、之を
後方の我が潜伏斥候兵共とに擔いで
歸る二人の顔色は明るかつた、しか
も之が後にどんなに役立つたか。

第六回は日

杉浦隊長以下八名、目的は切断線を
保護に來る敵工作隊の捕捉、殲滅、
敵陣深く進入した隊長以下は途中十
四本を切断して徐ろに敵の出兵を待
つた、案の定敵兵は三十名、保線工
事にやつて來た、靜かに列をやり過
して機關銃の銃口は火を吐いた、意
志の伏兵に算を亂して逃げる敵兵、
小隊にもこの音をきいて射つて來た
敵兵と手榴彈戦は續いて隊長は不運
にも右前膊骨折貫通の傷を負つたが
敵兵は十二名の戦死傷者を出してそ
のまま潰亂し去つた。引揚げたあと
敵兵は更に大部隊を擁して襲撃して
來たが既に友軍の姿はなくて敵屍を
收容して去つて行つた、敵陣の爲鐵
帽を射抜かれて密林の中に轉んで人
事不省に陥つてゐた機關銃手尾義
雄上等兵はガヤガヤする音に目を覺
すと周圍皆敵、其儘靜に息を殺して
何事もなく敵兵の去つたあとぶらつ

く頭を起して歸つて來たのだこの戦
功が更に七回八回と續いた奇襲戦
があつて九回目が出たらと凄絶な敵
の日比臺攻撃があつて悲壯杉浦隊長
は倒れたのである。

壯絶杉浦隊長の最後

二十七日朝九時頃から戦車七臺を擁
する敵兵は日比臺南東から猛攻撃を
加へて來た敵火砲は附近の密林を片
端から丸坊主にして行つた。盡る處
ない敵砲陣は遠慮會釋なく日比臺陣
地へ集中される、遂にその一角は敵
手中に歸して敵兵はデリデリと兵力
を増加しては壓迫を續けて來る、こ
のとき日比臺にあつた小島部隊長は
僅かに下つてこの敵遊撃の指揮をと
り、部下の杉浦部隊長は約三十名の
部下を率ひて前面に押し寄せる戦車
撃滅の指揮をとつて前田正男、日置
豊吉、林正木、三輪實の各一等兵を
もつてする肉薄攻撃班は直ちに編成
されたこの戦車目がけて突進した、
暫くすると大きなサイレンが鳴り渡
つた、見ると攻撃班の手で擱坐した
戦車が鳴らしたこのサイレン合圖に
敵戦車群はそのまゝ逃げ去るのだそ
のあとには無念殊勳の四名は杖を並
べて戦死してゐた。
その翌二十八日敵は前日に引續いて
全面的な攻撃を日比臺に向つて集中
して來た、敵砲陣のわが掩兵壕への
攻撃は徹底してゐた、敵兵は十名ば
かりで我が掩兵壕を調べに來て何處
にあるかを探りそれを樹上に登つて
監視兵に報知してはその掩兵壕めが
けて集中砲彈を浴せて來るのだかう
して敵はこれを何度も繰返して一つ
一つを目標にそれは確實に叩いて來
るのだ、この日この陣地を死守して
ゐたのは杉浦隊長以下七で杉浦中尉

と今井曹長が同じ壕で防戦、部下の川瀬賢吉、今井圭二各一等兵は一壕に林武夫、山田武夫各一等兵が二の壕に、田口賢策一等兵は單身三の壕に據つて奮戦したのだが何れも敵の傍若無人の火砲弾に叩かれて次々に吹きとんで残るは杉浦中尉と今井曹長の壕だけだつた、この壕の大きさは約一坪、それは大樹の根下に深く掘られてあつた、この悪戦、この苦闘の中で隊長は拳銃で敵兵の影を見付けては狙ひ射ち傍らでは今井曹長が敵砲兵器の自動小銃を銃身も焼ける程ぶつ放してゐた敵機銃は豆を煎るやうに間断なく飛んで来る、壕の中には未だに歯獲した手榴弾が三十發ある、敵の八連發銃も四挺、彈藥もまだある、最後の一彈まで何で敵兵を倒さずにはおほか、それは既に生ける鬼神だつた、中尉の拳銃は既にない、「よし俺も敵産で闘ふぞ」そして傍らの八連發銃を手にした、だがこの銃は水冷式、十發二十發と飛び出す彈丸につれてそれを動かす水がない、小便だ、小便で冷やすのだ、中尉も、曹長も交々出るだけの小便を出してはそれをふる、ふるどジューと音が出る、それで彈丸の續く限り小便の續く限りと射ちに射つた、小便は不思議に面白い様に出る、小便を出しては射つて、射つては出したああしかし、敵の鐵量は敵の兵力は刻々に數を増して來る、「うーん」中尉は流石に決心して左手で書類を全部破り捨てた、そして右手―それは六回目の突撃にやられた骨折のため當て板をしてゐた―その右手からこの板木を取り外して向も勇戦奮闘中敵機銃は無念中尉の腹に突きささつた

「うーん」それはかすかなうめきだつた、と中尉は今井曹長に言つた、「必ず死ぬと吐は決まつてゐるから俺は死ぬ、お前は敵の隙を見て必ず脱出せよ」はつと思つてそれを介抱する餘裕は曹長にはない、敵兵を一人でも叩き殺すために曹長の指は引金を離れることは出来なかつたのだ、「中尉殿頑張つて下さい、この敵はきつと私が追つ拂ひます」そう言葉にして向も銃を手にして闘ふ今井曹長の壕の外にボタリと眞赤な何かが落ちた、はつと傍らを見ると、どうだ、中尉は刀で腹を切り腸をとり出して投げてゐるのだ、そして再び中尉の手に親指大の腸が掴まれて壕の外に投げ出された、そして三度目の中尉は静かに敵の自動小銃の彈丸をとり出した、その小銃弾をとり出してじつと見つめる中尉の顔色、それは實に靜かに平常と何等變らぬ表情ではないか、この彈丸をみつめた後、それを今井曹長に手渡し乍らかう言つた。

「曹長、これは自分を殺した彈丸だからお前持つてゆけ」今井曹長は冷たい思ひの中にこれを受取つた、この彈丸を持つて今井曹長は向も奮戦してゐた、と中尉は正しく坐つて曹長の手をとつて最後の言葉を語つた。「杉浦中尉は一生懸命自分のやれるだけのことを充分果しました、天皇陛下萬歳」この言葉を聞いて曹長は哭いた、そして哭きながら向もひきがねを離すことは出来ないのだ

「――天皇陛下萬歳」それは遙かに宮城を拜して奉告するもの様だ、あゝ中尉は死んで行く浦三省に流れる涙、涙は戦地へ忘れて來た管なの今は押へきれず

に流れ出してゐる、そして杉浦隊長は萬歳を三唱してから四十分して護國の英靈と化したのである。

杉浦三省に泣く

杉浦隊長は今はない紅顔の二十三、四歳だらうか若い青年將校だつた、嘗て隊長は赤道を越えるとき部下を集めて斯う言つた「俺の部隊は突撃に突撃するやうになれば突撃賞をや」それからこの若い將校は「突撃隊長」と呼ばれて部下の信望は厚かつた、そして部下を愛する中尉は「杉浦三省」を作つて夜就寝前に暗誦させた。

一、君に盡して忠なるや
一、父母の期待に背かざるや
一、隊長の教訓に反せざるや
この杉浦隊長の遺訓を心の内で反芻して嘗ての部下は今〇〇基地で米英撃滅に火と燃えてゐる。

アツツ島における山崎部隊の玉碎と皇軍の敢闘精神の發露は敵米英陣營を震撼せしめ「死して後止む」皇軍の傳統を中外に顯揚したが最近ブエノスアイレス同盟特派員の入手した米國大衆月刊誌アメリカン・マガジン五月號は玉碎山崎部隊將兵の火と燃ゆる奮戦振りを次の様に傳へてゐる

米誌の傳ふアツツ島血闘記

次に起るべき戦闘が米軍戦史上最も猛烈且つ最も血なまぐさい戦闘になるといふことは其の當時豫期してゐなかつた

山崎大佐の麾下將兵が米軍との戦闘に於て、戦ひ意の如くならずホルツ灣方面で海空よりする米軍の猛烈な砲爆撃により武器資材を失つた上事と云ふことは既に當時明かな事實であり、チカゴ灣方面の残存日本軍部隊も亦食糧品及び武器彈藥に缺乏を來してをり、死傷者も多く米軍と一戦を交へる兵力は極めて少數に過ぎなかつた模様であつた。而も之等少數部隊の多くは或は傷き又猛烈な戦闘の結果、腕を失ひ或は頭部に重傷を負つた兵士が多數であつた

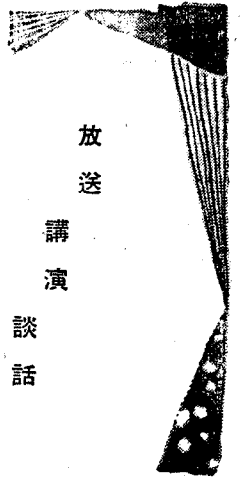
山崎部隊は以前は約三千の將兵によつて編成されて居たらしいが、當時すでに兵力は約六百に減少しこれら將兵は棒の先に銃剣を結びつけて槍を作り、其れ以外には何等の武器を持つてゐなかつた、

山崎大佐は麾下將兵を集めて歩行の自由何者に對しては米軍を攻撃すべし旨の命令を發した、右部隊はサラナ並びにチカゴ灣低地に在る米軍の宿營四ヶ所を攻撃し米軍陣地を突破してマサカル灣方面の米軍砲兵地に突入し同陣地の砲を奪取して之をもつて米軍を砲撃する手筈となつて居た、日本軍部隊はかくて突如として行動を開始し丘陵地帯の背後から一齊に米軍の宿營地四ヶ所に向つて突撃の如く攻撃を開始し來つた部隊は米軍の守備兵の線を突破し天幕の宿舎をめぐりて英語で「やつつつけろやつつつけろ」と喊聲を擧げながら突進し米軍將兵を突き刺し半ば狂亂の狀態で殺到して來たがこれら日本軍部

隊の兵士にはも早や恐怖心も苦痛もなかつた不意を突かれた米軍將士の者はベットの中心で軍靴や軍袴を身につける暇もなく日本軍兵士に突きさされて死んで行つた、霧と暗黒の中で敵味方の區別をつける事は殆ど不可能であつた日本軍別働部隊は米軍の天幕の間を縦横に馳騁しこれは非常な混亂状態が現出した日本軍將兵は狂亂の如く暴れ廻つて「お互に果し合ひだ」と叫んだ。米軍は三回に亘つて日本軍に逆襲を加へたが日本軍將兵は恐怖を知らない様であつた、彼等は米軍の銃火の眞只中に突入し或は戦死し或は脚に重傷を負ふ迄は攻撃突進をやめなかつた

日本軍の一部隊は米軍宿營附近の高地に在る米軍の三十七ミリ砲を奪取して、これを使用し米軍を砲撃するに云ふあり様であつた、陽光が出て霧が晴れると共に米軍は陣容を整備し、日本軍に對し攻撃を開始した此の際米軍は機關銃を持つて残存日本軍部隊を攻撃した、此の時草原地帯及び河原のあちこちから小さな爆發の音が聞えて來たが不思議な事に米軍の陣地に砲彈や彈丸一つ飛んで來ない、この時に日本軍將兵は悉く自からの手で其の生命を絶つて居たのである、日本軍將兵は手榴弾の栓を抜いてこれを鐵兜にはさくつけしから後兩手を持つて此の手榴弾を自らの胸に當てて自決したのであつた、戦闘が終つて我々が感じた事はアツツ島の戦闘は大規模のもので無かつたが、此の戦闘に於ける日本軍の敢闘振りに我々は異常の感銘を得た、我々にはかゝる恐怖に満ちた戦闘は之迄に経験した事がなかつた

五月廿九日早曉四時半頃極めて多數の部隊からなる日本軍がアツツ島低地で突如として米軍陣地向つて行動を開始して來た、我々は



放送 講演 談話

ハル通牒二周年

陰險暴戾な戦争挑發

來栖大使談話

吾ら一億としては永遠に忘れ得ぬ十一月廿六日、米國が、いはゆる「ハル通牒」による挑戰狀を日本にたたきつけ心秘かに戦争挑發者の惡魔の北叟笑みを洩らして快哉を叫んだ日、現にルーゾヴェルトはこの日通牒手交後側近に對して「これで日本から先に手出しをさせることが出来る、此方の思ふ壺だ」と洩したと傳へられるが、かかる險險なる企圖を含んだアメリカの對日通牒を當時ワシントンにあつて斷腸の思ひとともに受けとつた來栖三郎大使は「あれからも二年、實に感慨深いものがある」とて當時の痛憤を追懐しつつ廿五日外務省において記者と會見左の如く語つた。

昭和十六年十一月廿六日吾々がハル通牒をうけとつた日だ。あの覺書は野村大使とともにうけとつた時、それは随分長いものであつたが、一讀して實に大きな失望と心痛とを味はされたものだ。これはえらい

ことだ、この覺書は實に見ても、米政府がこれを以て日米交渉を打ち切り、日本を戦争に引ずり込もうとしたものであることは疑ひの餘地がない。今から見れば、ハルが廿六日の對日通牒を吾々につきつけた時、敵の態度は極めて氣乗りしない様子であつたが、翌十七年の始め頃ニューオークス・タイムズが書いたものの中に、ハルが彼に語つたこととして「この時實はハルと果してこのまま傳達すべきか否かをすら考へたくらむであつた。南京政府を否認せよとか、大陸から日本軍を撤兵せよとか、ワシントン體制に復歸せよとか、彼の覺書の内容は日本としてはとても實行出来るものではないひどいものだつたが、自分は野村大使とも色々相談してこれは再考して見ねばならぬといつたものだ」

翌廿七日には二人でルーゾヴェルトに會つてその反省を促したがちつともその色がない。ハルはどんな態度をとつたかといふと、彼は私共の指摘した點については殆ど答辯をしない、彼は只アメリカとしては最初からアメリカの主張をここに繰り返したまでだと説明するのみだ。しかしその後アメリカが發表したロバート報告書にして、一月に發表された國務省の「戦争と平和」にせよ、また最近の外交公文書集にして、廿六日の對日通牒手交後米國側では明かにこれに交渉はおしまひだといふことを陸海軍大臣その他軍首脳部に言明してゐるほか、その翌日には英大使ハリファックスにもいつてゐる事

實に見ても、米政府がこれを以て日米交渉を打ち切り、日本を戦争に引ずり込もうとしたものであることは疑ひの餘地がない。今から見れば、ハルが廿六日の對日通牒を吾々につきつけた時、敵の態度は極めて氣乗りしない様子であつたが、翌十七年の始め頃ニューオークス・タイムズが書いたものの中に、ハルが彼に語つたこととして「この時實はハルと果してこのまま傳達すべきか否かをすら考へたくらむであつた。南京政府を否認せよとか、大陸から日本軍を撤兵せよとか、ワシントン體制に復歸せよとか、彼の覺書の内容は日本としてはとても實行出来るものではないひどいものだつたが、自分は野村大使とも色々相談してこれは再考して見ねばならぬといつたものだ」

強硬であることを擧げて妥協困難の理由としてゐたが、交渉が繼續中であり、しかもアメリカの態度が終始高壓的で前途の見透しのつかぬの

策をよく理解することであらう。しかしながら彼らは戦争に勝つてゐる限りは深い考もなく次から次へと押しよせて来る性質を持つてゐるものであるから、彼らを反省せしめるためには如何にしても戰場において痛撃を加へなければならぬ。このためには挺身苦難に打克つて各地に大戦果を擧げてゐる前線の將兵に應へて銃後も益々奮起、職域にあつて各々の任務に邁進敵米英撃滅を期せねばならぬ。

經金屬飛躍的増産を圖れ

中西輕金屬局長放送

【廿四日】軍需省輕金屬局長中西貞喜陸軍少將は廿四日午後七時廿分A.K.のマイクを通じて「日米決戦と輕金屬の増産」なる講演放送を行ひ、輕金屬の重要性とその増産の緊急性を次の如く一億國民に強調した、放送要旨次の通り。

愈よ、激化する航空決戦は豫想される敵の總反攻を徹底的に撃滅する航空戦力の飛躍的増強を痛感せしめる。決戦は今、酣である。決戦に勝ち抜く最も重要な要素は制空権の獲得である。

である。アルミ、マグネは航空機の肉であり骨にも當るべき主要材料で航空機はいはば「アルミ、マグネの塊」である。敵米國は大東亞戦争前には年産三十萬噸程度であつたアルミニウムの生産を一躍、年産百萬噸を目標としてその實現に向つてゐる。抑々わが國に輕金屬工業の誕生を見てから今日まで僅々十年足らずであるが、既に大東亞戦争以前においてアルミ、マグネにも相當多量の生産を見つあつた支那事變當初と今日とを比較すれば生産數量は實に劃期的な上昇を示してをり、その例は他産業には、殆んどその比を見ない。輕金屬増産については政府は大東亞戦争勃發以來、先づ南方ボーキサイト資源を確保、アルミ工場に國家管理を斷行し、更にマグネ工場にも國家管理を實施してゐる、輕金屬製造用の原料は、わが國內、及び占領地域に多量に存し製造に必要な諸機械も全部國産で賄ひ得るから飛躍的増産が豫定通り迅速に行ひ得るか否かは我々の努力の如何にある。具體的方策は既に、その緒についてゐるがその一端をいへば先づアルミについては電力の豊富な朝鮮、滿洲及び内地の一部に新たに大規模のアルミ電解工場を早急に建設するとともにアルミナ工場を急速に擴充する。

北支の各地に亘つて大増産を行ひ、電極の飛躍的増産と併せてピッチコークスの増産を企圖し、内地及び南方における石油系ピッチコークスの生産及び國內における代用ピッチコークスの大増産を行ふほか、更に滿洲北支における鐵鋼の増産と關聯してピッチコークスの増産を行ふこととなつてゐる。マグネシウムについては既設の内外地工場の大擴充を行ふが特に電力及びマグネ資源の豊富な朝鮮、滿洲に擴充の重點を置き、更にマグネシウムの主要原料たる苦汁及び人工苦汁の増産に努力する一方、製造技術の劃期的向上を圖つてゐる。以上の計畫は今日何を措いても決行せねばならぬ重要施策である。しかしして増産達成のためには輕金屬に關聯する國民各位の總奮起によらねばならない。増産に直接、間接關係せらるる方々は各自の職域において輕金屬増産の戰闘配置にいただきたい。

帝亞九引揚者語

敵國の現況報告

- 1 抑留邦人船内座談會
- 2 米國學生生活座談會
- 3 米國の戰時生活
 - 日本棉花紙番賣支店長 野田岩次郎氏
- 4 開戦と在加邦人
 - 同盟前、バンク1 通商員 鈴木重三

抑留邦人船内座談會

第二次日米交換船帝亞丸はニューヨークより南米、南阿、印度赤道

を四度よこぎる二ヶ月二萬哩の船旅の後初めて祖國の港昭南に入つた。その夜本社は北中南米各地よりの歸還邦人船内座談會を催して大東亞戦争後における各地の事情を聴いた。

出席者氏名(順不同)

- (チリ) 三菱商事支店長 三宅輝男
- (カナダ) 天野商會員 大坪藤吾
- (カナダ) カナダ新聞記者高橋鶴一
- (ベルギー) 染色業 入船政市
- (アルゼンチン) 三菱商事支店長 西澤武雄
- 日布時事社長同盟通信囑託 淺海庄一、カナダ新聞社長同盟通信囑託 鈴木重三

抑留所の體験

大坪氏 バナマは十一月の下旬に邦人立退きの法律が出たので、私共の店が在庫品の整理をし南米の何處かへ行つて待機するといふことに決し、あの日は午前中倉庫で整理をし、晝食後一寸休んでみるとバナマの官憲が突然やつて来て何も云はず「一寸外人課まで全員来てくれ、すぐ歸きませ」といふことなのでついでに行きますと、最初に警視廳に連れて行かれ、そこで二、三の邦人と合流し、そのままバルボアの移民局に連行されました。移民局では米人將校に取調べられまして再びバナマ政府に歸され留置されましたが、翌日の午後二時頃再び移民局の裏の廣つばに連れて行かれ、そこで俄か造りのテント部落を作られました。勿論初めは何が何だか分らず不安でしたが、トラックで連行される時に運轉臺にあつた折りたたまれた新聞に「戦争」と大きく書いてあるのをチラリと見まして、いよいよ日米開戦だと直感し覺悟をきめました。バナマ當局は今にも運河の爆撃があるかのやうに慄へきつてをり、その恐怖心が手傳つて吾々を虐待したので、吾々け總勢〇名だつたのです。

安倍氏 私たちが抑留されたのはニューメキシコ州のローズバーグの「危険なる敵國人收容所」で砂漠の中の急ごしらへのバラックでした。昨年六月十七日テキサスのフォートサム、ヒューストン兵營から護送されたのです。行つて見ると誰もゐない、汽車の窓から見ると砂漠の中にバラックが點々とあるだけで全く我々が先驅者だつたわけです。到着後直ちに宿舎の掃除整頓をやりました

抑留邦人の主管が軍隊の手に渡つたから吾々は作業をすることになつたのです。先發隊の吾々二百五十名がローズバーグに来てみると護衛兵の便所やダンス・ホールの掃除などをさせられるのです。これけ明かにジュネーブ會議の規定に違反するものです。更にモンタナのミズラその他から五百名がやつて来て二百五十名づつで九、十、十一の三中隊が組織されたのですが、この三中隊が相談の結果作業主任のミツチエルといふ中尉に抗議し、少くとも吾々け利益代表たるスペイン大使館に打電し相談する権利あり、兵の便所やダンス・ホールの掃除などしないと主

張じたのです。所が司令官のリンデイ大佐といふのが激昂して「お前達に監禁者であり司令官の命令に絶対服従すべきだ」と、刑罰として全邦人に屋外へ出ることを禁じ、賣店に行くことも抑留所外の家族に手紙をやることも禁じたりしたので

吾々も日本人の名譽にかけて頑張り司令官の反省をうながしたので、九と十一中隊は健康状態の悪化を考慮し暫く我慢して働かぬといふことになり妥協したので、十中隊は最後までスペイン代表の派遣を要求して譲らず、遂に機銃と銃剣でおどかさ

ながら他の抑留所に移轉させられた。吾々はそこで第五中隊といふのに編入され、便所へ行くにも銃剣付の兵の監視を受けタバコ、石鹼、タオルの配給もなく夜も全然電燈をつけることを許されなかつたので

た。漸く八月になつてニューヨークリアンスのスペイン領事がやつて來て妥協條件を提示しました。それけ司法省の裁断をあふぐこと、しかし

それまでは便所掃除の代りに病院で働くことになり、やつと二重監禁を解かれたのですが、我々の主張は遂に司法省の判定で勝つたのです。今考へてもよく頑張つたと思ひます

ゲストンに送られたのですが、此處は實に廣漠たる所でAからRまでの區域が共一區域に二エーカー位で

大陸、パナマの方と昨年五月廿一日から約一年間住んだのですが、小高山の上にて建てられて赤松の林、草がぼうぼうと生え茂つてました。五區とJ區が隣接してあつたので前者はバナマの方とハワイの一部の人達

割と落着きを取戻した。兎に角自分達はしつかりと肉體と精神を勝つまで維持するといふ氣構へで便所の掃除、草むしり、凡て進んでやり、

候はますます暑く、殆んどみんなが裸ぐらし、裸村がアメリカの一角に出来たわけです。そのうち下駄製造の内職が始まりました。勿論材木な

の仕事を草とりと蛇退治でした。かうした不如意な生活の中に精神的に余裕をもちたいといふので學校を開きました。語學、政治、經濟等の學校、遂には追分の學校まで出来

製造業者が必要上實施してゐるものとあつて、前者は今までに三回行は

「羊肉が嫌ひなら勝手にしなさい」といふわけ、しかし常とくいには聞か

に發生したものではなく一種の惰性的にやめて國人が享受してきた高度の文化生活は根柢から脅威されると

の三つだと思つてゐます。飛行機の點については大量生産と同時に行動半徑を増すことなど熱心に考へて

ぬと考へて來てゐるやうです。西澤氏 いま高橋さんの言はれた

敵米國の戦時生活

野田氏 戦時生活といへば物質的

生活といふことになりませう。私私抑留された期間が短く街で生活した期間もあつた生活の不便な生活、配給と公道價格と闇市場の生活といふことが出来ると思はれます。一言にしていへば一般に生活に物資の不足を感じ始めた生活です。アメリカ家庭は戦前ダンスが大流行でアフタヌーンには友人知己が集つてブリッヂを樂しむといつた社交好きのもの

だつたのですが、現在がガソリン不足のため慰安のための制限が、各州によつて勿論差があり、ニユーヨークは週一ガロン半、太平洋岸モンタナ州では週四ガロンといふやうなことがありますが、然し是非

ない所へ公用で行く時、學校、教會へ行く等の他は使用出来ぬ、ガソリン割當の理由は勿論軍需の増大にあるのですが、特に東海岸は配給機

關の不備、アフリカ作戦の補給基地となつたこと、油槽船が潜水艦にやられるその他のため圓滑に廻らないことなどが大きな原因で、更に一つはゴム不足、ゴムの節約のため自動車

米國の戦力を打診する

野田氏 一番米國が困つてゐるの

は生産擴充が思はしく行かない惱みでせう。然し注意しなればならぬことは原料の不足といふことは餘りないといふことだと考へてます。勿

論品物によつてはつまりマンガンのクロム、錫、ゴムとかは不足するといふものもありますが極く一部に

過ぎないと思ひます。しかしこれらの原料資源を加工する生産能力が彼等の思つたほど増大し得ない、當局

優先されるの需要が餘りに大きい、それに加へて人的資源の不足とぬと考へて來てゐるやうです。

通りです。米國は大きづばに見て昨
年暮に初めて戦時體制に入り今年春
からそれが本當に動き初めたこと
も良いのではないでせうか、アルゼ
ンチンからみてみても米國は何處
までも凡ゆるものを數で行くやり方
をとる考へだと思はれます。それ
想像出来るのはヨーロッパにおい
てドイツを英ソと協力してやつつ
ける。そしてその後で總力を擧げて
日攻勢をやるというのです。勿論そ
れまでも國民を納得させるために
日本の戦力の増大を牽制するため
北から南にかけて對日反攻は猛烈に
やるでせう。

來年秋の大統領の改選期について
ルーズヴェルトの四期出馬の可否が
大分論議されてやうですが、ルー
ズヴェルトが四選しようが他の誰が
大統領にならうが、米國の戦争繼續
に於ける状態では異論はないと思
ふ。そこで甚だ素人考へではあるの
ですが、私は米國內輿論にヒビを
入れるにはやはり戦争だから米國
兵を相當とめてやつつけることが
大切だと思ふ。實際問題として米國
當局もかくし切れない程度にまと
めてやつつければ、米國民にまつて
こや一番弱點です。それから米國の
凡ゆる世界政策に問題となるのはソ
聯です。對ソ問題には米國人もとて
も心配してゐるやうであり、ソ聯の
動向といふものが世界戦争の鍵を包
藏してゐると考へます。消費制限や
内政問題なども重要な要素ではあり
ますが、年一年たつたから米國民は
馴れてくることは確かだから吾々も
しては頭張らなければなりません。

中南米各國の動向と邦人事情
椎木氏 大體ブラジルは參戰はし

たが、これは一に國內事情つまり政
權の維持のために止むを得ぬ手段で
あつたので生きるか死ぬかといふや
うな切端つまつて入つた戦争ではな
いのであつて、従つて戦意はなく米
國が勝つてか敗けるかなには深い關
心をもつてはゐない。しかし何れに
しても戦争の長期化には堪へられな
いのです。リオデ・ジャネイロの商
工會議所會頭が今年の五月だつたか
一九四四年内に戦争が終らねば恐ろ
しい經濟恐慌がやつてくると言つて
ました。ブラジルの邦人は約二十萬
人、二世も入れれば四十萬人、大部
分は御承知の通り農業です。昨年一
月廿八日のリオ會議の最終日にブラ
ジル外相の演説以來日本人に對する
壓迫が起り數百名の人が拘引乃至け
拘留された。チリーなどはさほど相
當壓迫されませんがブラジルでは相
當壓迫されました。しかしだんだ
ん取調べてみると誰一人として怪しい
者がなかつたやうですが、安心した
者がなかつたやうが、わかつたので
せう全部釋放され、今ではリオ・デ
・ジャネイロでは數人しか残つてゐな
い。その後敵國でも邦人農業従事
者には特別に除外例をもうけてゐま
す。

三宅氏 チリーの同胞は約五百名
ですが今度の交換で公使館及び商社
關係者約八十名が歸國しますから、
殘留者四百名ほどでこの内商社關係
者二、三名を除けば全部永住目的の
方ばかり、しかもその過半数はチリ
人、婦人と結婚してゐます。日本女性
で殘留してゐられるのは恐らく十人
餘りです。斷交直後商社關係者の殆
んど全部及び一般在留民を合せ七十
數名が不便な土地十數ヶ所(一ヶ所
に三名乃至六名)に強制分散移住命

命が出まして我々け五日の期限附で
首都を立退かされました。元來チリ
人は日本人に對しては常に親しみ
の情をいだいてゐたのですが、開戦
來米國の露骨な指令で色んな妨害を
するやうになり、ブラック・リスト
をつくるとか強制移住とか家屋の立
退きとか密偵を付けるとか種々嫌が
らせをやるので在留民の小賣店その
他客商賣をやつてゐる人々は大分部
店を閉めてしまつた有様で、中では
生活に困るやうな人も段々出て來て
ゐます。チリーは他の南米諸國と同
じく原料の産出で工業製品の輸入
から原料の製品を輸入して來たので
大東亞戦争後け頼るは米國だけとな
つたのです。それなのに米國のため
製品は軍需の關係と船腹不足のため
思ふやうに來ません。石油などは日
日に深刻となり、値段も開戦前に比
べれば二倍、三倍となつてをり一般
消費者階級の生活は段々窮屈になつ
て來てゐます。これらの事情から北
米頼るに足らずと、國內工業の獨
立發展と南米諸國間の貿易緊密化が
頻りに叫ばれ相當進捗してゐるかに
見られます。

高橋鶴氏 御承知のやうにカナ
ダは英自治領であり法律なども殆ど
英國に從屬的に出來てゐるのですが
最近け凡ての點で米國の眞似をして
ゐる。別に英本國を嫌つてゐるわけ
ではないが、實利的な意味から對米
接近を進められる、いやカナダ市民
から投票を求めれば四割以上は米國
につくことに賛成するだらうなどと
いつてゐる者もゐます。しかし英國
の兵器廠としてのカナダ重工業の發

展は相當なもので、カナダ人は現在
では英米國と同程度の船舶數を造つ
てゐると豪語してゐます。週に六隻
などいつてゐますがはつきりしませ
ん。開戦と同時にカナダの漁業關係
邦人は海軍によつて船と漁具を沒收
された。船は大小約一千隻約三百萬
弗、魚具は約二百萬弗、これらは何
れも邦人が三十年五十年と努力して
築きあげた小資本のものが殆んど
れる。農地も接收され、續いて十八歳
から四十五歳までの日本籍の日本人
を強制移住させる法律が生れた。頭
初有名なローヤル、カナデア、アン
マウンテン、ボリスといふのがこれ
を指揮することになつてゐたので
が、後に保安委員會といふのが出來
てこれに移管され、その頃米國が東
海岸の防禦地區から全日本人の移住
を決定したので、カナダも早速これ
を眞似て前の法令の「日本籍日本人」
といふのを「日本人」と改めたので
す。そして保安委員會に政治家が合
流し、以前からあつた排日運動をも
併せて壓迫が増して來たために、政
治運動の道具にしようとするために、強
制移住の政策もまぢまぢになり、こ
たごたして邦人は言ふに言はれぬ不
安を感じてゐたのですが、兎に角昨
年三月から移動が始まり十一月には
完了した。財産の方も頭初閉令によ
り保護するといふことになつてゐた
が今年一月敵産處分となり賣却され
つてありませう。邦人の中には異議を
申立て行政裁判をする、戦時下にこ
ゝた人もありましたが、戦時下にこ
ゝ種の行政裁判が行はれるかどうか
疑問です。在加同胞二萬三千の現在
の生活はほんとに最低生活ですが頑

張つてゐます。しかし治安委員會の
方針がしよつちう猫の眼のやうに變
るので何時また追ひ出されるか判ら
ない不安な日を送つてゐます。抑
留者は現在五百名足らずで支給金は
家族の最初の二人は日額一人十二弗
子供は最初の一人が五弗以下漸次小
額となるので物價の昂騰に比して極
めて僅かなものです。

米國學生生活座談會
アメリカの學生に敗けるな。
いまや日本の學徒は大空へ、密林
へ、そして大洋へと出陣してゆく
學園こそ最もよき戰闘力の培養地
であつた。しかしこれは日本はか
りでない。盟邦ドイツの、隣邦ソ聯
の、敵英國の、そしてアメリカの
學生もそれぞれ祖國のために駆起
してゐるのだ。いま第二次日米交
換船帝亞丸で歸國する十七名の米
國留學生のうちから次の四君に敵
國の戰時學生生活の眞相を聽く
ニューヨーク州コロロンピオ大學 眞
津田 平澤 克己
ハーバード大學 佐藤 勇
テネシーマチソン大學 三宅 正道
安を感じてゐたのですが、兎に角昨
年三月から移動が始まり十一月には
完了した。財産の方も頭初閉令によ
り保護するといふことになつてゐた
が今年一月敵産處分となり賣却され
つてありませう。邦人の中には異議を
申立て行政裁判をする、戦時下にこ
ゝた人もありましたが、戦時下にこ
ゝ種の行政裁判が行はれるかどうか
疑問です。在加同胞二萬三千の現在
の生活はほんとに最低生活ですが頑

張つてゐます。しかし治安委員會の
方針がしよつちう猫の眼のやうに變
るので何時また追ひ出されるか判ら
ない不安な日を送つてゐます。抑
留者は現在五百名足らずで支給金は
家族の最初の二人は日額一人十二弗
子供は最初の一人が五弗以下漸次小
額となるので物價の昂騰に比して極
めて僅かなものです。

米國學生生活座談會
アメリカの學生に敗けるな。
いまや日本の學徒は大空へ、密林
へ、そして大洋へと出陣してゆく
學園こそ最もよき戰闘力の培養地
であつた。しかしこれは日本はか
りでない。盟邦ドイツの、隣邦ソ聯
の、敵英國の、そしてアメリカの
學生もそれぞれ祖國のために駆起
してゐるのだ。いま第二次日米交
換船帝亞丸で歸國する十七名の米
國留學生のうちから次の四君に敵
國の戰時學生生活の眞相を聽く
ニューヨーク州コロロンピオ大學 眞
津田 平澤 克己
ハーバード大學 佐藤 勇
テネシーマチソン大學 三宅 正道

した。佐藤 これは全国殆どの學校がさうです。先づ軍當局で學校の施設や收容人員の調査をやる。終るとすぐ委託學生を送り込んで來ます。普通の學生と一緒に勉強するのですが訓練は運動場に塹壕やクリークや拒馬などを造つて猛烈にやつてます。津田 一生懸命勉強してきますね。私のおたイリノイ州マンモス大學でも今年一月から六百の委託學生が來てます。三月で終了する切りつめた課程で毎月二百人づつやつて來ます。數學、物理、電信などの特殊課目を集中的に勉強してきます。

平澤 ニューヨークのコロンビア大學などでは海軍の候補生が三千人もゐて七ヶ月終了です。運動場がないのでロード・ウェイなんかの街を利用して盛んに軍事教練をやつてます。津田 整理された學校もあります。現在の米國の高校及び大學は軍經營の學校といつて差支へないでせう。

佐藤 ハーバード大學などは女兵士つまりWACSやWAVESの教育もやつてをり仲々お洒落でしたが訓練は熱心でした。學生總數六千のうち四千は委託學生でした。一般學生は大體早いものは十八歳まででカレッジを卒業出来るやうに修業年限をきりつめて、從來四ヶ年だつたものを三年から二年半位に短縮してまゝの三年から二年半位に短縮してまゝを出ます。しかし身體健康な者は全部前にいつた基礎訓練を受けて委託學生となり、月額五十弗の支給を受けて他は全部軍の費用で勉強してゐるわけです。

津田 一般の學生で醫學系統の方は相當殖えてますが、英文學とか、古代史とかいふ純文學系統の學生は殆んどゐなくなりました。平澤 全般的に見て學生は非常に殖えてゐるわけですが、過半数が委託學生で軍人ですが、それに一般の學生も軍服を着た委託學生に氣押されて志願する者もゐます。とに角學園はいま戦時色に塗りつぶされんとしたるのです。

佐藤 中にはグウタラな奴もゐますし月謝なしで勉強出來ると喜んでゐる奴もゐます。しかし全體的にみてあの享樂的な米國學生がとに角軍服を着て猛訓練をやるやうになつたことは劃期的なことですよ。日曜毎に軍服のまま女兵士か海學生と手を組んで遊んでゐるのを我々日本人がみればをかした話ですが、彼等は享樂生活をはつきりと區別するやうに訓練されてゐるので、他の日は眞面目にやつてゐるのです。

平澤 大體において眞珠灣以前の奴は駄目です。米國でも配給が少いとか自動車がないとか愚痴つてるのは中年以上の市民で若い者、學生で眞珠灣以後に大學に入つて來た學生は敵愾心は中々旺盛です。佐藤 結局奴らが今一生懸命になつてゐることは凡て利己的な考へから出發してゐることですよ。日本に敗れた米國のインテリ層をなす自分たちの生活が破壊されるし、一方政府が弗の力でどんどん學生に金を出して委託學生にしてゐる、軍服を着た方が女にもてる、女兵士殊にワツクス(陸軍)は口紅をつけたり眉は畫くなど仲々綺麗ですよ。米國當局は彼らを軍隊に入れたのは男の兵隊を

米國の戦時生活

日本棉花協會支店長 野田岩次郎氏談

- 羊肉 入手容易
- 豚肉 入手容易
- 右は何れも割當、同時に割當なしの次の食料品の騰貴もある。
- 鶏肉 五割高
- 魚類 五、六割高
- 鴨肉 十割高
- 野菜類 十割高
- コーヒー 五割高
- パン 一割高
- 砂糖 五割高

衣類はこれ亦軍需、外國送り及び收増加による下層階級婦人の衣類急増加等による需要増加と、生産力減退による供給減で全国的に不足が目立ち、全國出荷は男の洋服類は二分、女はドレスは二割の減少を示し、前者は五割高、値上げせぬ店も品質はひどく落ちてゐる、女ドレスは人絹綿布の減産で十割以上の値上りを示してゐる。女の靴下は生糸が落下傘にのみ使はれてゐるので絹靴下は間に無い。人絹と綿の靴下はかりしれないが、若い連中はこれに満足しないので素足に靴下の色を塗り、後に見えようとする所謂レッグ・メイキヤツプの流行を生じた位だ。家賃も高くなつた。五十弗位の貸アパールの石炭、燃料油も拂底で、後者は地方により割當で値上りもひどい。これは輸送配給機構の缺陷によるものだ。一方勞銀即ち収入の方け如何か

といふにこれも増加してゐる。即ち仕事は人が足りないのだからいくらでもある。女學校卒業程度の大イビストで戦前の初給十六弗位の週給は三十弗、女中等は殆んど軍需工場へ又け病院等へ轉出する。シヨツプガール等も軍需工場へ鞍變へし、二週間乃至四週間の基礎訓練を受けて初給四十弗乃至五十弗の週給となる尤も一割乃至二割の愛國公債買取りを強制されてゐる。以上の如く生活費が高くなり物資は缺乏してゐるが市場の大なるは驚くべきもので紐育方面の肉供給の八割は闇取引といはれる。

不足資源

不足資源 不足資源物資の不足中一番困つてゐるものは勿論ゴムである。既にバルク及びゼファーズのゴム委員會で人造ゴム生産計畫を樹立したことは周知の通りだが、本年末二十五萬噸供給することも實行可能かどうか疑問とされてゐる。自然の有する二千七百萬噸の自家用自動車・タイヤだけが米國の有する唯一の天然ゴム資源である。勿論ブラジルの天然ゴム資源は飛行機で出してゐるが、その數量はいふに足りない。従つてガソリン配給制限、運轉速力を時速卅五哩に制限してこのゴムを虎の子のやうに保全しようとしてゐるのだ。キユーネの不足も又米國の大弱りの一つであらう。錫マンガン、クロムは金屬資源中最も弱るものだが、マンガンはブラジル、錫はポリビヤ、クロムはケニアに依存してゐる。しかしこれも船腹問題が重要であつて、これが缺乏には少なからず困り抜いてゐる模様だ。この資源の重要性はこの方面

が、現在の米國の高校及び大學は軍經營の學校といつて差支へないでせう。佐藤 ハーバード大學などは女兵士つまりWACSやWAVESの教育もやつてをり仲々お洒落でしたが訓練は熱心でした。學生總數六千のうち四千は委託學生でした。一般學生は大體早いものは十八歳まででカレッジを卒業出来るやうに修業年限をきりつめて、從來四ヶ年だつたものを三年から二年半位に短縮してまゝの三年から二年半位に短縮してまゝを出ます。しかし身體健康な者は全部前にいつた基礎訓練を受けて委託學生となり、月額五十弗の支給を受けて他は全部軍の費用で勉強してゐるわけです。

津田 一般の學生で醫學系統の方は相當殖えてますが、英文學とか、古代史とかいふ純文學系統の學生は殆んどゐなくなりました。平澤 全般的に見て學生は非常に殖えてゐるわけですが、過半数が委託學生で軍人ですが、それに一般の學生も軍服を着た委託學生に氣押されて志願する者もゐます。とに角學園はいま戦時色に塗りつぶされんとしたるのです。佐藤 中にはグウタラな奴もゐますし月謝なしで勉強出來ると喜んでゐる奴もゐます。しかし全體的にみてあの享樂的な米國學生がとに角軍服を着て猛訓練をやるやうになつたことは劃期的なことですよ。日曜毎に軍服のまま女兵士か海學生と手を組んで遊んでゐるのを我々日本人がみればをかした話ですが、彼等は享樂生活をはつきりと區別するやうに訓練されてゐるので、他の日は眞面目にやつてゐるのです。

平澤 大體において眞珠灣以前の奴は駄目です。米國でも配給が少いとか自動車がないとか愚痴つてるのは中年以上の市民で若い者、學生で眞珠灣以後に大學に入つて來た學生は敵愾心は中々旺盛です。佐藤 結局奴らが今一生懸命になつてゐることは凡て利己的な考へから出發してゐることですよ。日本に敗れた米國のインテリ層をなす自分たちの生活が破壊されるし、一方政府が弗の力でどんどん學生に金を出して委託學生にしてゐる、軍服を着た方が女にもてる、女兵士殊にワツクス(陸軍)は口紅をつけたり眉は畫くなど仲々綺麗ですよ。米國當局は彼らを軍隊に入れたのは男の兵隊を

の船腹優先順位を戦前の第六位から現在第一位としてゐるのでも判断し得る、その他の物資は原料は豊かである。鐵、銅、鉛、亜鉛、アルミニウム、石炭、石油、棉花等々、然し問題は需要激増に應ずるだけの生産力擴充が出来ない。即ち建築資材當拂底して來てゐる。即ち建築資材機械資材は軍方面の需要激増により軍需工場中最も急とせられてゐる人造ゴム、高度オクタン、搾取油、對潜水艦護衛艦等の生産さへ切り下げて妥協しなければならぬ状態、況んや民需工業方面の運轉に至つては絶望のものが多い。要は綿布に使ふ原棉もあり餘つてをり、羊毛も一九四六年一月迄は一封度の輸入なくして賄へるやうな在荷は持つてゐるがこれに加工する生産能力が増加出來ぬので製品の非常な缺乏となり、原料は實に天文學的在荷でしかも不足も同様な結果に陥つてゐる。

開戦と在加邦人

同盟前バンクーバー通信員
鈴 木 重 三

太平洋岸から邦人驅逐 カナダ日本人の移動を一言にして盡くせば過去五十年に亘り汗と膏で築き上げた經濟的社會的勢力の一切を擧げて文字通り根こそぎ覆没されてしまつたと言ひ得る、今戦時下カナダ政府が日本人に對してつた態度は敵性非敵國員の保護といふよりは政策の犠牲に供したのである。宿願懸望せざる排日問題の清算に重點を置き、戦争を機會に何の遠慮も氣兼ねなく思ひ切つた排日政策を執行し今後の憂患を一掃しようとしてゐるのである。開戦と同時に最も危険視せられるも

のとの名目の下に日本人四十名を検束し、日本字新聞の發行を停止し、日本語學校の閉鎖、次いで漁船、ラジオセツト、寫眞機、自動車等を攙收するカーフユウ法を實施した。翌年二月五日に至り閉令を以て太平洋沿岸に防禦地帯の設定を布告しカナダに於ける同胞二萬三千人の殆んど九割が居住し、商業、農業、漁業及び山林業その他各種の事業を包括する最重要地域より日本人全勢力を驅逐した。この防禦區域の設定と日本人移動の目的は第一日本軍の攻撃に對する防備態勢、第二は日本人の集團勢力の破壊、第三は經濟的勢力の覆滅、第四は低賃金の勞働的政策である。

家族離散の強制移動 三月に入り防禦地帯より移動を開始し各地より狩り出された幾千の同胞は一先ブヴァンクラーグア市のヘスチングス公園内に新設のマンニグプールに收容された。そこは男女別居で家族が引離され、男はロツキー山地の道路工事に一時間廿五仙の低賃金で就働すべく強制的に送り出されるのであるが、妻子を置き去りにして出働するに忍びないものは家族同伴で行くといふところから遠くアルバータ州南部のマニタバ州の砂糖大根畑に働かせるのであつた。ここに見逃すことの出来ないのは當局は日本人を強制的にロドキヤン・インテリヤタウンに送り出しながら形式は自發的に出働或は移動するといふ如き書面に署名させたことである。昨年大體左の如くである。

政府指定のインテリヤタウン(ゴーストタウン)即ちグリーンウッド、カズロ、スロンキヤン、ゴブア、ロズベリー、ベイフアーム、ニコデンヴァー及びタシメ二、〇〇〇、自由自活移動者ミント、プリワジ、リウア、リロフレット、クリスキナ、マツキルグレイ、グランド、フオーク、キニス、ロードキヤン、オカバガンヴァレ、アルバータ州、オンタリオ州、クベック州、インターンメントキヤン、七、六、五

一月閉令を以て右保管財産を賣却處分する旨發表、斯くて移動日本人は戦後再び太平洋沿岸に歸れるも事業は奪はれ住むに家なき途方に暮れる始末である。この政府の處置は是又日本人の太平洋沿岸復歸を阻止する手段に外ならないが、これに英國が少數民族を操縱する奥の手だ。カナダ歴史の汚點として知られるアケイデヤ事件の如きもそれである。フランス系カナダ人もこの手にかかつて一家離散の憂き目に會ひ本邦地方に先祖の行方わからぬものが澤山あり、英人に對して深酷なる恨みを抱いてゐる。

移住後の壓迫 日本人の移動は以上の状態で一應終結したやうに見えるが、政府は之を以て満足せず、更に再移動計畫をたてて日本人の集團勢力の破壊と地方の人力不足を補給する目的から、極力東部移動に努め一旦東部乃至平原州に移動したものが再びブリテイッシュ・コロンビヤ州に歸還する事を許さないのである。ゴーストタウンに於ける同胞の生活状態は仕事に従事するものはどうやら暮らしても政府支給のみで生活するものは窮乏を極め、就中子供の學業は移動前より通學を拒否され、移動後も久しく中絶して居り遅れて漸く學校が開かれたが頗る冷淡、設備も不完全極まるものであり、子供を充分教育することも出来ず、衛生施設も不備、男子十八歳以上は舊生施設も除外し生活費の支給を停止されたところから政府の手にのせられたと知りつつ本意ならずも本部に移動するものあり、殊に青年男女の東部は当初日本人の防禦地帯撤退に際しその財産はカストデヤンが保管することになつてゐるのであるが、今年

一月閉令を以て右保管財産を賣却處分する旨發表、斯くて移動日本人は戦後再び太平洋沿岸に歸れるも事業は奪はれ住むに家なき途方に暮れる始末である。この政府の處置は是又日本人の太平洋沿岸復歸を阻止する手段に外ならないが、これに英國が少數民族を操縱する奥の手だ。カナダ歴史の汚點として知られるアケイデヤ事件の如きもそれである。フランス系カナダ人もこの手にかかつて一家離散の憂き目に會ひ本邦地方に先祖の行方わからぬものが澤山あり、英人に對して深酷なる恨みを抱いてゐる。

わが防空部隊の威力

千葉防空學校附教官
森谷武雄大尉に聴く

防空は従來彼我兩飛行機による空中戦といふ積極防空と高射砲などによる消極防空の二つに分けられて來たが、最近高射砲の活動は決して消極的と言へなくなつてゐる、高射砲隊の任務は敵機撃墜にあり、従つて敵機から護るべき工場、その他の要地、上陸據點、集中地第一線砲兵等の戰團部隊までも掩護することが多い、ノモンハン事件のときは高射砲隊が第一線へ出た例がある特に船團の防空上高射砲の役割は絶大で敵の威力圏内に入つた船は掩護なくしてはまことにみじめなものである、砲の威力には精神的威力と彈丸そのもの、威力の二通りがある。精神的威力はたとへば彈丸が當らなくても敵機は防空部隊を無視しては飛べず、さらにはその行動も紊れる彈丸の威力については破片により撃墜することが最近困難になつて來たので必ず命中させて撃つやうな彈をつくる方向に向つてゐるコンソリデーテッドやボーイング等の爆撃機でも撃つやうな彈丸が出來てゐる。

防空機の特長 飛行機相手の兵科だから普通の砲兵の陣地射撃よりはむづかしい技術が必要である、むづかしい技術は必要である、むづかしいやうに時速百八十キロ位ならにかく、いまは、五百から七百の速度でボーイングさへ爆弾一トン乃至一トン半積んで四百キロ以上出すのだからこれを地上から、射撃するのはよほど技術が優秀でなければならぬ、防空兵は特に精神要素を重視してゐる、それは敵機が飛んで來ないときの緊張と、訓練が大切だからである、敵機を早く見つけなければならぬ、まして高度が高くなれば遙か遠方から爆弾を落とすからますます早く発見せねばならぬ、内地等の防空兵はこの點で特に持久力が必要である、射撃技術は神技とまでゆかねばならぬ、早い速度高い高度、方向變換の早い航空機に彈丸を當てるのは非常にむづかしい、そこで所謂那須野與市式の技術で、彈丸が目標に吸ひつくやうにならねばならぬ、ノモンハン事件のときは肉眼では見えぬ七千七千の敵機を撃墜した例がある、射撃能力とともに大切なことは敵機発見の能力である、各國ともラヂオロケーター等によつて敵機が爆撃投下前これを捕捉し、彈着距離に入れば直ちに發射出來るといふふう

時事文獻彙報

凡、太字は單行本

一、配列は論題・筆者名・雜誌(發行所)名・發行日の順・單に十一とあるは十一月號

例 一、昭和十八年十月廿六日より十八年十一月二十五日迄刊行のもの

世界一般

福民專制史話……………百々巳之助 科學社

交戰國の人的資源動員……………特 輯 同盟世界週報 二六

歐米一般

歐洲に於ける反福軸分裂の諸要因……………特 輯 世界週刊 二二

歐洲大戰

第一次世界大戰と第二次世界大戰……………木村銳市 外交評論 二二

歐洲一般

戰亂の歐洲を行く……………山岸重孝 鱗書房

歐洲諸國

ドイツの健民運動……………近藤春雄 富山房

ナチス廣域經濟論……………世界經濟調査會 同 會

ソ聯の農業技術……………小原謙一 白揚社

ソ聯の最新科學……………平岡雅英 天然社

ソ聯現勢解説……………歐亞通信社 同 社

英國人の今昔……………牧野義雄 那珂書店

ソ聯の西北支那工作と新段階……………遠藤一郎 蒙 古 二〇

戰時における機械製造……………エヌ・カザコフ 國際文化協會々報 二一・二

ギリシヤ正教とスラヴ民族(一)……………山中貞雄 月刊ロシヤ 二一

赤軍機甲戰術と主力戰車……………關塚 庄三 右 同 二

戰時下ソ聯の資源開發……………イー・マルイシエフ 國際文協 二・二五

第一線に活躍するソ聯科學者……………エス・カフタノフ 志賀 庸譯 右 同 二・二五

英國農業問題……………竹中清之助 國際經濟研究 二二

米 洲

アメリカ及びアメリカ人の研究……………清 水博 隆文堂

アメリカ海運政策……………P・M・ジェニス 有斐閣

アメリカ外交政策史……………ルツクワルト 博文館

警鐘―敵國アメリカの實相と我等の覺悟……………中野 五郎 起山書房

米國大統領選舉戰……………鶴見 祐輔 太平洋 二二

米國極東政策の基調……………田村 幸策 右 同 二二

米國の脆弱性を衝く……………座談會 右 同 二二

アメリカ戰爭經濟と食糧問題……………渡邊 耕一 國際經濟研究 二二

アメリカ航空工業の概相……………村尾力太郎 科學主義工學 二二

米國の帝國主義外交攻勢……………同 同盟世界週報 二・二〇

中南米諸國

南米六ヶ國の動植物資源……………ラテンアメリカ研究 二二

中南米の食糧問題……………織田 和勝 國際經濟研究 二二

東 亞

アジア民族興亡と史觀……………松本 君平 アジア青年社

大東亞總力態勢と日本……………滿田 巖 中央公論 三

戰爭のなかの建設(座談會)……………巖山政道外 日本評論 三

興亞理念の浸透の急務……………村井 博介 改 造 三

大東亞戰爭

大東亞建設日誌第三輯……………東洋文化研究會編 目黒書店

大東亞戰爭歌集……………日本文學報國會編 協榮出版社

昭南創世紀……………藤井 龍樹 拓文社

事變處理と全面和平運動との關係……………松本 鎗吉 外交時報 二・二五

プーゲンビルの戰果……………栗原 悅藏 改 造 三

決戰滿洲國の全貌……………高橋 正則 山海堂出版部

滿鐵活躍時代……………日笠芳太郎 外交時報 二・二

力自給と勤勞奉公制……………大橋 宗吉 興 農 九

滿洲水産の危機……………山岡亮一 東亞經濟論叢 五

農産増強と滿洲開拓政策の課題……………島 恭彦 右 同 五

滿洲經濟建設に於ける國家資本の地位……………今村 鴻明 蒙 古 二〇

蒙疆の經濟と民族運動……………小倉 隆男 右 同 二

蒙古の喇嘛教と王公の地位……………和 田 清編 光風館

近代支那社會……………張 鳳岐 大阪屋書店

雲南國境紛争史……………種村保三郎譯 藤本 武 右 同

支那鑛夫の生活……………藤本 武 右 同

海南島民族誌……………H・スチュニール 清水三男譯 畝傍書房

支那石炭事情……………久保山雄三 公論社

朝日東亞年報昭和十八年二輯……………朝日新聞社

(新支那經濟の基本動向)……………中央調查會編 朝日新聞社

蒙古と西支那……………カラムシエフ 大鵬社

現代支那思想論(一)……………緒方 一夫 東亞文化園 一〇

フランス上海史……………小池 毅譯 國際文化協會々報 二・二一

國府政治力強化と中國文化運動(特輯)……………山野義一外 經 國 二二

新支那成長の軌道……………特 輯 經濟毎日 二・二三

新支那政策の戰國的性……………東 亞 二二

事變下に於ける全面和平問題……………右 同 二二

中越經濟關係―支那および佛領印支那間の通商關係……………王文元 新亞細亞 二二

北支農業問題……………山縣 千樹 國際經濟研究 二二

浙江經濟と糧食問題……………堀 新一 社會政策時報 二二

支那における郷黨の社會協同……………平野義太郎 法律時報 二二

生活を規律する民族道德……………本郷 賀一 支 那 二〇

對支思想戰の要諦……………本郷 賀一 支 那 二〇

南方

印度のカースト... エミール・セナール 綜合インド研究室

佛領印度支那... ア・アガール 官島・土居譯 修文館

佛印の農業經濟... 森德 久 東洋經濟新報社

マライ語... 竹森 一男 六藝社

ニューギニア... S・W・リード 南洋經濟研究所譯 栗田書店

社會と統治... 南洋經濟研究所譯 栗田書店

南方の音樂と樂器... 特輯 南方情勢 二

南方の諸藝術... 望月 信成 財政 二

南方通貨の歴史的性格... 宇梶 洋司 南洋經濟研究 二

印度飢饉の政治性... 伊東 敬 外交時報 二

印度政治事情... 内田 實 地理學 二

印度經濟的地域... 岡倉古志郎 南洋經濟研究 二

經濟學的考察... 高島 正雄 新亞細亞 二

印度土侯國紀行... 小池 基之 國際經濟研究 二

インド農業の基本問題... 桑野 福次 南洋經濟研究 二

ビルマの鹽業... 栗本 芳雄 新亞細亞 二

ビルマ文化人の近況... 栗本 芳雄 新亞細亞 二

佛領印度支那の經濟... トムプソン 國際文化協會々報 二

佛印家内工業の特質と現況... 大場正史譯 南 洋 九

佛印食糧經濟の構造と現段階... 川野 重任 國際經濟研究 二

印度支那に於ける手工業者... 逸見 重雄 南 洋 九

アダム政治經濟國防議案... 椋原信一譯 山口書店

世界觀と政治... シュルツェルセルデ 日月書院

風雲政治史... 河野 密 四方木書房

臨時資金調整法解説... 伊藤由三郎 銀行問題研究會

會社經理統制令實金統制令解説... 右 同

植民地統治法の基本問題... 中村 哲 日本評論社

日本國家科學大系(五)... 孫田秀春編 實業之日本社

法律學... 小林 千秋 良書普及會

地方財政... 若田 孝三 地政學 二

日本地政學建設の一方法... 川上 敬逸 外交時報 二

國家興隆の要因としての海洋... ヘニツセ 海 防 二

思想戰と國際法... 座談會 中央公論 三

大東亞戰爭と國內政治... 丸開對策とその現狀... 對馬郁之進 法學論叢 二

朝鮮に於ける憲兵警察... 河村 尚平 南洋經濟研究 二

統一制度の考察... 橋爪 克巳 中川書房

臺灣の土地制度... 久保田明光 實業之日本社

決戰經濟と商工經濟會... 和田善太郎 清水書房

戰時下の食糧と農業機構... 土屋 清 河出書房

戰 争 經 濟... 東洋經濟新報社

日本戰爭經濟の課題... 新經濟理論の確立... オットウ・シュタイン 白揚社

ゴツトル經濟學入門... 民族と經濟(第二集)... 高田 保馬 有斐閣

難難突破の生産態勢... 寺田稻次郎 中央公論 三

國策會社に就て... 東浦 庄治 同盟世界週報 二

統制會の整理と活用(座談會)... 磯部 喜一 財 政 二

新農業團體の運営... 日本證券取引所の... 小宮山琢二 經濟毎日 二

商工組合制度の改組... 企業政策的任務... 中山伊知郎 統制經濟 二

中小商工業... 企業整備と統制會の根本性格... 古澤磯次郎 論 三

企業と動力... 外廓團體と統制機構の整理... 永井 了吉 公 論 三

日本戰爭經濟建設論... 決戰行政と生産増強(座談會)... 帆足計外 科學主義工學 二

團體經濟要論... 戰力増強の根本問題... 大河内正敏 右 同 二

戰時行政と生産増強(座談會)... 木製機生産上の諸問題... 特輯 經濟毎日 二

工作機大増産への跳躍... 時局下の農村現狀... 石原 勲 外 日 二

工業生産と農業生産... 海運統制の新段階... 田邊 勝正 社會政策時報 二

統計經濟と社會政策... 最低生活論について... 島田 孝一 東 洋 二

軍需工業都市の食糧問題と對策... 長沼 弘毅 同盟世界週報 二

軍 事... 翼(隨筆航空技術)... 橋口 義男 明治書房

統 劍 術... 江口 卯吉 國防武術協會

戰捷の哲學的基礎智識... 岩田 達 二松堂

戰 争 政 記... 花見 達二 日本書館

太平洋防衛史(東洋戰史)... 仲小路 彰 世界創造社

現代思想戰史論... 野村 重信 旺文社

防 争 の 生 態... 正兼 菊太 岩波書店

陸軍軍用機... 四手井綱正 岩波書店

戰 争 電 波... 東 榮治 育生社引道閣

本邦財界情勢... 本邦財界情勢 二

ダイヤモンド... 二

同盟世界週報... 二

二

二

二

二

二

二

二

二

二

二

二

二

二

二

二

二

二

二

二

文化・社会

- 近代醫療保護事業發達史 社会事業研究所 日本評論社
- 時局と社会政策(二) 高田保馬編 右
- 翼賛會と國民生活 野依 秀市 秀文閣書房
- 眞鍮成讀本 行弘 紘 創造社
- 農と日本精神 加藤 信治 千歲書房
- 日本衣服史 永島 信子 大雅堂
- 日本民族の思想と信仰 田中治吾平 會通社
- 工場の保健衛生 中川 義次 金原商店
- 勞働論 西牟田重雄 大同印刷館
- 戰爭社会學研究 岡村 重夫 中川書房
- 外人の觀た明治の日本 田村榮太郎 興亞書房
- 戰時の家庭經濟 本位田祥男 光生館
- 戰時下學生の使命 特 輯 理想
- 大東亞建設と離婚問題 東郷 實 外交時報
- 科學技術の總力體制(座談會) 本多靜雄外 科學主義工學
- 日本科學の根源—現代— 杉 靖三郎 現代
- 科學の正法眼藏— 現 代
- 訓導會議(座談會) 西村良雄外 右 同三
- 勞務管理の實態とその対策— 西村良雄外 右 同三
- 勞務者意識を繞る輔導教育問 題— 本邦財界情勢
- 革新政治に於ける厚生事業の 使命と役割—その史的究明— 渡邊英三郎 厚生問題

地理・歴史(傳記)

- マライ史 ウィンストラッド 太平洋協會譯 太平洋協會出版部
- 西郷南洲 伊藤 痴遊 榛名書房
- 藤田小四郎 西村 文則 小川書房
- モスクワの歴史 伊吹山次郎 大阪屋書房
- 國史概論 大川 周明 文祿社
- ゲリーントク傳 E・グリツツバツハ 陸軍之友社
- 渡邊繁樹譯 東華堂
- ビルマ獨立の父オツタマ僧正 頼田島一二郎 文松堂書店
- 勤皇維新史話 大野 愼 大新社
- 對外交通史論 武藏 長藏 東洋經濟新報社
- 北海道・樺太・千島列島篇 山下秀之助 山雅房
- 航空五十年史 仁村 俊 鱒書房
- 山本元帥前線よりの書簡集 廣瀬彦太編 東光書院
- 維新十傑傳 金澤 正造 文松堂書店

ランケ選集(第四一五卷)

- 大西郷の人と思想 田中惣五郎 今日の問題社
- 後藤新平傳(滿洲經營篇下) 鶴見 祐輔 太平洋協會出版部
- 西郷南洲選集(上卷) 谷口 武堂 讀書新報社出版部
- 船と文化 松田 雪 文松堂書店
- 史觀を正す 特 輯 讀書人
- 太平洋地域の地理と地圖 伊藤 隆吉 地理學
- 福本日南先生 南洋經濟研究
- 泰と天竺德兵衛 梅本 貞雄 南洋

學藝

- 法律思想史 船田 亨二 河出書房
- 豫防醫學ノート 高野 六郎 河出書房
- 映畫政策論 津村 秀夫 中央公論社
- 下瀬火藥考 松原廣遠編 北陸館
- 衛生學原論 水島 治夫 金原商店
- 航空生理學 西崎 莊譯 杏林會
- 航空機沿革史 駒林榮太郎 森北商店
- 藥莖とビタミンの化學 川崎近太郎 非凡閣
- 世界の原始民族 下卷 J・P・マードック 聖紀書房
- 神備問答(日本學叢書) 長坂金雄編 雄山閣
- 世界優秀航空機發動機總覽 日暮 時郎 山海堂出版部
- 萬葉集大辭典 正宗敦夫編 日本古典全集刊行會
- 森本 治吉編
- 社會學新講 松本潤一郎 日光書院
- 法制史の研究(上) 三浦 周行 岩波書店
- 結核の科學(科學新書) 正木不如丘 羽田書店
- 演劇年鑑(昭和十八年版) 日本演劇協會編 東寶書店
- 浮田和民史學論文集 早大史學會 六甲書房
- 博士記念史學論文集
- 科學春秋 藤島孝治郎 力書房
- 世界觀の哲學 理想社編 同
- 祭りの文學 三浦對保田 公論
- 松尾 芭蕉 特 輯 新文化
- 日本學の構想 佐藤 堅司 中央公論
- 赴難の學(座談會) 今泉孝太郎 同
- 決戦と教學の方策 特 輯 同性
- 科學・技術・生産 特 輯 同

後編 記 輯

○「毒ガス戦が云々される時には何時でも我々は毒ガスが無辜の民を傷付けることに戦勝するのであるが、戦争はさういふものではない肺の中に入ったガスと内臓内に食ひ込んだ弾丸の破片に何ら差別はない」(ニューヨーク・デイリー・ニュース社説)と敵がそろそろ本音を吐き初めた敵米英が日頃誇稱する文明、人道主義といつたものを買ひかぶつてゐた横りはないが、彼等の厚顔無恥はただ呆れるばかりである。

○立場をかへて、我々が苟にもこんなことを口にしたらどうであらうか。彼等の喧燥振りが目につくやうだ。それだけにこの戦争が、容易なことでは結着がつかぬであらうことを痛感する。

○そして米英のこの性根が叩直されぬ限り、世界の平和は期待出来ないことを覺悟せねばならぬ。

昭和六年三月廿日印刷納本
昭和六年五月廿日發行
定價 圓五錢(送付 行
内地 半年分前金九圓(送付共
外地 半年分前金十四圓(送付共)
一年分前金三十圓(送付共)
編輯發行 杉田 才一
兼印刷人 杉田 才一
印刷所 關東印刷株式會社
(東京一〇八)

東京都總町區日比谷公園
發行所 社團同盟通信社
(日本出版會)
會員部號三〇〇〇
(編輯部 電話三〇〇〇)
東京都總町區內幸町三三
無業所 社團同盟通信出版部
電話號碼(37)三二一五番
振替東京三〇〇番
東京都神田區淡路町二九
配給 日本出版配給株式會社
元

同 盟 通 信

内外速報版

一日一回發行
年額二、〇〇〇圓

國內および國外の政治、經濟、社會各部分に生起する各種重要ニュースを敏速にタイプ印刷して一日數回配達し、特に重要なものはその要點を刻々電語を以て速報す。各方面指導者にとつて不可欠の指針。

海外電報版

一日一回發行
年額二、〇〇〇圓

同盟独自の世界通信網を通して蒐集する日數萬語の世界情報を壓縮編輯せるものにして、新聞に掲載されざる海外電報は擧げてこの版に蒐録。世界情勢に關心を有つ人士にとつて必讀の重要資料。

東亞電報版

一日一回發行
年額二、〇〇〇圓

大東亞諸地域に日日生起する政治、經濟、軍事、文化その他全ニュースの集大成版。東亞新秩序の歩みは本通信版を通してのみ正確且つ迅速に把握し得る。

時事解説版

一日一回發行
年額一、〇〇〇圓

内外の各種重要時事問題を捉へて簡潔平明に解説し、隨時圖表寫眞等を挿入して理解に便ならしめ、卒讀直ちに當面の時事問題の真相を把握せしむ。多忙なる財界人の好伴侶。

映画・藝能版

一日一回發行
年額一、〇〇〇圓

映画・演劇・音楽・舞踊・音聲等各種藝能界の企業動靜の速報のほか、劇評論評等適切な記事連載。業界人および一般藝能愛好者の好資料。

海外經濟版

一日一回發行
年額二、〇〇〇圓

絶大の信用を博せる同盟外國經濟通信の活字版。敵國、盟邦、中立國の一切の經濟事象は専門的編輯の下に餘すところなく本通信版に収録。

東亞經濟版

一日一回發行
年額二、〇〇〇圓

大東亞經濟建設の諸相を同盟独自の無電網により日數萬語に集録せるもの。大陸に配方全域の經濟動向は本通信版によつて刻々把握し得る。

交通運輸版

一日一回發行
年額一、〇〇〇圓

海運、郵便、鐵道、小運送、自動車、倉庫、交易等戰時下最重要の諸問題につき詳細なる報道記事、解説、資料、論評等を連載。

重工業版

一日一回發行
年額一、〇〇〇圓

鐵鋼、合金鋼、鑛山、輕金屬、機械工業、車輛、電力、石灰、石油、勞務、技術等の重工業全般にわたる専門記事の速報版。

纖維・化學版

一日一回發行
年額一、〇〇〇圓

纖維、バルブ、製紙、ゴム、皮革、染料、セメント、油脂、曹達等輕工業、化學工業の全領域を包括せる専門通信。

金融・證券版

一日一回發行
年額二、〇〇〇圓

銀行、保險、無擔、信託、株式、公債、取引所等金融證券部門全般の動きを刻々傳へ、その歸趨を常に明示す。

東京日比谷公司

同 盟 通 信 社

法人

軍事古典叢書發行豫告

一般國民就中智識者層にとつて科學的な軍事智識を系統的に習得することは刻下の緊急事であり、このことに依つて現在の世界軍事情勢に對する正確なる判斷と今後の長期戦の遂行の爲確乎たる心構へとを得ることが出来るのである。此處に弊社は軍事科學の古典として世界の専門家に定評ある良書を選択して日本最初の軍事大系を作るものである。第一期二十一巻は既に執筆中にして來春早々に發賣する、尙詳細は本社に問合せを乞ふ。

發賣豫定三月

- モルトケ著 齋藤榮治譯 第一巻 千價三五〇圓
- ジュリアンSコルベット著 原島善衛譯 千價三五〇圓
- 海上戰 略 原 理 千價三五〇圓
- ミツチエル著 中島良夫譯 千價三五〇圓
- 空軍 第一主 義 千價三五〇圓

日本軍用圖書株式會社

東京神田區三ツ又三三七番

外務省藏版・維新史學會編纂

維新外交史料集成全二十卷

官符敕諭の幕末維新時國際關係史料の公開。即ち米英蘭等の狡猾なる開國要請の願末並に當時の官民が未曾有の國難を克服して降々たる明治維新の基礎を築ける足跡を蒐めて刺す所なく、一擧父祖の業績を億々と共に歐米英等の奸策に對して奮然たるを榮し得ず、眞に現下貢獻少からざる實蹟史料書。

第一卷二卷三卷既刊
第四回配本十二月

全51冊(前編後編各26冊) 千價一萬五千圓
定價每卷十二圓 送料二〇圓

明治法政經濟史研究所編

元老院會議筆記

前期全十六卷 A5判五千頁
後期全十六卷 A5判五千頁

初めて現はるる明治法制・經濟・社會一般文化史研究の根本史料

第一卷(十二月) 第四卷(一月) 每卷五圓五十錢 (説明書進呈)

財政經濟學會

東京赤坂池田町三會堂 八〇七番

名古屋大學教授 鹽野谷九十九著

弘報十六號 十二月末出來

アメリカ戰時經濟と金融統制

- 最 適 工 業 經 營 論 山口高樹教授 六著 價四・〇〇
- イギリス政治經濟史 矢野龍溪教授 六著 價二・三〇
- 米英戰爭經濟の根本問題 安部磯吉博士 六著 價一・五〇
- 戰 争 と 人 口 問 題 安部磯吉博士 六著 價一・八〇
- 新 時 代 の 人 生 觀 早稻田大學講師 二著 價二・〇〇
- 日本學としての日本倫理學 日本大學講師 二著 價二・〇〇
- 皇 國 生 成 史 論 志村陸城著 價二・三〇
- 神 道 書 籍 目 録 伊東學博士 智著 價一・三〇
- 近 世 國 體 思 想 史 論 伊東學博士 智著 價三・七〇

本書はアメリカ戰時經濟の展開を理論的に分析し、金融統制との關係を論ず。

同文館

御注文書は書店へ

東京小石川

- 東日 間崎萬里 外二共著 價四・〇〇
- 京本 安グロサクソン民族 價三・〇五
- 松本芳夫著 日本民族の文化 價三・〇五
- 水田信利 外二共著 價三・二〇
- 南洋の民族(上) 松尾清明著 價二・〇〇
- 花岡止郎著 聖徳太子古憲法明辨 價三・〇〇
- スラヴ民族 田代金宜著 價三・〇〇
- 有高 巖外一共著 價三・三五
- 支那民族 三根繁太著 價二・八〇
- 支那民族特許法原論
- 前原光雄 外二共著 價三・〇〇
- 大東亞 國共衆民族 價三・〇〇
- 内藤智秀 外二共著 價三・〇〇
- 西亞細亞民族

戦時農業論

W・マインホルト著 水井建造、一柳茂 次共譯 A 5判三百餘頁
 價二圓八十錢

戦争の農業生産条件に及ぼす影響。土地、資本、労働力、技術等の面より戦争の影響とこれが政策を論じたる最新名著の全譯。(弘報十八號新刊)
 ヴァン・ホーブ著 野原達夫譯 A 5判圖版百餘葉
 インドネシアの原始文化 價二圓七十錢
 有名なピテカントロプスをはじめ東印度先史文化、參考文獻悉く列記される。好評
 電版(弘報十八號重刊)
 F・T・H・ダリス著 西野照太郎譯 A 5判三百頁

東印度工業論

價三圓三十錢

獨逸印の工業政策を論じ、現在の資本制工業、及び民族工業の全貌を明らかにせるもの(弘報十八號新刊)

ネール自叙傳(上)

J・ネール著 B 6各六百頁
 價二圓九角
 誠實な自傳であり完璧の印度獨逸論争史

中南米(發達)全史

J・F・リビエ著 A 5五百餘頁
 價五圓四角五分
 來るべき争亂舞臺たる中南米古代より現代に至る全史

我國中小炭礦業の從屬形態

柳瀨徹也 (日本學術論叢N010) 價一・七六

本論叢は實業研究人の参加を得て日本學術分野に亘り、研究主題の中心樞的エキスを究極まで極めたモノグラフの形態により、逐次その研究成果を發表し、社會に提出せんとす籍方に若干の時を以てすれば必ずや日本學術上、文化上貢獻し得ることを確信する。

各一・五A各一・五
 清水野 二葉亭 四迷論(近刊)
 伊藤 藤書店
 東京神田小町二丁目七番地

東京 振興會協本日際國 區町都 魯比托京 東内

安部光植著作集

教養の哲學 B 6判四二八頁 價一・八〇送二〇
 生命の哲學 B 6判三八六頁 價二・四〇送二〇
 哲人と國家 B 6判四三二頁 價二・七二送二〇
 ドイツの偉人たち B 6判二六六頁 價一・六〇送一五
 ソクラテス研究 上巻二・四〇送料 中巻二・八〇送料 下巻二・三六送料
 ベルグソン哲學 上巻二・三六送料 下巻二・三六送料

東京 振興會協本日際國 區町都 魯比托京 東内

北を護る兵士達

二科會友 高井貞二著
 酷寒の滿ソ國境を嚴然と護る兵士達、開拓團の人々を繪と文によつて描く。

火砲の發達

陸軍少佐 莊司武夫著
 火砲の發達は戦争の様相を一變せしめる。本書はその發生から現在までの發達の跡を詳述す。

東京 振興會協本日際國 區町都 魯比托京 東内

昭和十二年七月廿三日第三種郵便物認可

發行所 東京都麴町區日比谷公園

同人 盟 通信社 定價一圓五十錢

忘るな

戰費

聚めよ生活!

大藏省

大東亞戰爭國債
 大東亞戰・報國債券
 戰時貯蓄
 十二月八日 ↓ 二十七日
 賣出

國債の購入に代る

國債貯金

隣組の割當券も國債・債券を買ふ代りになるべし
 りに國債貯金を
 をく利用致し
 ませう

榮養

胃腸症狀を解消し、新陳代謝を調整すると共に食慾を振起す。又膀胱を賦活し脂肪吸収を改善し、助成酵素として含水炭素の消化を促進せしめ以て榮養の吸収を良好ならしむ。

【適應症】

胃腸無力症、食慾不振、熱性疾患時、消耗性疾患時、妊娠・授乳時の榮養補給、神経痛、脚氣

V・B₁含有量一錠中〇・五%

☆ 一〇〇錠 三〇〇錠

製造發賣元

武田藥品工業株式會社

大阪市東區道修町

武田發賣品

強カメタボリン錠

製法特許